

地域福祉の推進に向けた
青森県民の意識に関するアンケート調査
結果報告書

令和2年10月

青森県健康福祉部健康福祉政策課

目次

調査概要	1
調査結果	
・ 回答者の属性	3
・ 地域とのかかわりについて	9
・ 地域の支え合いについて	29
・ 様々な相談窓口について	76
・ 福祉教育について	103
・ 社会福祉法人や社会福祉協議会との関わりについて	111
・ ボランティア活動について	140
・ 福祉サービスにおける権利擁護について	169
・ 福祉・介護人材の確保育成について	182
・ 外出するときの手段について	208
・ 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方について	221
資料編	
・ 問 16 自由回答のまとめ	245
・ 調査票	

調査概要

1. 調査の目的

青森県地域福祉支援計画【第二次】改定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象等

- ・ 調査実施地域 青森県全域
- ・ 調査対象 県内在住の20歳以上の県民
- ・ 調査数 2,000人(男女1,000人ずつ)

市町村名	人口	抽出数
青森市	282,039	432
東津軽郡	22,332	36
東青地域	304,371	468
弘前市	170,607	262
黒石市	33,211	52
平川市	31,165	50
中津軽郡・南津軽郡+板柳町	47,257	76
中南地域	282,240	440
五所川原市	54,157	86
つがる市	32,163	50
西津軽郡・北津軽郡(板柳町を除く)	41,710	68
西北地域	128,030	204
十和田市	61,163	96
三沢市	39,703	62
上北郡(おいらせ町を除く)	72,122	116
上北地域	172,988	274
八戸市	228,447	350
三戸郡+おいらせ町	91,608	148
三八地域	320,055	498
むつ市	56,958	90
下北郡	15,521	26
下北地域	72,479	116
合計	1,280,163	2,000
市部	989,613	1,530
郡部	290,550	470

3. 調査方法

郵送法

4. 調査実施期間

令和元年 11 月 1 日～11 月 30 日

5. 回収結果

調査票回収総数 1,037 (回収率 51.9%)

※ 自由回答の扱いについて

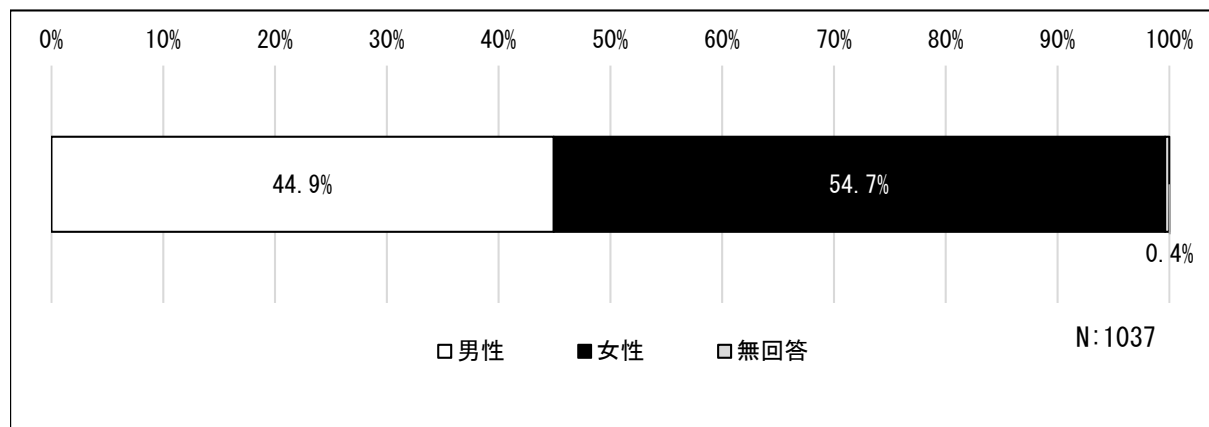
自由回答の記載については、文意を損なわない程度に修正している部分がある。
また、個人が特定されると思われる回答については、記載そのものを見送った。

以下は、調査結果について、設問ごとに記述する。

< 1 > あなた自身のことについて

問 1. あなたの性別をお答えください。

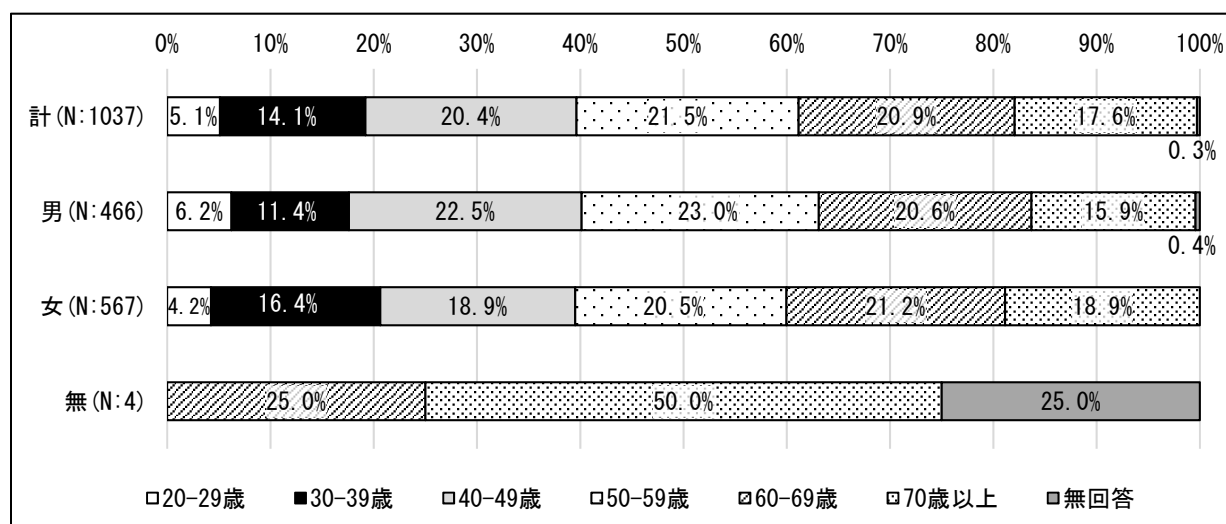
・ 回答者の性別



男女の比率は 45 : 55 である。無回答は 4 件で 0.4% である。

問 2. あなたの年齢をお答えください。（令和元年 11 月現在）

・ 回答者の年齢



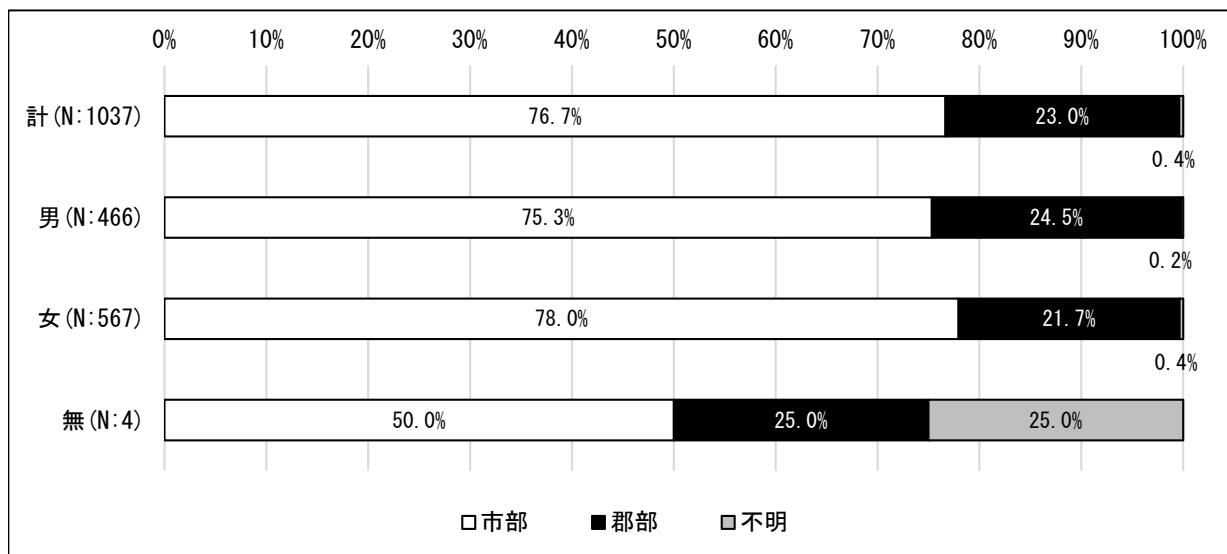
回答者の年齢は、「20代」が5%、「30代」が14%、「40代」が20%、「50代」が22%、「60代」が21%、「70歳以上」が18%となっている。

【男女別・年代別】

男女ともに全ての年代で大きな違いは見られない。「50代」、「60代」、「70歳以上」の割合が全体の60%、次いで「40代」が20%、「20代」が5%と小さくなっている。

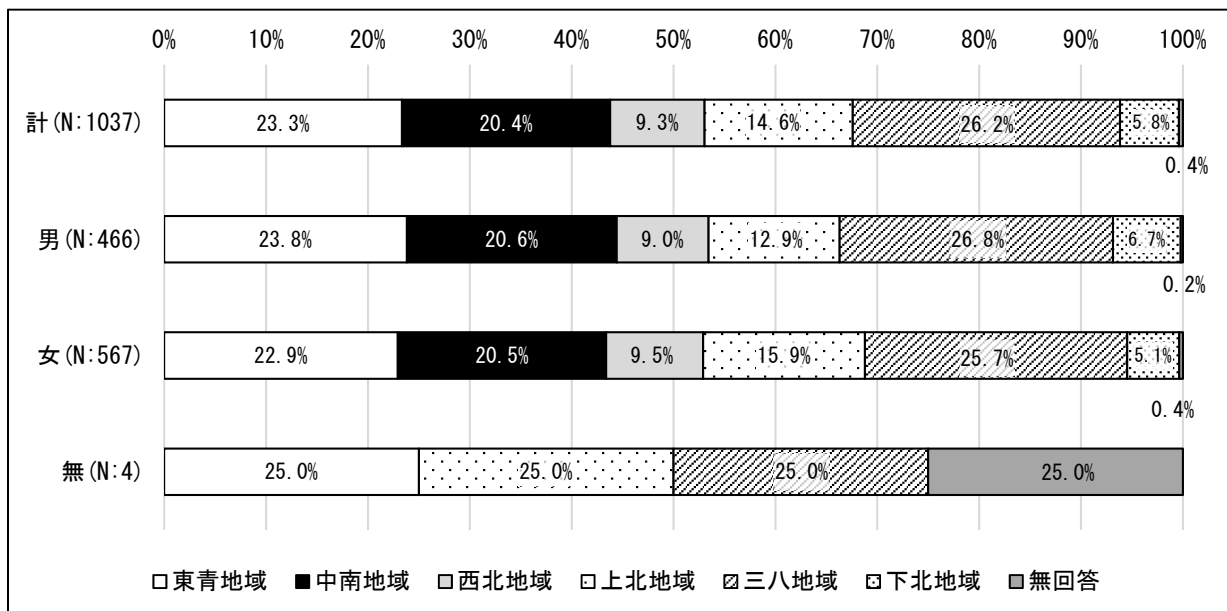
問3. あなたがお住まいの市町村をお答えください。

【市部・郡部別】



「市部」と「郡部」の比率は3:1となっている。男女別では、「市部」の回答者は「女性」の割合が「男性」よりも大きくなっている。

【男女別・地域別】

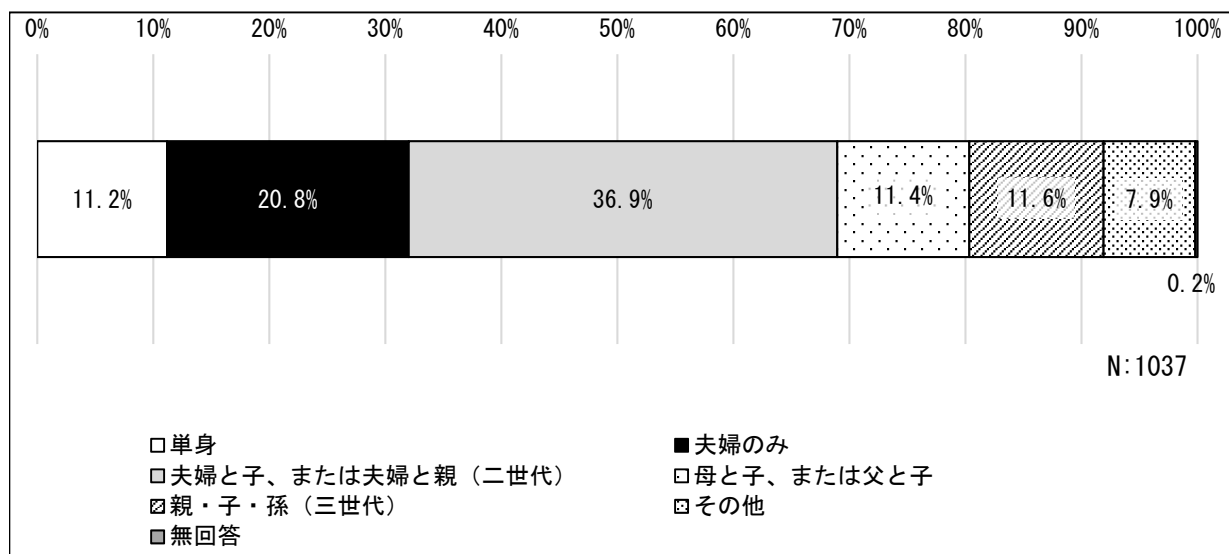


居住地域は、「東青地域」が23%、「中南地域」が20%、「三八地域」が26%、「上北地域」が15%、「西北地域」が9%、「下北地域」が6%となっている。

男女別では「三八地域」が男女ともに26%前後で最も大きく、次いで「東青地域」、「中南地域」、「上北地域」の順となっている。

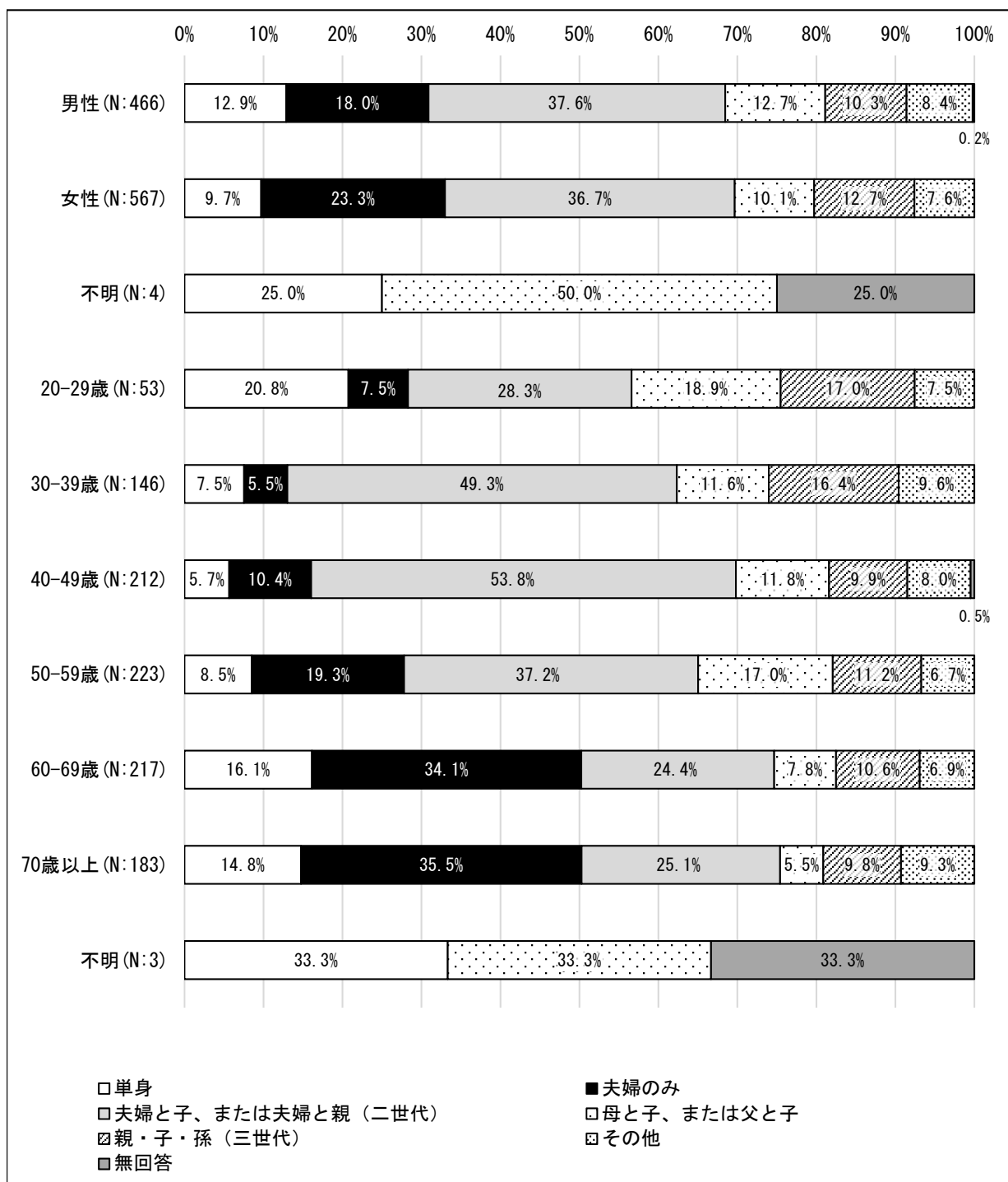
問 4. あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。（1つ）

・ 家族構成



「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」が37%と最も大きく、次いで「夫婦のみ」が21%、「単身」、「母と子、または父と子」、「親・子・孫（三世代）」がほぼ同率の11%台の順となっている。

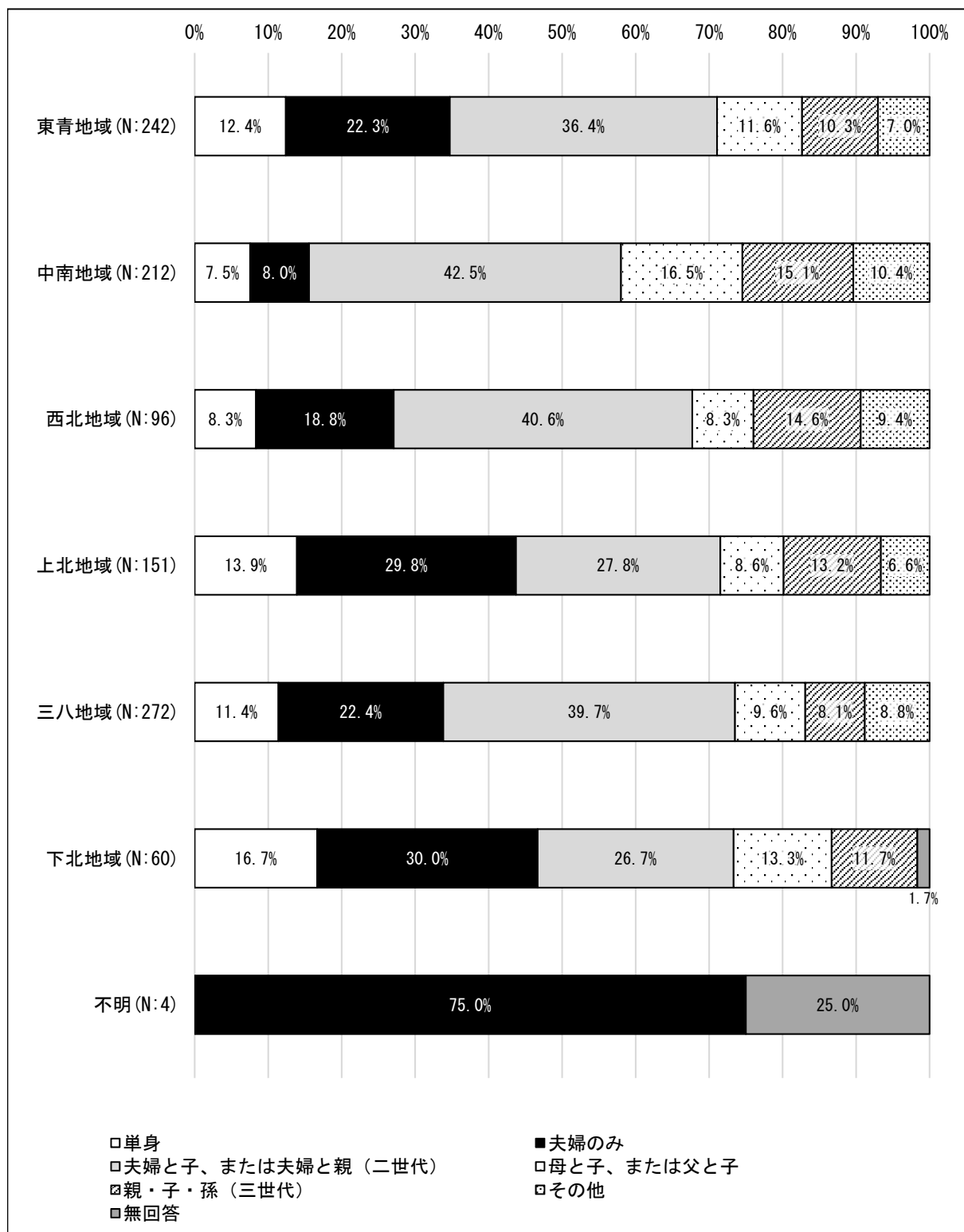
【男女別・年代別】



男女ともに「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が最も大きくなっている。次いで「夫婦のみ」の順となっている。

年代別に見ると「60代」以上は「夫婦のみ」が他年代より大きくなっている。「20代」は「単身」が他年代より大きくなっている。

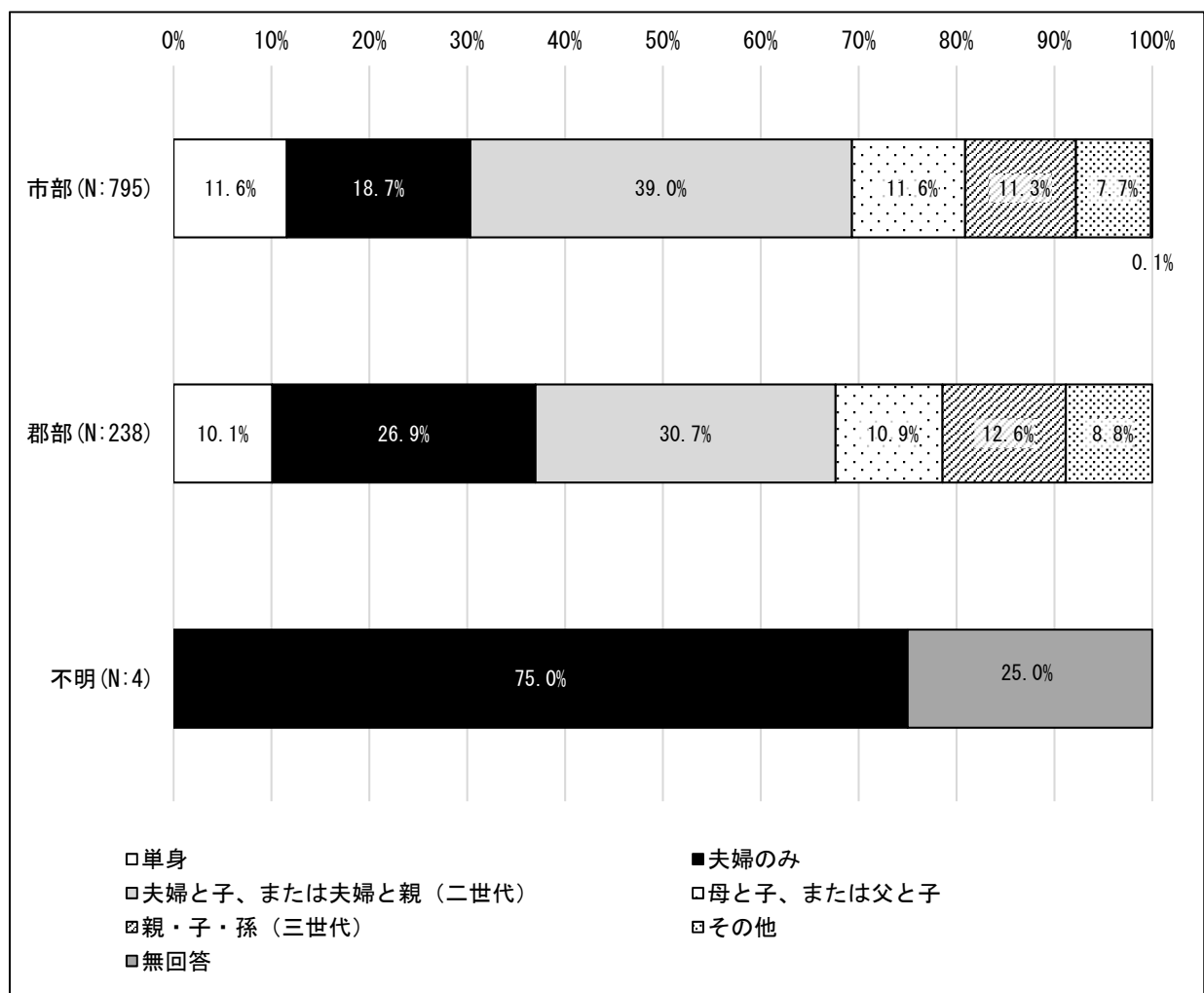
【地域別】



「下北地域」、「上北地域」は「夫婦のみ」が他地域より大きくなっている。

「中南地域」、「西北地域」は「夫婦と子、または夫婦と親 (二世代)」が他地域よりも大きくなっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が最も大きく、次いで「夫婦のみ」、「親・子・孫（三世帯）」の順となっている。

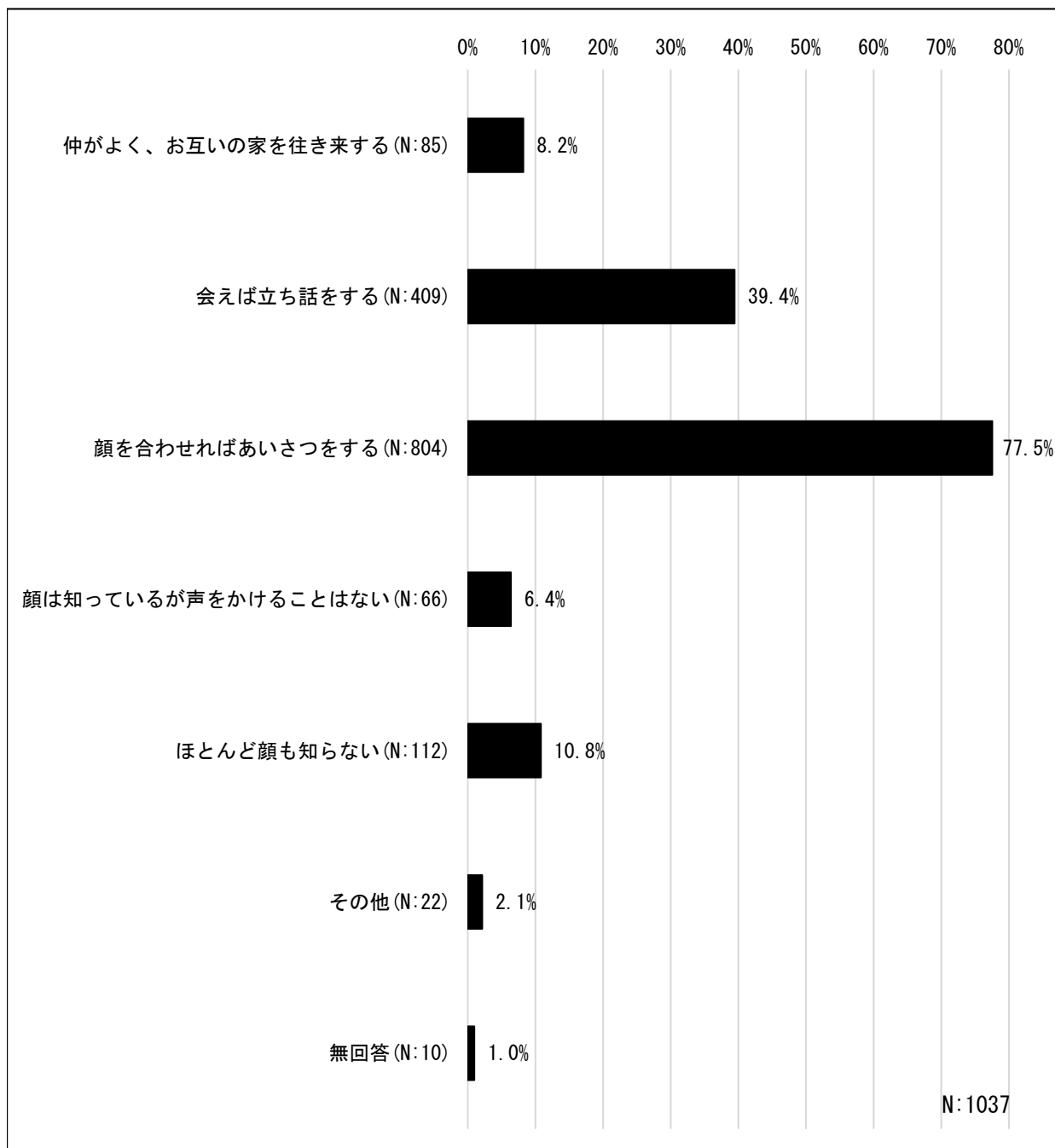
【自由回答より】

- ・曾祖母・親・子・孫（四世代）。
- ・親・子供・子夫婦3世帯。
- ・妻は施設入所中、自宅で単身。

< 2 > あなたと地域とのかかわりについて

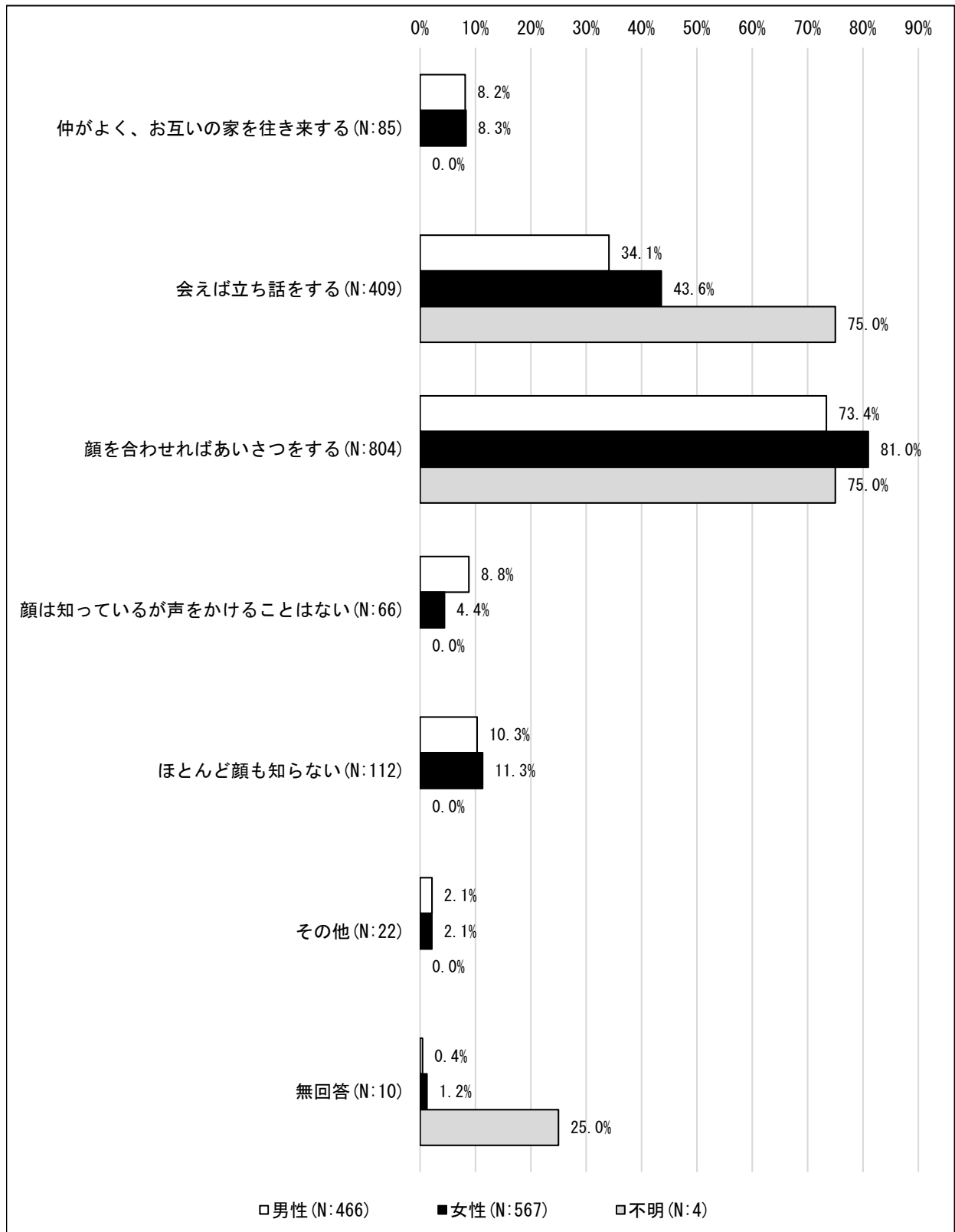
問5. あなたは、地域の人とどのような付き合いをしていますか。（2つまで）

・ 地域の人との付き合い方



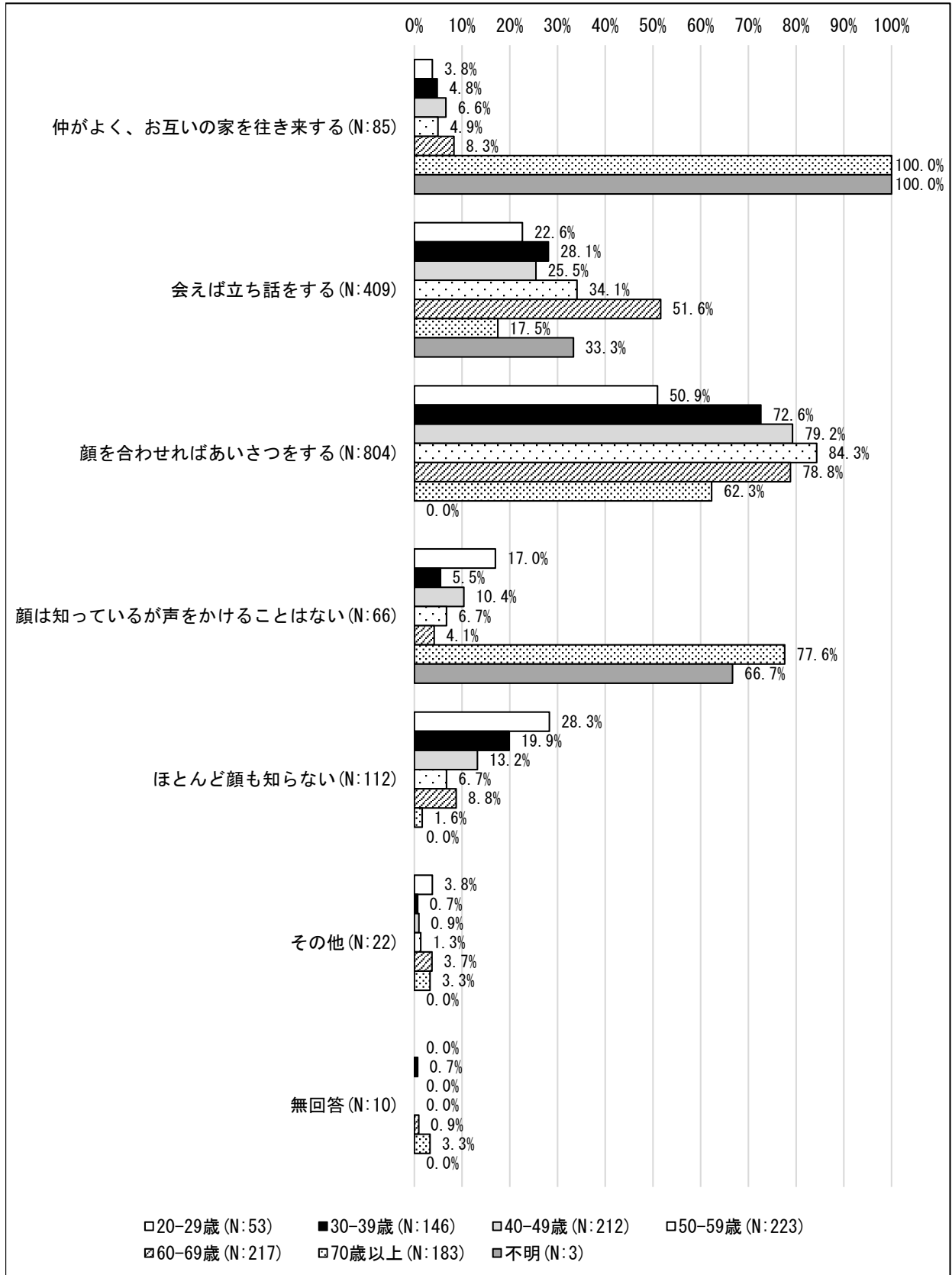
「顔を合わせればあいさつをする」が78%、「会えば立ち話をする」が40%、「ほとんど顔も知らない」が11%となっている。

【男女別】



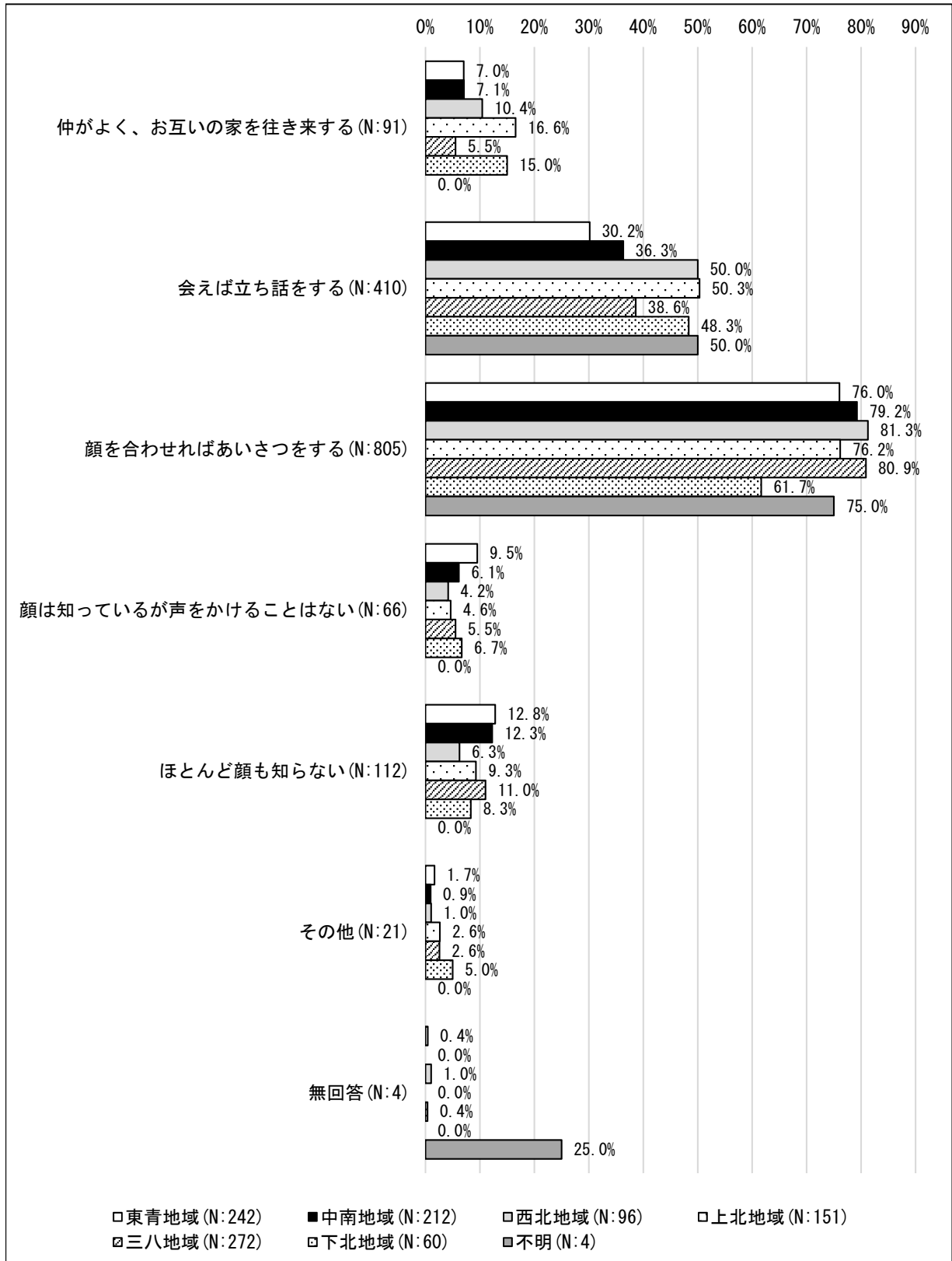
男女ともに「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きく、次いで「会えば立ち話をする」となっている。

【年代別】



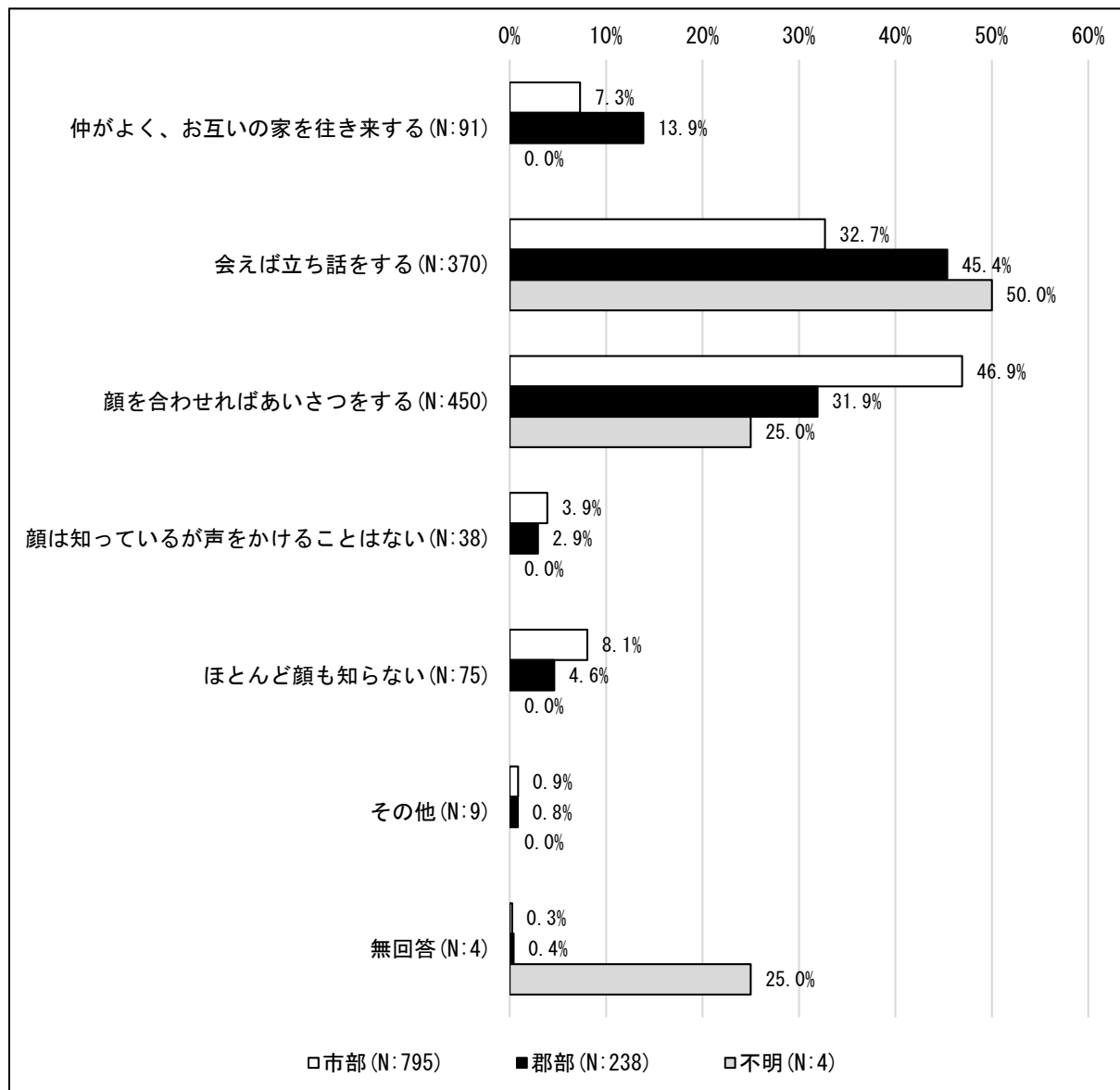
全ての年代で「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きくなっている。「60代」は「会えば立ち話をする」が他年代より大きくなっている。「ほとんど顔も知らない」は、概ね年代が上がるにつれて小さくなっている。

【地域別】



全ての地域で「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きい。「東青地域」、「中南地域」、「三八地域」は「仲がよく、お互いの家を行き来する」、「会えば立ち話をする」が他地域よりも小さくなっている。「上北地域」、「下北地域」は「仲がよく、お互いの家を行き来する」が他地域よりも大きくなっている。

【市部・郡部別】



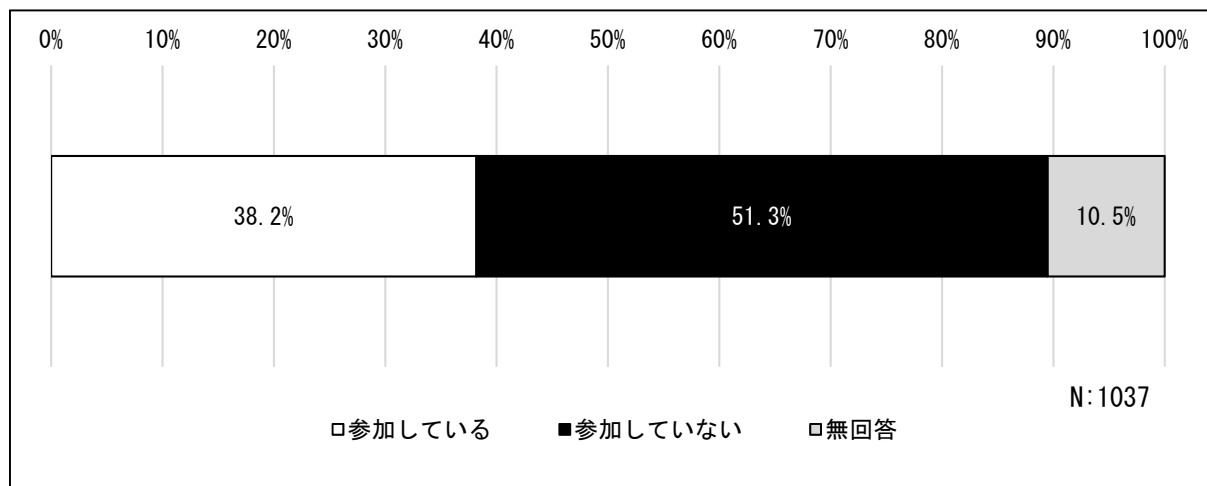
「市部」、「郡部」とともに「顔を合わせればあいさつをする」が最も大きく、次いで「会えば立ち話をする」となっている。「郡部」は「仲がよく、お互いの家を行き来する」が「市部」より大きくなっている。

【自由回答より】

- ・両隣り近辺は会話をするが、他とは話すことはない。
- ・朝早く帰宅も遅いので顔を合わせることが無い。
- ・町内会に加入していない。新しい住人等は名前も知らない。

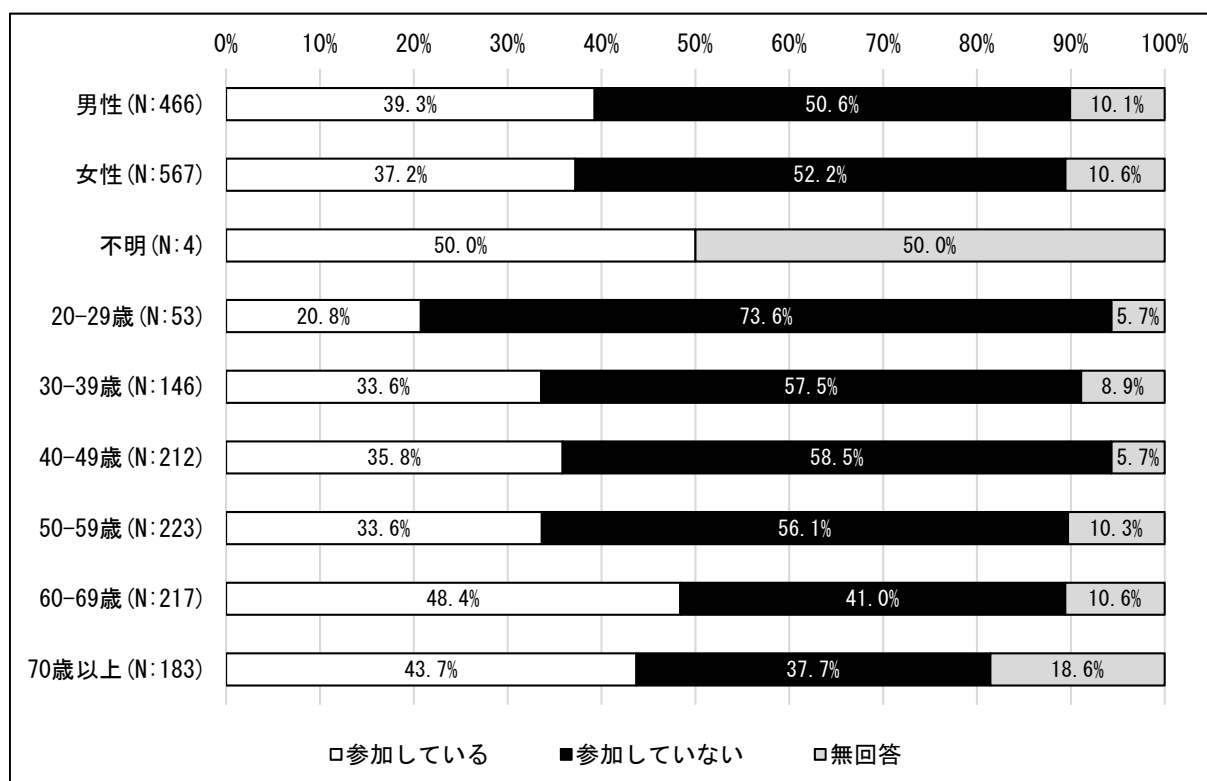
問 6. あなたは地域活動に参加していますか。(1つ)

・ 地域活動への参加



「参加している」が38%、「参加していない」が51%となっている。

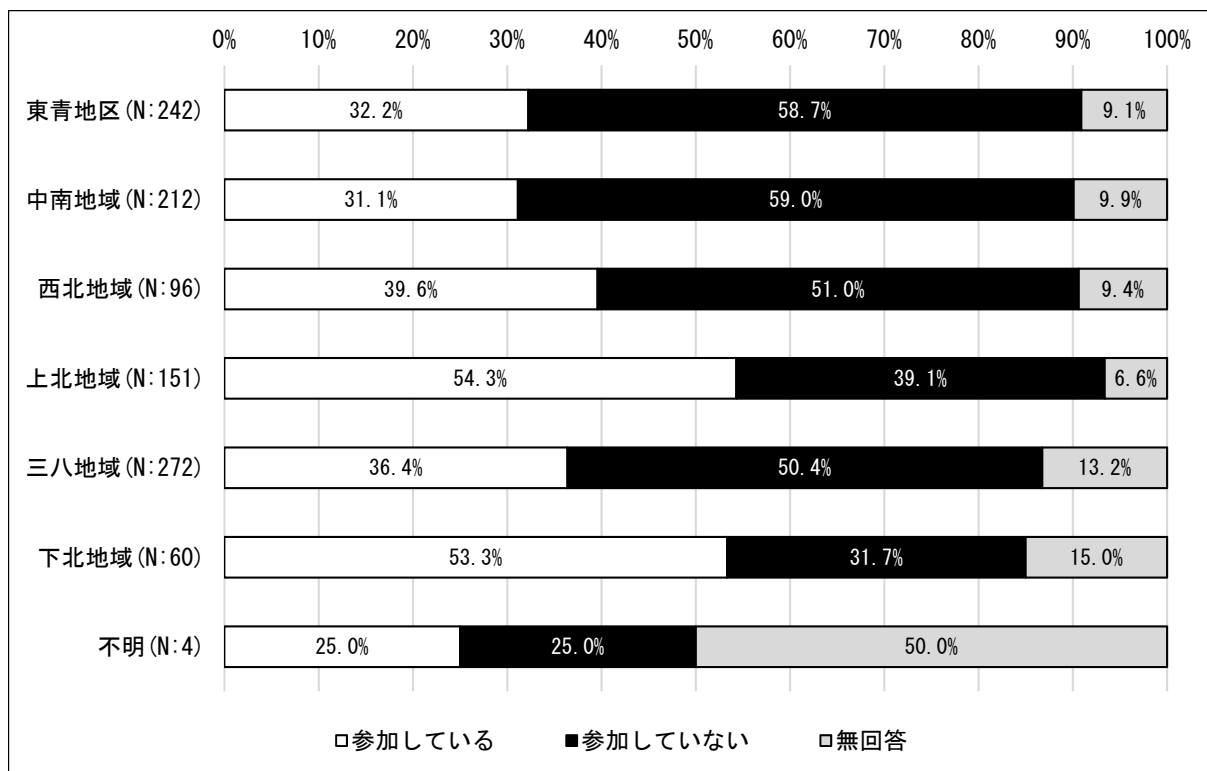
【男女別・年代別】



男女ともに「参加していない」が「参加している」を上回っている。

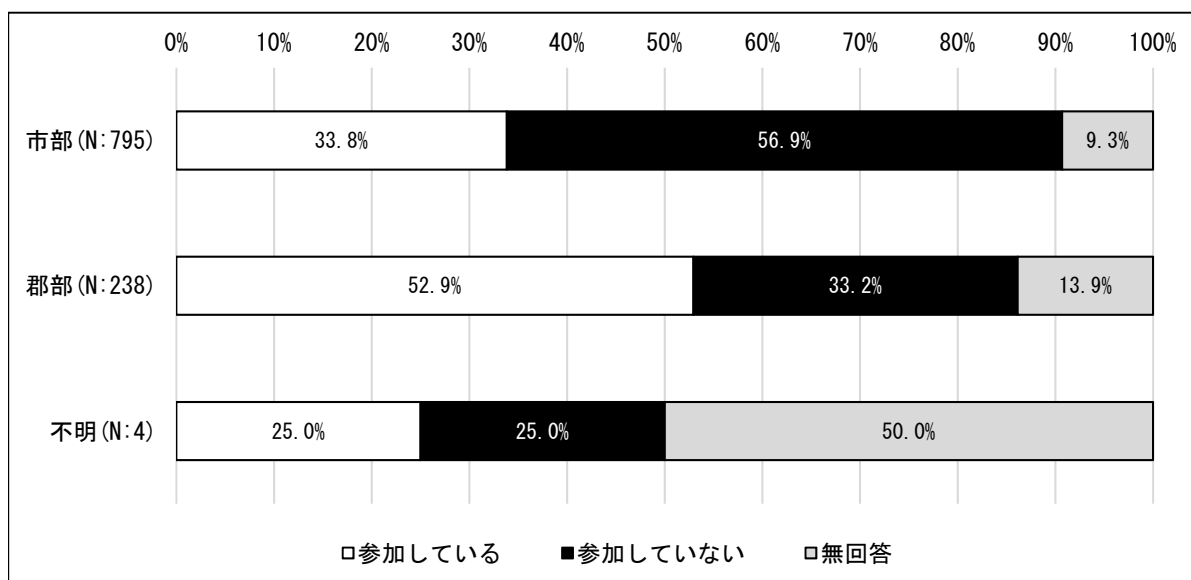
年代が上がるにつれて「参加している」の割合が大きくなっており、「60代」で最も大きくなっている。逆に、年代が下がるにつれて「参加していない」の割合が大きくなっており、「20代」で最も大きくなっている。

【地域別】



「上北地域」、「下北地域」は「参加している」が50%を超えて他地域よりも大きくなっている。一方、「東青地域」、「中南地域」は「参加していない」が60%近くと、他地域よりも大きくなっている。

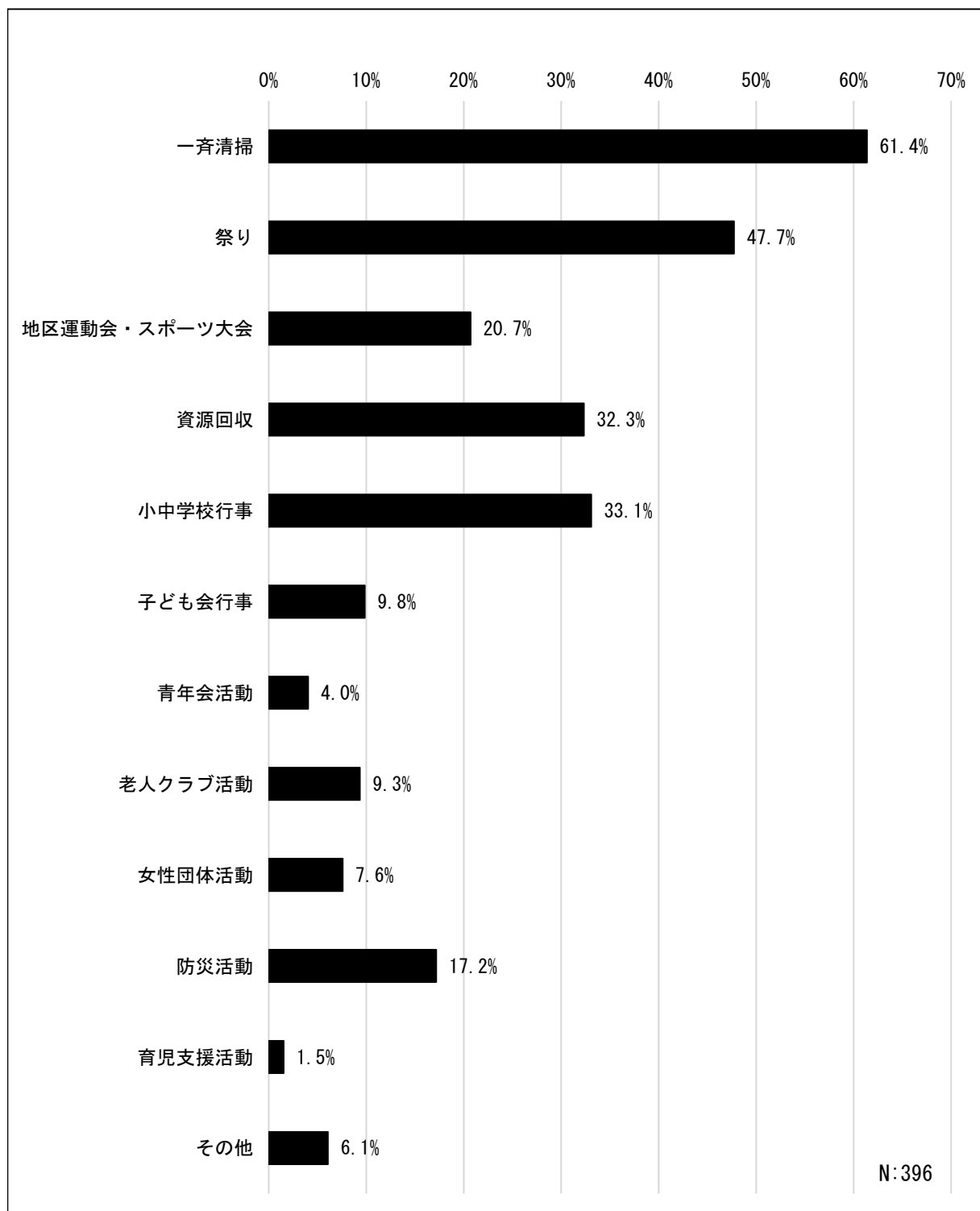
【市部・郡部別】



「郡部」は「参加している」の割合が「市部」よりも大きくなっている。「市部」は「参加していない」の割合が「郡部」よりも大きくなっている。

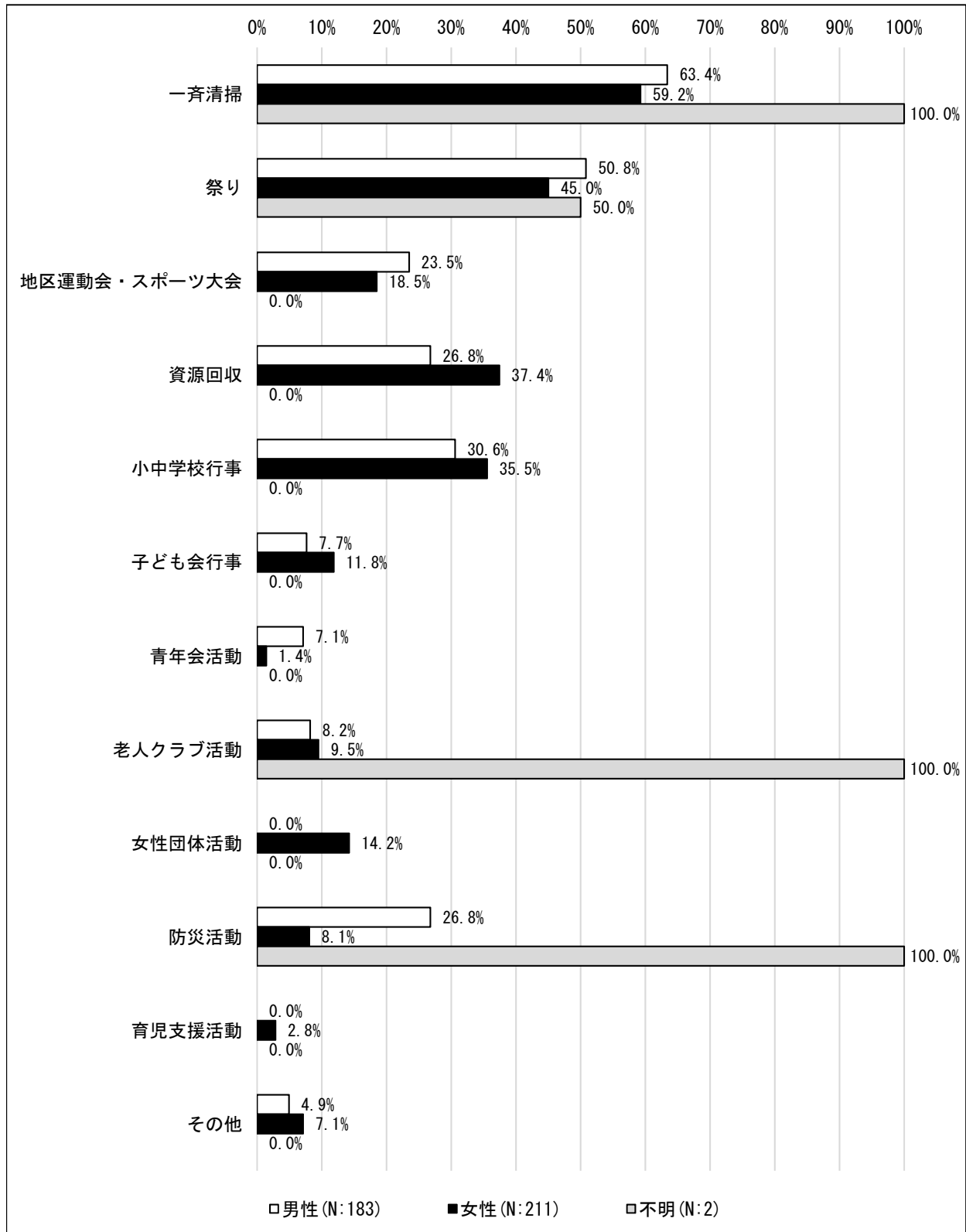
問 6-1. 参加している地域活動（あてはまるものすべて選んでください。）

・参加している地域活動



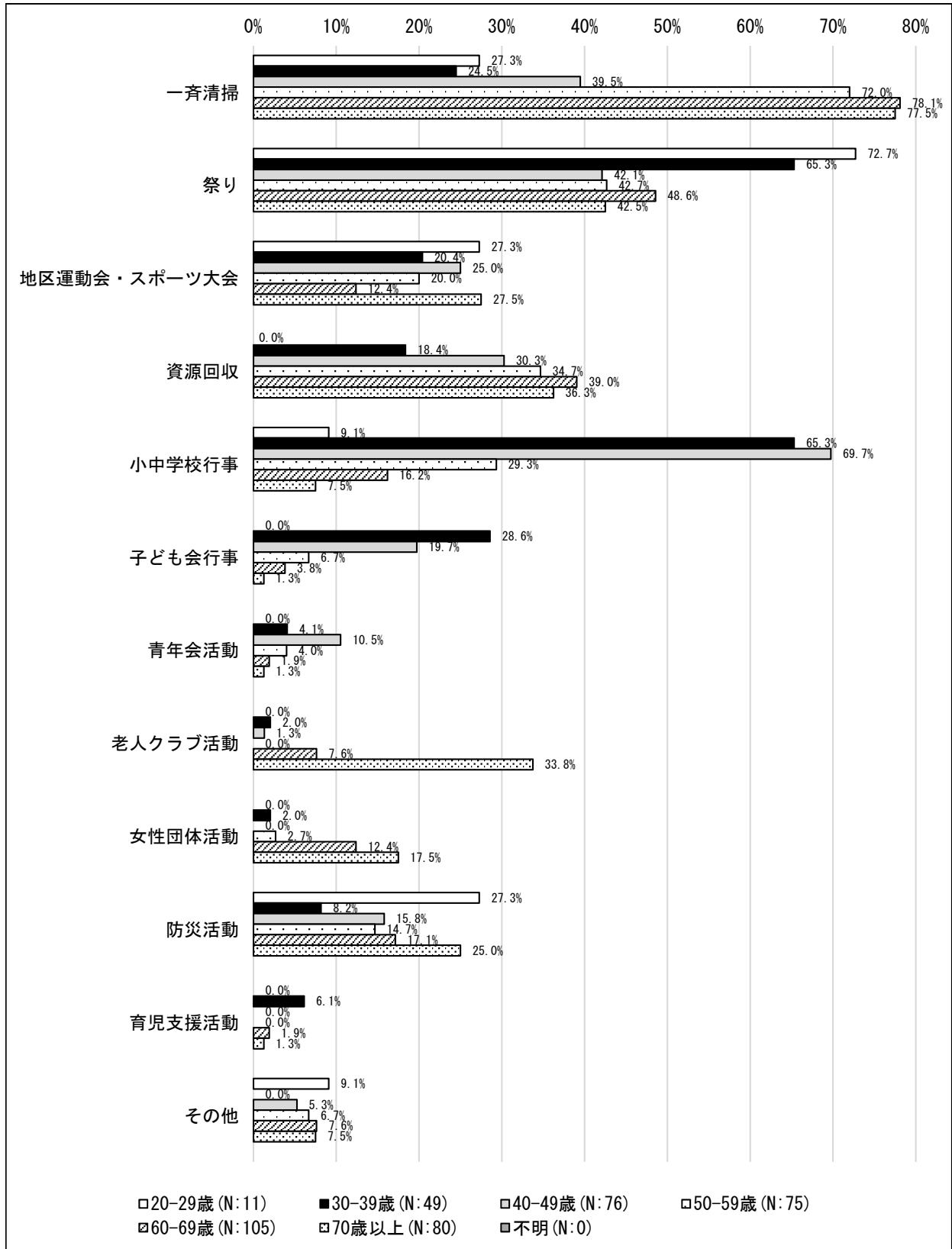
「一斉清掃」が61%、「祭り」が48%、「小中学校行事」が33%、「資源回収」が32%となっている。

【男女別】



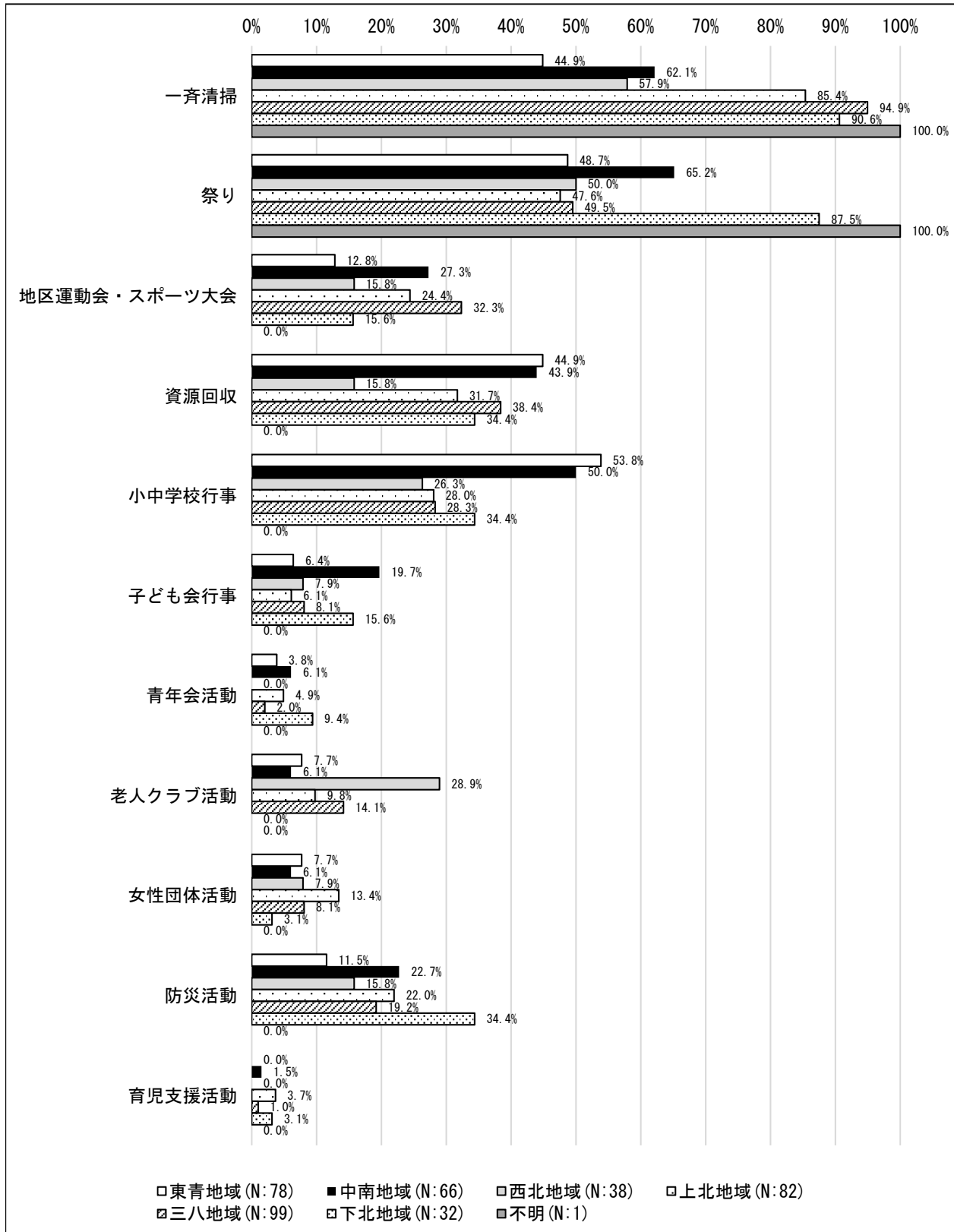
男女ともに、「一斉清掃」が最も大きく、次いで「祭り」、更に、男性は「小中学校行事」、女性は「資源回収」の順となっている。

【年代別】



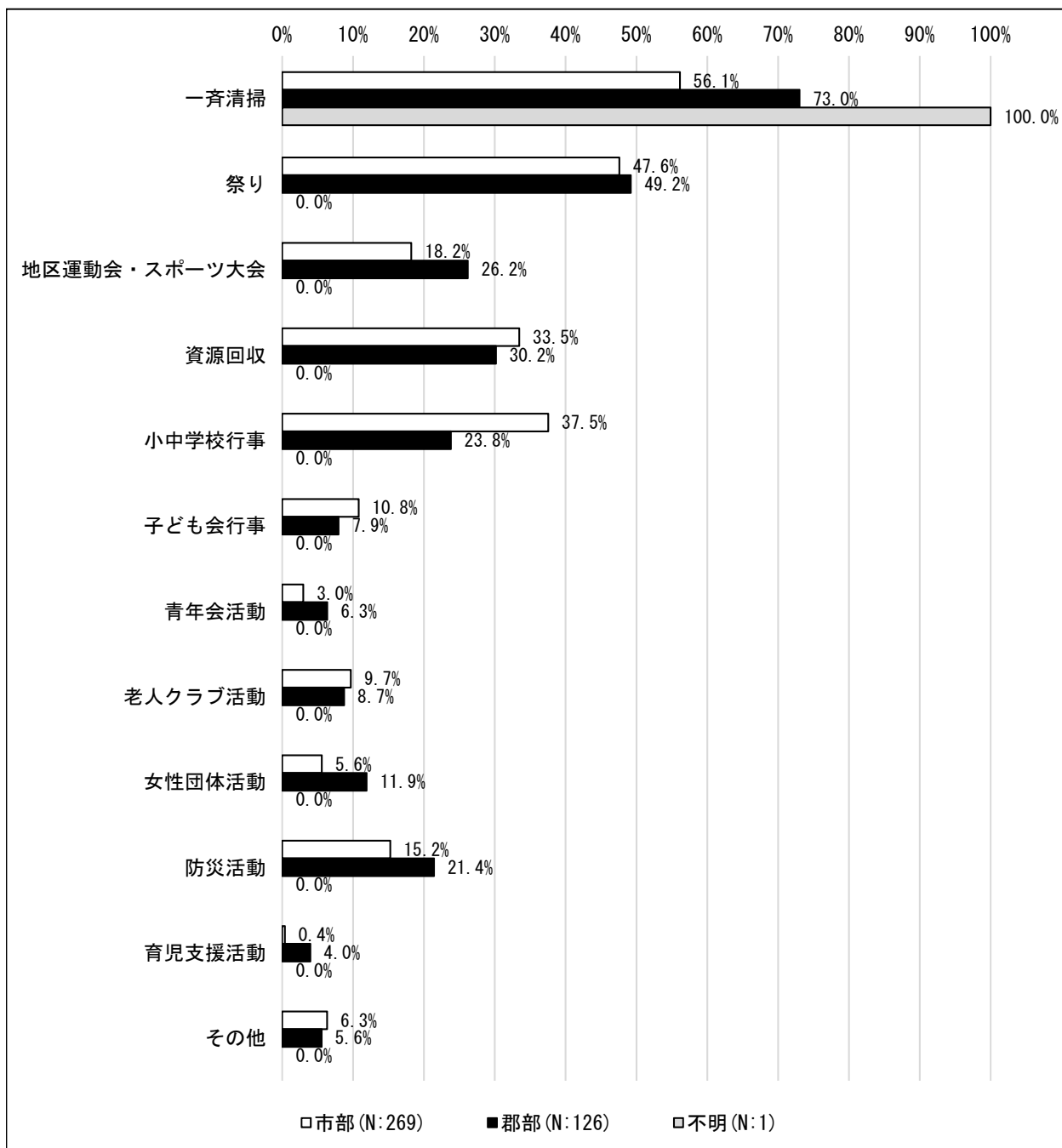
「20代」は「祭り」、「30代」は「祭り」と「小中学校行事」、「40代」は「小中学校行事」、他年代は「一斉清掃」がそれぞれ最も大きくなっている。「20代」は「祭り」が、「30代」、「40代」は「子ども会行事」が、「70歳以上」は「老人クラブ活動」がそれぞれ他年代より大きくなっている。「資源回収」は年代が上がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



「東青地域」は「小中学校行事」、「中南北域」は「祭り」、その他の地域は「一斉清掃」が最も大きくなっている。「東青地域」、「中南北域」は「小中学校行事」と「資源回収」、「下北地域」は「祭り」が他地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



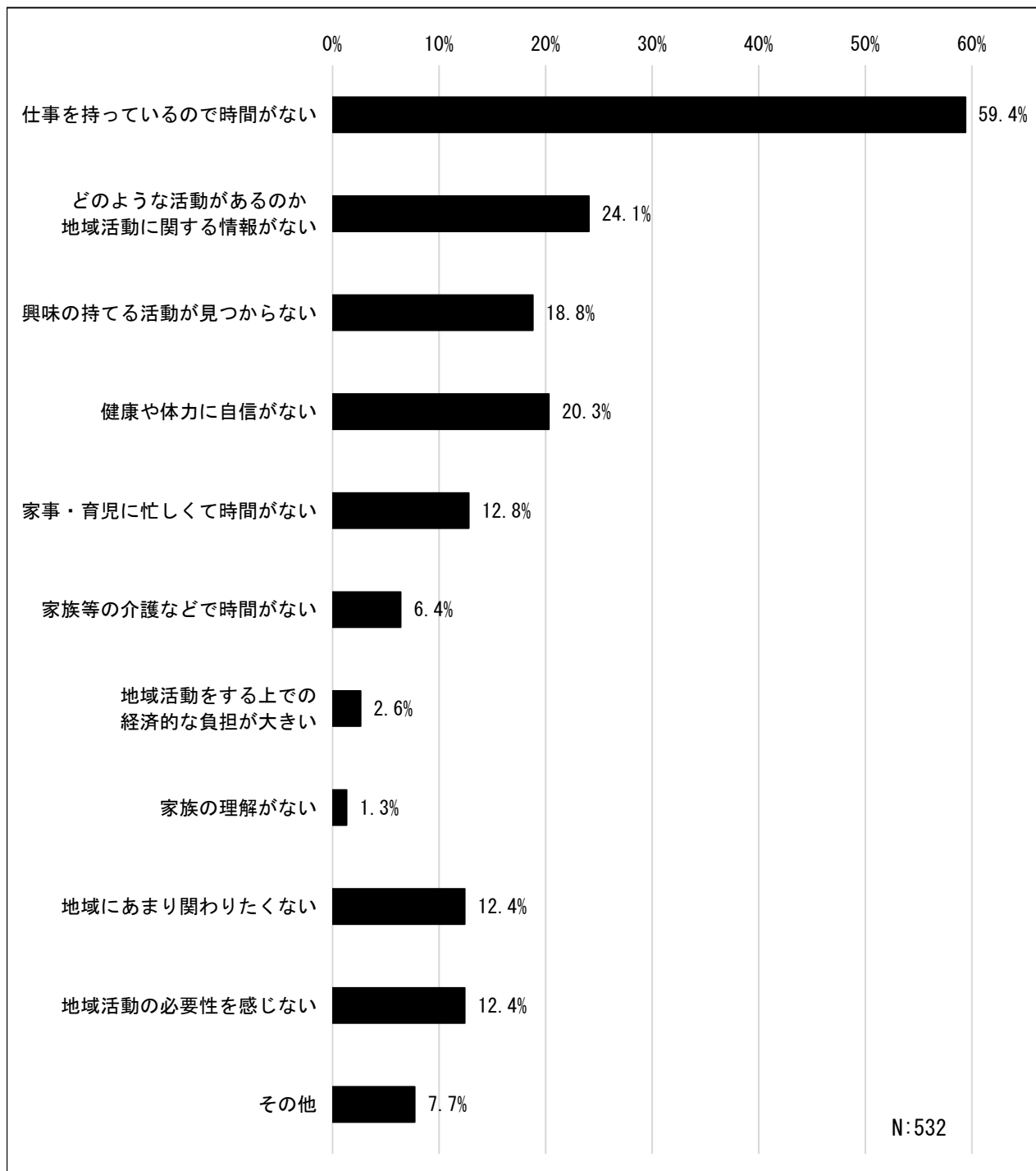
「市部」、「郡部」とともに、「一斉清掃」、「祭り」の順で割合が大きく、次いで「市部」は「小中学校行事」、郡部は「資源回収」の順となっている。

【自由回答より】

- ・町内会。
- ・地域イベント。 ※市民センター祭りなど
- ・地域ボランティア活動。
- ・ごみ当番。

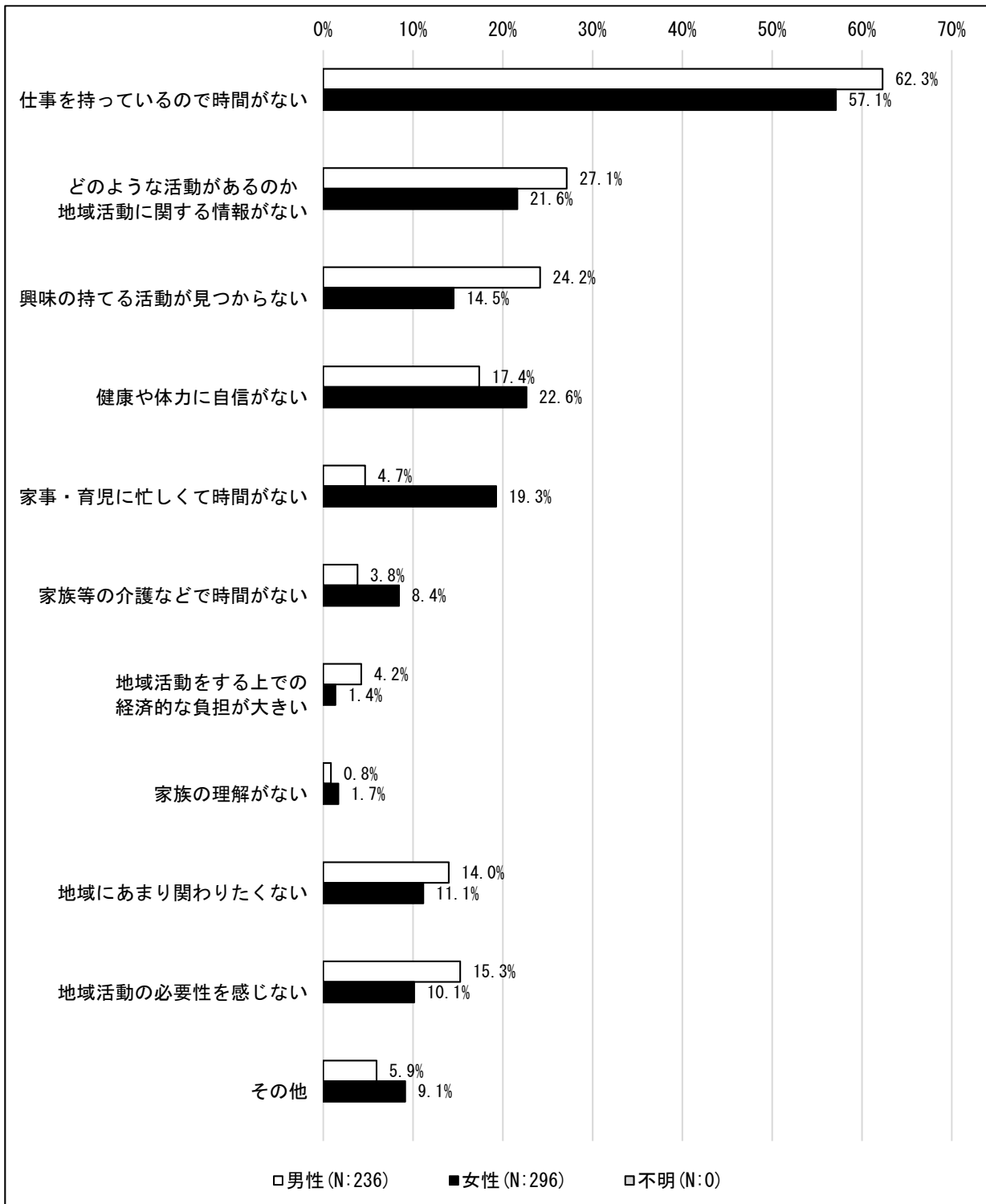
問 6-2. 参加していない理由（3つまで）

・参加していない理由



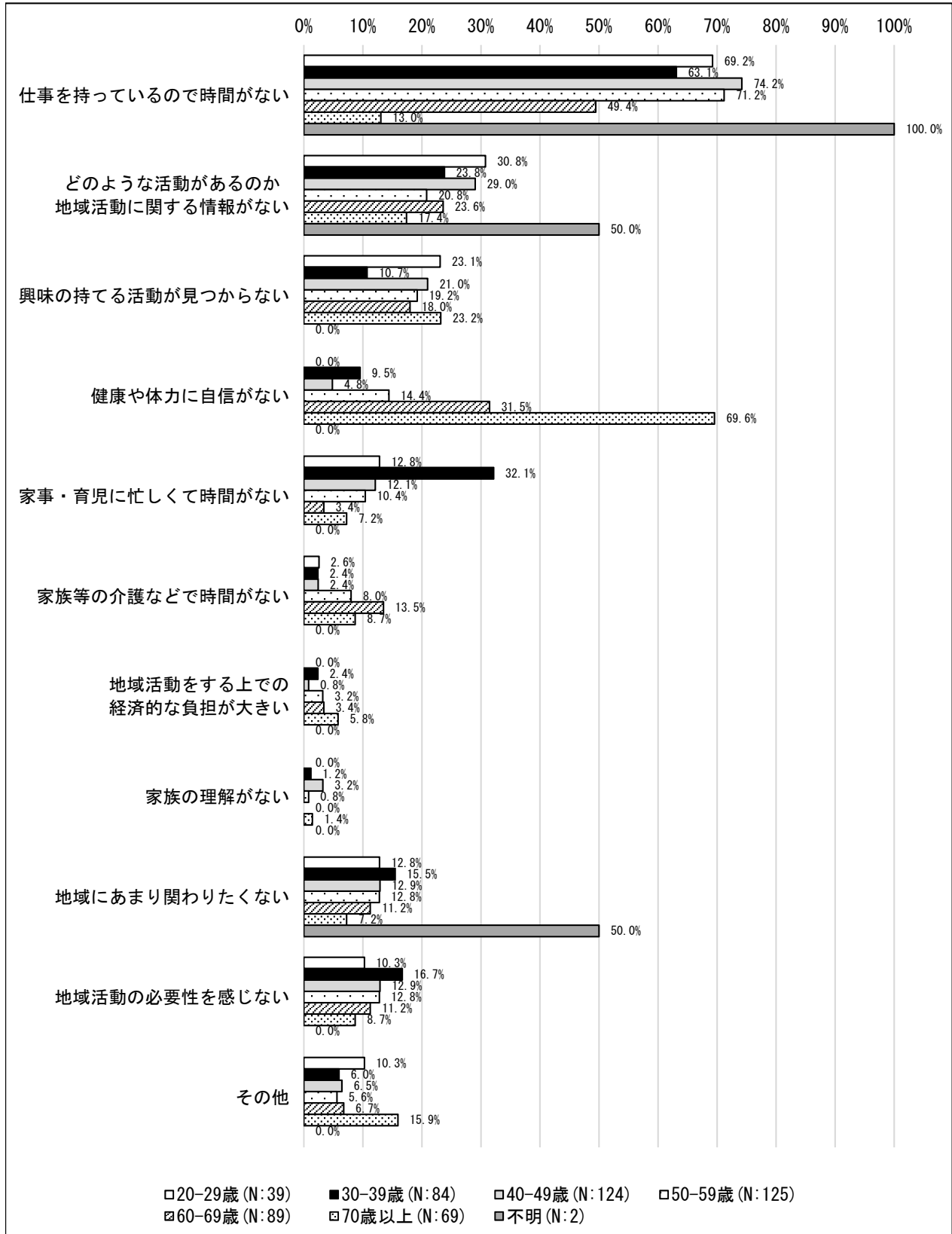
「仕事を持っているので時間がない」が59%、「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」が24%、「健康や体力に自信がない」が20%の順となっている。

【男女別】



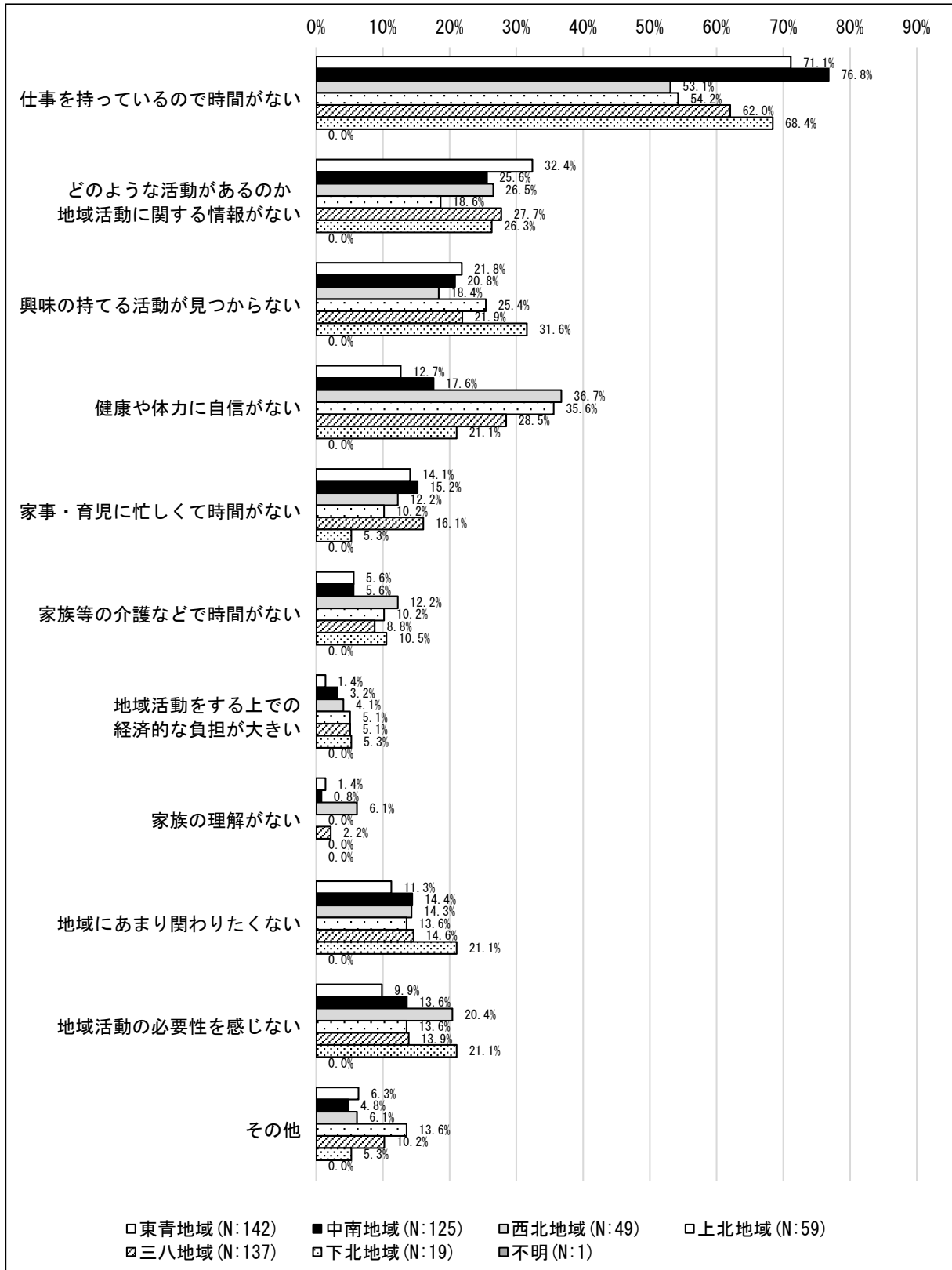
男女ともに「仕事を持っているので時間がない」が最も大きく、次いで男性は「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、「興味を持てる活動が見つからない」、女性は「健康や体力に自信がない」、「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」の順となっている。

【年代別】



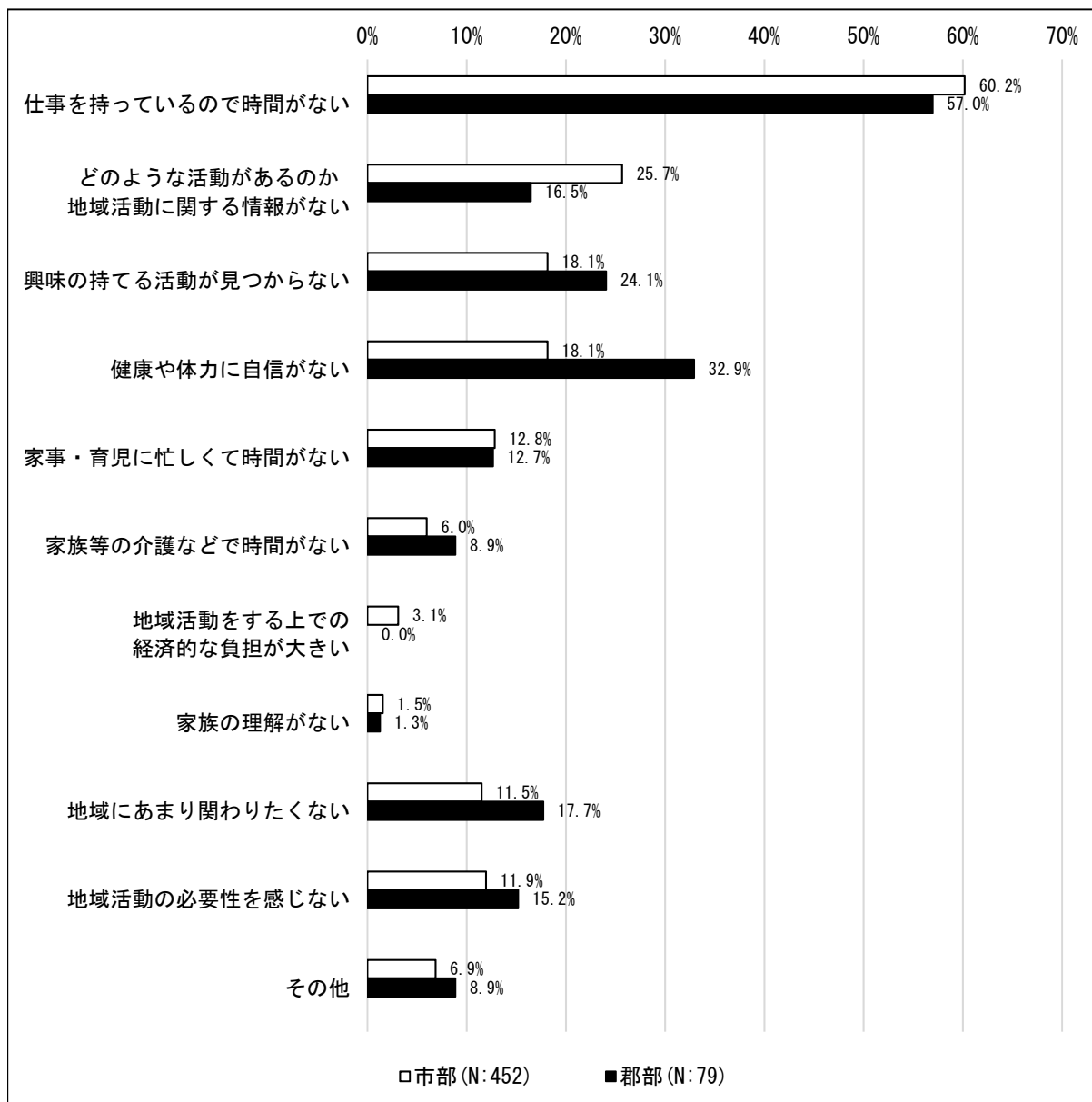
70歳未満は「仕事を持っているので時間がない」、「70歳以上」は「健康や体力に自信がない」が最も大きい。次いで、60歳未満は「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、「60代」は「健康や体力に自信がない」、「70歳以上」は「興味を持てる活動が見つからない」となっている。「30代」は「家事・育児に忙しくて時間がない」が他年代より大きくなっている。

【地域別】



全地域で「仕事を持っているので時間がない」が最も大きく、次いで「東青地域」、「中南部地域」は「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、「西北部地域」、「上北部地域」、「三八地域」は「健康や体力に自信がない」、「下北部地域」は「興味を持てる活動が見つからない」となっている。

【市部・郡部別】



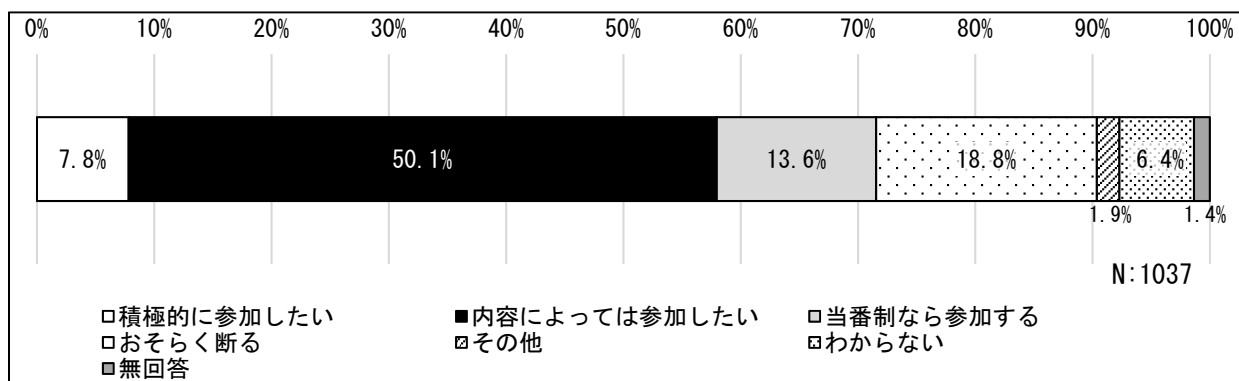
「市部」、「郡部」とともに「仕事を持っているので時間がない」が最も大きく、次いで「市部」は「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、さらに「興味を持てる活動が見つからない」と「健康や体力に自信がない」が同率となっている。「郡部」は「健康や体力に自信がない」、「興味を持てる活動が見つからない」の順となっている。

【自由回答より】

- ・病気のため。
- ・引っ越ししてきたばかりでまだ参加できていない。
- ・地域にあまり関わりたくない理由は高齢者ばかりだからです。

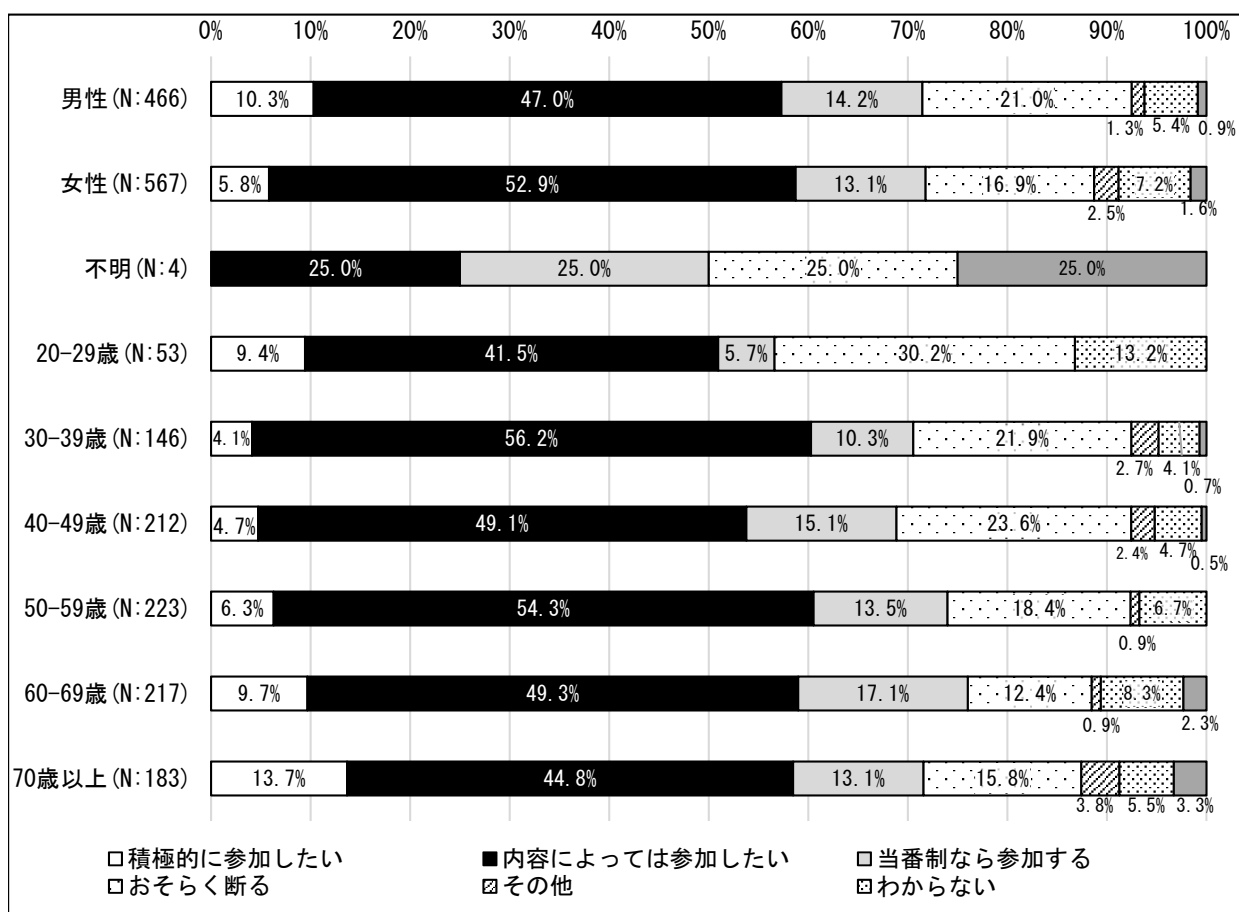
問7. 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたはどうしますか。（1つ）

・地域活動への参加



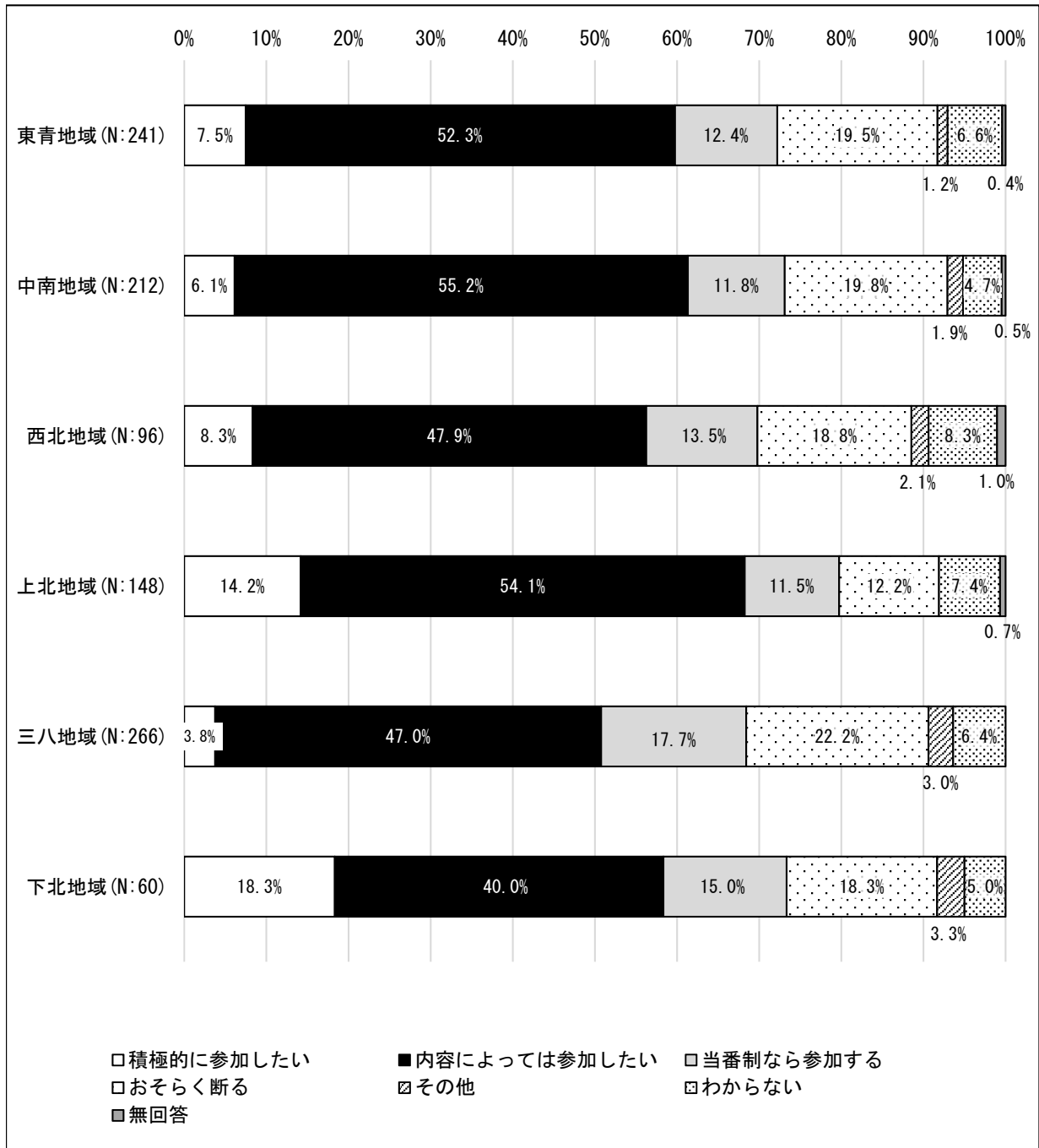
「内容によっては参加したい」が50%、「おそらく断る」が19%、「当番制なら参加する」が14%、「積極的に参加したい」が8%となっている。

【男女別・年代別】



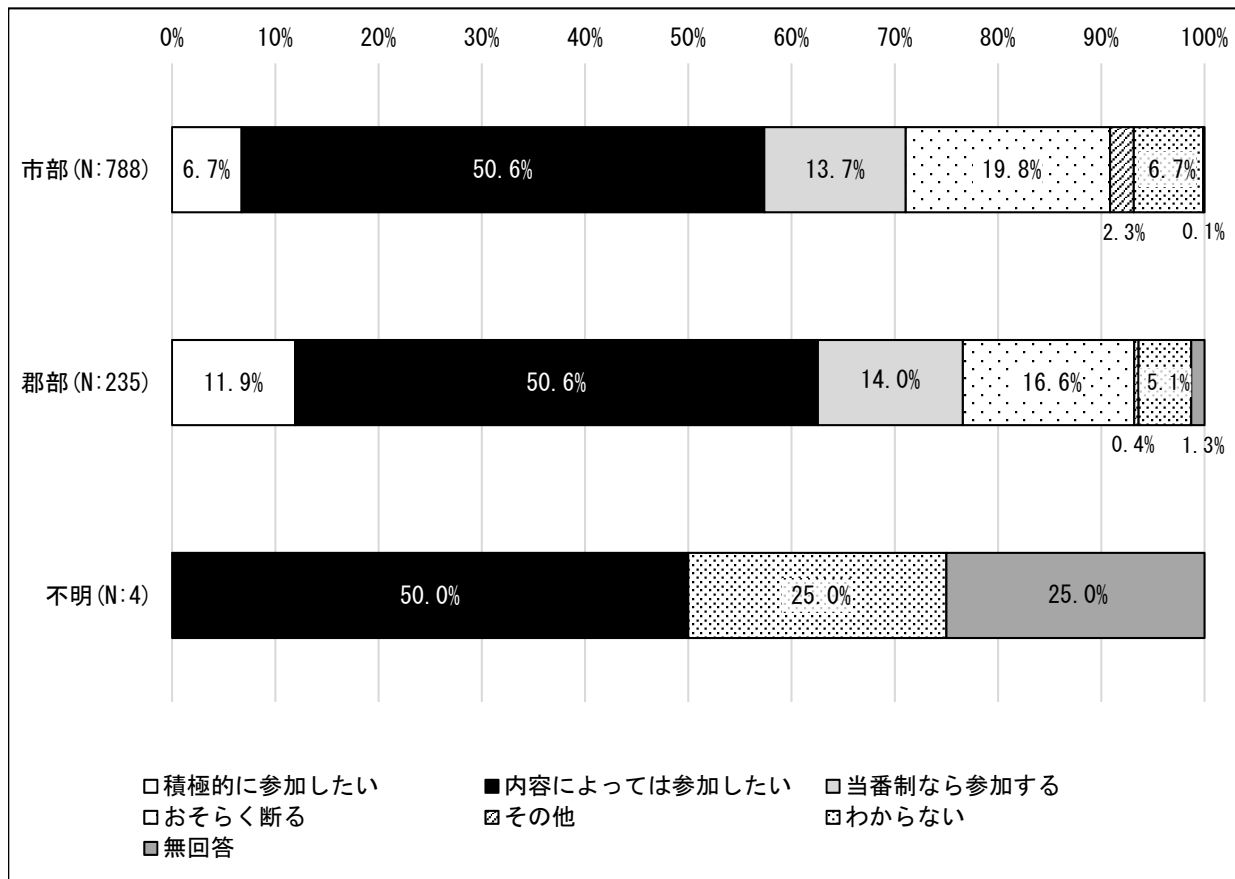
男女ともに「内容によっては参加したい」が最も大きく、次いで「おそらく断る」の順となっている。年代別に見ると、全ての年代で「内容によっては参加したい」が最も大きくなっている。「20代」は「おそらく断る」が他年代より大きくなっている。

【地域別】



「下北地域」は「積極的に参加したい」が他地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



「郡部」は「積極的に参加したい」が「市部」より大きくなっている。一方、「市部」は「おそらく断る」が「郡部」より大きくなっている。

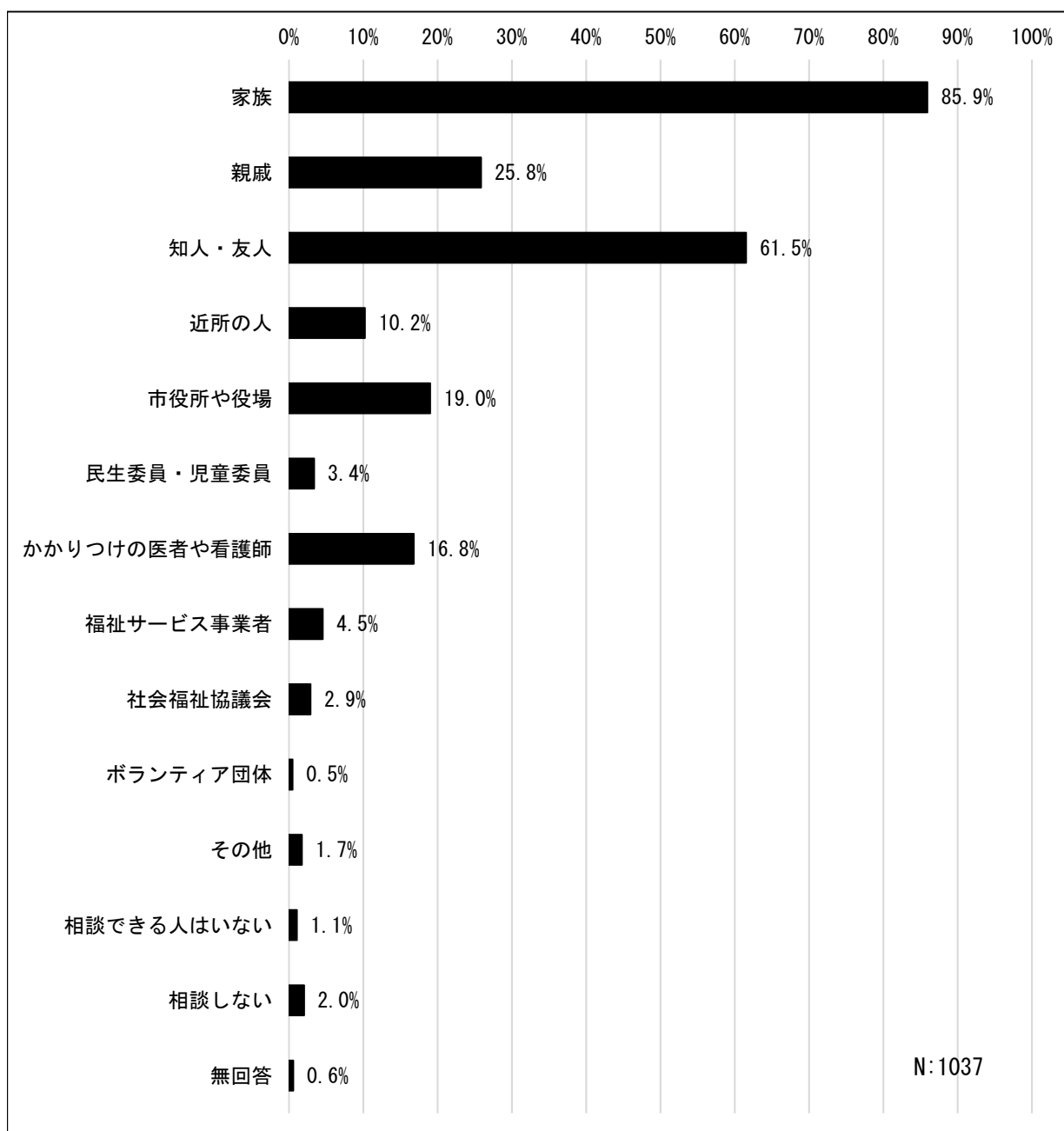
【自由回答より】

- ・都合がつけば参加。
- ・時間などが合えば参加したい。
- ・高齢のため参加できない。
- ・なるべく参加したい。

< 3 >地域の支え合いに関するあなたのお考えについて

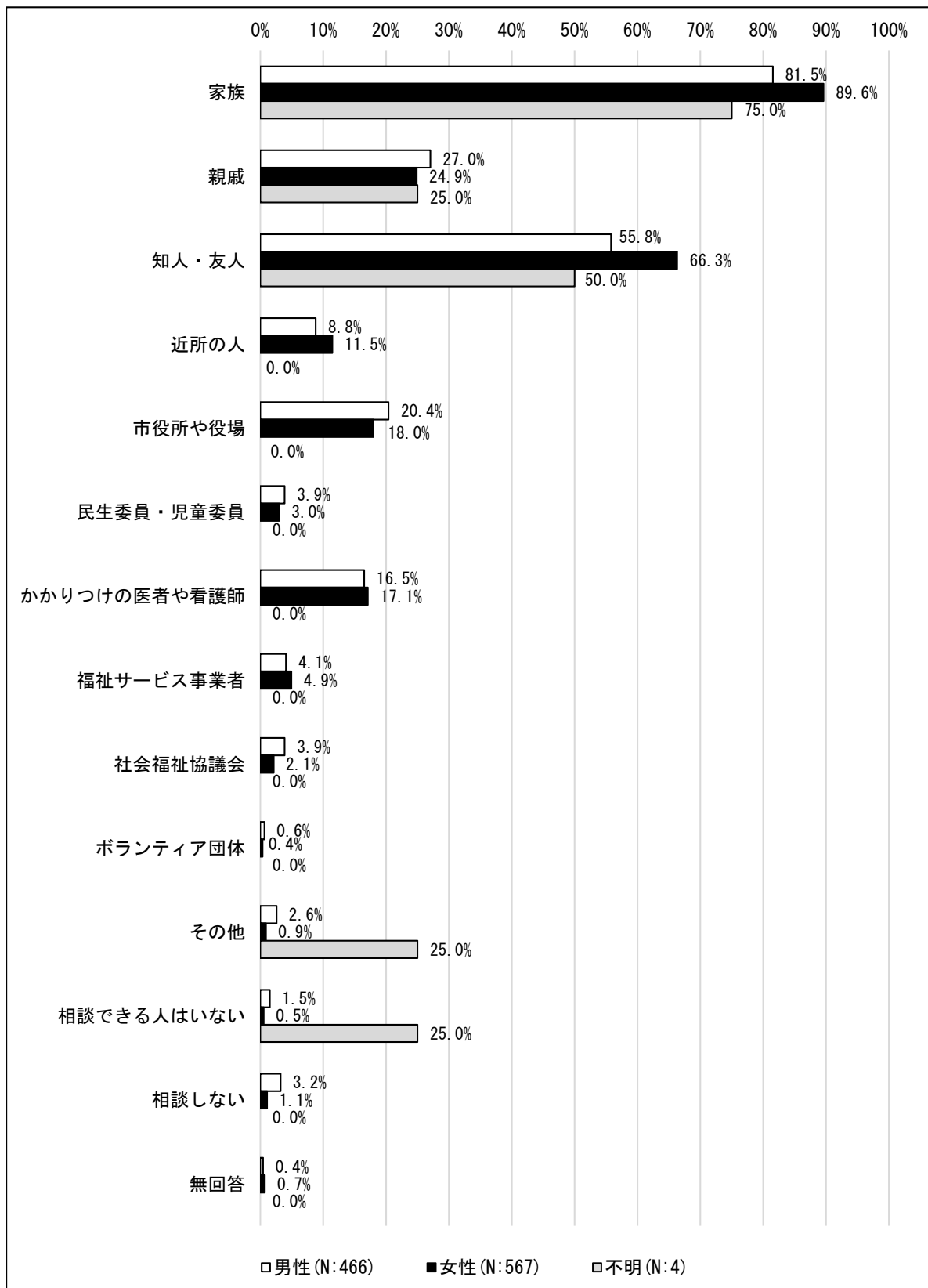
問 8. 困っていることや不安なことがあるとき、あなたは誰に相談しますか。
(あてはまるものすべて)

・困っている時や不安なときの相談相手



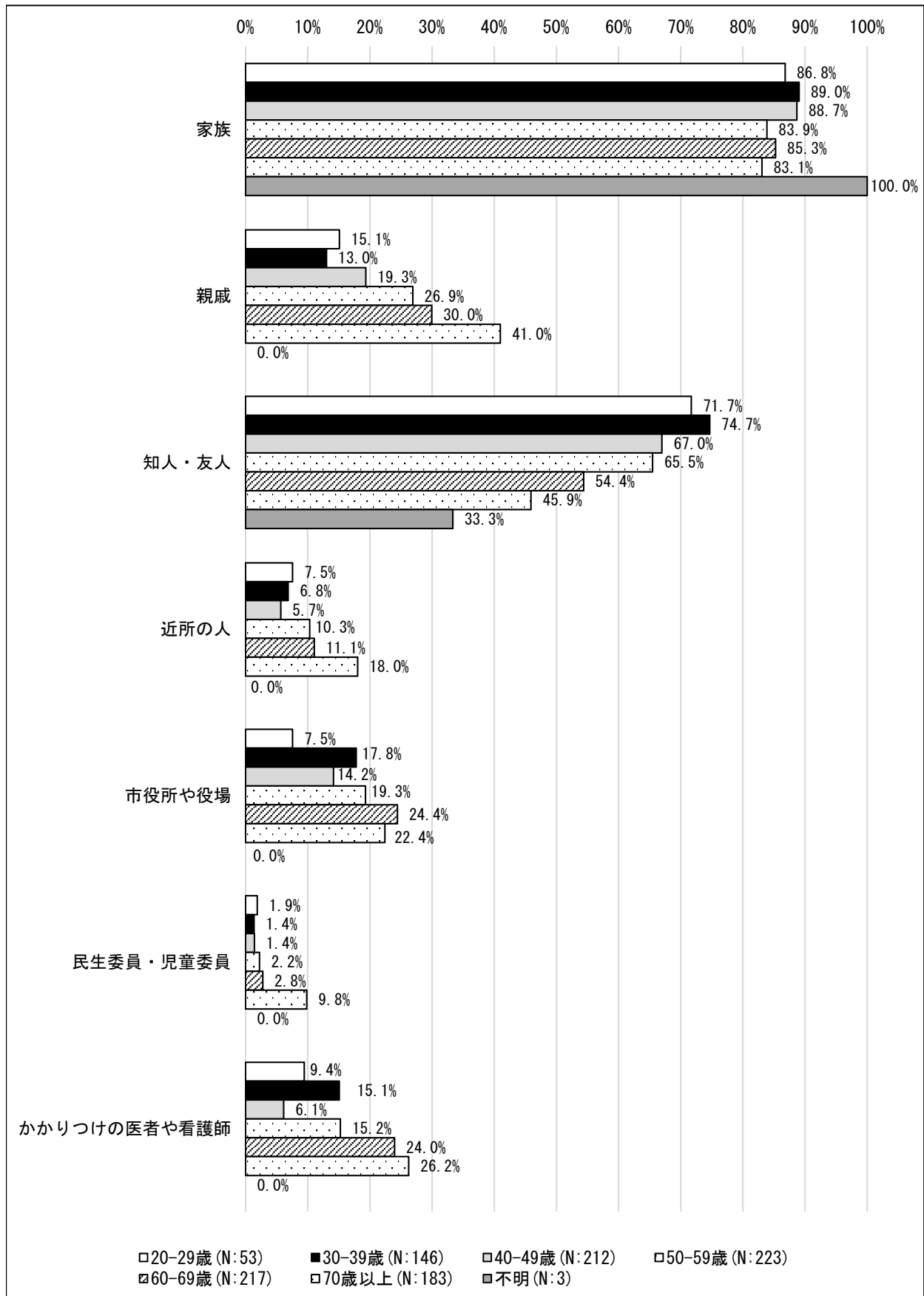
「家族」が86%、「知人・友人」が62%、「親戚」が26%、「市役所や役場」が19%となっている。

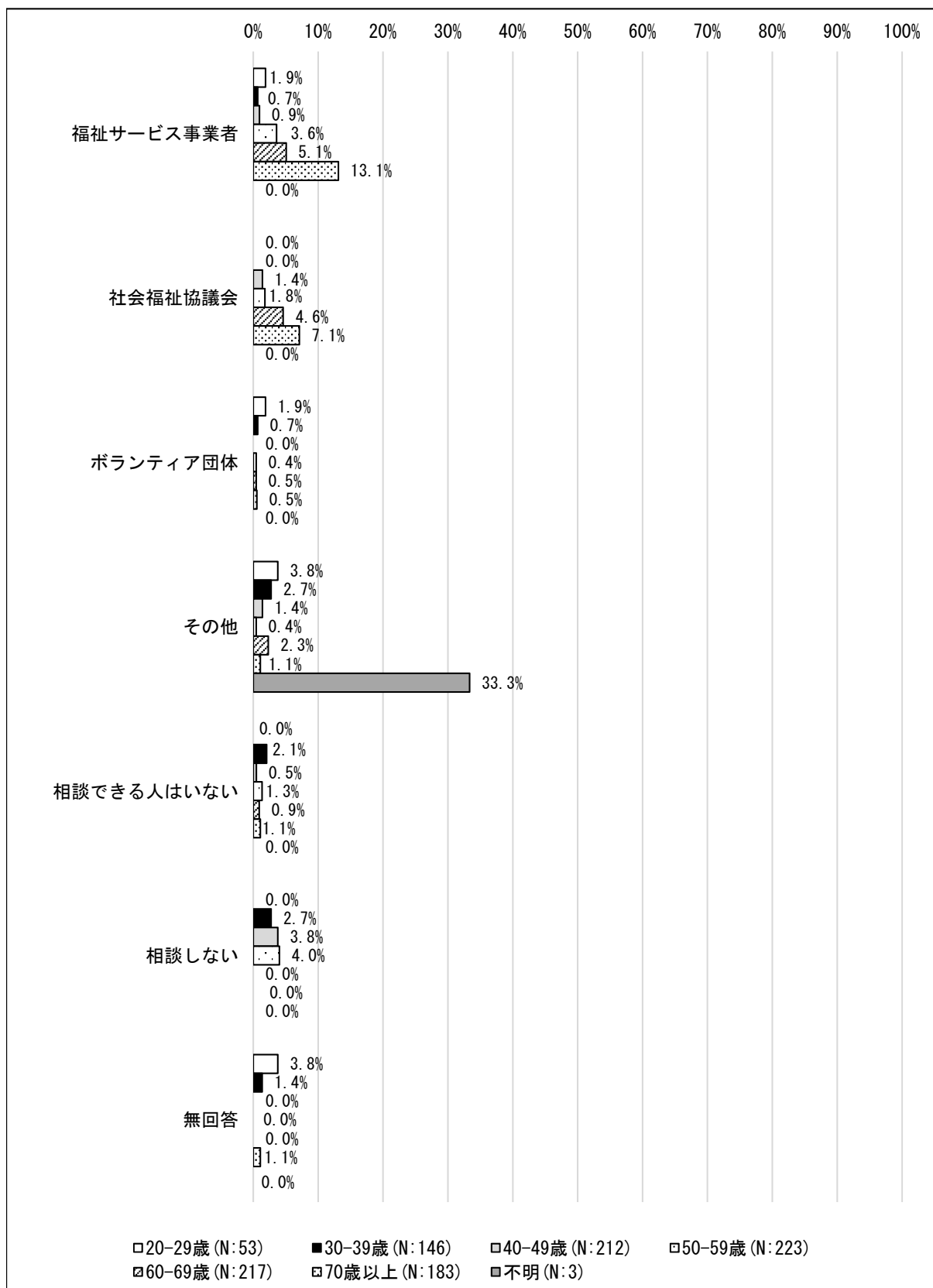
【男女別】



男女ともに「家族」が最も大きく、次いで「知人・友人」、「親戚」の順となっている。

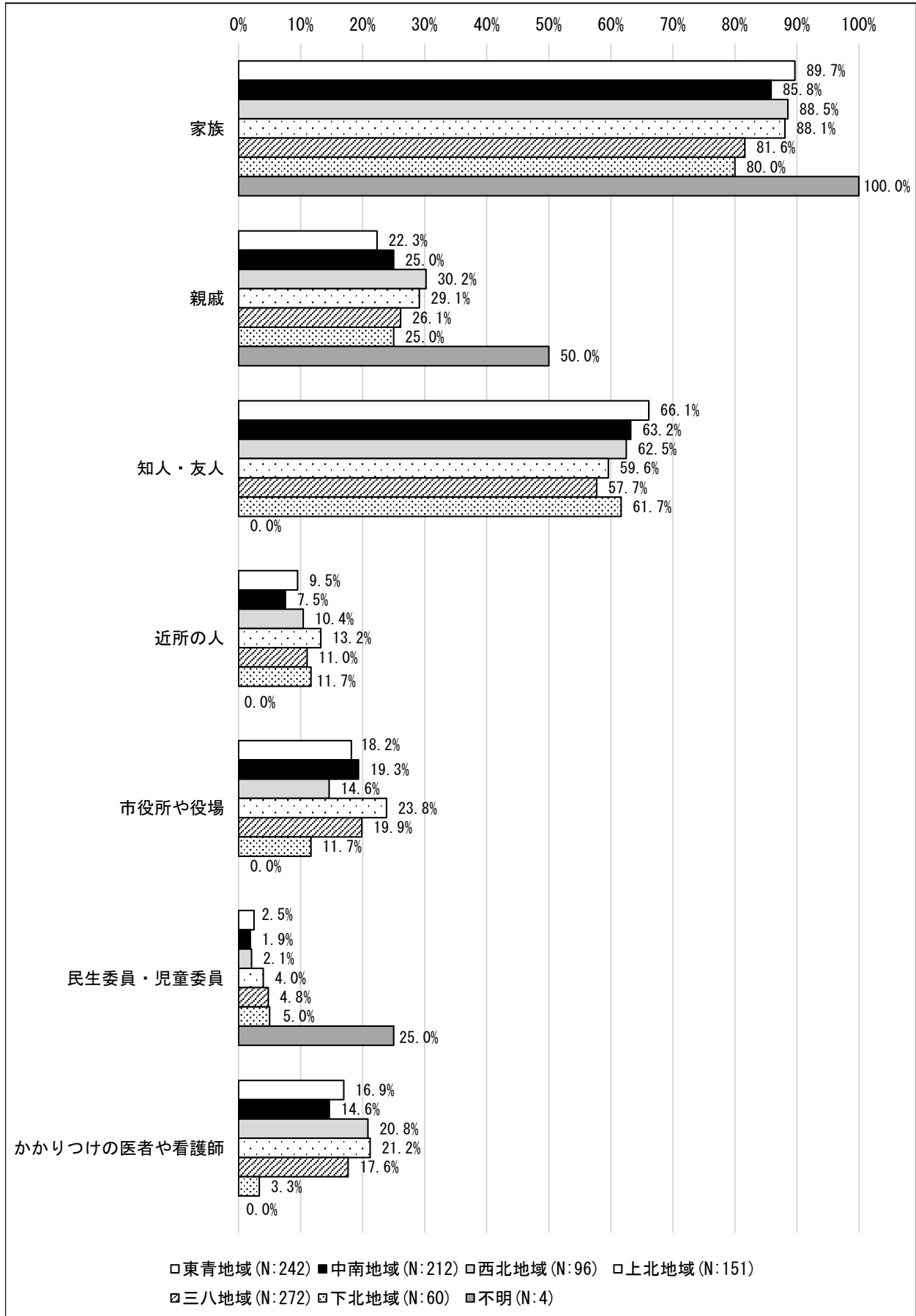
【年代別】

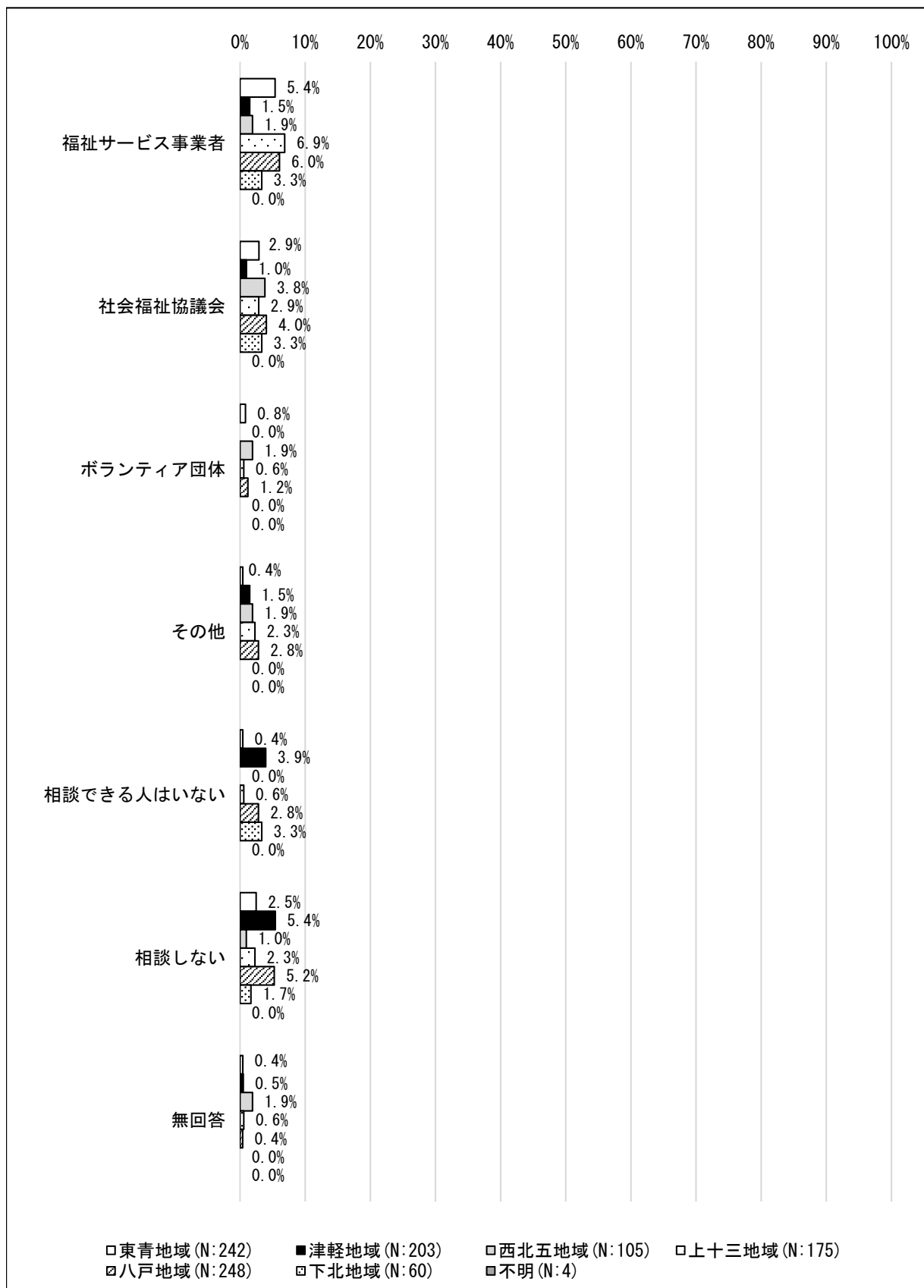




全ての年代で「家族」が最も大きく、次いで「知人・友人」の順となっている。「50代」以上は「親戚」が他年代より大きくなっている。また、「60代」以上は「市役所や役場」、「かかりつけの医者や看護師」が、更に、「70歳以上」は「福祉サービス事業者」、「社会福祉協議会」が他年代より大きくなっている。

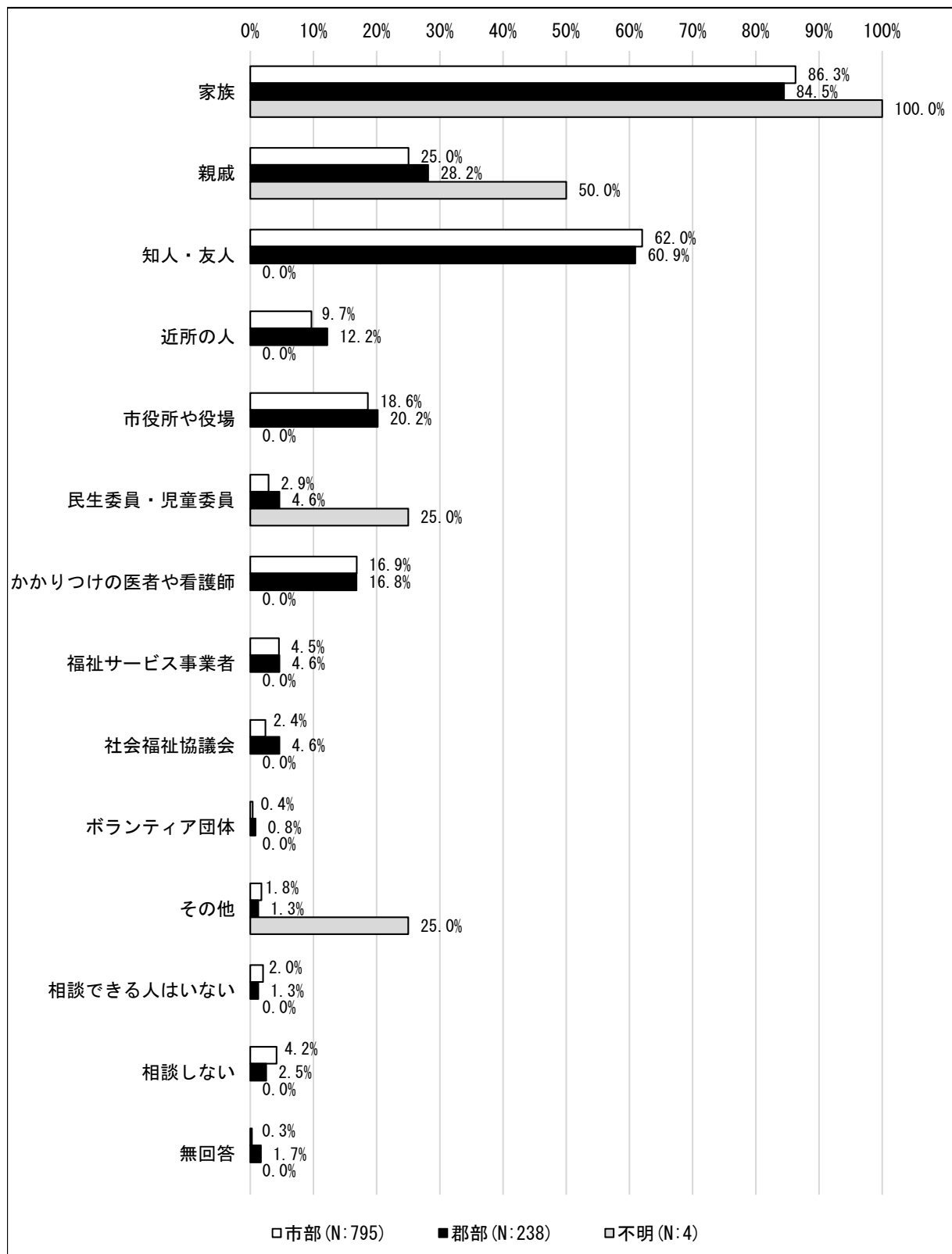
【地域別】





全ての地域で「家族」、「知人・友人」、「親戚」の順に大きく、次いで「西北地域」は「かかりつけの医者や看護師」、「下北地域」は「近所の人」と「市役所や役場」が同率、その他地域は「市役所や役場」となっている。

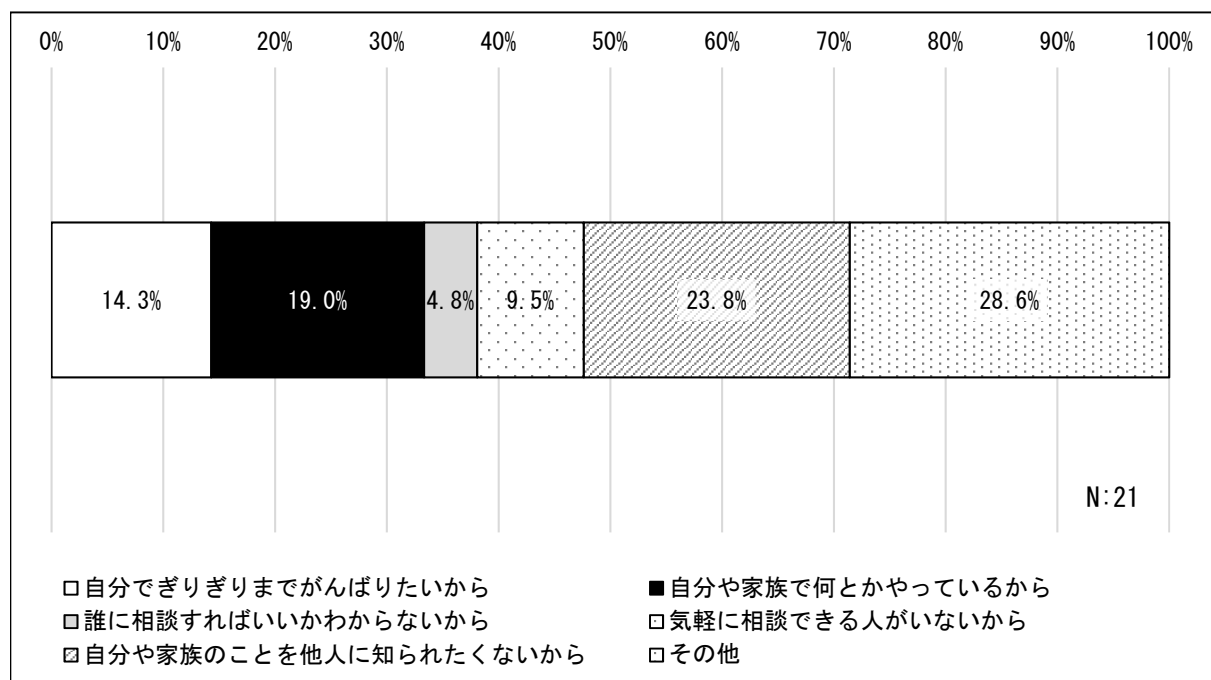
【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「家族」が最も大きく、次いで「知人・友人」、「親戚」の順となっている。「市役所や役場」、「社会福祉協議会」は、「郡部」が「市部」より大きくなっている。

問 8-1. 問 8 で「相談しない」を選んだ方におうかがいします。その理由は何ですか。（1つ）

・困っている時や不安なときに相談しない理由



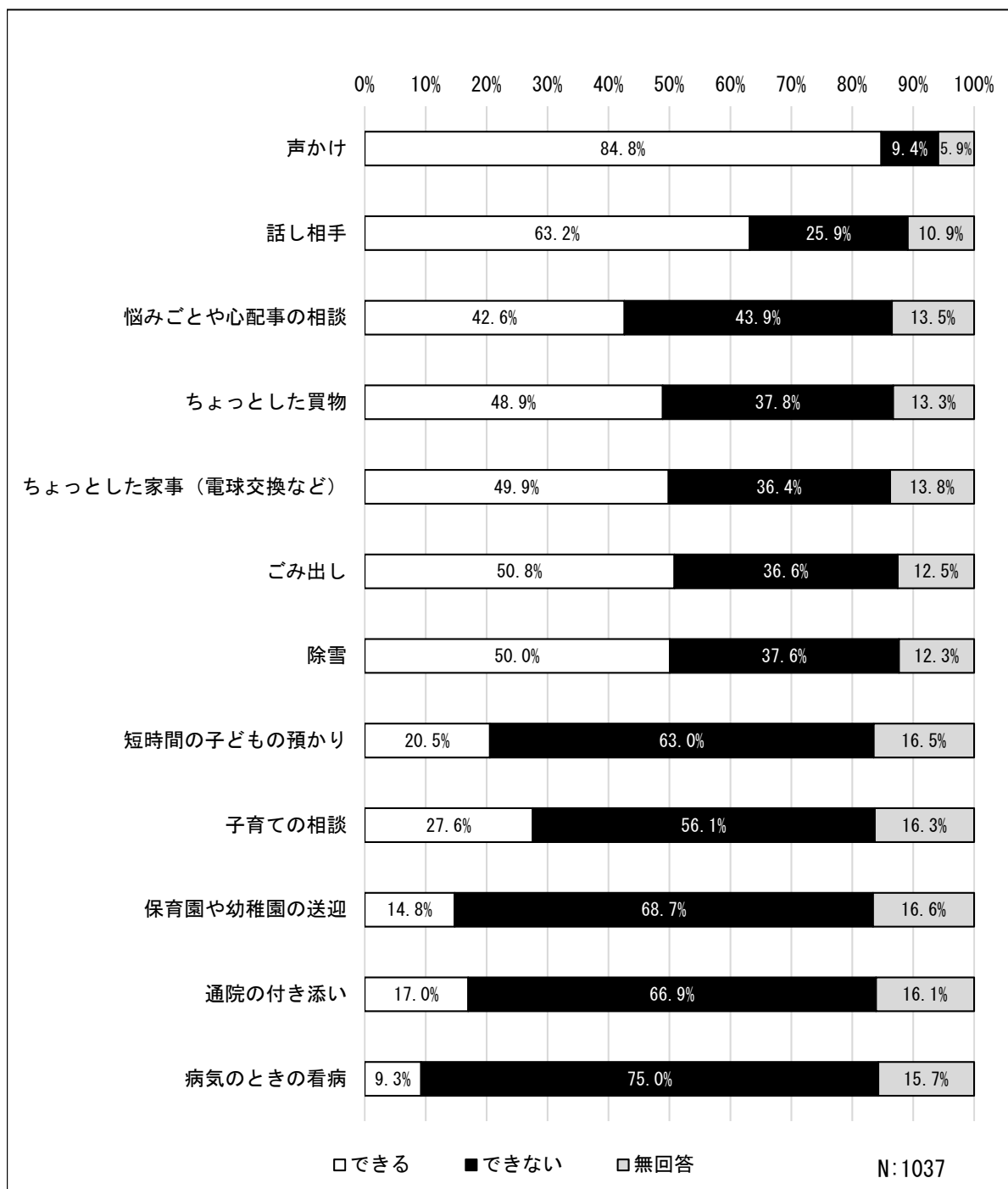
「その他」が29%、「自分や家族のことを他人に知られたくないから」が24%、「自分や家族で何とかやっているから」が19%となっている。

【自由回答より】

- ・相談して解決する問題ではない。
- ・育児の悩みを話したところで、根本の原因は経済・睡眠時間のことであり、相談したところで子供の面倒を見てくれるわけではないし、市の職員の対応レベルを信頼していないから。

問9. 隣近所で困っている人がいる場合に、①あなたが手助けできることは何ですか。また、②隣近所の人に手助けしてほしいことは何ですか。（①について項目ごとに「できる」「できない」のいずれか1つ、②について項目ごとに「してほしい」「いらない」のいずれか1つ）

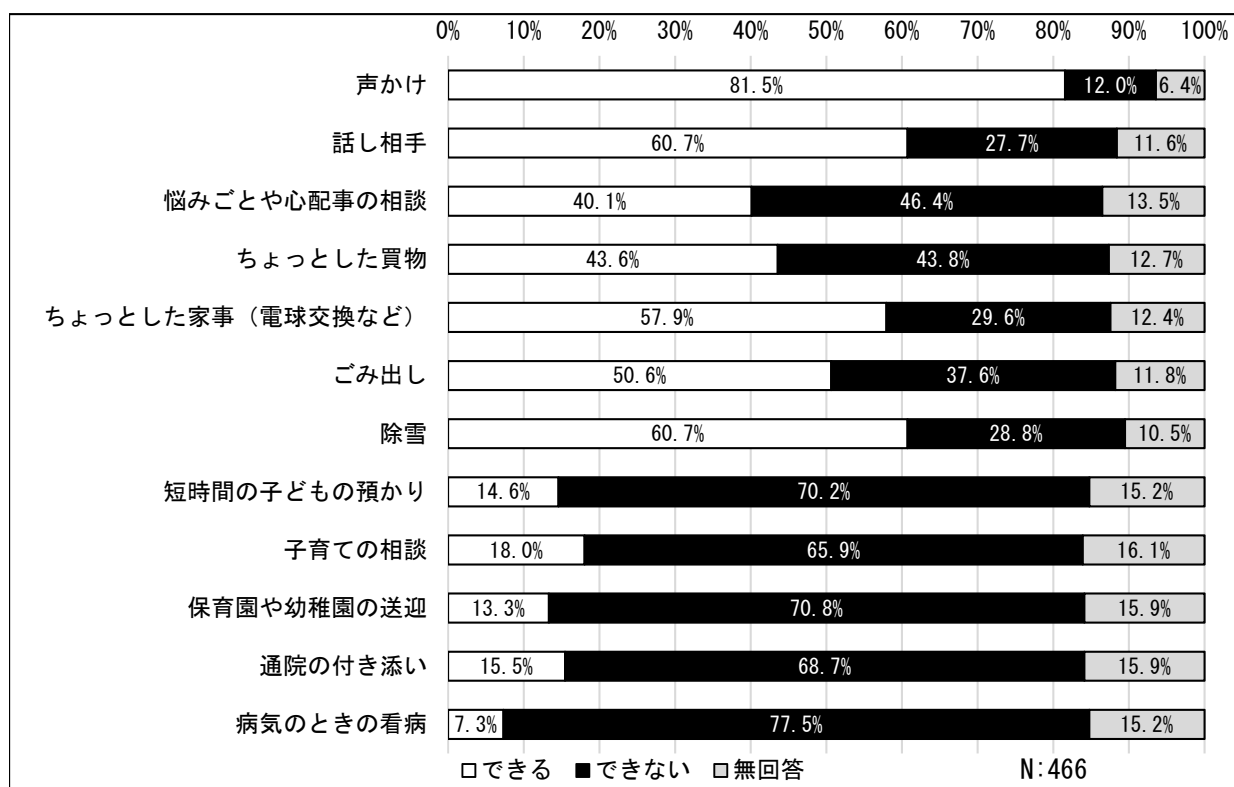
・隣近所で困っている場合（あなたが手助けできること）



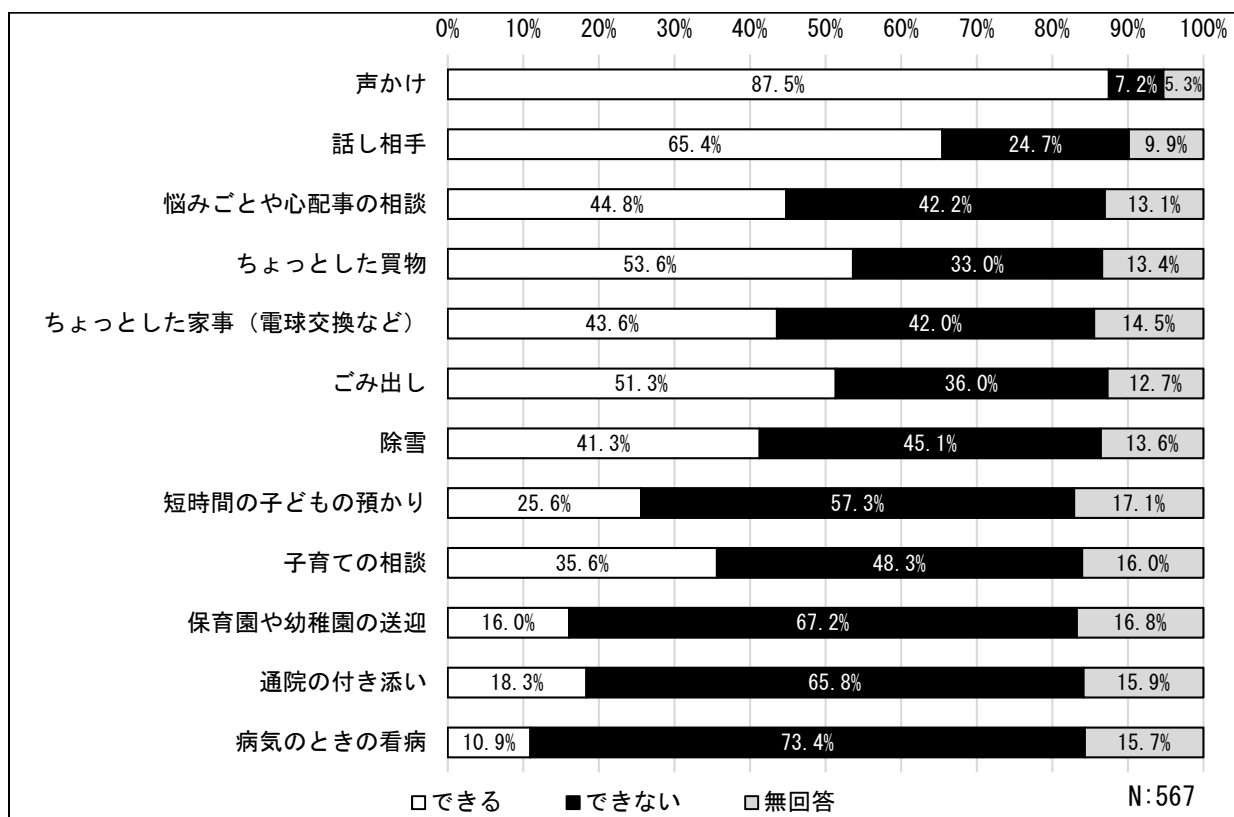
「声かけ」が85%、「話し相手」が63%、「ごみ出し」が51%と大きくなっている。一方、「病気のときの看病」、「保育園や幼稚園の送迎」、「通院の付き添い」、「短時間の子どもの預かり」が小さくなっている。

【男女別】（手助けできること）

（男性）



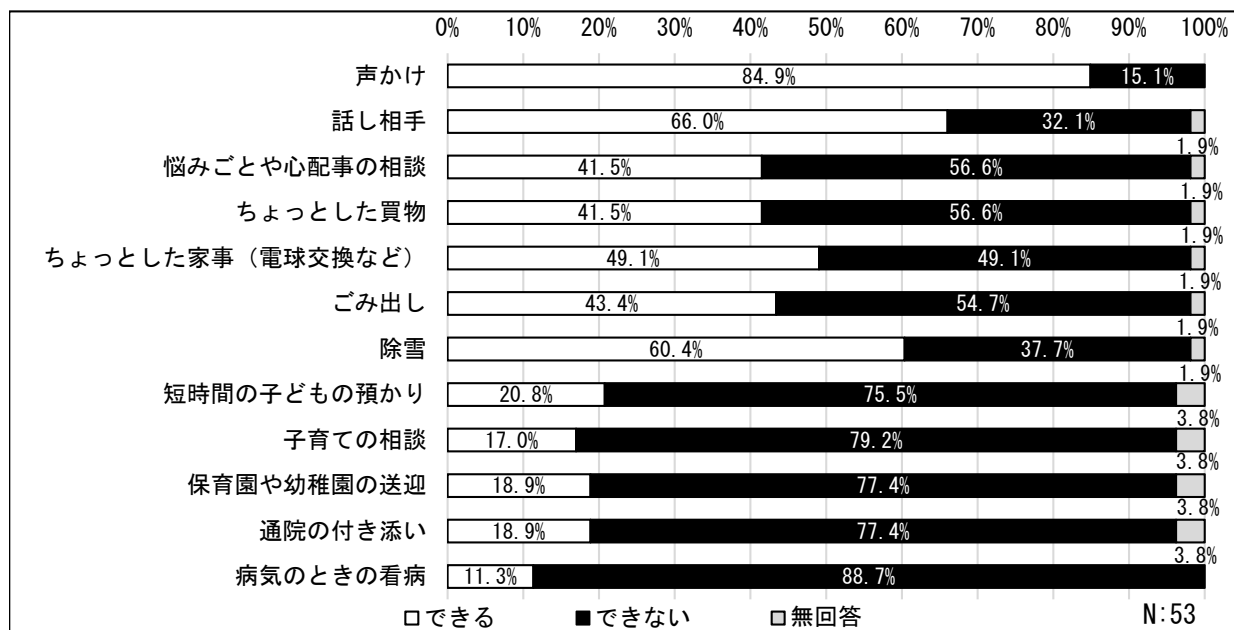
（女性）



男女ともに「声かけ」が最も大きく、次いで男性は「話し相手」と「除雪」が同率となっている。女性は、「話し相手」、「ちょっとした買物」の順となっている。

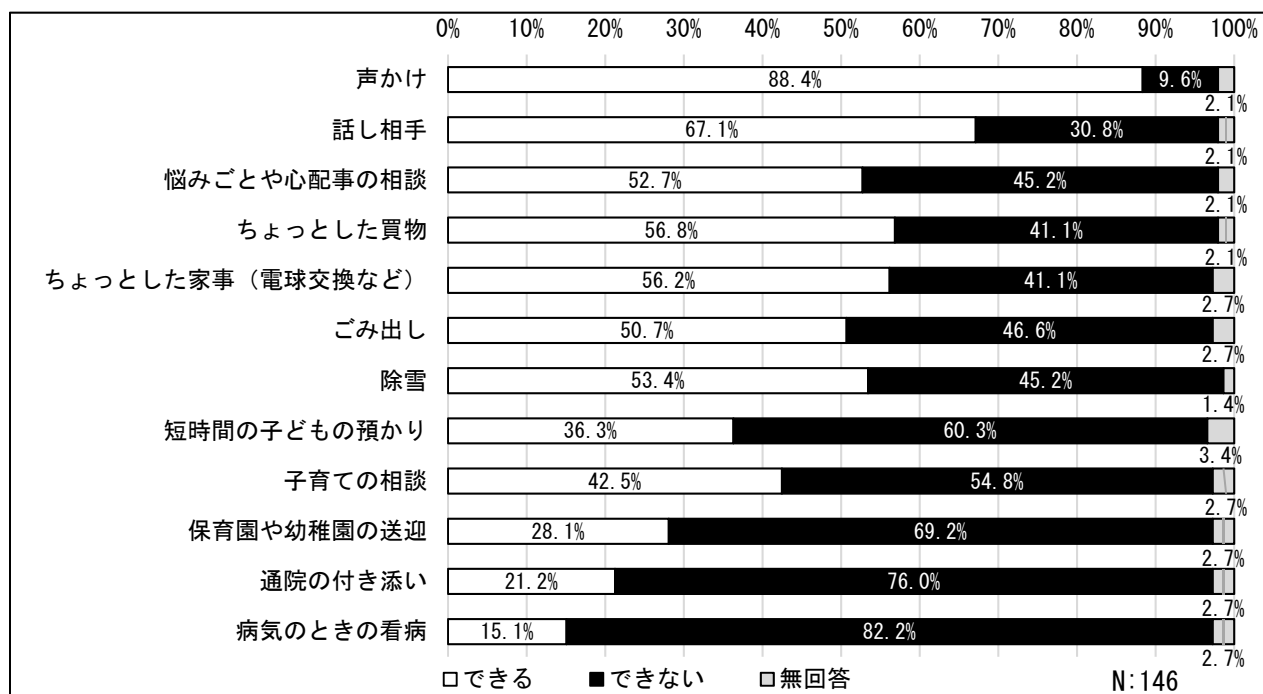
【年代別】（手助けできること）

（20-29 歳）



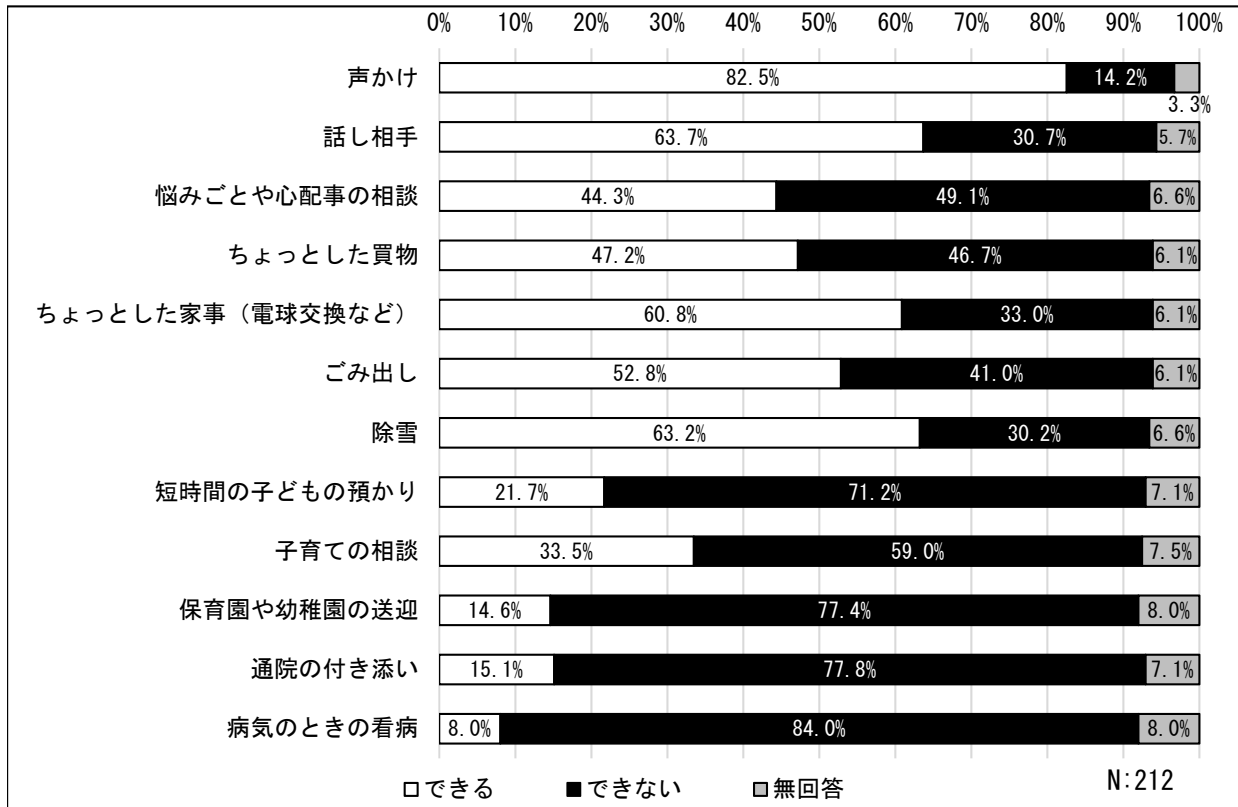
「できる」こととして、「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」、「ちょっとした家事（電球交換など）」の順となっている。「除雪」は、「40代」とともに他年代より大きくなっている。

（30-39 歳）



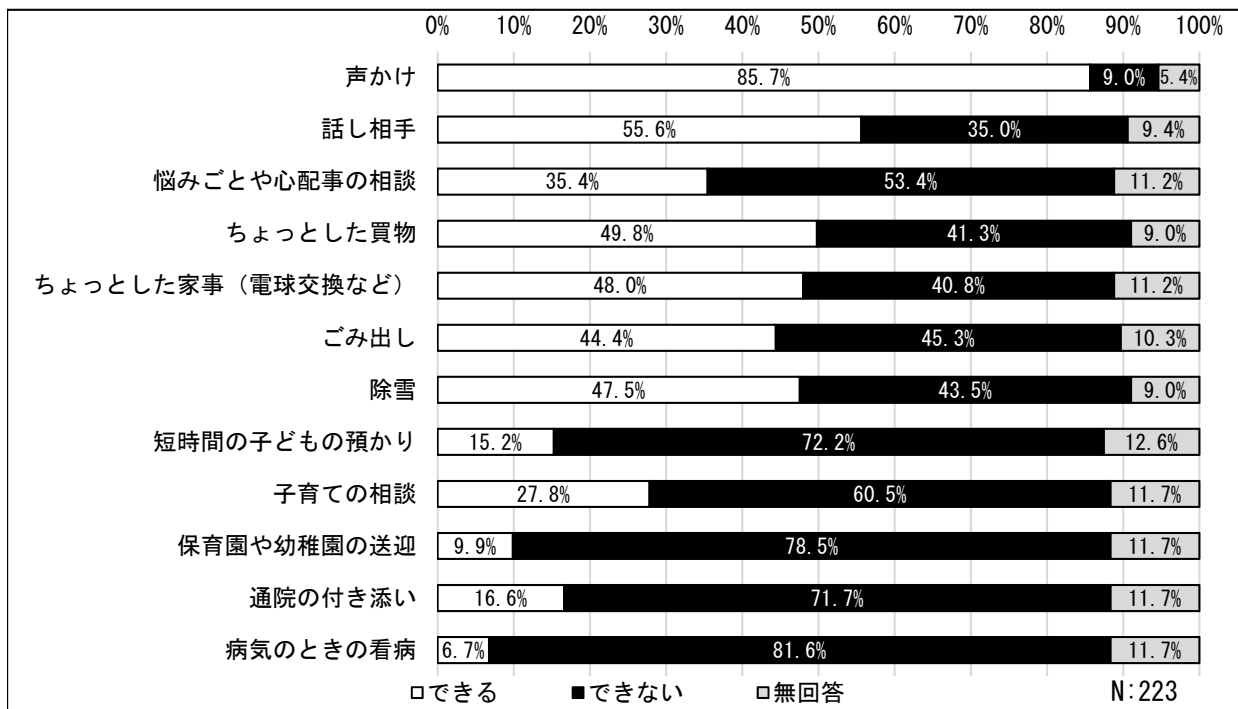
「できる」こととして、「声かけ」、「話し相手」、「ちょっとした買物」、「ちょっとした家事（電球交換など）」、「除雪」、「悩みごとや心配事の相談」、「ごみ出し」が大きく、「できる」が「できない」を上回っている。「子育ての相談」は他年代より大きくなっている。

(40-49 歳)



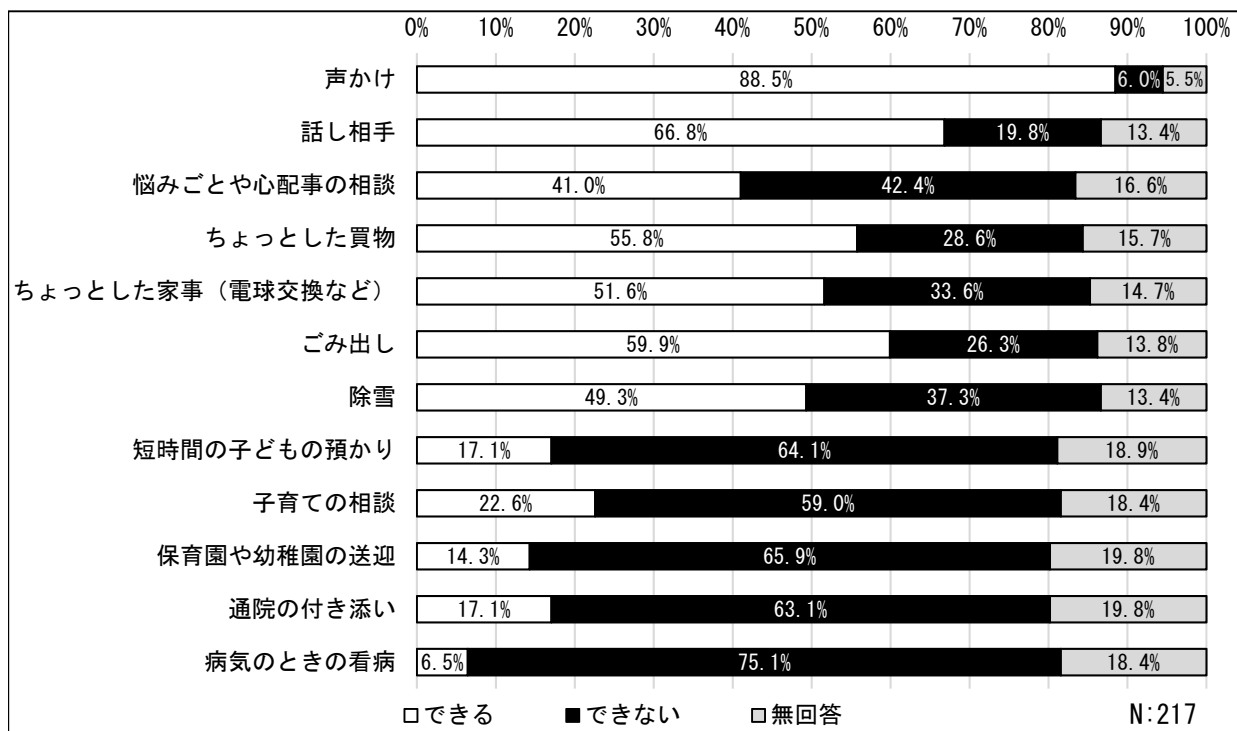
「子育ての相談」が「30代」、「50代」とともに他年代より大きくなっている。

(50-59 歳)



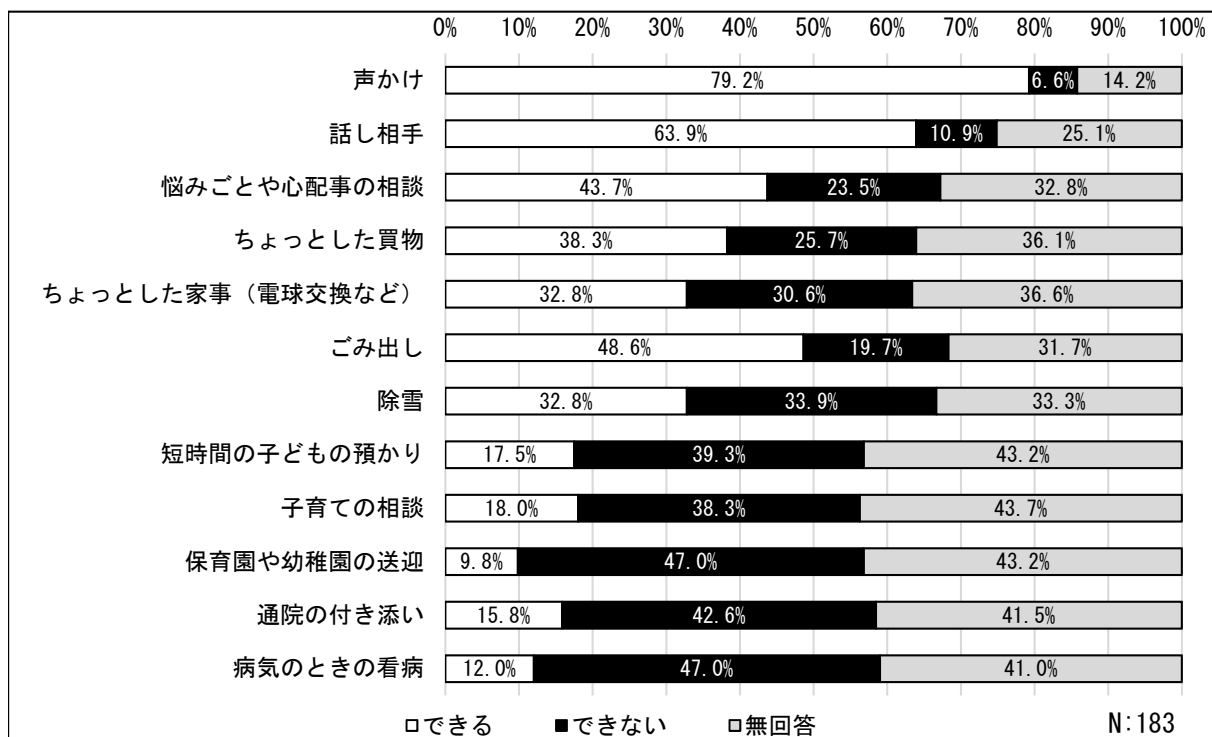
「子育ての相談」が「30代」、「40代」とともに他年代より大きくなっている。

(60-69 歳)



「話し相手」、「ごみ出し」が他年代より大きくなっている。

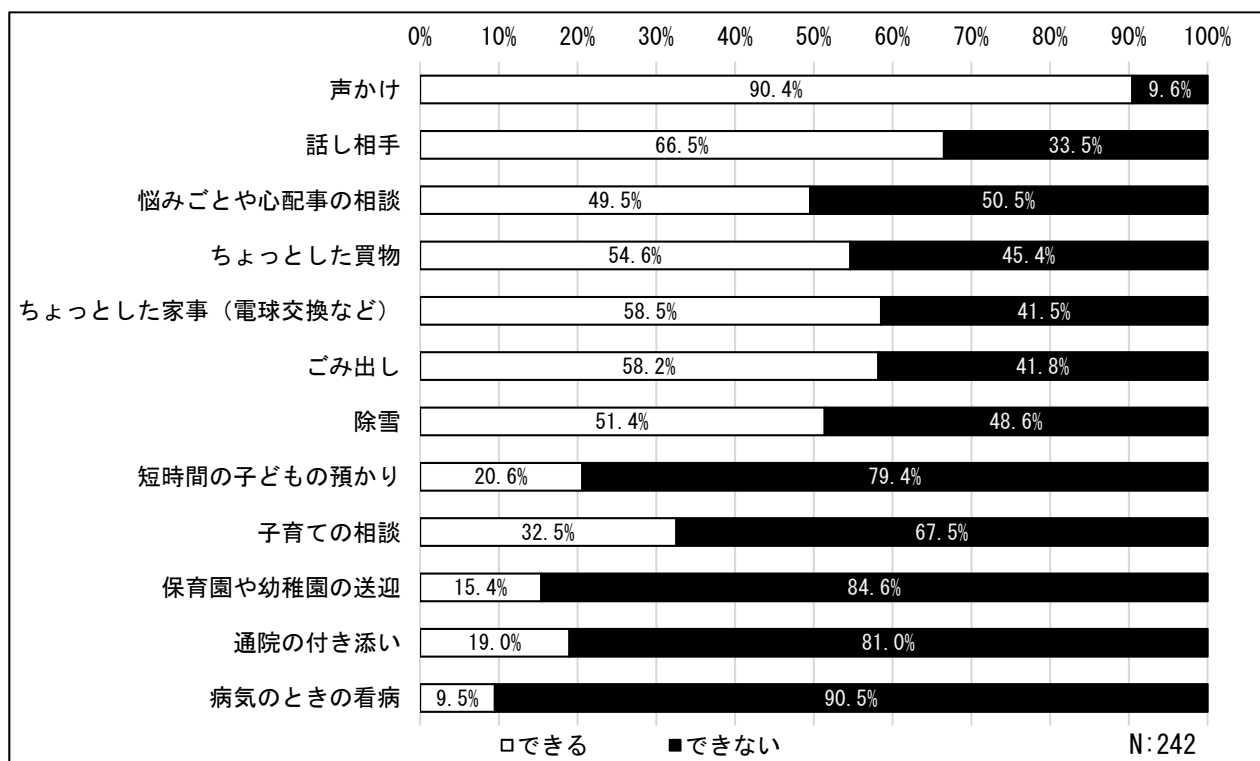
(70 歳以上)



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。

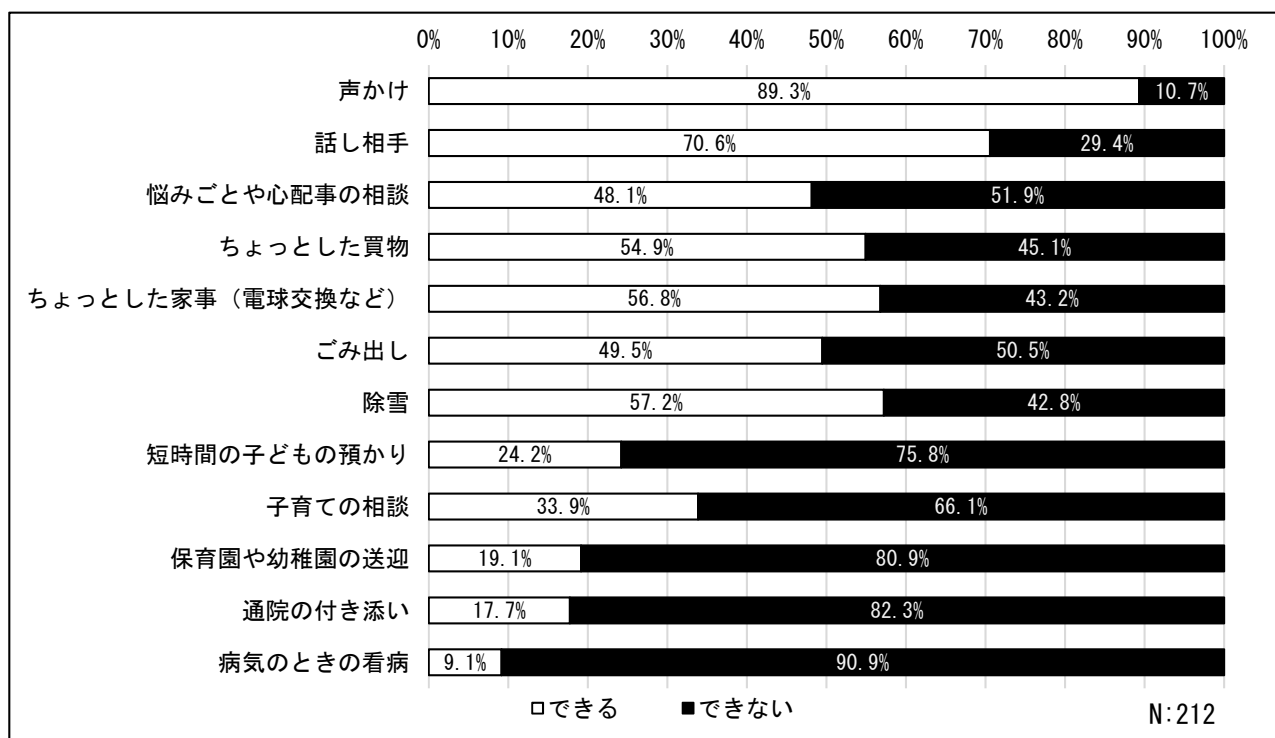
【地域別】（手助けできること）

（東青地域）



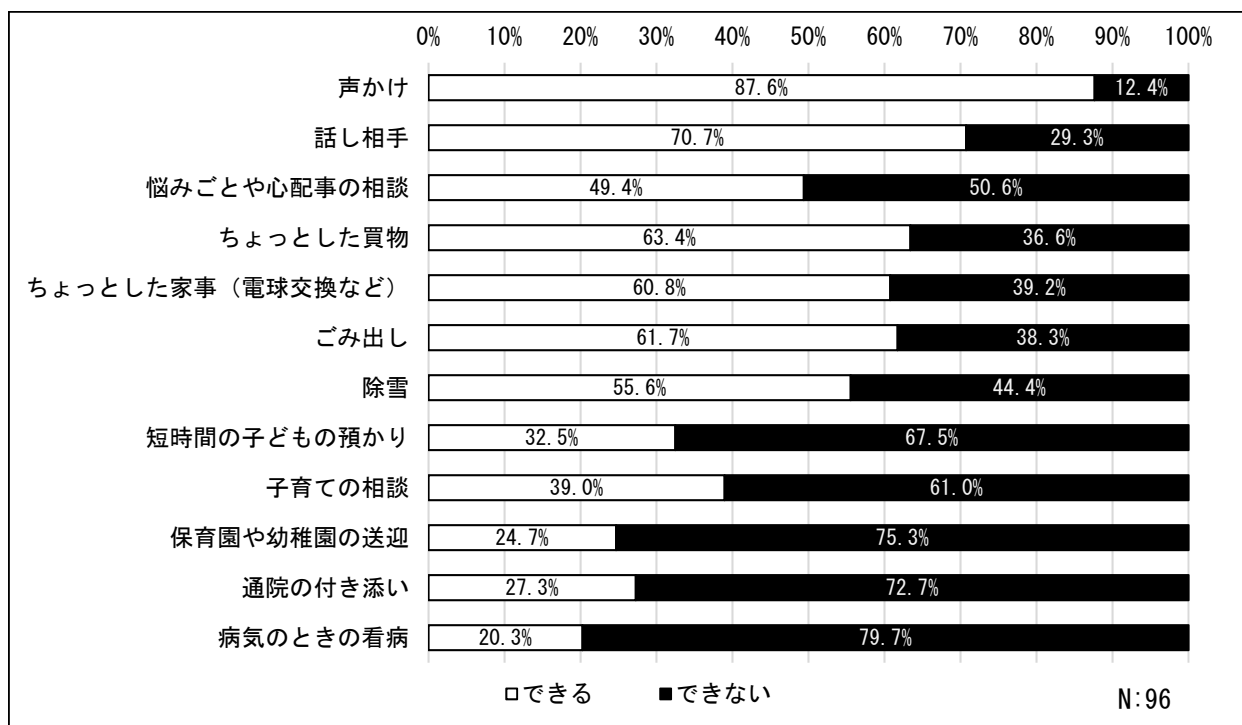
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ちょっとした家事（電球交換など）」の順となっている。

（中南地域）



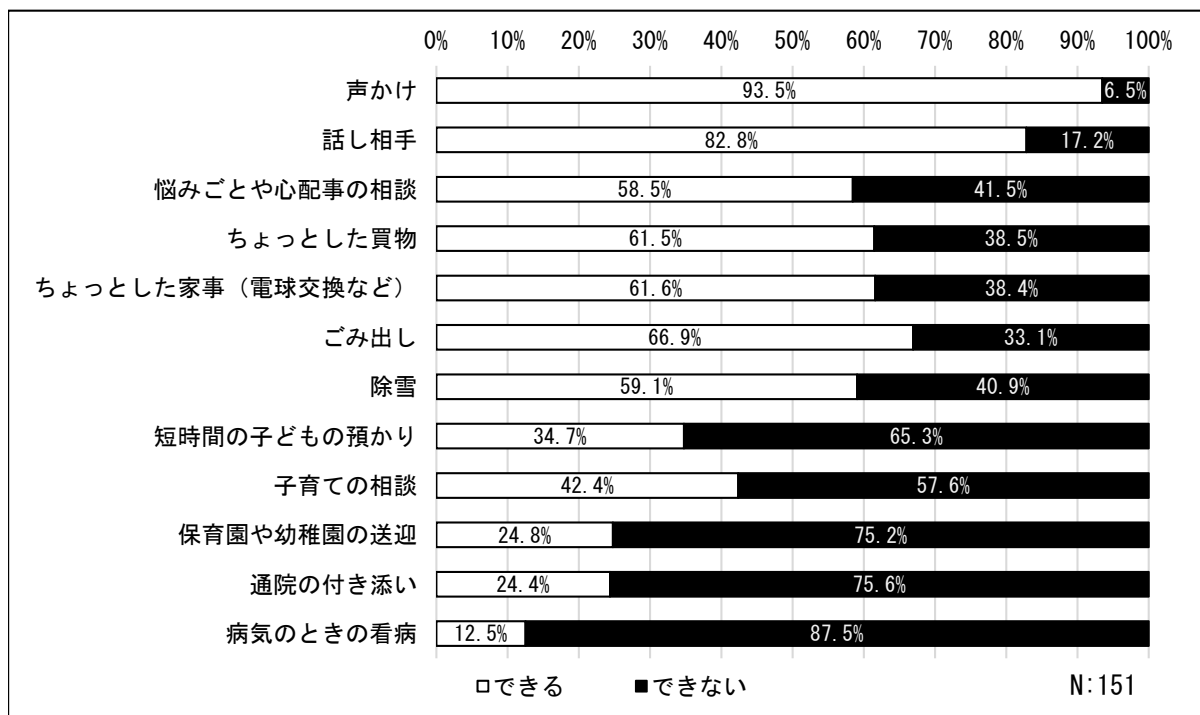
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

(西北地域)



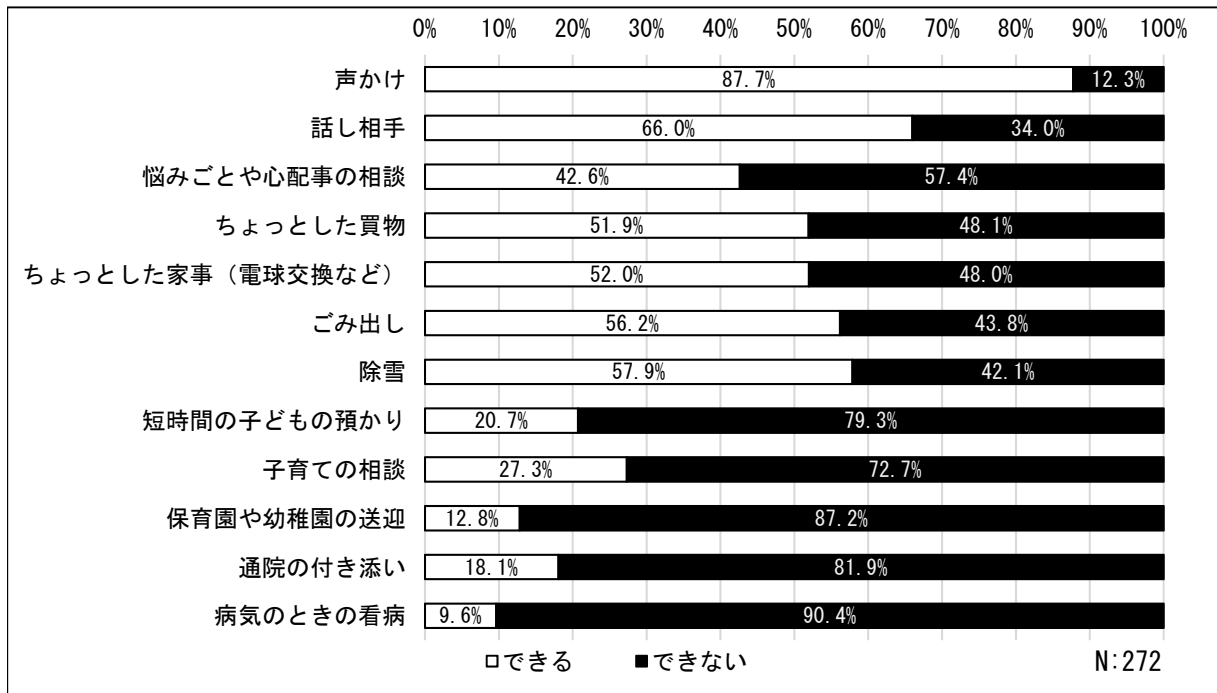
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ちょっとした買物」の順となっている。

(上北地域)



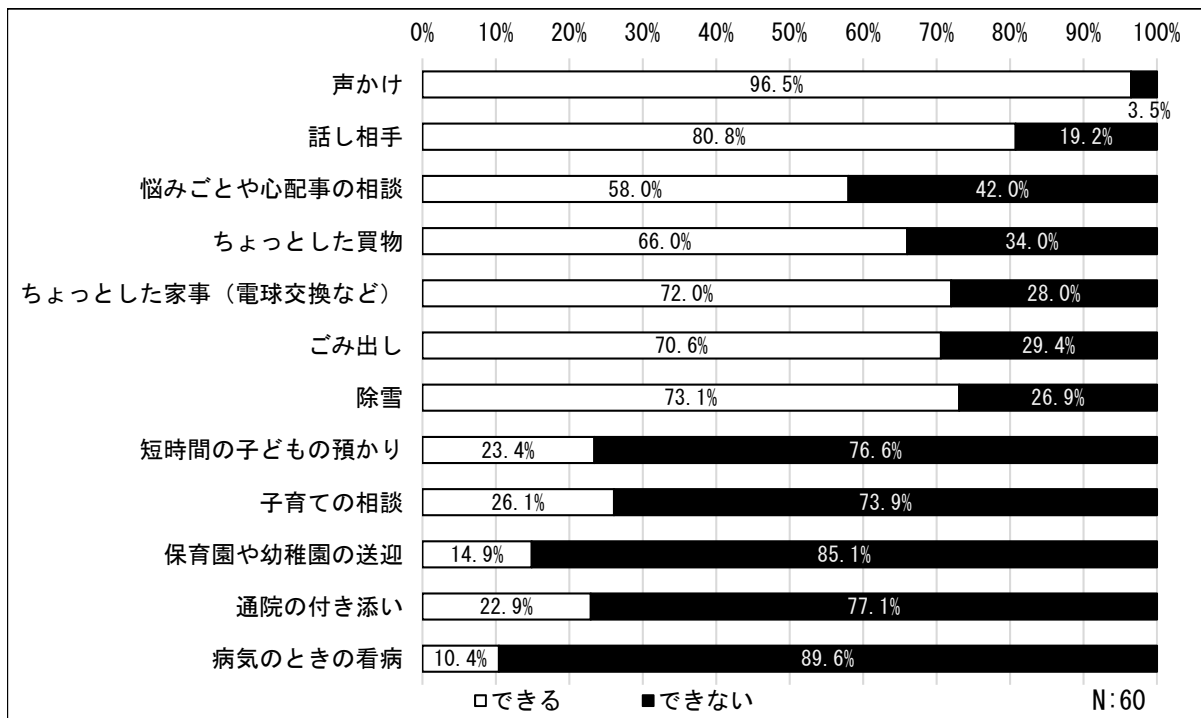
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。「短時間の子どもの預かり」、「保育園や幼稚園の送迎」も「西北地域」とともに他地域より大きくなっている。

(三八地域)



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

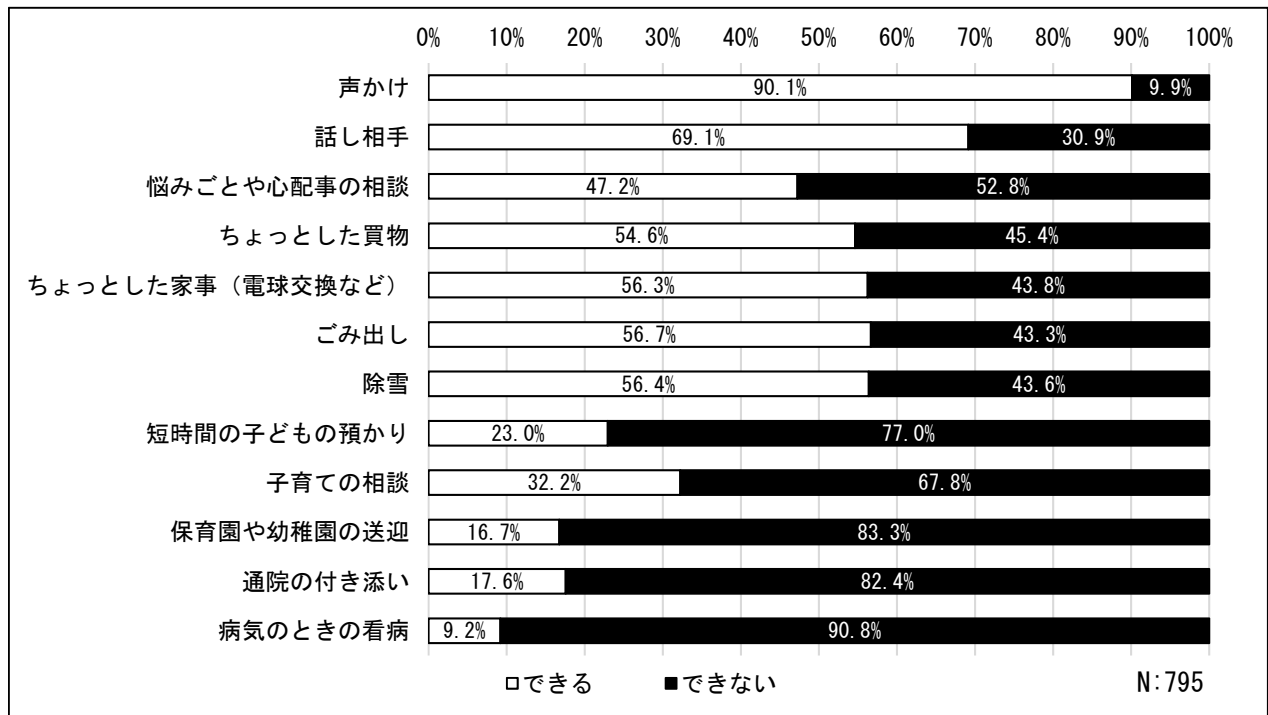
(下北地域)



「ちょっとした家事（電球交換など）」、「ごみ出し」、「除雪」が他地域より大きくなっている。

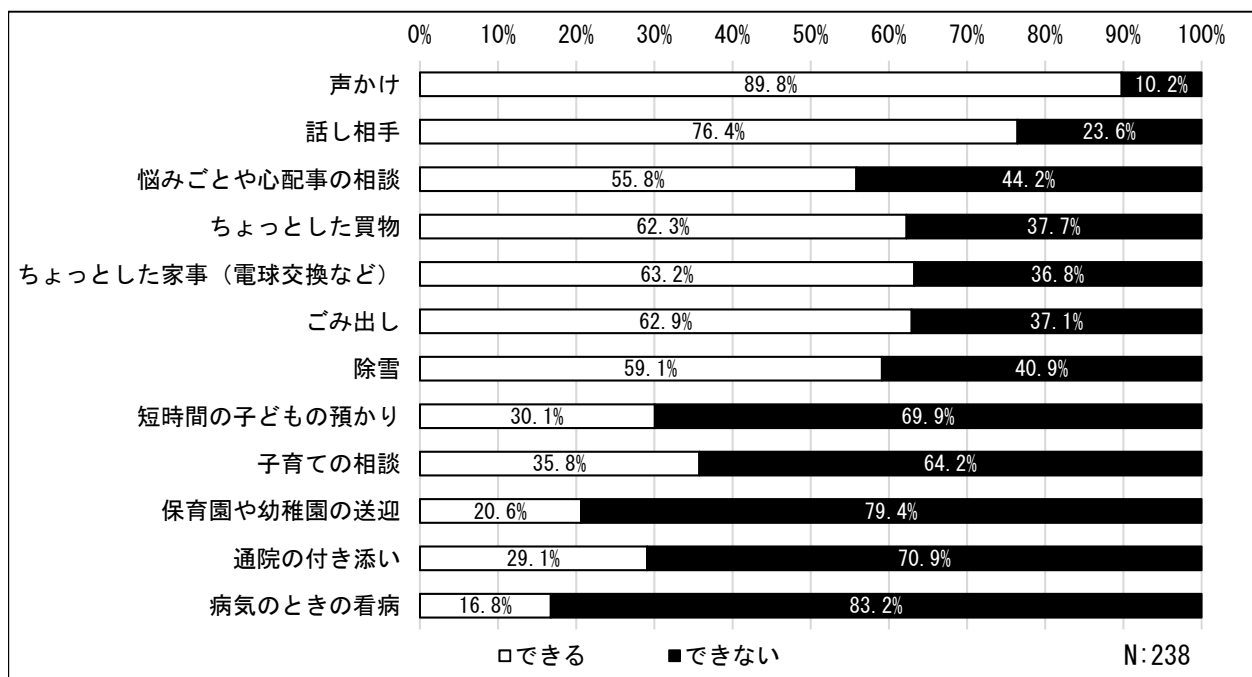
【市部・郡部別】（手助けできること）

（市部）



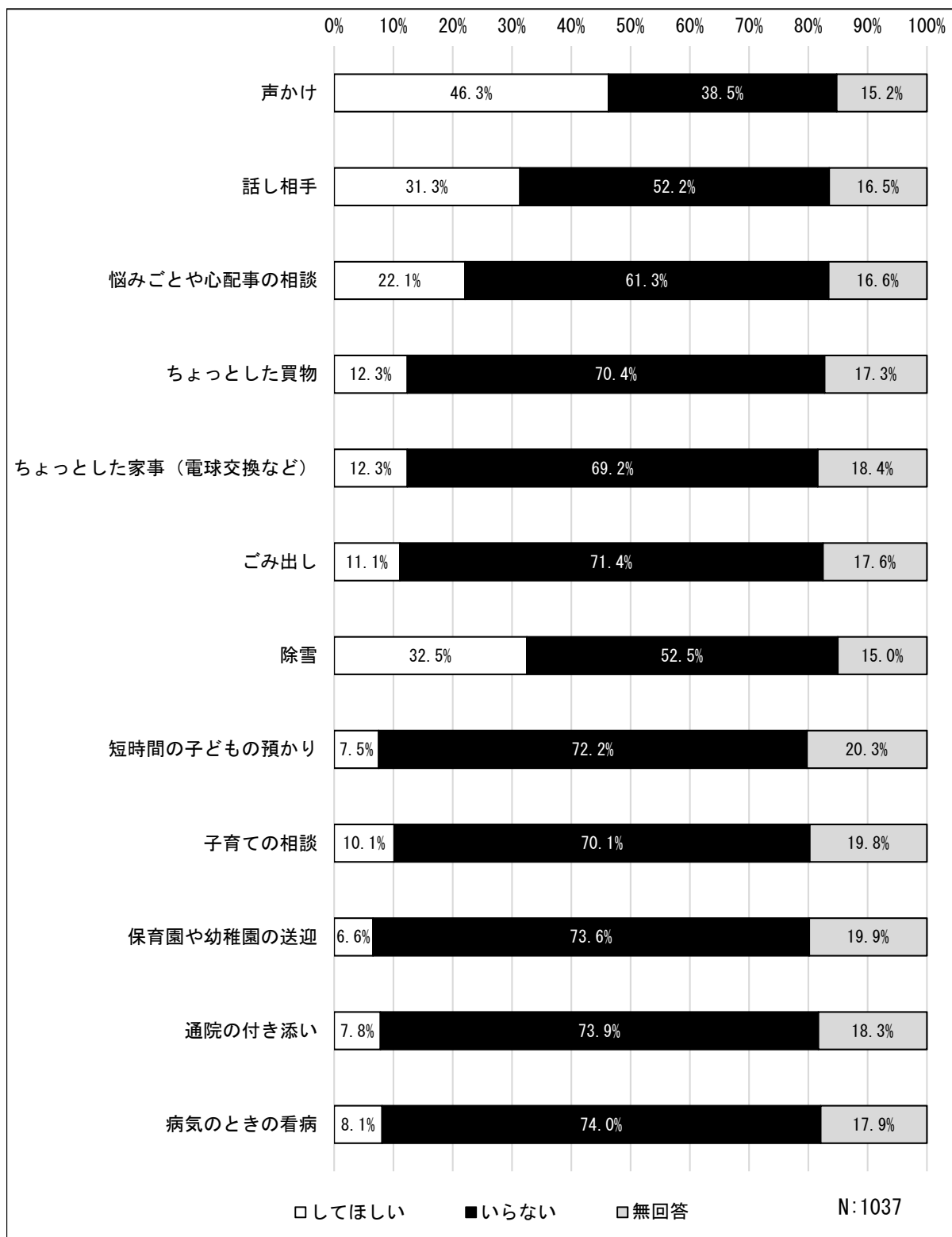
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「ごみ出し」の順となっている。一方、「病気のときの看病」、「保育園や幼稚園の送迎」、「通院の付き添い」が小さくなっている。

（郡部）



「話し相手」、「悩みごとや心配事の相談」、「子育ての相談」、「保育園や幼稚園の送迎」は「市部」より大きくなっている。

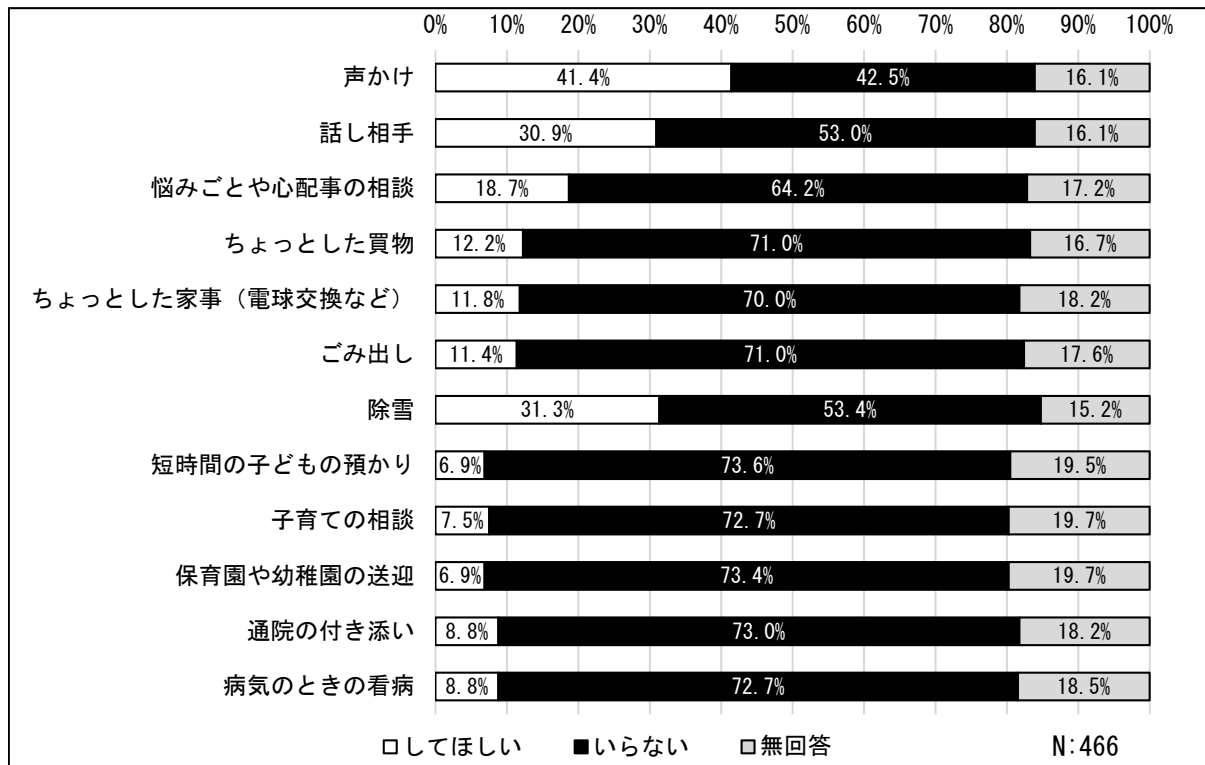
・隣近所で困っている場合（隣近所の人に手助けしてほしいこと）



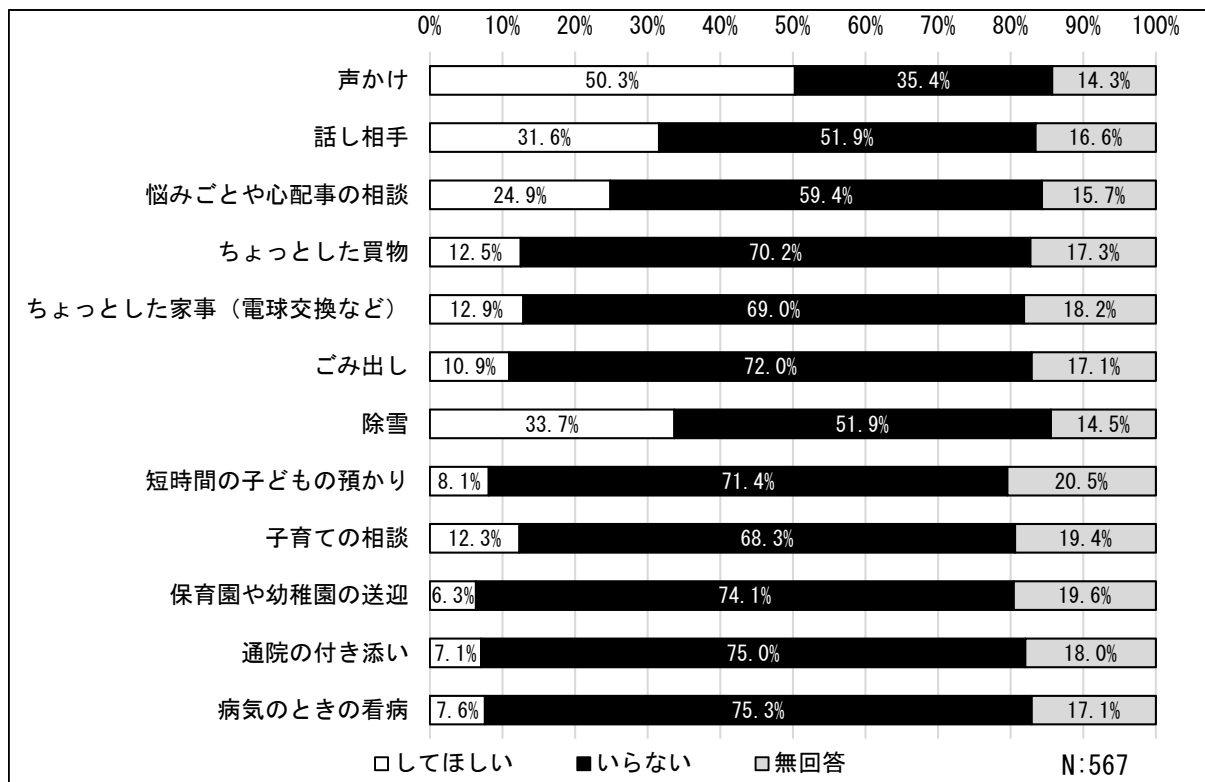
「声かけ」が46%と最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。一方、「短時間の子どもの預かり」、「保育園や幼稚園の送迎」、「通院の付き添い」、「病気のときの看病」が小さくなっている。

【男女別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

（男性）



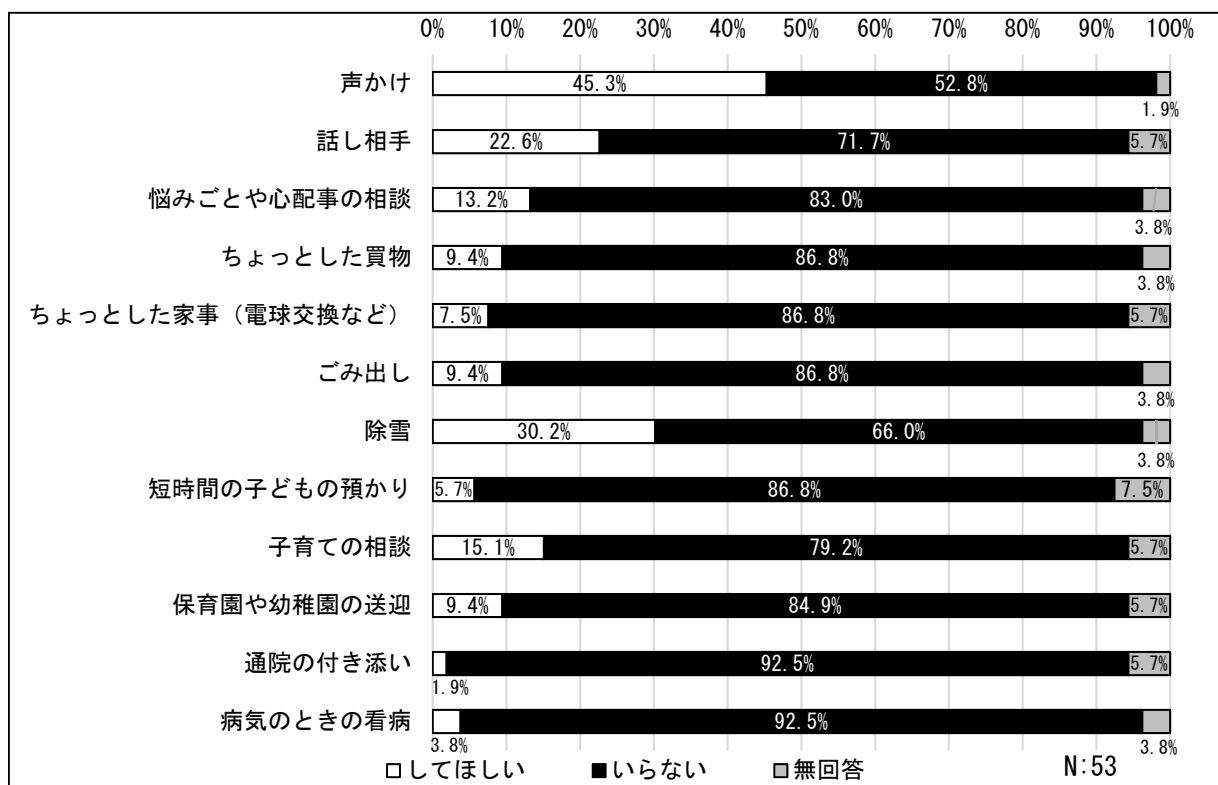
（女性）



男女ともに「声かけ」が最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」となっている。

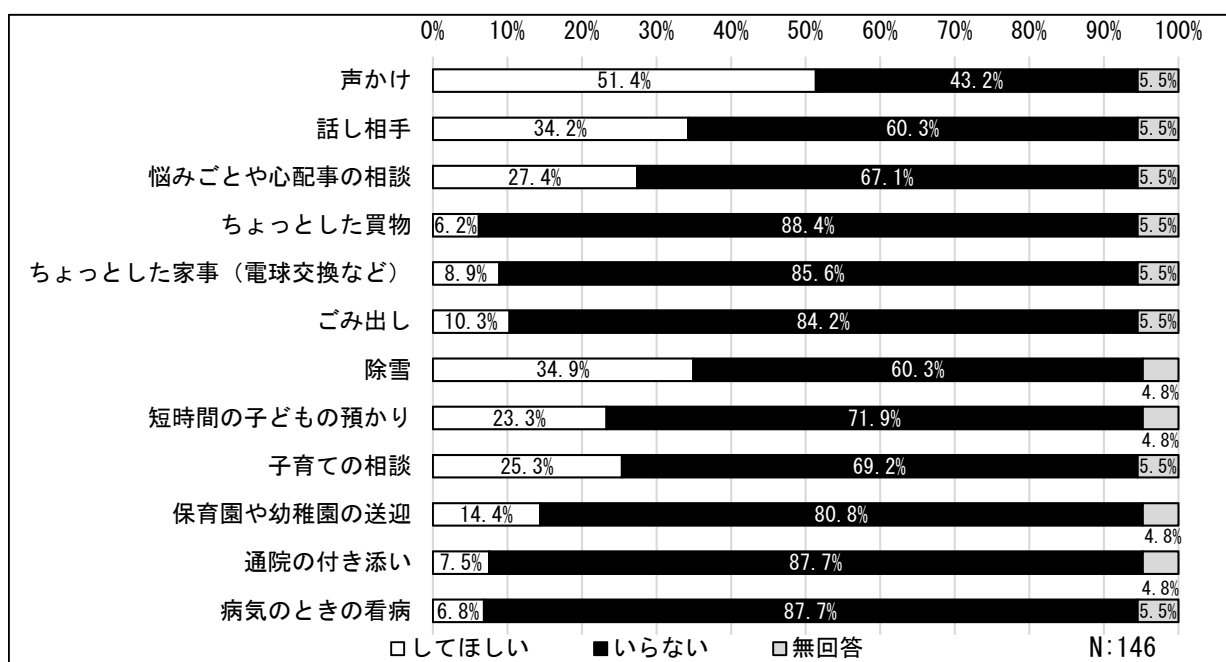
【年代別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

(20-29 歳)



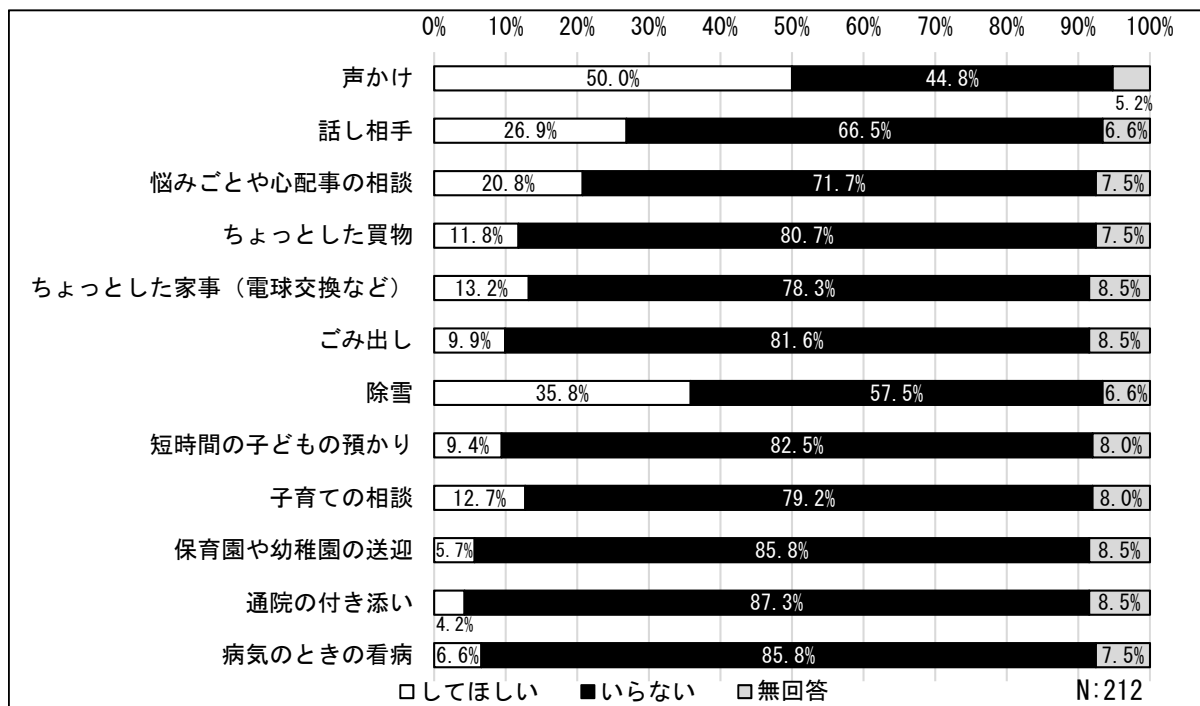
「声かけ」の割合が最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

(30-39 歳)



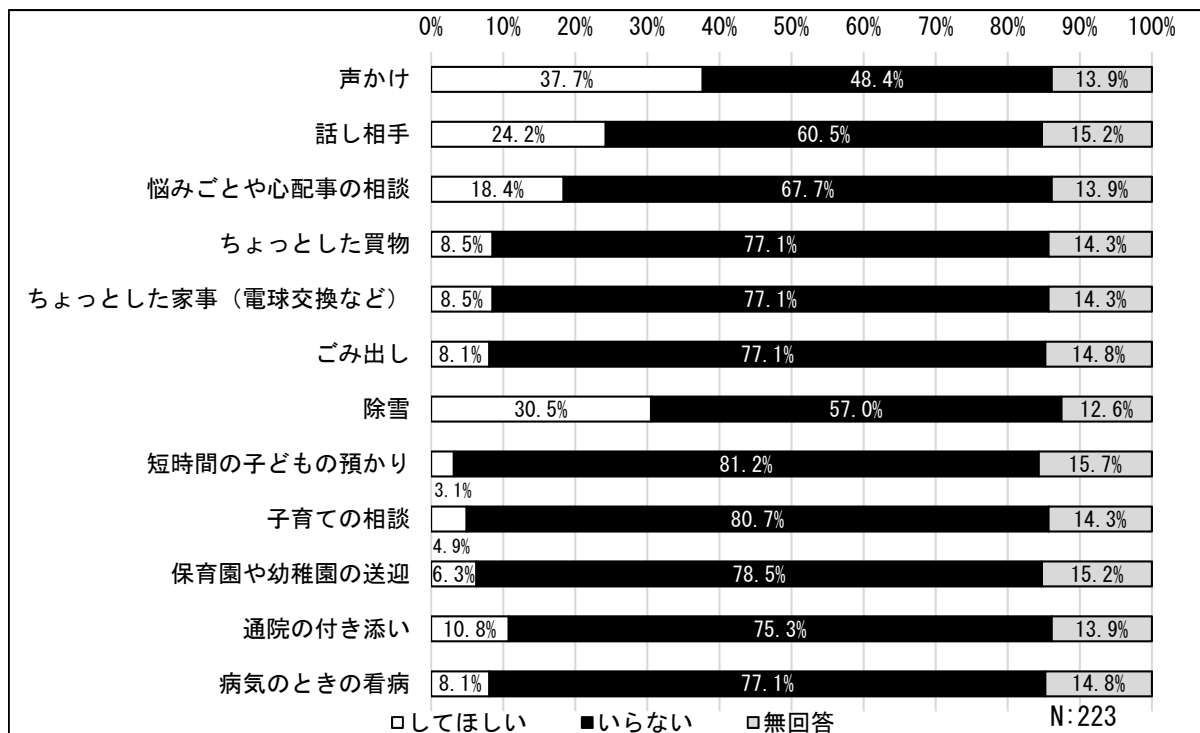
「声かけ」の割合が最も大きく、更に、「40代」、「60代」、「70歳以上」と同じく、「してほしい」が「いない」を上回っている。

(40-49 歳)



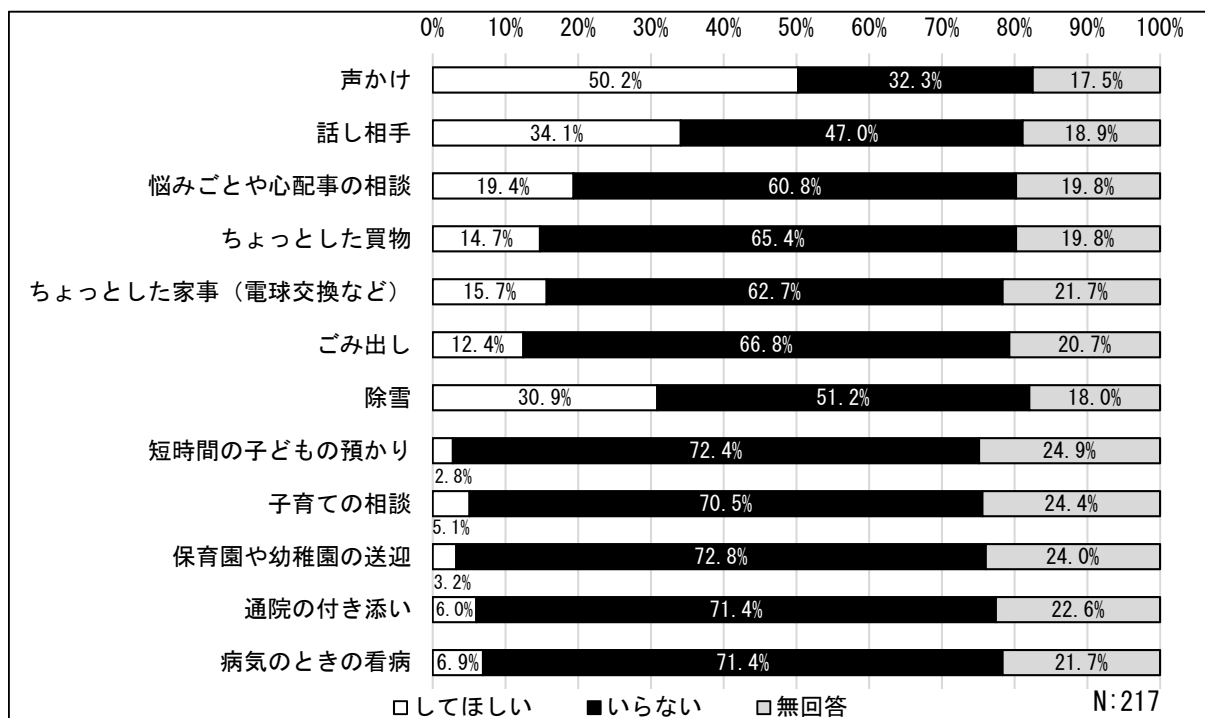
「声かけ」が最も大きく、更に、「30代」、「60代」、「70歳以上」と同じく、「してほしい」が「いらない」を上回っている。

(50-59 歳)



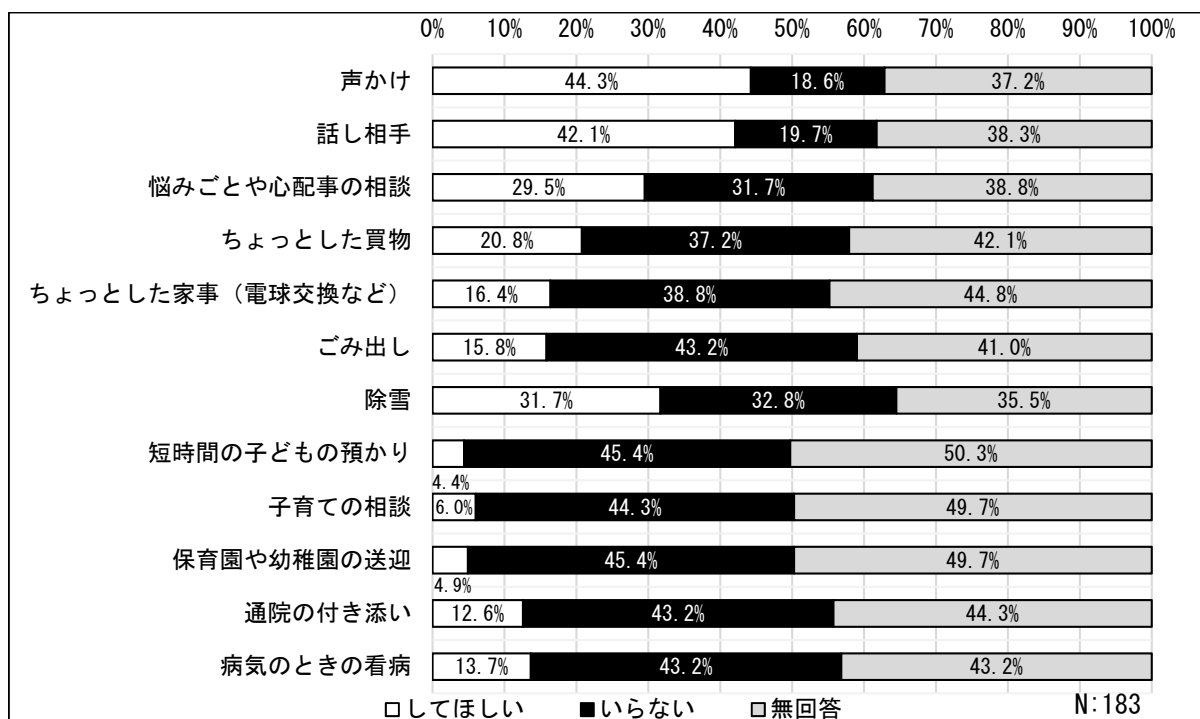
「声かけ」が最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

(60-69 歳)



「声かけ」が最も大きく、更に、「30代」、「40代」、「70歳以上」と同じく、「してほしい」が「いらない」を上回っている。

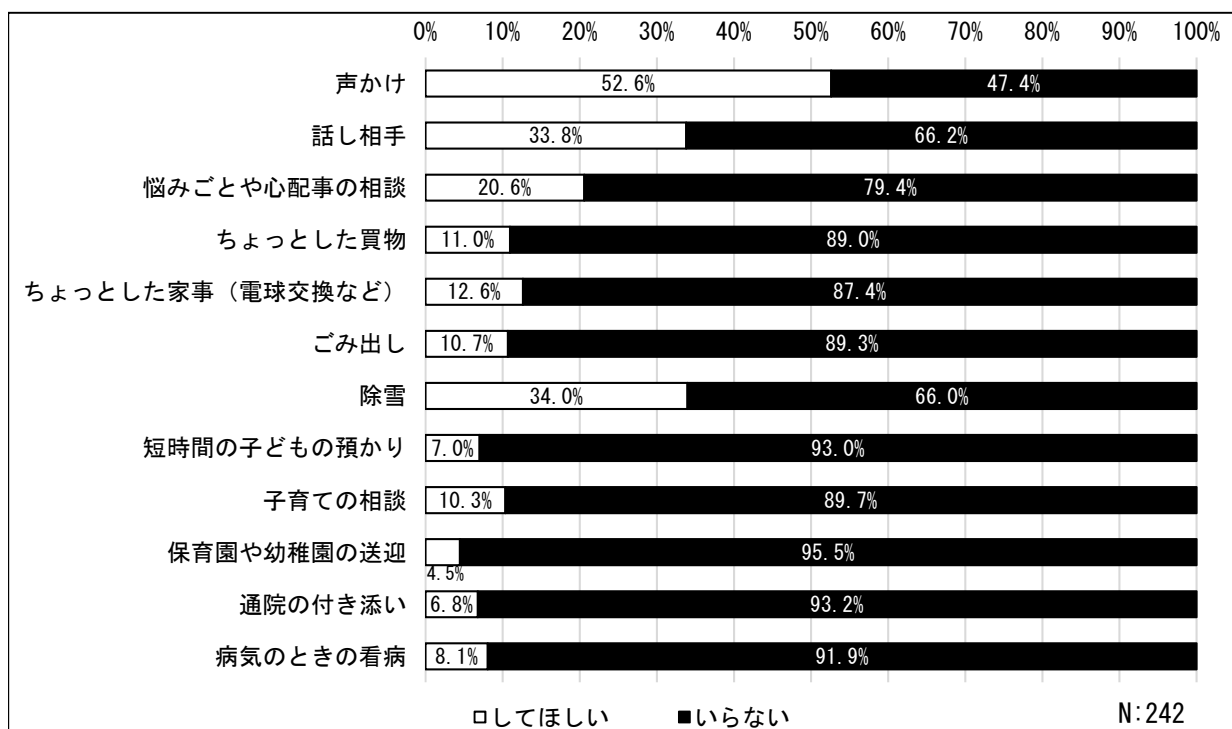
(70歳以上)



「声かけ」、「話し相手」の順に大きくなっていて、どちらも「してほしい」が「いらない」の2倍以上となっている。

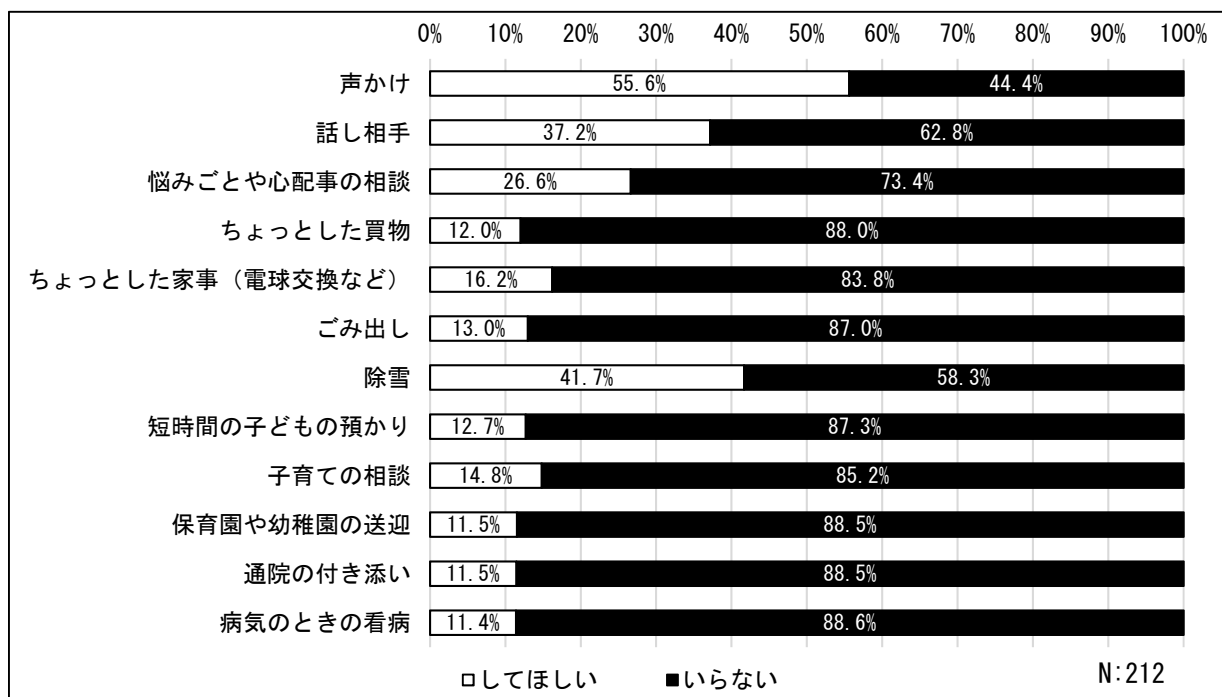
【地域別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

（東青地域）



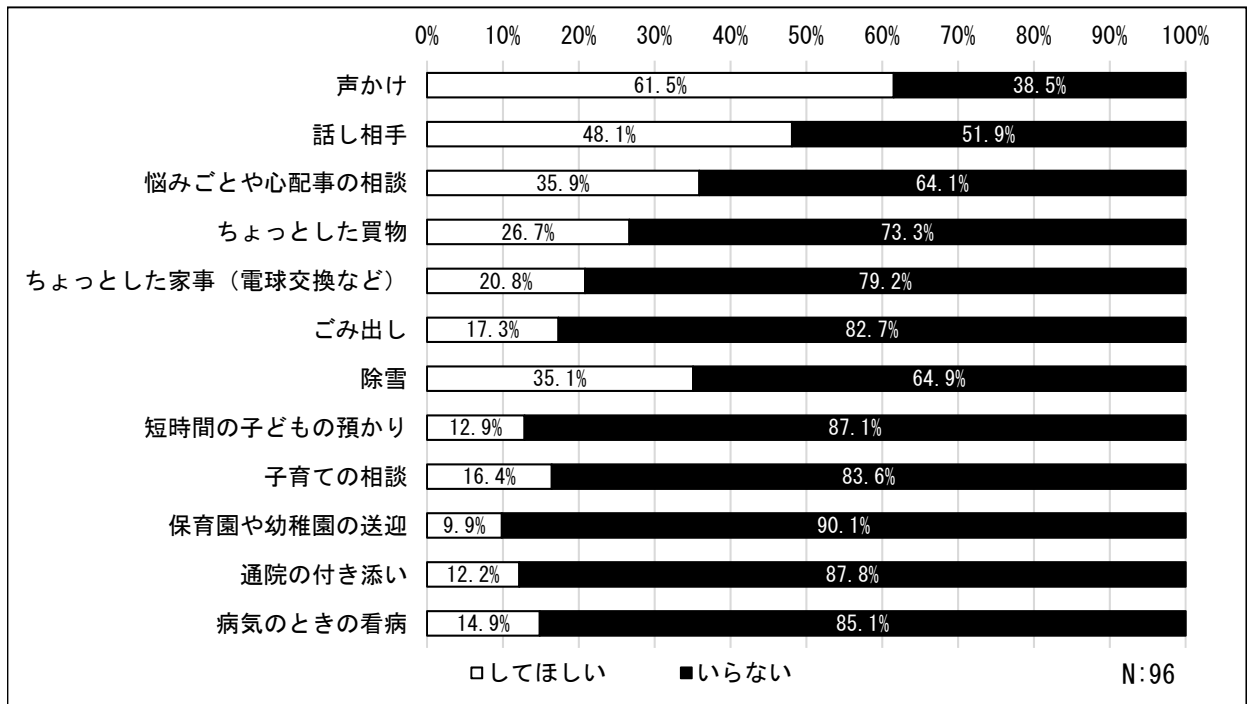
「声かけ」が最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

（中南地域）



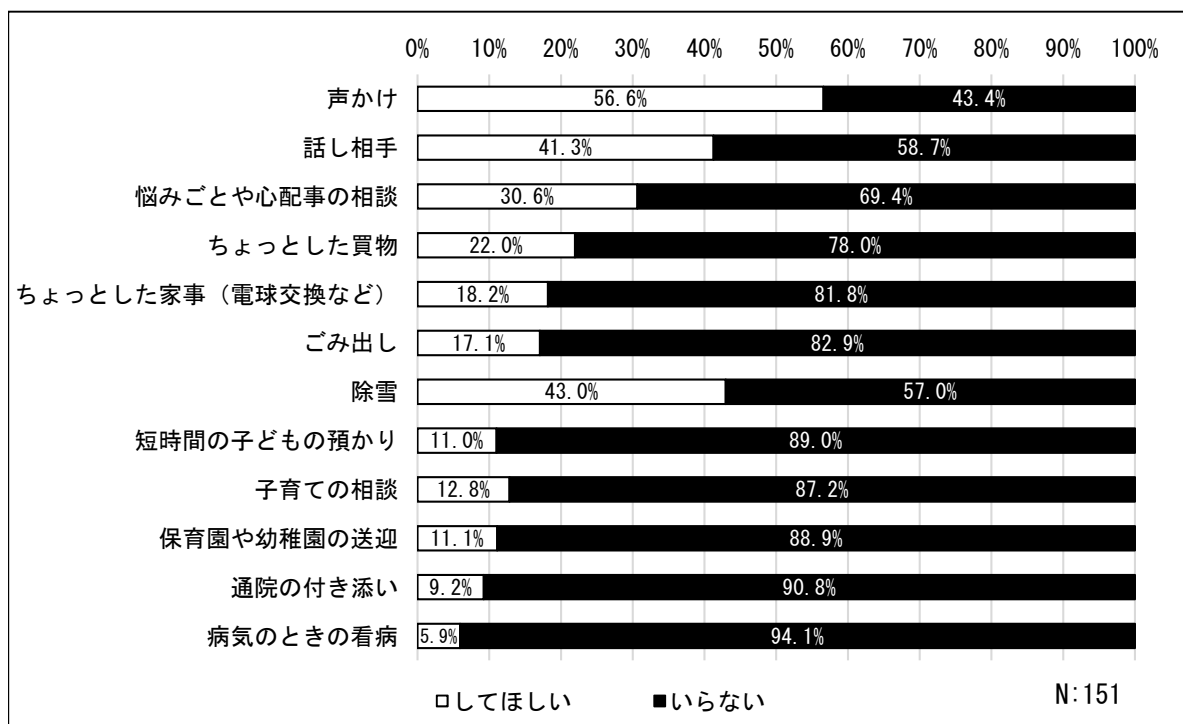
「声かけ」が最も大きく、次いで、「除雪」、「話し相手」の順となっている。

(西北地域)



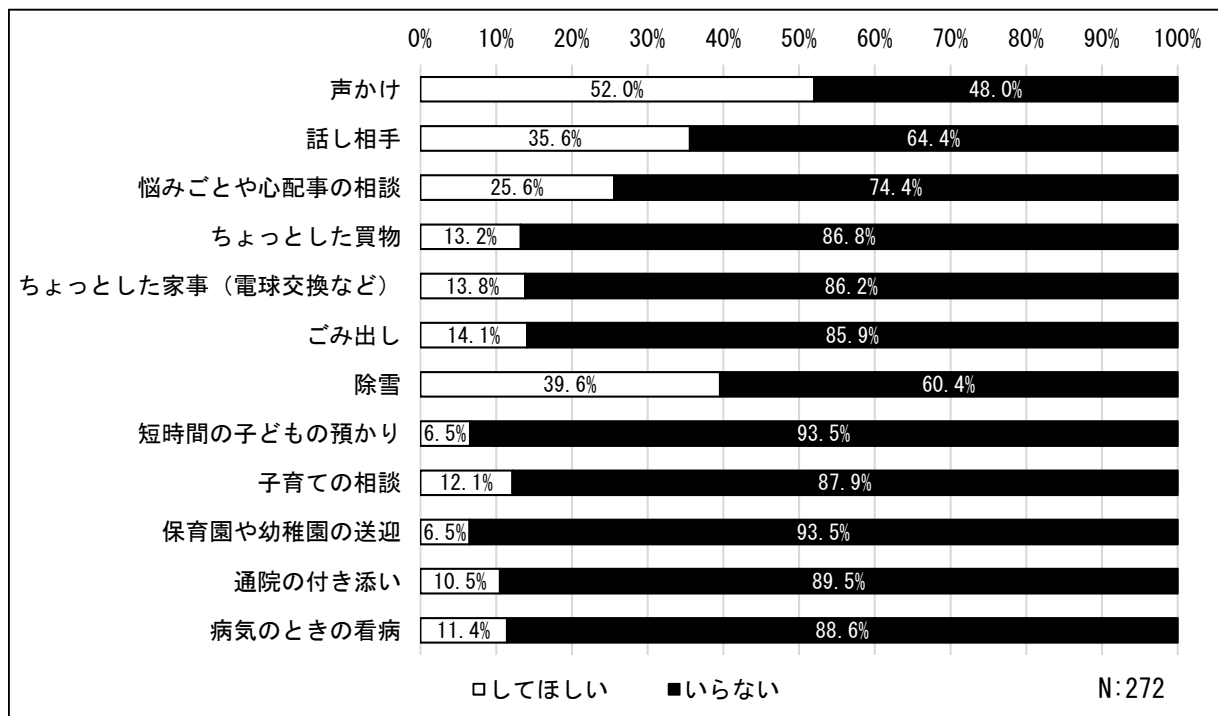
「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「悩みごとや心配事の相談」の順となっている。

(上北地域)



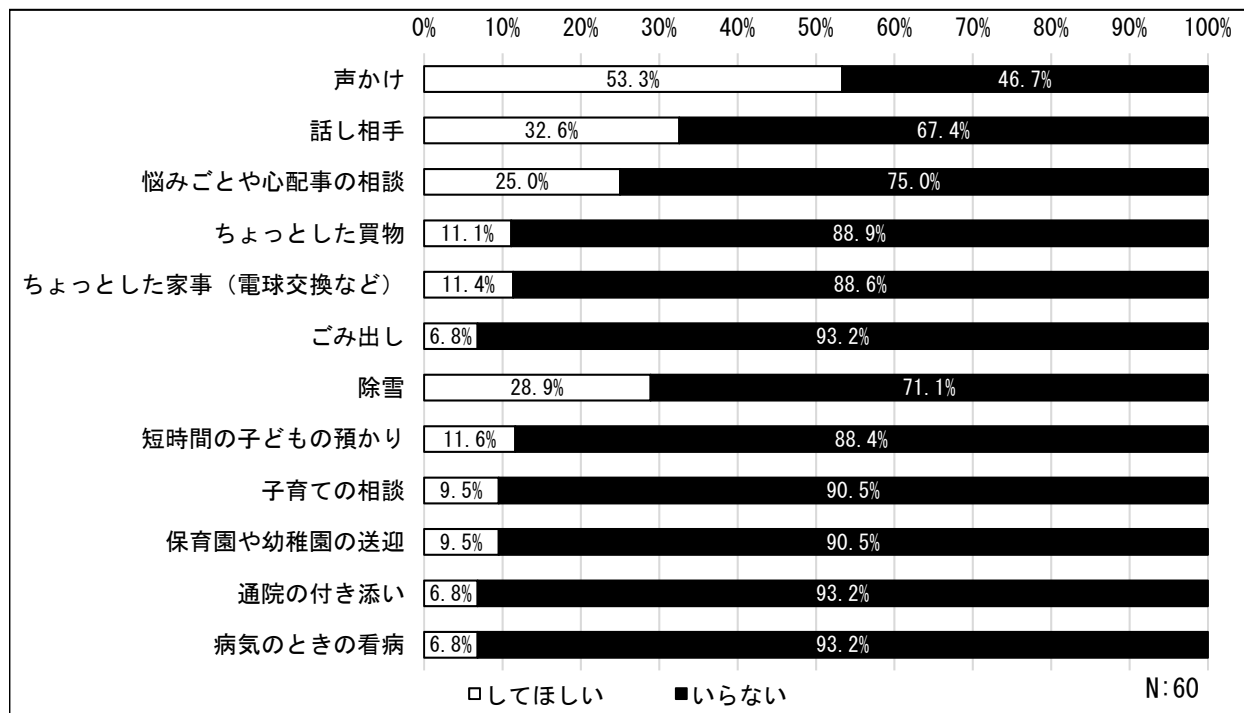
「声かけ」が最も大きく、次いで、「除雪」、「話し相手」の順となっている。

(三八地域)



「声かけ」が最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

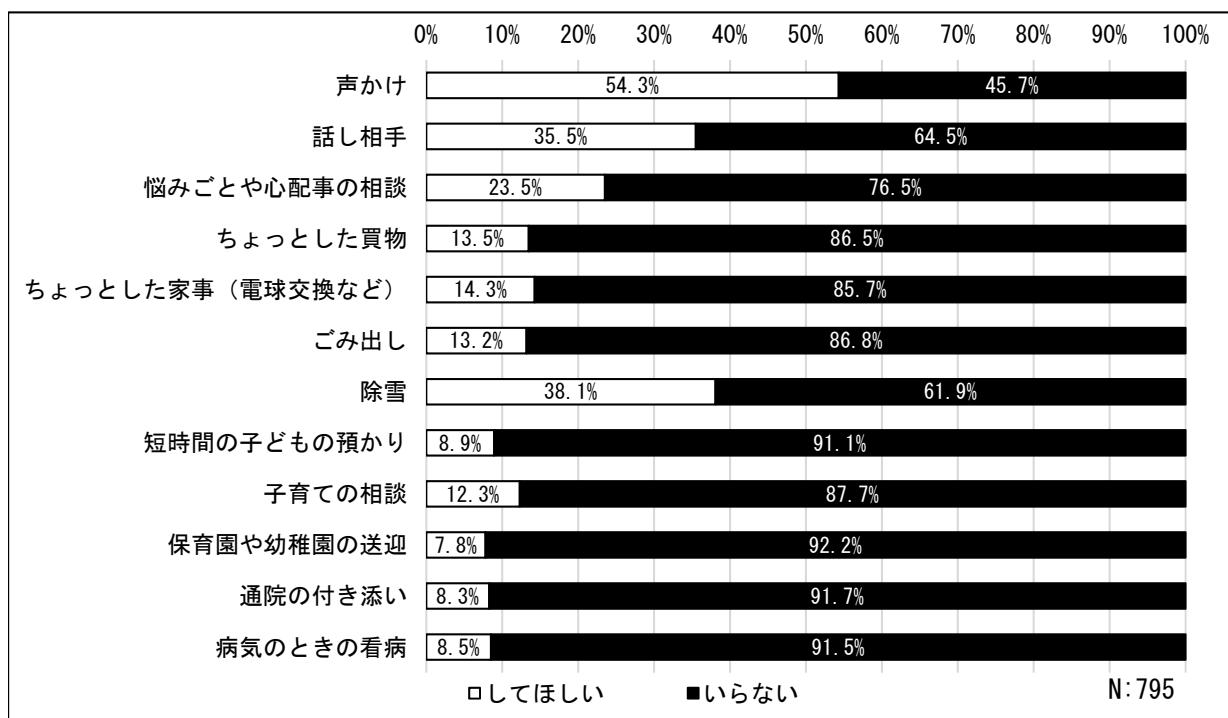
(下北地域)



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

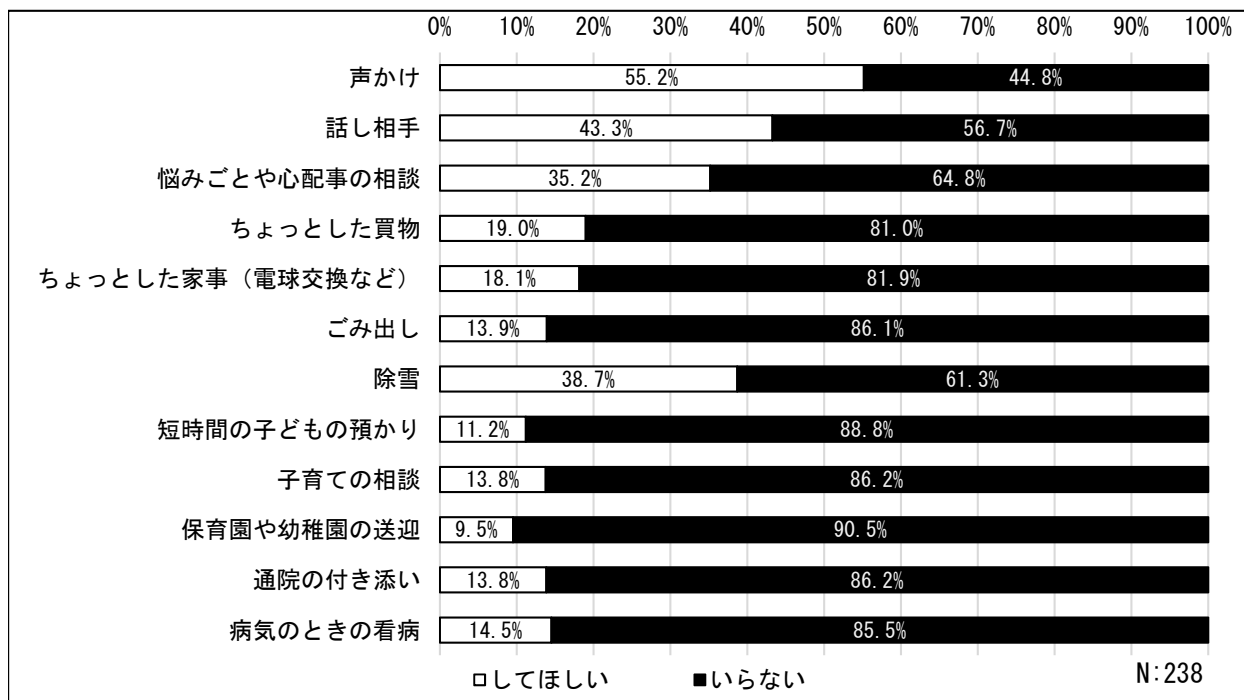
【市部・郡部別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

（市部）



「声かけ」の割合が最も大きく、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

（郡部）



「声かけ」が最も大きく、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

【自由回答より】（できること）

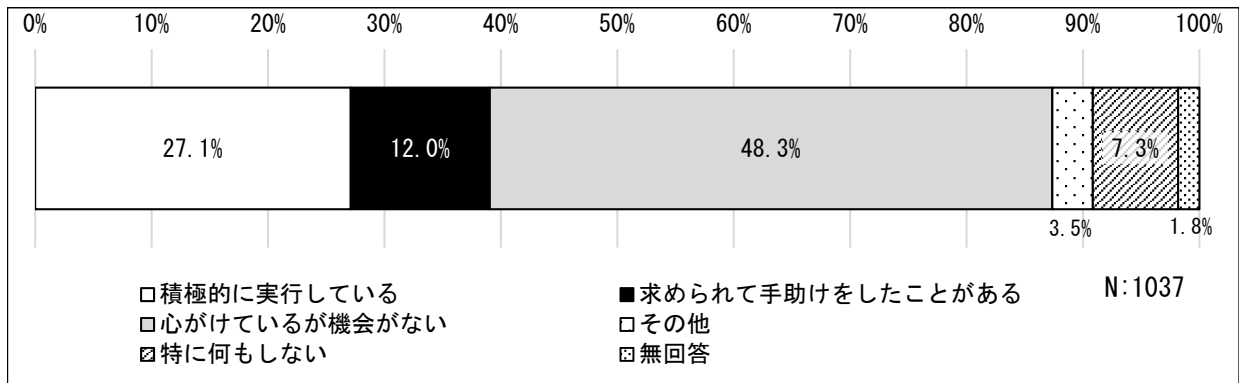
- ・医療関係に勤めているので、相談や関係各所の橋渡しなど。
- ・仕事をしているので、あまりできないが、声かけや様子を見に行くくらいはできる。
- ・雪かきや、大きな物（トイレトーパー等）の買い物など、不便な事があれば協力したい。

【自由回答より】（してほしいこと）

- ・高齢世帯の為、冬期間の除雪の手助けがあればうれしい。
- ・一人ぐらしの祖母が、実家にいます。時々どうしているか顔を見に行ってもらえれば…なかなか週一くらいしか実家に行けないので。
- ・短時間の子どもの預かり。

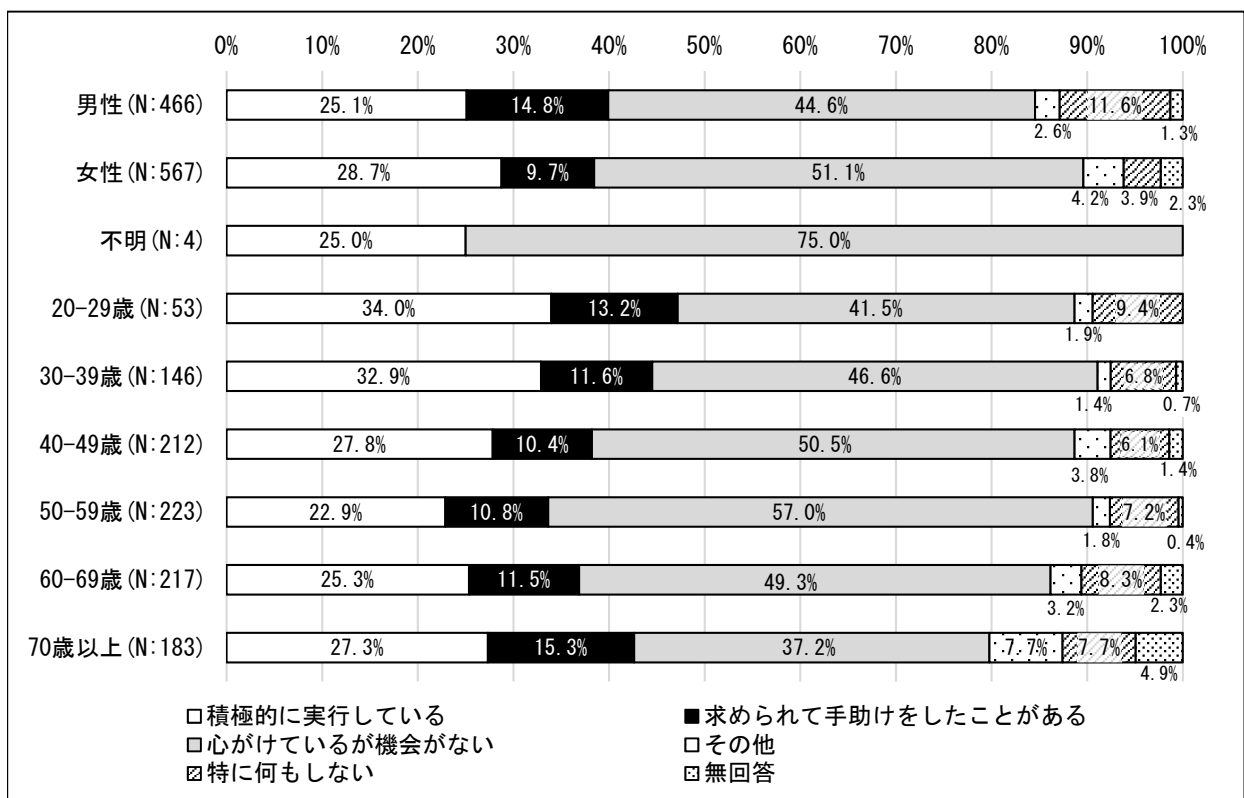
問 10. 町で困っている人を見かけたとき、階段やスロープで車いすを手助けしたり、交差点で手助けしたり、バス・電車で席をゆずるなどの手助けをしていますか。（1つ）

・困っている人への手助け



「心がけているが機会がない」が48%、「積極的に行っている」が27%、「求められて手助けをしたことがある」が12%となっている。

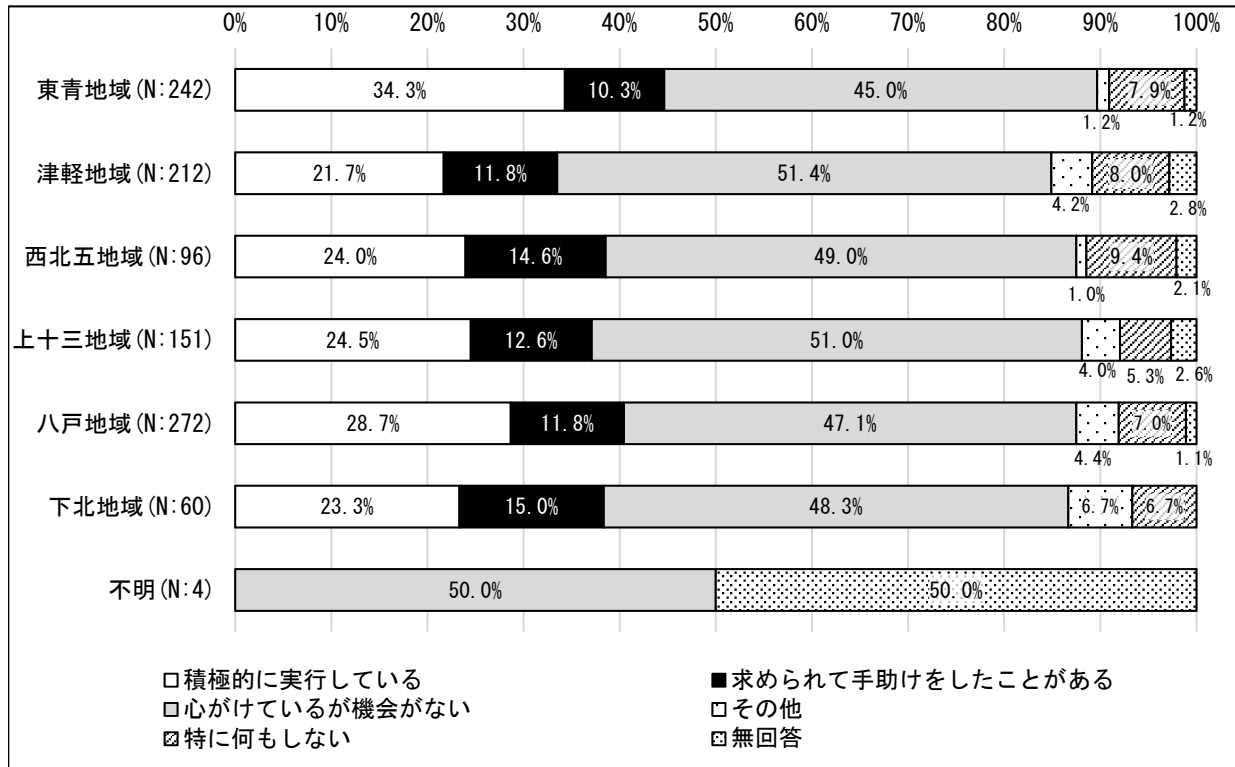
【男女別・年代別】



男女ともに「心がけているが機会がない」が最も大きく、次いで「積極的に行っている」、「求められて手助けをしたことがある」の順となっている。

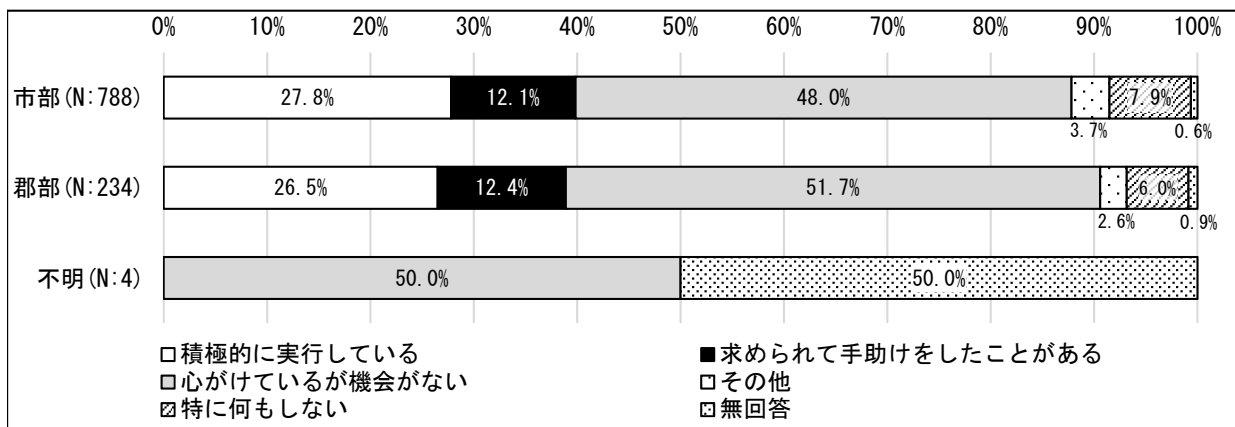
年代別に見ると、「50代」は「心がけているが機会がない」が他年代より大きくなっている。「20代」、「30代」は「積極的に行っている」が他年代より大きくなっている。「20代」、「60代」は「特に何もしない」が他年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「心がけているが機会がない」が最も大きく、次いで「積極的に実行している」となっている。

【市部・郡部別】



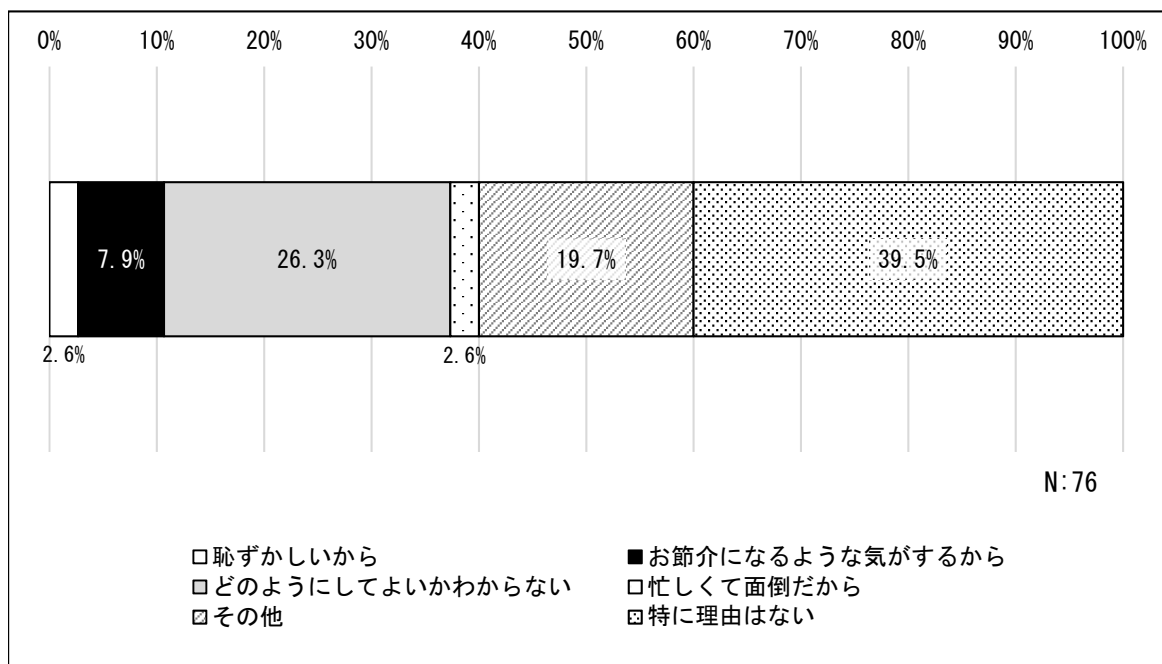
「郡部」は「心がけているが機会がない」が「市部」より大きくなっている。

【自由回答より】

- ・そういう場面に出会ったことがない。
- ・困っていそうな時、親切の押し売りは嫌なので、手助けが必要か伺ってから必要な時は実行。
- ・自分でやりたい人もいし、声をかけて嫌な気持ちになったことがある。

問 10-1. 問 10 で「特に何もしない」を選んだ方におうかがいします。何もしない理由は何ですか。
(1つ)

・困っている人を手助けしない理由



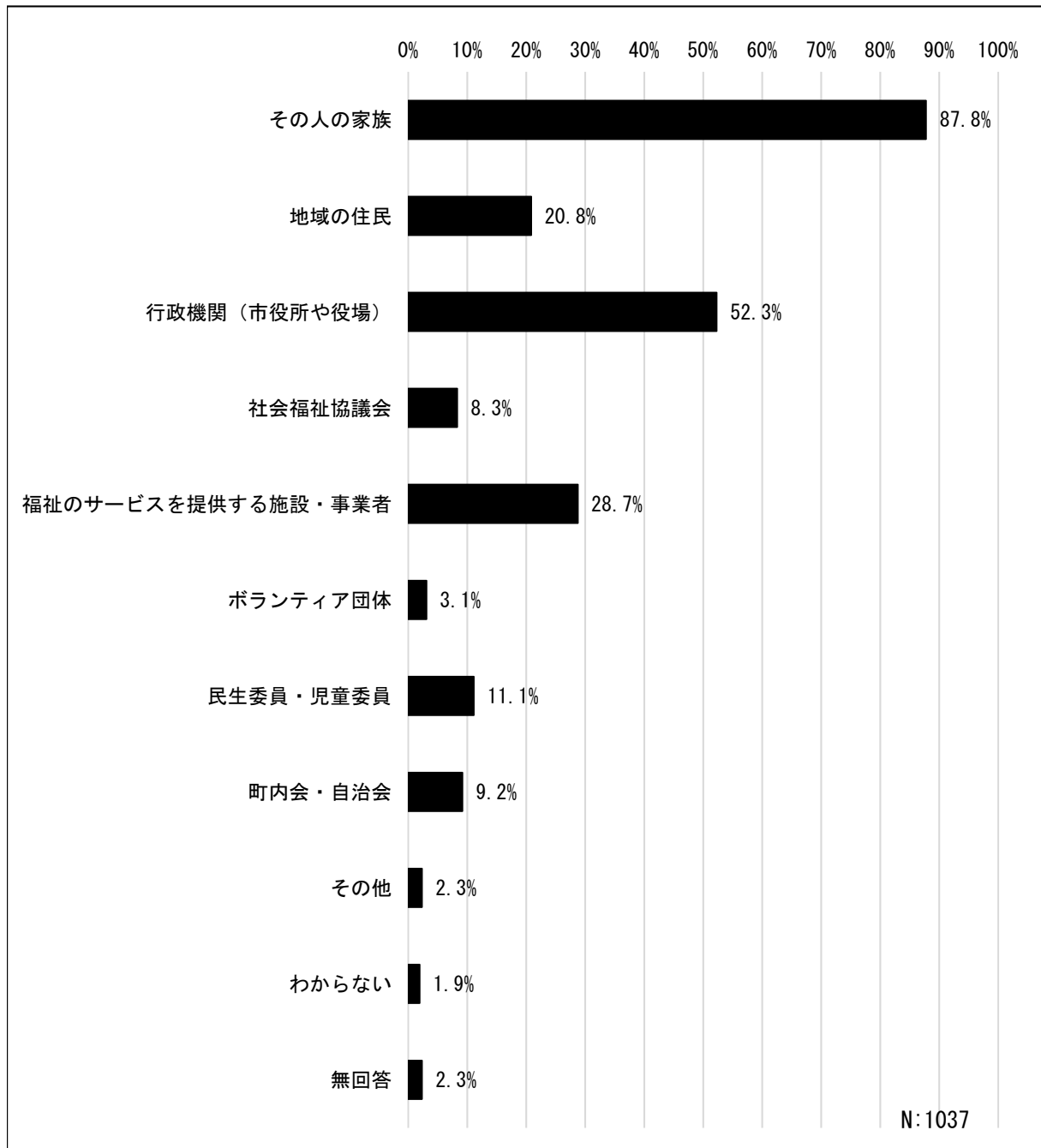
「特に理由はない」が40%、「どのようにしてよいかわからない」が26%、「その他」が20%となっている。

【自由回答より】

- ・関わりたくない。
- ・自己責任で各自行動すべき。
- ・自分が不自由だから。

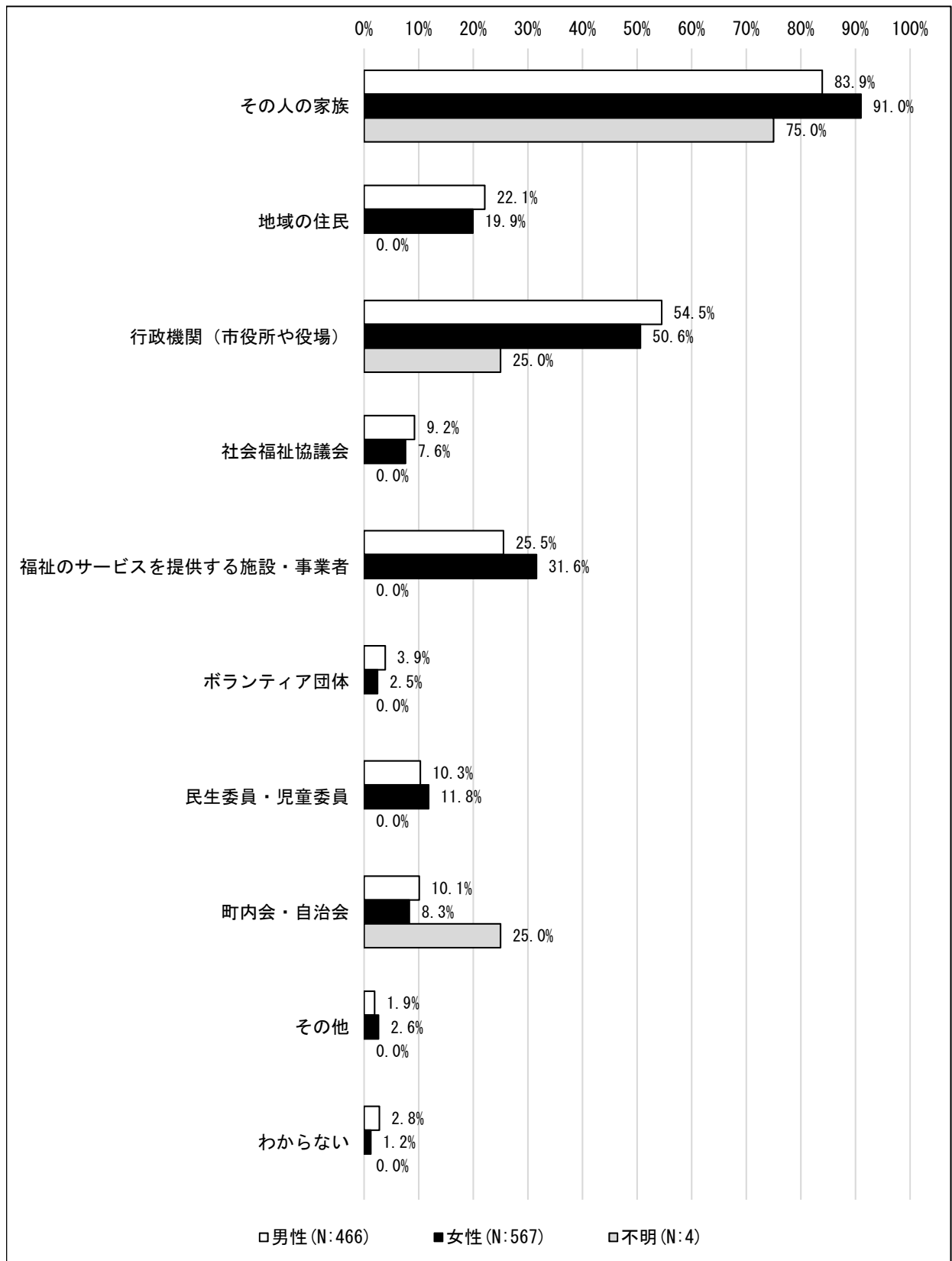
問 11. 日常生活で困ったことが起きた場合、手助けは誰が行うべきだと思いますか。（3つまで）

・ 困ったとき手助けする相手



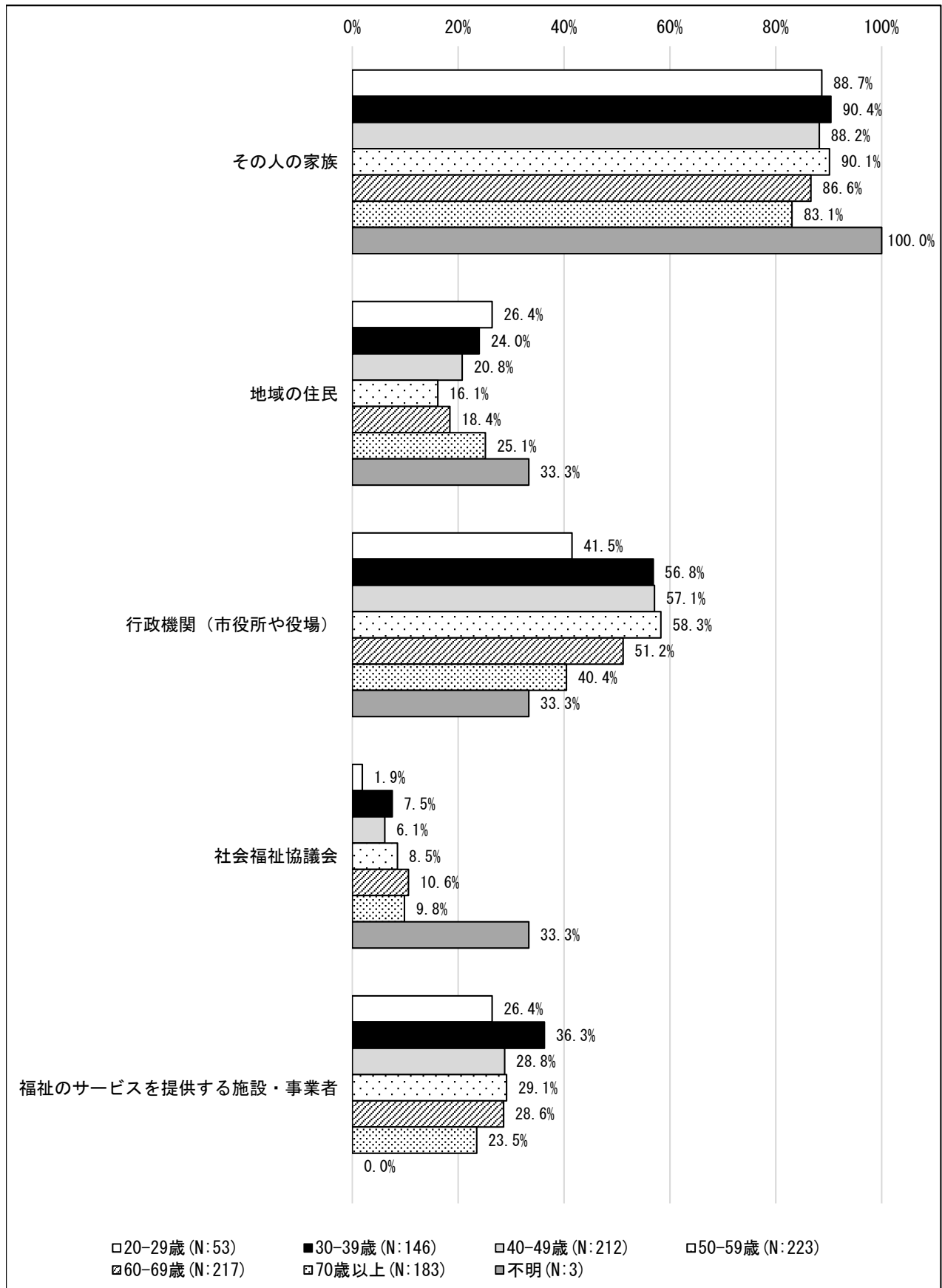
「その人の家族」が88%、「行政機関（市役所や役場）」が52%、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」が29%、「地域の住民」が21%となっている。

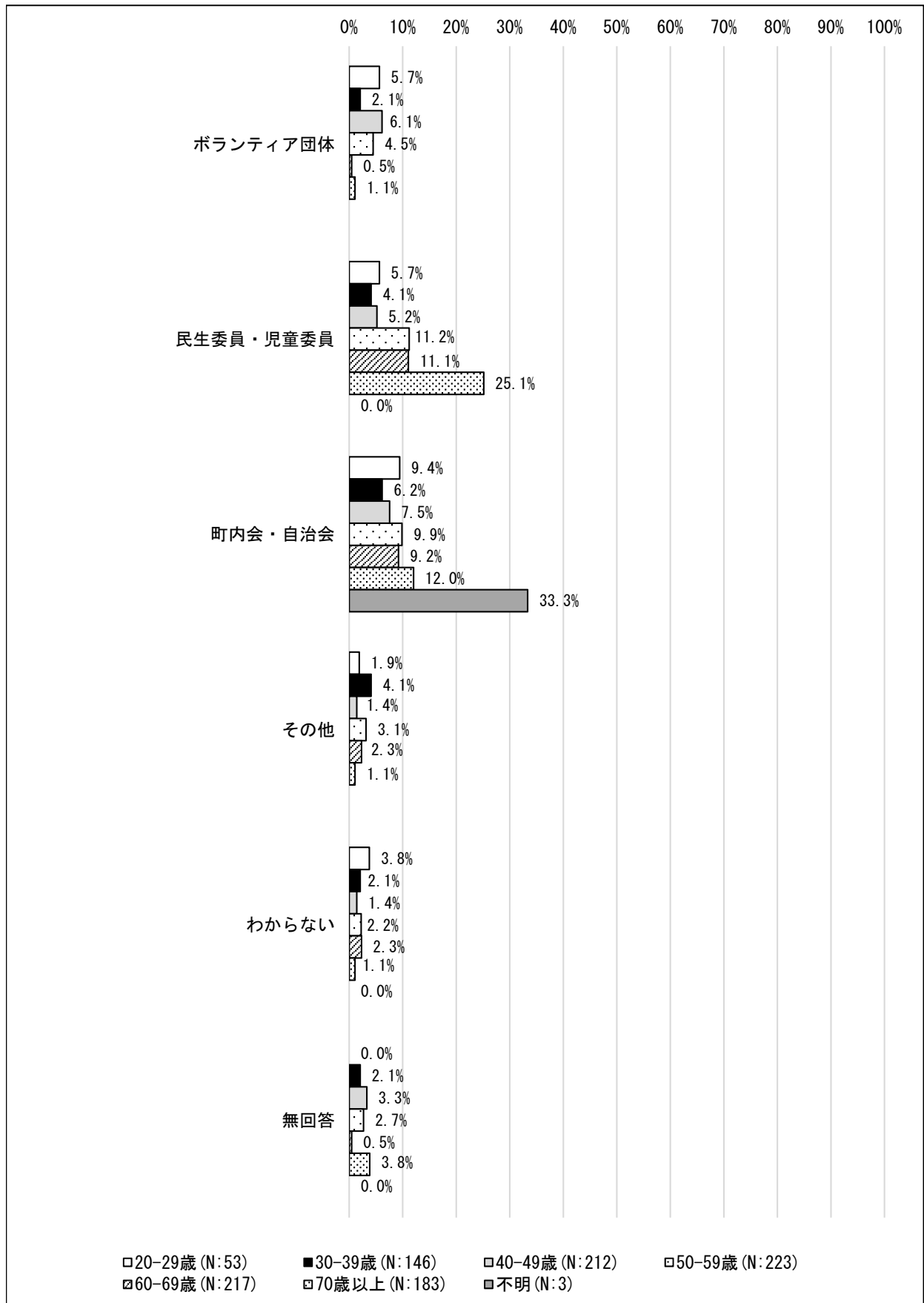
【男女別】



男女ともに「その人の家族」が最も大きく、次いで「行政機関（市役所や役場）」、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、「地域の住民」の順となっている。

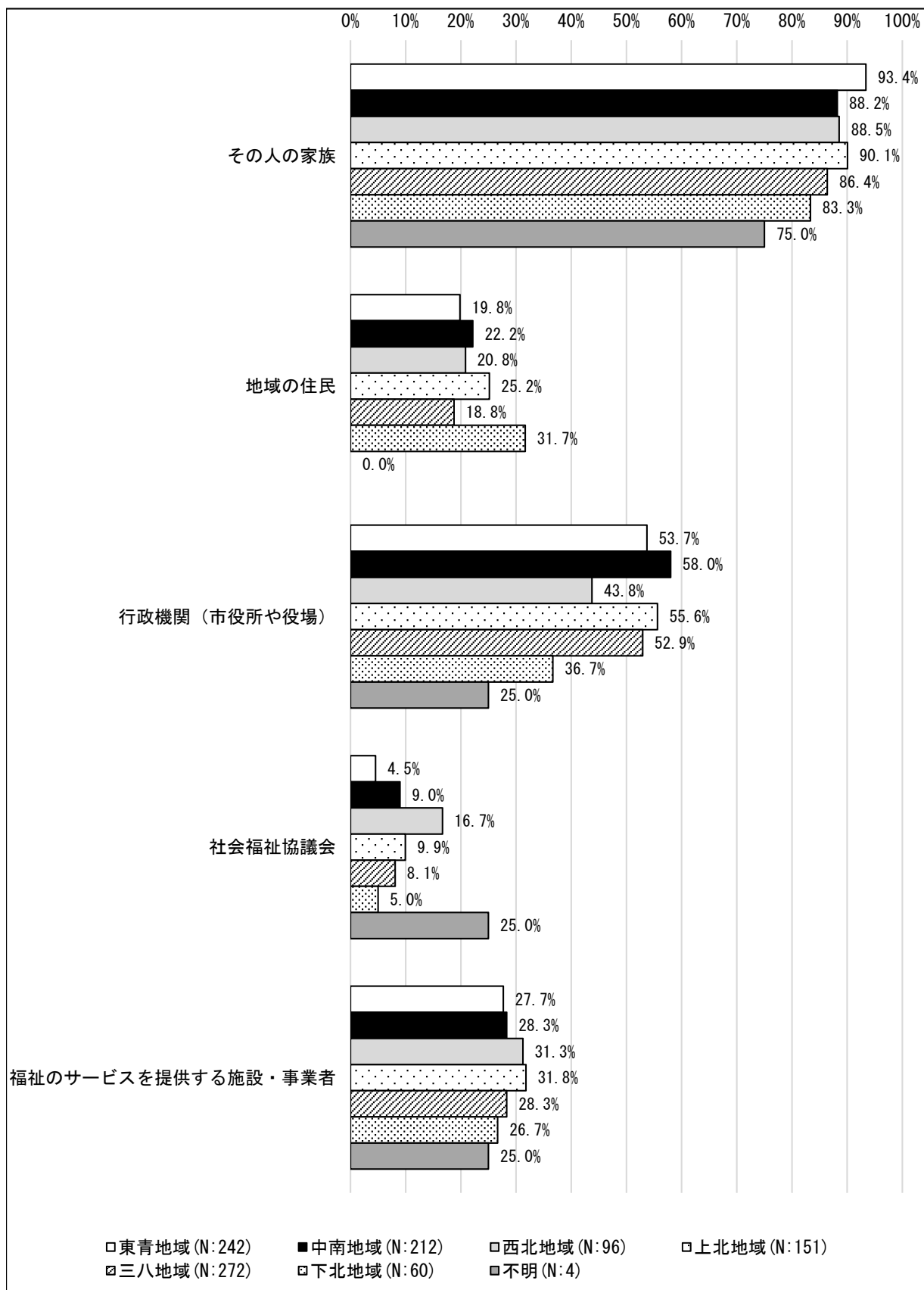
【年代別】





全ての年代で「その人の家族」が最も大きく、次いで概ね「行政機関（市役所や役場）」、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、「地域の住民」の順となっている。

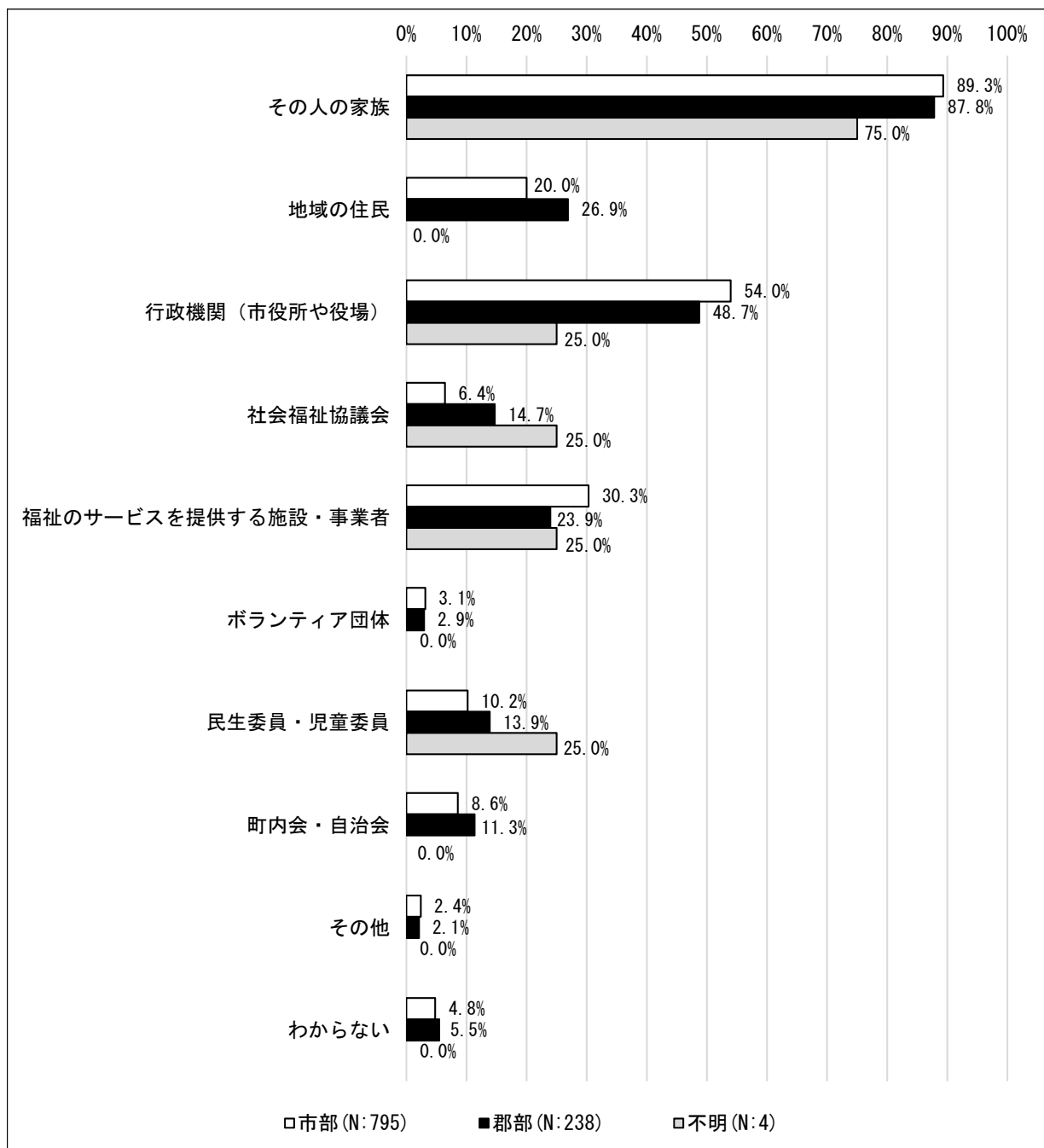
【地域別】





全ての地域で「その人の家族」が最も大きく、次いで概ね「行政機関（市役所や役場）」、「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、「地域の住民」の順となっている。

【市部・郡部別】



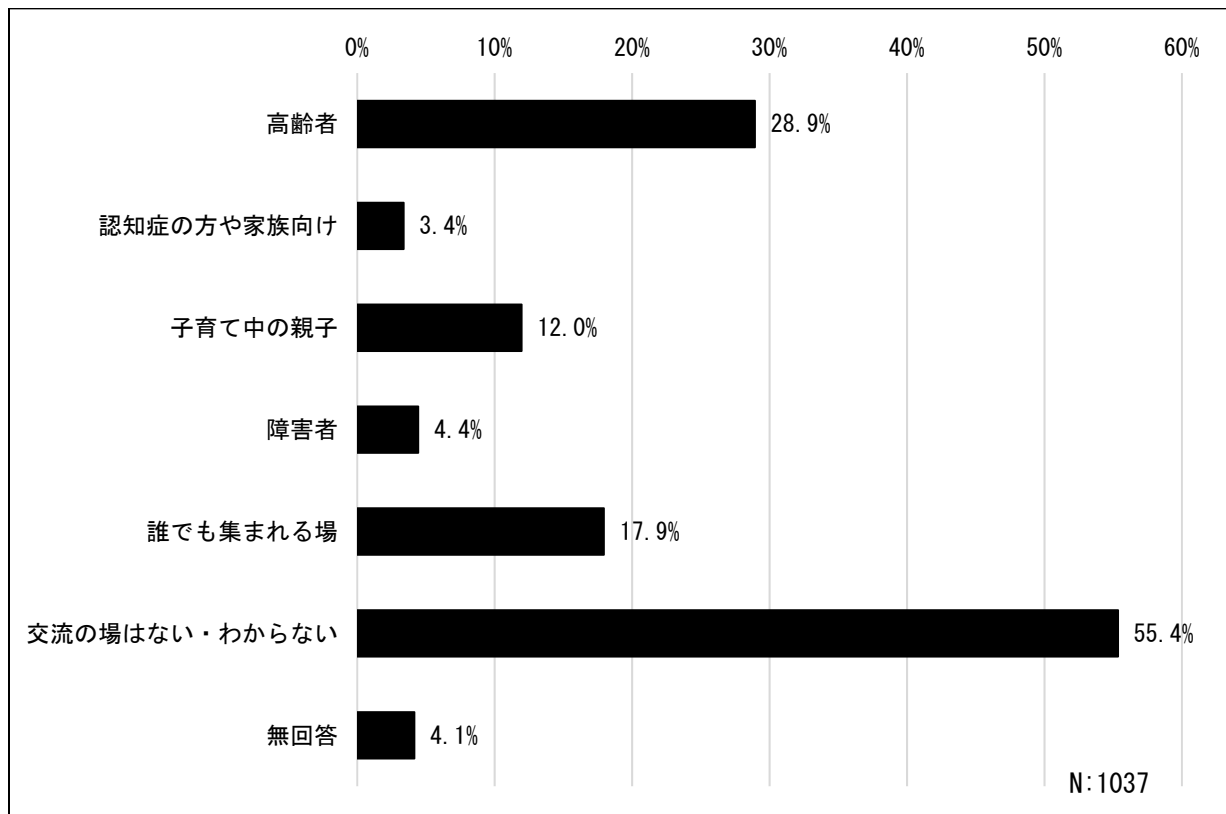
「市部」、「郡部」とともに「その人の家族」、「行政機関 (市役所や役場)」の順に大きく、次いで「市部」は「福祉のサービスを提供する施設・事業者」、「郡部」は「地域の住民」となっている。

【自由回答より】

- ・それを仕事とする人。
- ・起きた事柄によると思う。誰がすべきということはない。
- ・知人、友人。
- ・内容によって手助けすべきところが違ってくると思う。

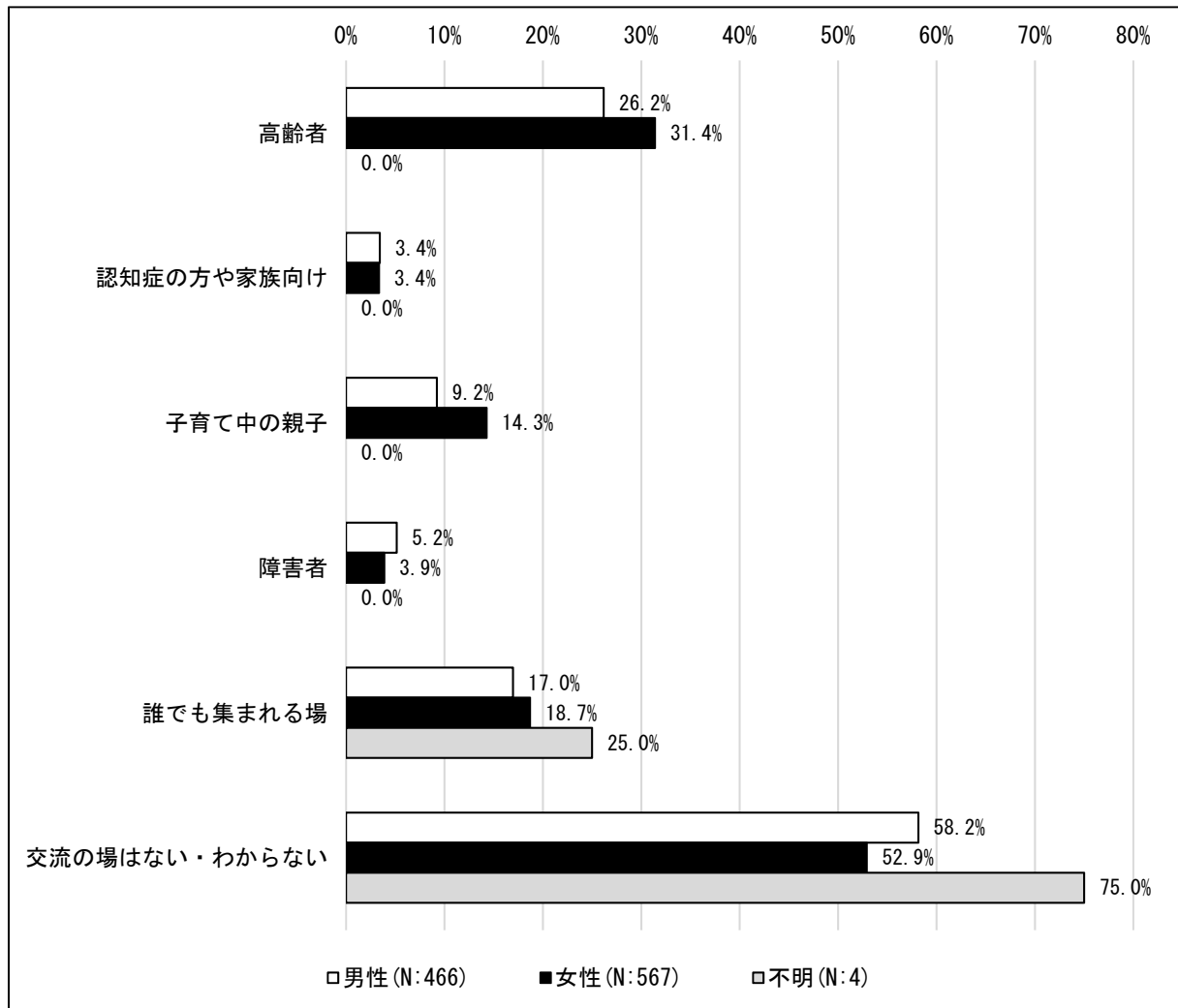
問 12. お住まいの地域に、次のような交流の場がありますか。（当てはまるものすべて）

・地域の交流の場



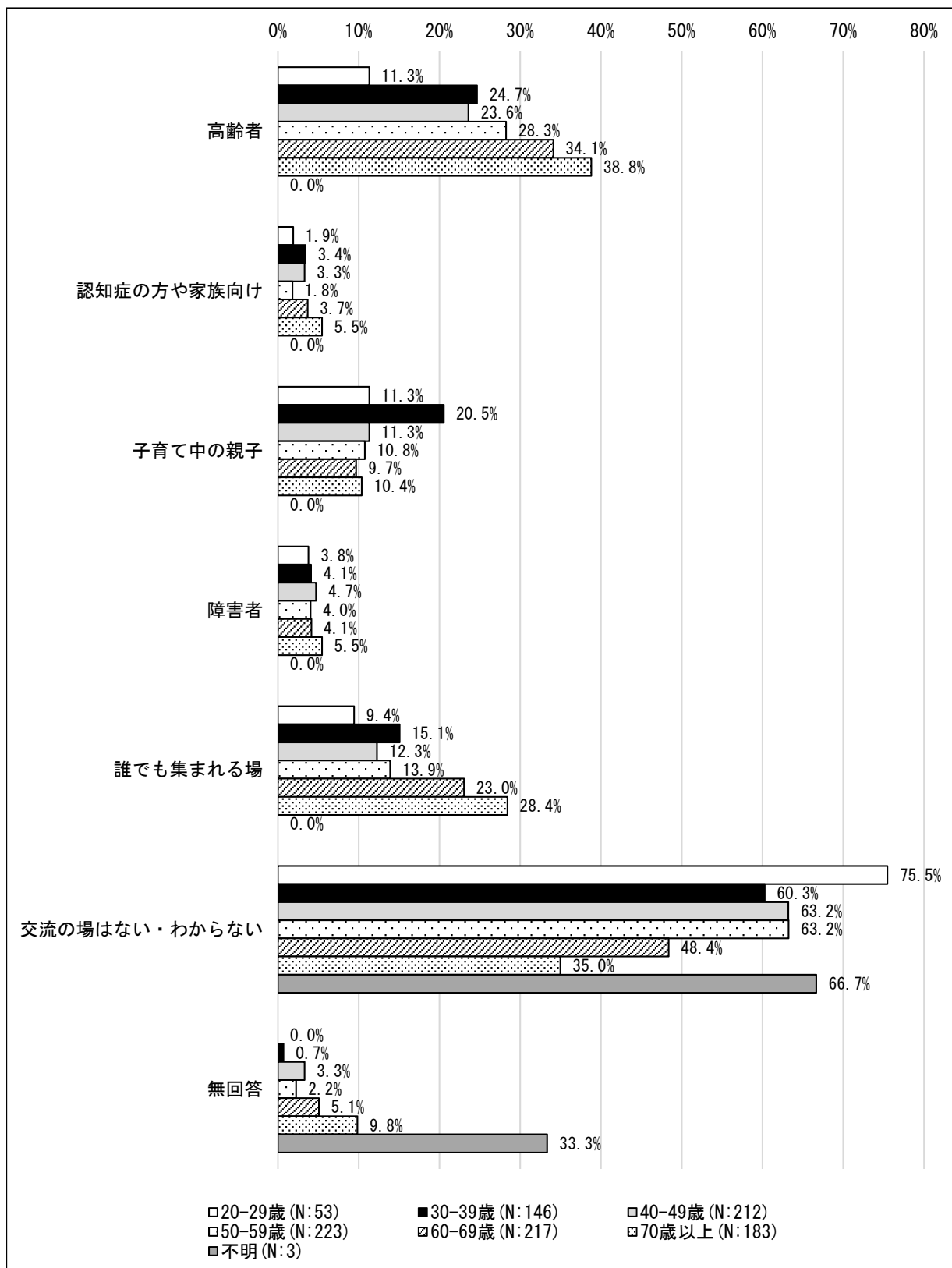
「交流の場はない・わからない」が55%、「高齢者」が29%、「誰でも集まれる場」が18%、「子育て中の親子」が12%となっている。

【男女別】



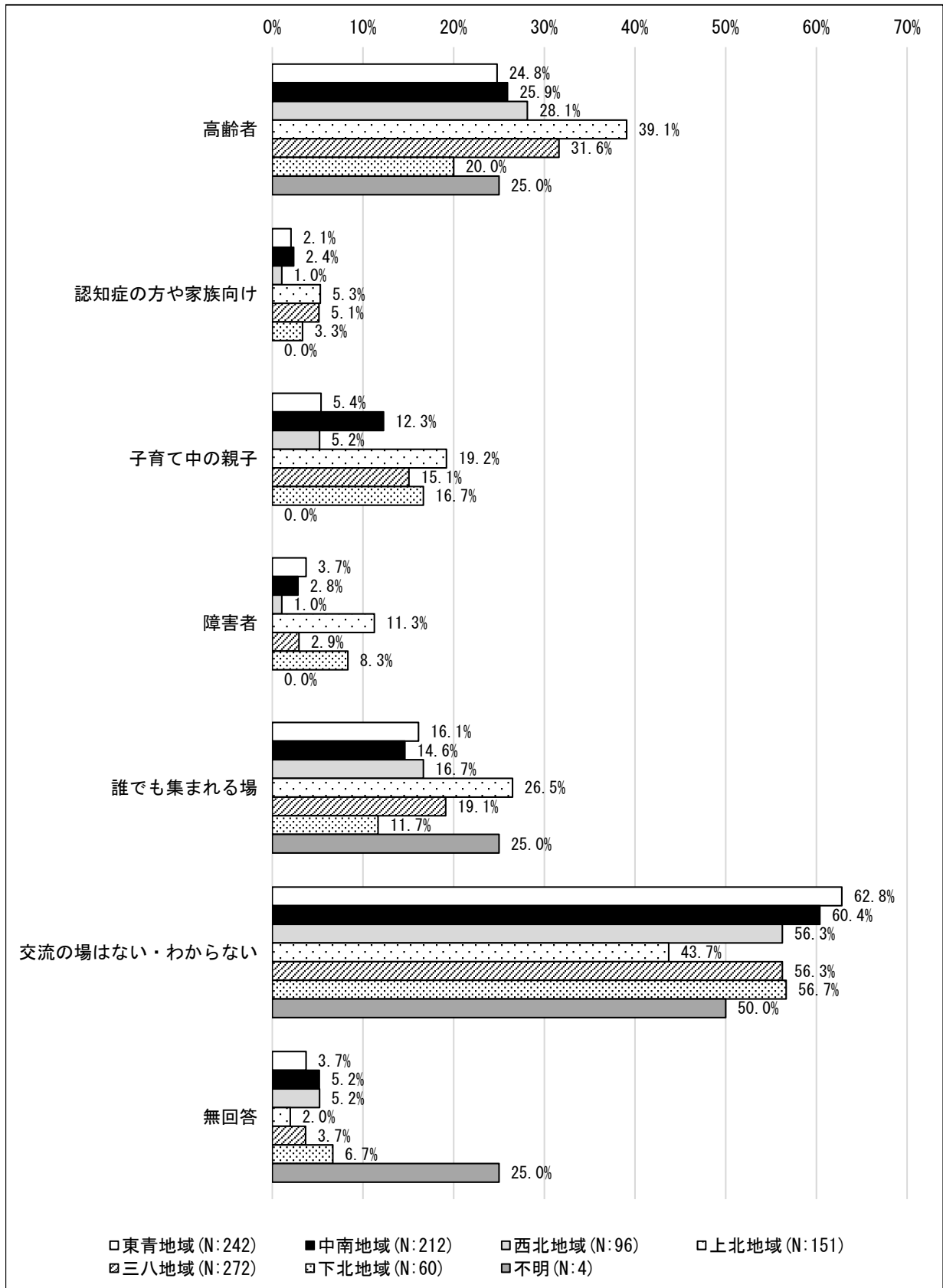
男女ともに「交流の場はない・わからない」が最も大きく、次いで「高齢者」、「誰でも集まれる場」、「子育て中の親子」の順となっている。

【年代別】



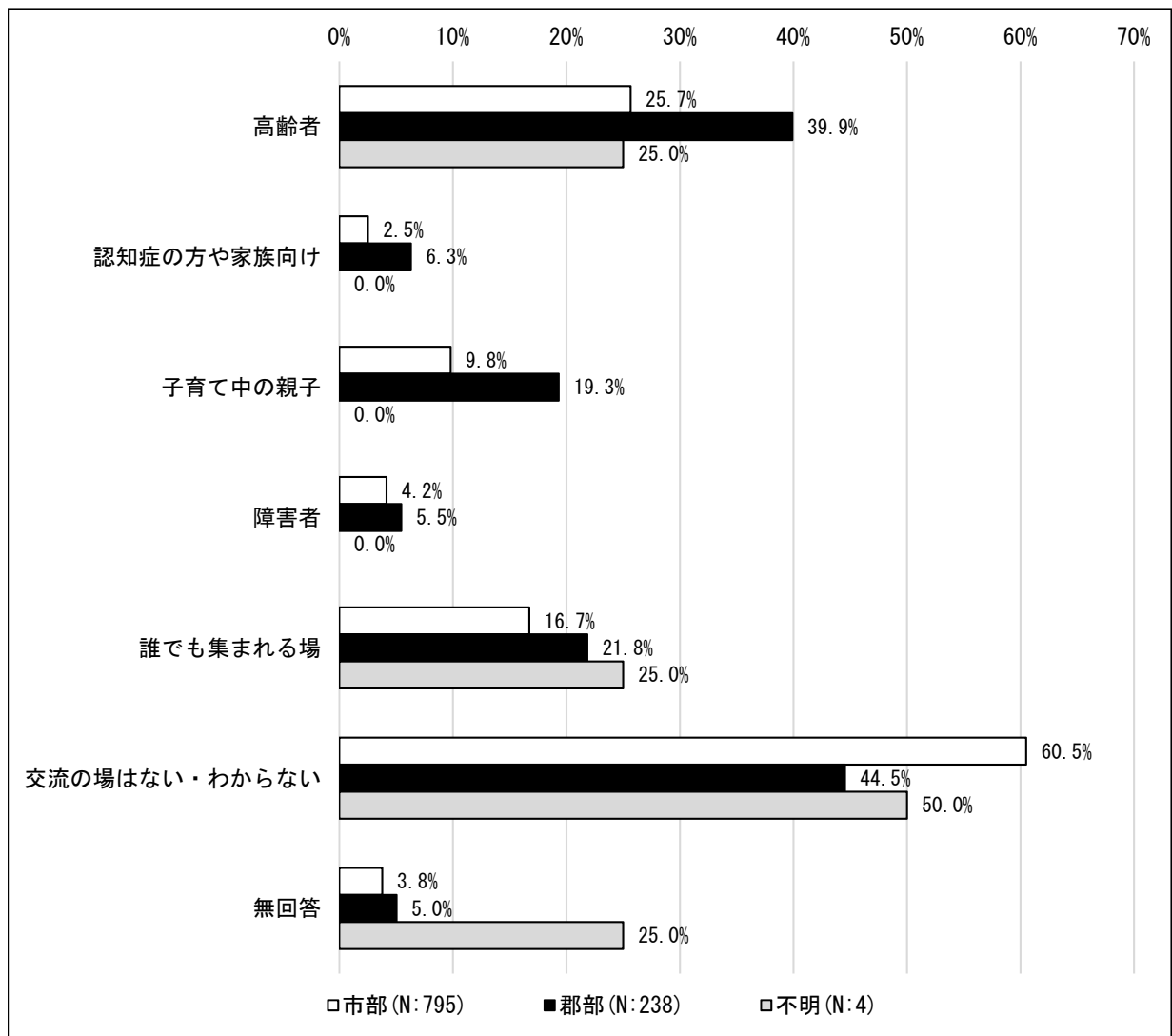
70歳未満の全ての年代で「交流の場はない・わからない」、「高齢者」の順に割合が大きく、次いで「40代」、「50代」、「60代」、「70歳以上」は「誰でも集まれる場」、「20代」、「30代」は「子育て中の親子」の順となっている。特に年代が下がるほど、「交流の場はない・わからない」が大きくなっている。

【地域別】



「中北地域」、「上北地域」、「三八地域」、「下北地域」は「子育て中の親子」が他地域より大きくなっている。「上北地域」は更に、「高齢者」、「障害者」、「誰でも集まれる場」が他地域より大きくなっている。

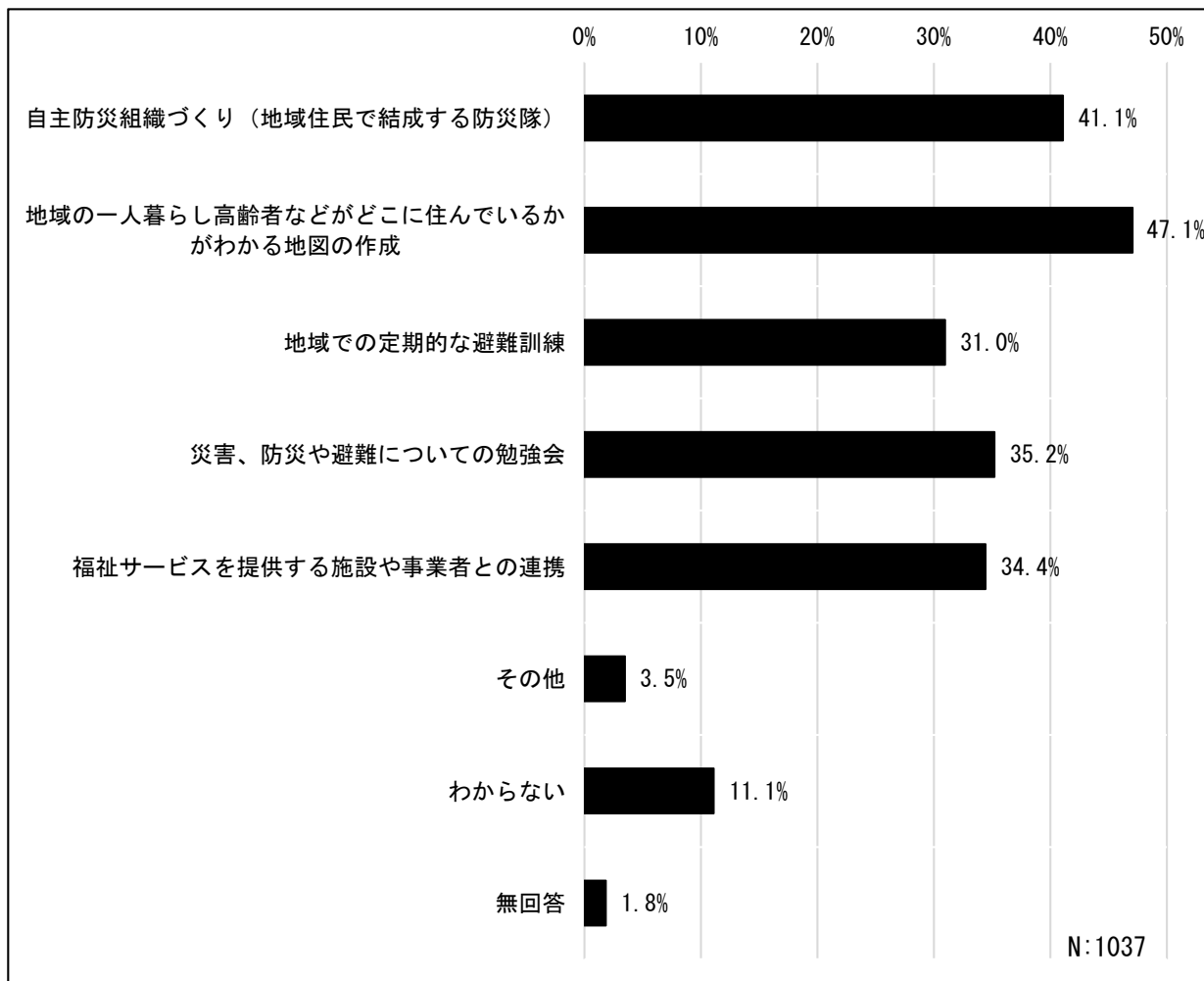
【市部・郡部別】



「市部」は「郡部」よりも「交流の場はない・わからない」が大きくなっている。「郡部」の方が「市部」より「交流の場」の認知度が高い。

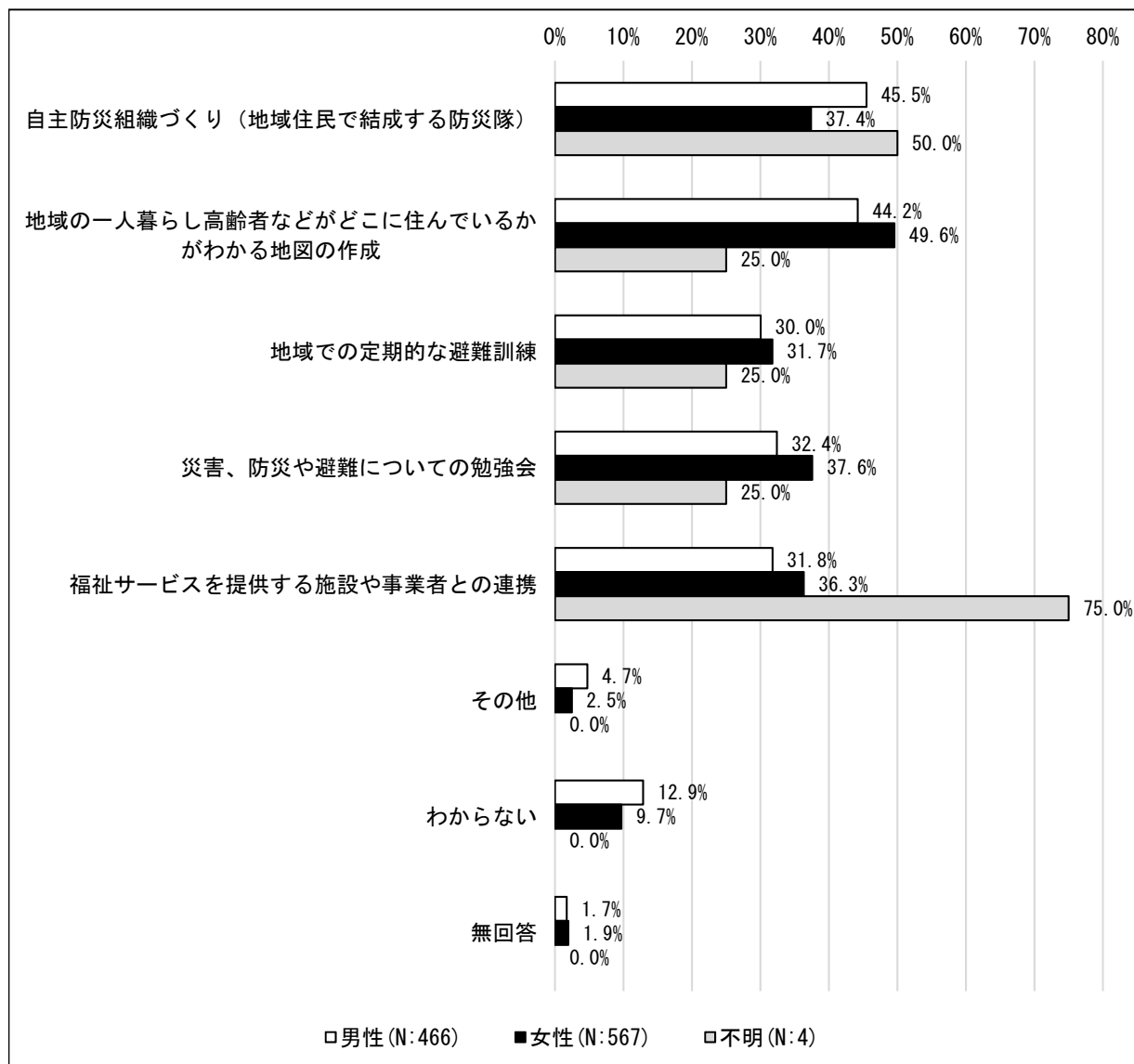
問 13. 災害時に住民が支え合う地域づくりには何が必要だと思いますか。（3つまで）

・災害時に住民が支えあう地域づくり



「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が47%、「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」が41%、「災害、防災や避難についての勉強会」が35%、「福祉サービスを提供する施設や事業者との連携」が34%、「地域での定期的な避難訓練」が31%となっている。

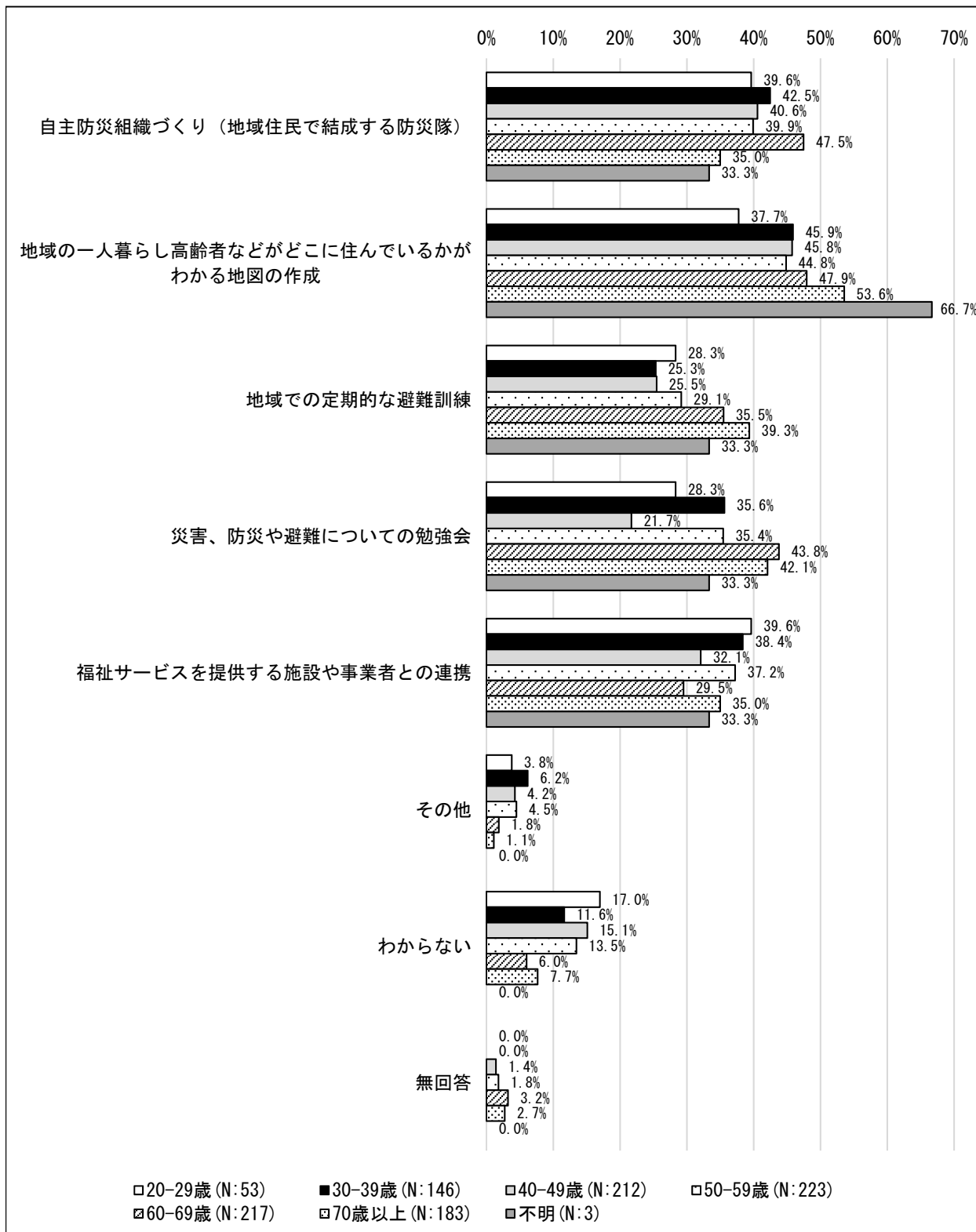
【男女別】



男性は「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」が最も大きく、次いで「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」、「災害、防災や避難についての勉強会」の順となっている。

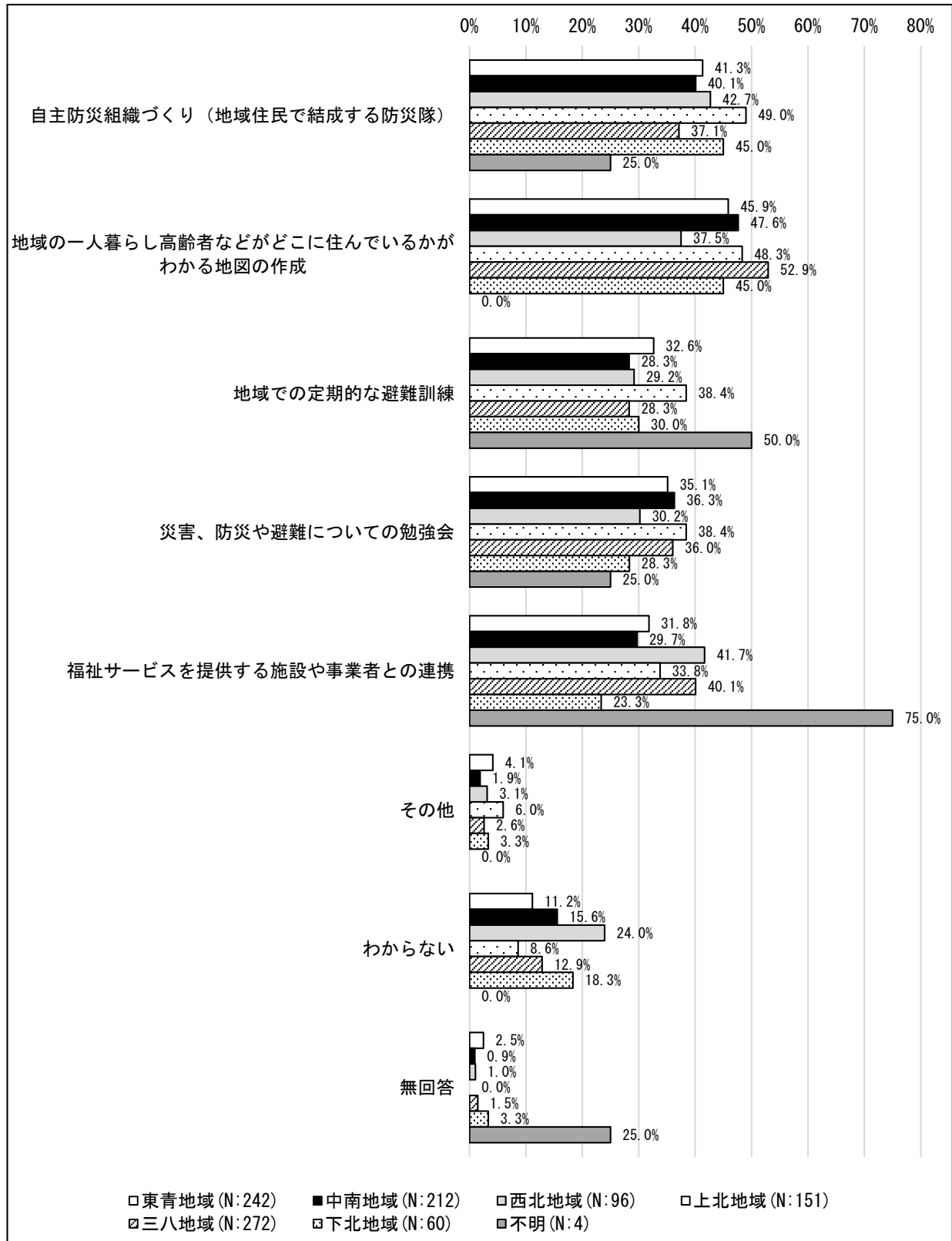
女性は「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きく、次いで「災害、防災や避難についての勉強会」、「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」の順となっている。

【年代別】



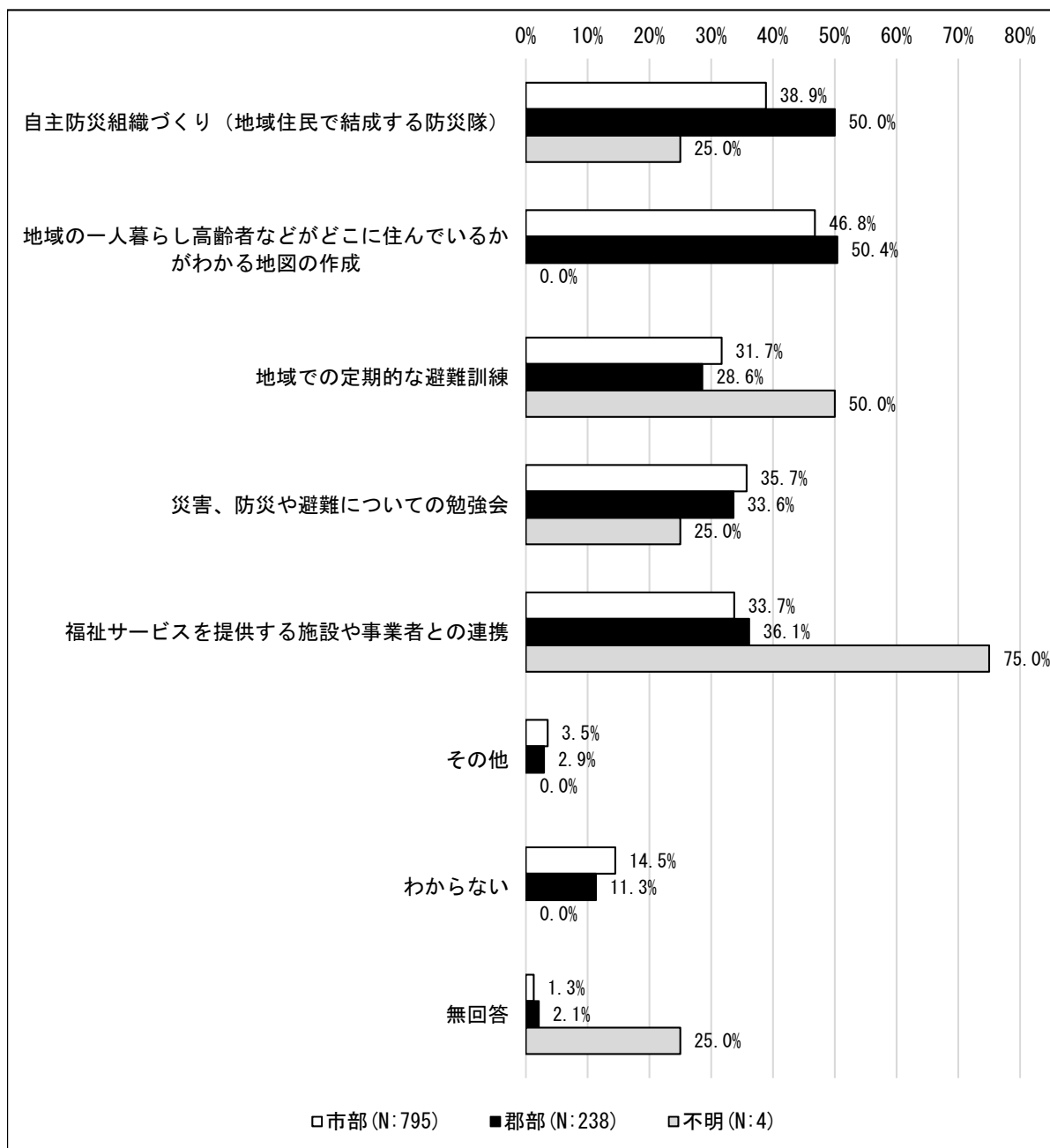
「20代」は「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」、「福祉サービスを提供する施設や事業者との連携」が同率で最も大きくなっている。「30代」以上は、「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きくなっている。

【地域別】



「西北地域」、「上北地域」は「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」が最も大きく、「下北地域」は「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」、「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が同率で最も大きく、他地域は「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きい。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成」が最も大きく、次いで「自主防災組織づくり（地域住民で結成する防災隊）」となっている。

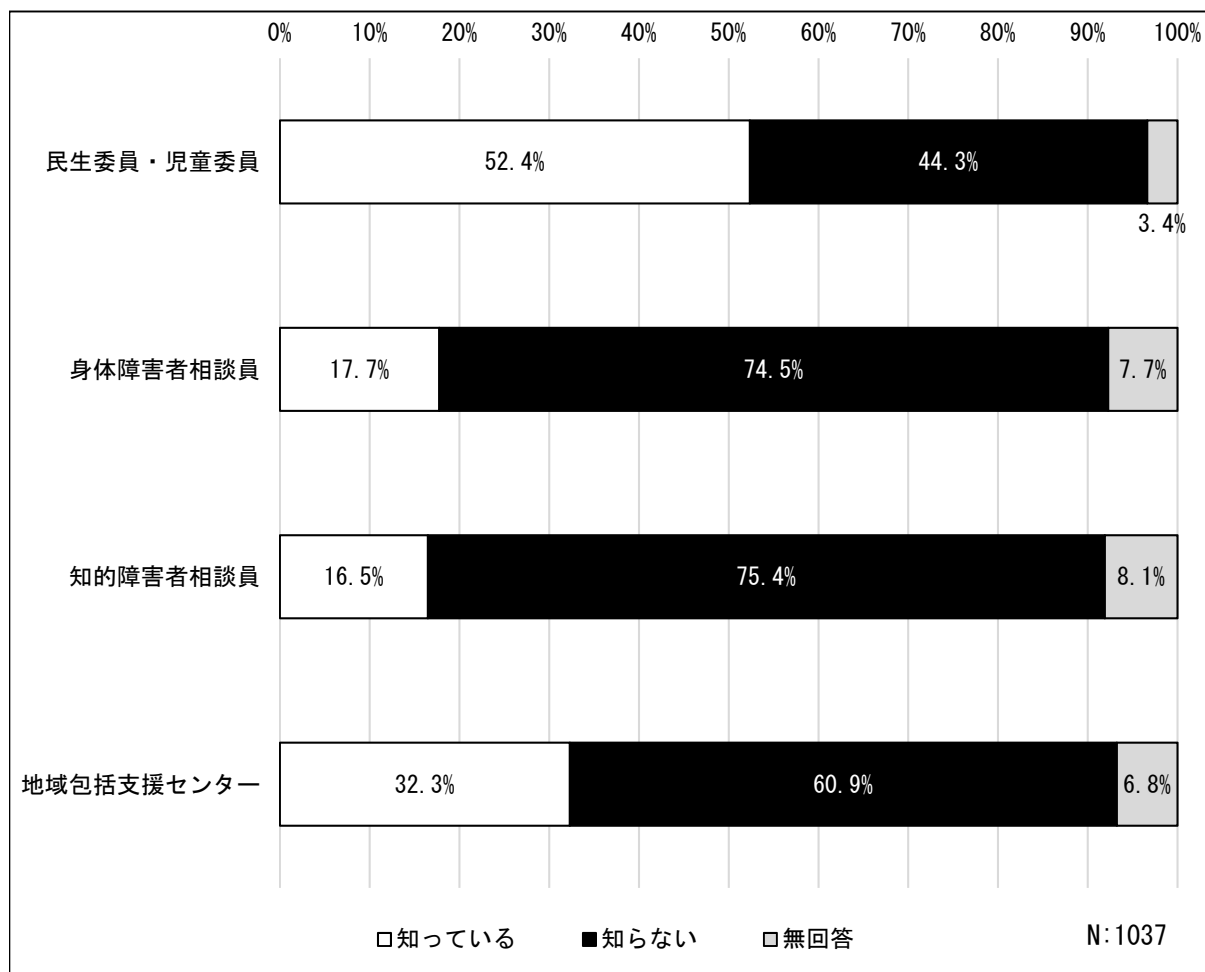
【自由回答より】

- ・情報の発信と受けとる環境の整備。
- ・避難訓練より1人1人の防災の認識の強化。
- ・ある程度、誰でも自由に交流できる場。
- ・高齢者だけでなく、避難するときなどに支援が必要な人とその支援内容の把握など。

< 4 > 様々な相談窓口について

問 14. 民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員、地域包括支援センターの活動内容を知っていますか。（1から4についてそれぞれ1つ）

・ 民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員、地域包括支援センターの活動内容

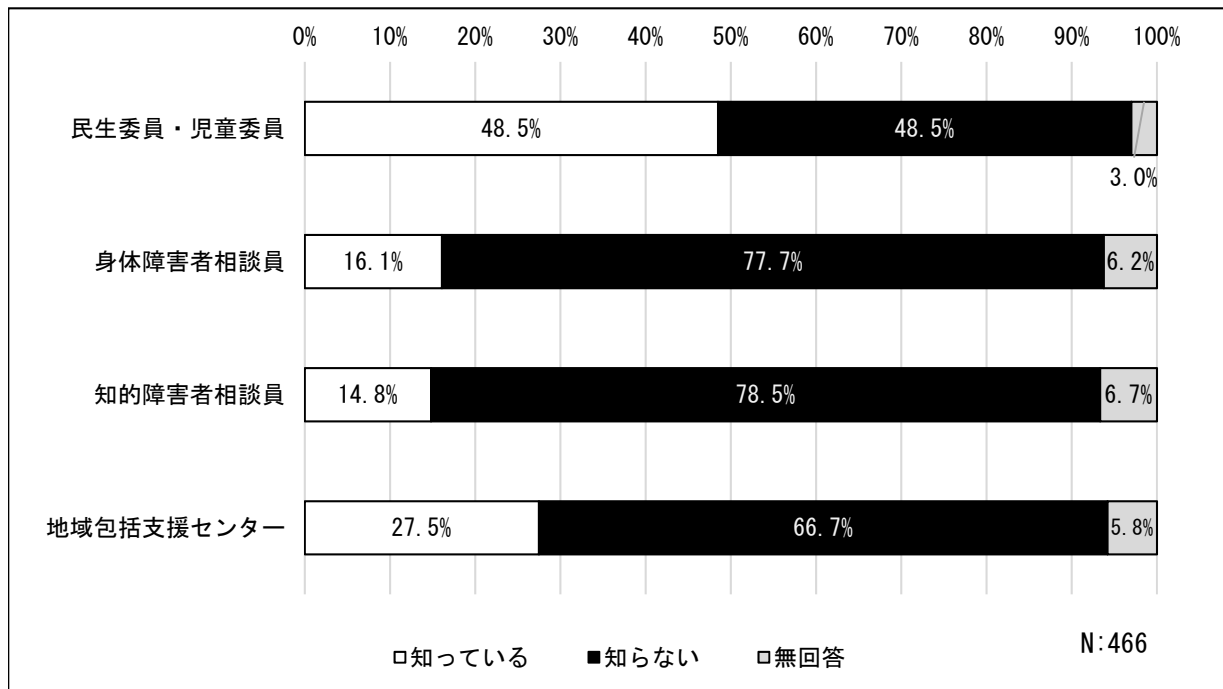


「民生委員・児童委員」は、「知っている」が52%で「知らない」の44%を上回っている。

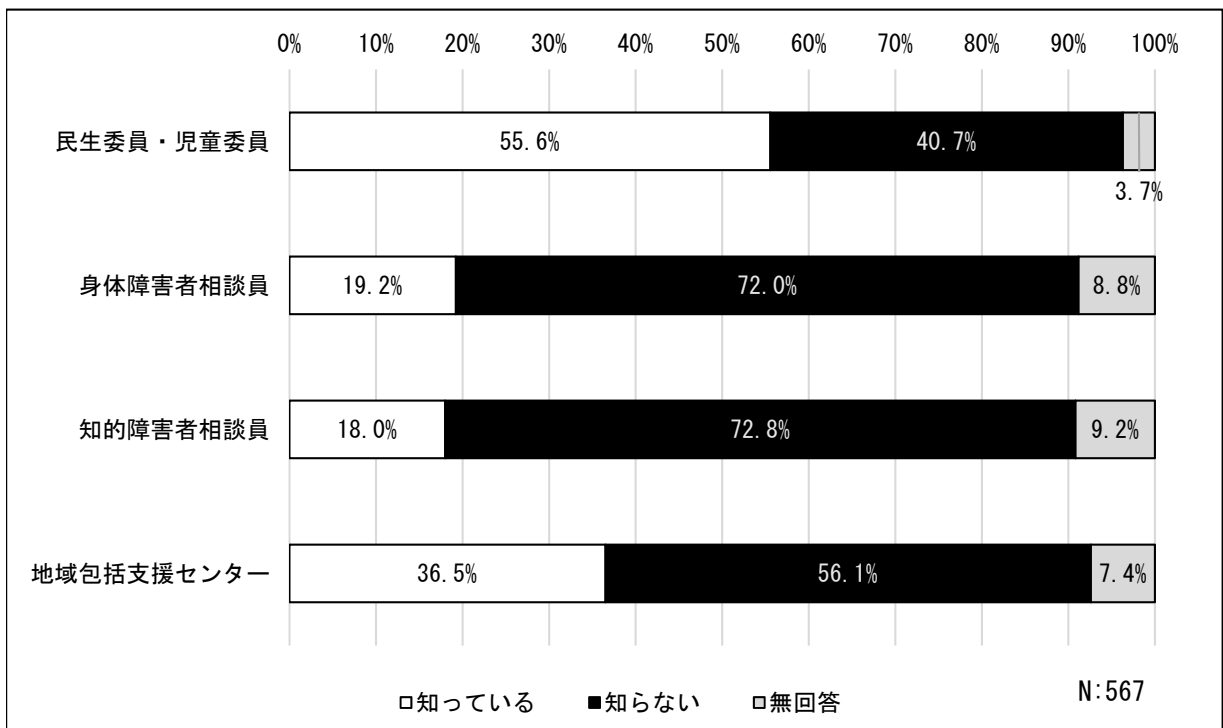
「地域包括支援センター」は6割、「身体障害者相談員」、「知的障害者相談員」は7割以上が「知らない」となっている。

【男女別】

(男性)



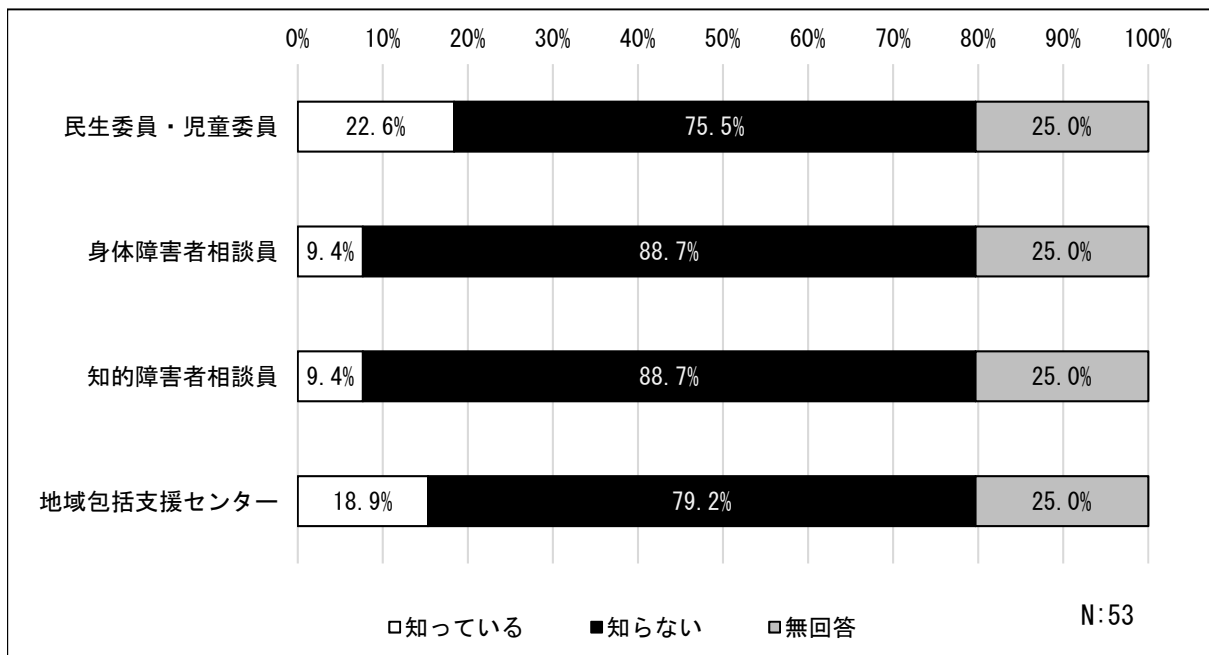
(女性)



女性は「民生委員・児童委員」を「知らない」より「知っている」割合が大きく、「身体障害者相談員」、「知的障害者相談員」、「地域包括支援センター」は男女とも「知っている」より「知らない」割合が大きくなっている。また、女性の方が男性より認知度が高い。

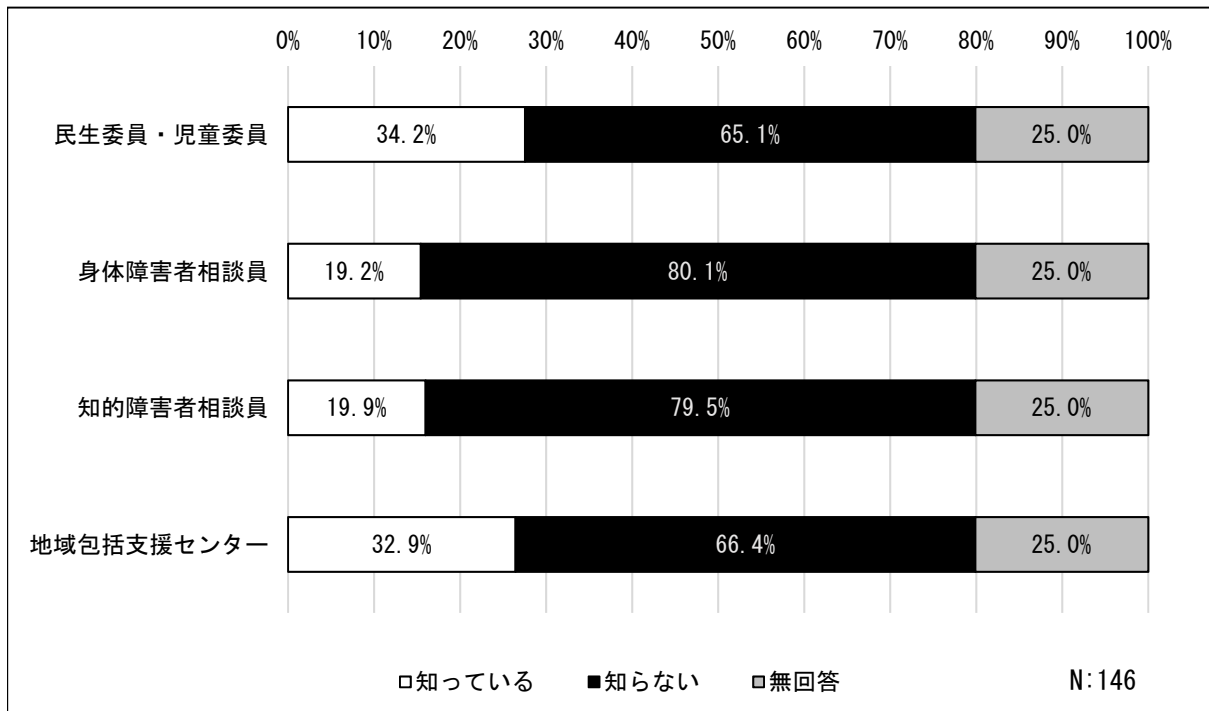
【年代別】

(20-29 歳)



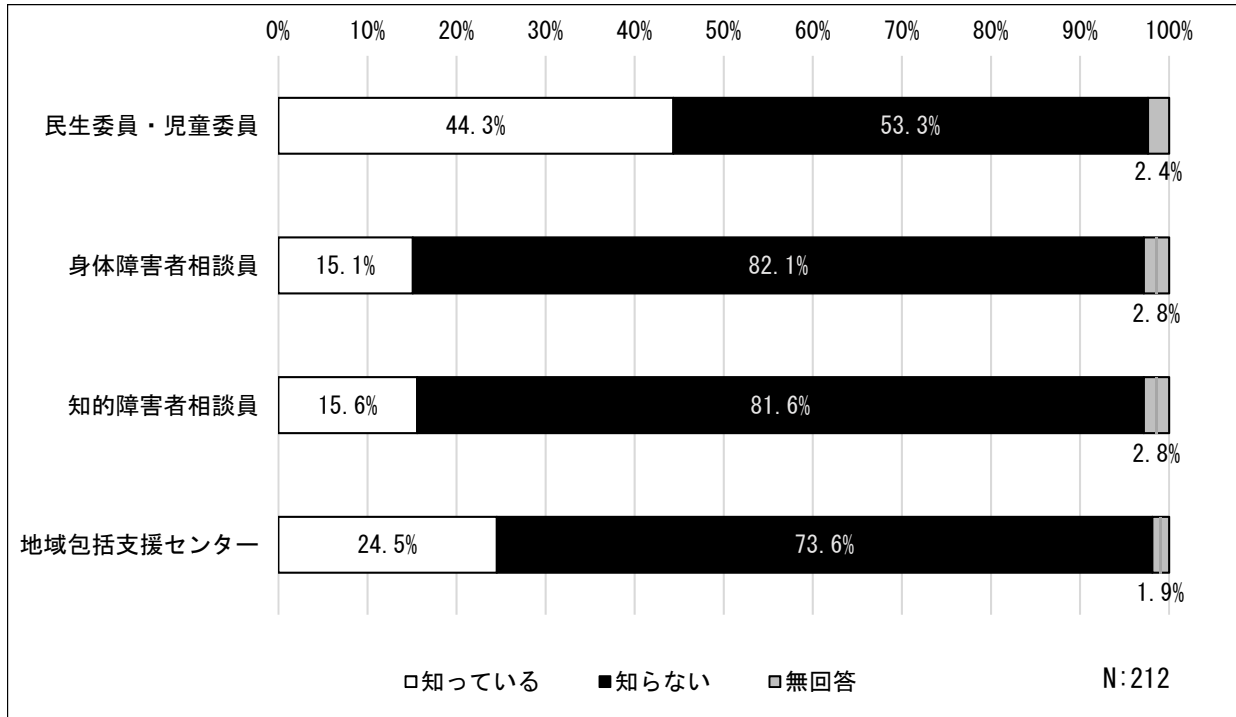
全ての項目で「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

(30-39 歳)



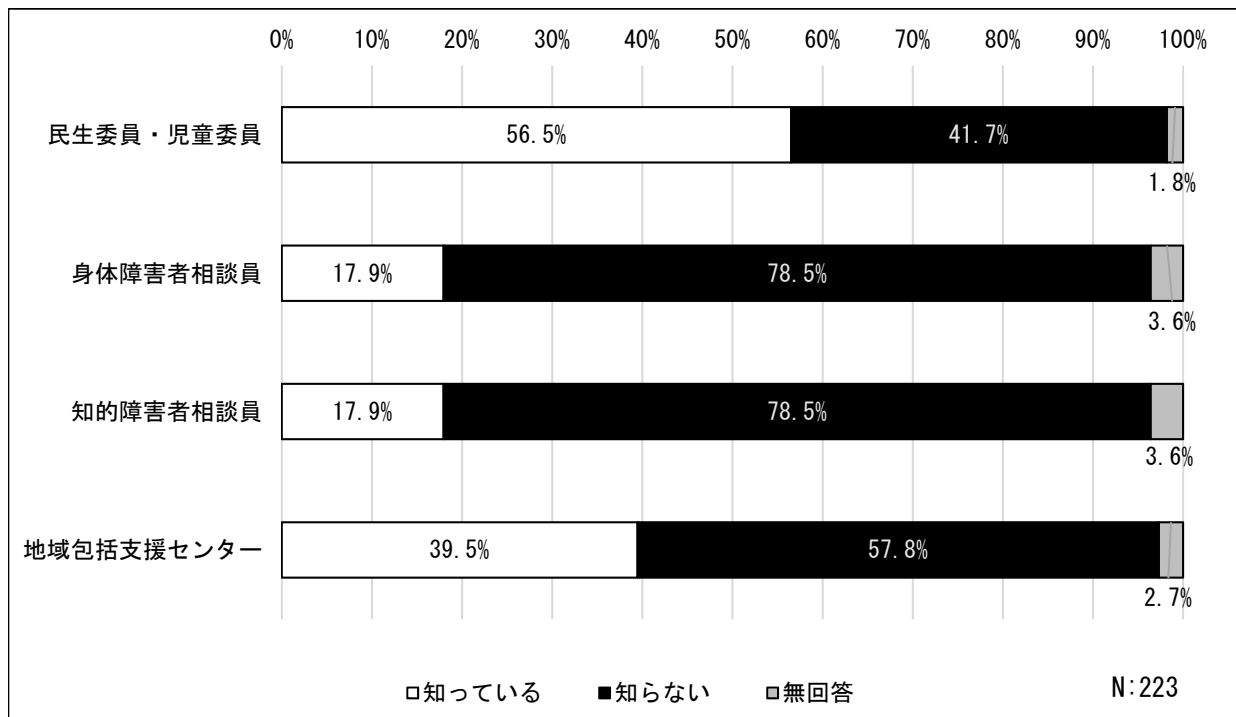
全ての項目で「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

(40-49 歳)



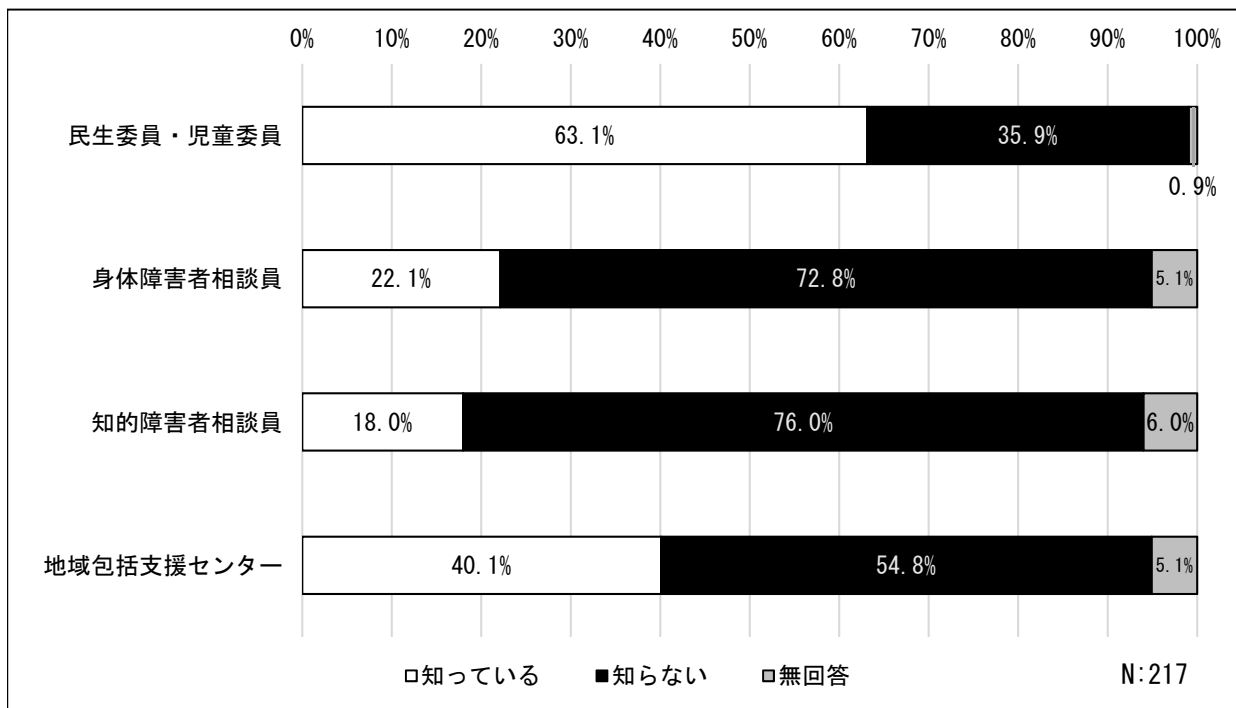
全ての項目で「知らない」が「知っている」を上回っているが、「民生委員・児童委員」については認知度が高い。

(50-59 歳)



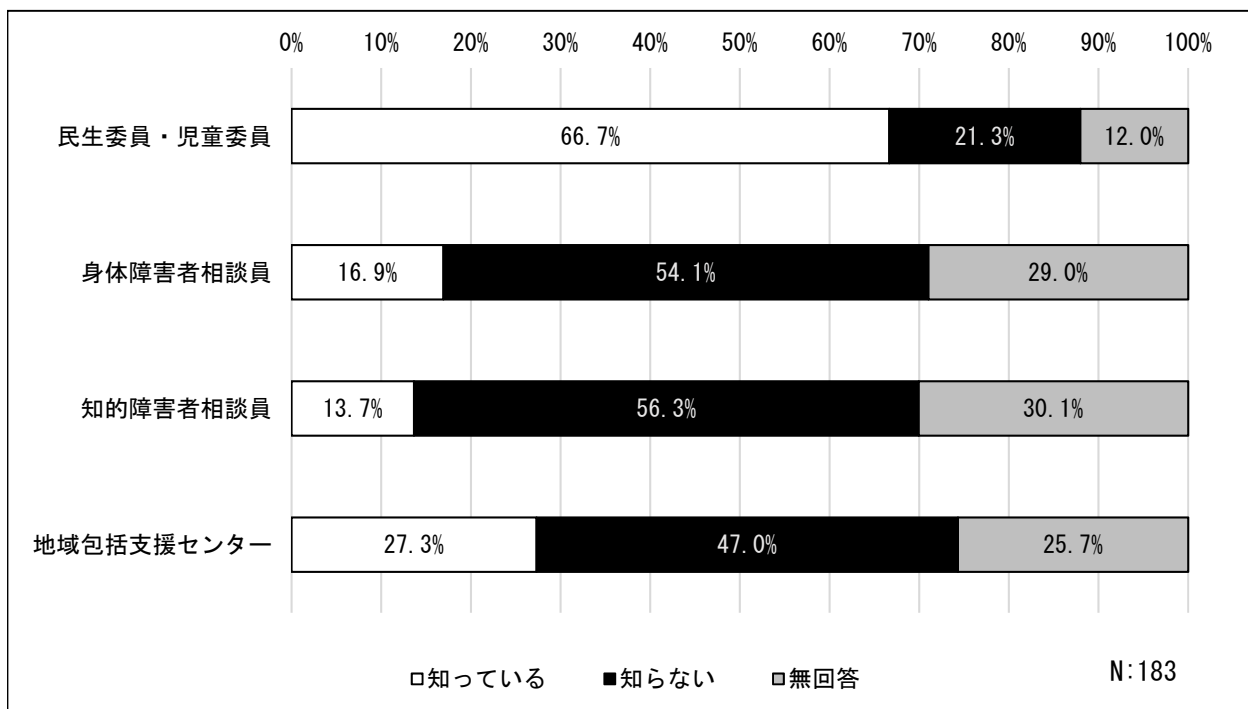
「民生委員・児童委員」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。また、「地域包括支援センター」の認知度も高くなっている。

(60-69 歳)



「民生委員・児童委員」を「知っている」が「知らない」を大きく上回っている。また、全ての年代の中で「地域包括支援センター」を「知っている」が最大となっている。

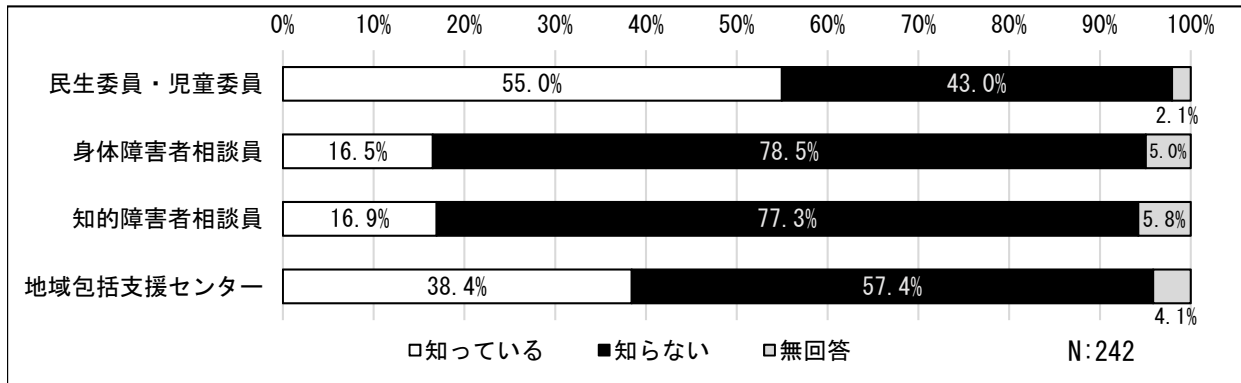
(70 歳以上)



「民生委員・児童委員」を「知っている」が「知らない」を大きく上回り、その割合は、全ての年代の中で最大となっている。

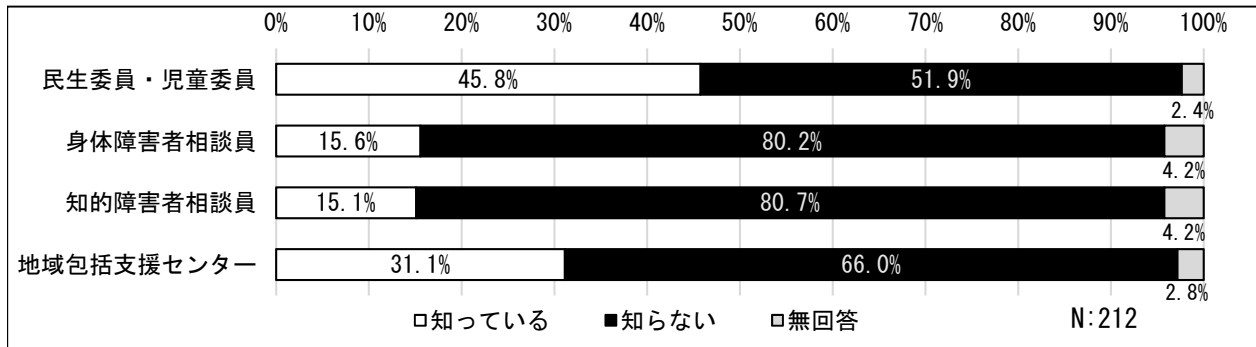
【地域別】

(東青地域)



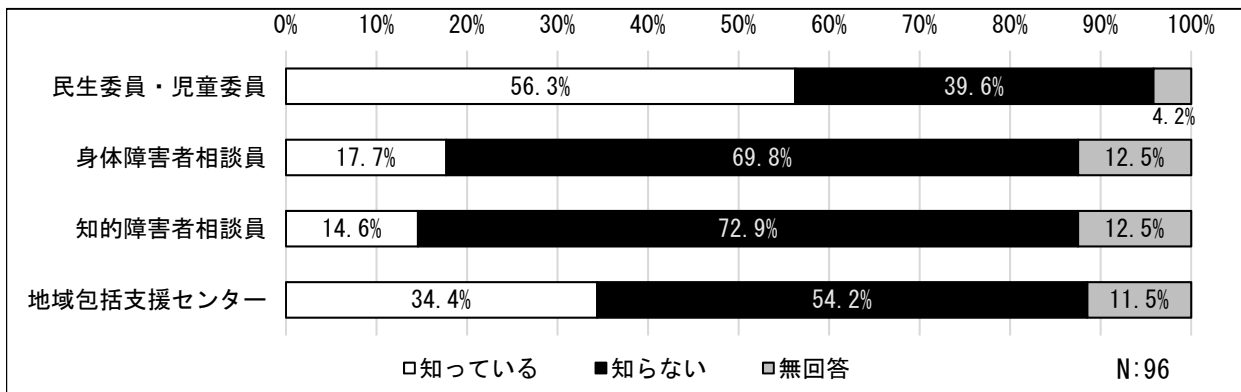
「民生委員・児童委員」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

(中南地域)



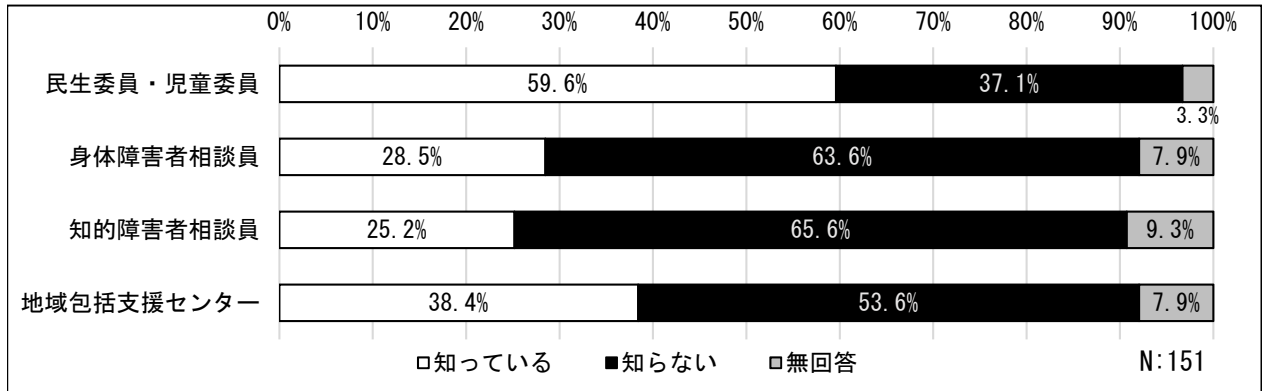
全ての項目で「知らない」が「知っている」を上回っている。

(西北地域)



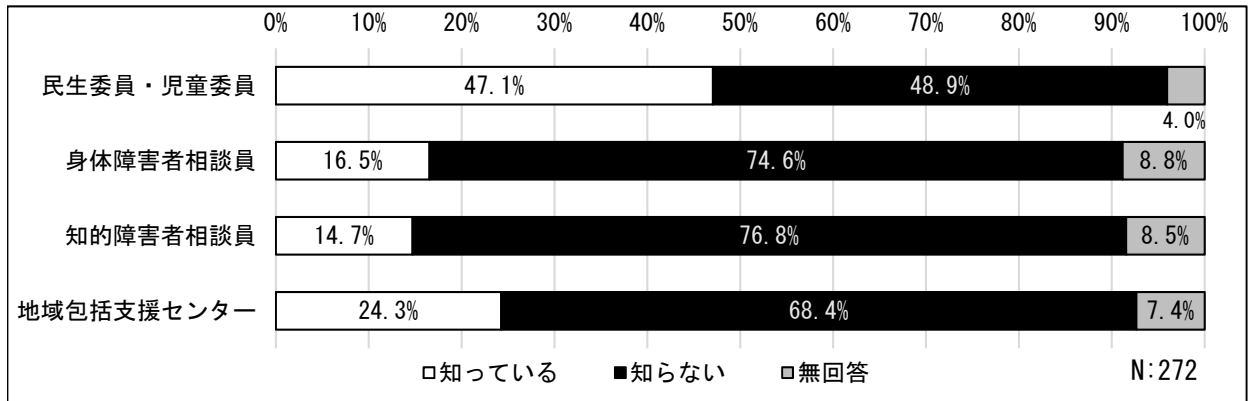
「民生委員・児童委員」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

(上北地域)



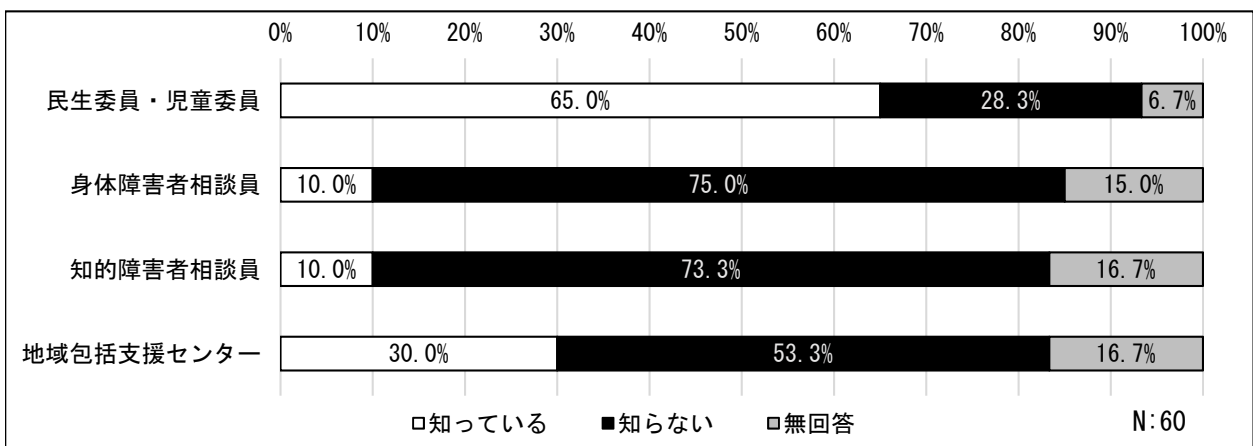
「民生委員・児童委員」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

(三八地域)



「民生委員・児童委員」の割合は「知っている」、「知らない」がほぼ同率となっている。

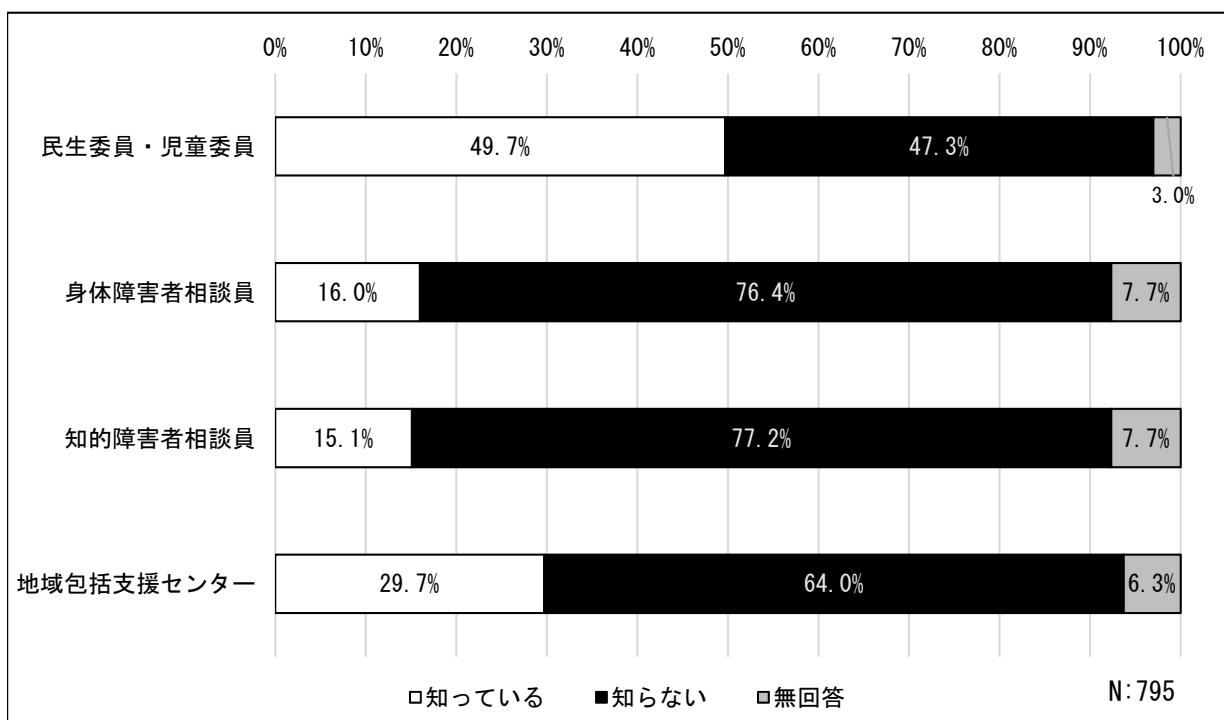
(下北地域)



「民生委員・児童委員」は、「知っている」が「知らない」を大きく上回っている。

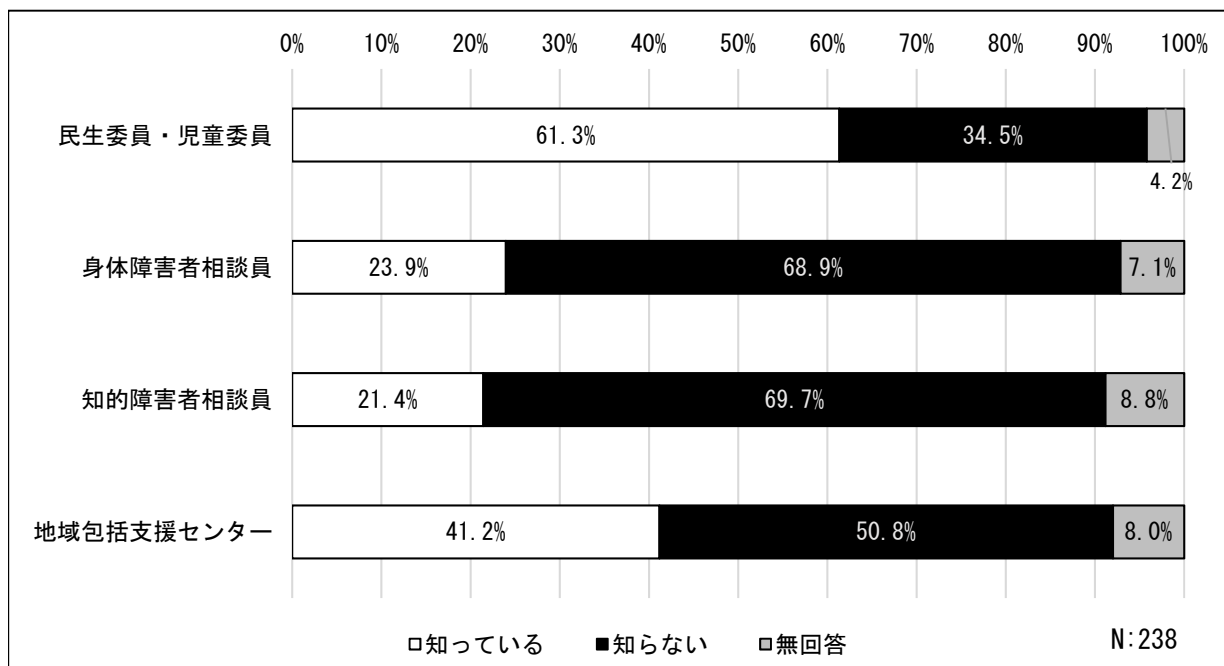
【市部・郡部別】

(市部)



「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」をやや上回っている。その他の項目は、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

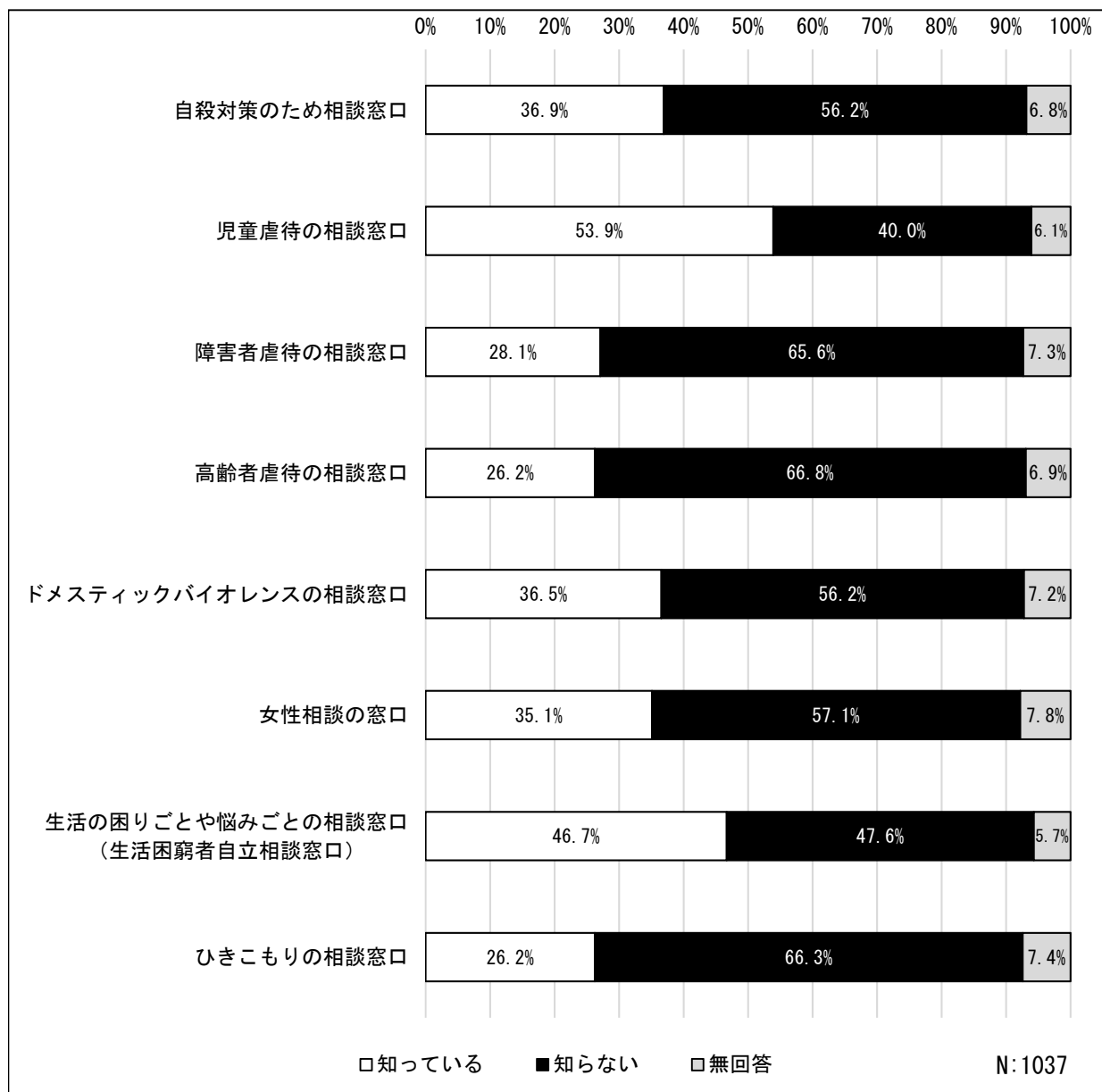
(郡部)



「民生委員・児童委員」は「知っている」が「知らない」を大きく上回っている。その他の項目は、「知らない」が「知っている」を上回っている。

問 15. 県内に、次の相談窓口があることを知っていますか。（1から8についてそれぞれ1つ）

(全体)

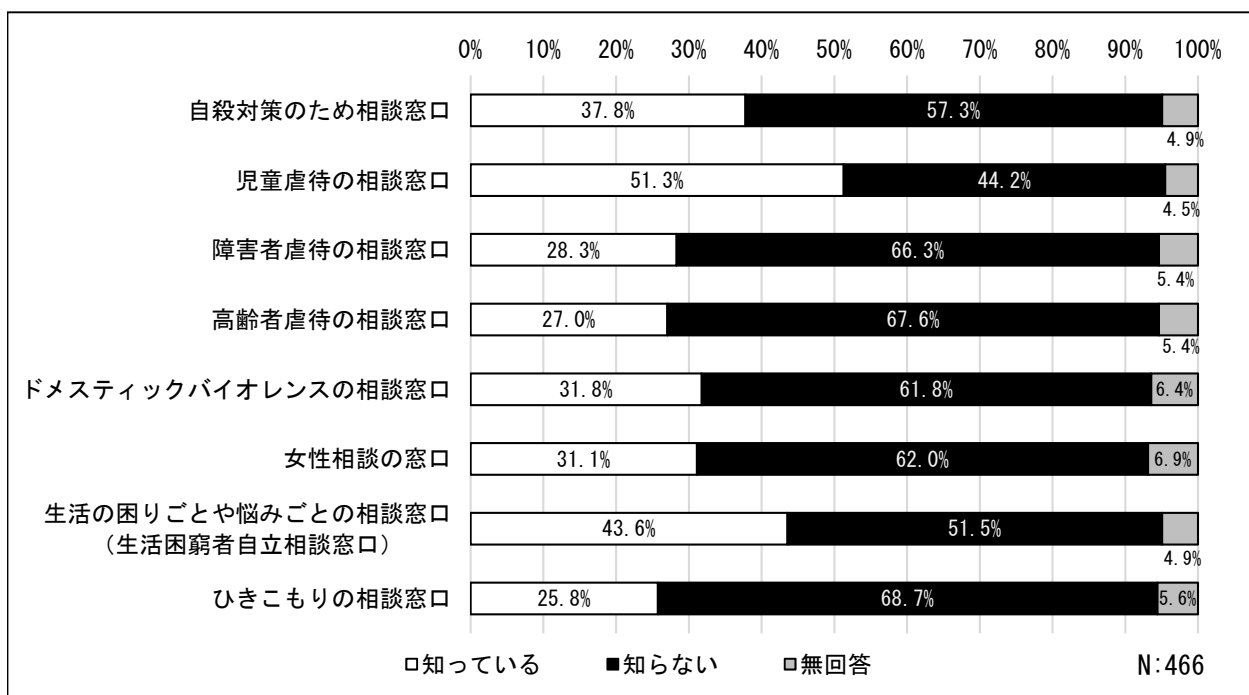


「知っている」は、「児童虐待の相談窓口」が54%と最も大きく、次いで「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」、「自殺対策のための相談窓口」の順となっている。

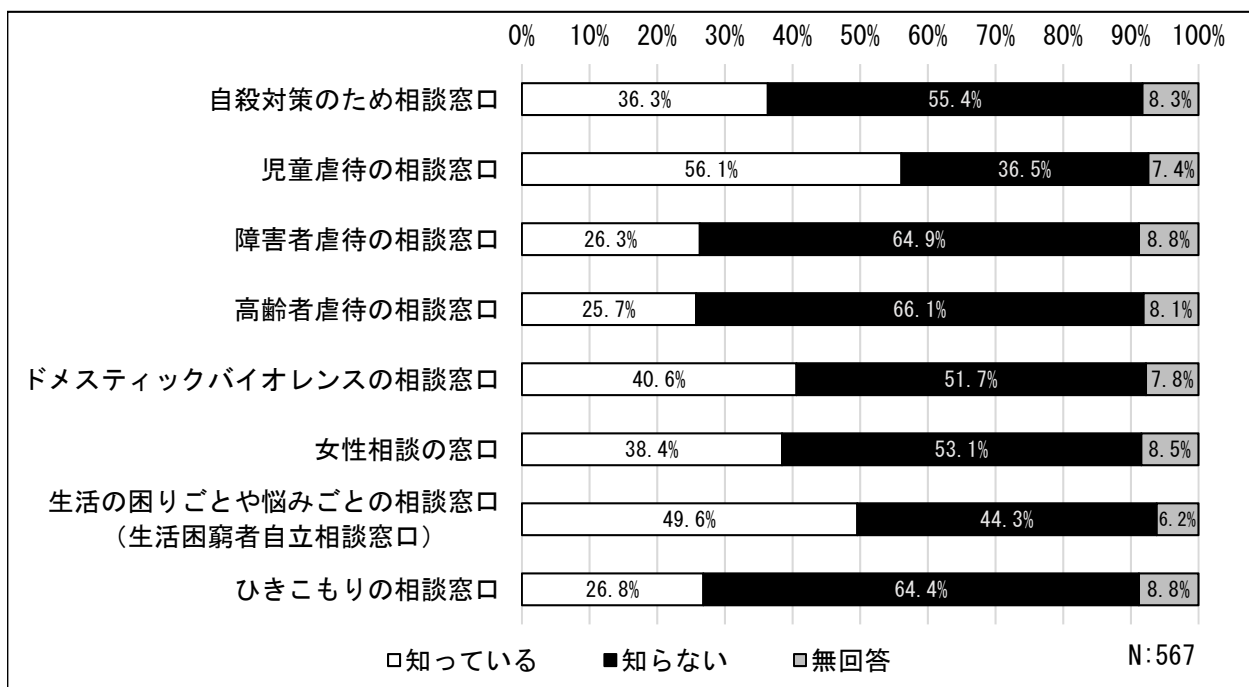
一方「知らない」は、「高齢者虐待の相談窓口」が67%と最も大きく、次いで「ひきこもりの相談窓口」、「障害者虐待の相談窓口」の順となっている。

【男女別】

(男性)



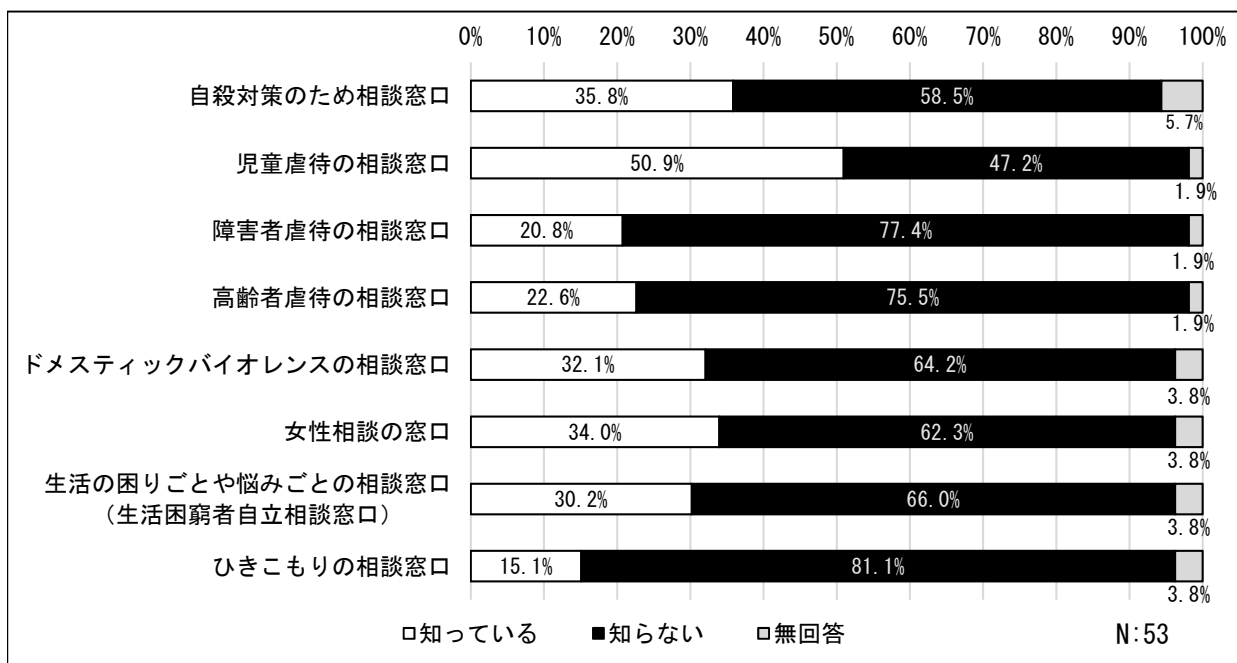
(女性)



「知っている」は、男女ともに「児童虐待の相談窓口」が最も大きく、次いで「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」となっている。

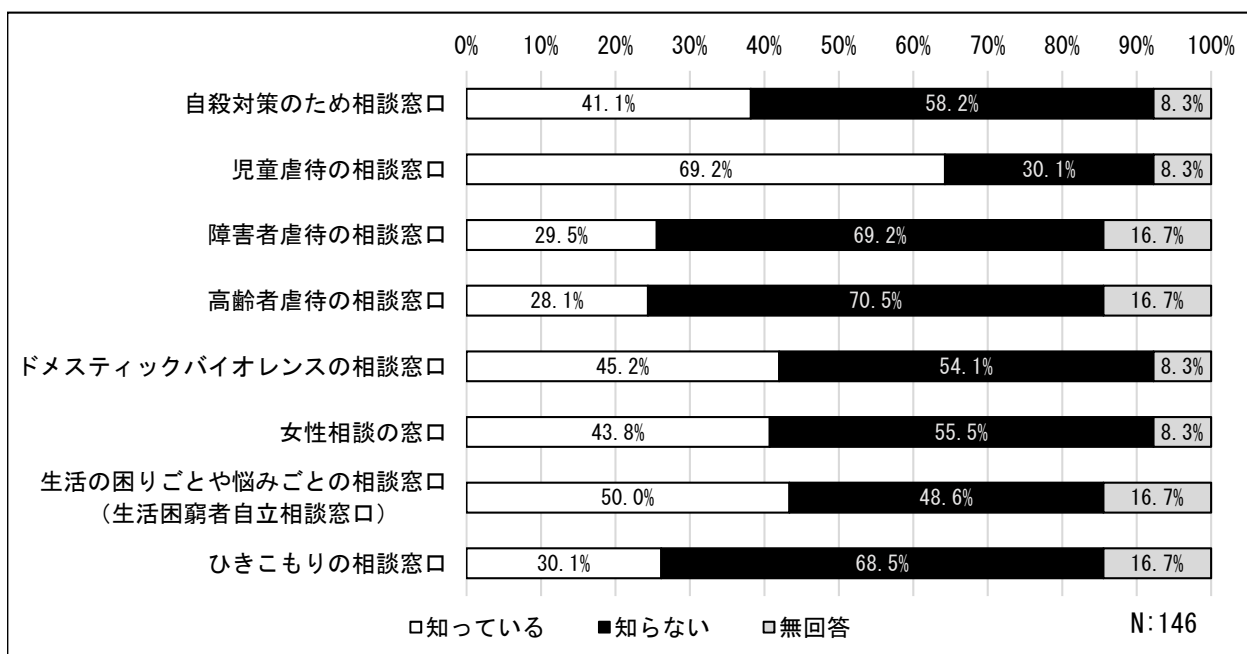
【年代別】

(20-29 歳)



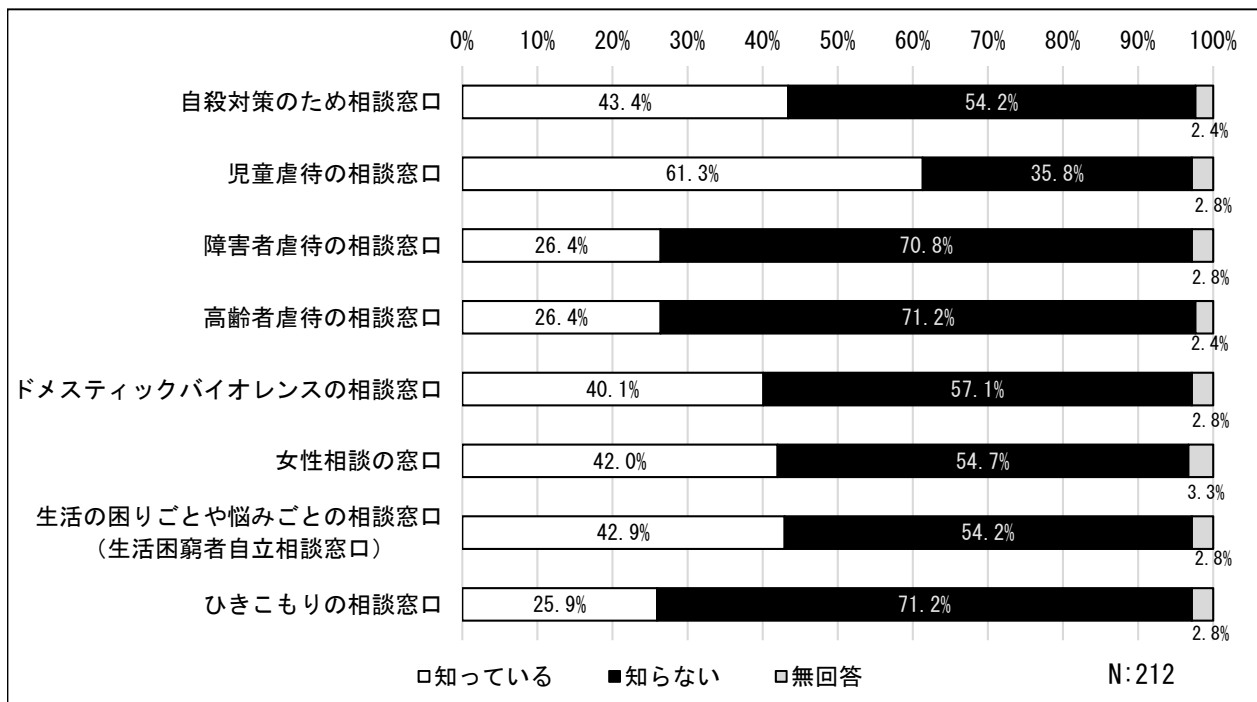
「児童虐待の相談窓口」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。その他の項目は「知らない」が「知っている」を上回っている。

(30-39 歳)



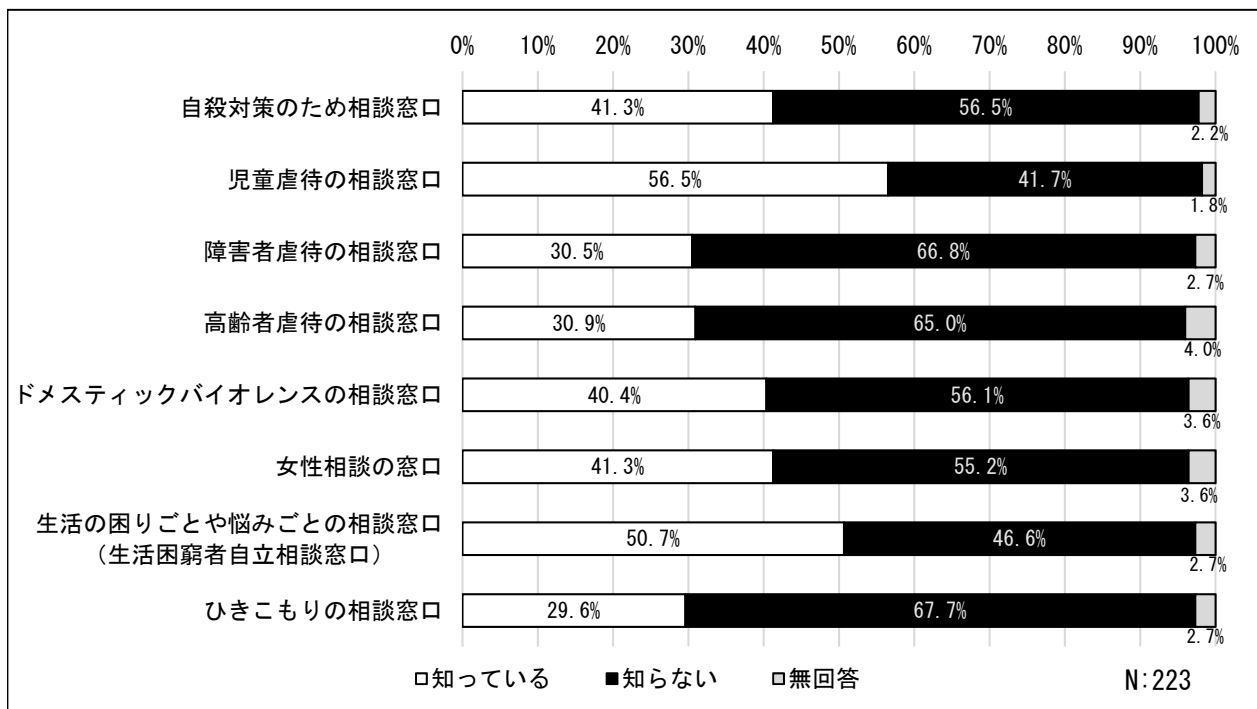
全ての年代の中で、「児童虐待の相談窓口」を「知っている」割合が最も大きく、約7割となっている。

(40-49 歳)



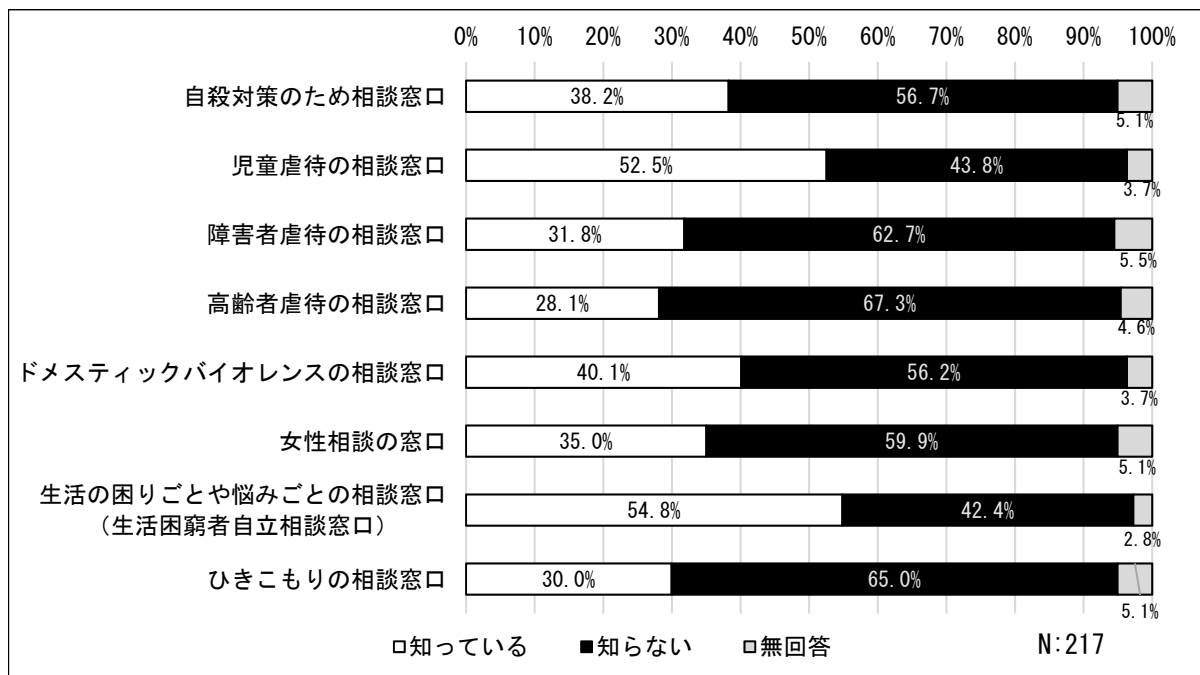
「児童虐待の相談窓口」は、「知っている」が「知らない」を上回り、割合も6割を超えている。

(50-59 歳)



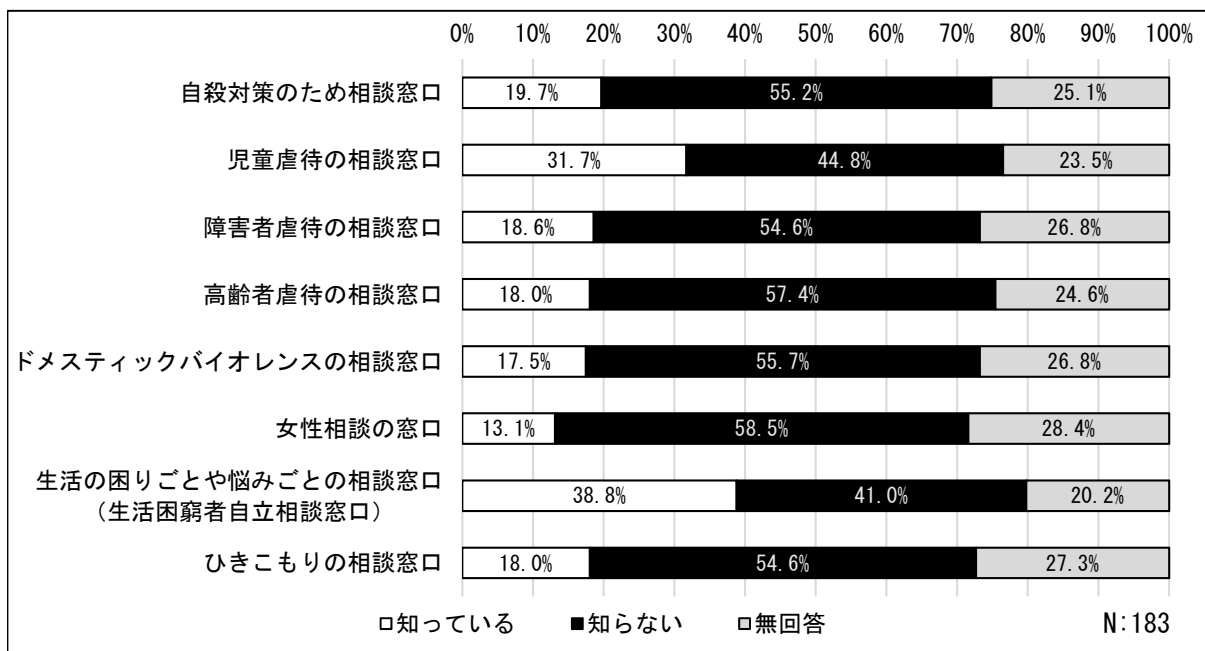
「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

(60-69 歳)



「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

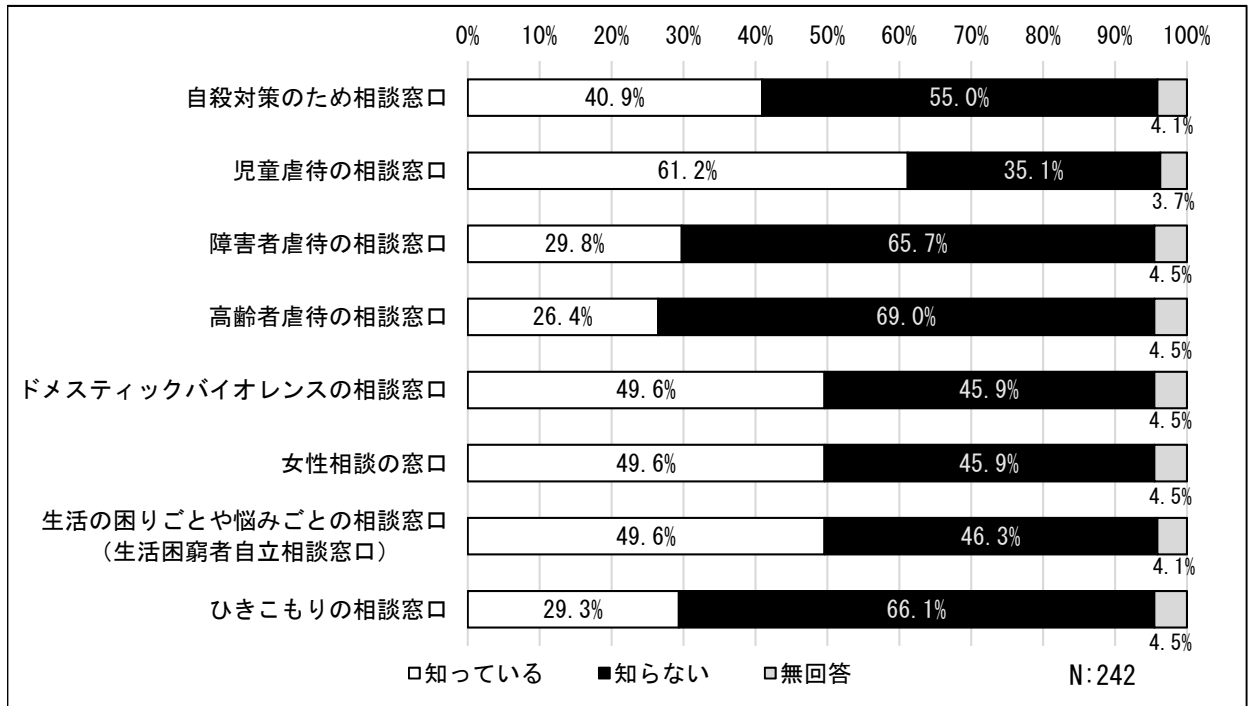
(70 歳以上)



「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は「知っている」、「知らない」がほぼ同率となっている。その他の項目は、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

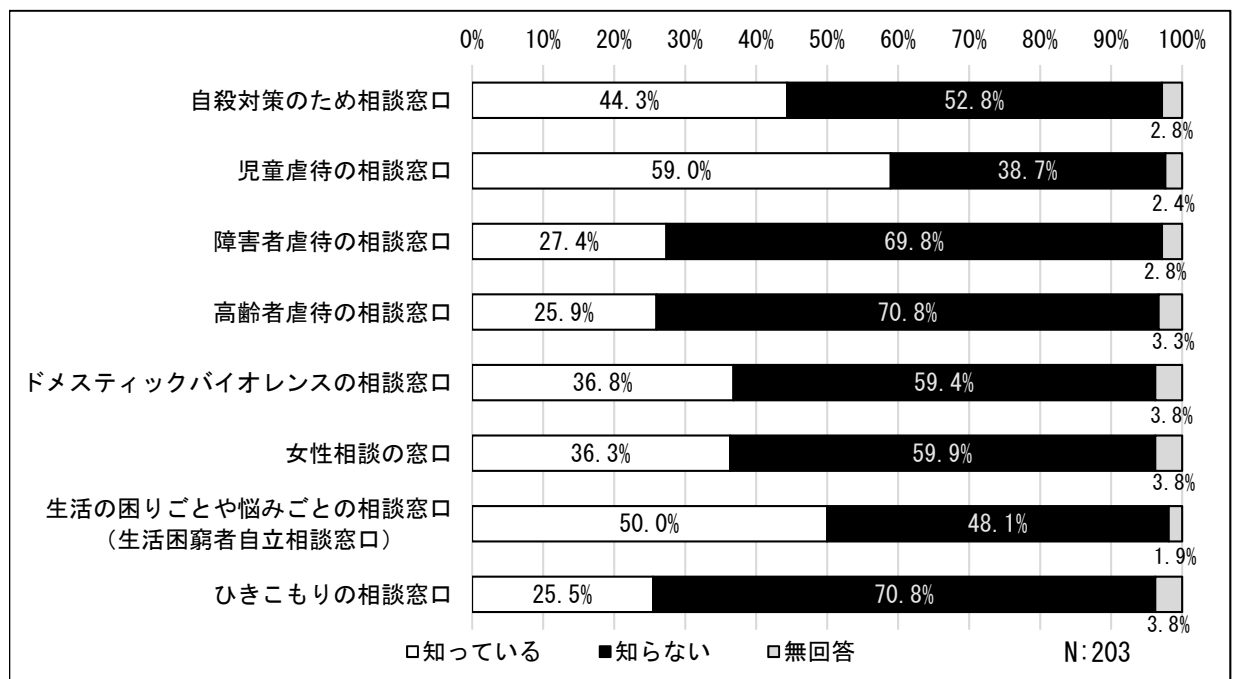
【地域別】

(東青地域)



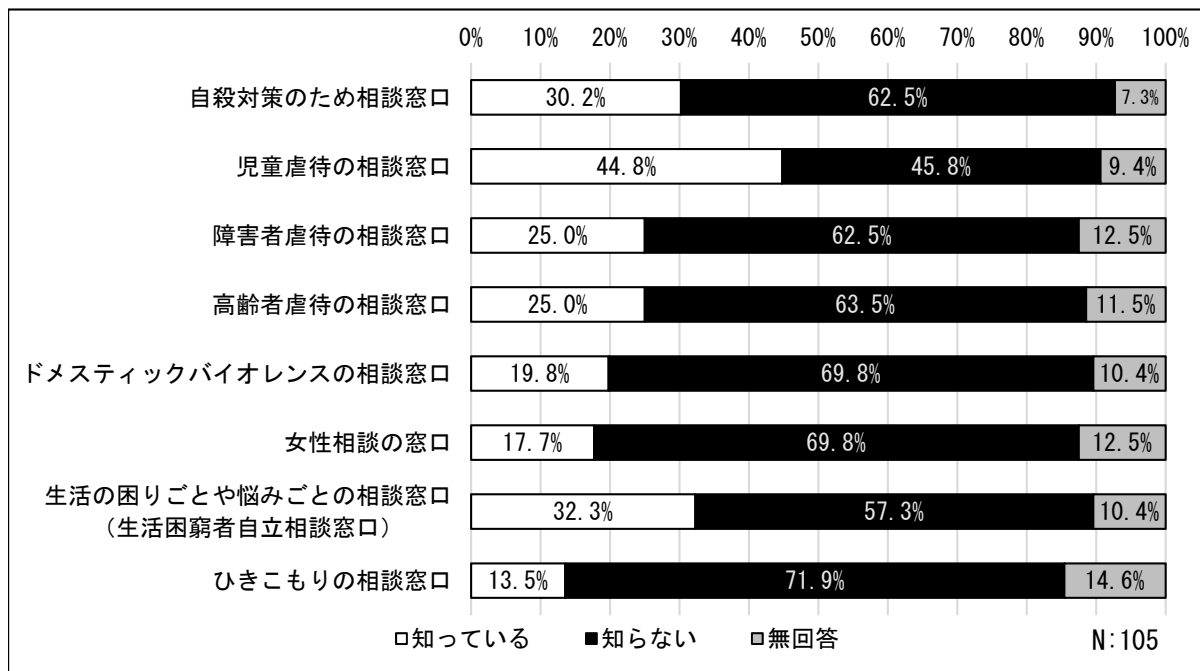
「児童虐待の相談窓口」、「ドメスティックバイオレンスの相談窓口」、「女性相談の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

(中南地域)



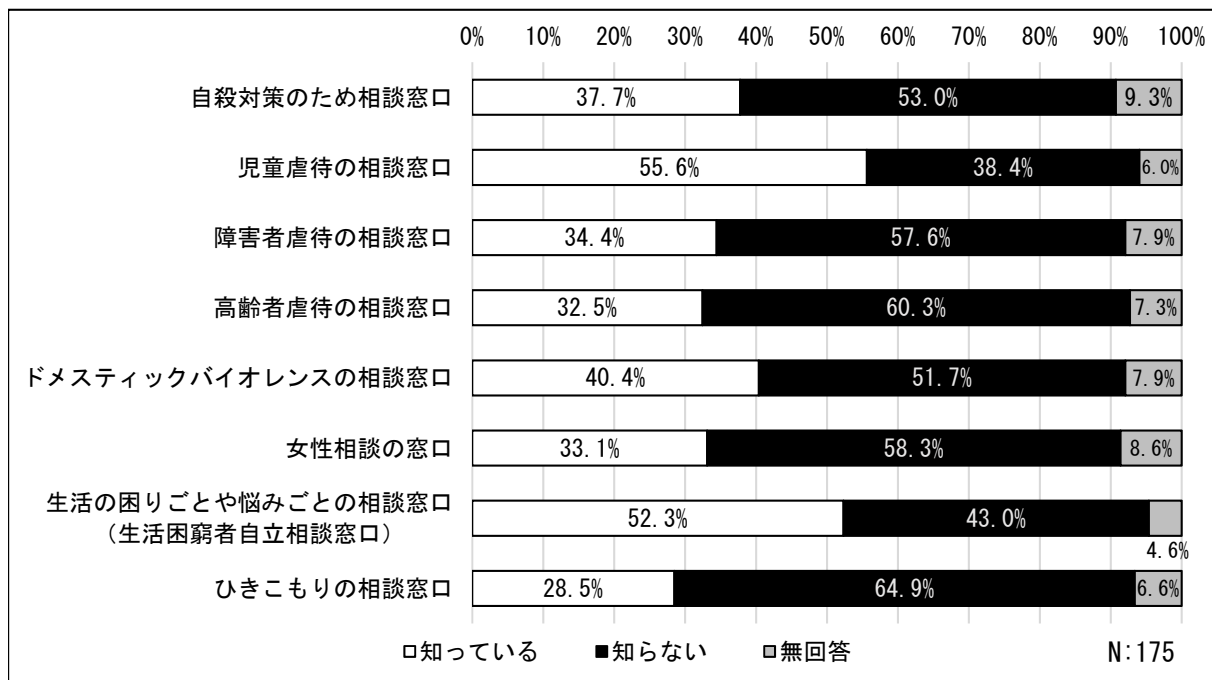
「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

(西北地域)



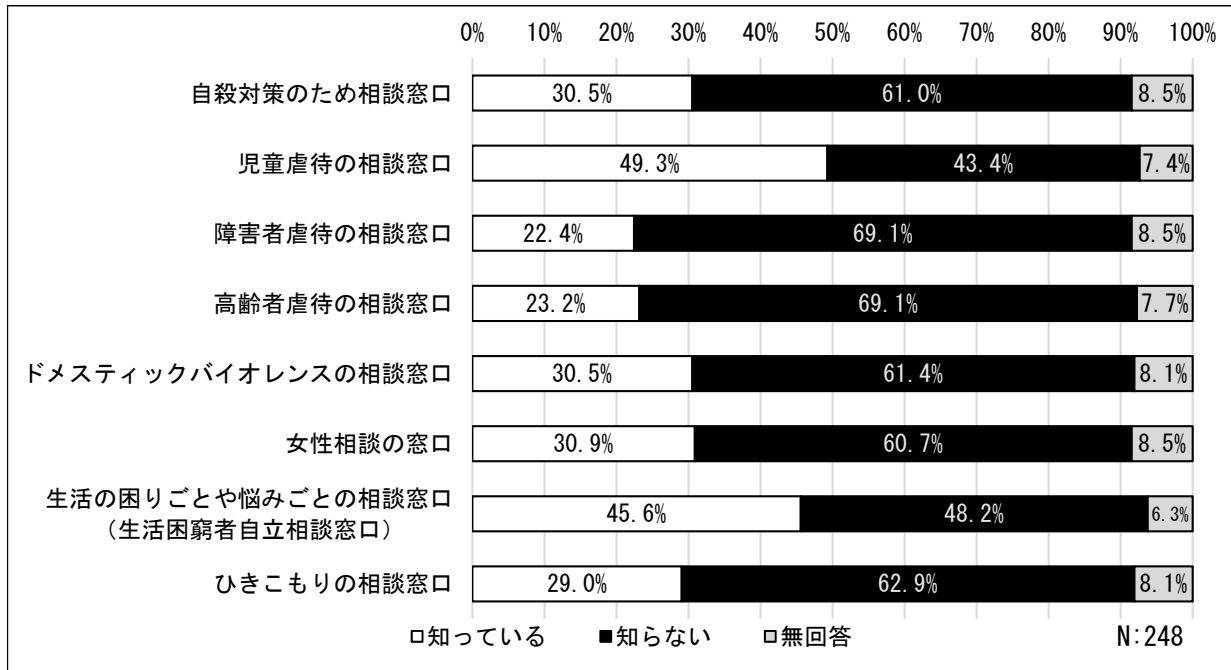
全ての項目で「知らない」が「知っている」を上回っている。

(上北地域)



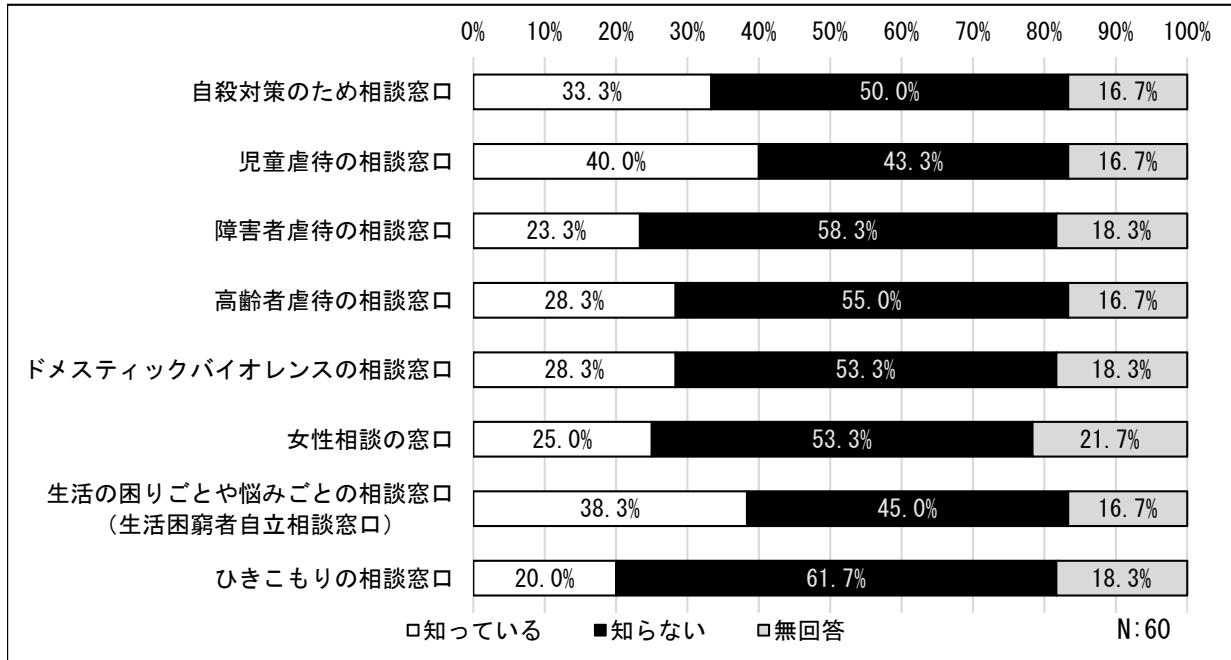
「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

(三八地域)



「児童虐待の相談窓口」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

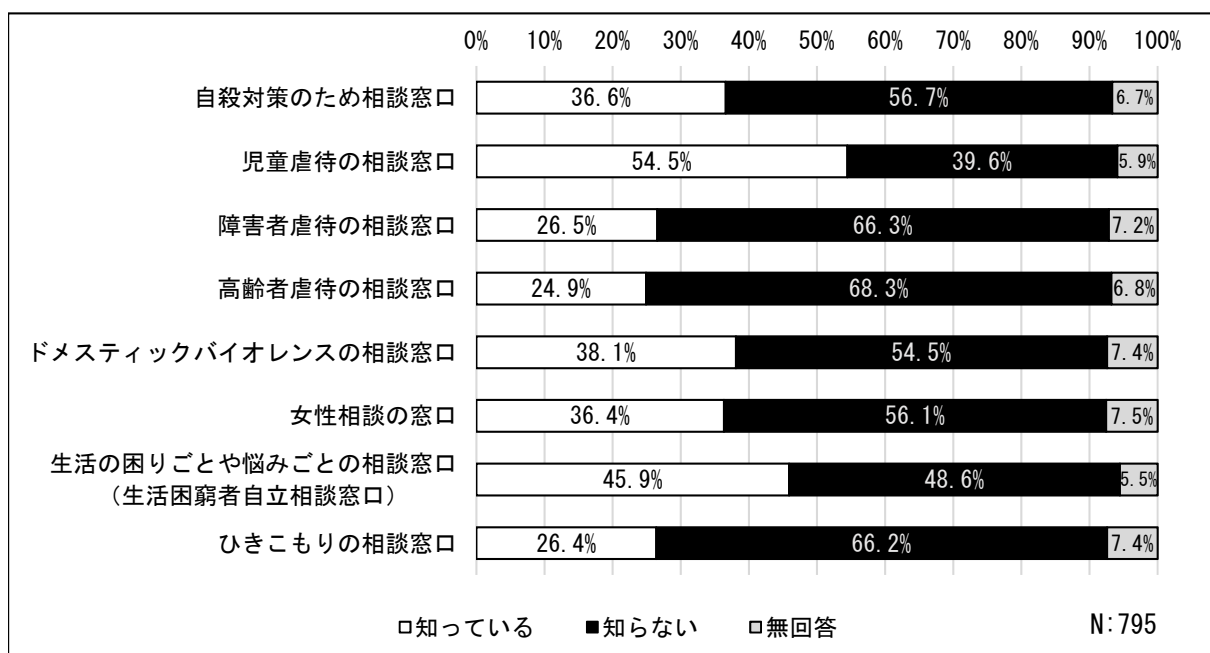
(下北地域)



全ての項目で「知らない」が「知っている」を上回っている。

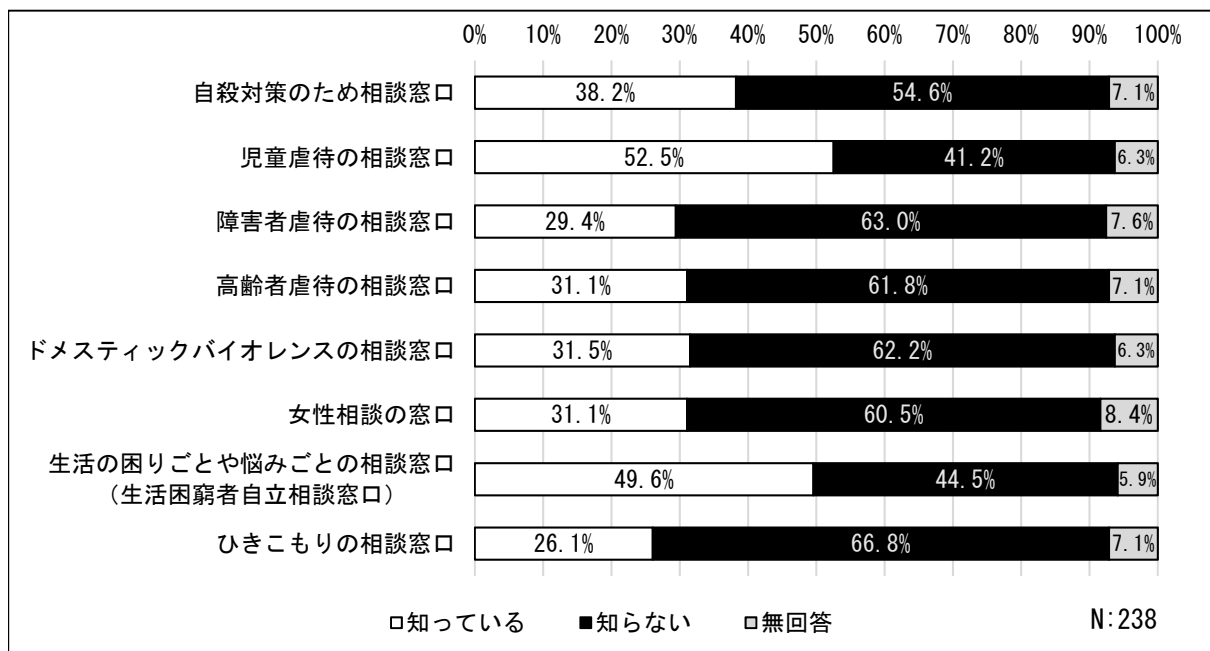
【市部・郡部別】

(市部)



「児童虐待の相談窓口」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

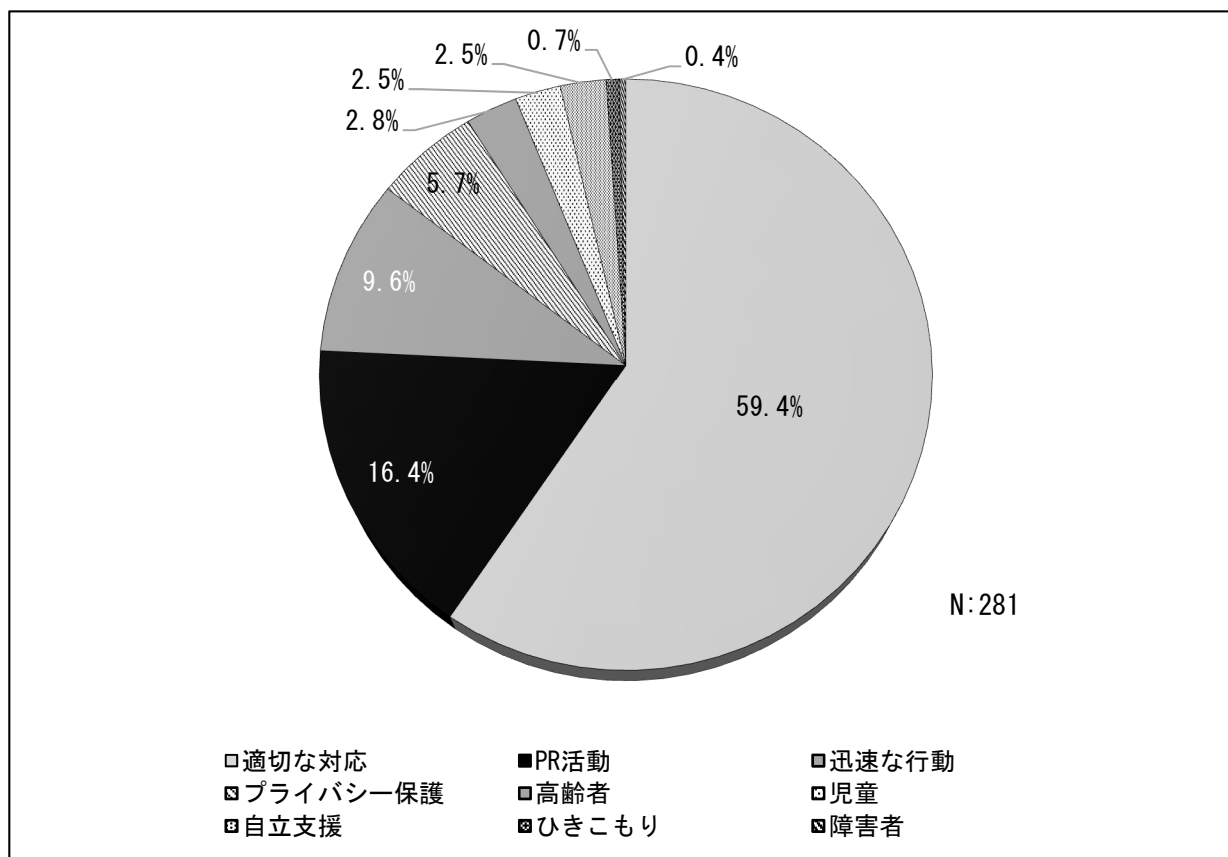
(郡部)



「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」は、「知っている」が「知らない」を上回っている。

問 16. あなたが、様々な相談窓口に期待することは何ですか。

・様々な相談窓口への期待

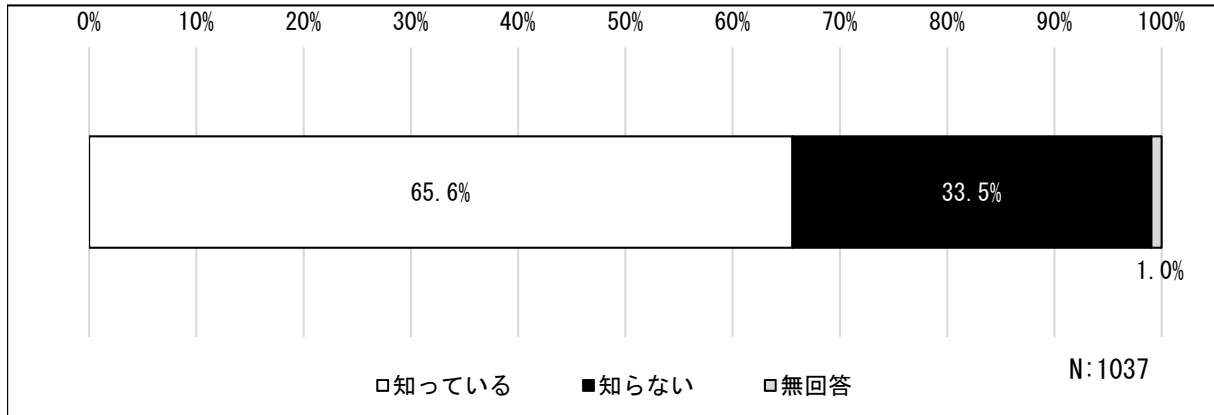


281人から回答があり、「適切な対応」が最も多く、次いで「PR活動」、「迅速な対応」の順となっている。

主な回答内容は、245ページに掲載している。

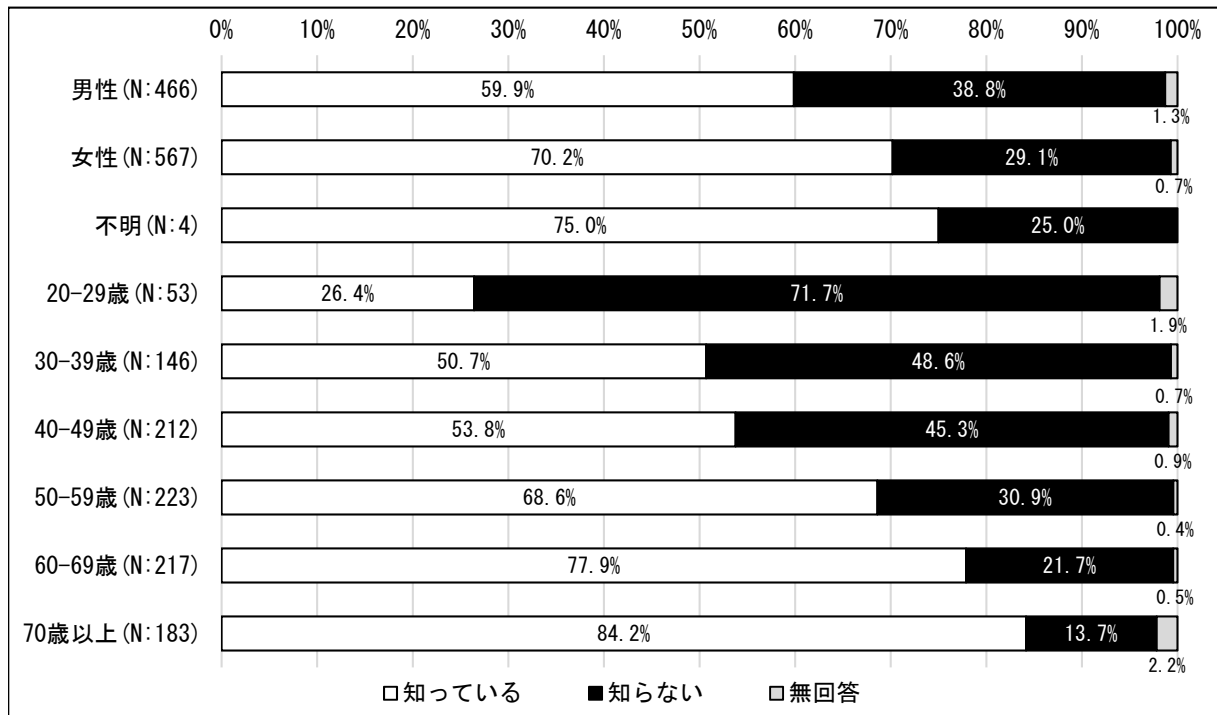
問 17. お住まいの地域に民生委員・児童委員がいることを知っていますか。（1つ）

・ 民生委員・児童委員の認知度



「知っている」が66%、「知らない」が34%となっている。

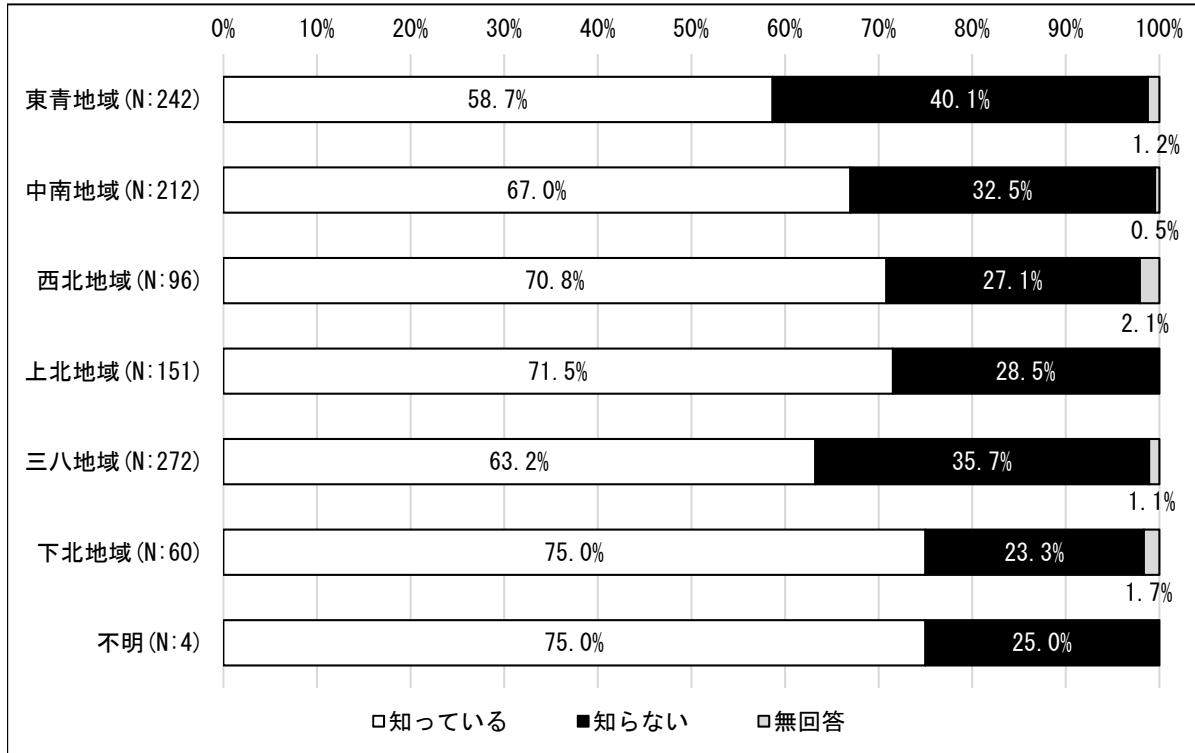
【男女別・年代別】



女性は、「知っている」の割合が男性より大きくなっている。

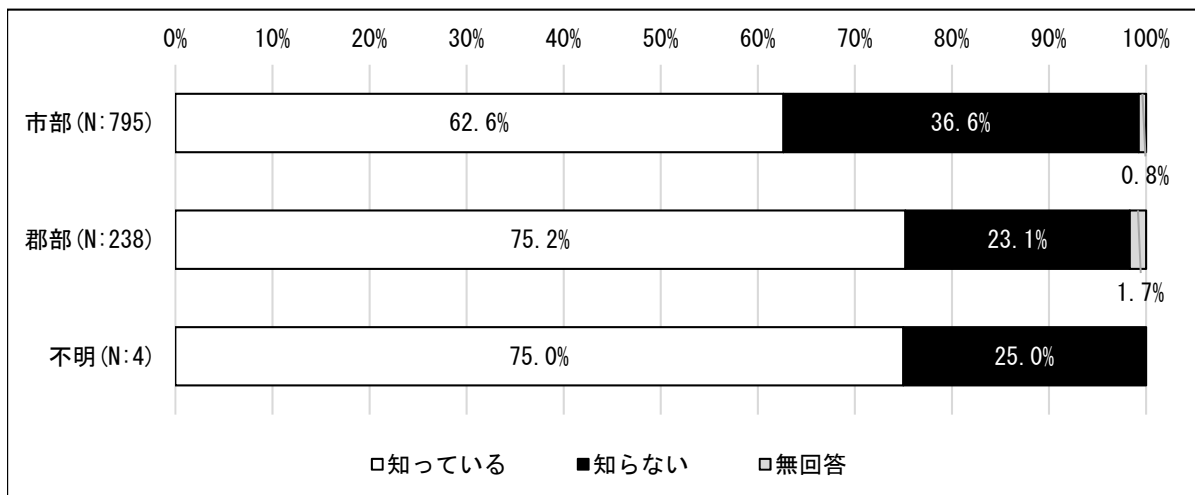
年代別に見ると、年代が上がるにつれて「知っている」の割合が大きくなっており、「70歳以上」が最も大きくなっている。逆に、年代が下がるにつれて「知らない」の割合が大きくなっており、「20代」で最も大きくなっている。

【地域別】



「知っている」の割合は「下北地域」が最も大きく、次いで「上北地域」、「西北地域」の順となっている。「知らない」の割合は「東青地域」が最も大きく、次いで「三八地域」、「中南地域」の順となっている。

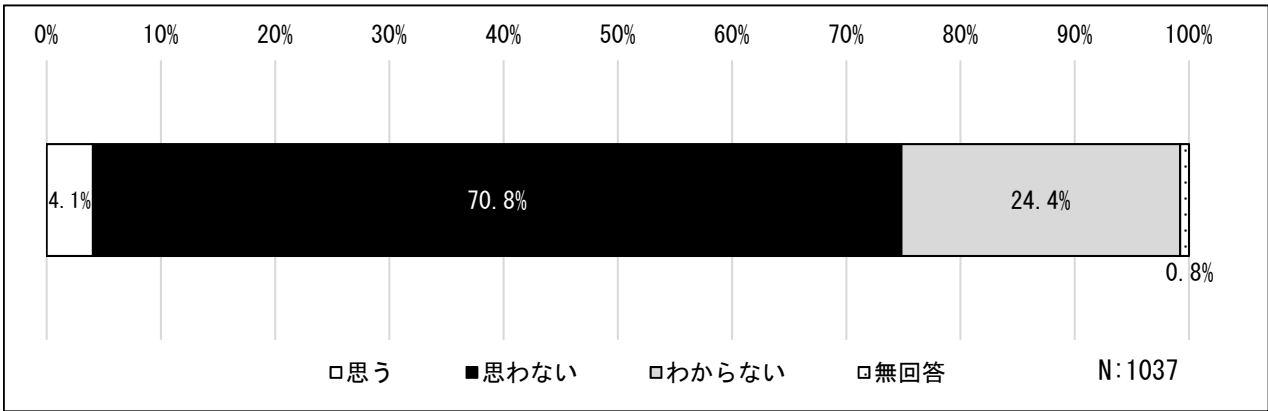
【市部・郡部別】



「郡部」は、「知っている」の割合が「市部」より大きくなっている。一方、「市部」は、「知らない」の割合が「郡部」より大きくなっている。

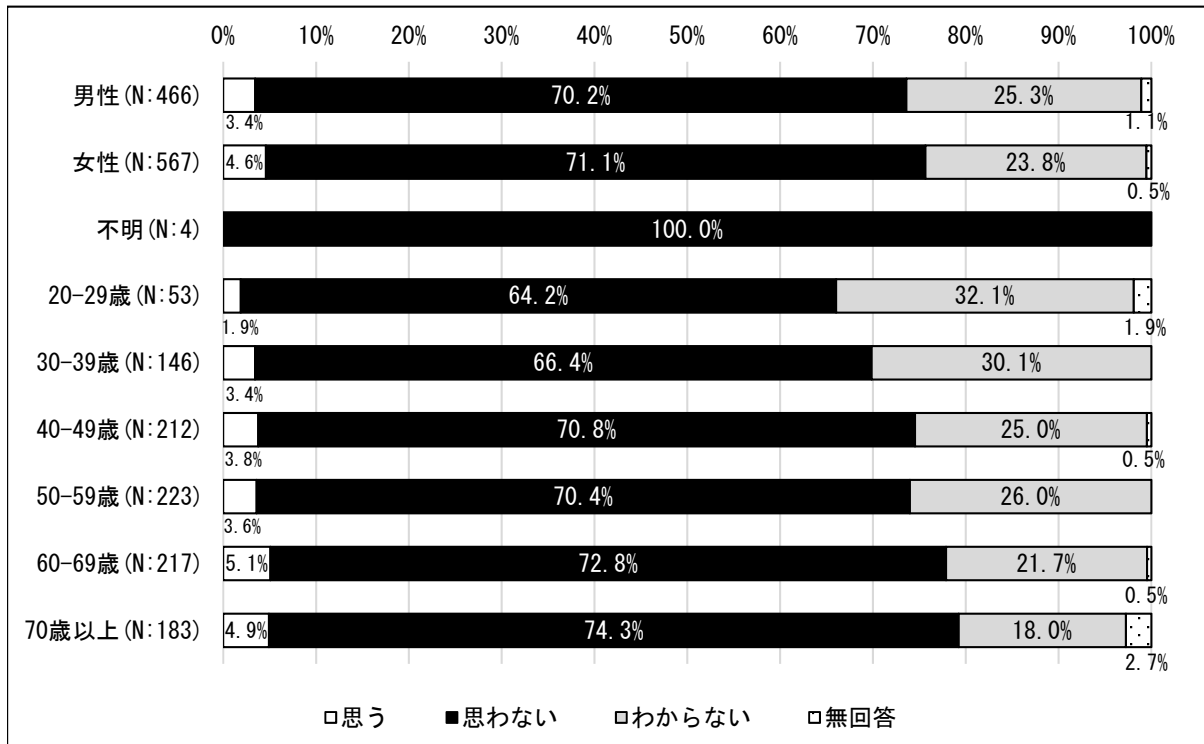
問 18. 民生委員・児童委員をやってみたいと思いますか。(1つ)

・ 民生委員・児童委員をやってみたいか



「思う」が4%、「思わない」が71%、「わからない」が24%となっている

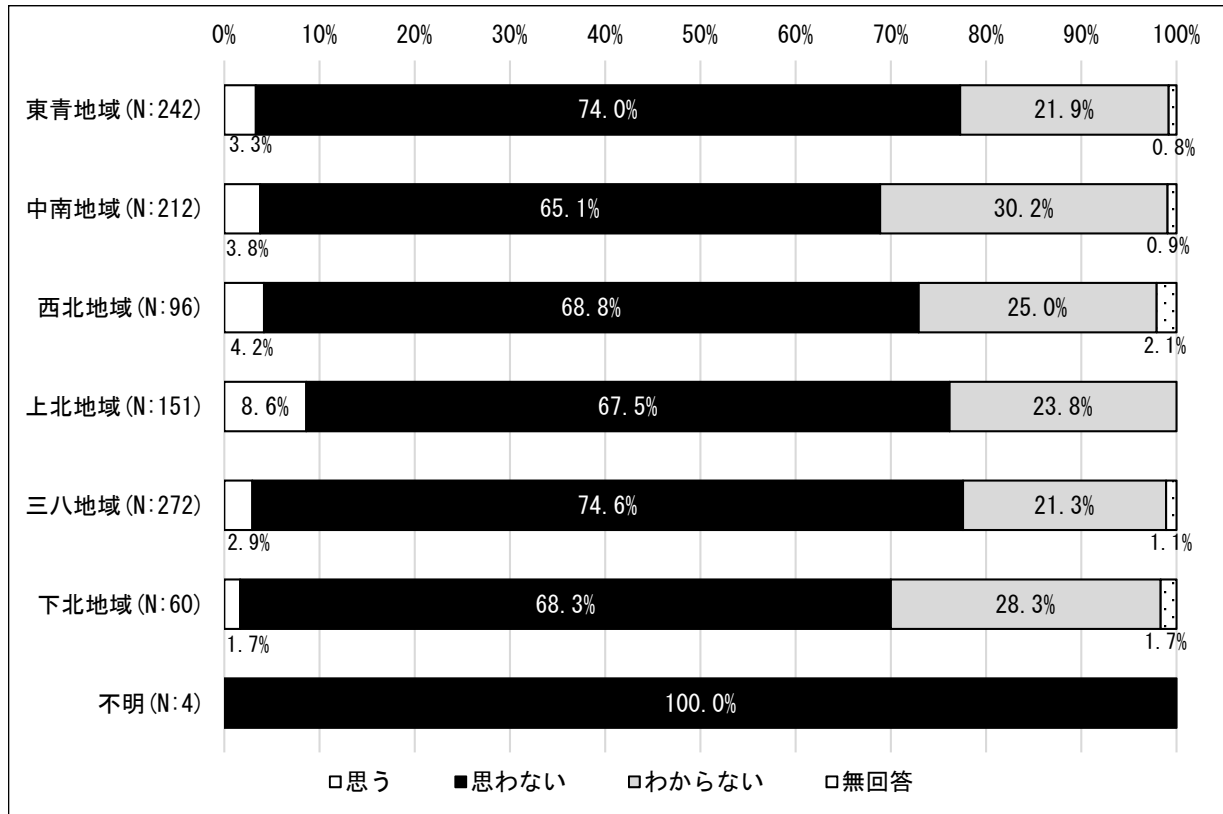
【男女別・年代別】



男女ともに「思わない」が「思う」を大きく上回っている。

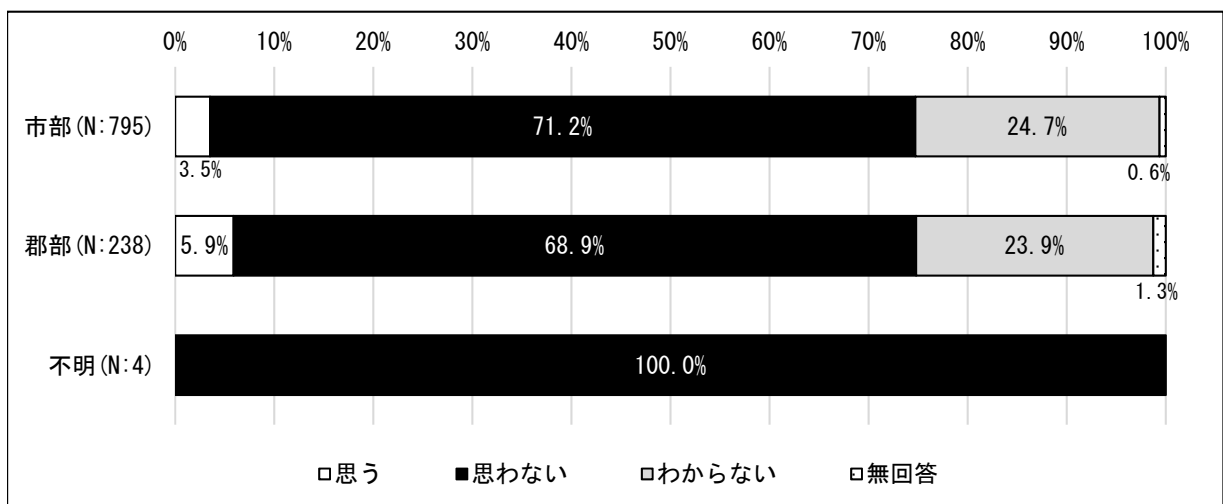
年代別に見ると、全ての年代で「思わない」が「思う」を大きく上回っている中で、「思う」の割合は、「60代」以上が他年代より大きくなっている。また、概ね年代が下がるにつれて「わからない」の割合が大きくなり、「20代」で最大となっている。

【地域別】



全ての地域で「思わない」が「思う」を大きく上回っている中で、「上北地域」は「思う」の割合が他地域より大きくなっている。

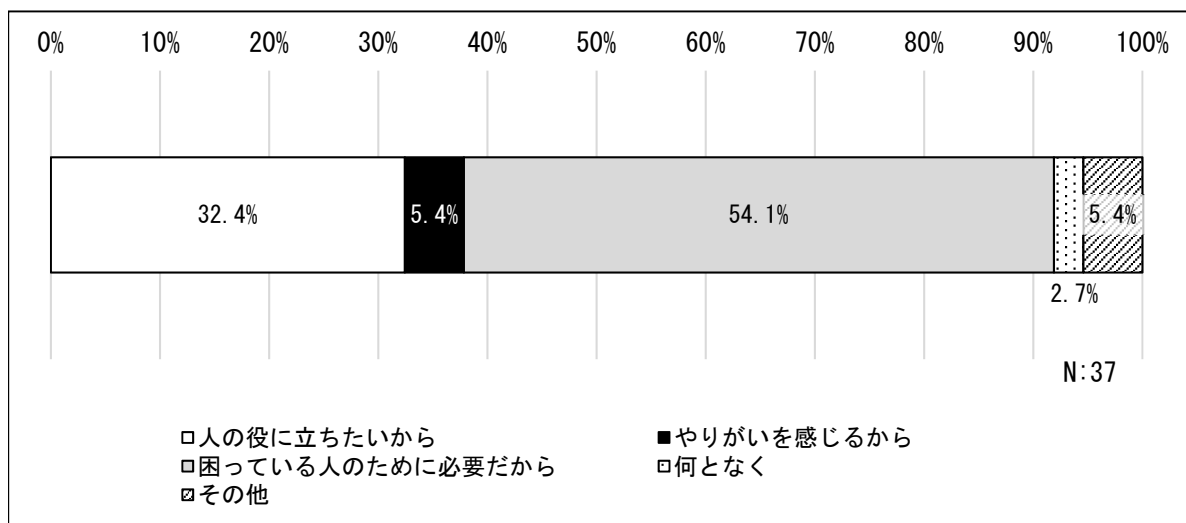
【市部・郡部別】



「郡部」は「思う」の割合が「市部」より大きくなっている。一方、「市部」は「思わない」の割合が「郡部」より大きくなっている。

問 18-1. 問 18 で「思う」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。（1つ）

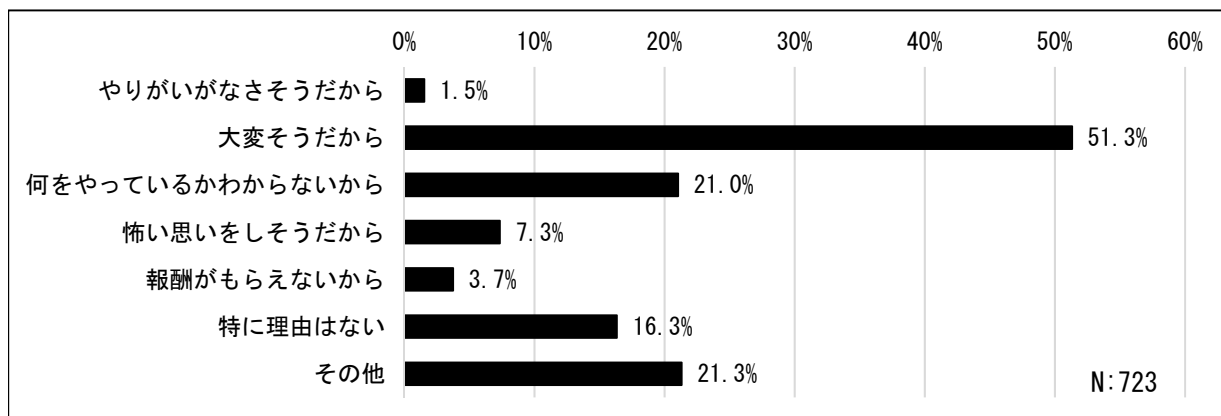
・ 民生委員・児童委員をやってみたいと思う理由



「困っている人のために必要だから」が54%、「人の役に立ちたいから」が32%、「やりがいを感じるから」が5%となっている。

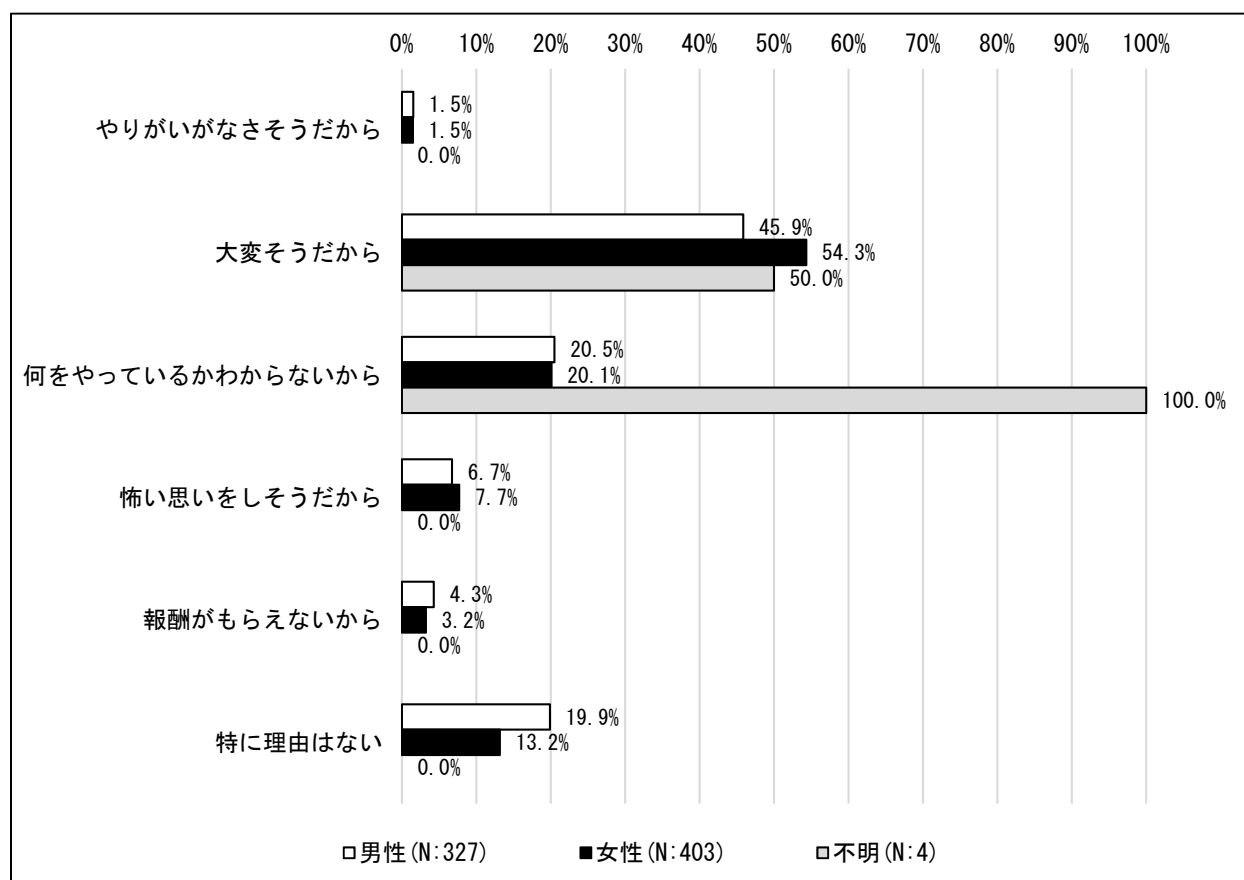
問 18-2. 問 18 で「思わない」を選んだ方にお聞きます。その理由は何ですか。（2 つまで）

・ 民生委員・児童委員をやらない理由



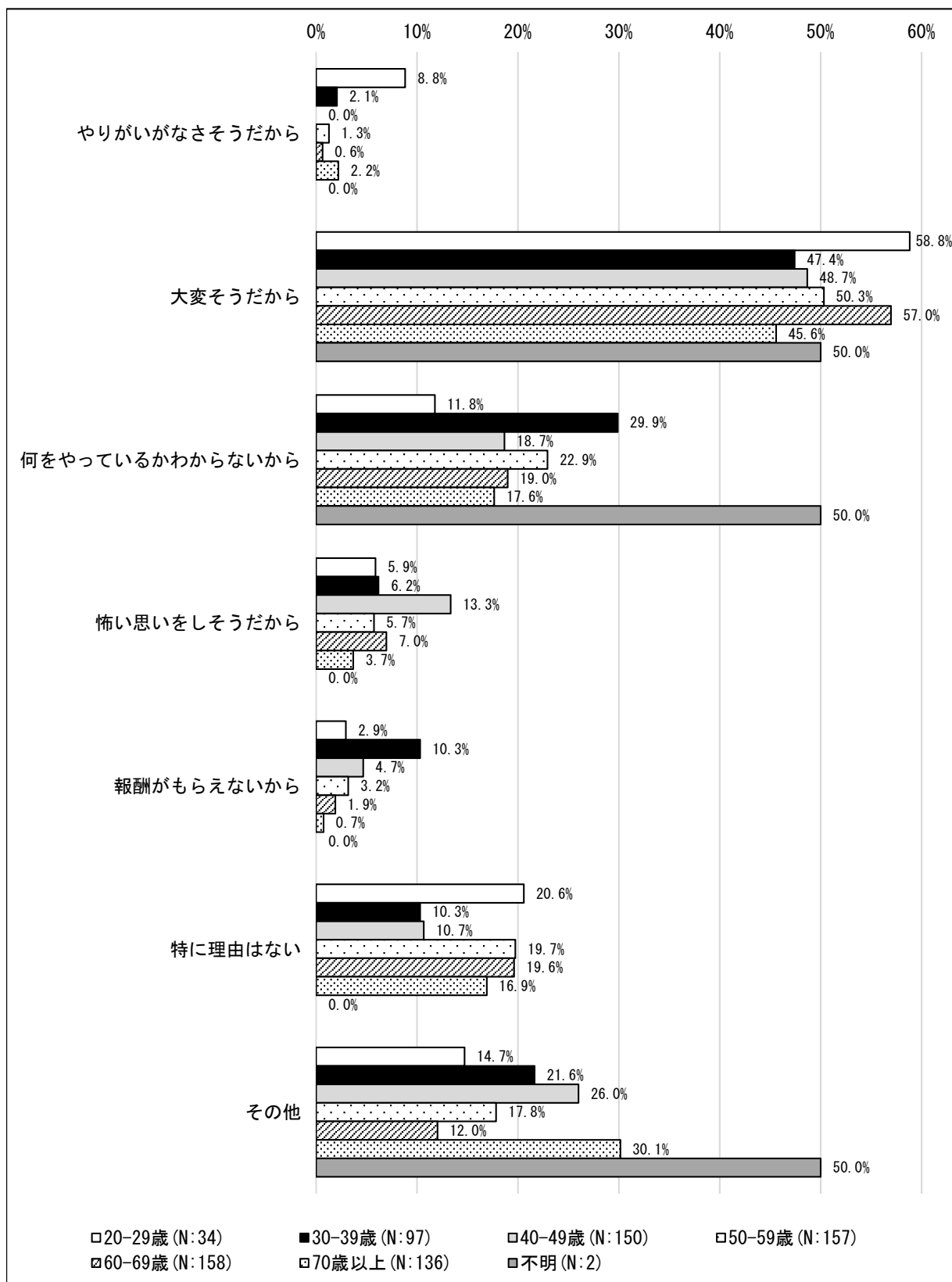
「大変そうだから」が51%、「何をやっているかわからないから」が21%、「特に理由はない」が16%となっている。

【男女別】



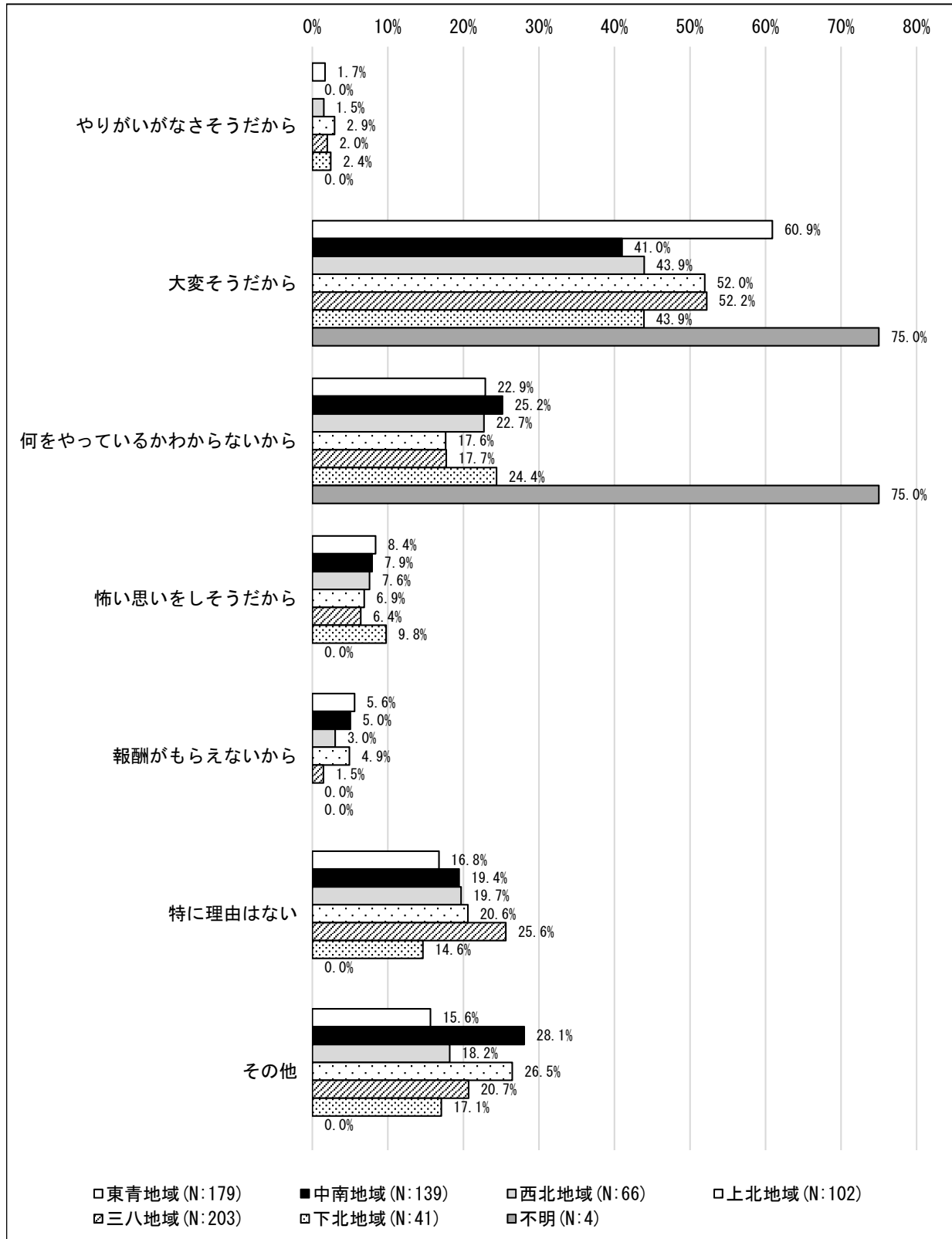
男女ともに、「大変そうだから」が最も大きく、次いで「何をやっているかわからないから」、「特に理由はない」の順となっている。

【年代別】



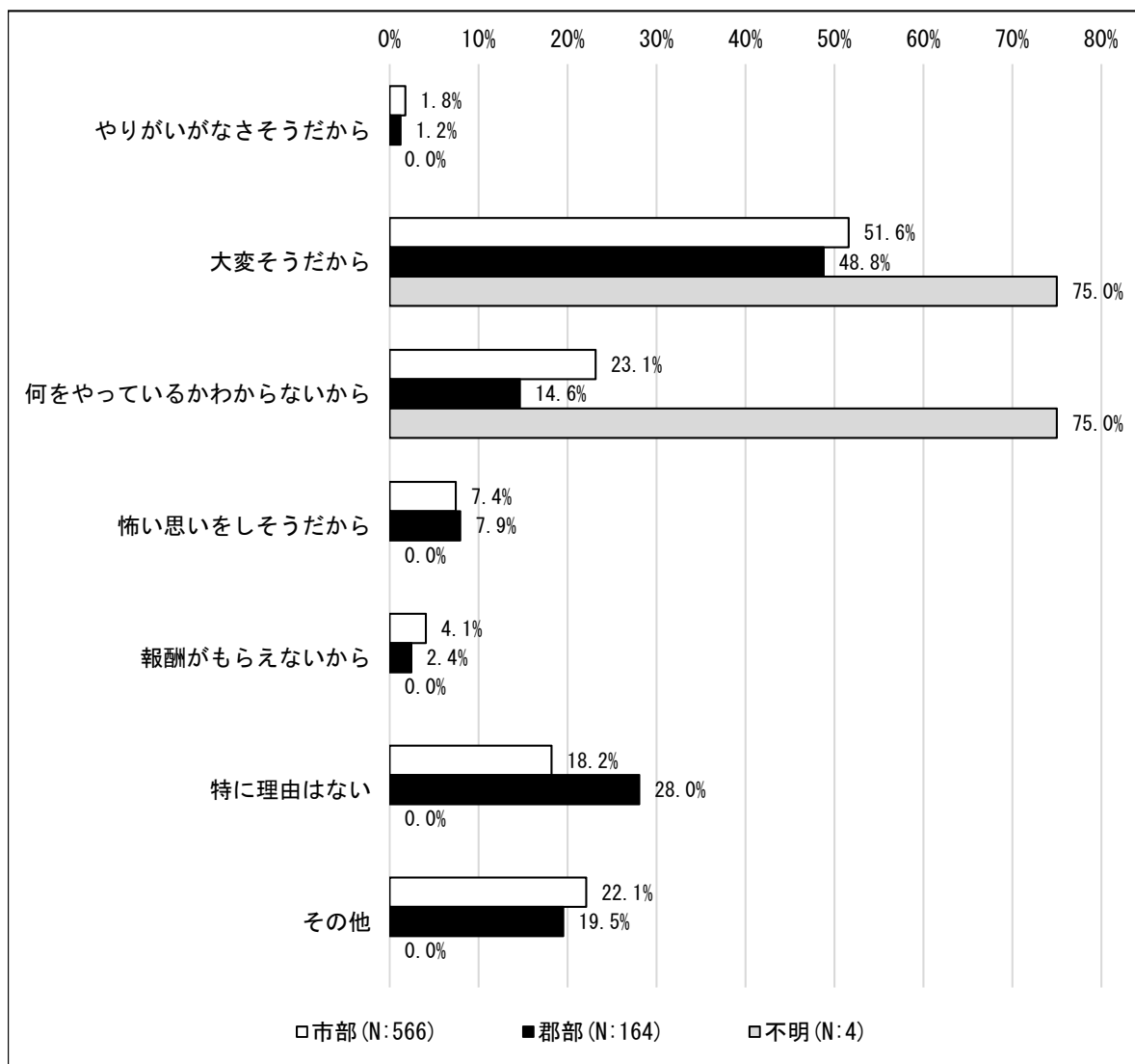
全ての年代で「大変そうだから」が最も大きく、次いで「20代」、「60代」は「特に理由はない」、他の年代は「何をやっているかわからないから」となっている。

【地域別】



全ての地域で「大変さうだから」が最も大きく、次いで「東青地域」、「西北地域」、「下北地域」は「何をやっているかわからないから」、「三八地域」は「特に理由はない」、「中南地域」、「上北地域」は「その他」となっている。

【市部・郡部別】



「怖い思いをしそうだから」、「特に理由はない」は、「郡部」が「市部」より大きくなっている。その他の項目は「市部」が「郡部」より大きくなっている。

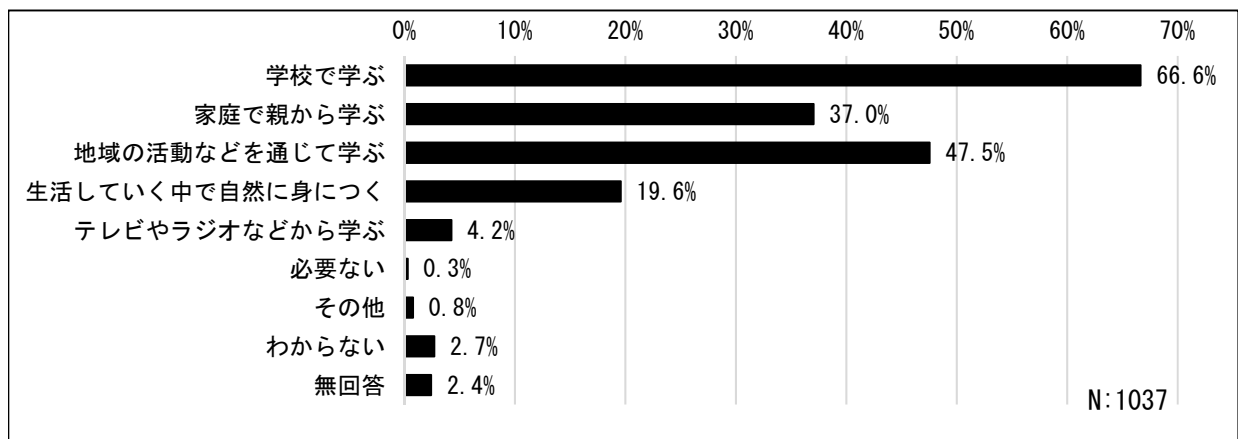
【自由回答より】

- ・ 仕事・家事・育児で時間がない。
- ・ 人の悩みを解決できる程、人生経験がないから。
- ・ どこまでプライバシーの領域に踏み込むことが許されるのか対応が難しいところを感じられる。

< 5 > 福祉教育に関するあなたのお考えについて

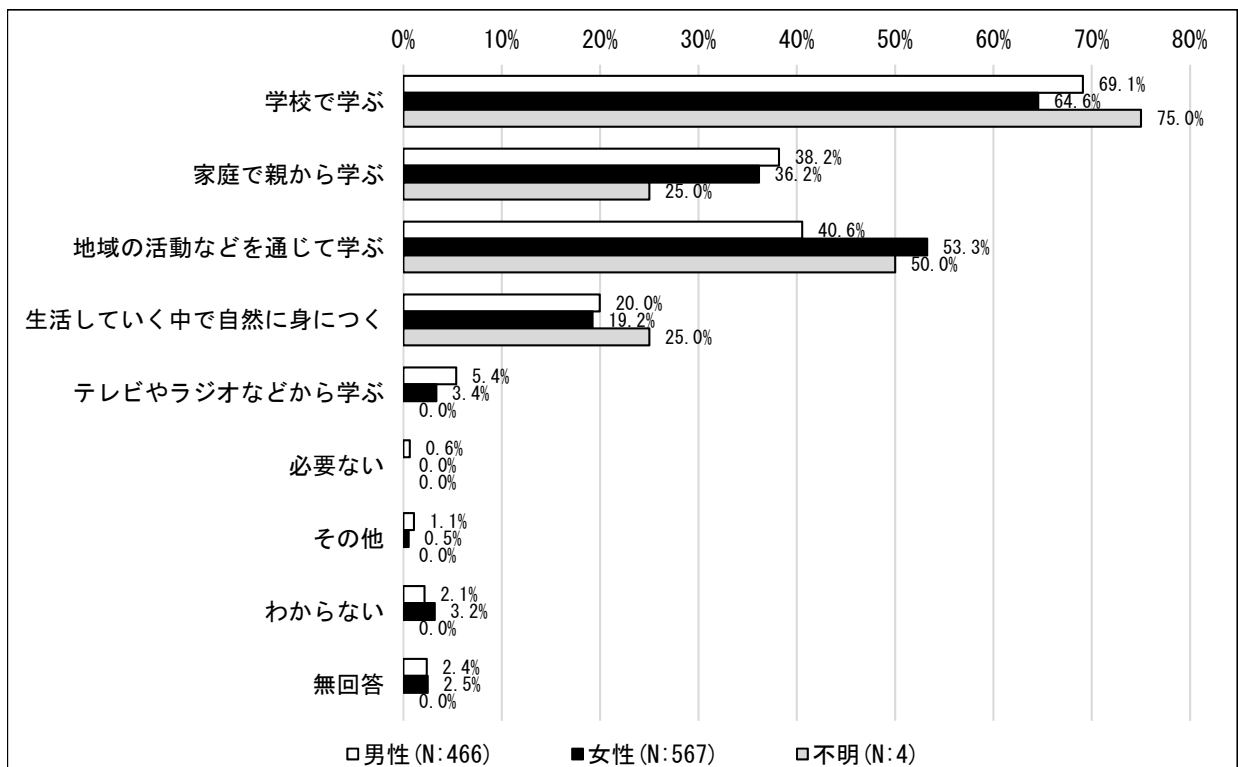
問 19. 子どもたちに対する福祉教育（福祉への理解と参加の心を育てる教育）についてどのように行うべきだと思いますか。（2つまで）

・子どもたちに対する福祉教育



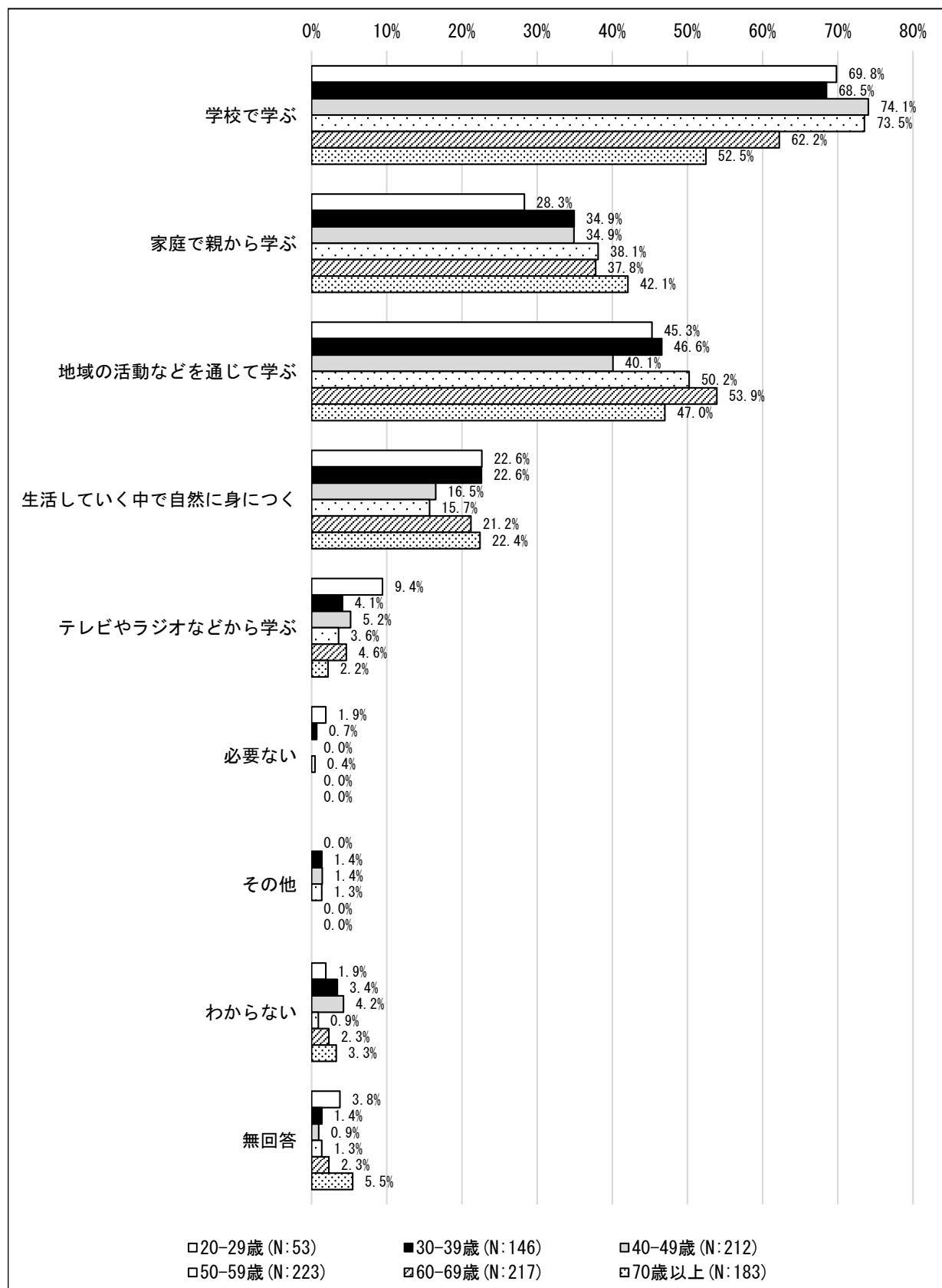
「学校で学ぶ」が67%、「地域の活動などを通じて学ぶ」が48%、「家庭で親から学ぶ」が37%となっている。

【男女別】



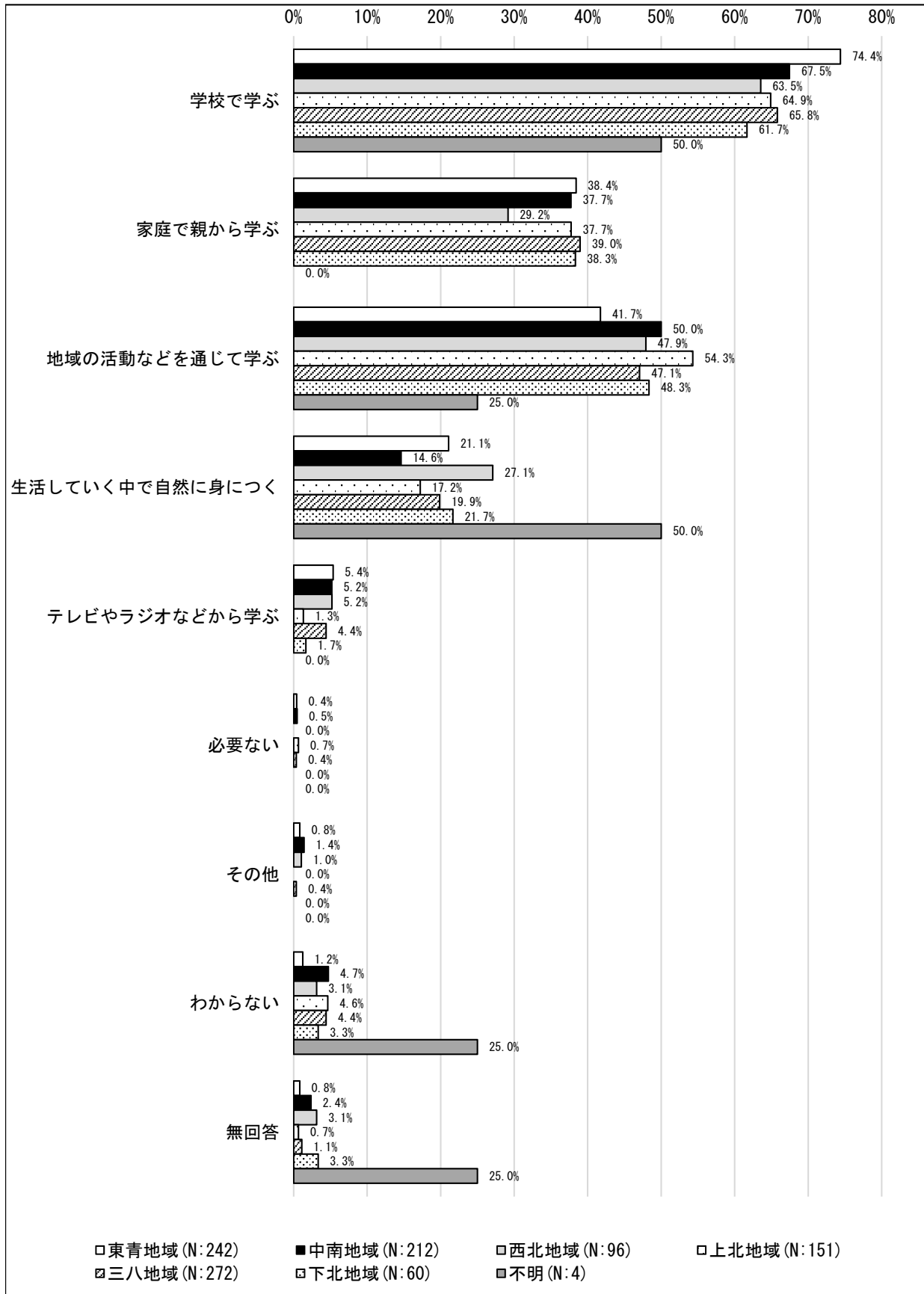
男女ともに「学校で学ぶ」が最も大きく、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」、「家庭で親から学ぶ」の順となっている。

【年代別】



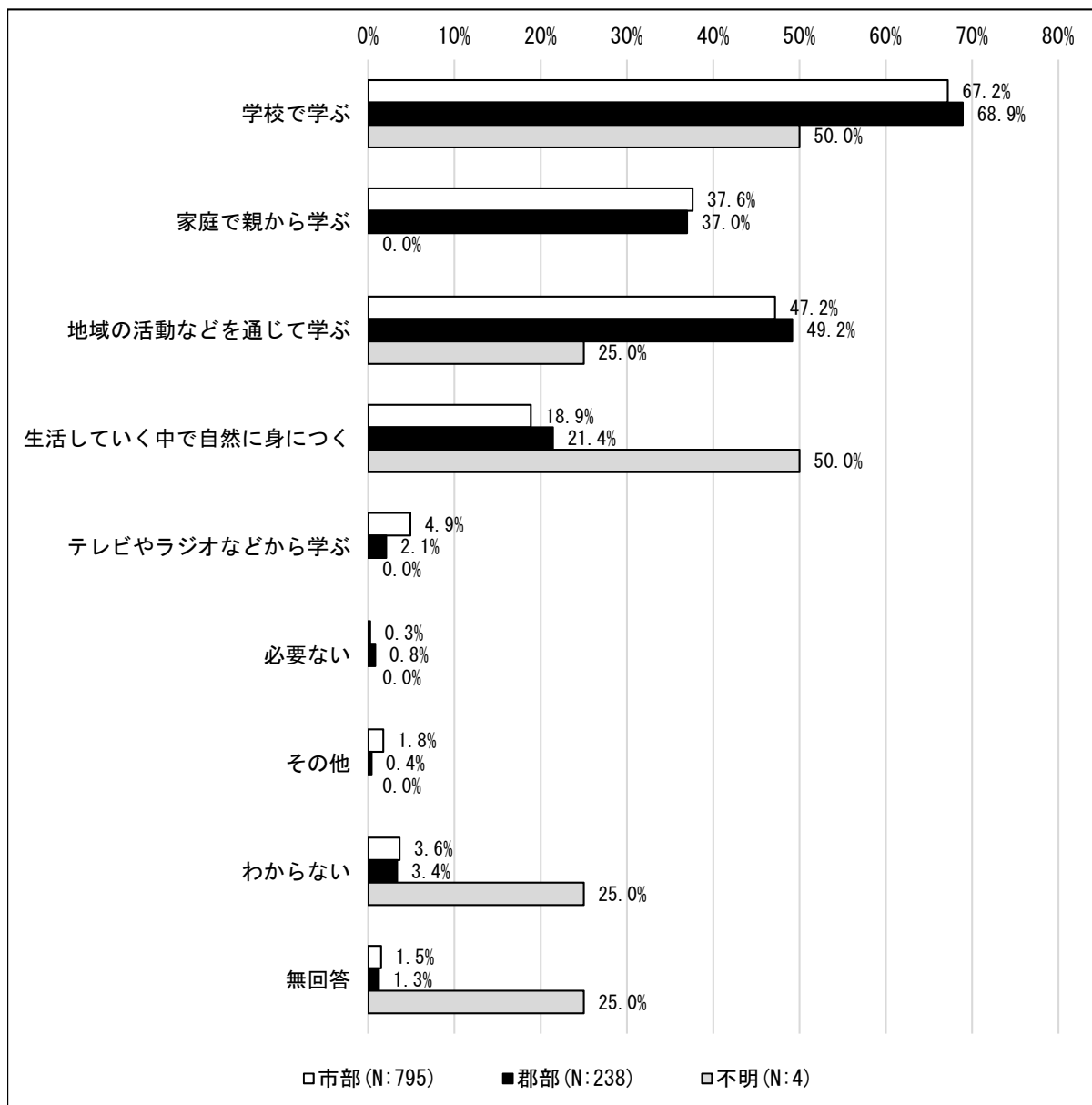
全ての年代で「学校で学ぶ」が最も大きく、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」、「家庭で親から学ぶ」の順となっている。

【地域別】



全ての地域で「学校で学ぶ」が最も大きく、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」の順となっている。

【市部・郡部別】



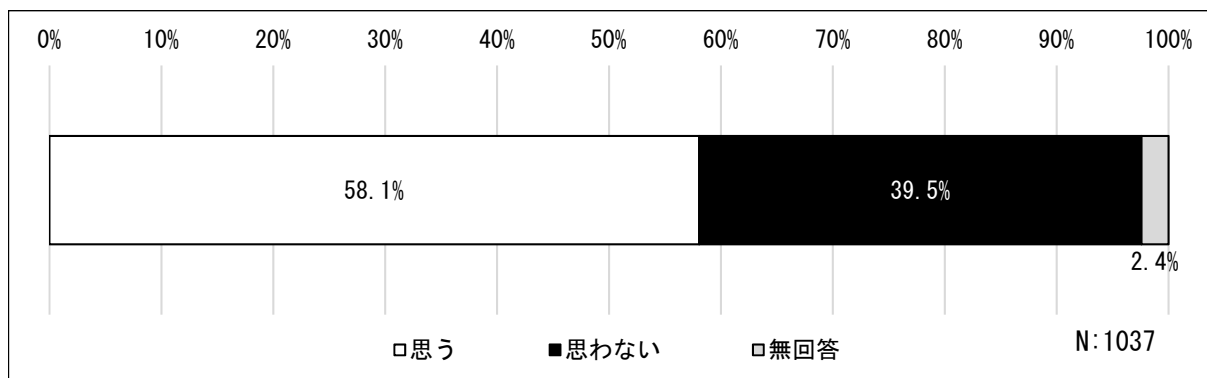
「市部」、「郡部」とともに「学校で学ぶ」が最も大きく、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」、「家庭で親から学ぶ」の順となっている。

【自由回答より】

- ・ 学校活動に地域が積極的にかかわる。
- ・ 福祉施設との交流など周りとのかかわり。
- ・ 学校見学、ボランティア活動。

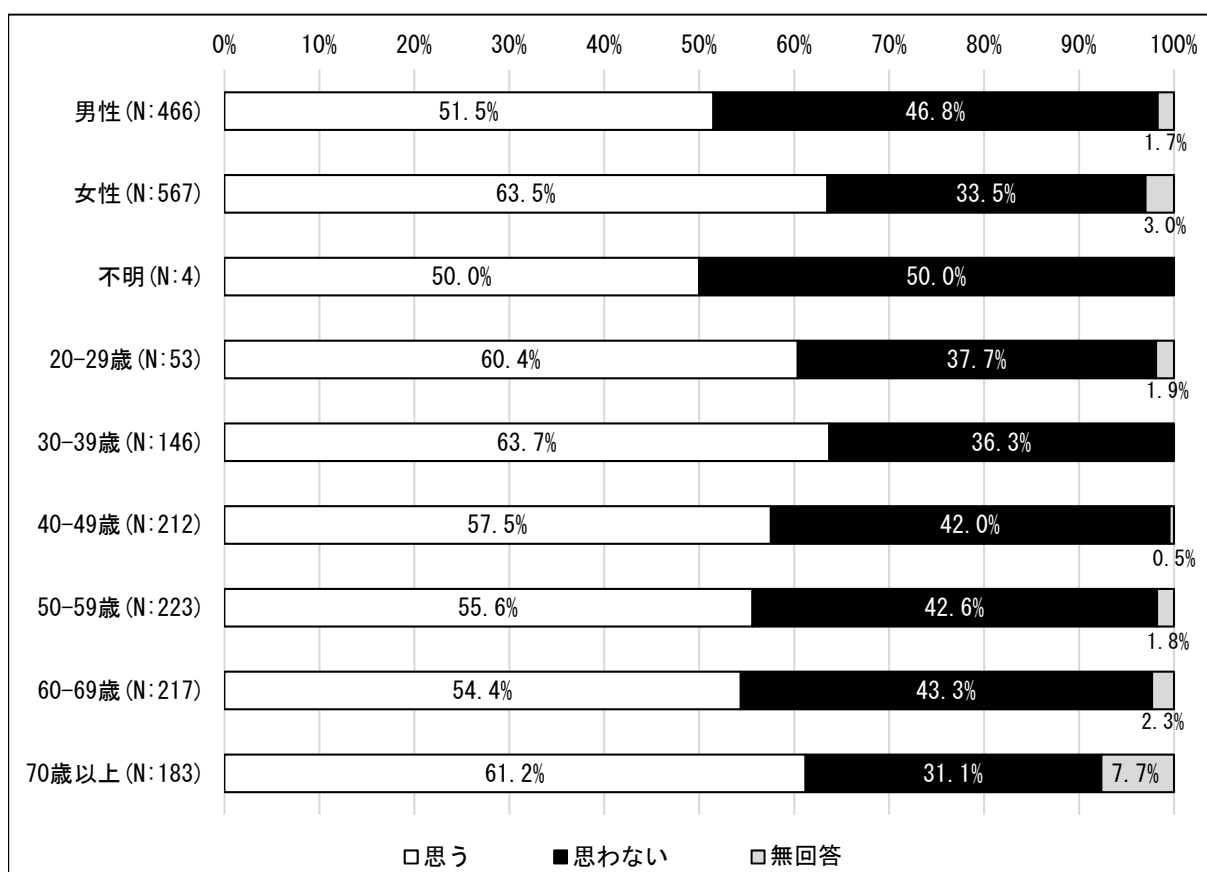
問 20. 高齢者、障害者、子ども等の福祉について学びたいと思いますか。（1つ）

・ 高齢者、障害者、子ども等の福祉



学びたいと「思う」が58%、「思わない」が40%となっている。

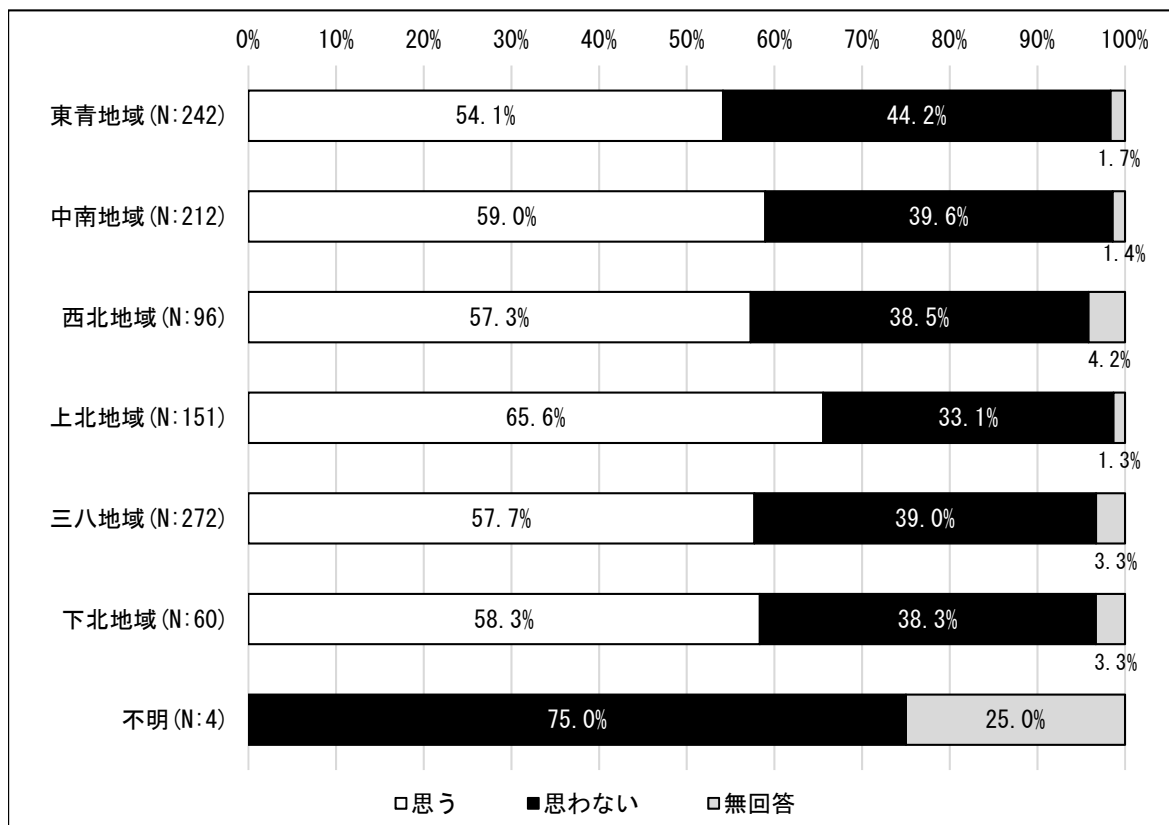
【男女別・年代別】



女性は「思う」の割合が男性より大きくなっている。一方、男性は「思わない」の割合が女性より大きくなっている。

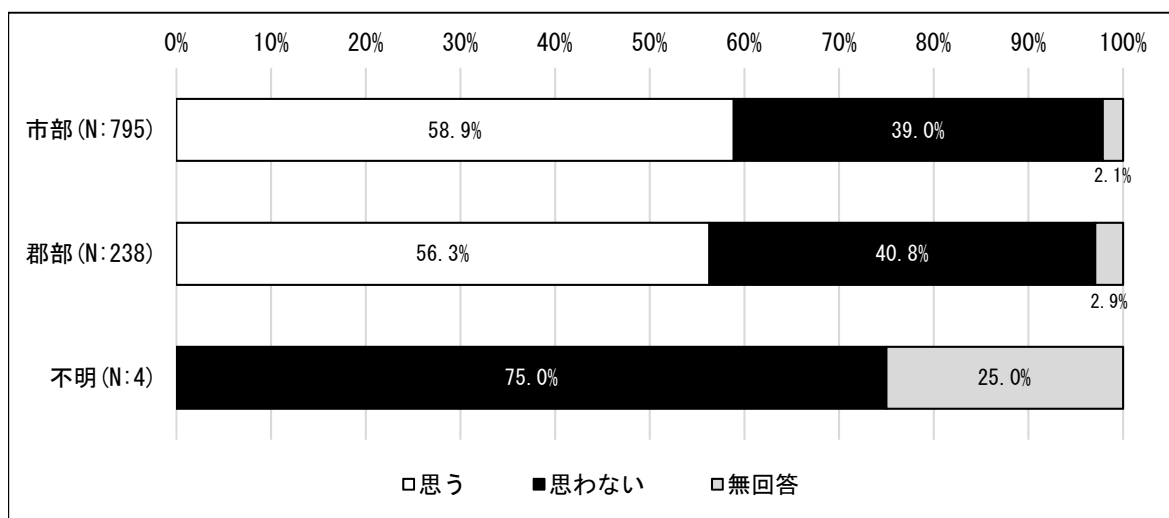
全ての年代で「思う」が「思わない」を上回っており、特に「20代」、「30代」、「70歳以上」は「思う」の割合が他年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「思う」が「思わない」を上回っており、特に「上北地域」は「思う」の割合が他地域より大きくなっている。

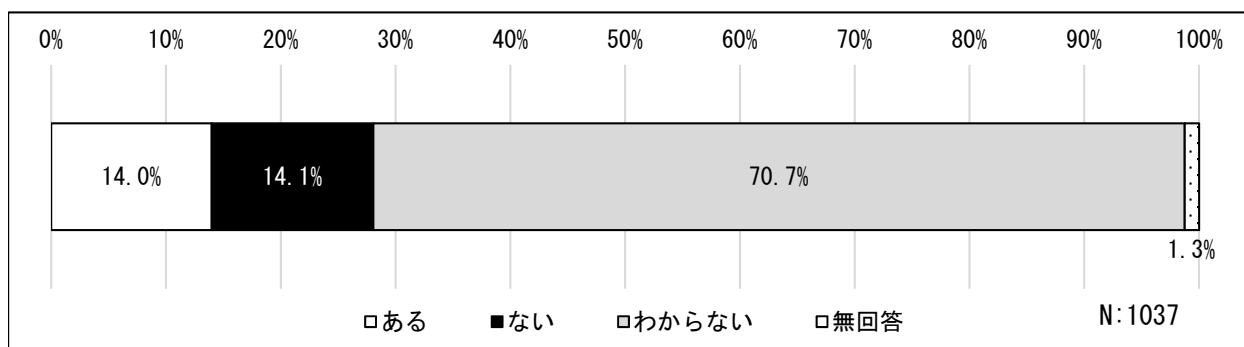
【市部・郡部別】



「市部」は「思う」の割合が「郡部」よりも大きくなっている。一方、「郡部」は「思わない」の割合が「市部」よりも大きくなっている。

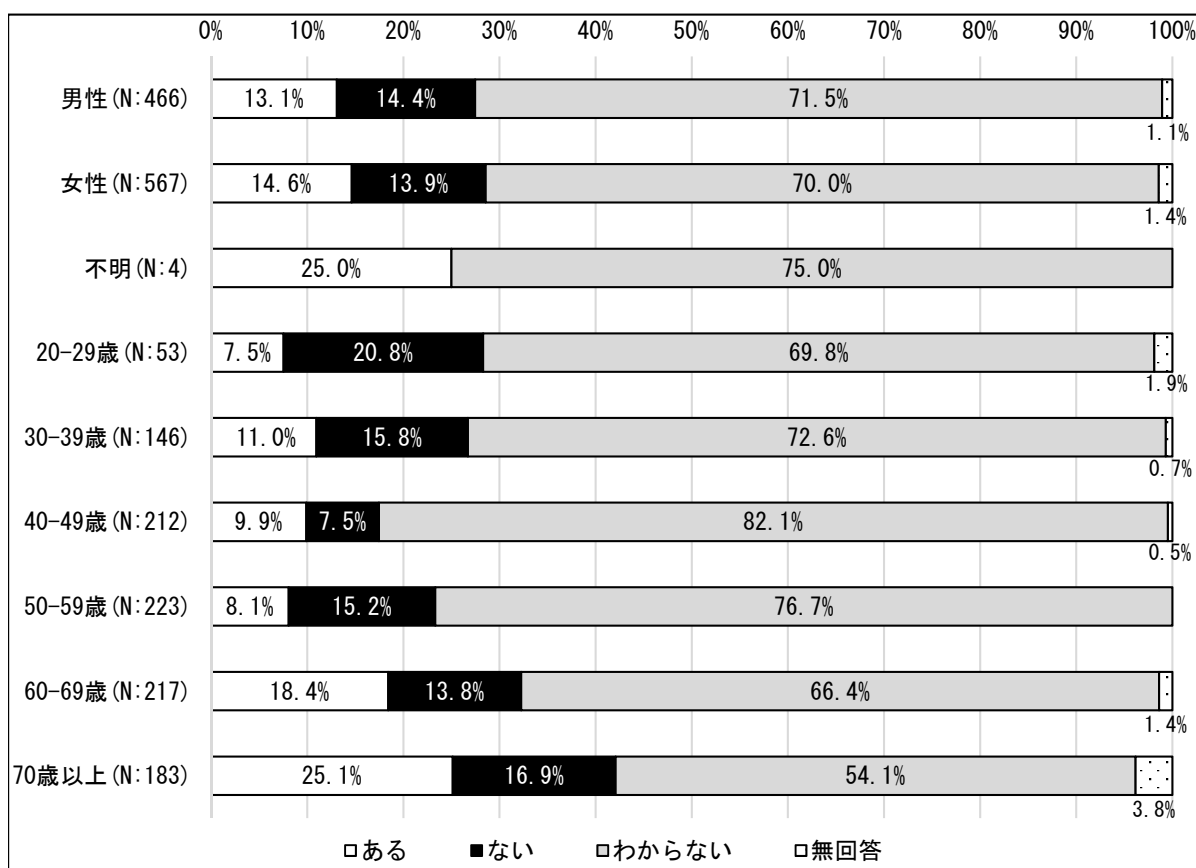
問 21. あなたのお住まいの地域に、福祉について学ぶ場はありますか。（1つ）

・福祉を学ぶ場



学ぶ場が「ある」、「ない」とも14%で同率となっており、「わからない」が71%となっている。

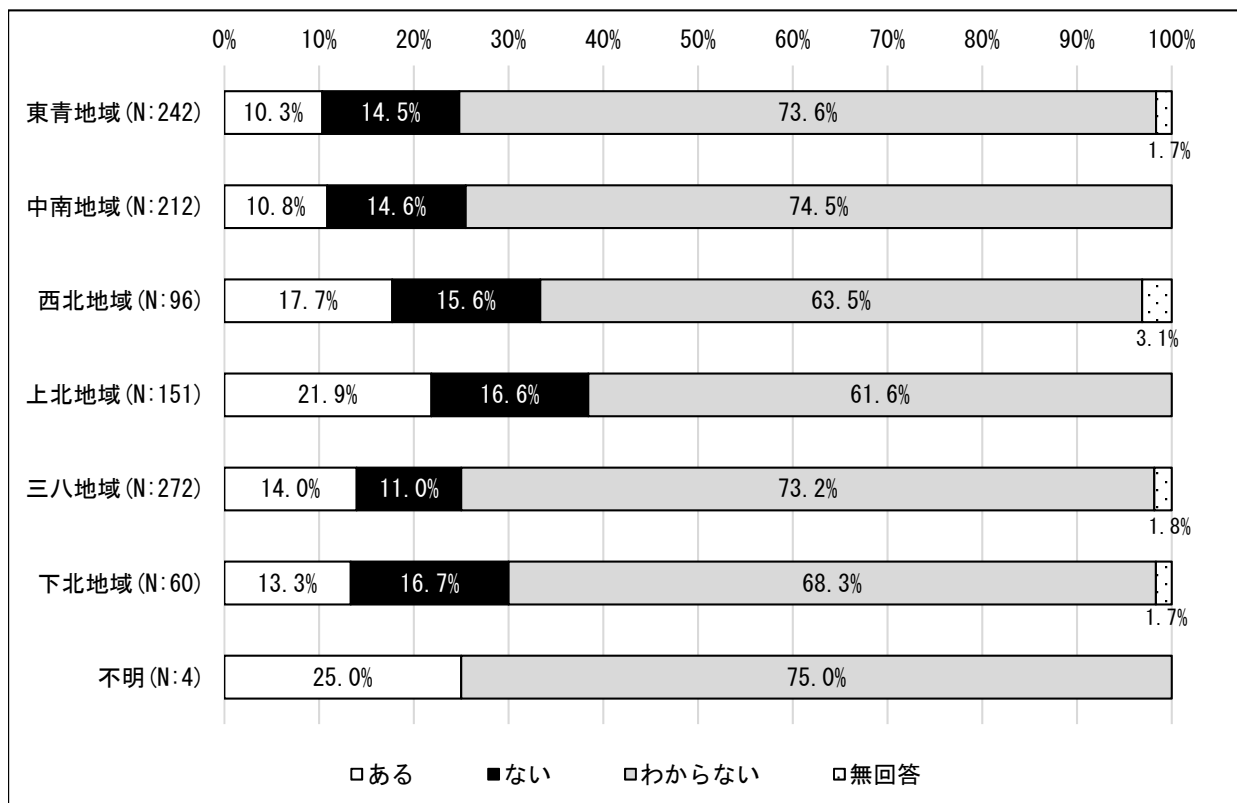
【男女別・年代別】



男女ともに「わからない」の割合が最も大きくなっている。

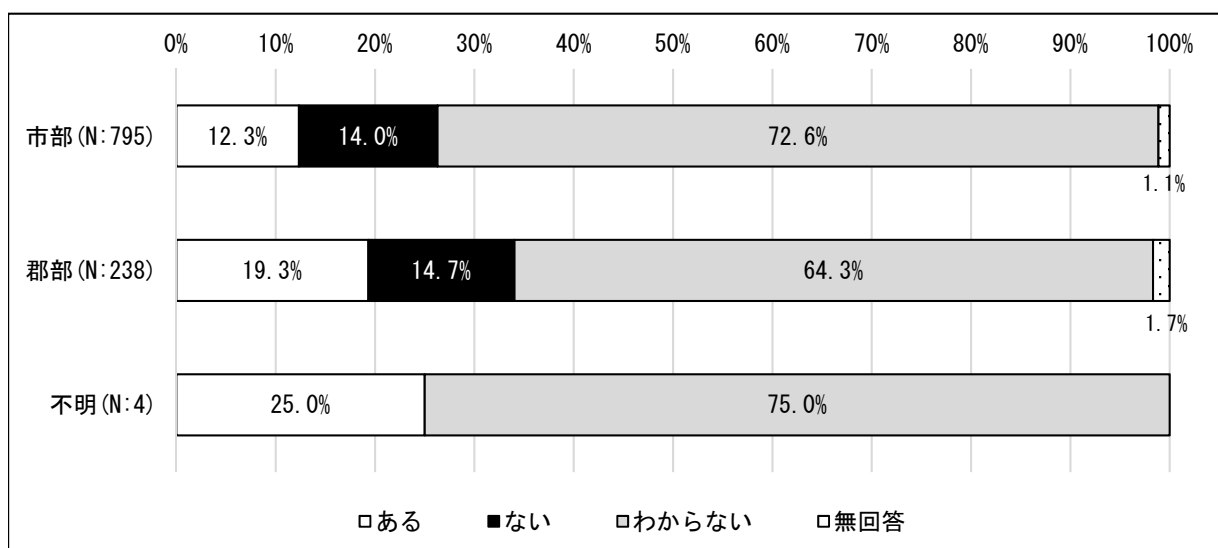
年代別に見ると「60代」以上は「ある」の割合が他年代より大きくなっている。「40代」は「わからない」の割合が他年代より大きくなっている。

【地域別】



「上北地域」は「ある」の割合が他地域よりも大きくなっている。

【市部・郡部別】

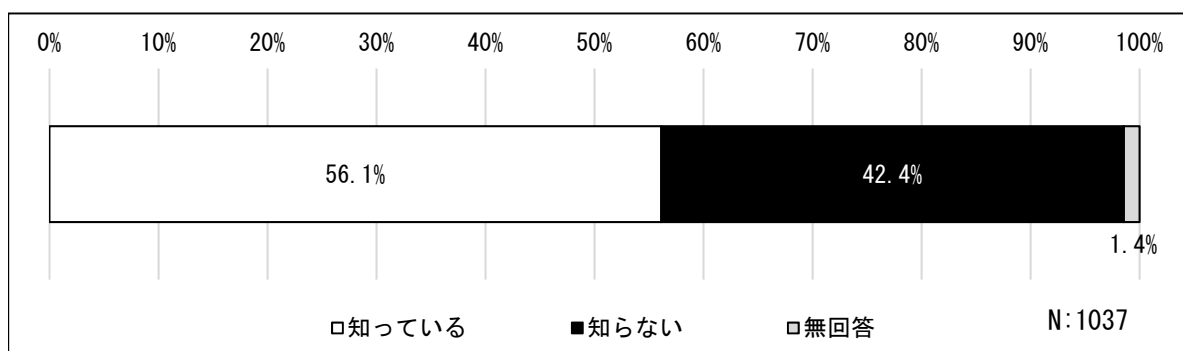


「郡部」は「ある」の割合が「市部」よりも大きくなっている。

< 6 > 社会福祉法人や社会福祉協議会との関わりについて

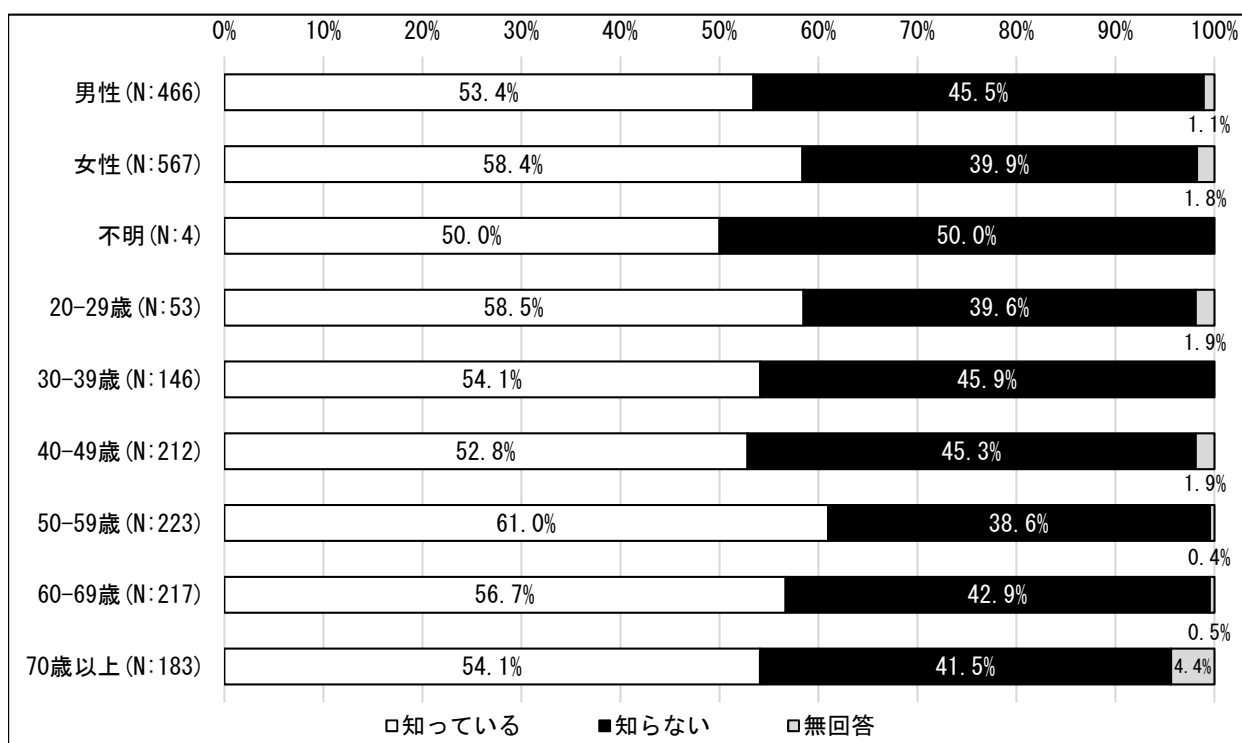
問 22. あなたは、社会福祉法人のことを知っていますか。（1つ）

・社会福祉法人の認知度



「知っている」が56%、「知らない」が42%となっている。

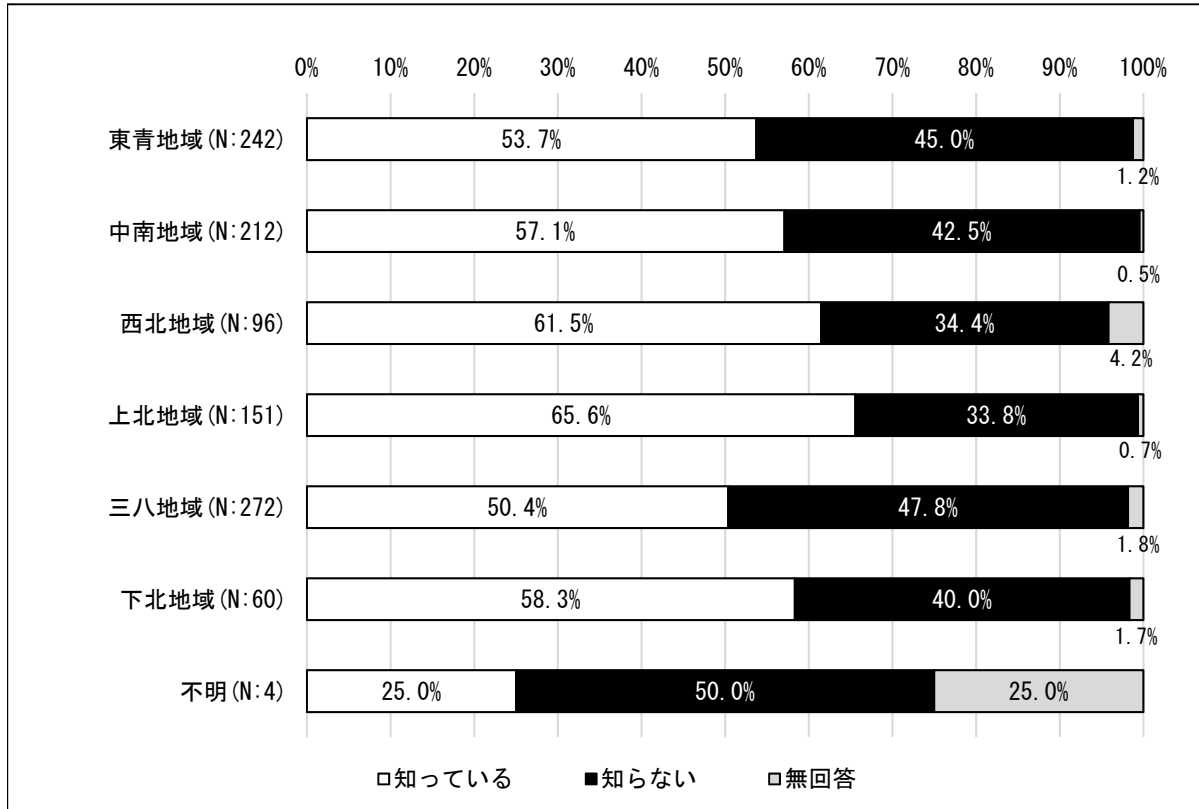
【男女別・年代別】



男女ともに「知っている」が「知らない」を上回っている。

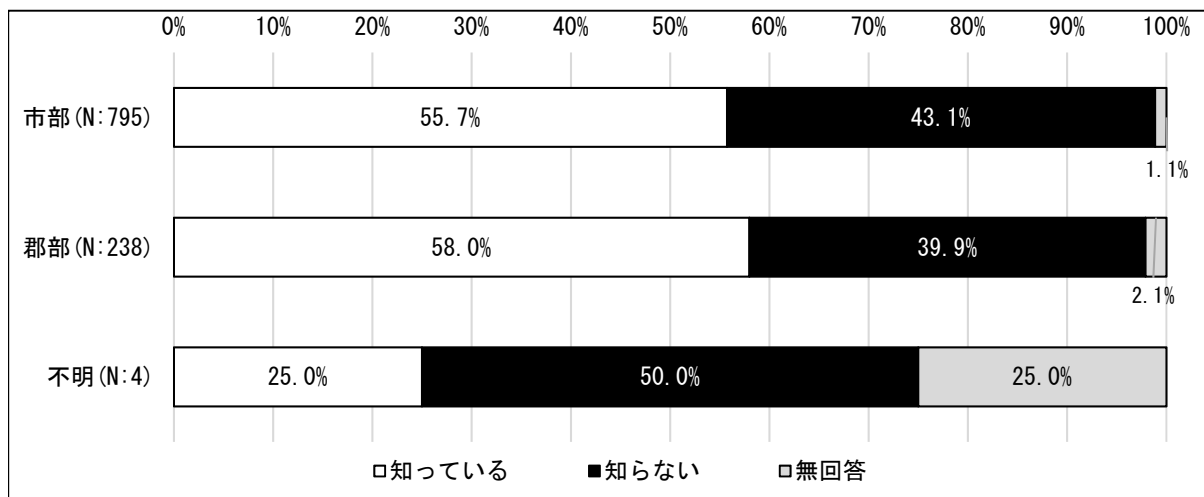
年代別に見ると、全ての年代で「知っている」が「知らない」を上回っており、特に「知っている」の割合は「50代」が他年代よりも大きくなっている。

【地域別】



「知っている」の割合は「上北地域」が他地域よりも大きくなっており、次いで「西北地域」「下北地域」の順となっている。

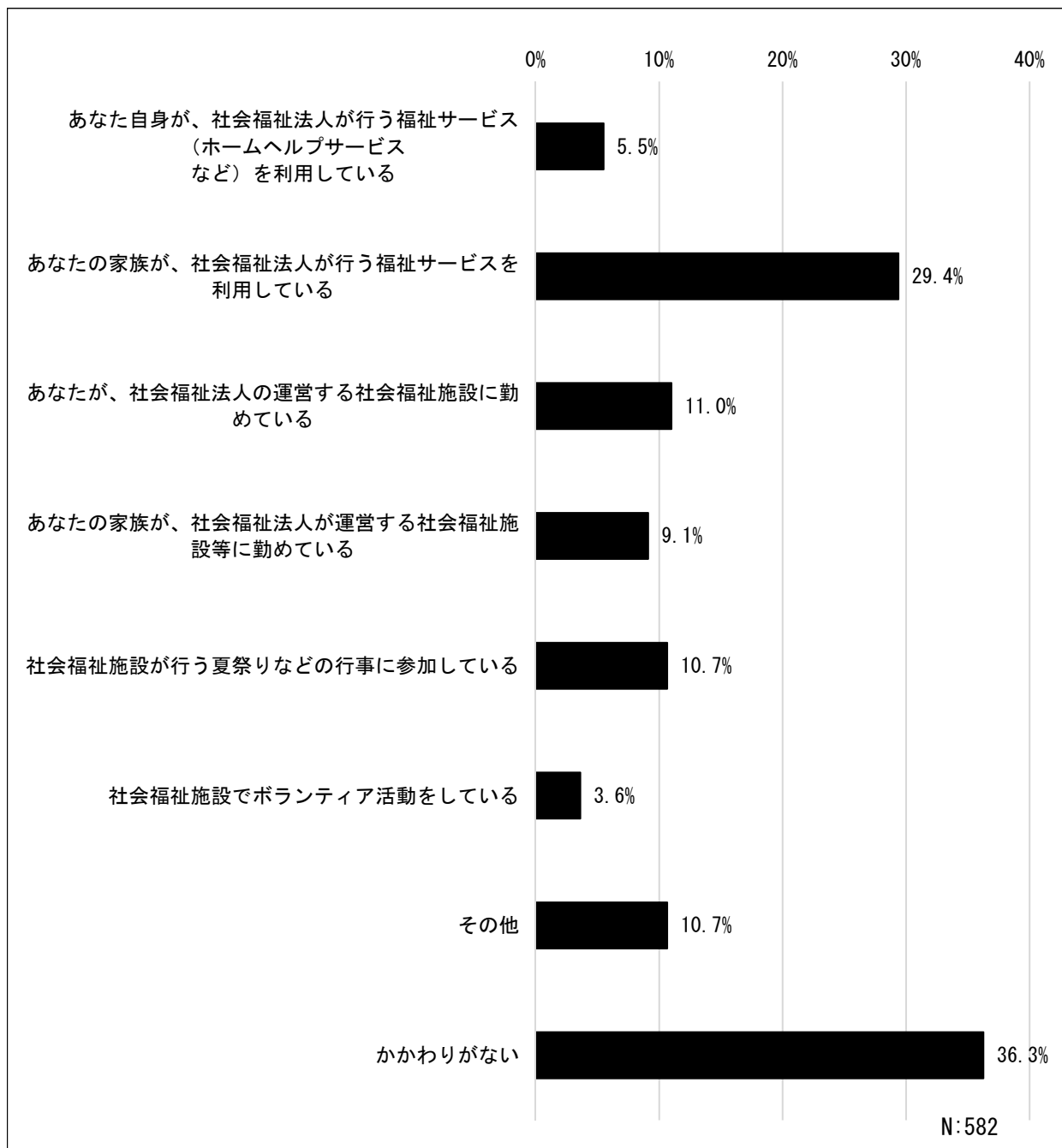
【市部・郡部別】



「郡部」は「知っている」の割合が「市部」よりも大きくなっている。一方「市部」は「知らない」の割合が「郡部」よりも大きくなっている。

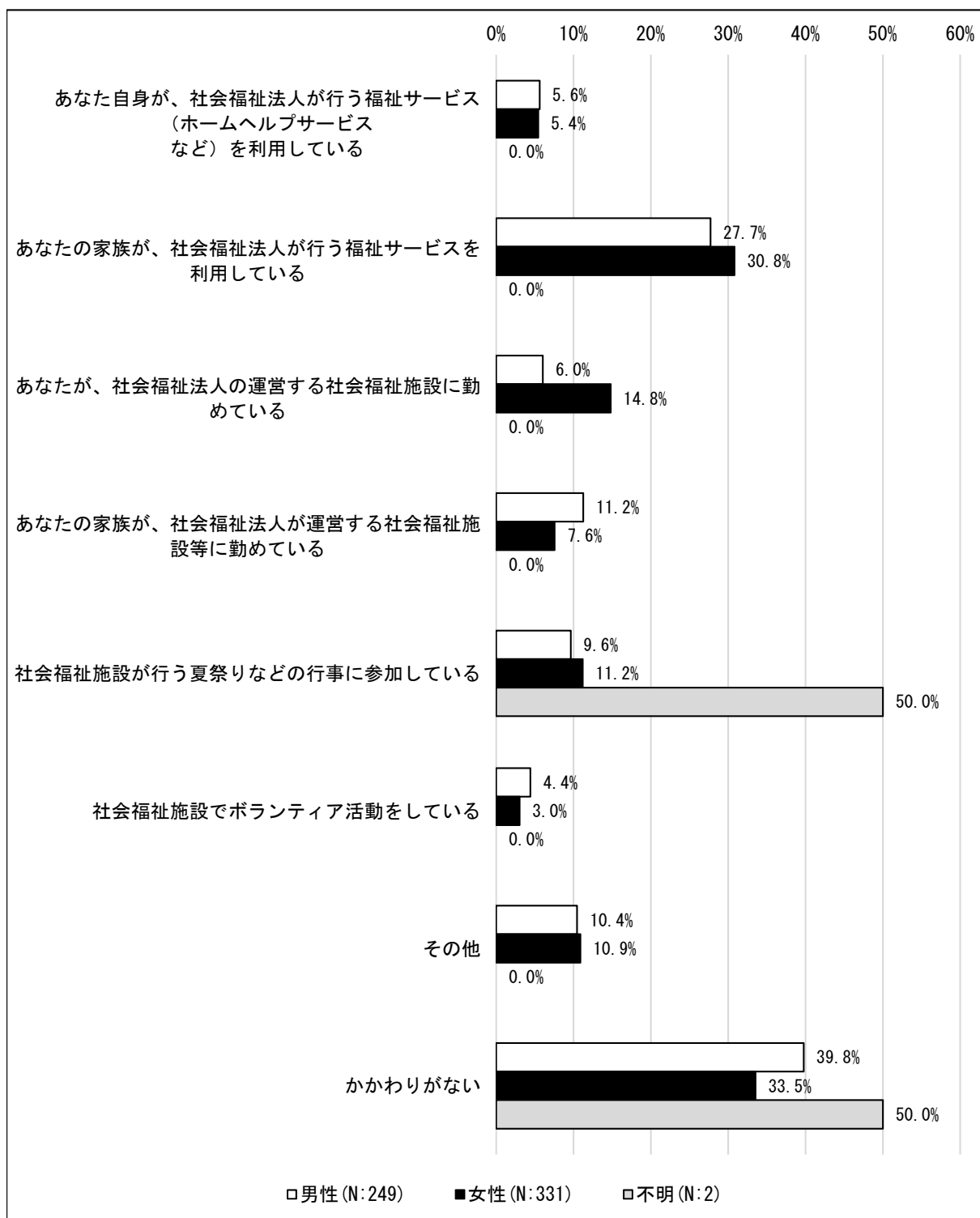
問 22-1. 問 22 で「知っている」を選んだ方におうかがいします。普段、あなたが地域の社会福祉法人とかかわりがあるのは、次のどれですか。（当てはまるもの全て）

・社会福祉法人とのかかわり



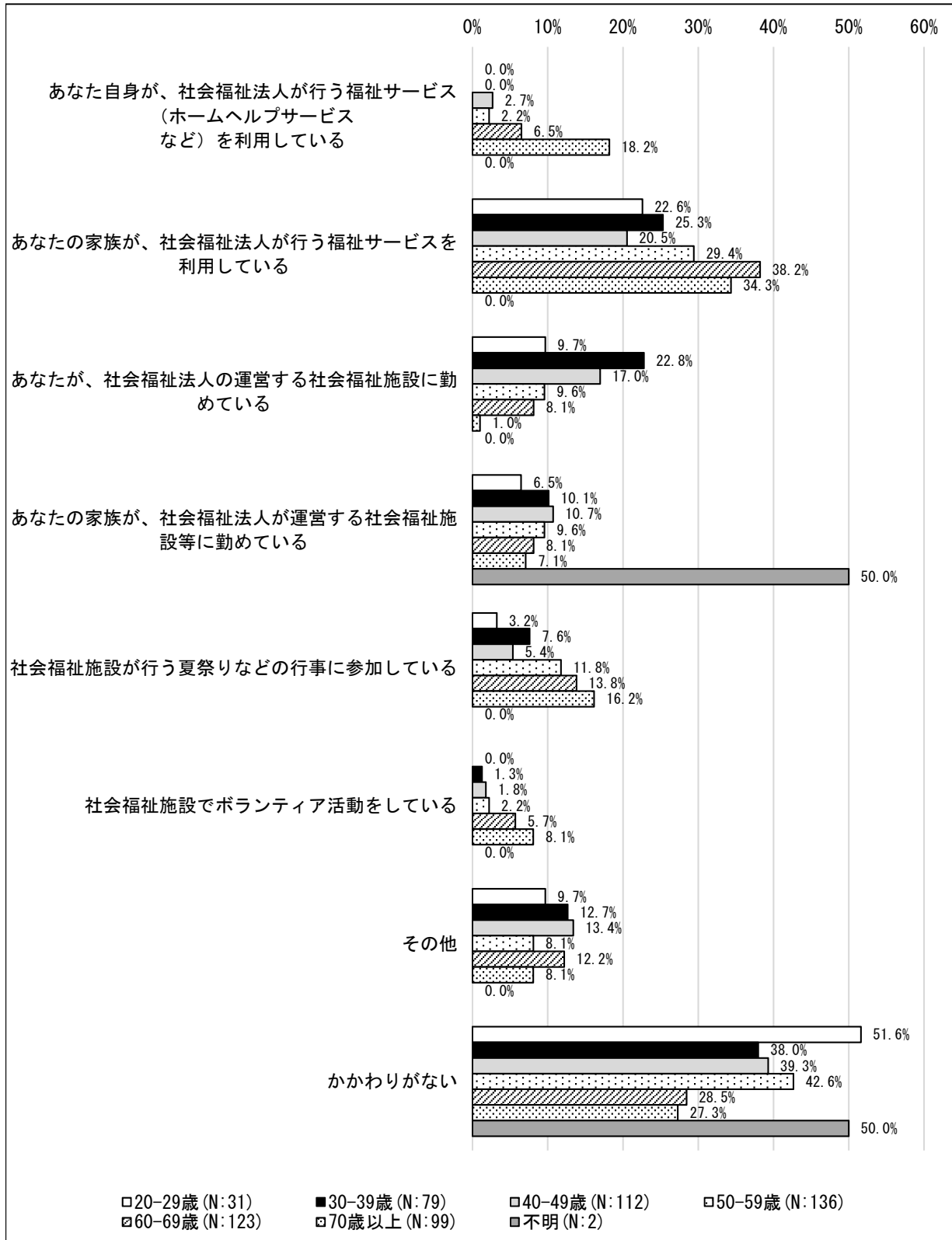
「かかわりがない」が36%、「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」が29%、「あなたが、社会福祉法人の運営する社会福祉施設に勤めている」が11%となっている。

【男女別】



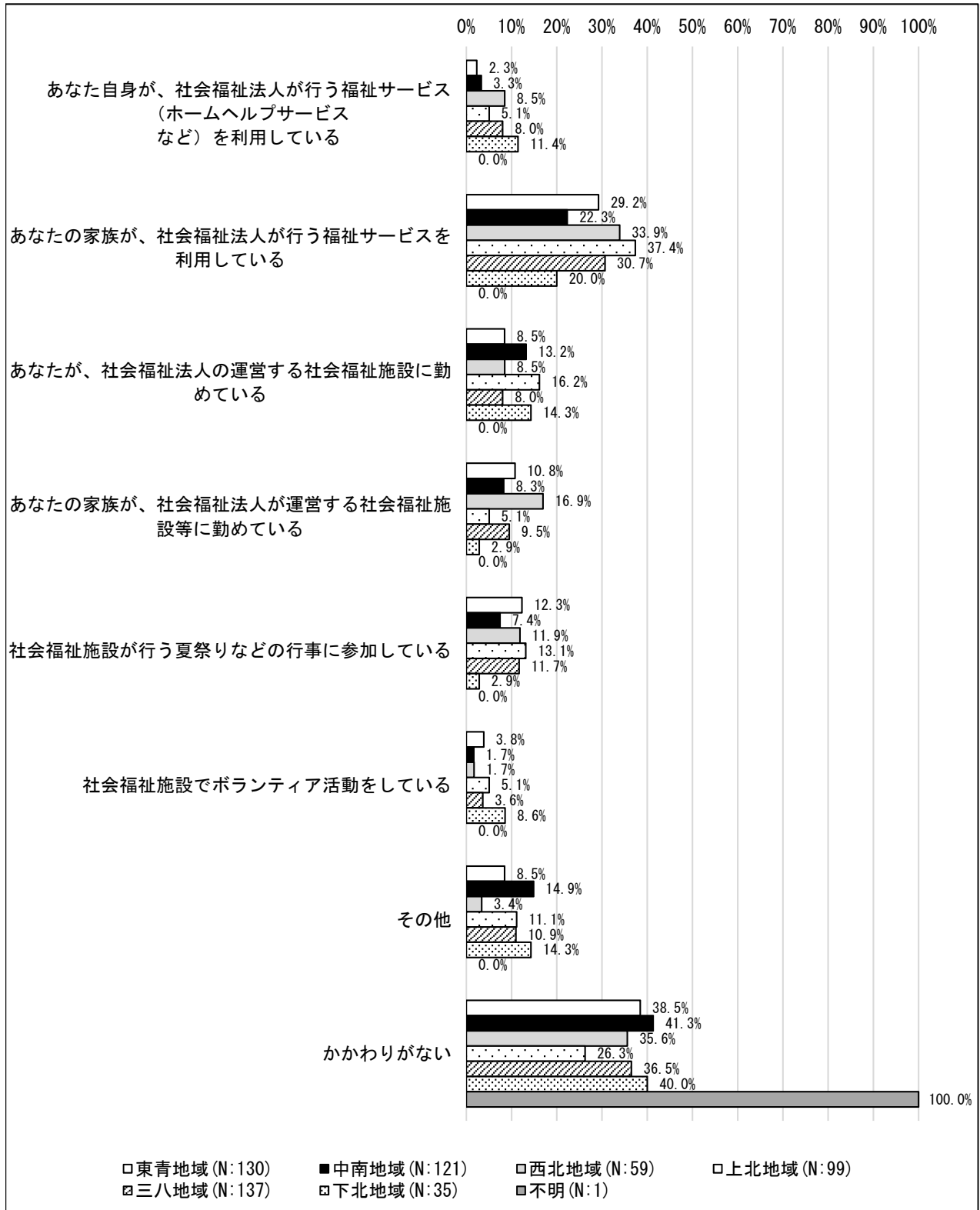
男女ともに「かわりがない」、「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」の順に大きく、次いで、男性は「あなたの家族が、社会福祉法人が運営する社会福祉施設等に勤めている」、女性は「あなたが、社会福祉法人の運営する社会福祉施設に勤めている」となっている。

【年代別】



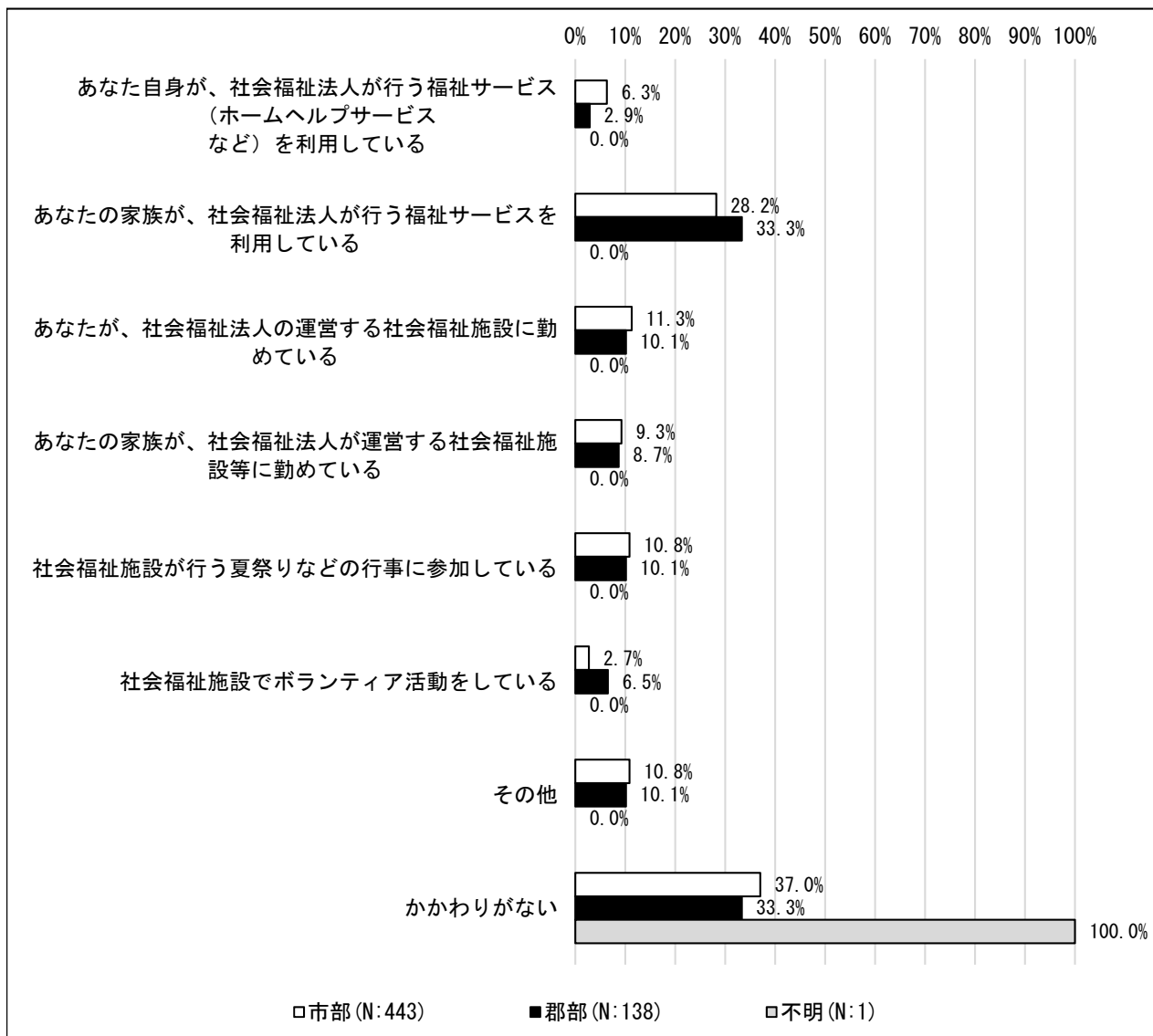
「60代」以上は「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」が、他年代は「かかわりがない」がそれぞれ最も大きくなっている。「社会福祉法人が行う夏祭りなどの行事に参加している」は概ね年代が上がるにつれて大きくなっている。「あなたの家族が、社会福祉法人が運営する社会福祉施設等に勤めている」は概ね年代が下がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



「上北地域」は「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」が、他の地域は「かかわりがない」がそれぞれ最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



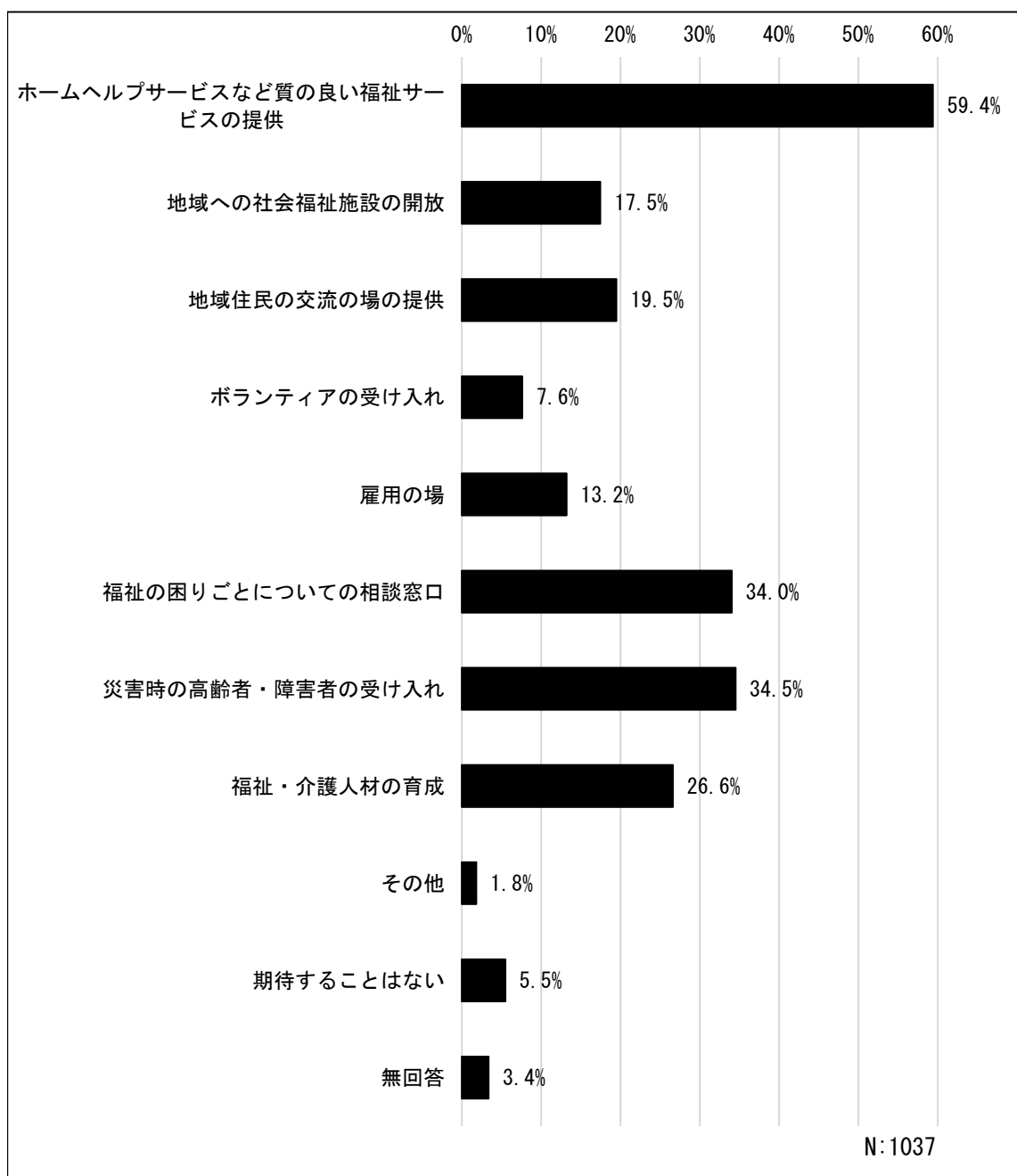
「市部」は「かかわりがない」が最も大きく、次いで「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」、「あなたが、社会福祉法人の運営する社会福祉施設に勤めている」の順となっている。「郡部」は「あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している」、「かかわりがない」が同率で最も大きく、次いで「あなたが、社会福祉法人の運営する社会福祉施設に勤めている」、「社会福祉施設が行う夏祭りなどの行事に参加している」、「その他」が同率となっている。

【自由回答より】

- ・以前、家族が利用したことがある。
- ・仕事に関わりがあるので知っている。
- ・福祉電話をつけている。
- ・私が社会福祉法人を経営している。

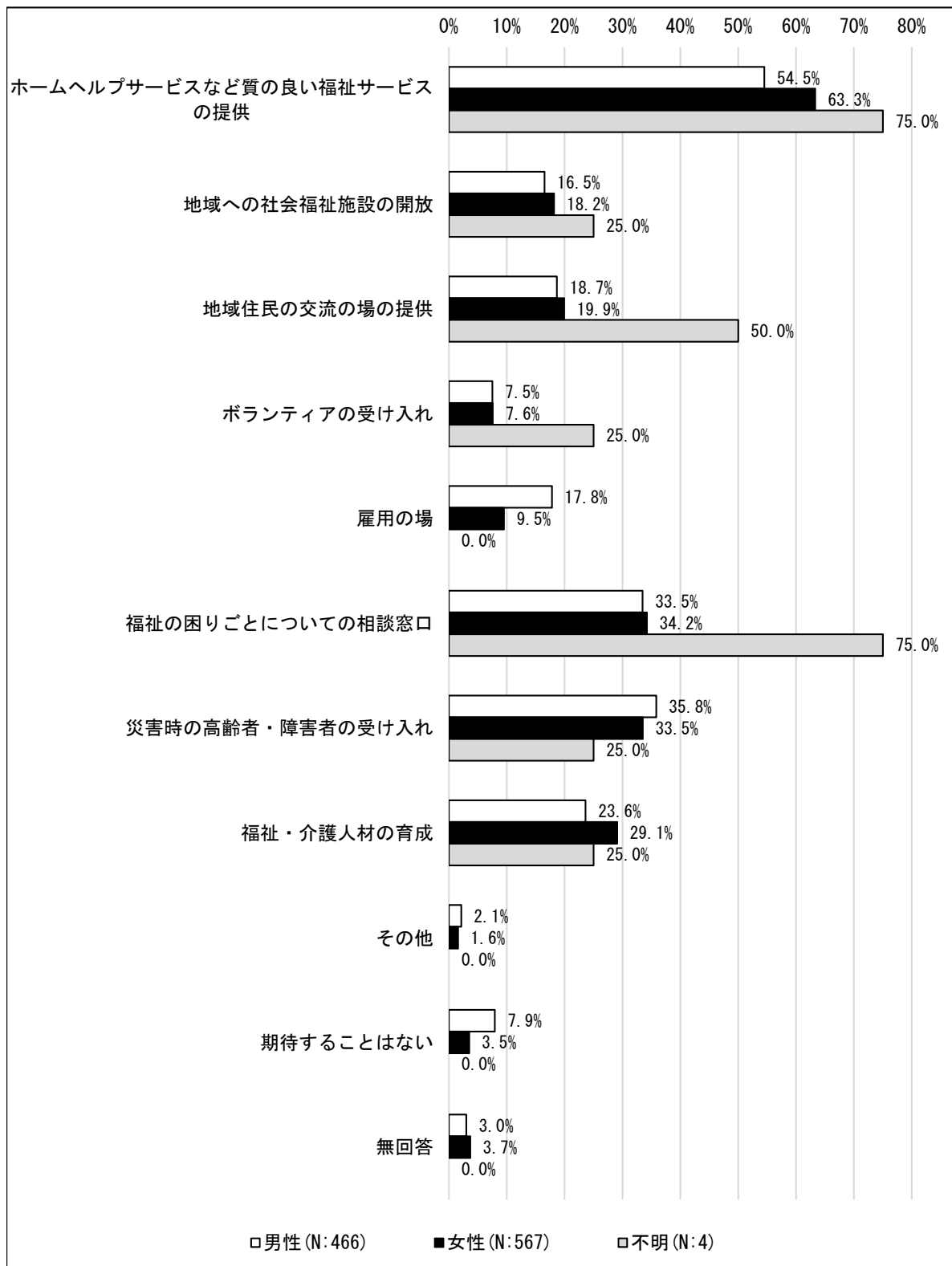
問 23. あなたが、地域の社会福祉法人に期待することは何ですか。（3つまで）

・地域の社会福祉法人への期待



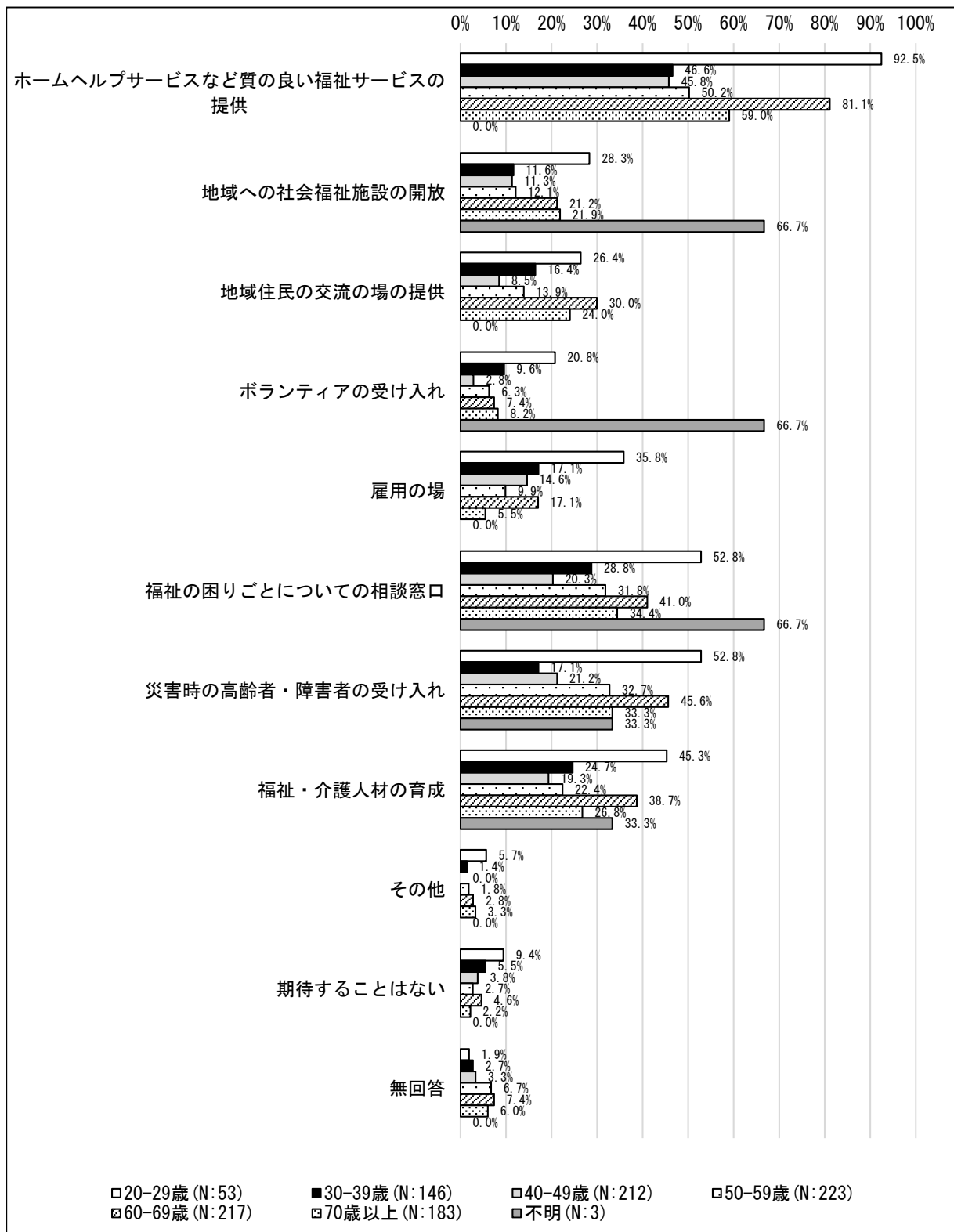
「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が59%、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」が35%、「福祉の困りごとについての相談窓口」が34%となっている。

【男女別】



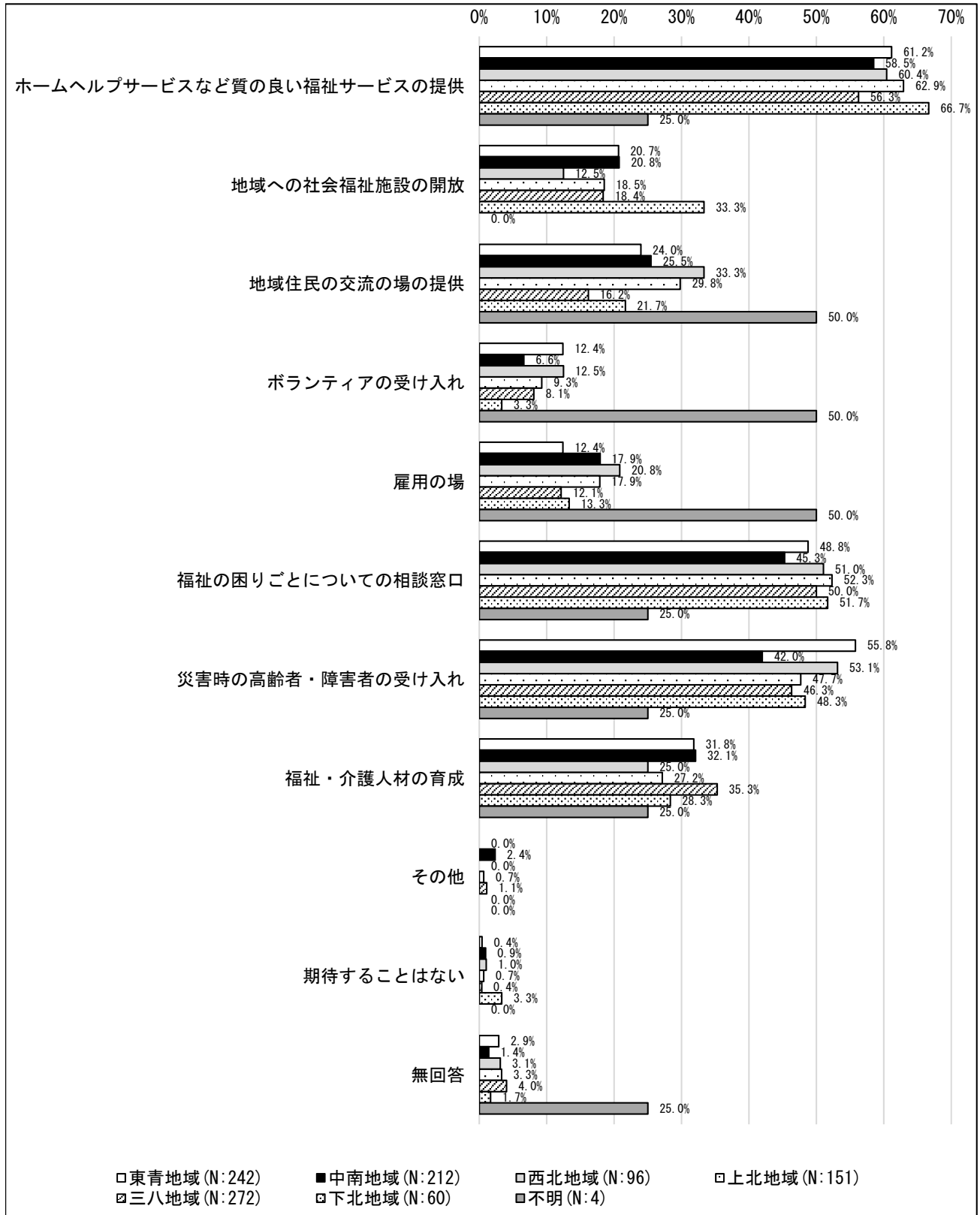
男女ともに「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が最も大きくなっており、次いで男性は「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」、「福祉の困りごとについての相談窓口」、女性は「福祉の困りごとについての相談窓口」、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」の順となっている。

【年代別】



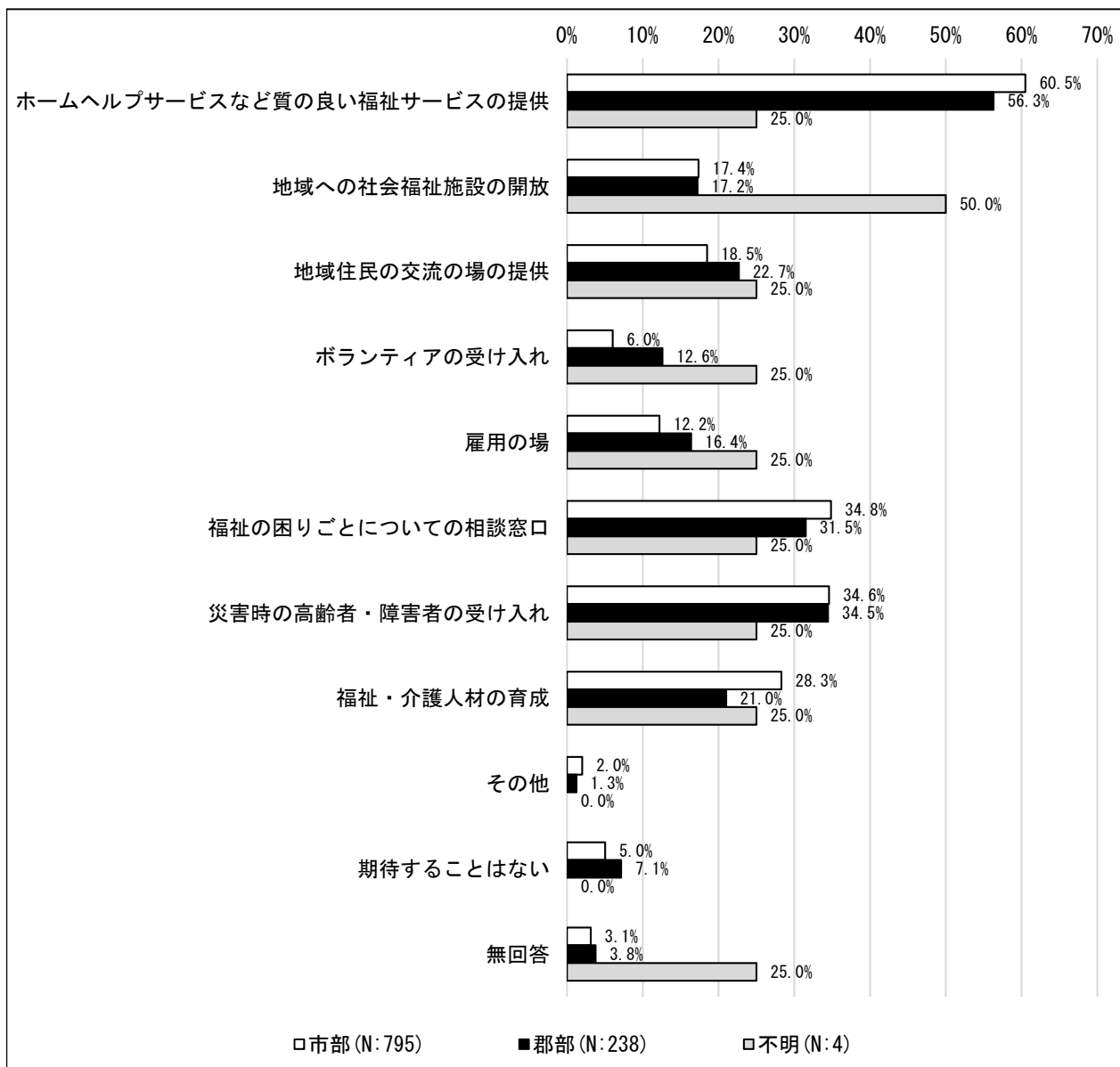
全ての年代で「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が最も大きく、次いで、「20代」は「福祉の困りごとについての相談窓口」、「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」が同率、「30代」と「70歳以上」は「福祉の困りごとについての相談窓口」、他年代は「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」の順となっている。「ボランティアの受け入れ」と「雇用の場」は、「20代」が他年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が最も大きく、次いで「東青地域」、「西北地域」は「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」、その他の地域は「福祉の困りごとについての相談窓口」の順となっている。

【市部・郡部別】



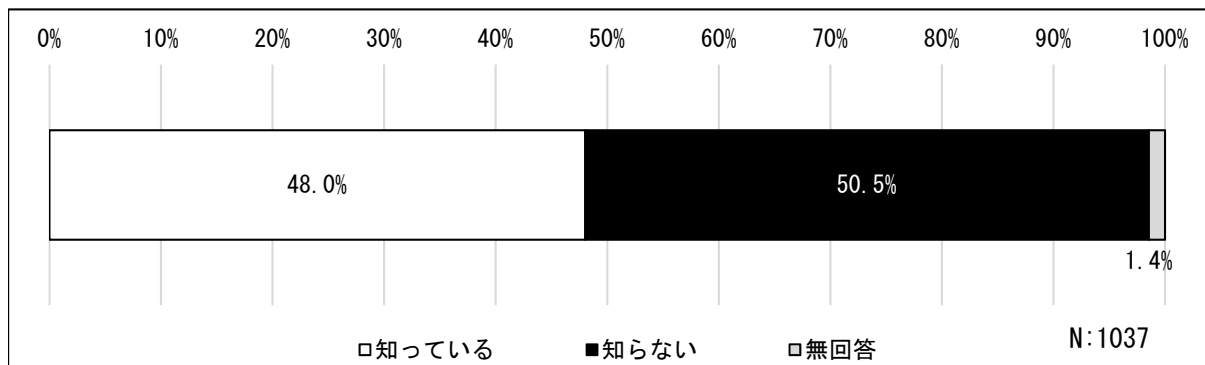
「市部」、「郡部」ともに「ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供」が最も大きく、次いで「市部」は「福祉の困りごとについての相談窓口」、「郡部」は「災害時の高齢者・障害者の受け入れ」の順となっている。

【自由回答より】

- ・その人にあったサービスや困ったことに対してサービスが受けられること。
- ・働いている人たちの職場環境整備。
- ・高齢者障害者の社会福祉施設への入所条件をもう少し緩くしてほしい。

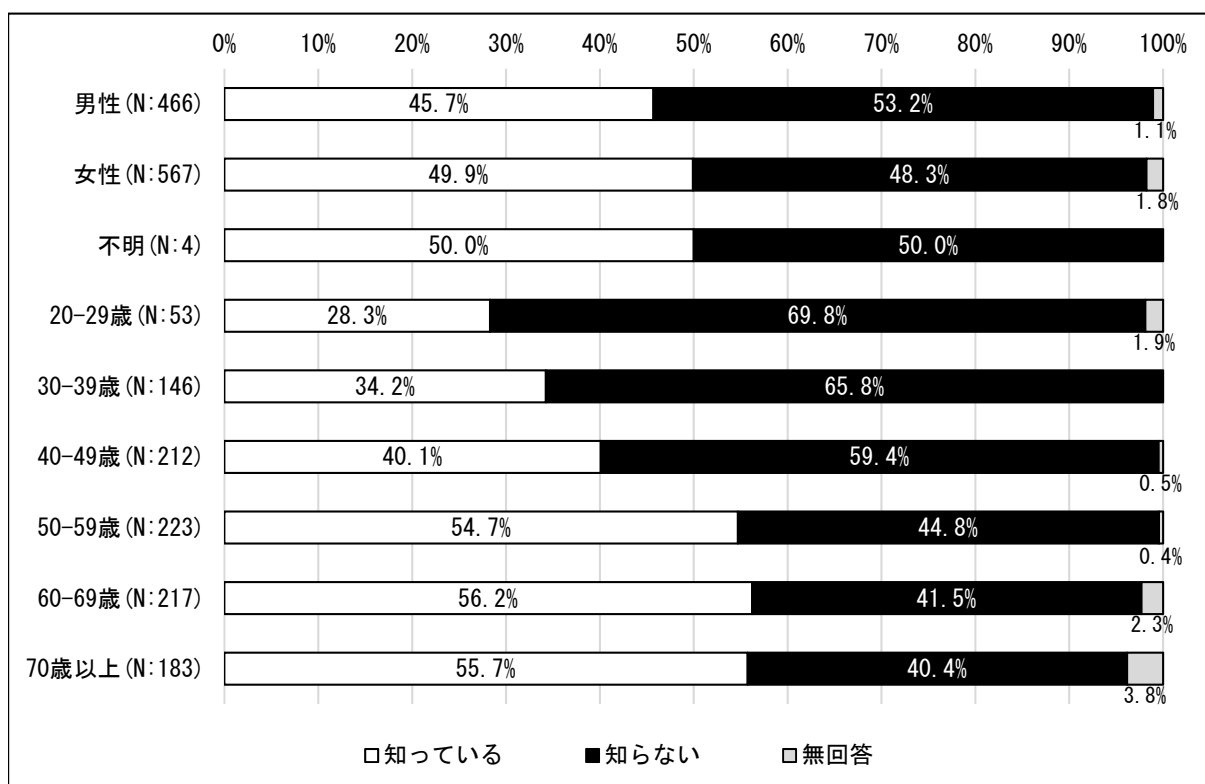
問 24. あなたは、社会福祉協議会のことを知っていますか。（1つ）

・社会福祉協議会



「知っている」が48%、「知らない」が51%となっている。

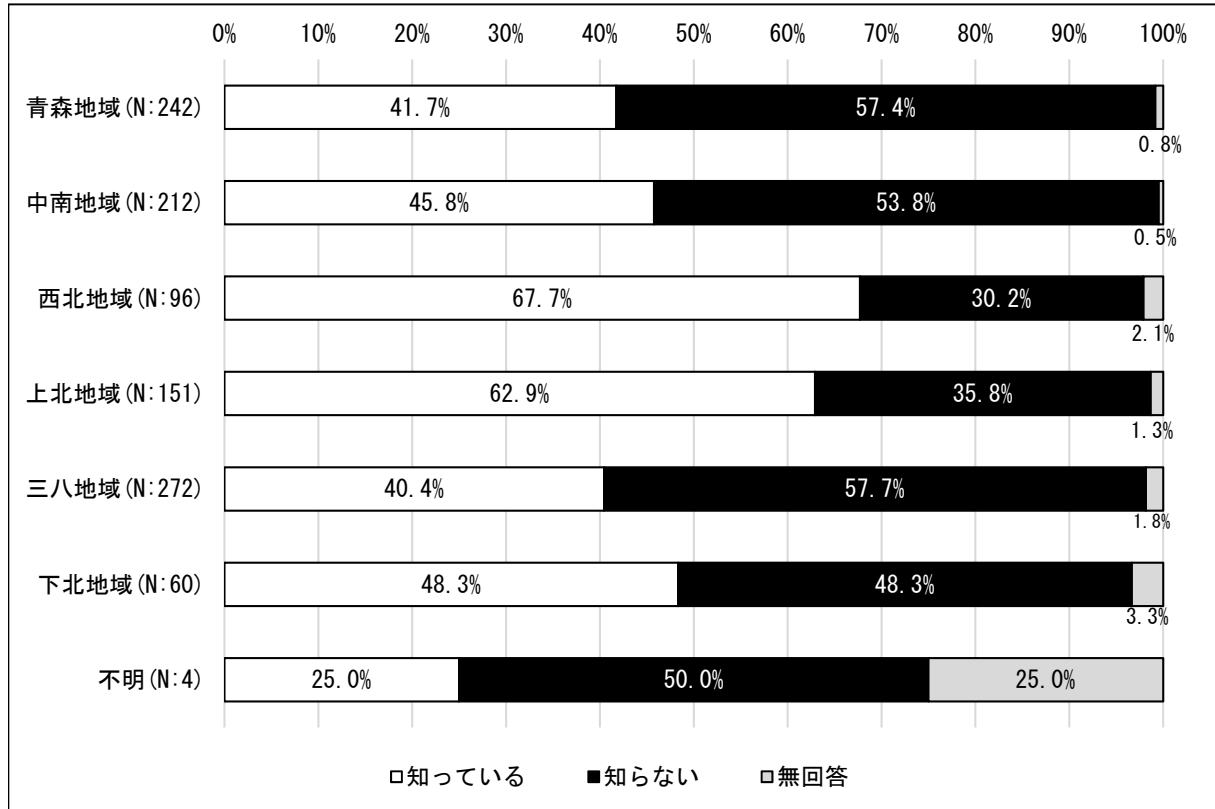
【男女別・年代別】



男性は「知らない」が「知っている」より、女性は「知っている」が「知らない」より大きくなっている。

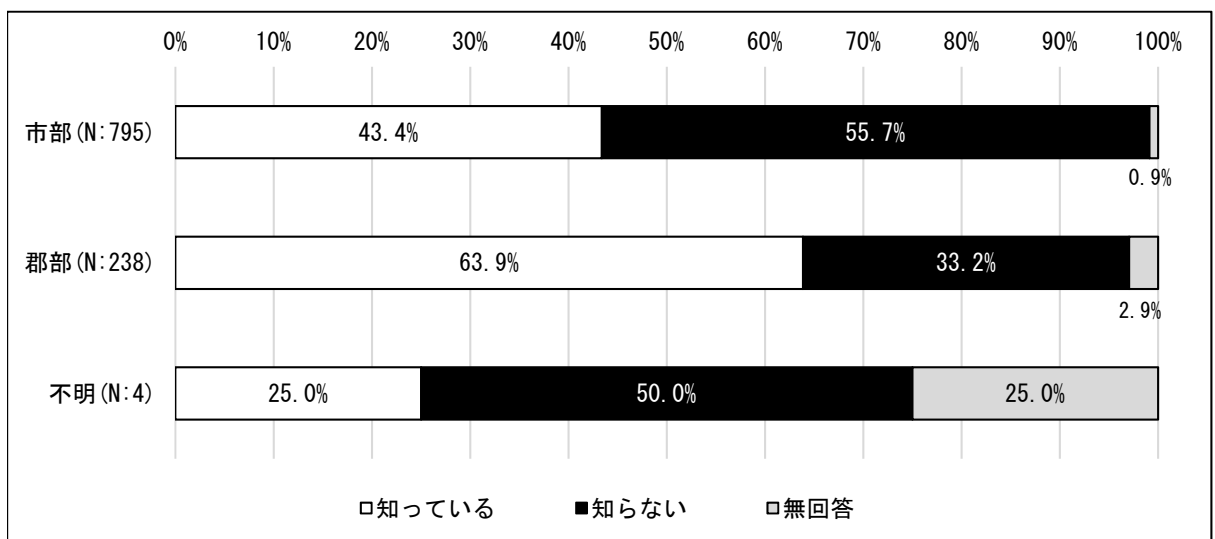
年代別に見ると、概ね年代が上がるにつれて「知っている」の割合が大きくなっている。一方、概ね年代が下がるにつれて「知らない」の割合が大きくなっている。

【地域別】



「西北地域」、「上北地域」は「知っている」の割合が「知らない」を上回っている。「下北地域」は「知っている」と「知らない」が同率になっている。他の地域は「知らない」の割合が「知っている」を上回っている。

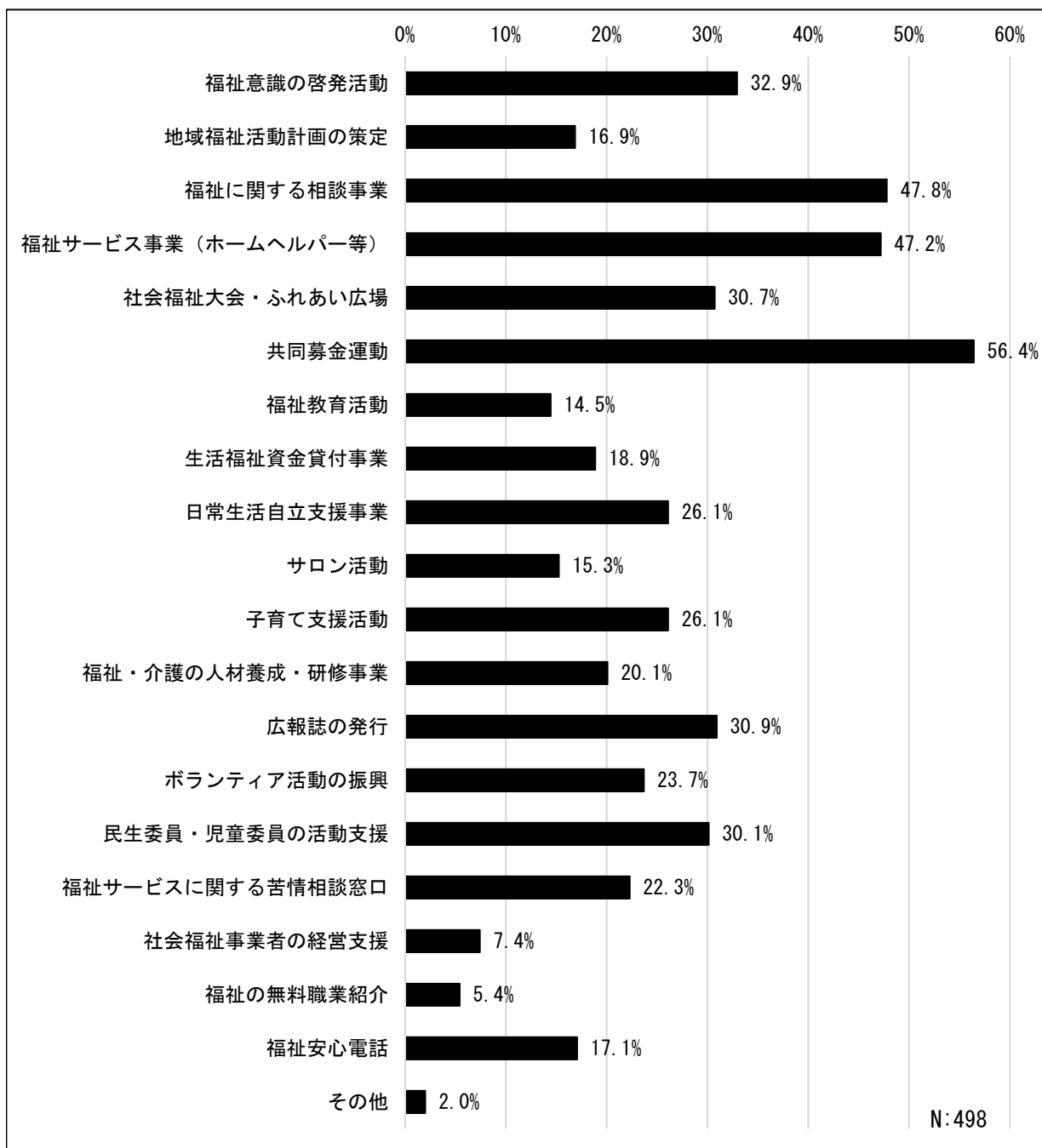
【市部・郡部別】



「郡部」は「知っている」の割合が「市部」よりも大きく、6割を超えている。一方、「市部」は「知らない」の割合が「郡部」よりも大きく、5割を超えている。

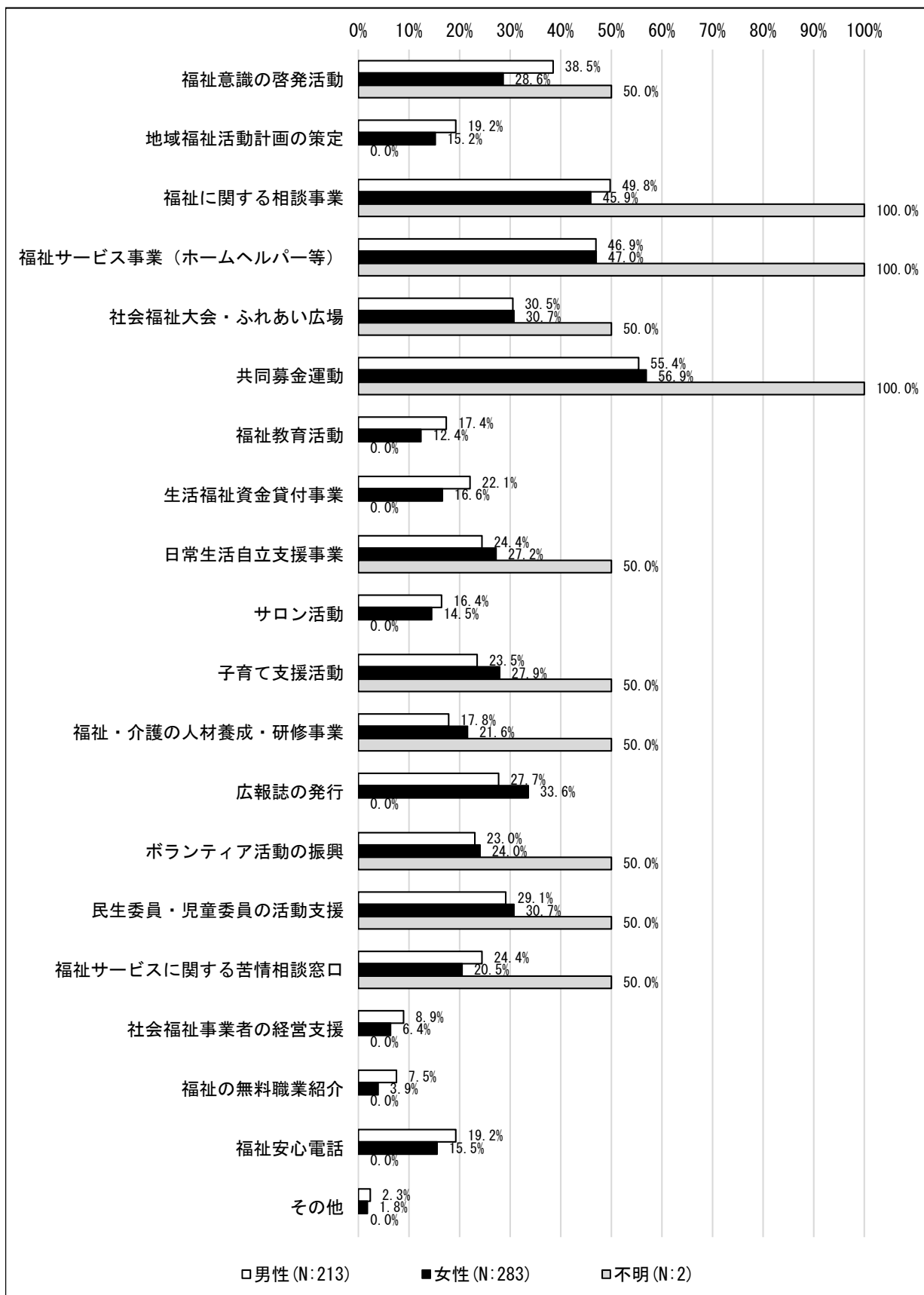
問 24-1. 問 24 で「知っている」を選んだ方におうかがいします。あなたが知っている社会福祉協議会の活動は何ですか。（当てはまるものすべて）

・社会福祉協議会の活動



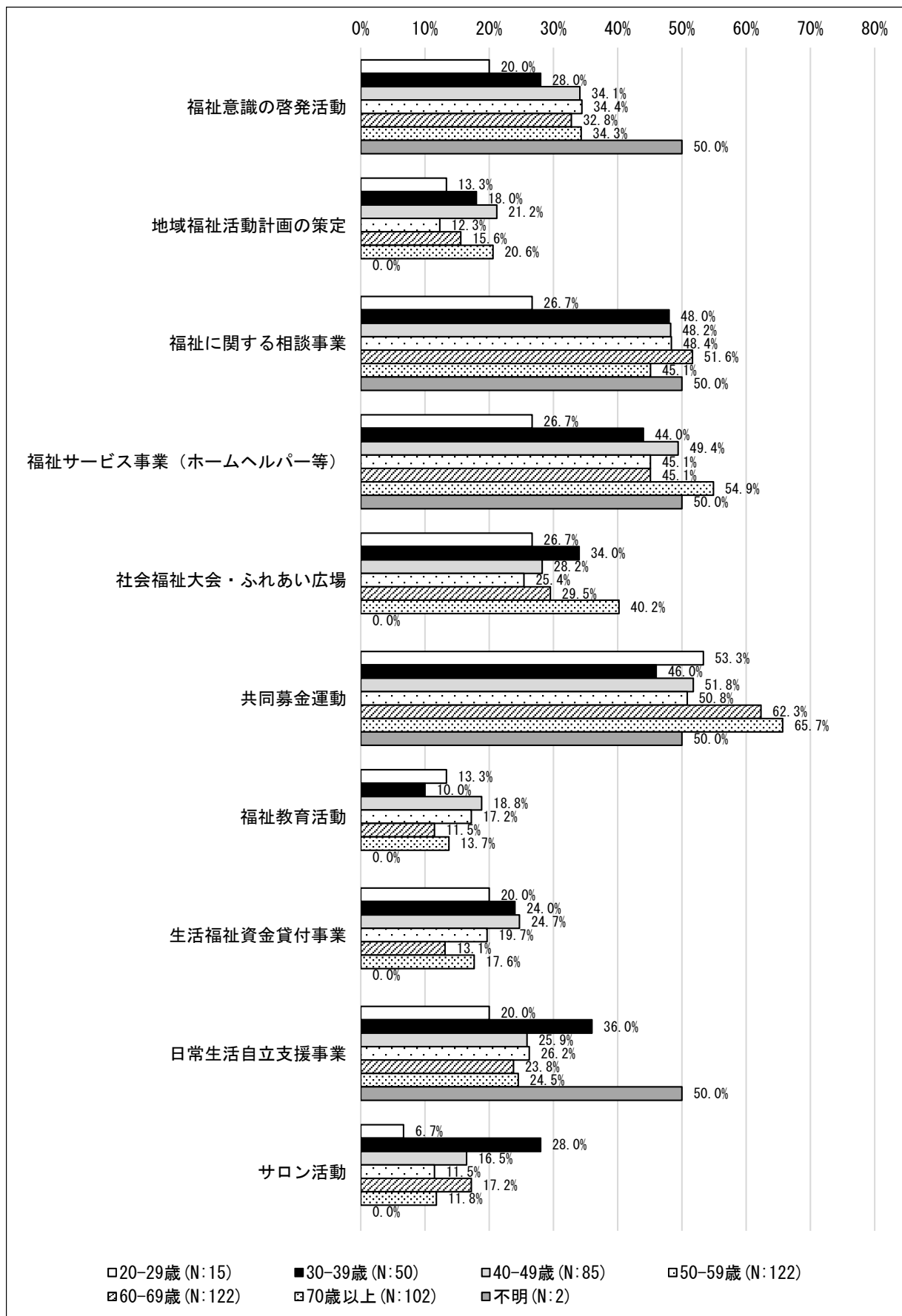
「共同募金運動」が56%、「福祉に関する相談事業」が48%、「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」が47%、「福祉意識の啓発活動」が33%となっている。

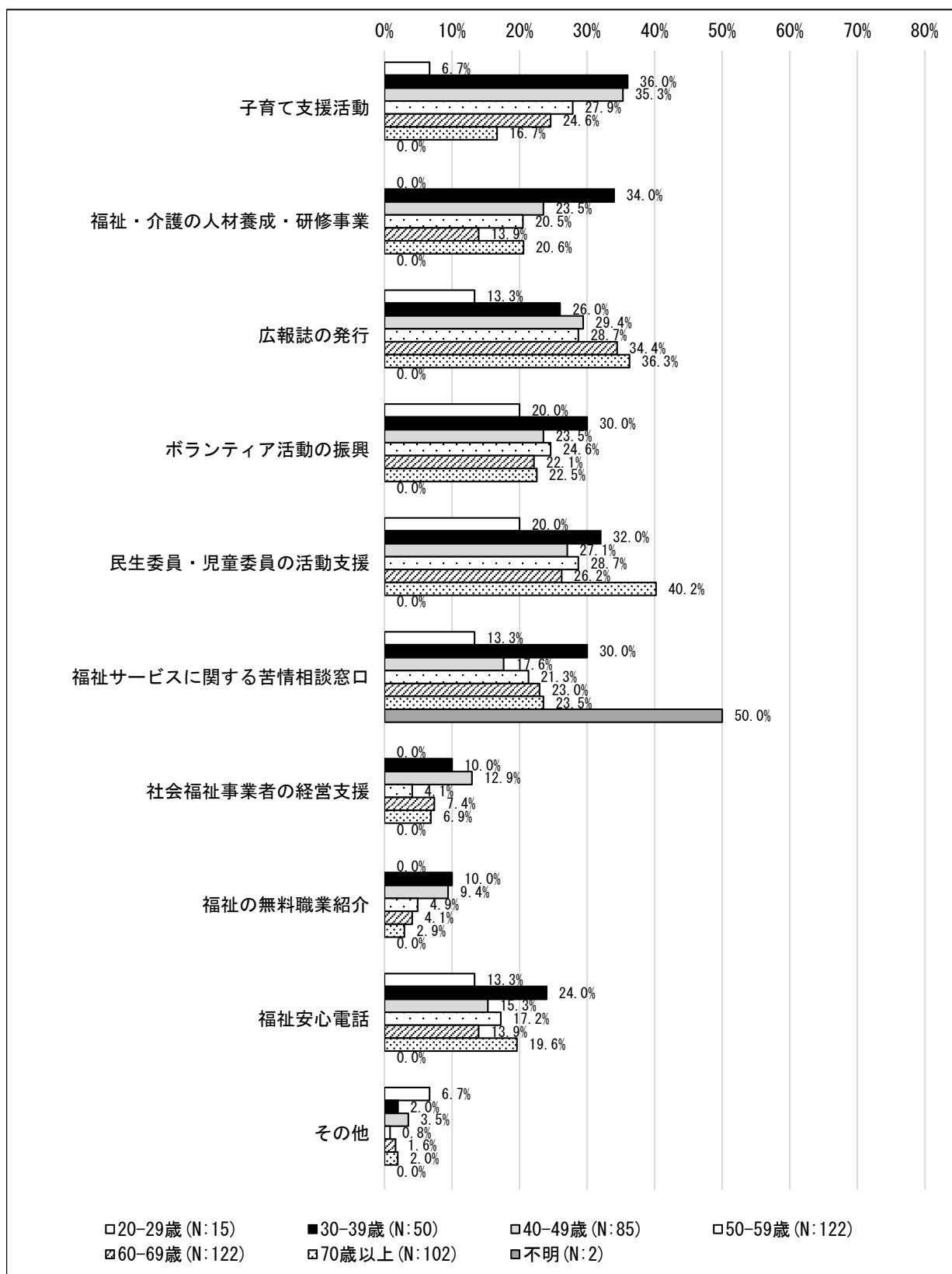
【男女別】



男女ともに「共同募金運動」が最も大きくなっている。

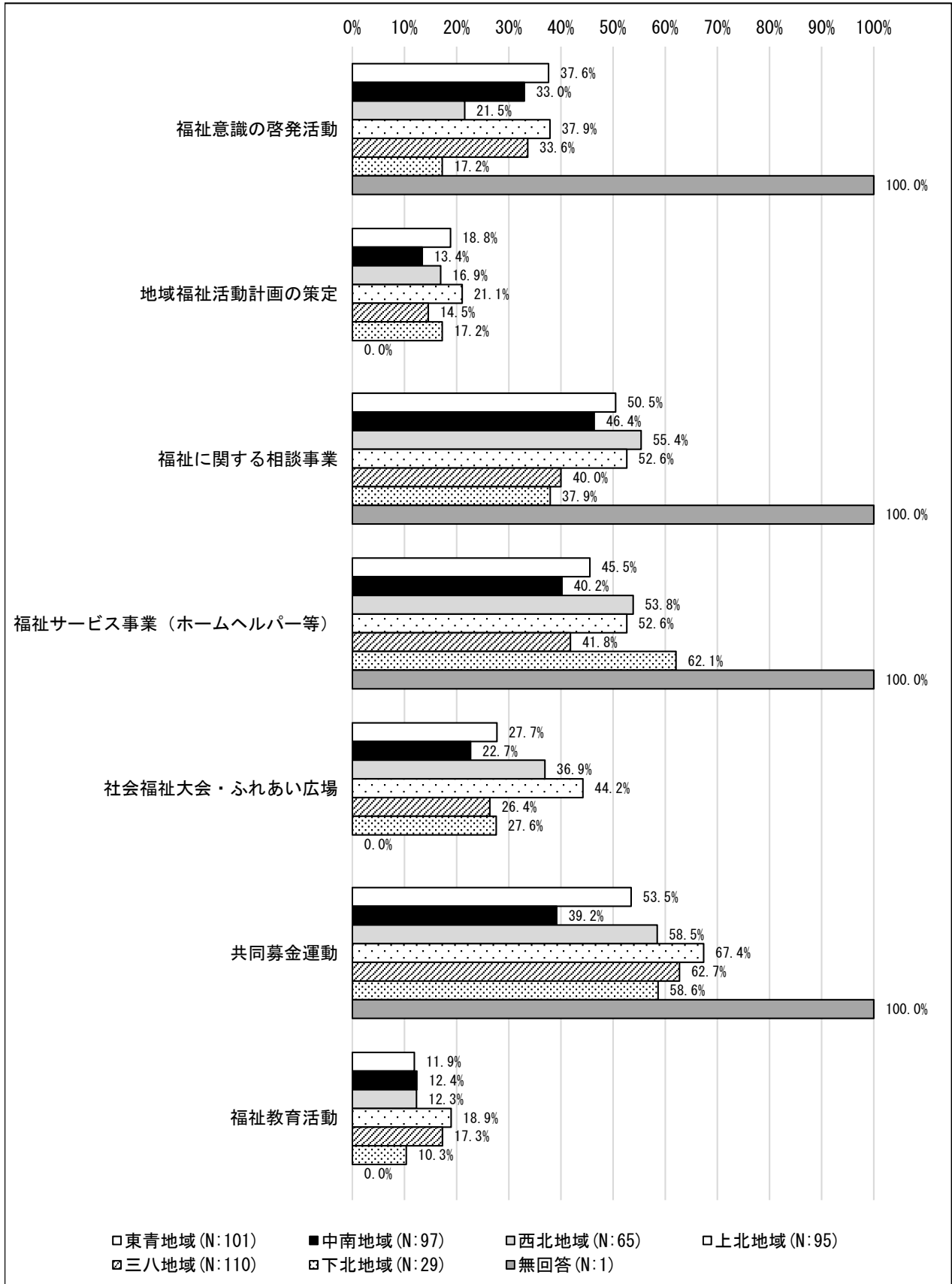
【年代別】

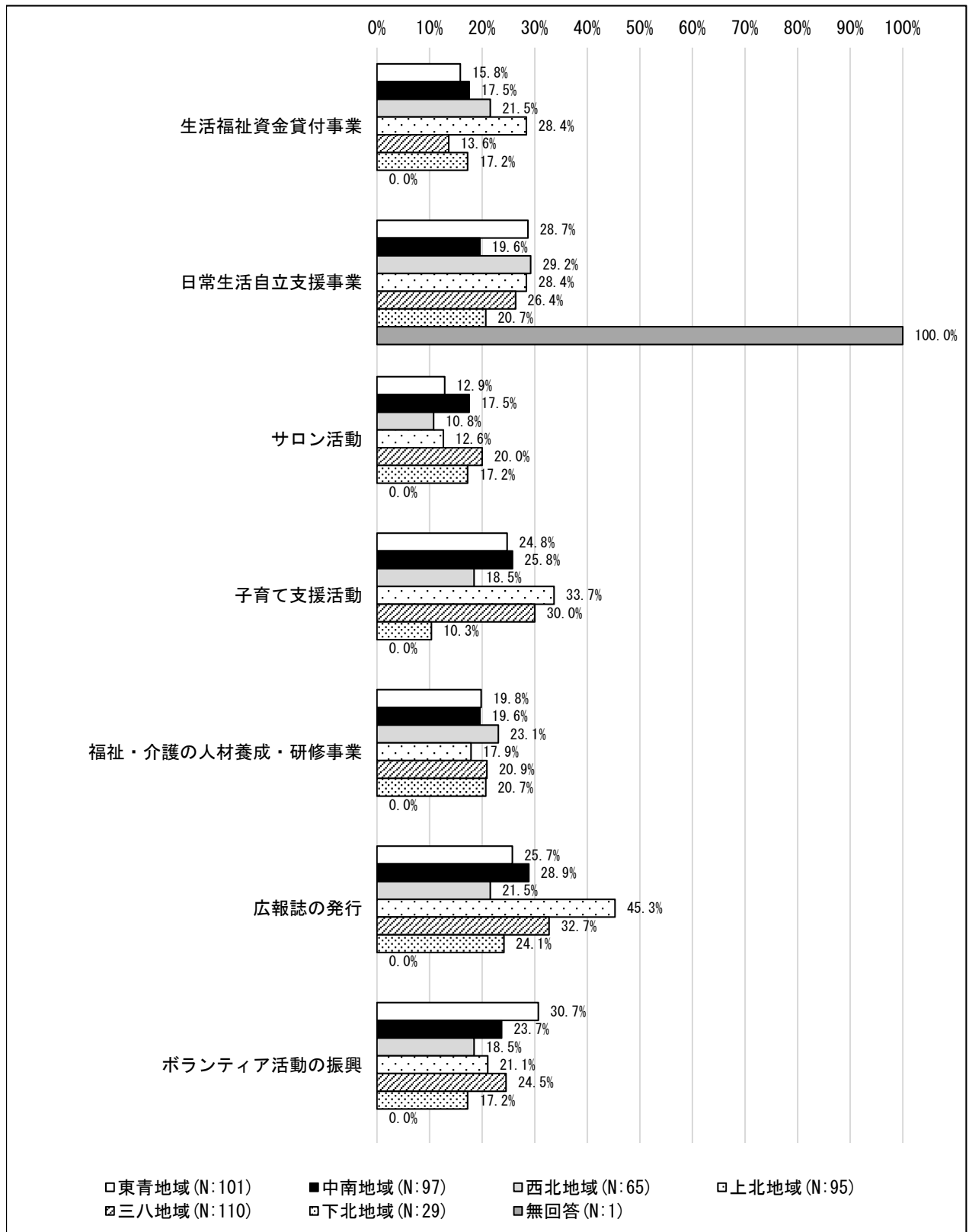


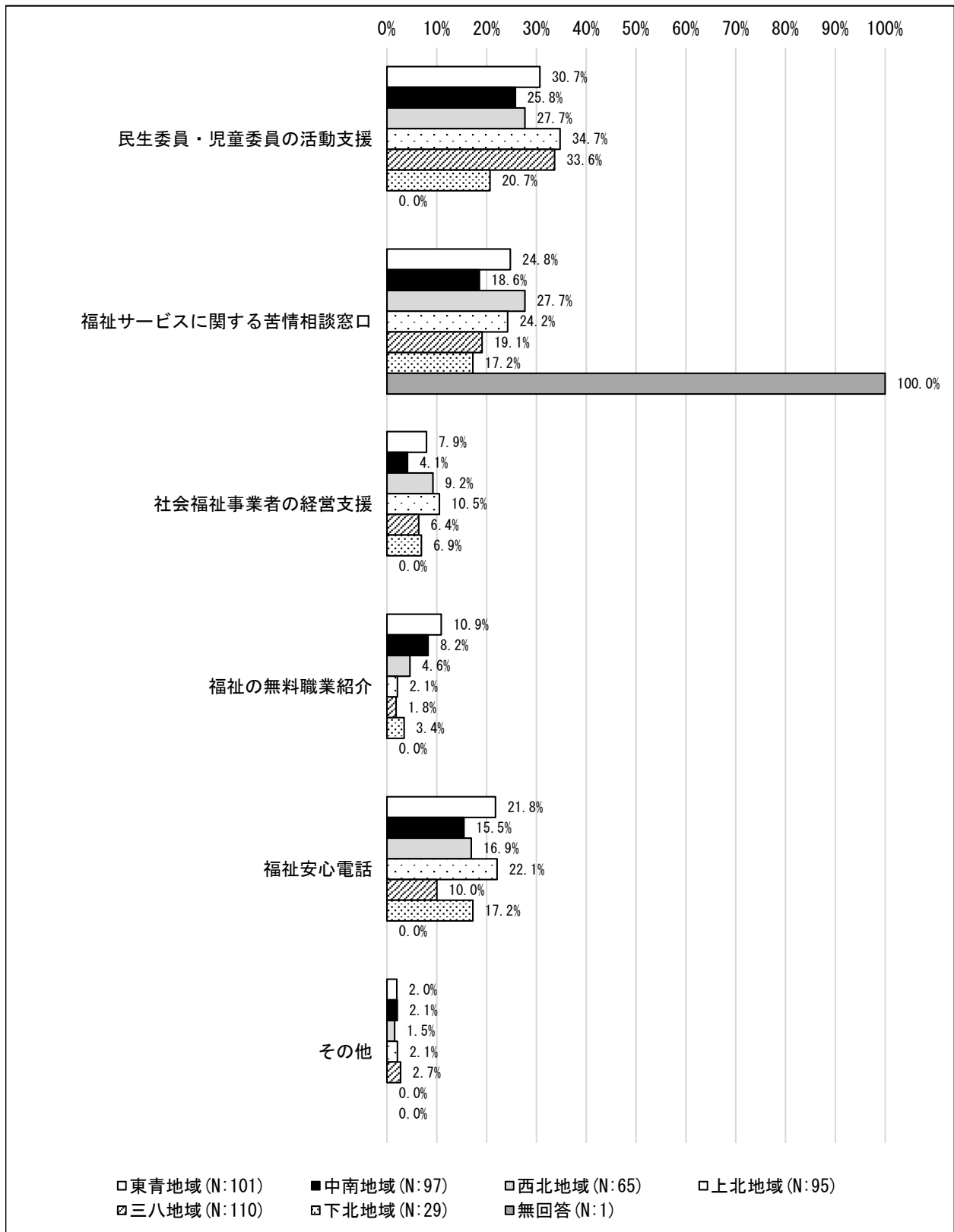


「30代」は「福祉に関する相談事業」が、その他の年代は「共同募金運動」が最も大きくなっている。「30代」以上は、「福祉に関する相談事業」、「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」が大きくなっている。

【地域別】

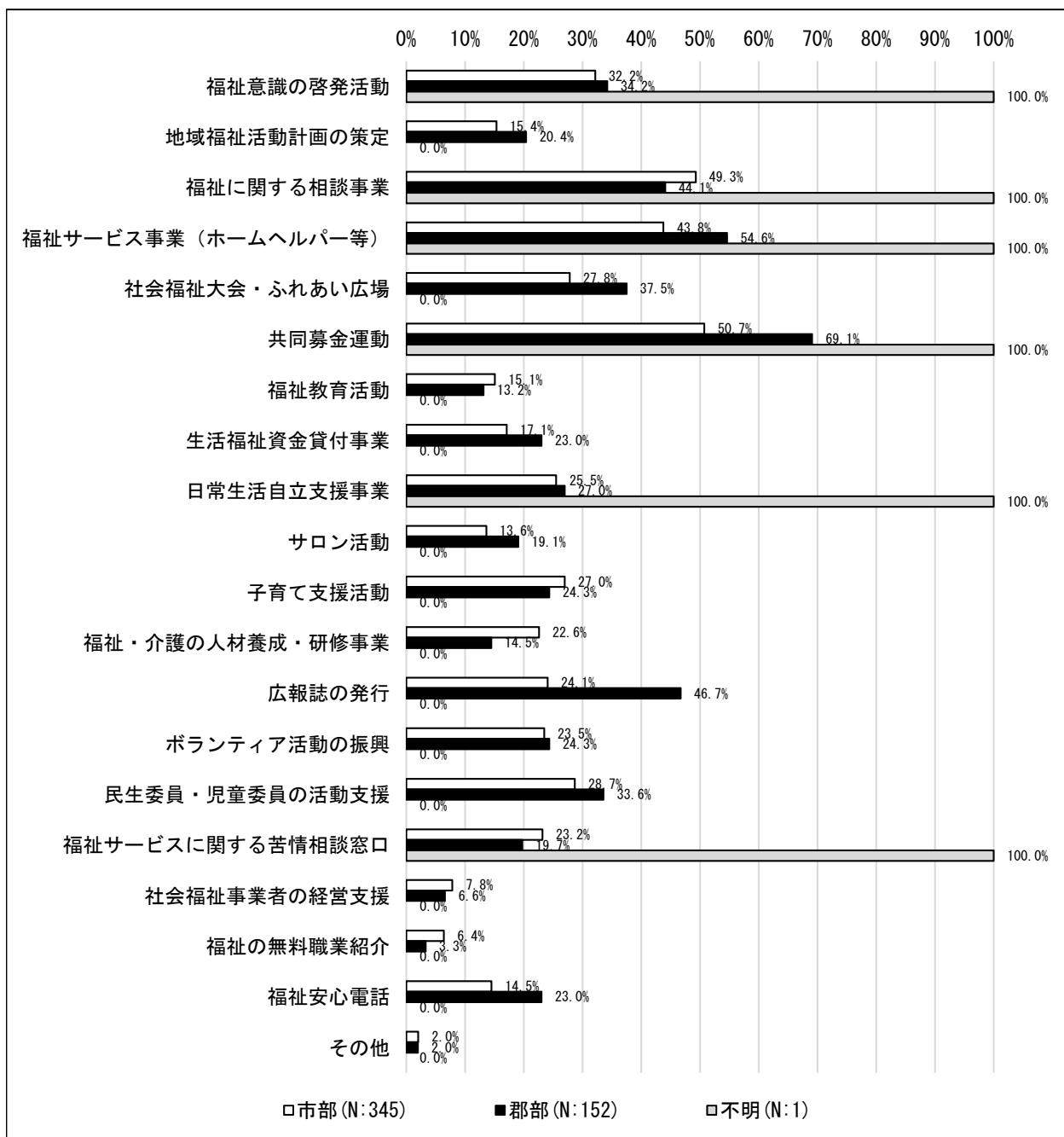






「中北地域」は「福祉に関する相談事業」、「下北地域」は「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」、他地域は「共同募金運動」が最も大きくなっている。次いで「東青地域」、「西北地域」は「福祉に関する相談事業」、「下北地域」は「共同募金運動」、「上北地域」は「福祉に関する相談事業」と「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」が同率、その他地域は「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」となっている。

【市部・郡部別】



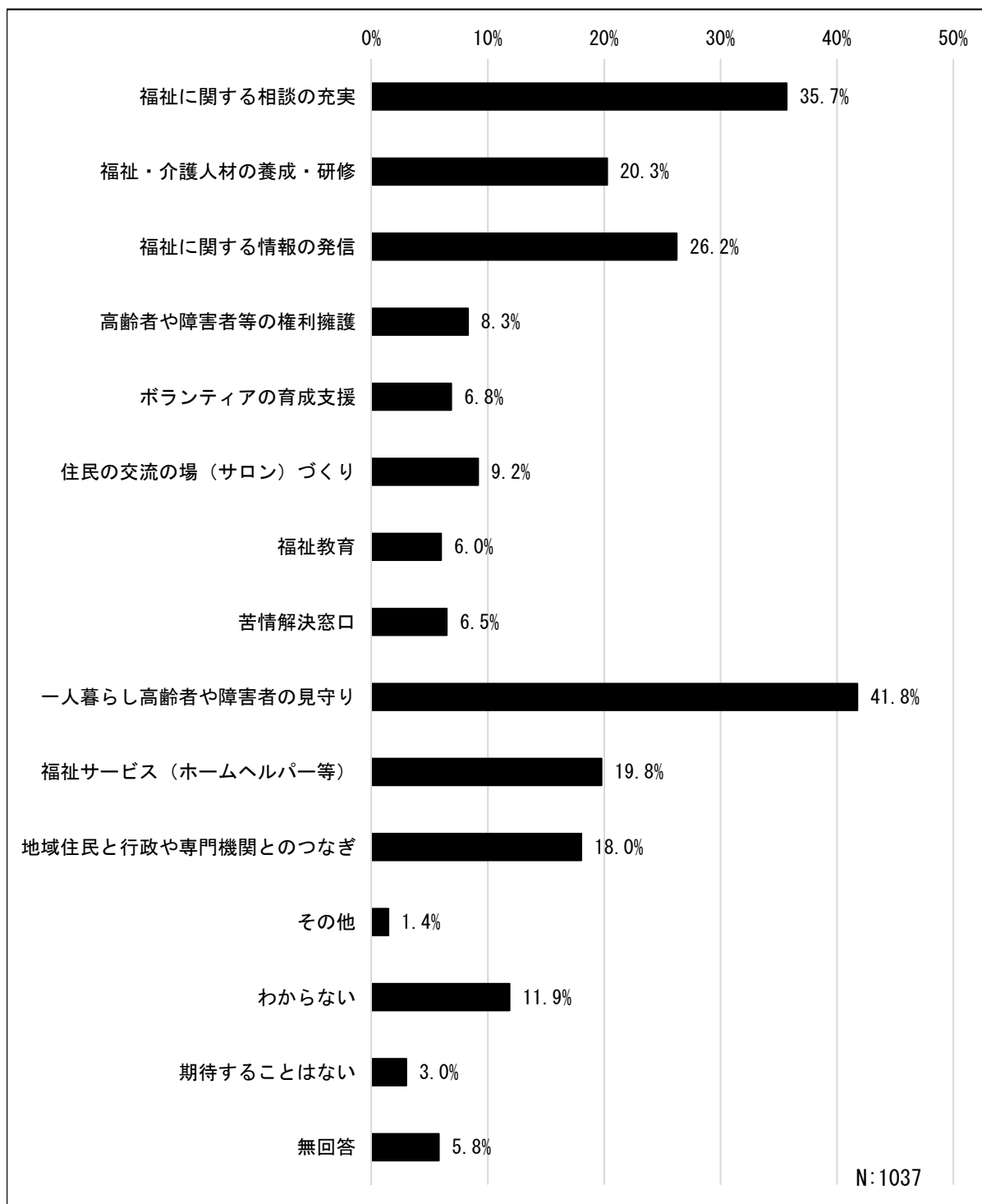
「市部」、「郡部」とともに「共同募金運動」が最も大きい。次いで「市部」は「福祉に関する相談事業」、「郡部」は「福祉サービス事業（ホームヘルパー等）」となっている。

【自由回答より】

- ・高齢者一人暮らしへ訪問、声掛け運動。
- ・ねふたを出している。
- ・前に弁当の配達があったが、今は無くなった。（中止）

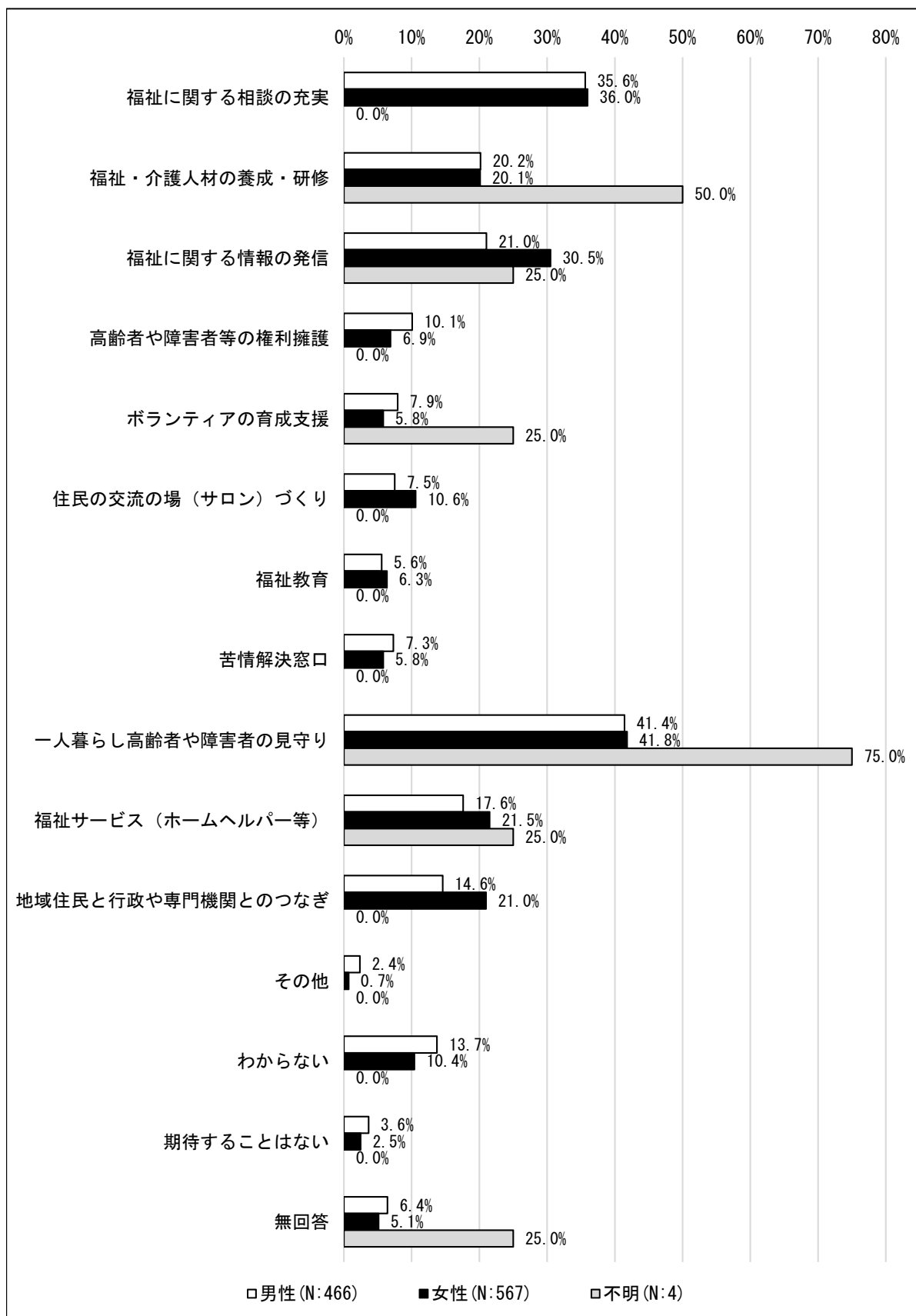
問 25. あなたは、今後、社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。（3つまで）

・社会福祉協議会への期待



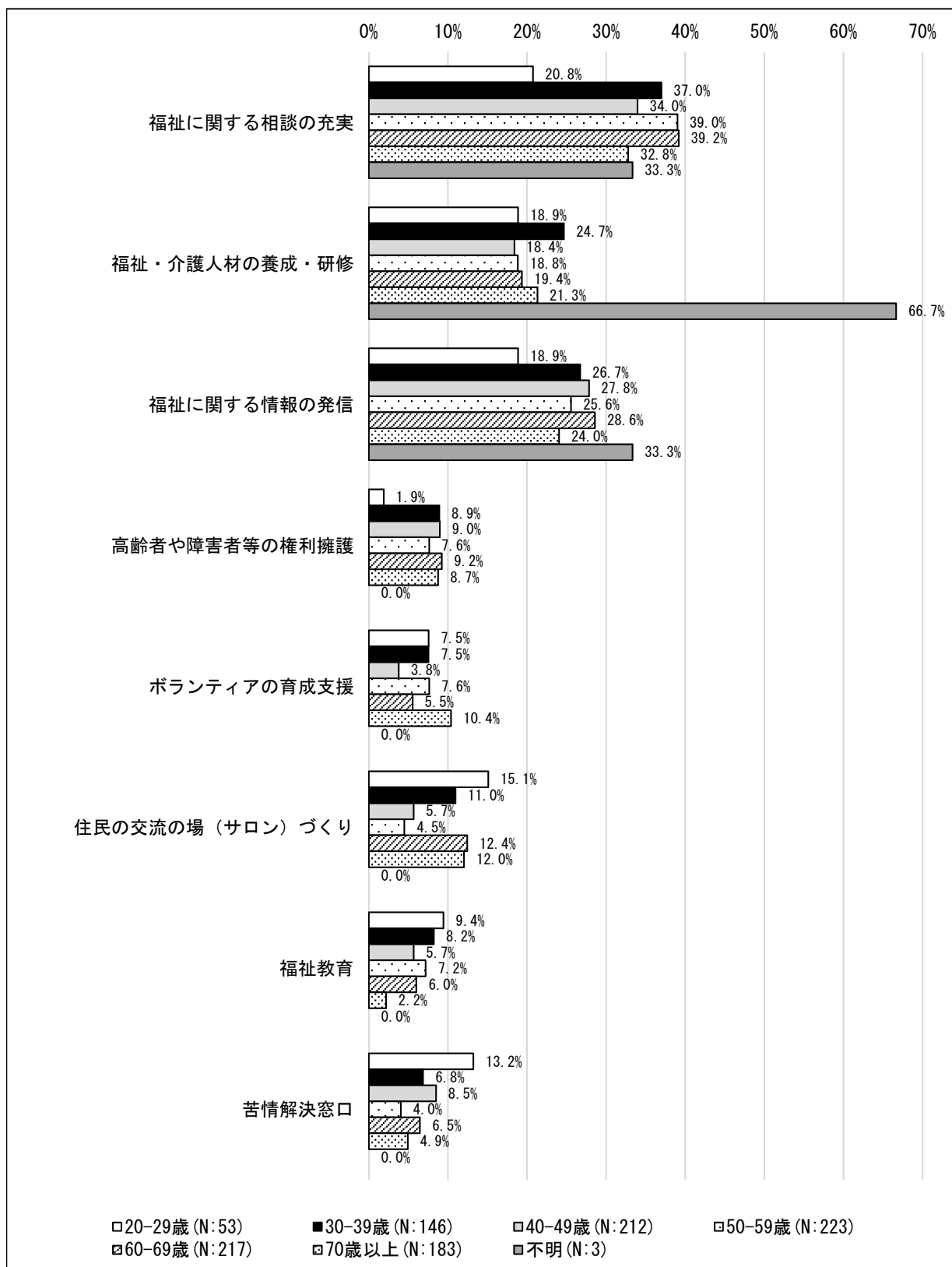
「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が42%、「福祉に関する相談の充実」が36%、「福祉に関する情報の発信」が26%となっている。

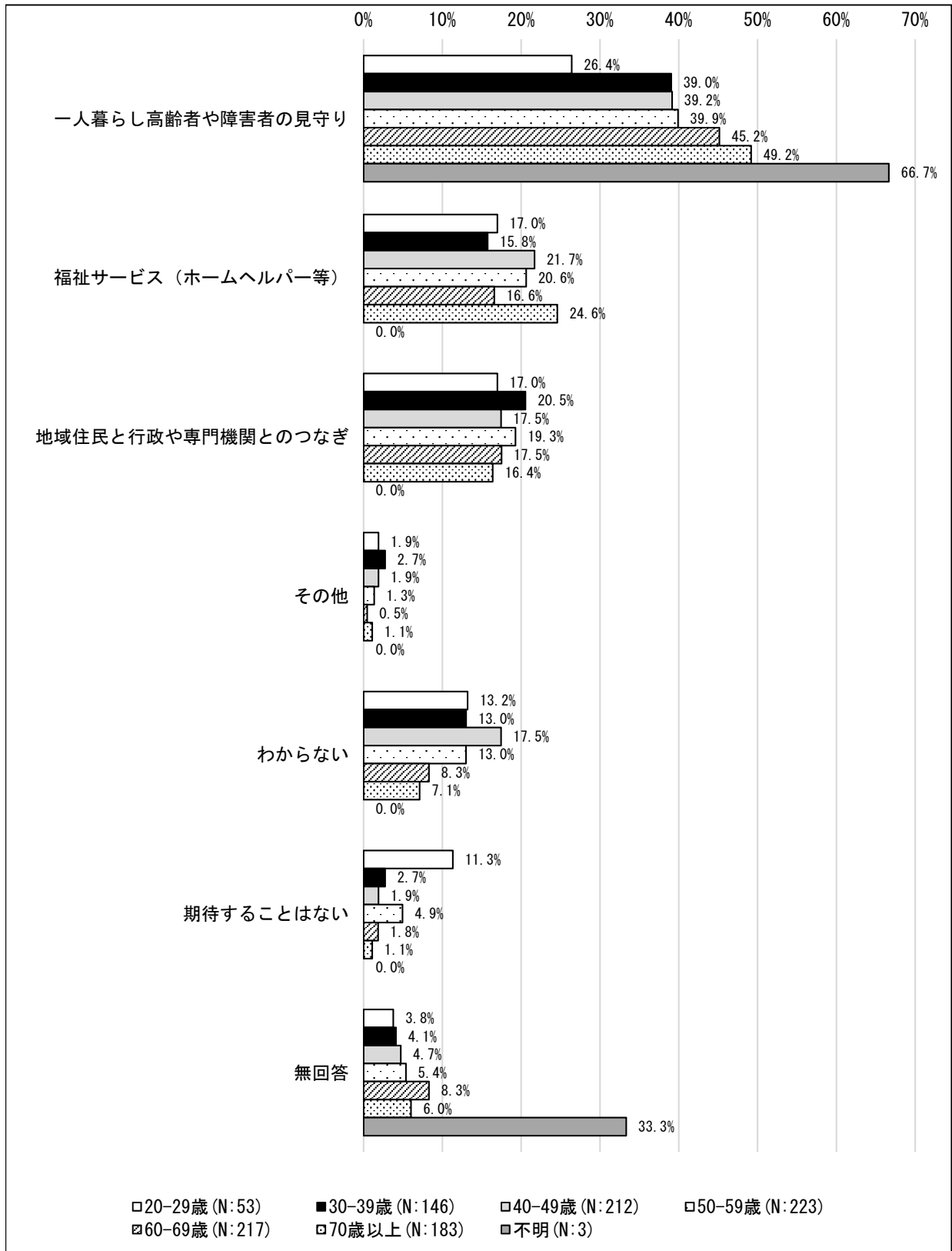
【男女別】



男女ともに「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が最も大きく、次いで「福祉に関する相談の充実」、
「福祉に関する情報の発信」の順となっている。

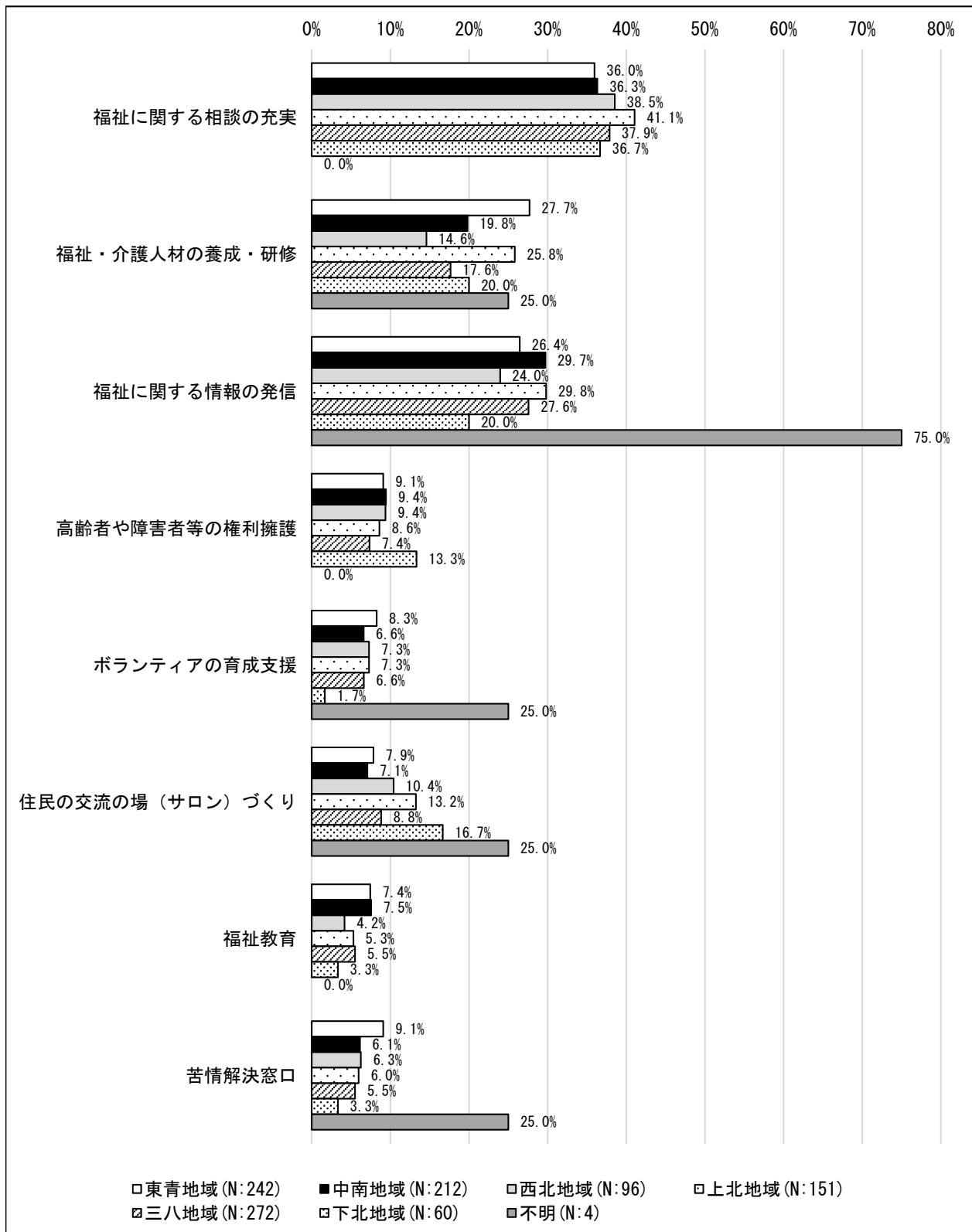
【年代別】

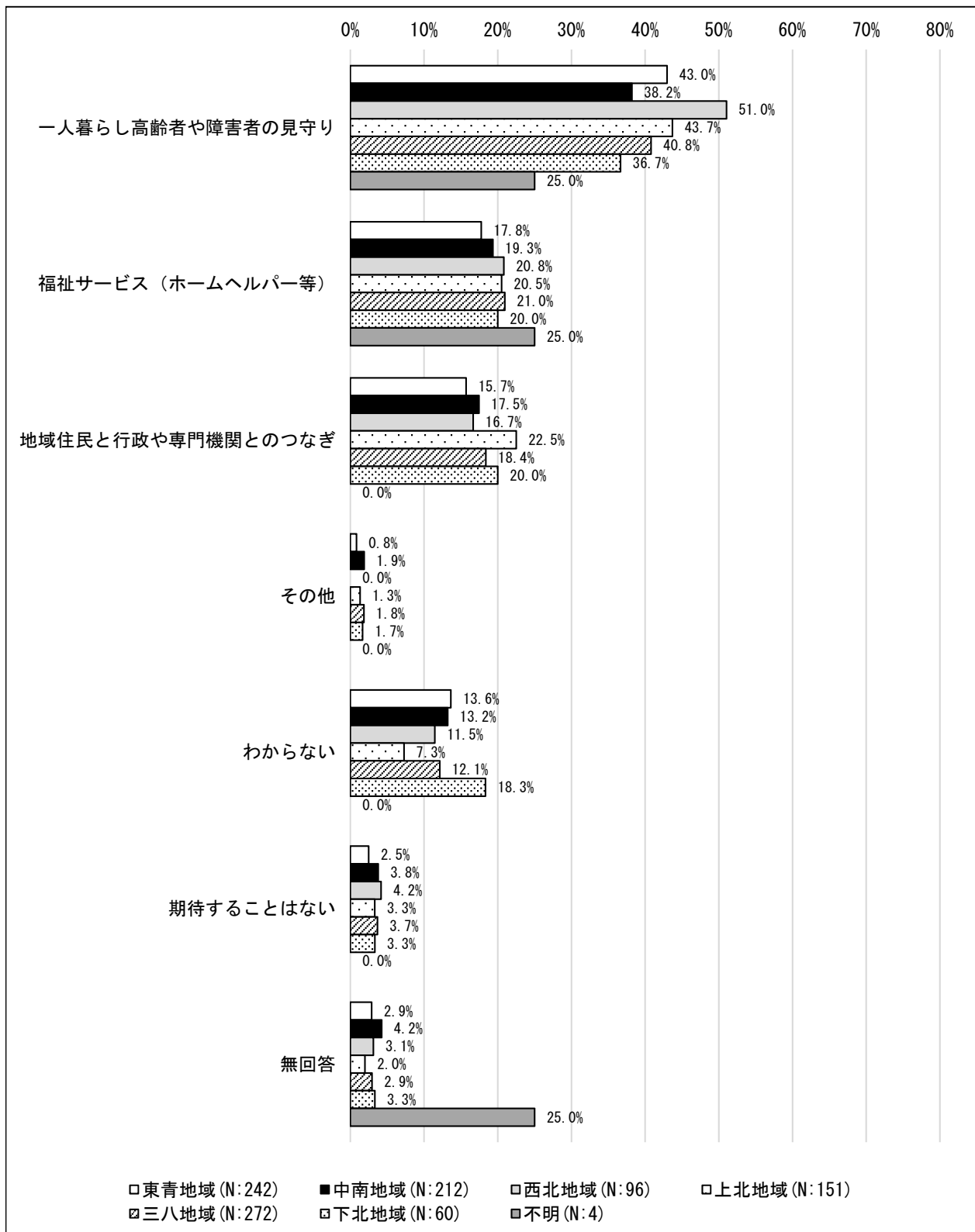




全ての年代で「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が最も大きく、次いで「福祉に関する相談の充実」の順となっている。

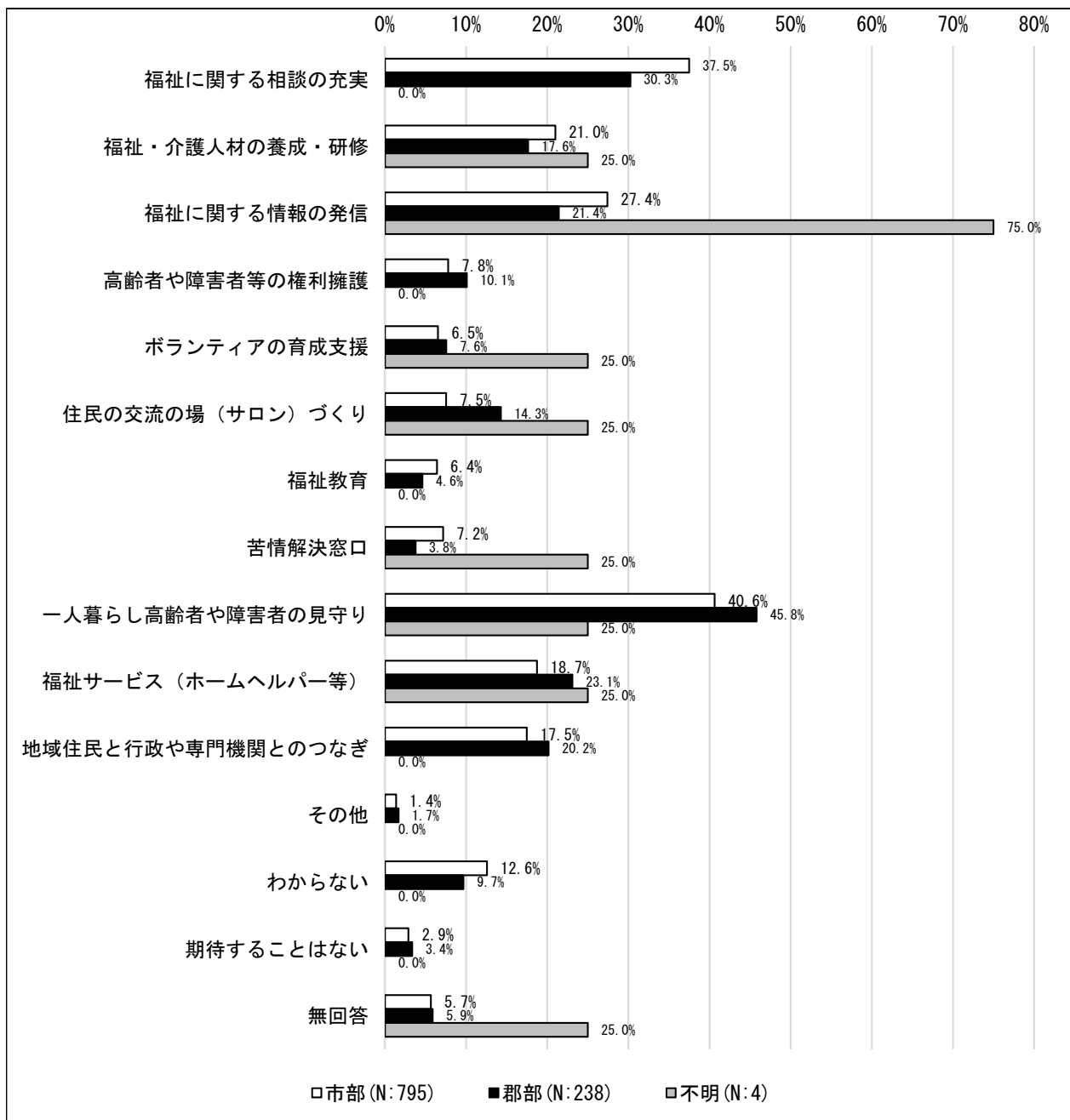
【地域別】





「下北地域」は、「福祉に関する相談の充実」、「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」が同率で最も大きく、他の地域は「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」、「福祉に関する相談の充実」の順となっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「一人暮らし高齢者や障害者の見守り」、「福祉に関する相談の充実」の順に大きく、次いで「市部」は「福祉に関する情報の発信」、「郡部」は「福祉サービス(ホームヘルパー等)」となっている。

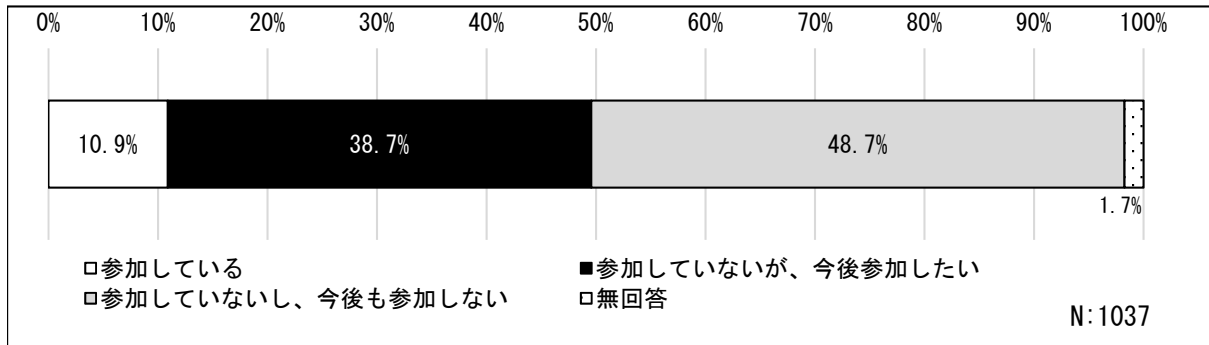
【自由回答より】

- ・ どんな場所かの情報提供。
- ・ 高齢者や障害者への具体的な支援・既存のサービスでは担うことのできない支援。
- ・ 福祉なんでも屋。役場に相談してもたらい回しで、結局、社会福祉協議会が解決に導いてくれる。

<7> ボランティア活動について

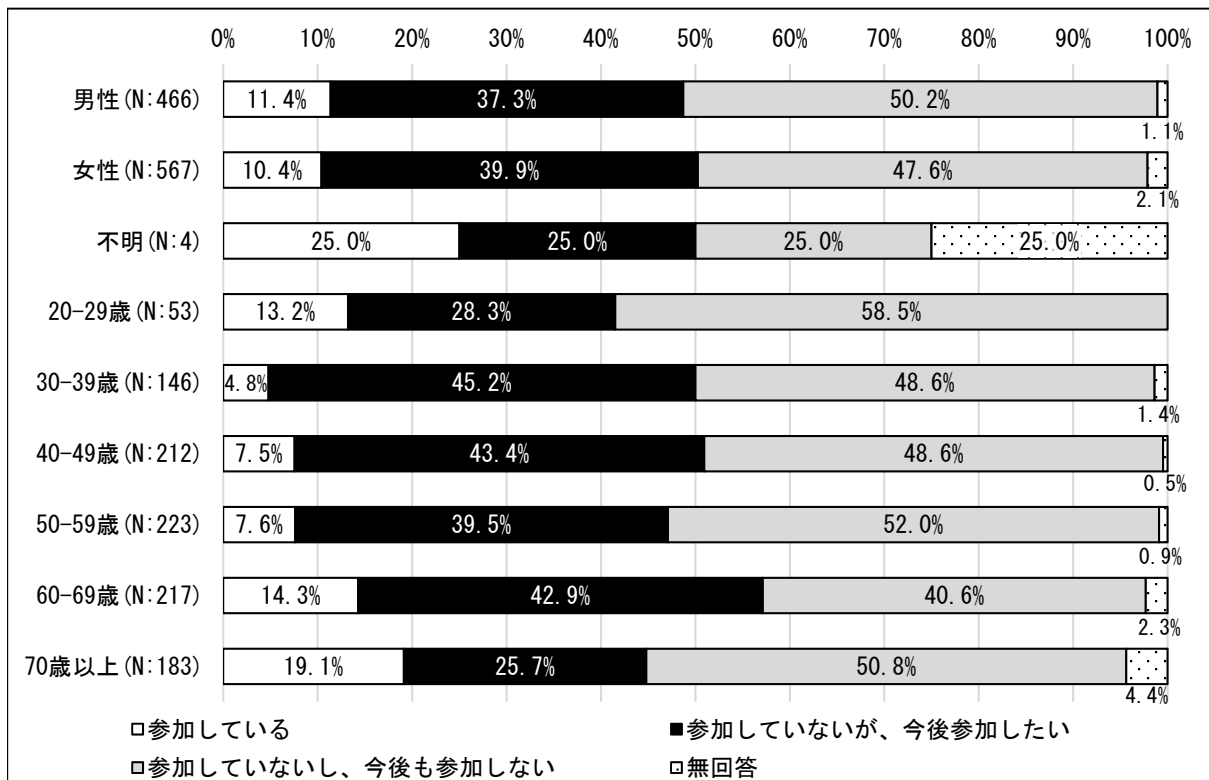
問 26. ボランティアへ参加していますか。(1つ)

・ ボランティアへの参加



「参加している」が11%、「参加していないが、今後参加したい」が39%、「参加していないし、今後も参加しない」が49%となっている。

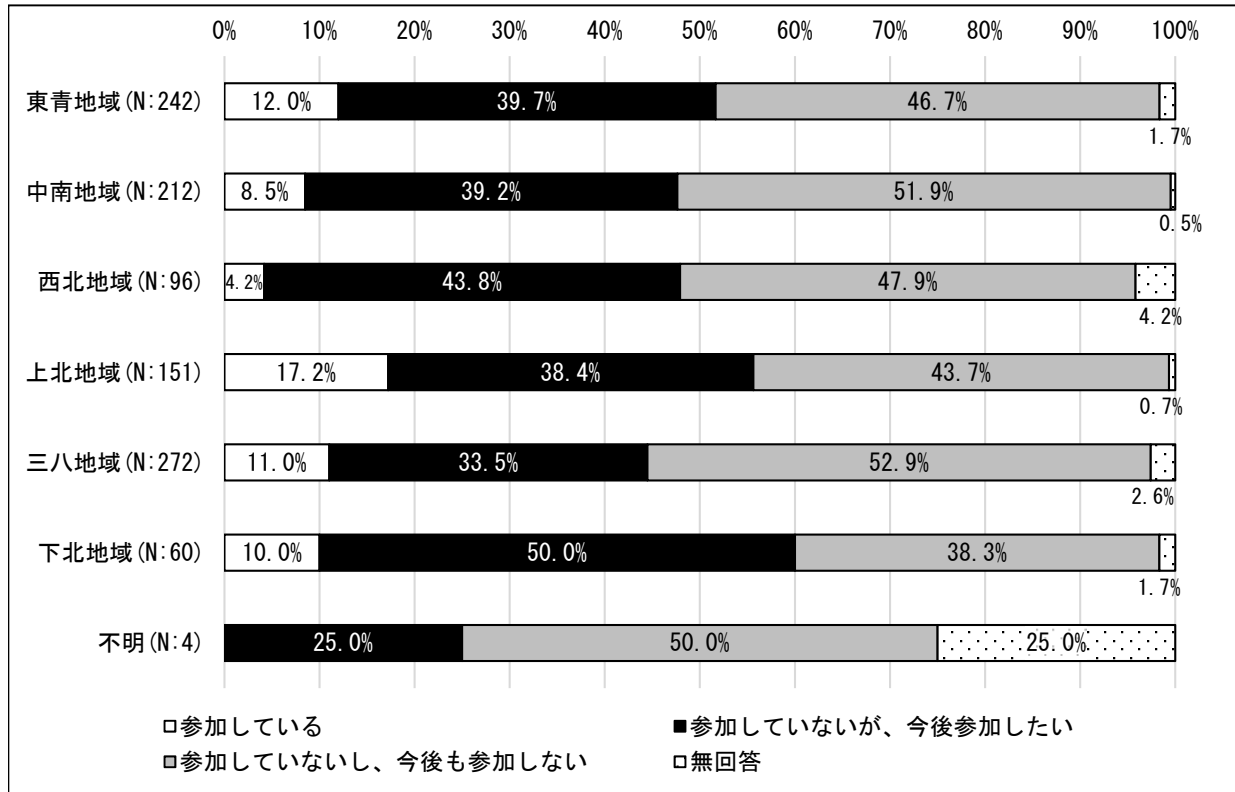
【男女別・年代別】



男女ともに、「参加していないし、今後も参加しない」が最も大きく、更に男性は「参加している」、「参加していないが、今後参加したい」の合計を上回っている。

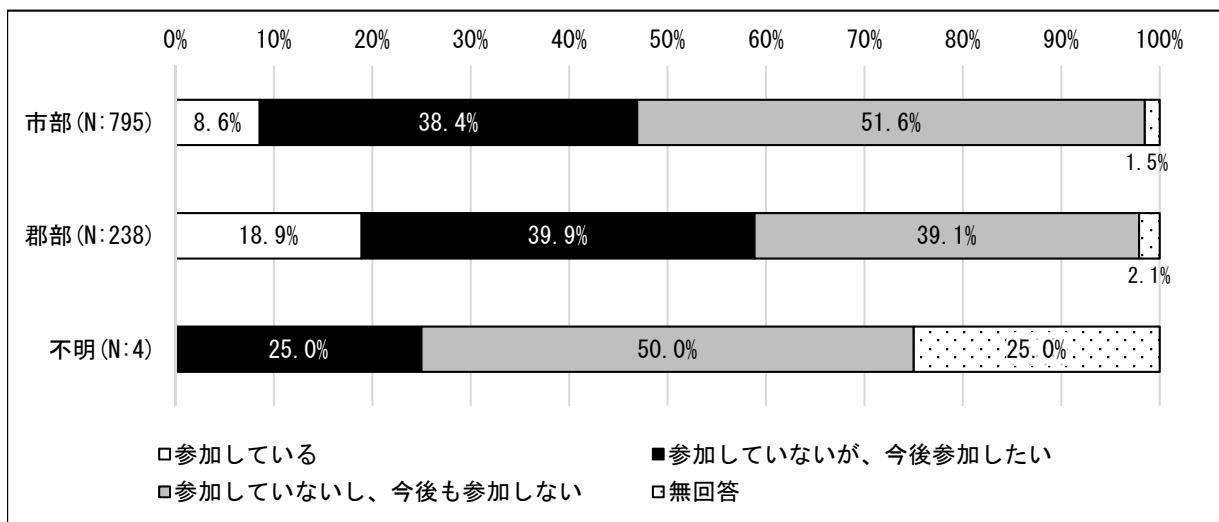
年代別に「参加している」、「参加していないが、今後参加したい」の合計と「参加していないし、今後も参加しない」を比較すると、「30代」、「40代」、「60代」は前者が、反対に「20代」、「50代」、「70歳以上」は後者がそれぞれ大きくなっている。

【地域別】



「参加している」、「参加していないが、参加したい」の合計と「参加していないし、今後も参加しない」を比較すると、「東青地域」、「西北地域」、「上北地域」、「下北地域」は前者が、「中南地域」、「三八地域」は後者がそれぞれ大きくなっている。

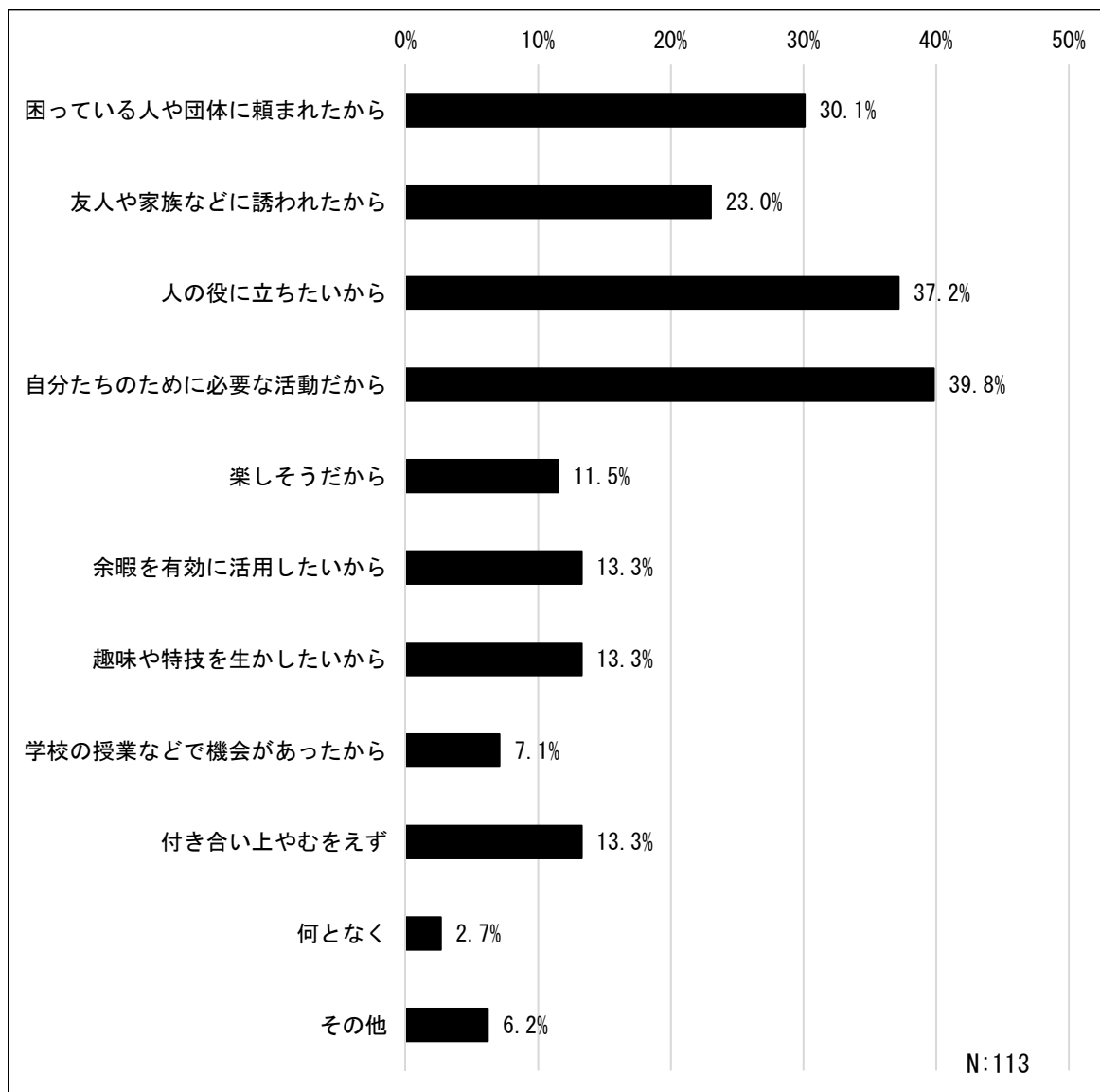
【市部・郡部別】



「参加している」、「参加していないが、参加したい」の合計と「参加していないし、今後も参加しない」を比較すると、「市部」は後者、「郡部」は前者がそれぞれ大きくなっている。

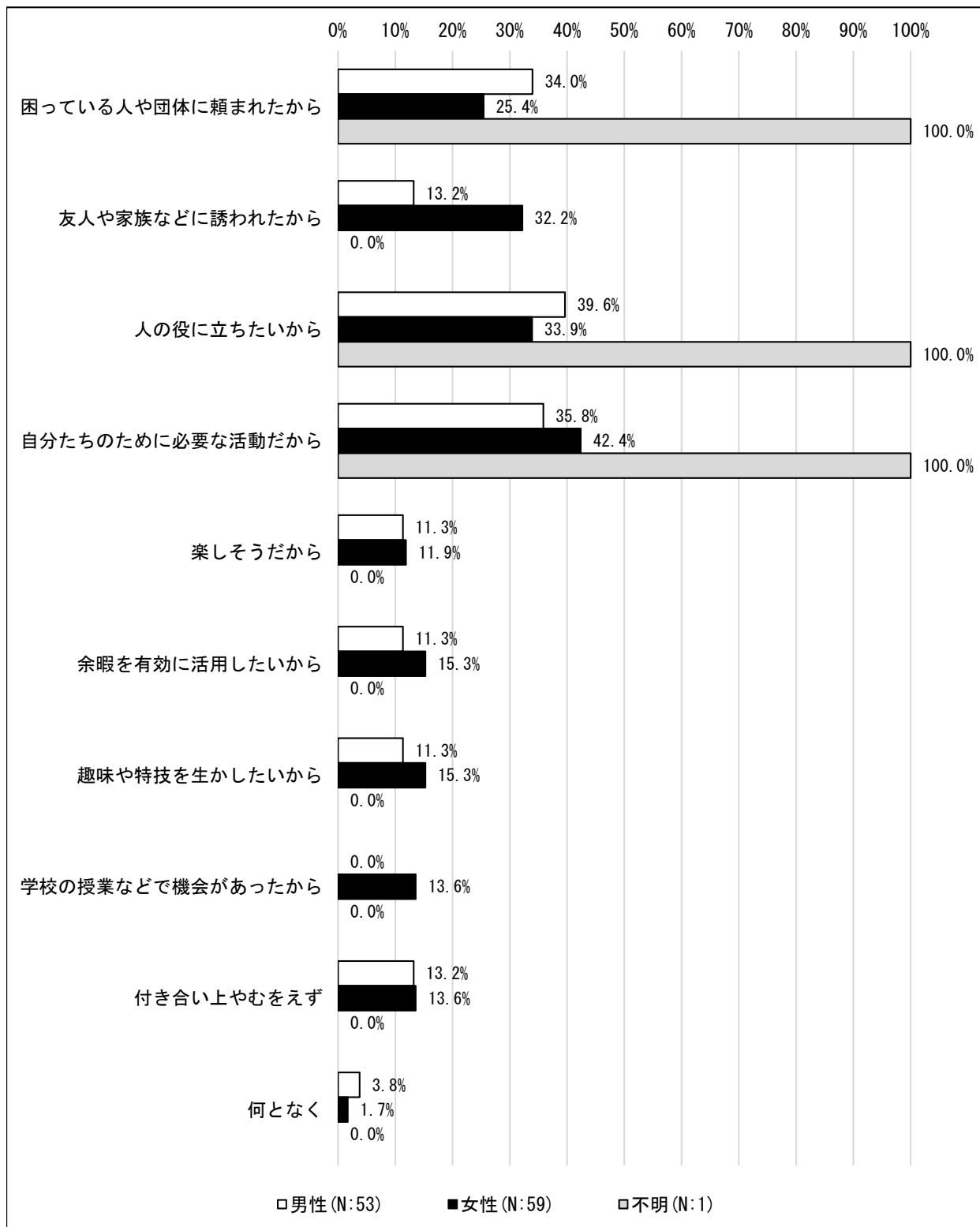
問 26-1. 問 26 で「参加している」を選んだ方にお聞きします。参加したきっかけは何ですか。
(3つまで)

・ ボランティアへの参加



「自分たちのために必要な活動だから」が40%、「人の役に立ちたいから」が37%、「困っている人や団体に頼まれたから」が30%となっている。

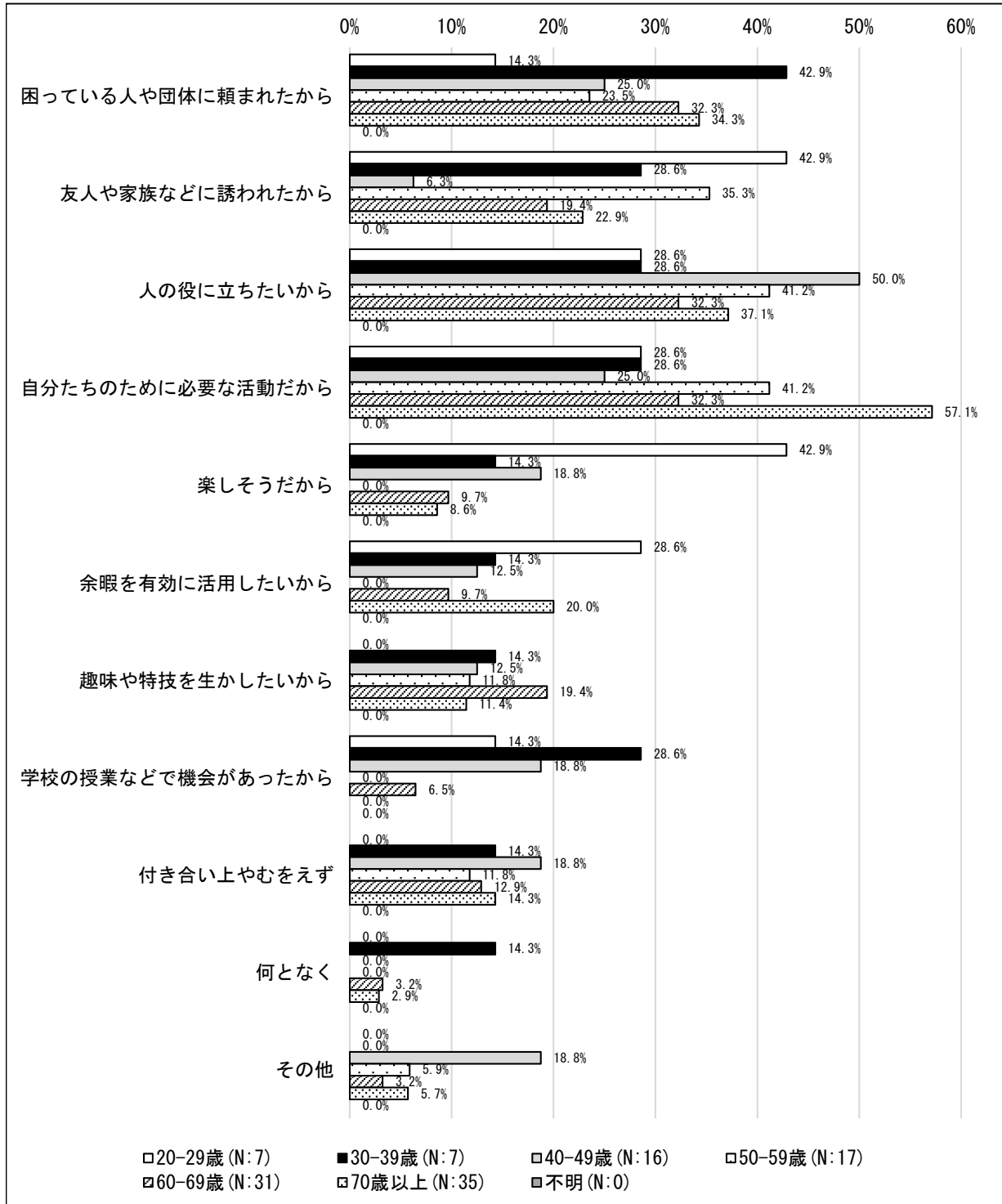
【男女別】



男性は「人の役に立ちたいから」が最も大きく、次いで、「自分たちのために必要な活動だから」、「困っている人や団体に頼まれたから」の順となっている。

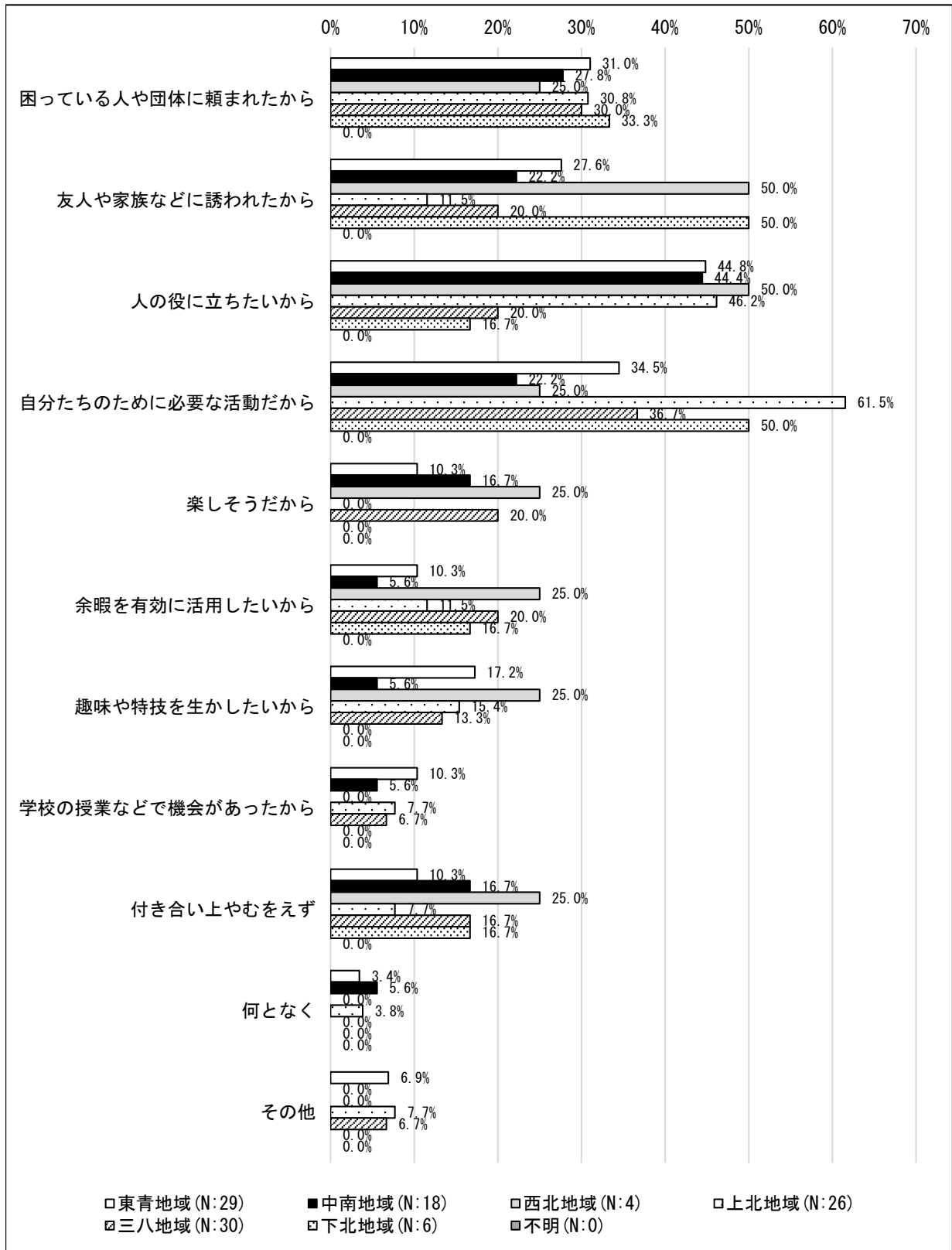
女性は「自分たちのために必要な活動だから」が最も大きく、次いで、「人の役に立ちたいから」、「友人や家族などに誘われたから」の順となっている。

【年代別】



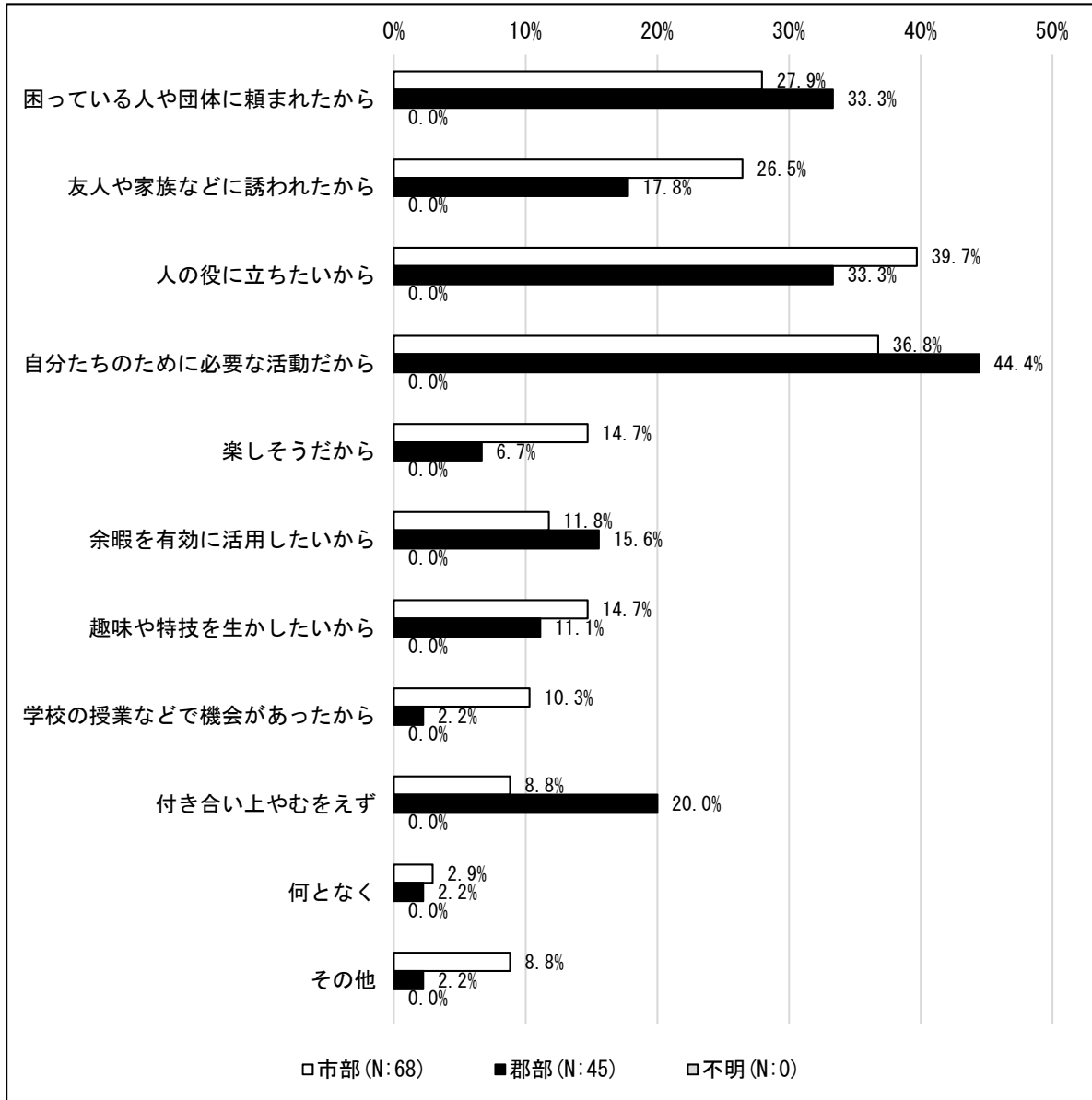
「30代」は「困っている人や団体に頼まれたから」が、「40代」は「人の役に立ちたいから」が、「70歳以上」は「自分たちのために必要な活動だから」が最も大きくなっている。「20代」は「友人や家族などに誘われたから」、「楽しそうだから」が、「50代」は「人の役に立ちたいから」、「自分たちのために必要な活動だから」が、「60代」は「困っている人や団体に頼まれたから」、「人の役に立ちたいから」、「自分たちのために必要な活動だから」がそれぞれ同率で最も大きくなっている。

【地域別】



「東青地域」、「中北地域」は「人の役に立ちたいから」が、「上北地域」、「三八地域」は「自分たちのために必要な活動だから」が最も大きくなっている。「西北地域」は「友人や家族などに誘われたから」、「人の役に立ちたいから」が、「下北地域」は「友人や家族などに誘われたから」、「自分たちのために必要な活動だから」が同率で最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



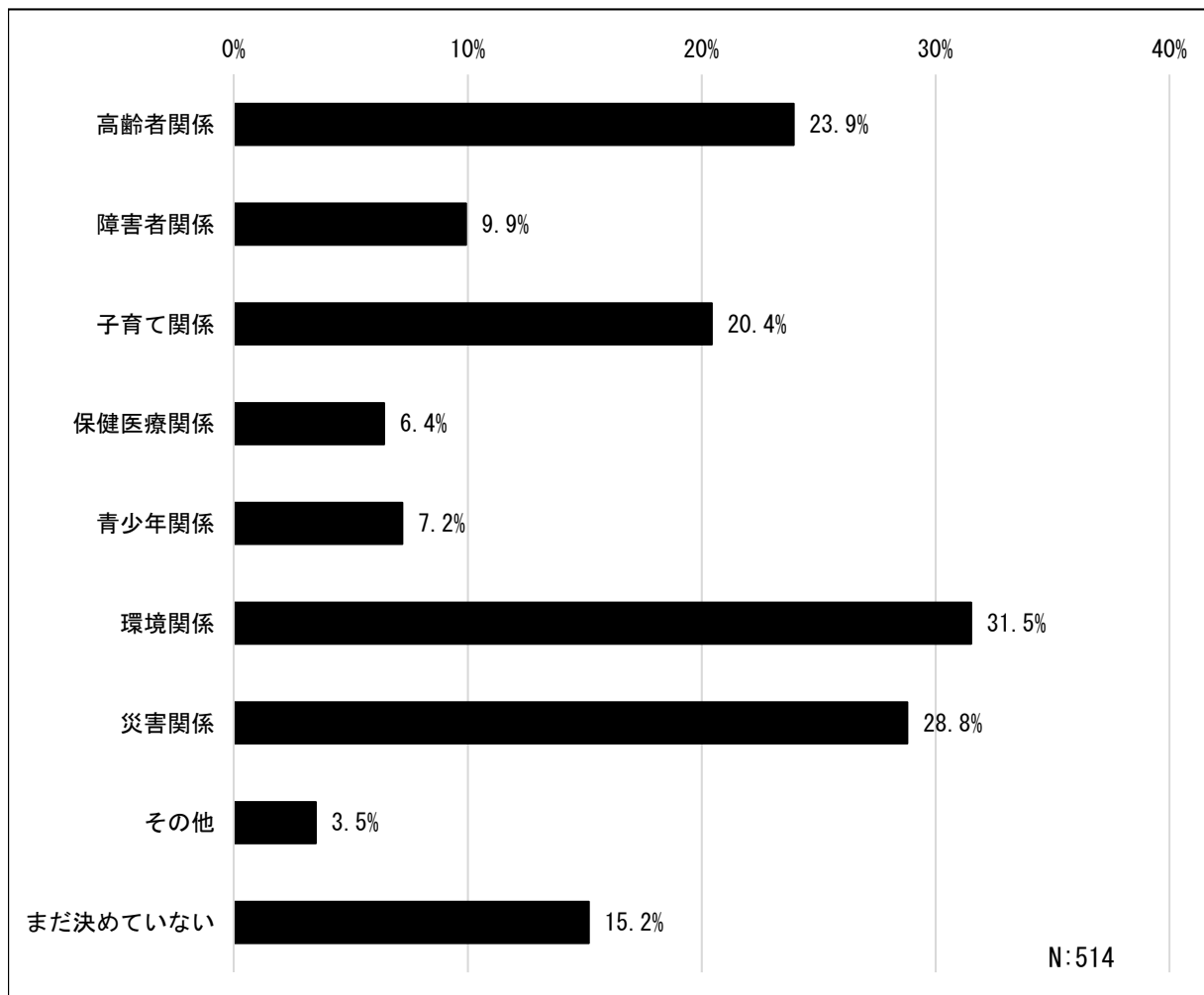
「市部」は「人の役に立ちたいから」、「自分たちのために必要な活動だから」、「困っている人や団体に頼まれたから」の順となっている。「郡部」は「自分たちのために必要な活動だから」が最も大きく、次いで「困っている人や団体に頼まれたから」、「人の役に立ちたいから」が同率となっている。

【自由回答より】

- ・学校の子どもたちの手伝いがしたかった。興味があったから。
- ・老人クラブの先輩たちが実践してきたのを見てきたから。
- ・消防団に入団した。東日本大震災をきっかけに家族を守るため応募した。

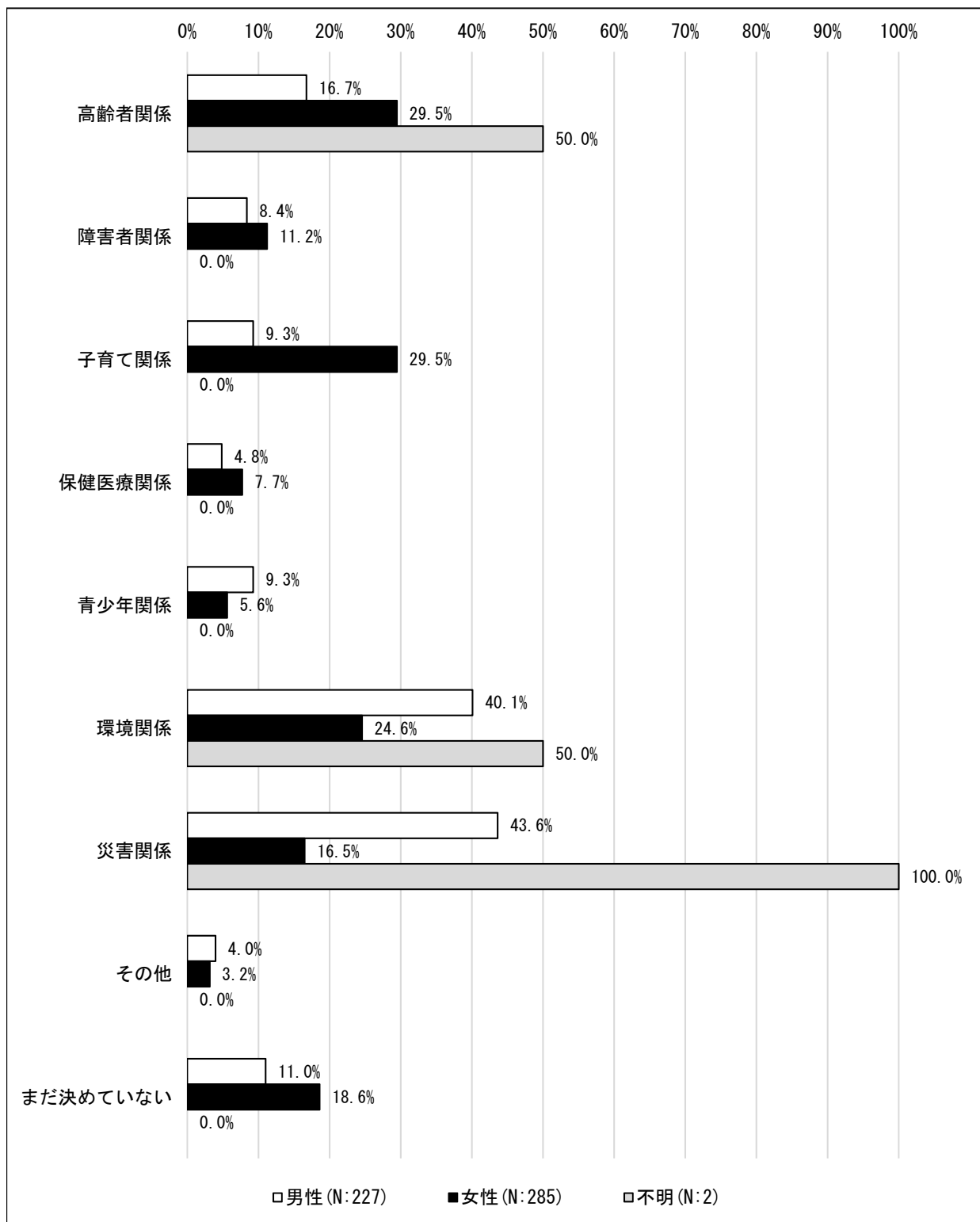
問 26-2. 問 26 で「参加している」、「参加していないが、今後参加したい」を選んだ方にお聞きします。どのような分野のボランティアに参加していますか。あるいは今後参加したいですか。（2つまで）

・ ボランティアへの参加、または今後の参加



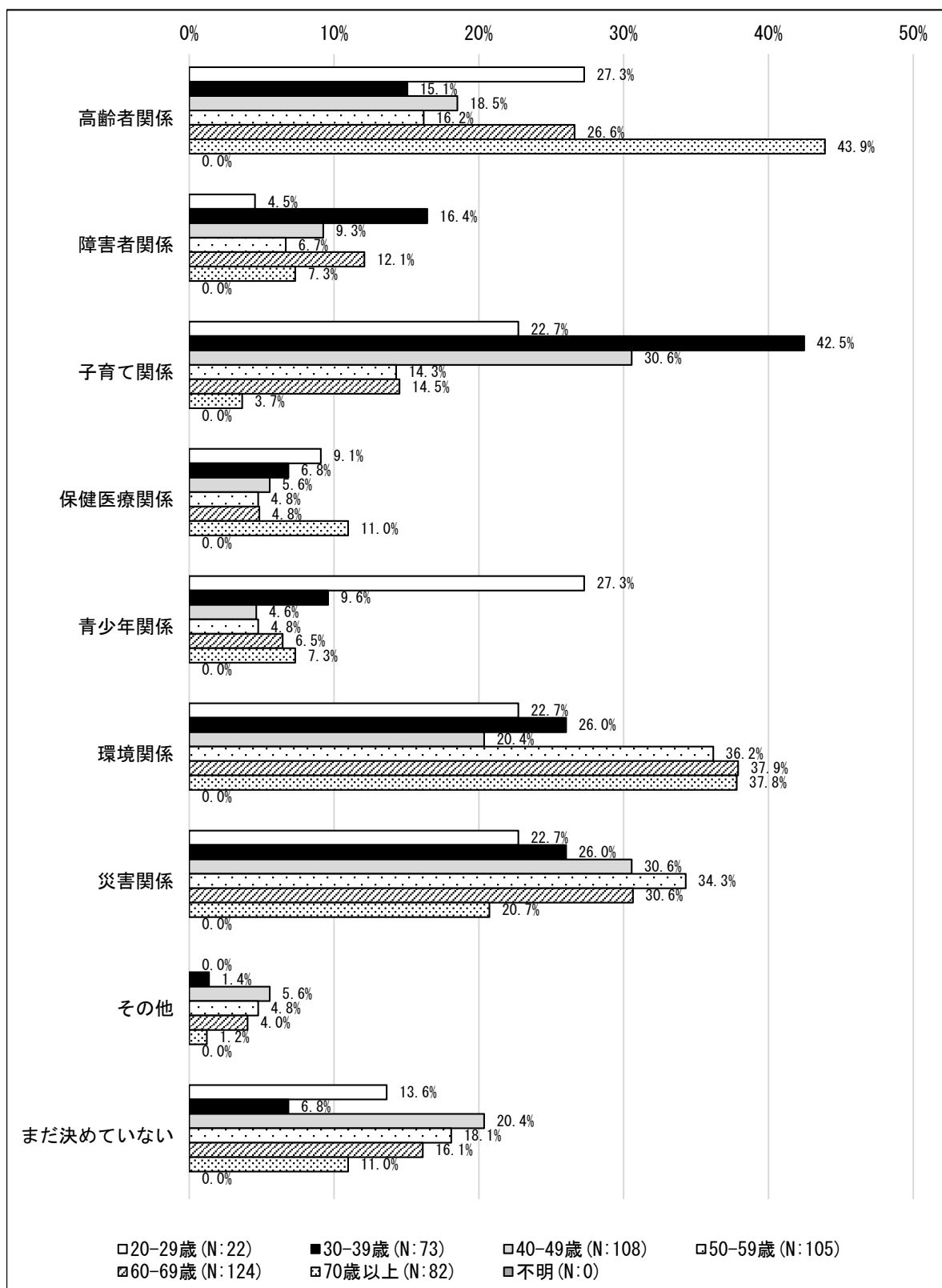
「環境関係」が最も大きく、次いで「災害関係」、「高齢者関係」、「子育て関係」の順となっている。

【男女別】



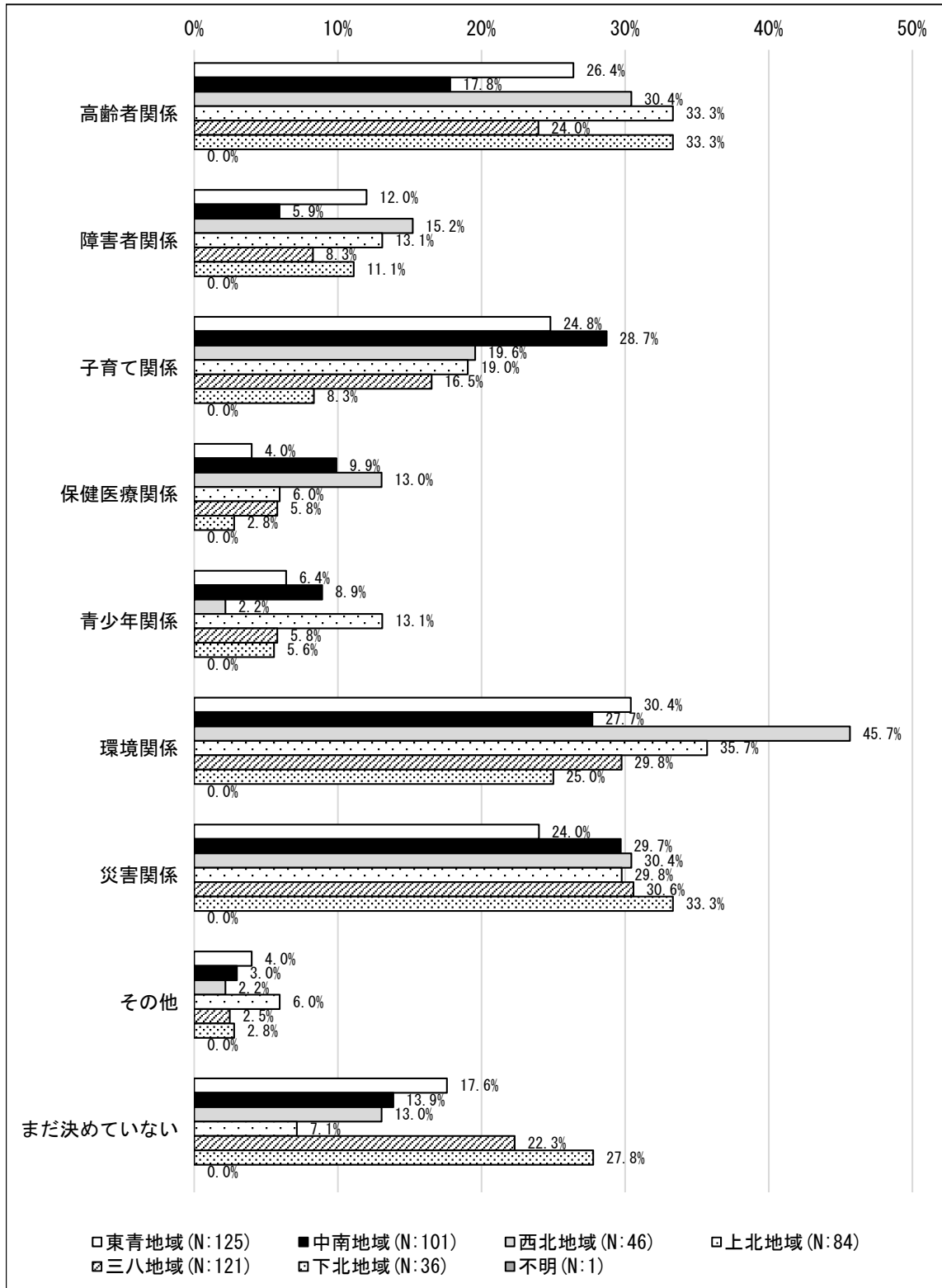
男性は、「災害関係」が最も大きく、次いで「環境関係」、「高齢者関係」の順となっている。女性は、「高齢者関係」と「子育て関係」が同率で最も大きく、次いで、「環境関係」の順となっている。

【年代別】



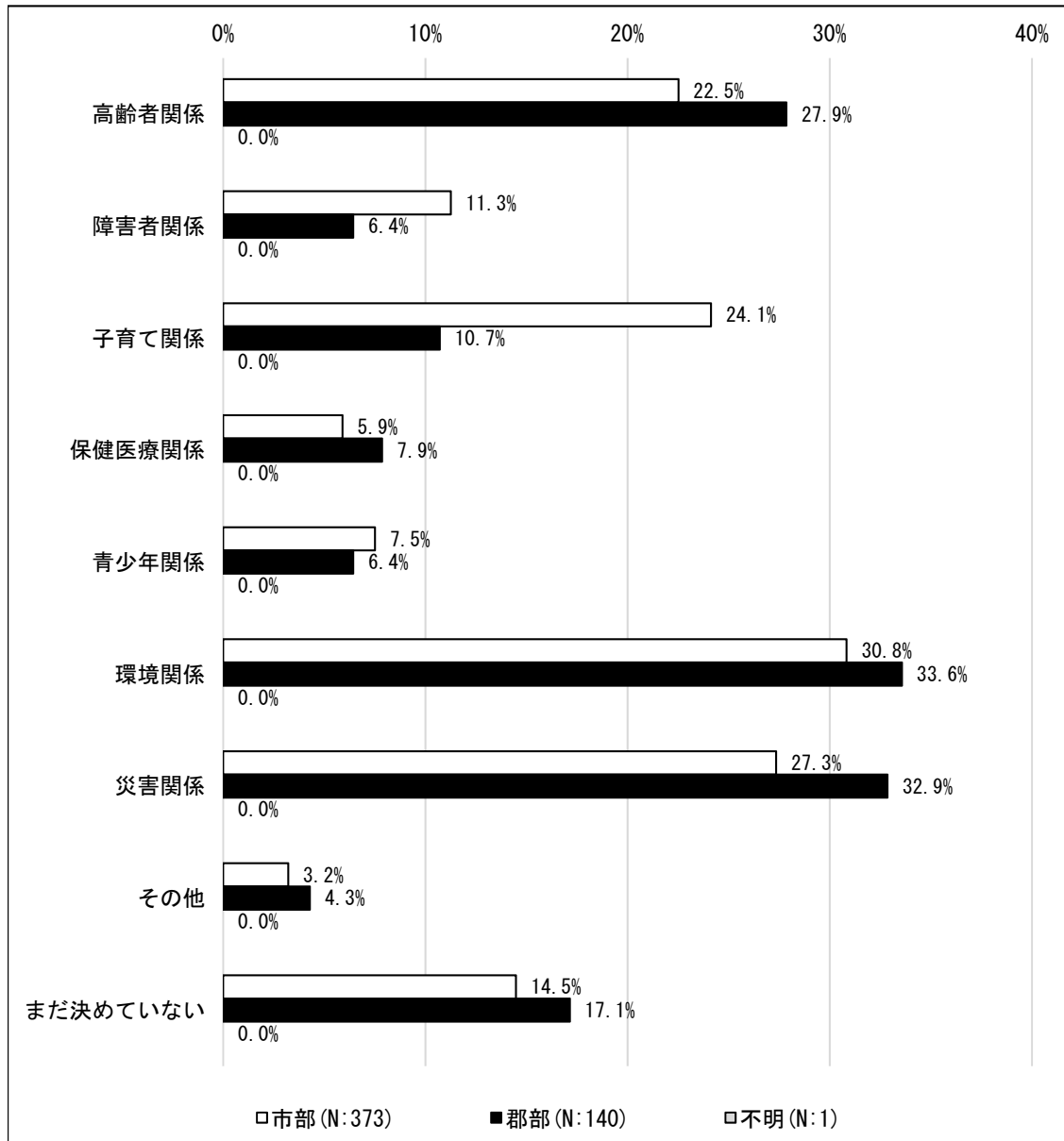
「30代」は「子育て関係」が、「50代」、「60代」は「環境関係」の割合が、「70歳以上」は「高齢者関係」が、それぞれ最も大きくなっている。「20代」は「高齢者関係」、「青少年関係」が、「40代」は「子育て関係」、「災害関係」が、それぞれ同率で最も大きくなっている。

【地域別】



「東青地域」、「西北地域」、「上北地域」は「環境関係」が、「中南地域」、「三八地域」は「災害関係」が最も大きくなっている。「下北地域」は「高齢者関係」、「災害関係」が同率で最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



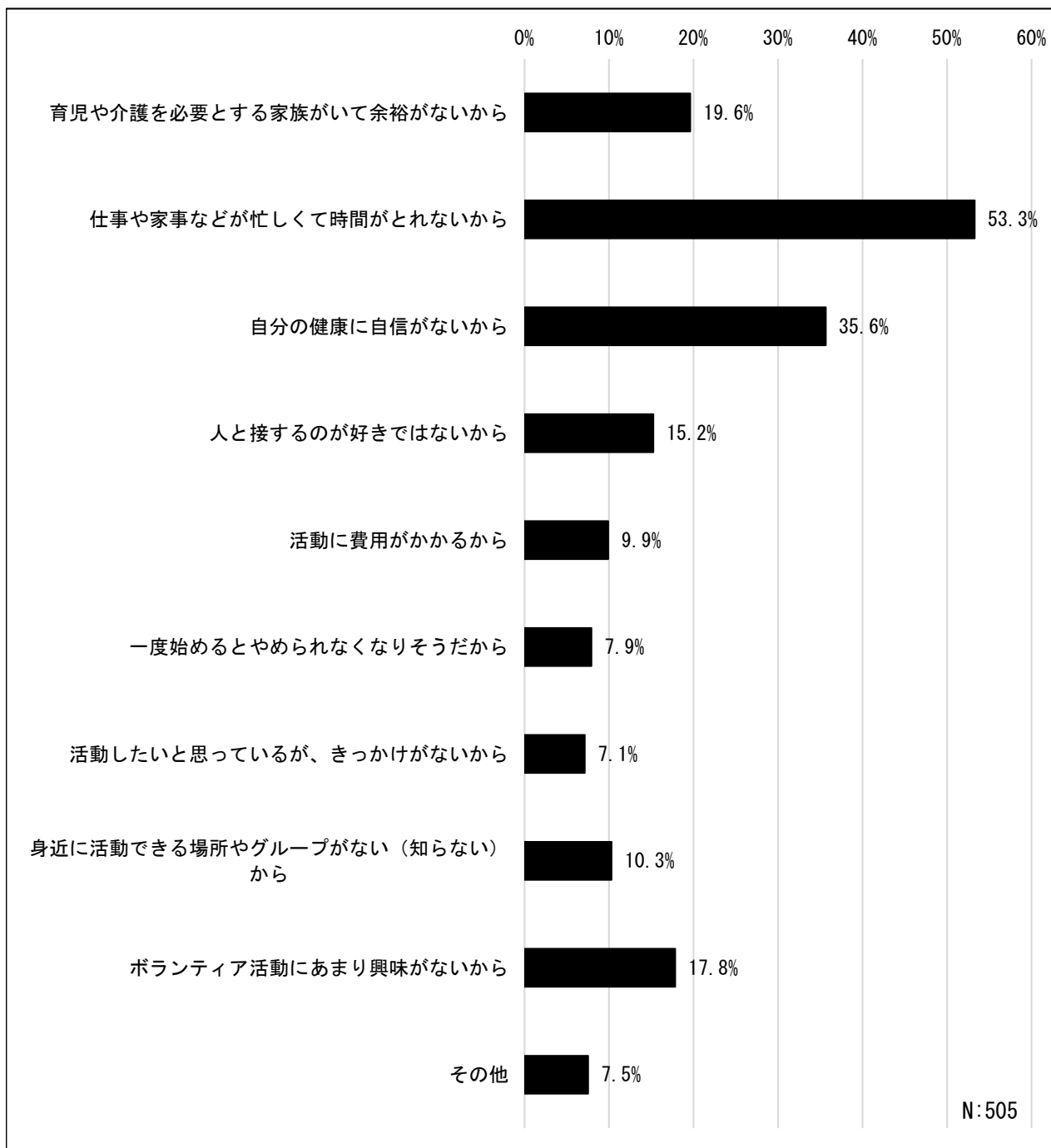
「市部」、「郡部」とともに、「環境関係」、「災害関係」の順で大きく、次いで「市部」は「子育て関係」、「郡部」は「高齢者関係」の順となっている。

【自由回答より】

- ・ねぶた囃子。
- ・学校ボランティア。
- ・人権擁護委員。
- ・更生保護関係。

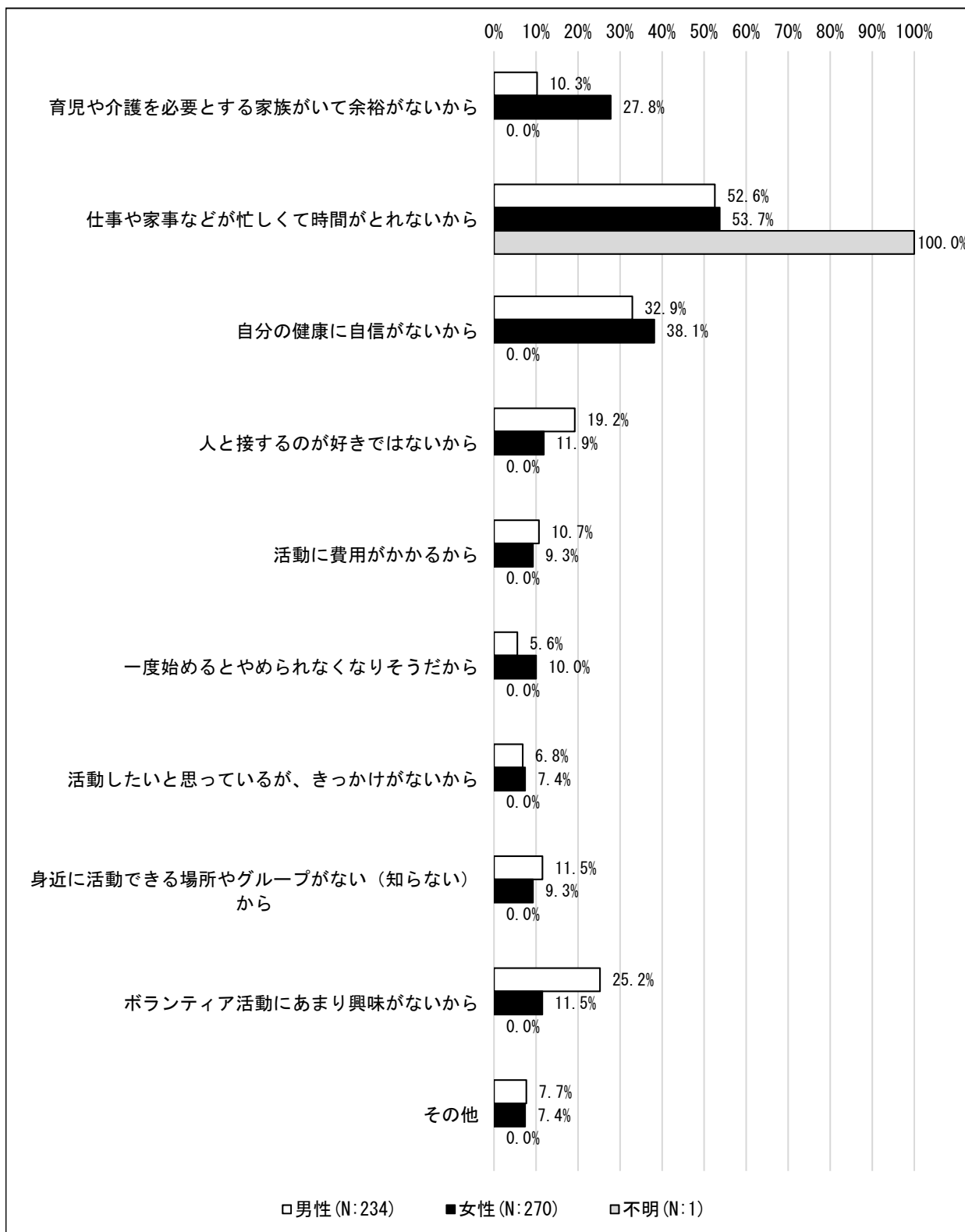
問 26-3. 問 26 で「参加していないし、今後も参加しない」を選んだ方にお聞きします。それはなぜですか。（3つまで。）

・ ボランティアに参加しない理由



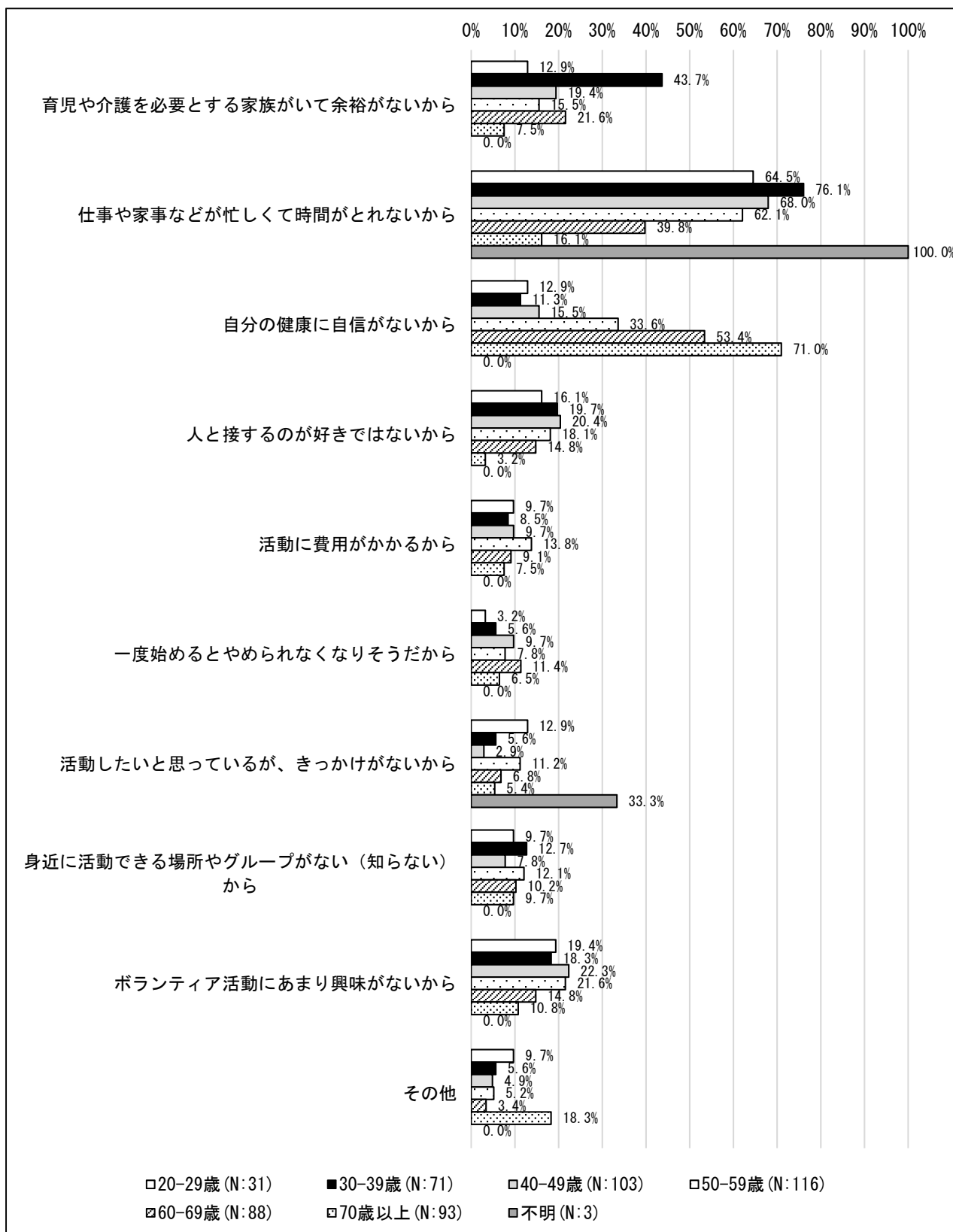
「仕事や家事などが忙しくて時間がとれないから」が53%、「自分の健康に自信がないから」が36%、「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」が20%となっている。

【男女別】



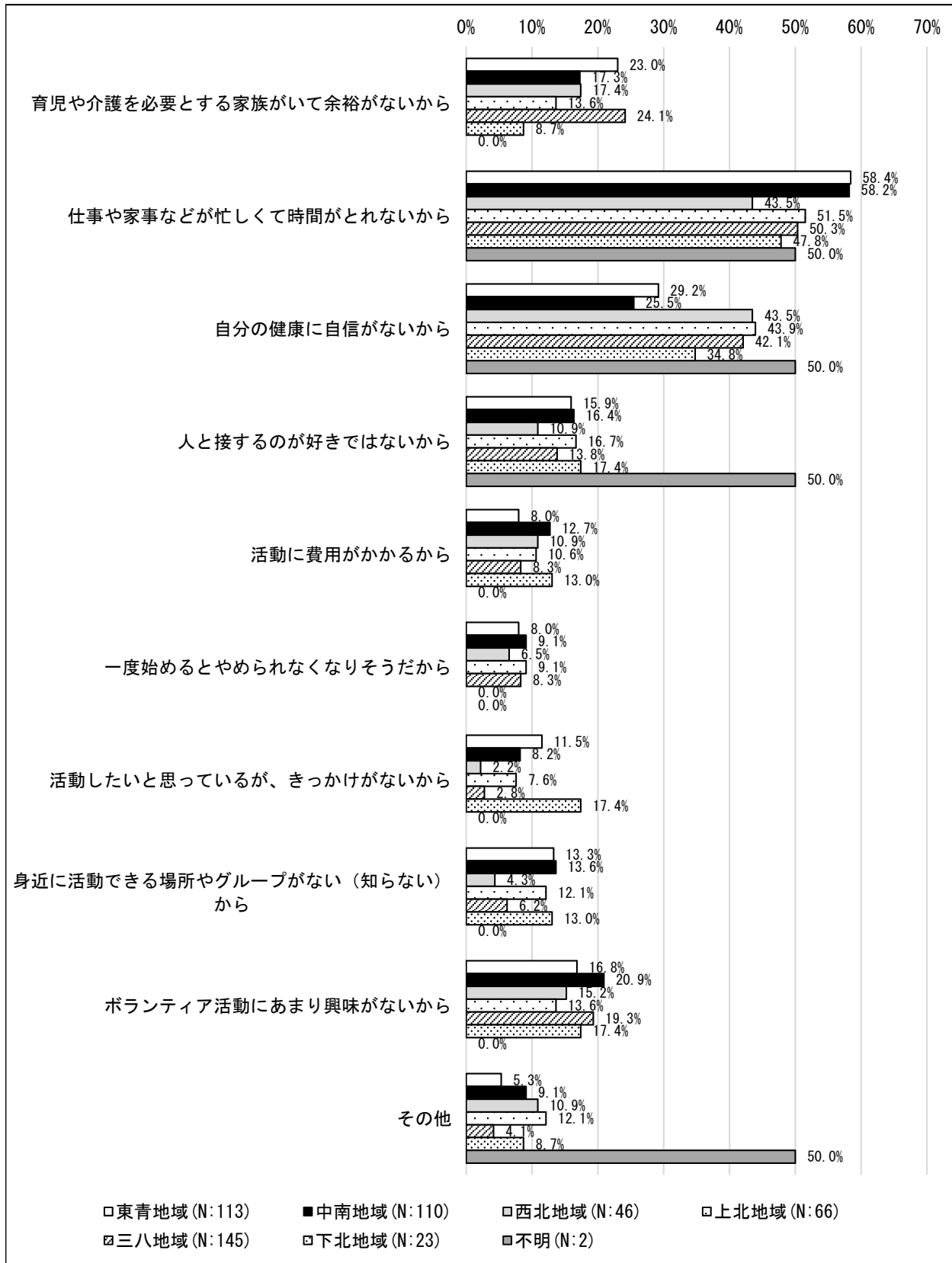
男女ともに「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」、「自分の健康に自信がないから」の順で大きく、次いで男性は「ボランティア活動にあまり興味がないから」、女性は「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」となっている。

【年代別】



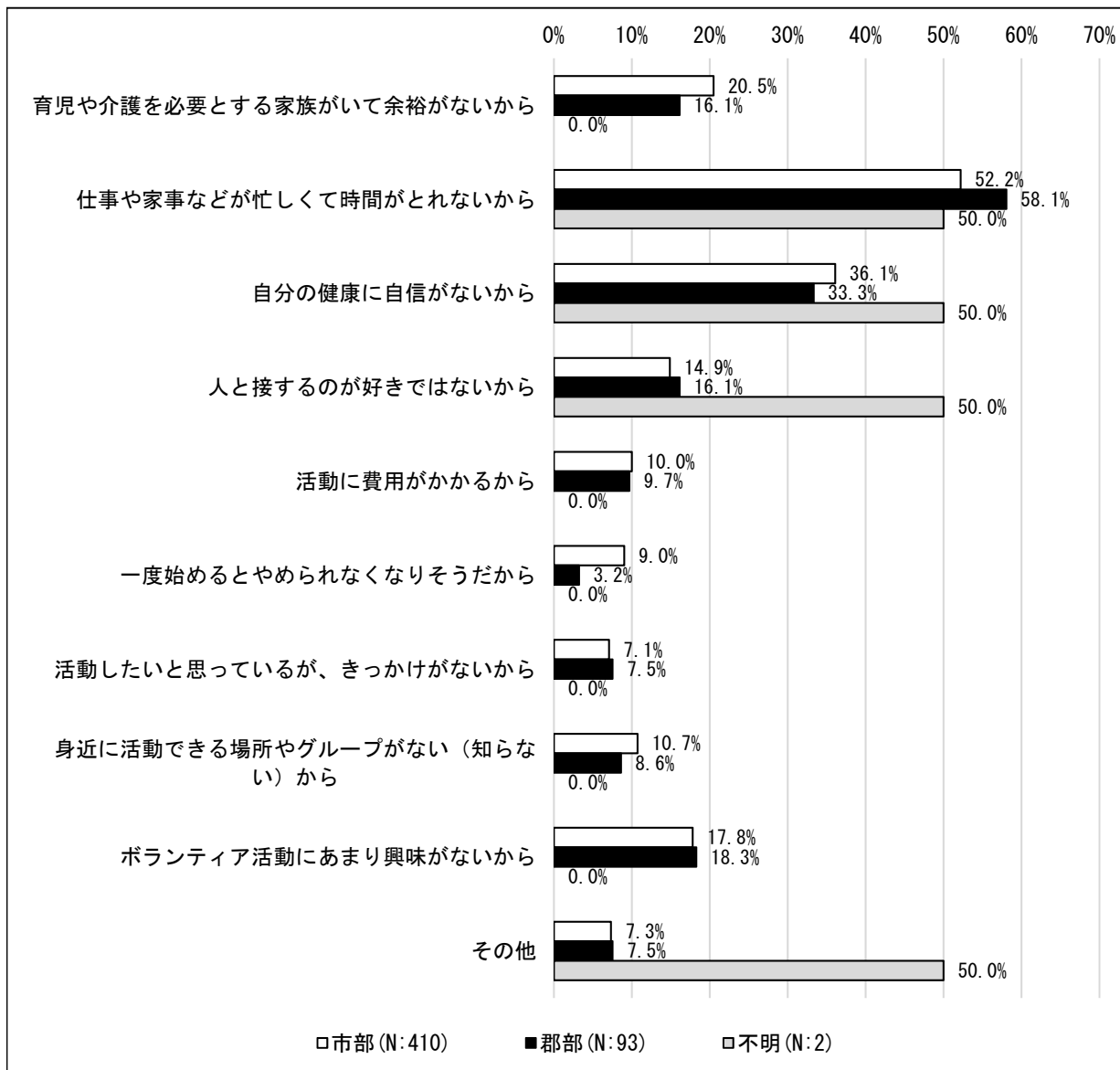
「50代」以下は「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」が、「60代」以上は「自分の健康に自信がないから」が、それぞれ最も大きくなっている。「30代」は「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」が、他年代より大きくなっている。

【地域別】



「西北地域」は「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」、「自分の健康に自信がないから」が同率で最も大きくなっている。他地域は「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」が最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



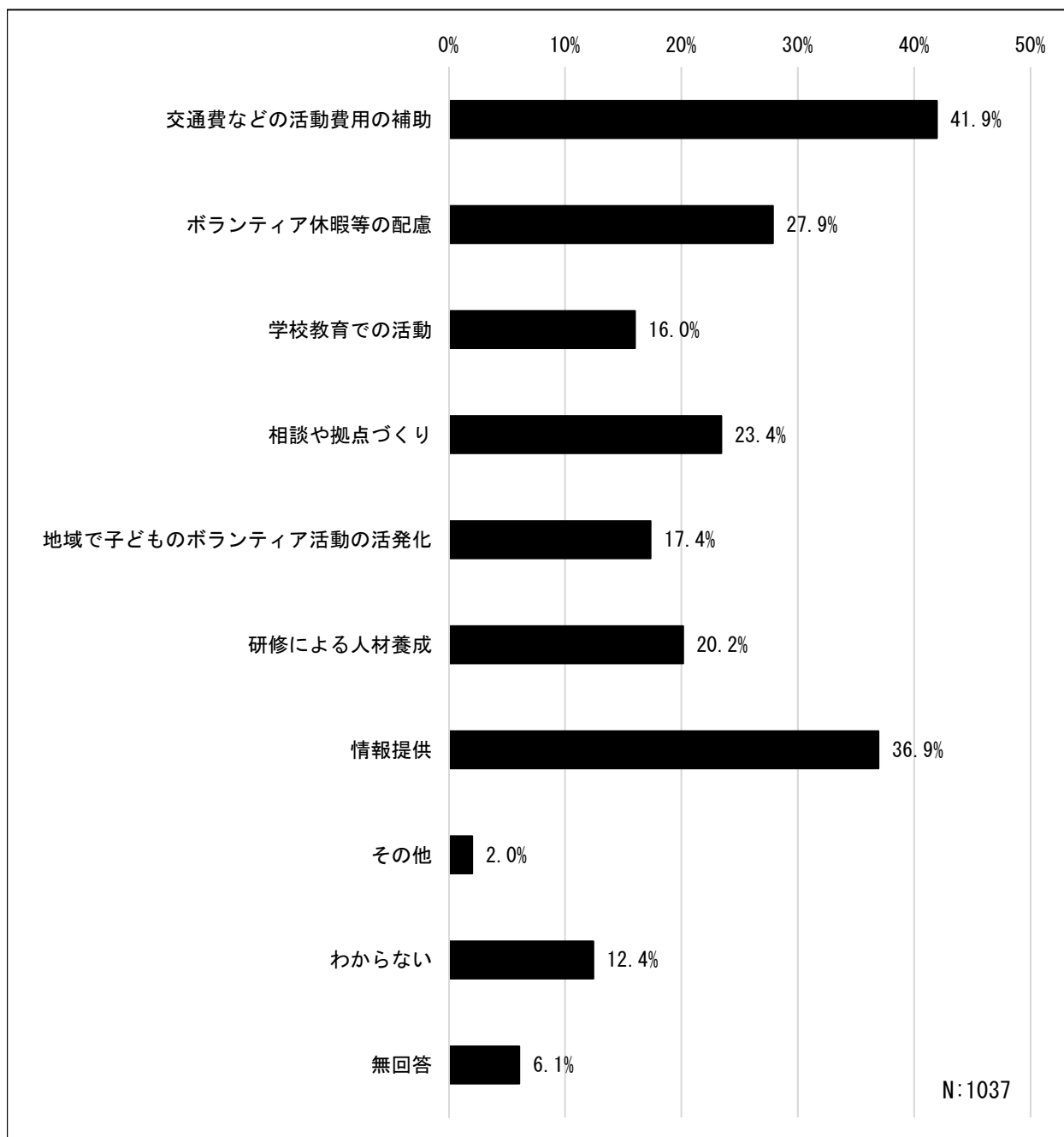
「市部」、「郡部」ともに「仕事や家事などが忙しくて時間が取れないから」、「自分の健康に自信がないから」の順で大きく、次いで「市部」は「育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから」、「郡部」は「ボランティア活動にあまり興味がないから」となっている。

【自由回答より】

- ・ボランティア活動の意味がわからない。
- ・活動の仕方が、よくわからないから。
- ・年をとっているから。

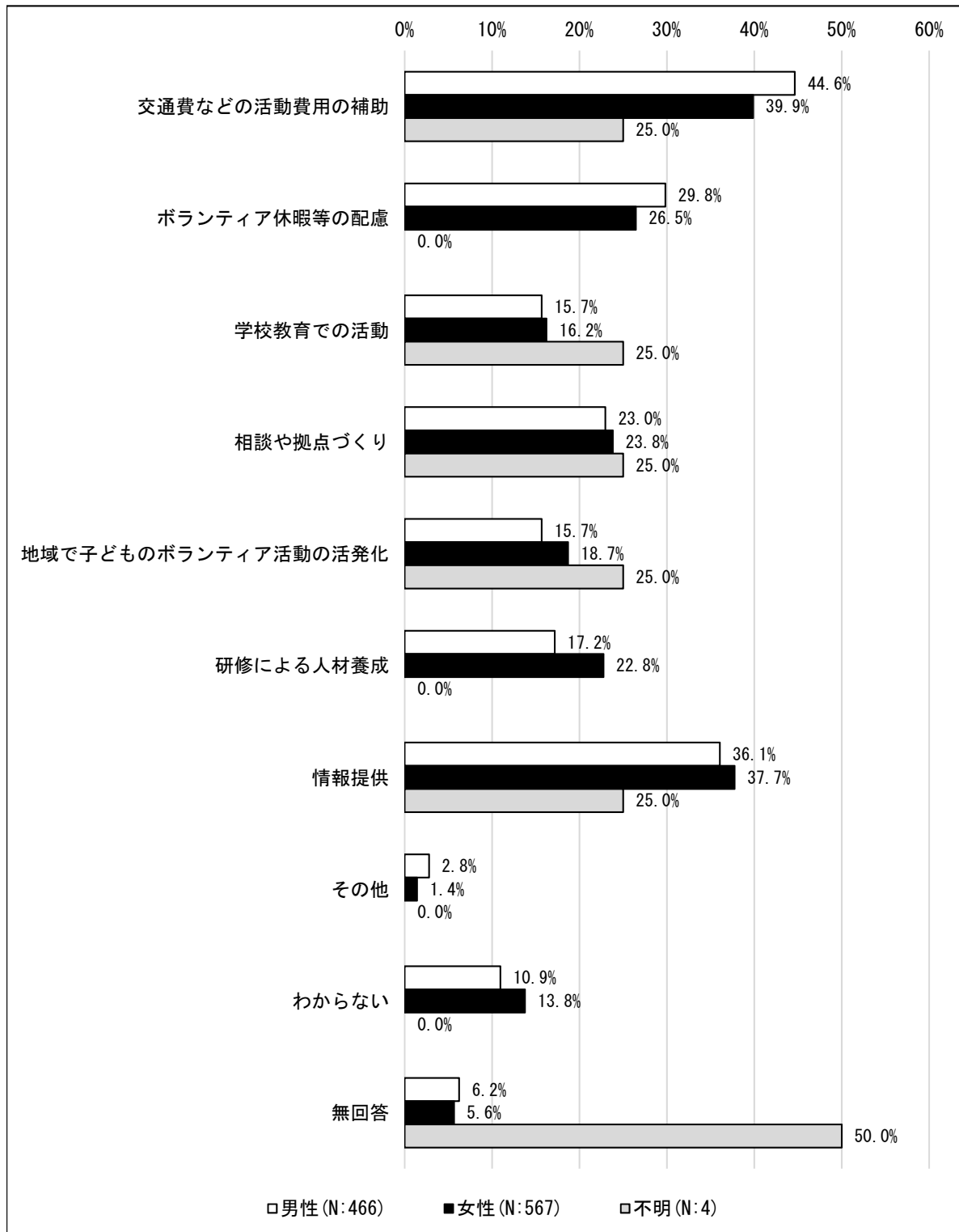
問 27. ボランティアに取り組むために必要なことを選んでください。（3つまで）

・ ボランティアへの取り組み



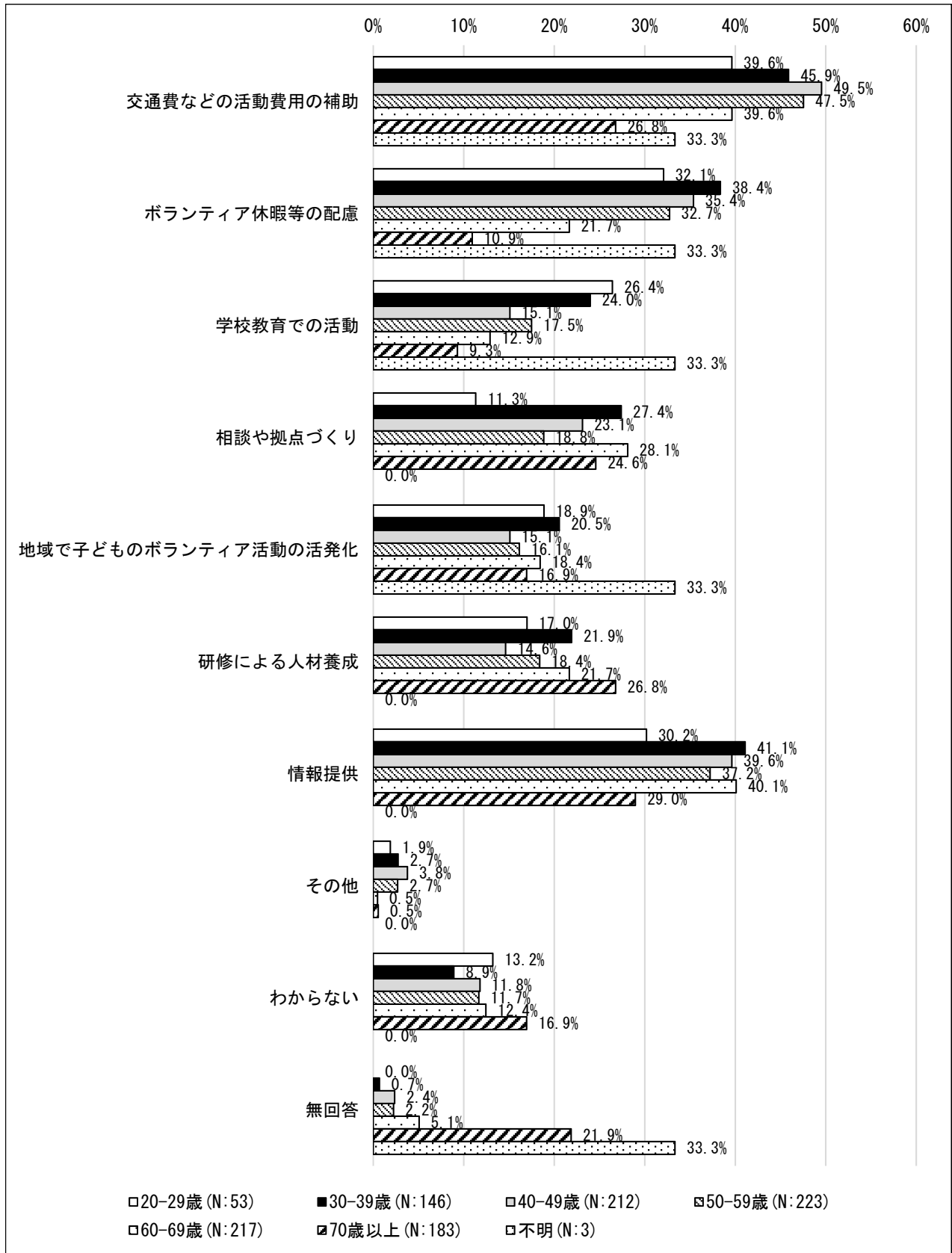
「交通費などの活動費用の補助」が42%、「情報提供」が37%、「ボランティア休暇等の配慮」が28%となっている。

【男女別】



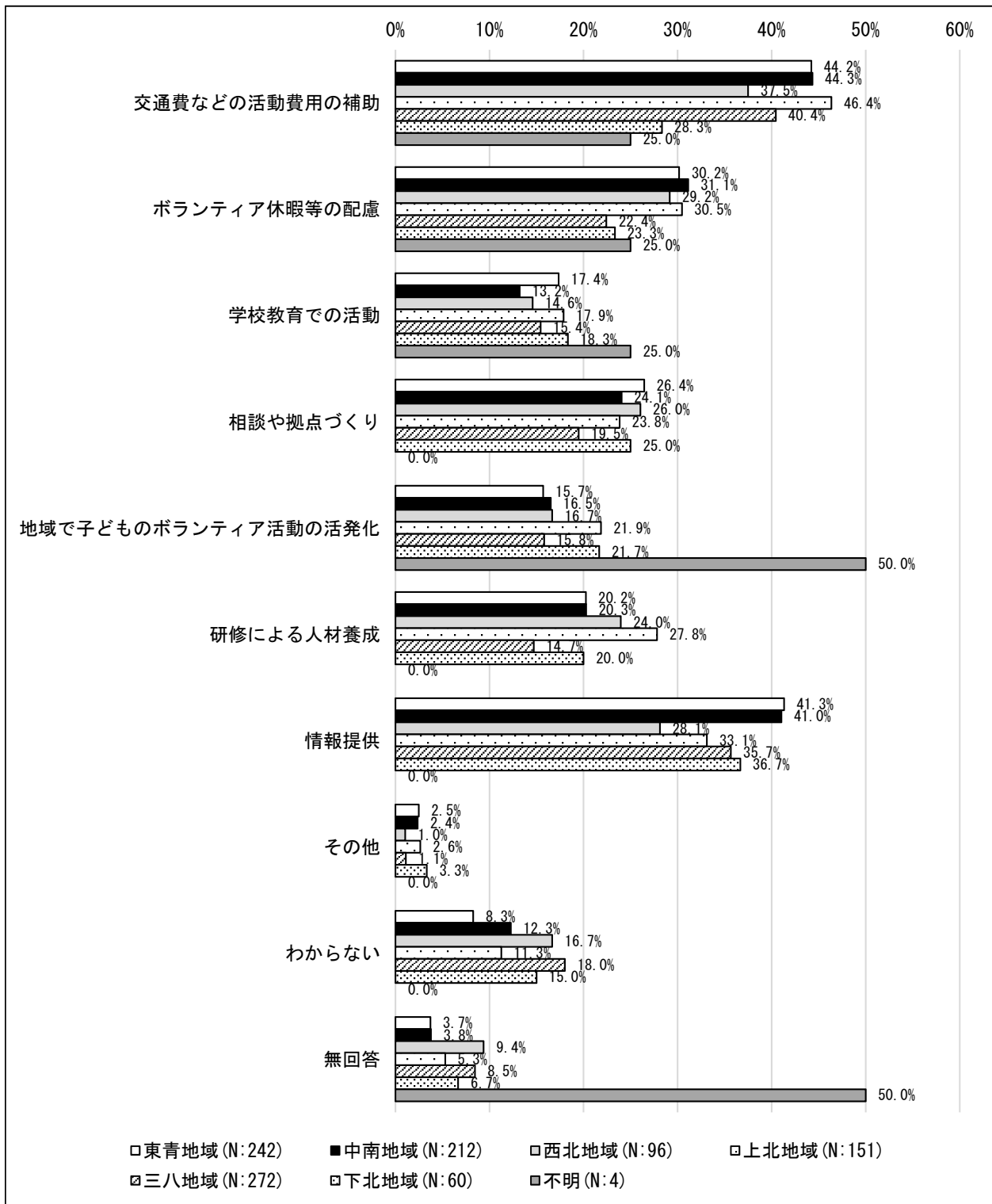
男女ともに「交通費などの活動費用の補助」、「情報提供」、「ボランティア休暇等の配慮」の順に大きくなっている。

【年代別】



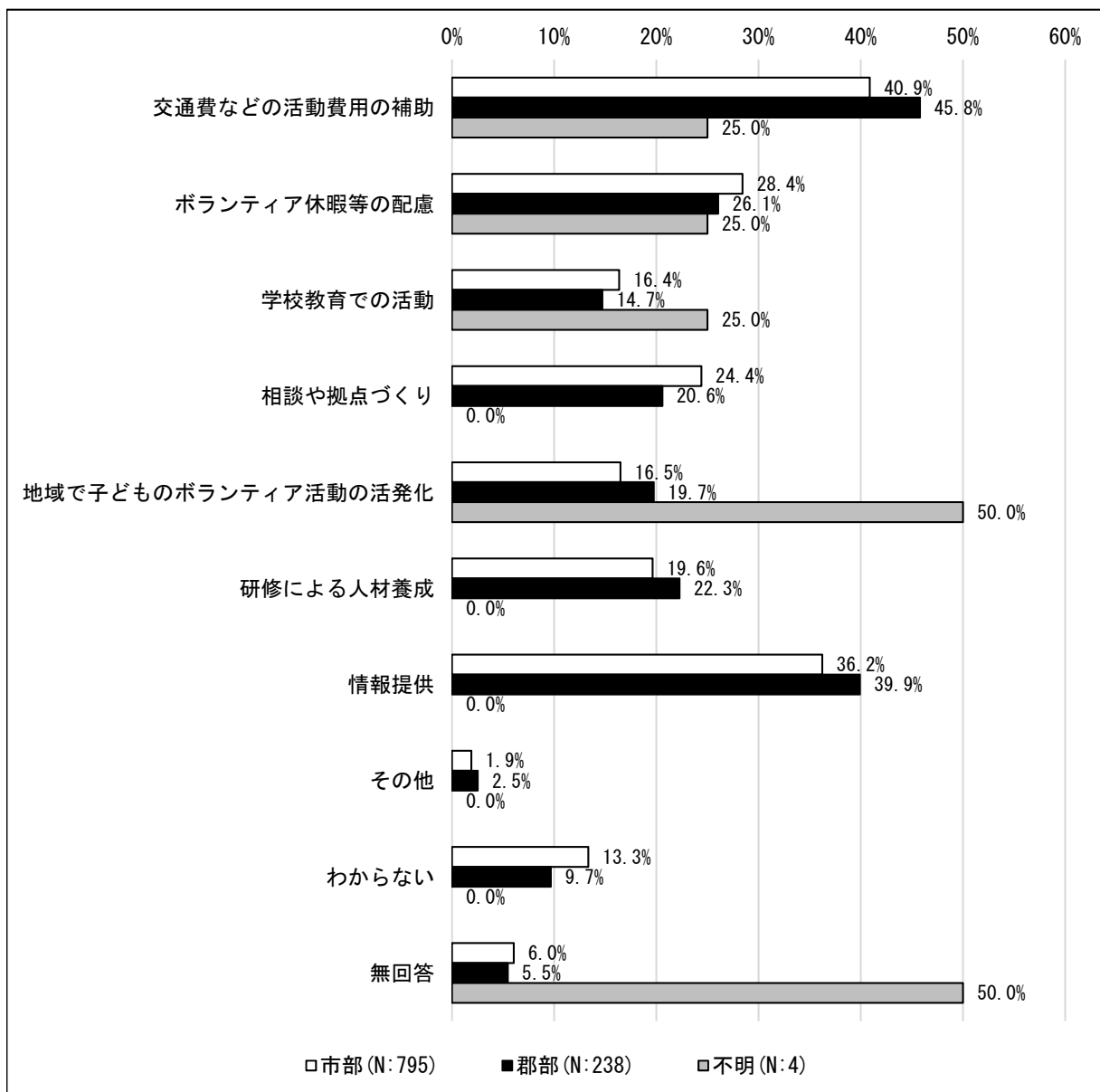
「50代」以下は「交通費などの活動費用の補助」が最も大きく、「60代」以上は「情報提供」が最も大きくなっている。

【地域別】



「下北地域」は「情報提供」、「交通費などの活動費用の補助」、「相談や拠点づくり」の順に、「西北地域」は「交通費などの活動費用の補助」、「ボランティア休暇等の配慮」、「情報提供」の順に、他地域は「交通費などの活動費用の補助」、「情報提供」、「ボランティア休暇等の配慮」の順に大きくなっている。

【市部・郡部別】



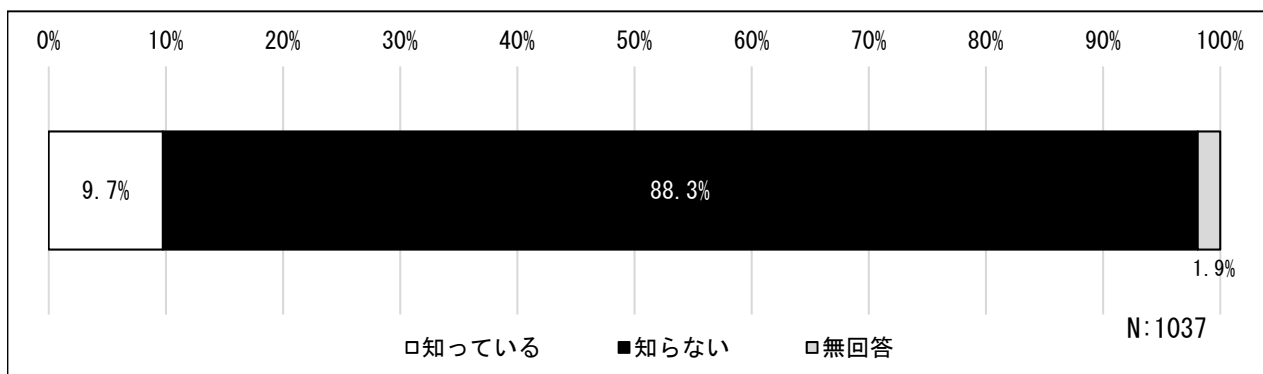
「市部」、「郡部」とともに「交通費などの活動費用の補助」が最も大きく、次いで「情報提供」、「ボランティア休暇等の配慮」の順となっている。

【自由回答より】

- ・ボランティアに参加する人の心と体のゆとり。
- ・影響力のある人物による広報・啓発活動。
- ・気持ち、ヒューマンスキル。
- ・収入が無くても生活できる経済力。

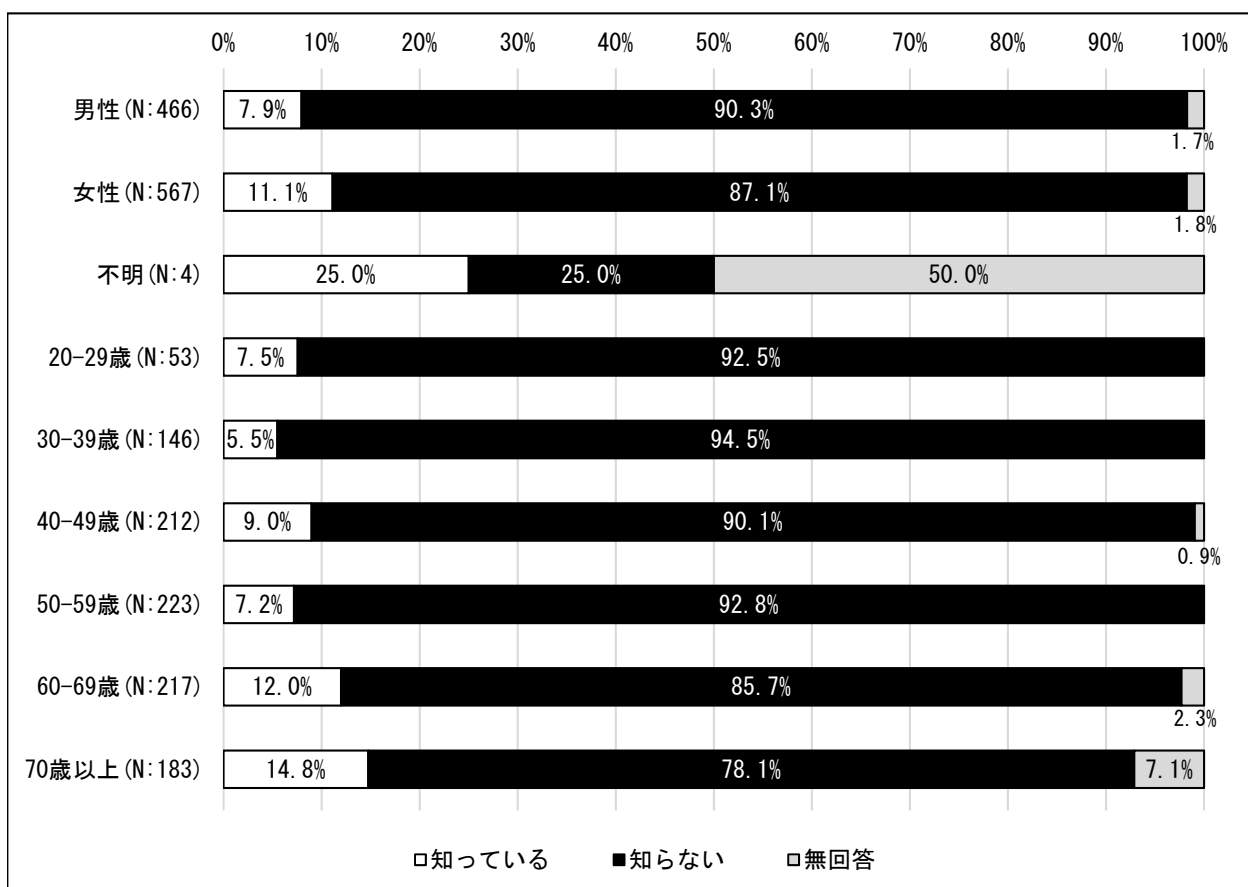
問 28. 各市町村にあるボランティアセンターのっていますか。(1つ)

・市町村にあるボランティアセンター



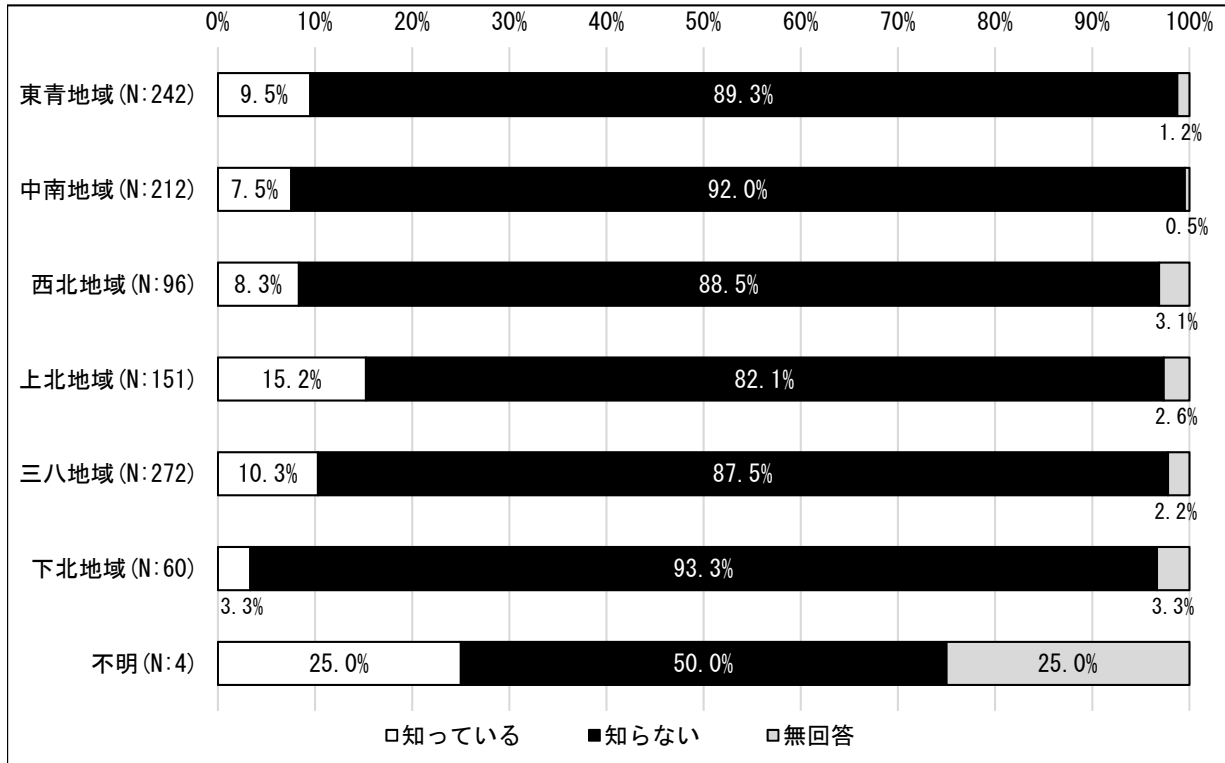
「知っている」が10%、「知らない」が88%となっている。

【男女別・年代別】



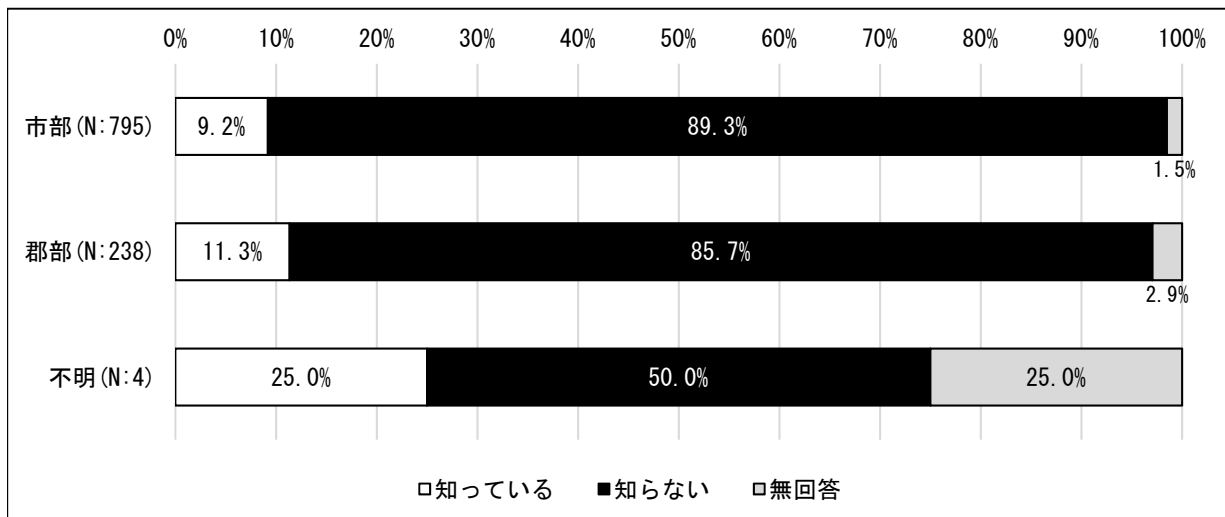
男女ともに「知らない」の割合が「知っている」の割合を大きく上回っている。
 年代別に見ると、「60代」以上は「知っている」の割合が他年代より大きくなっている。

【地域別】



「上北地域」は「知っている」の割合が他地域より大きくなっている。一方、「下北地域」は「知らない」の割合が他地域より大きくなっている。

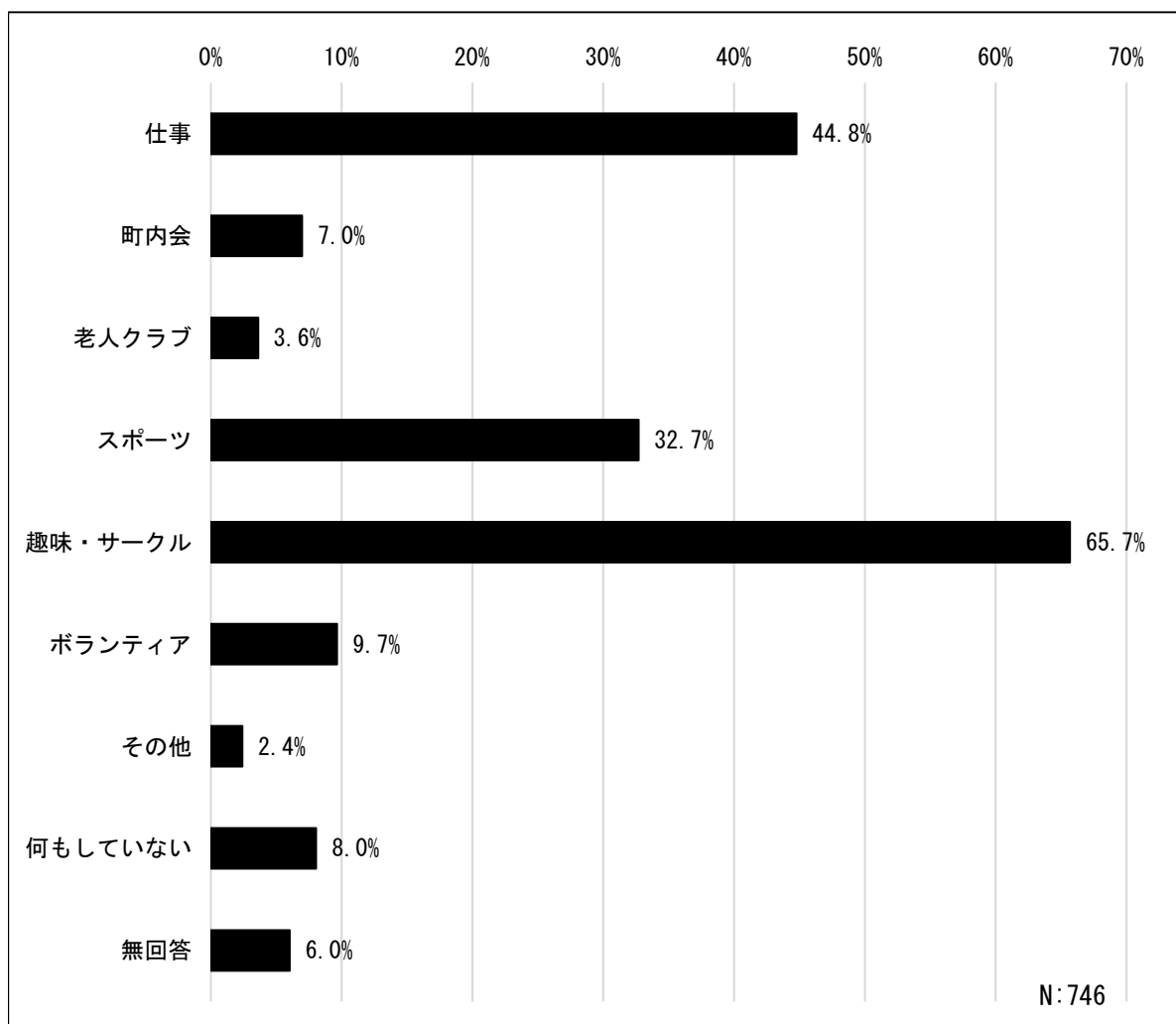
【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「知らない」の割合が「知っている」の割合を大きく上回っている。

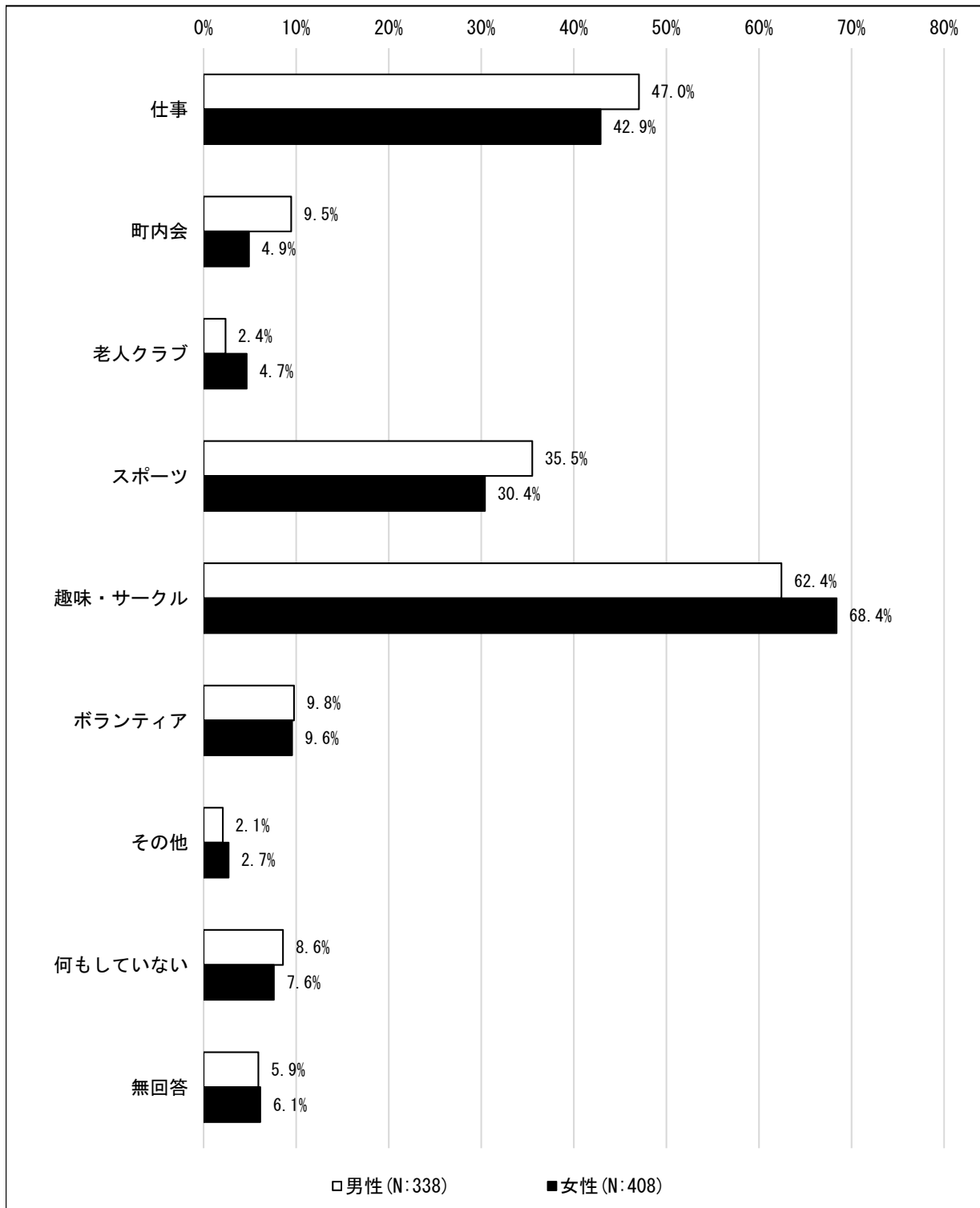
問 29. 65 歳未満の方におうかがいします。あなたが高齢になってもやりたいことは何ですか。
(当てはまるものすべて)

・ 65 歳未満で、高齢になってもやりたいこと



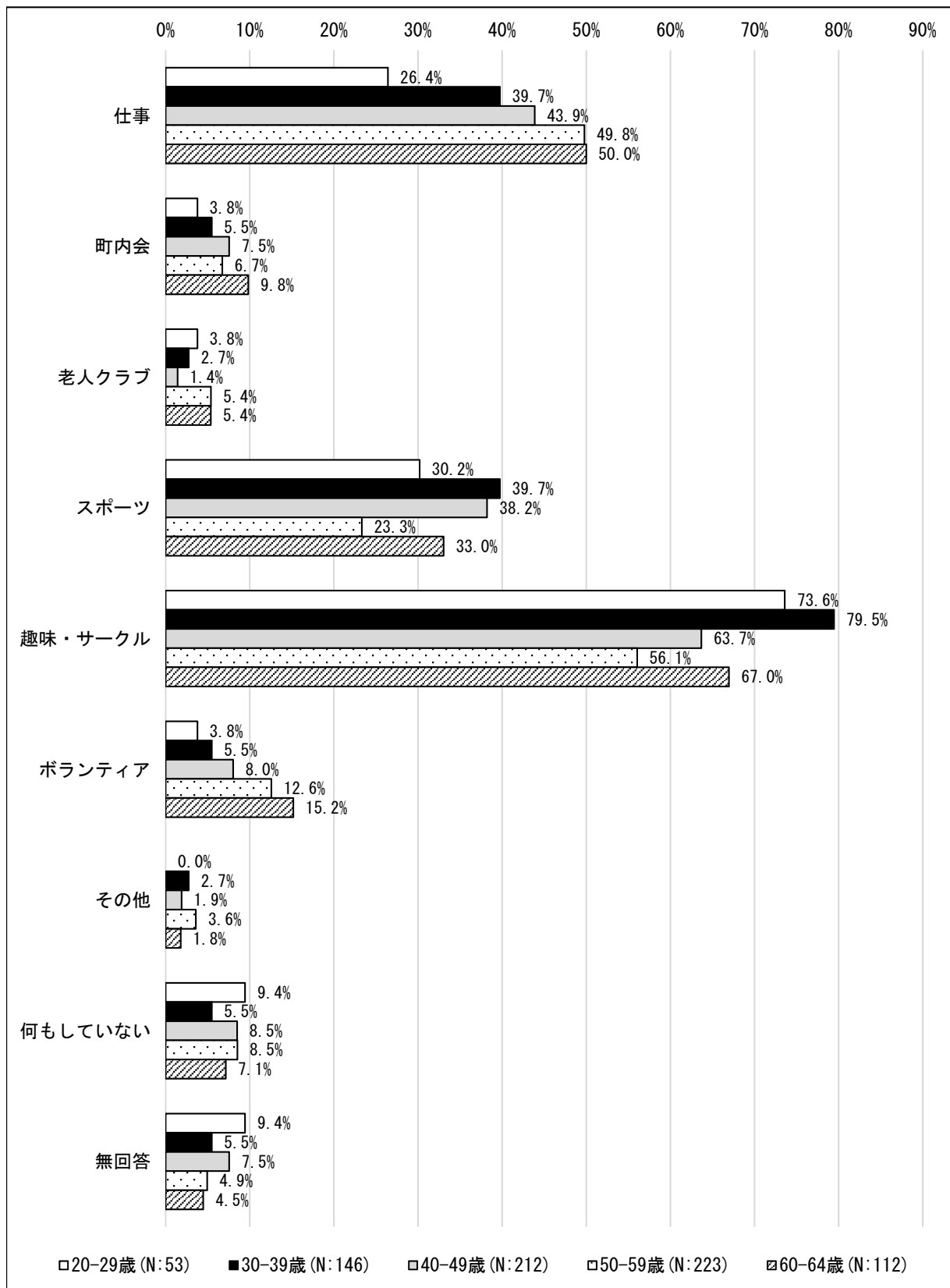
「趣味・サークル」が 66%、「仕事」が 45%、「スポーツ」が 33%となっている。

【男女別】



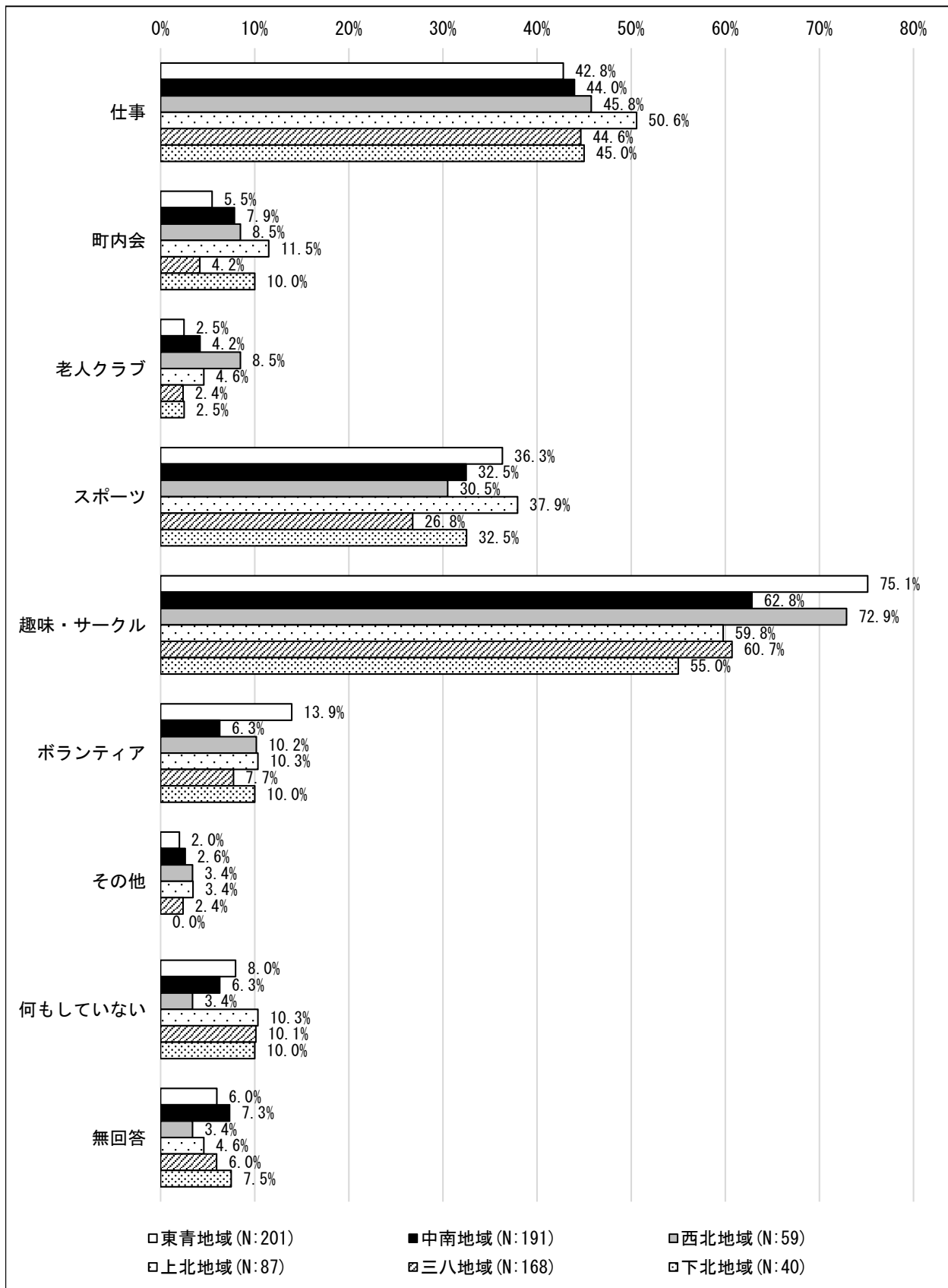
男女ともに「趣味・サークル」が最も大きく、次いで「仕事」、「スポーツ」の順となっている。

【年代別】



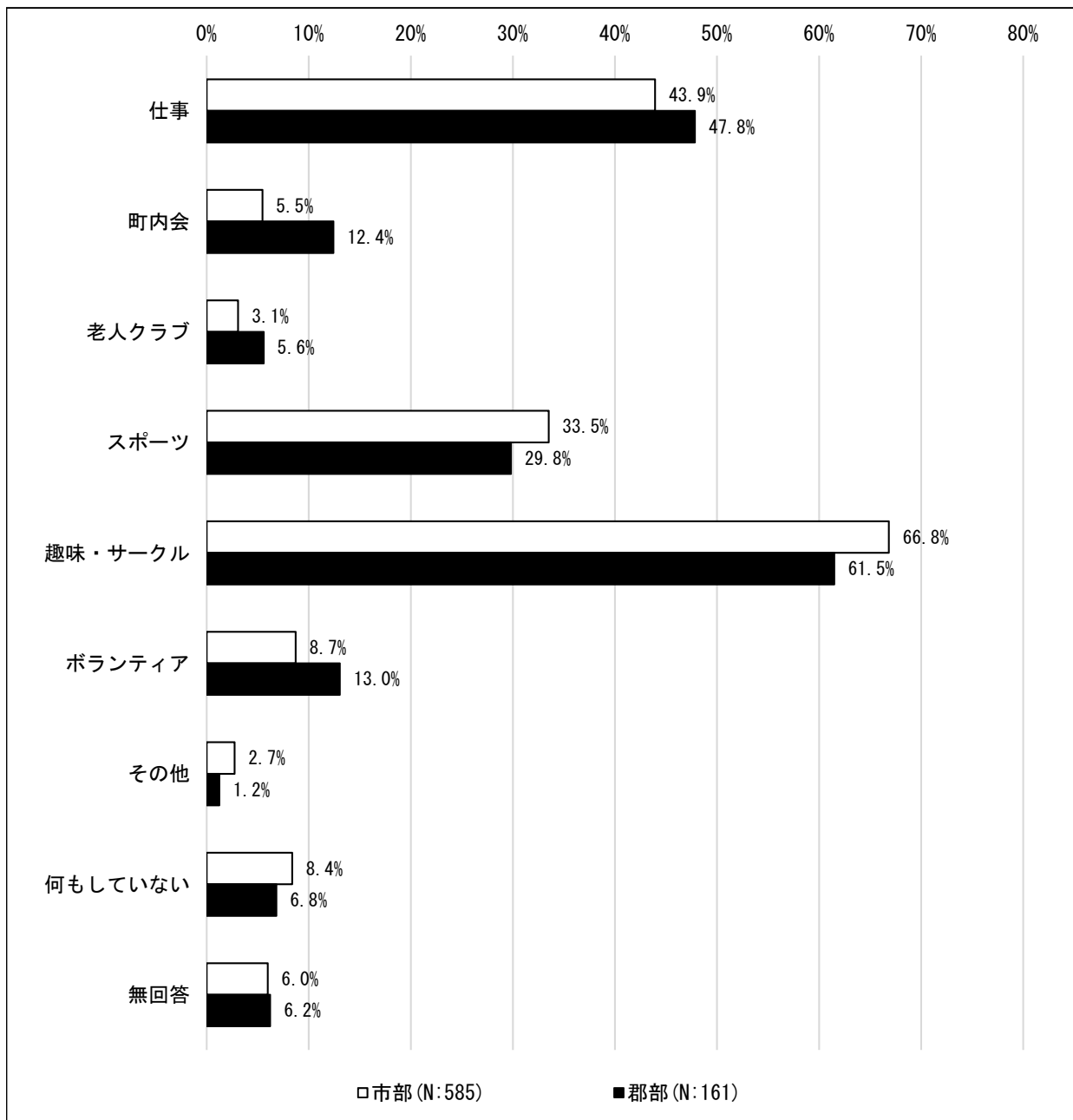
全ての年代で「趣味・サークル」が最も大きくなっている。また、「仕事」、「ボランティア」は、年代が上がるにつれて大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「趣味・サークル」が最も大きく、次いで「仕事」、「スポーツ」の順となっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「趣味・サークル」が最も大きく、次いで「仕事」、「スポーツ」の順となっている。

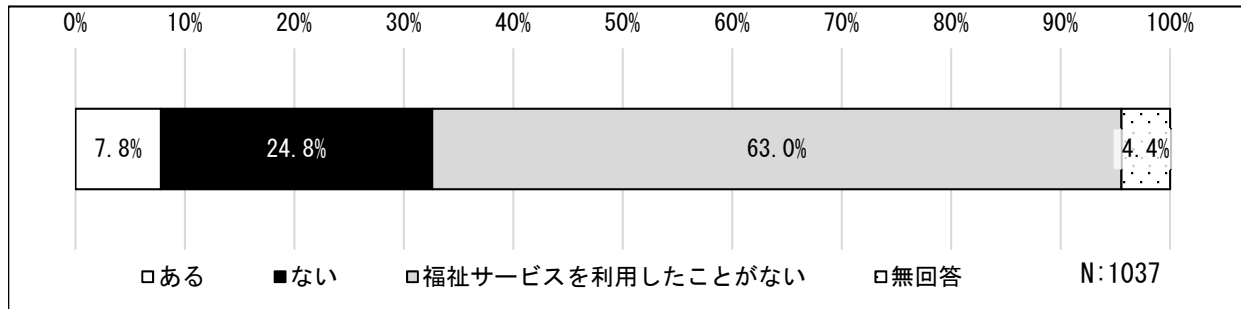
【自由回答より】

- ・家事、家族の世話。
- ・執筆、畑仕事、ヤクルトレディなど。
- ・地域イベント手伝い。 ※町内会含む

< 8 > 福祉サービスにおける権利擁護について

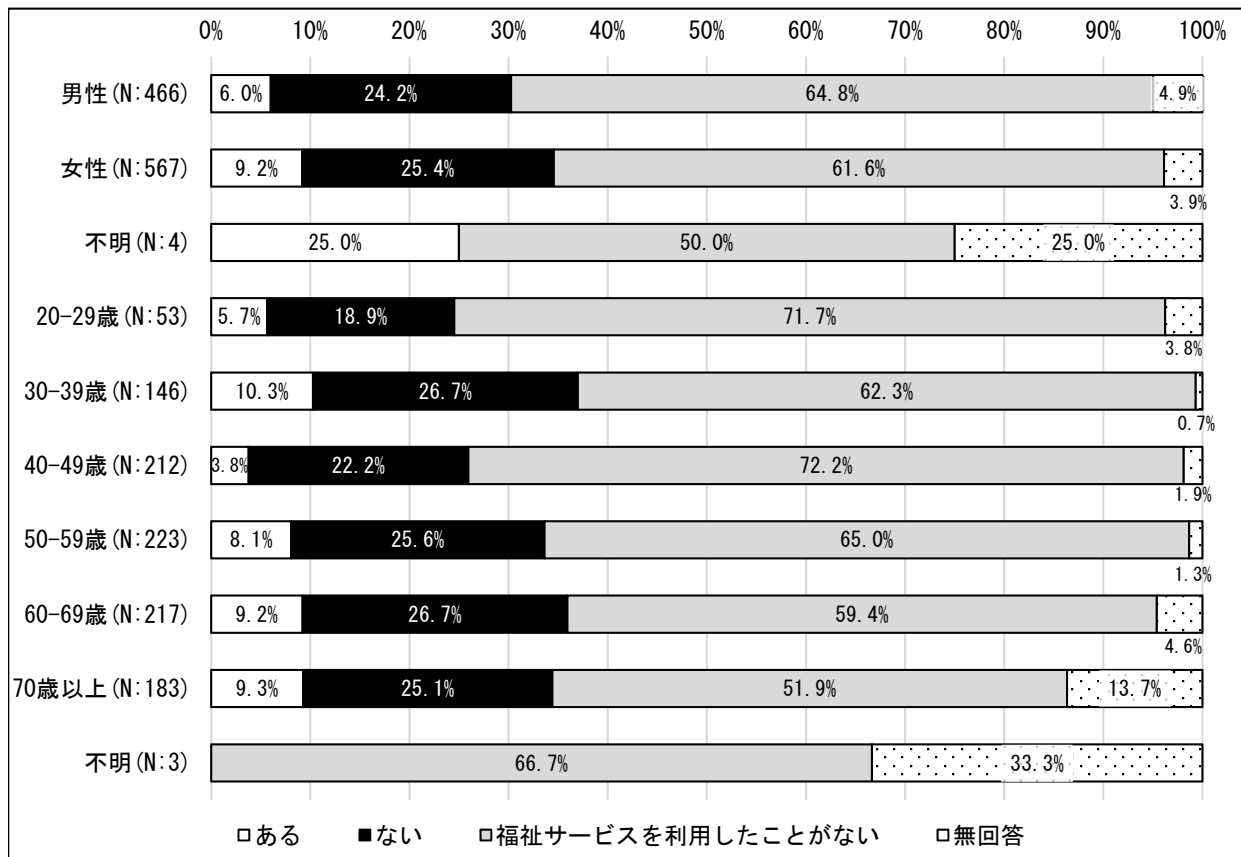
問 30. あなたが子育てや高齢者・障害者の介護などに関する福祉サービスを利用したときに、あらかじめ説明された内容と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたりしたことがありますか。(1つ)

・福祉サービスを利用した際の不満や疑問



「ある」が8%、「ない」が25%、「福祉サービスを利用したことがない」が63%となっている。

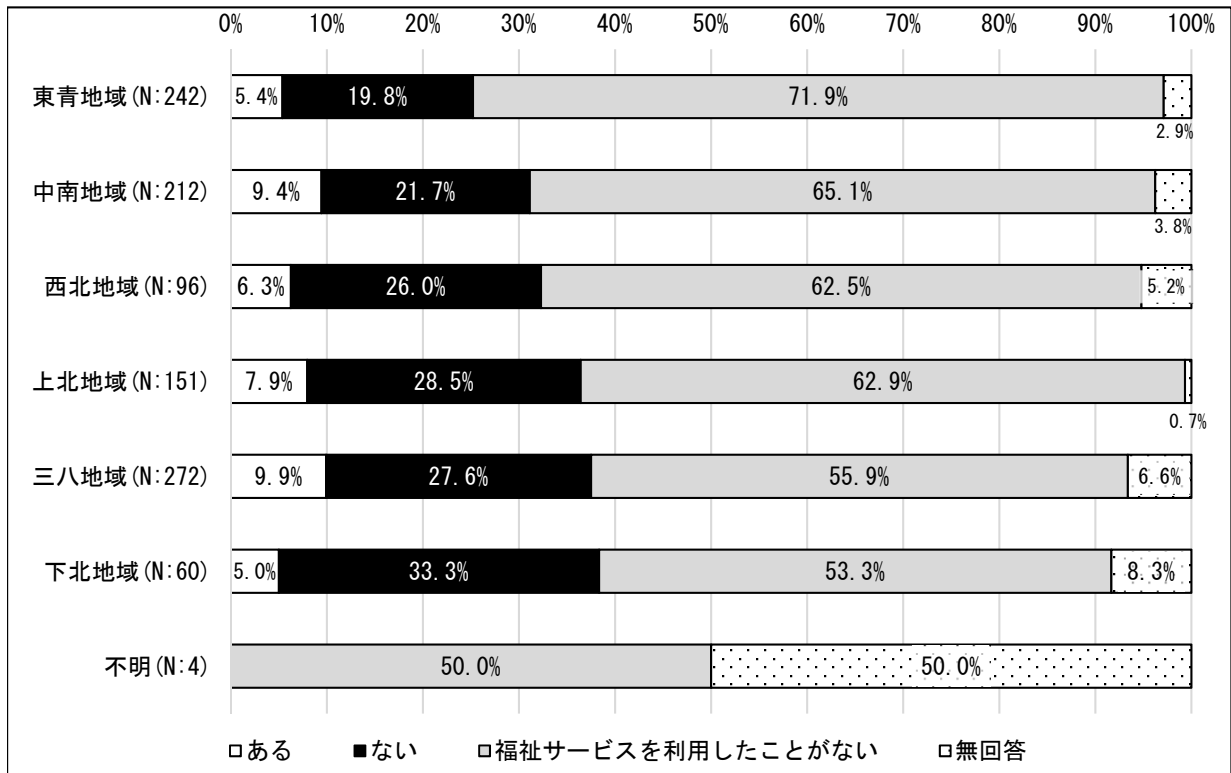
【男女別・年代別】



「ある」の割合は、女性が男性よりも大きくなっている。

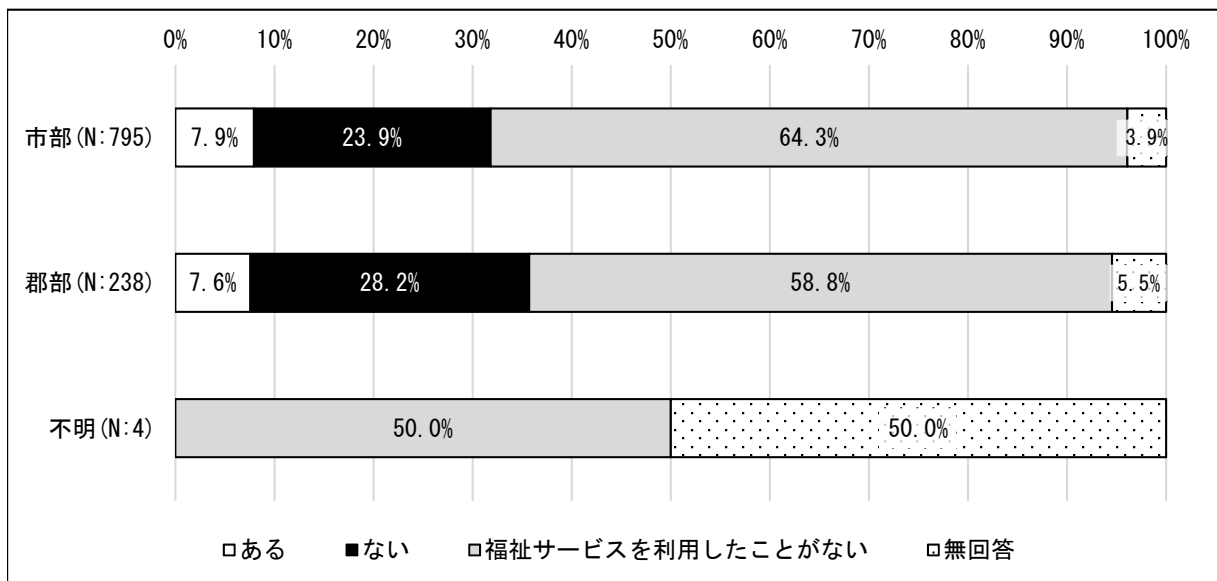
年代別で見ると、「ある」の割合は「30代」が最も大きく、次いで「70歳以上」、「60代」の順となっている。

【地域別】



「ある」の割合は「三八地域」が最も大きく、次いで「中南地域」、「上北地域」の順となっている。

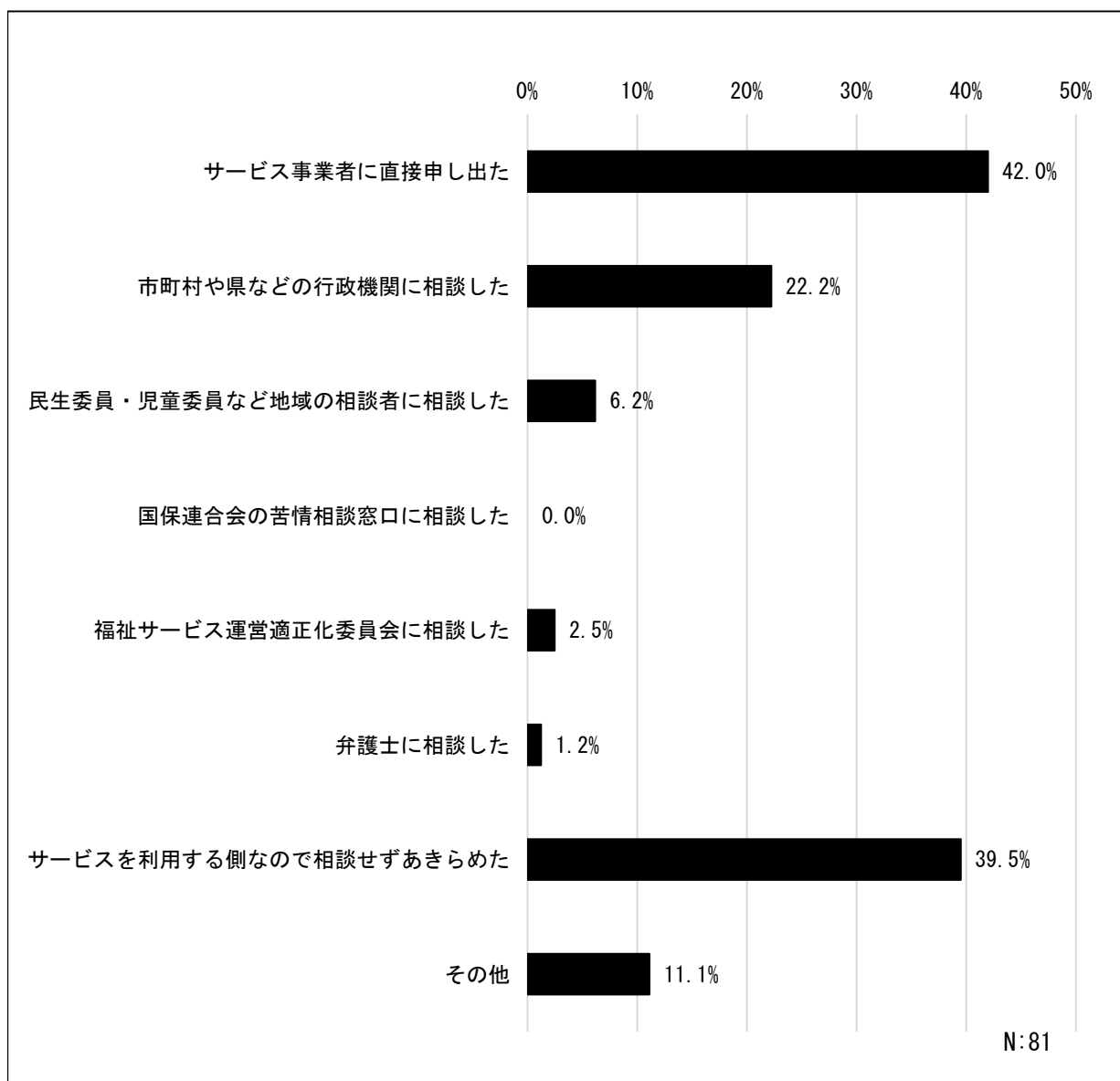
【市部・郡部別】



「ある」の割合は「市部」が「郡部」より大きくなっている。逆に、「ない」の割合は「郡部」が「市部」より大きくなっている。

問 30-1. 問 30 で「① ある」を選んだ方におうかがいします。その後どのようにしましたか。
(当てはまるものすべて)

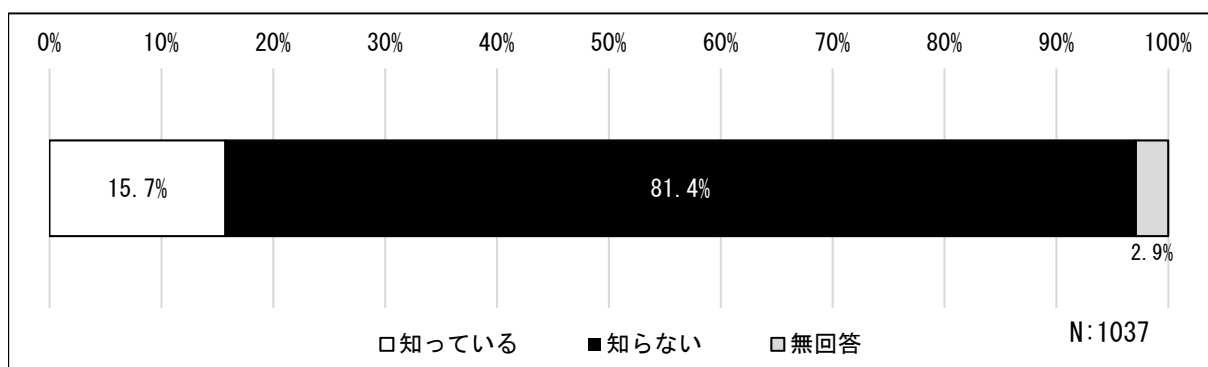
・福祉サービスを利用した際の不満や疑問



「サービス事業者に直接申し出た」が42%、「サービスを利用する側なので相談せずあきらめた」が40%、「市町村や県などの行政機関に相談した」が22%となっている。

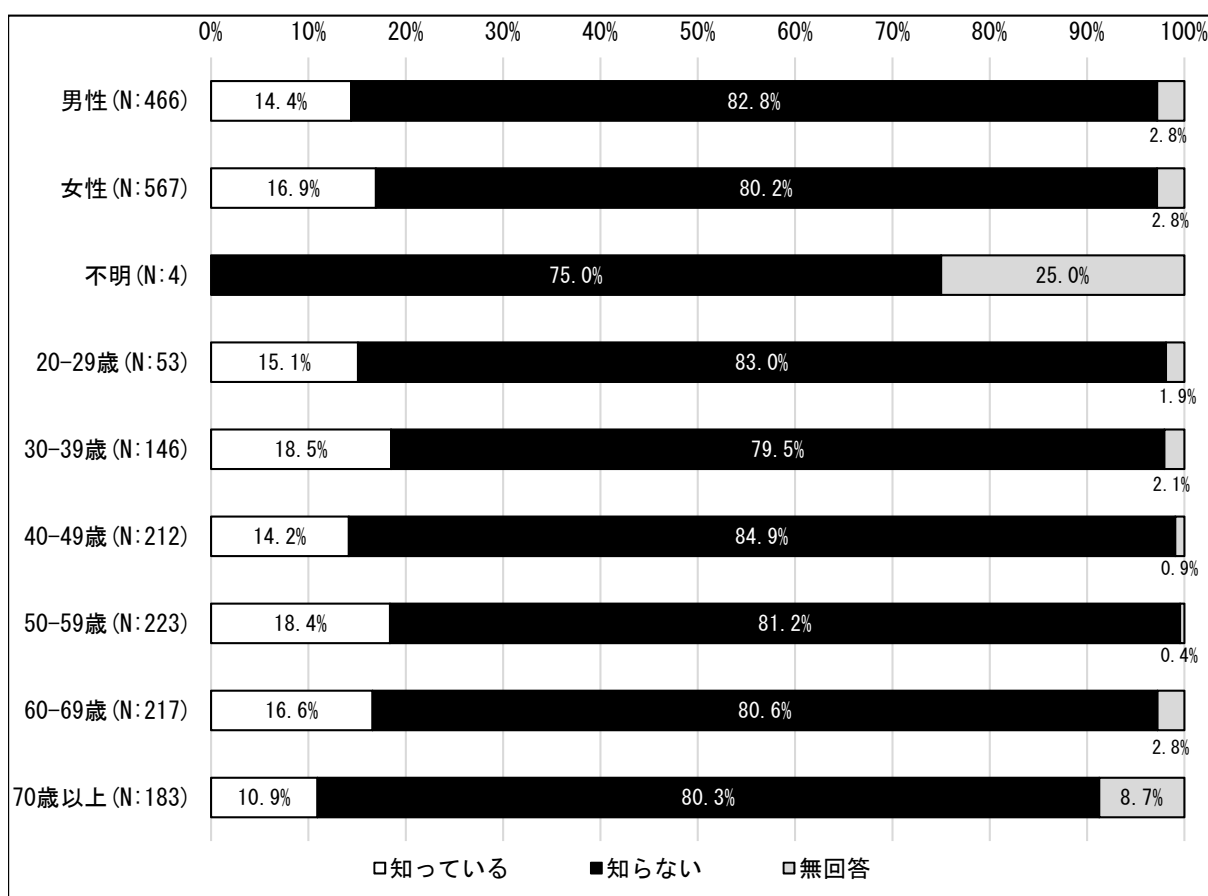
問 31. 福祉サービス事業者は、苦情を解決するための組織として第三者委員会を設置していることを知っていますか。（1つ）

・福祉サービス事業者が、苦情を解決するための第三者委員会の設置



「知っている」が16%、「知らない」が81%となっている。

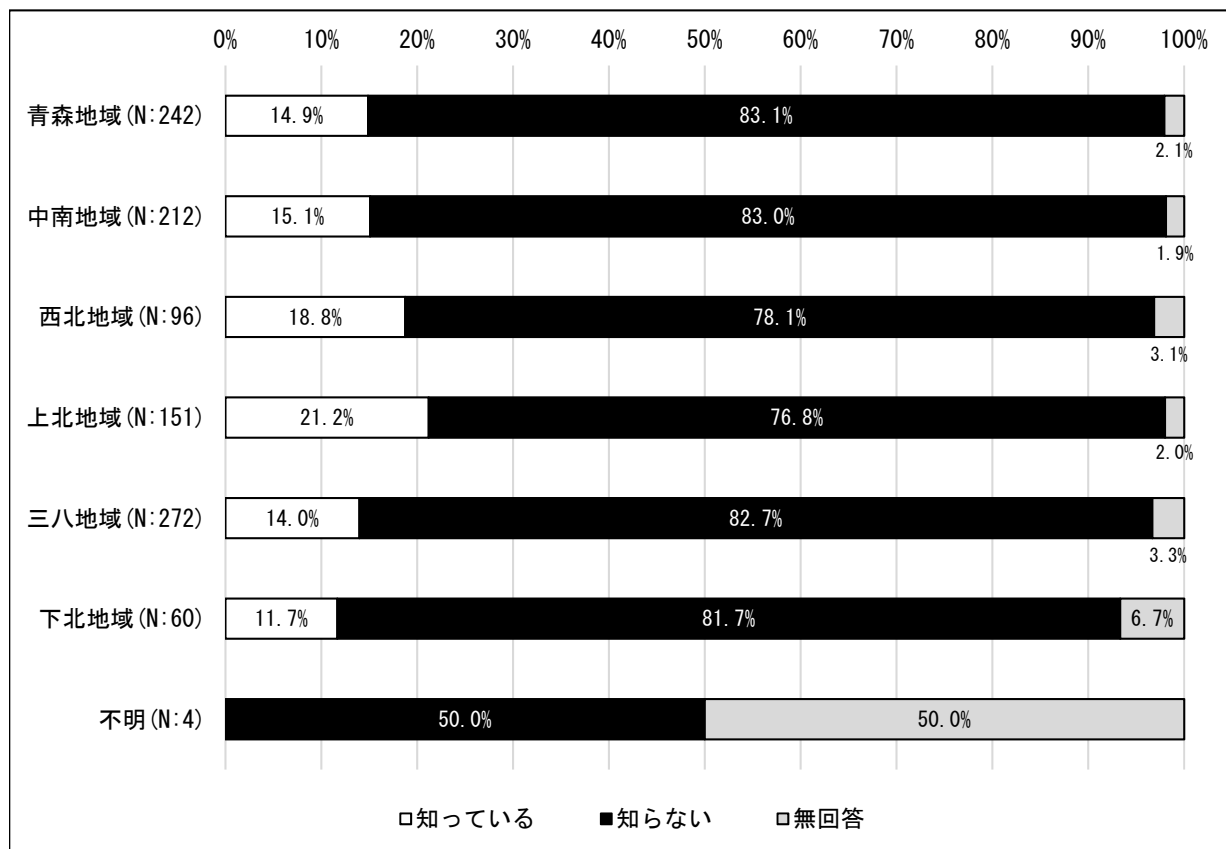
【男女別・年代別】



「知っている」の割合は、女性が男性より大きくなっている。

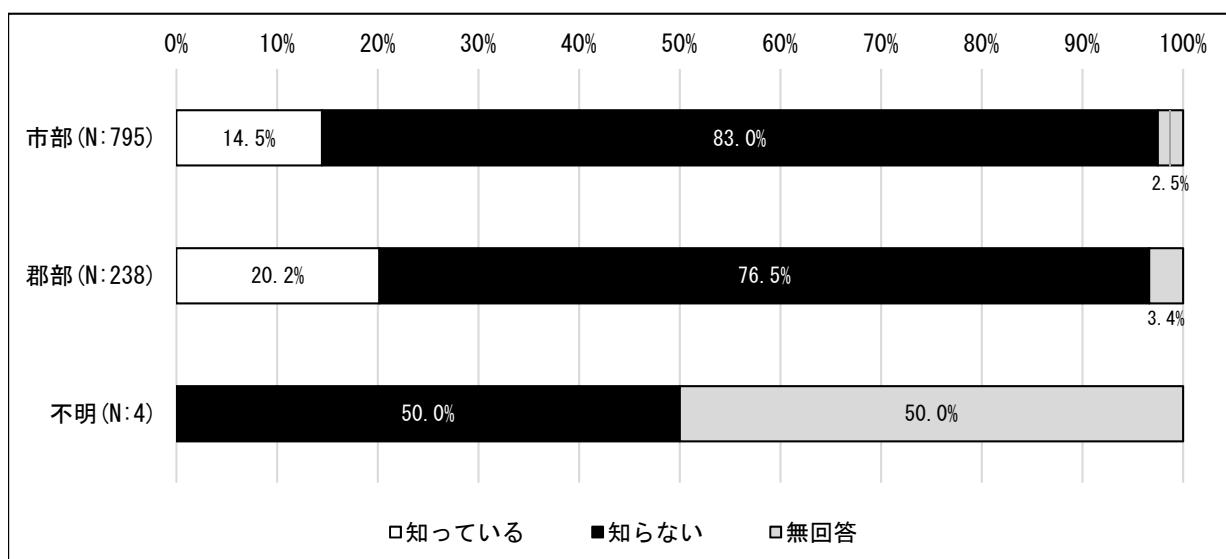
年代別で見ると、「知っている」の割合は「30代」が最も大きく、次いで「50代」、「60代」の順となっている。

【地域別】



「知っている」の割合は「上北地域」が最も大きく、次いで、「西北地域」、「中南地域」の順となっている。

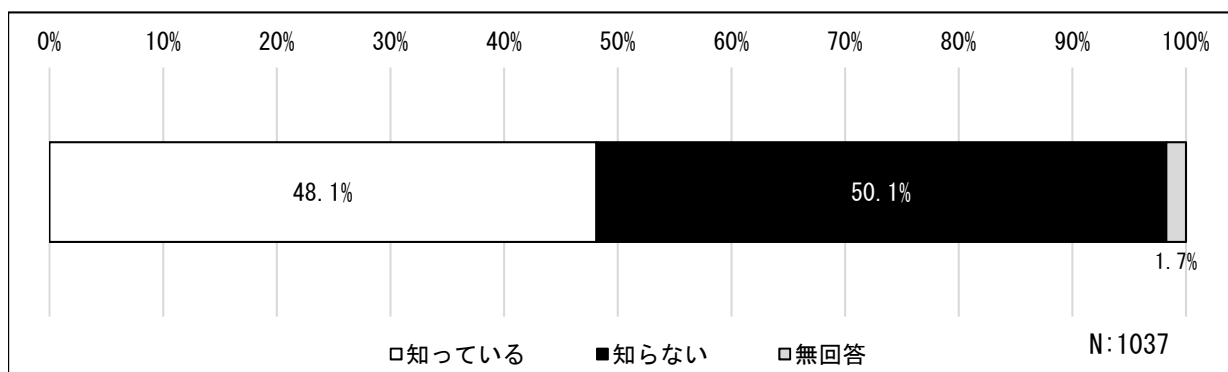
【市部・郡部別】



「知っている」の割合は、「郡部」が「市部」より大きくなっている。

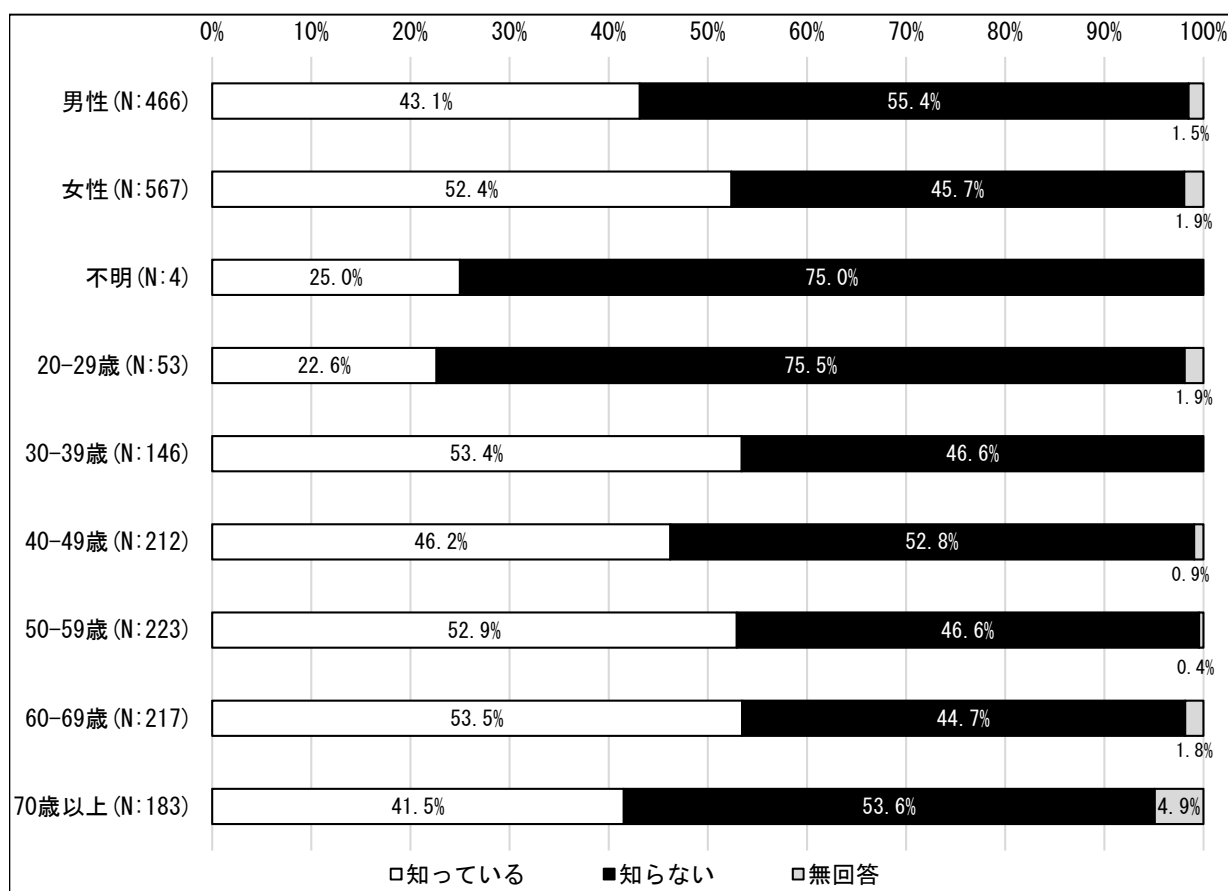
問 32. 成年後見制度を知っていますか。(1つ)

・成年後見制度



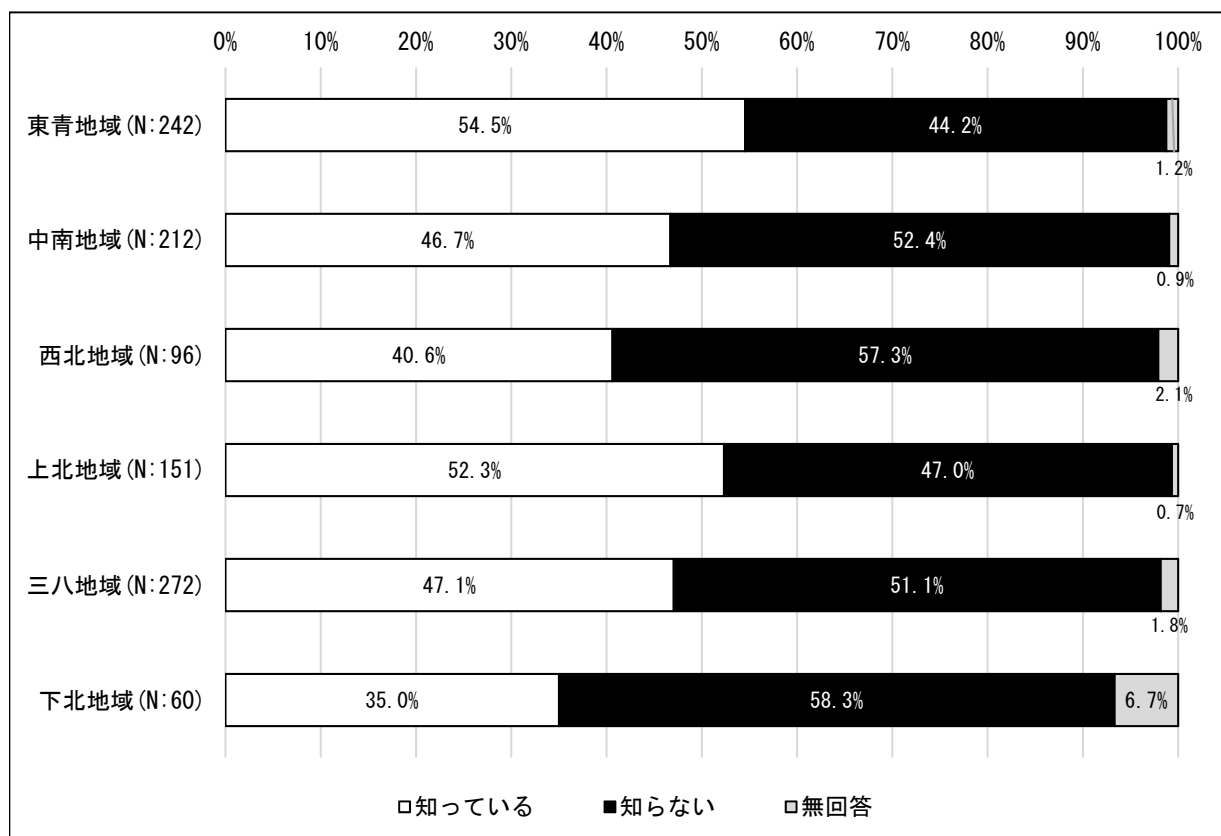
「知っている」が48%、「知らない」が50%となっている。

【男女別・年代別】



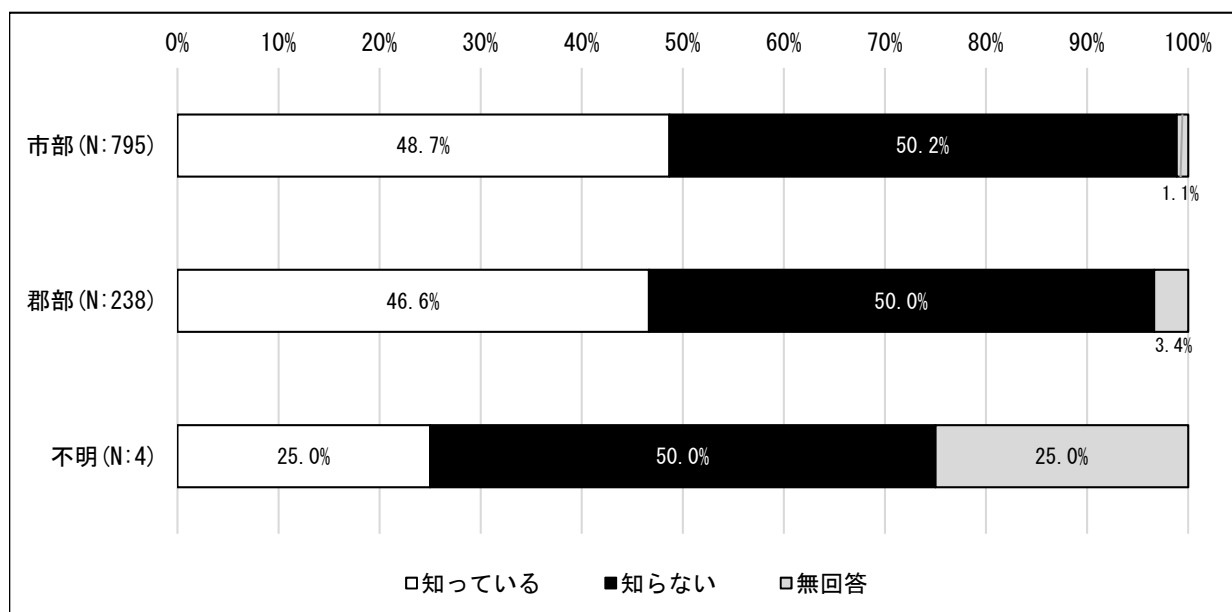
女性は「知っている」が「知らない」を、男性は「知らない」が「知っている」を上回っている。
 年代別で見ると、「30代」、「50代」、「60代」は「知っている」が「知らない」を、他年代は「知らない」が「知っている」をそれぞれ上回っている。

【地域別】



「東青地域」、「上北地域」は「知っている」が「知らない」を、その他の地域は「知らない」が「知っている」をそれぞれ上回っている。

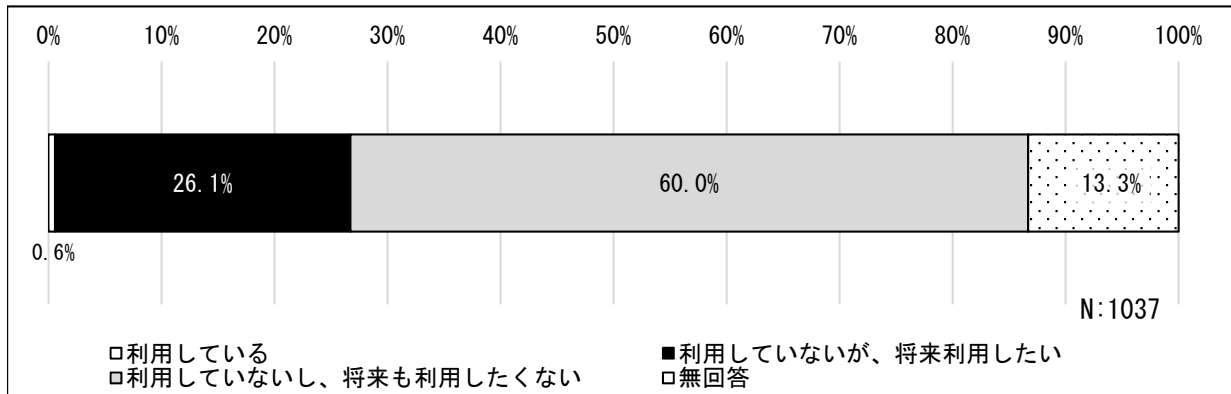
【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「知らない」が「知っている」を上回っている。

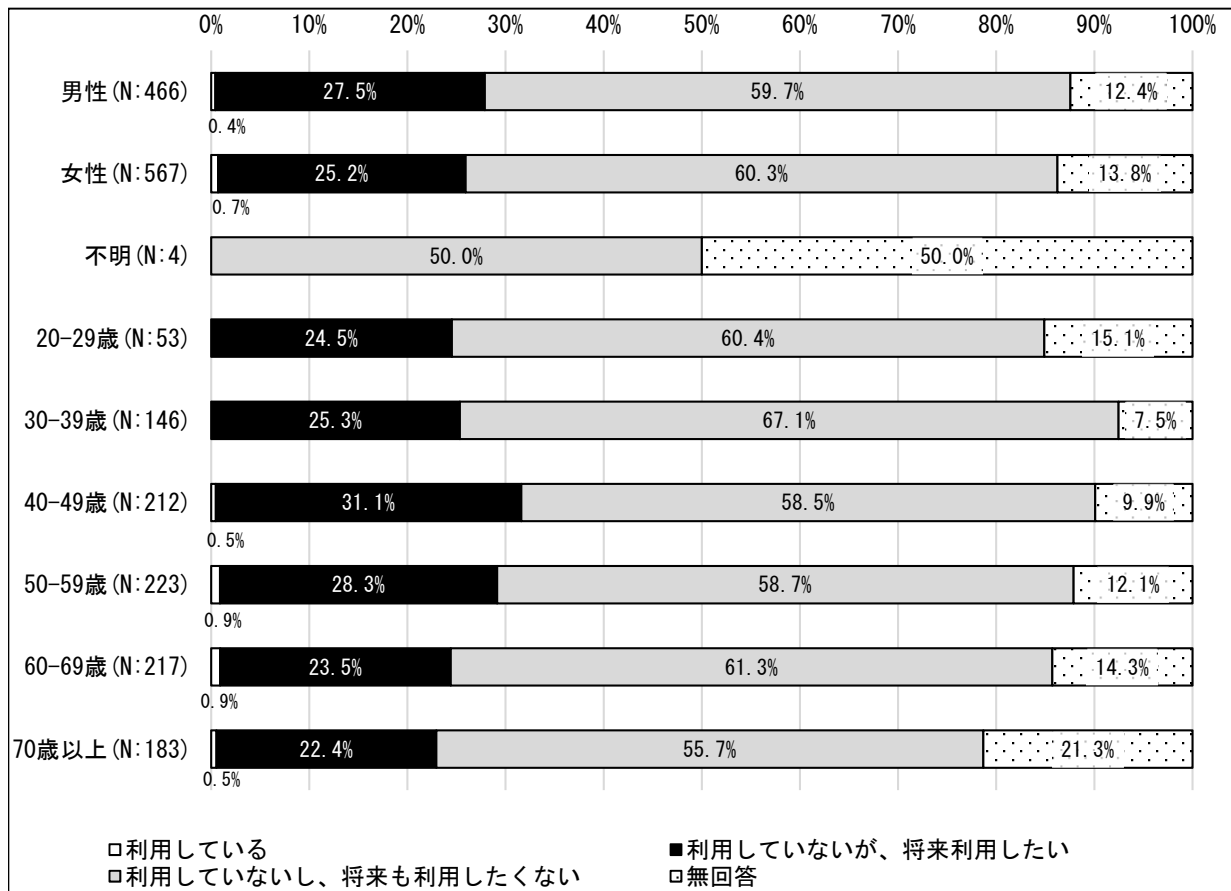
問 33. 成年後見制度を利用していますか。あるいは将来利用したいと思いますか。（1つ）

・成年後見制度の利用、または将来の利用



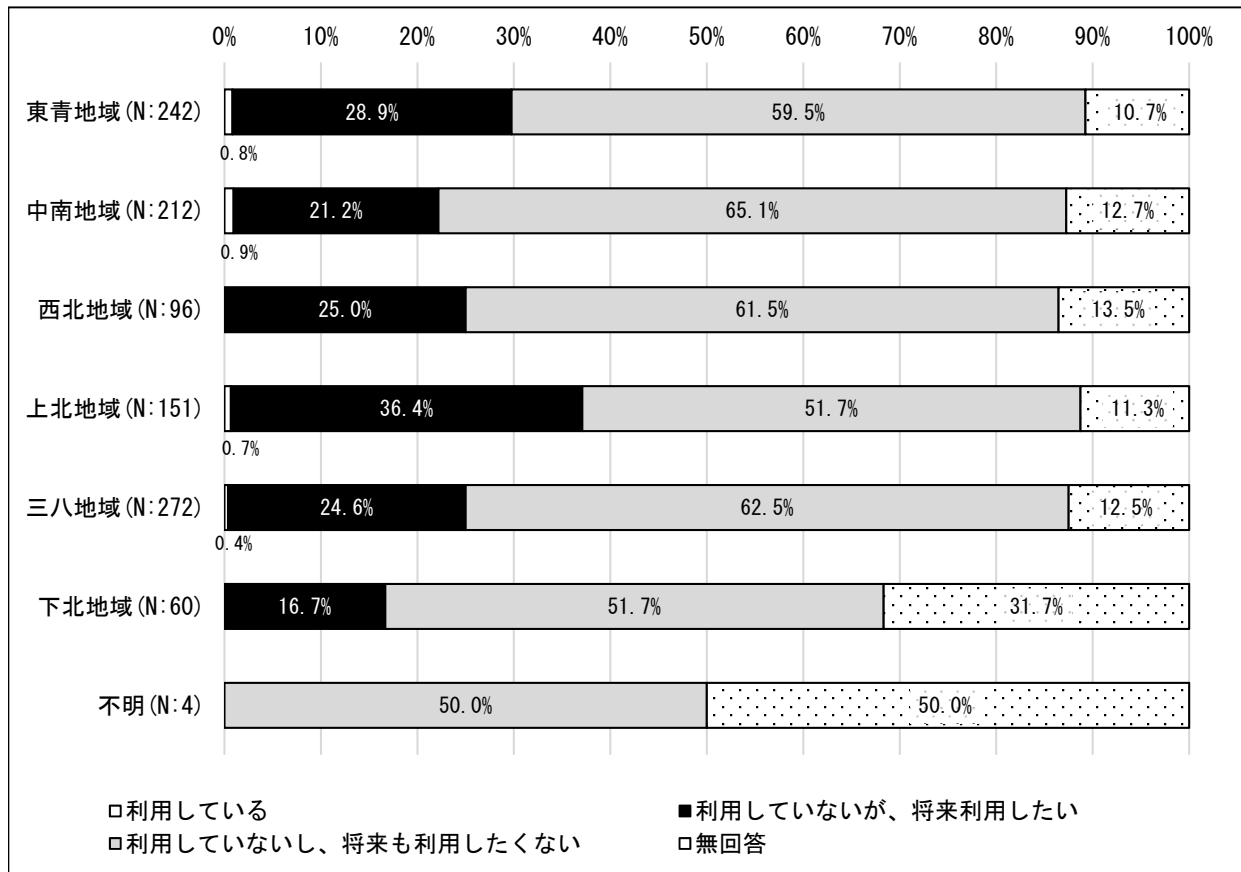
「利用していないし、将来も利用したくない」が60%、「利用していないが、将来利用したい」が26%、「利用している」が1%となっている。

【男女別・年代別】



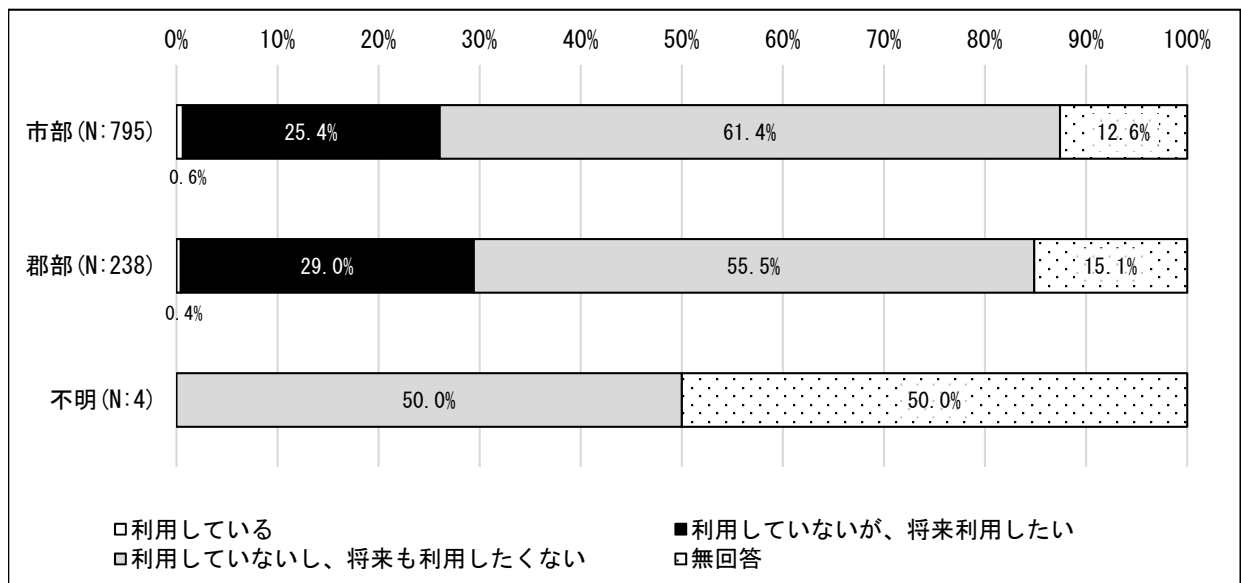
「利用していないが、将来利用したい」は、男性が女性より大きくなっている。
年代別で見ると、「40代」で「利用していないが、将来利用したい」が最も大きくなっている。

【地域別】



「利用していないが、将来利用したい」は「上北地域」が最も大きくなっている。

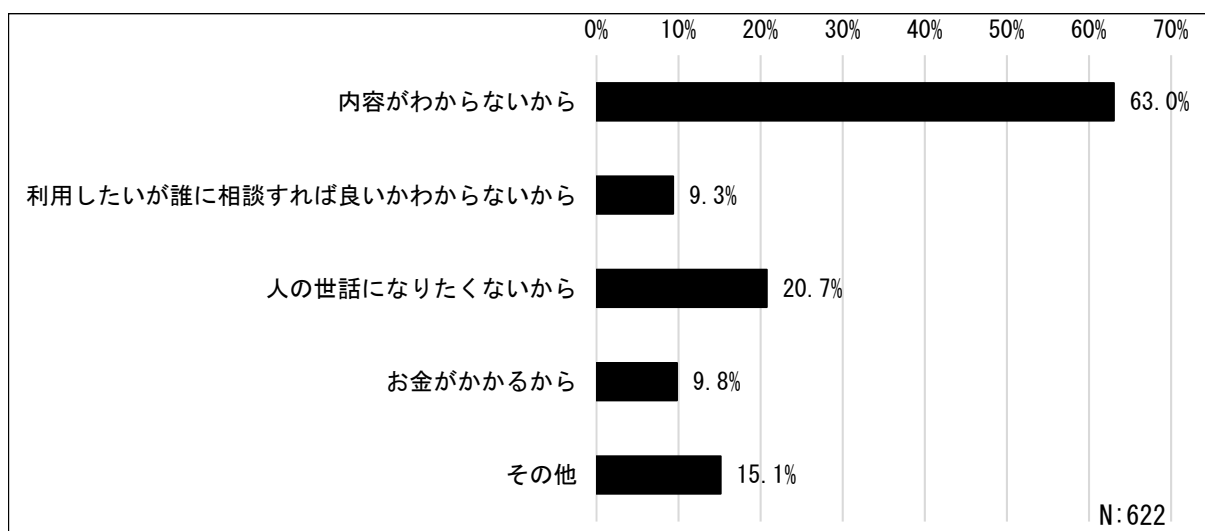
【市部・郡部別】



「利用していないが、将来利用したい」は「郡部」が「市部」より大きくなっている。

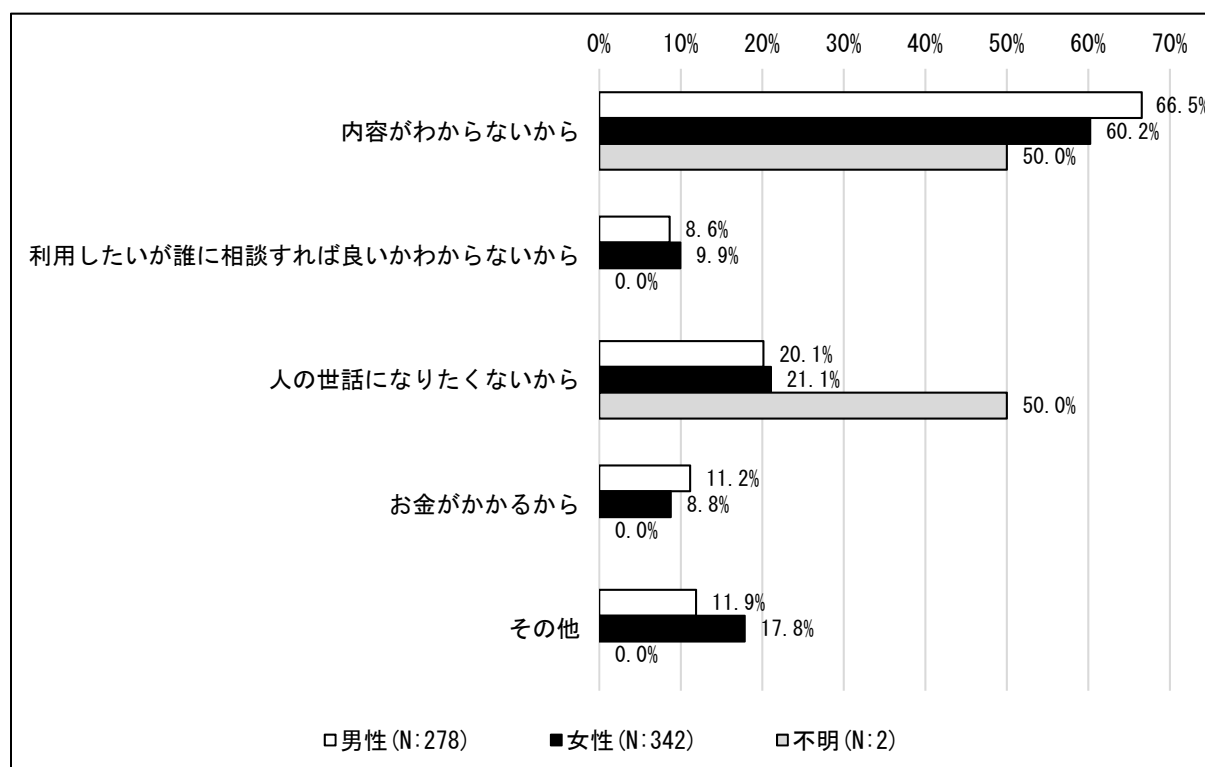
問 33-1. 問 33 で「利用していないし、将来も利用したくない」を選んだ方にお聞きします。
それはなぜですか。（2つまで）

・ 成年後見制度を利用しない理由



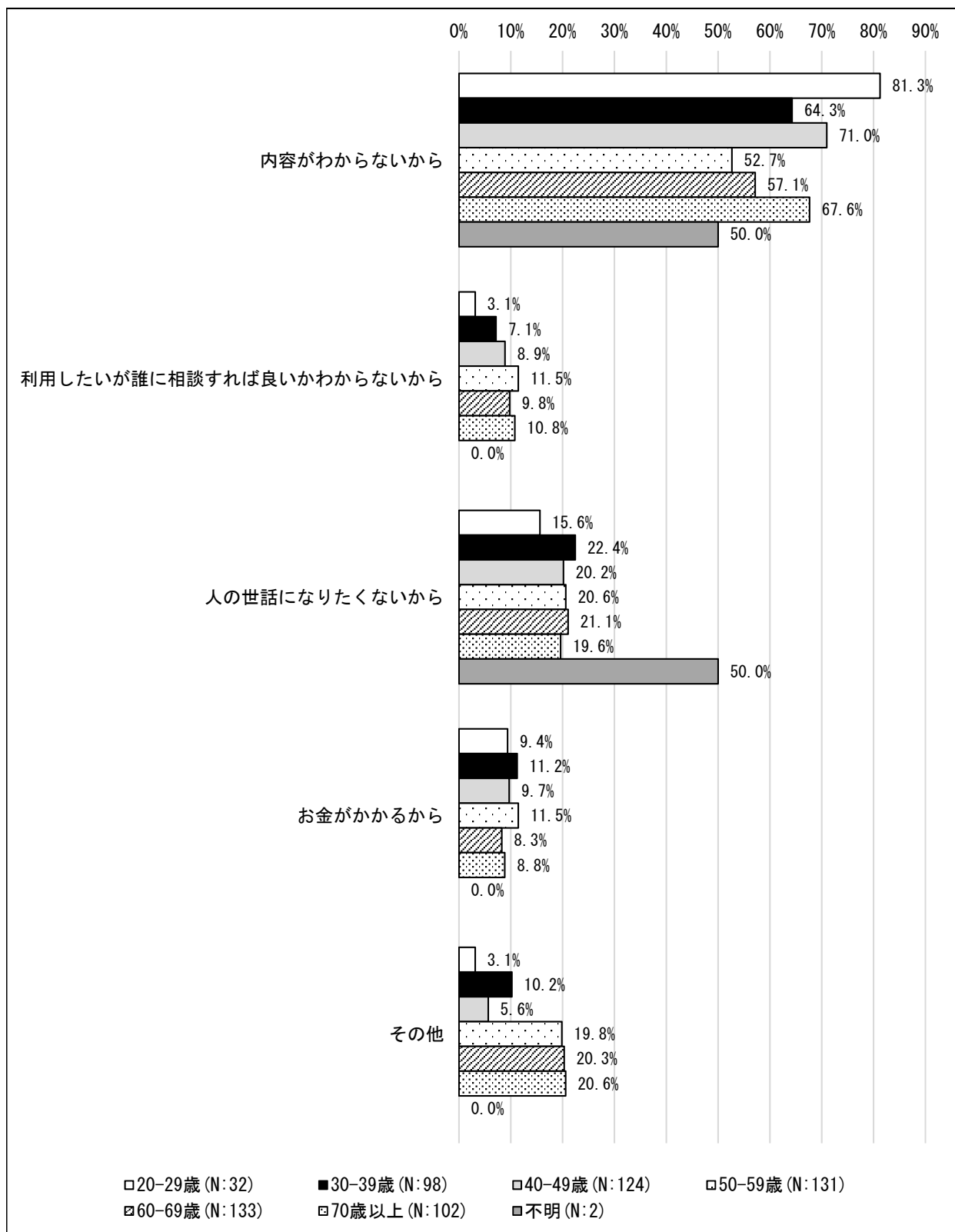
「内容がわからないから」が63%、「人の世話になりたくないから」が21%、「その他」が15%となっている。

【男女別】



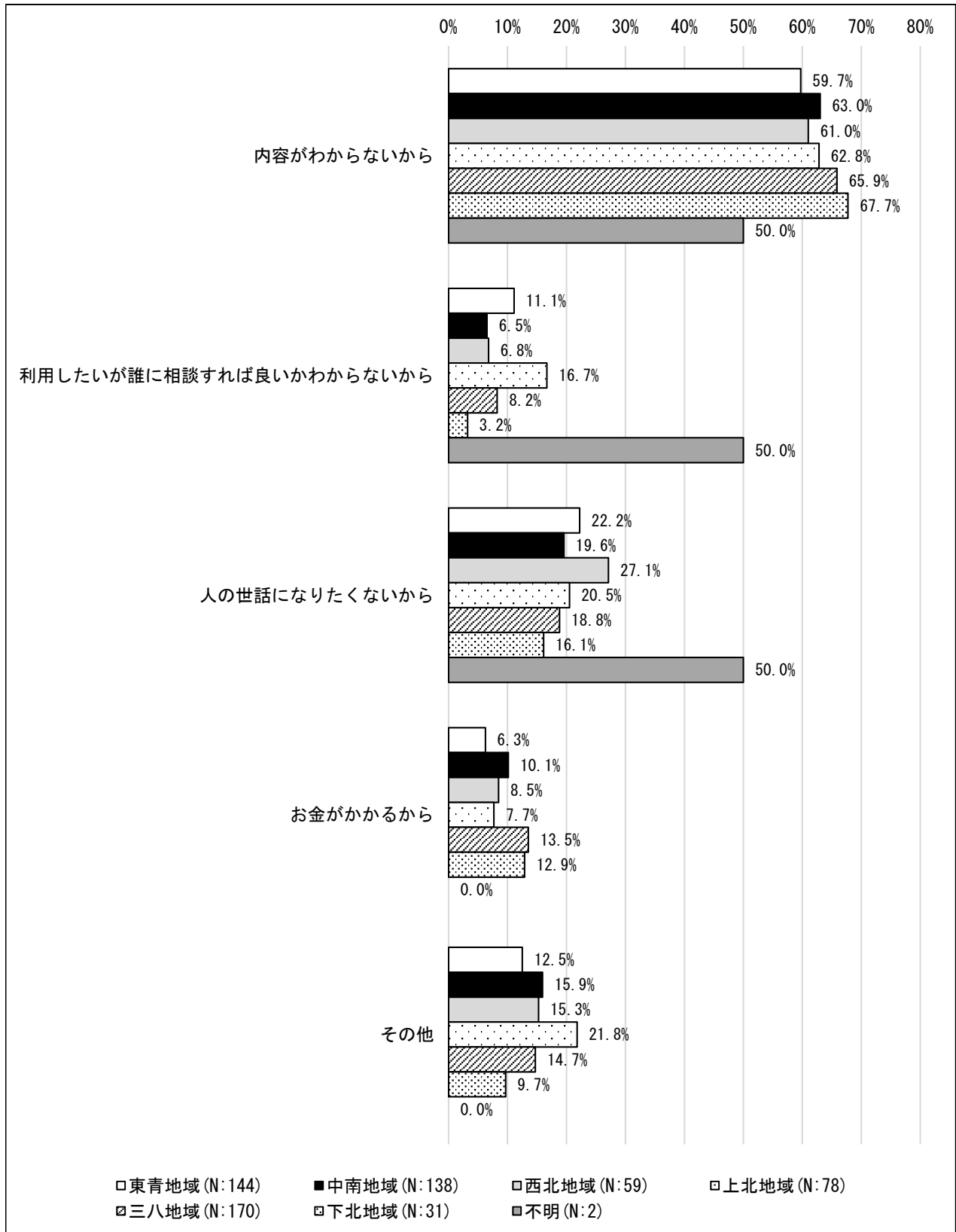
男女ともに「内容がわからないから」、「人の世話になりたくないから」、「その他」の順に大きく、次いで男性は「お金がかかるから」、女性は「利用したいが誰に相談すれば良いかわからないから」となっている。

【年代別】



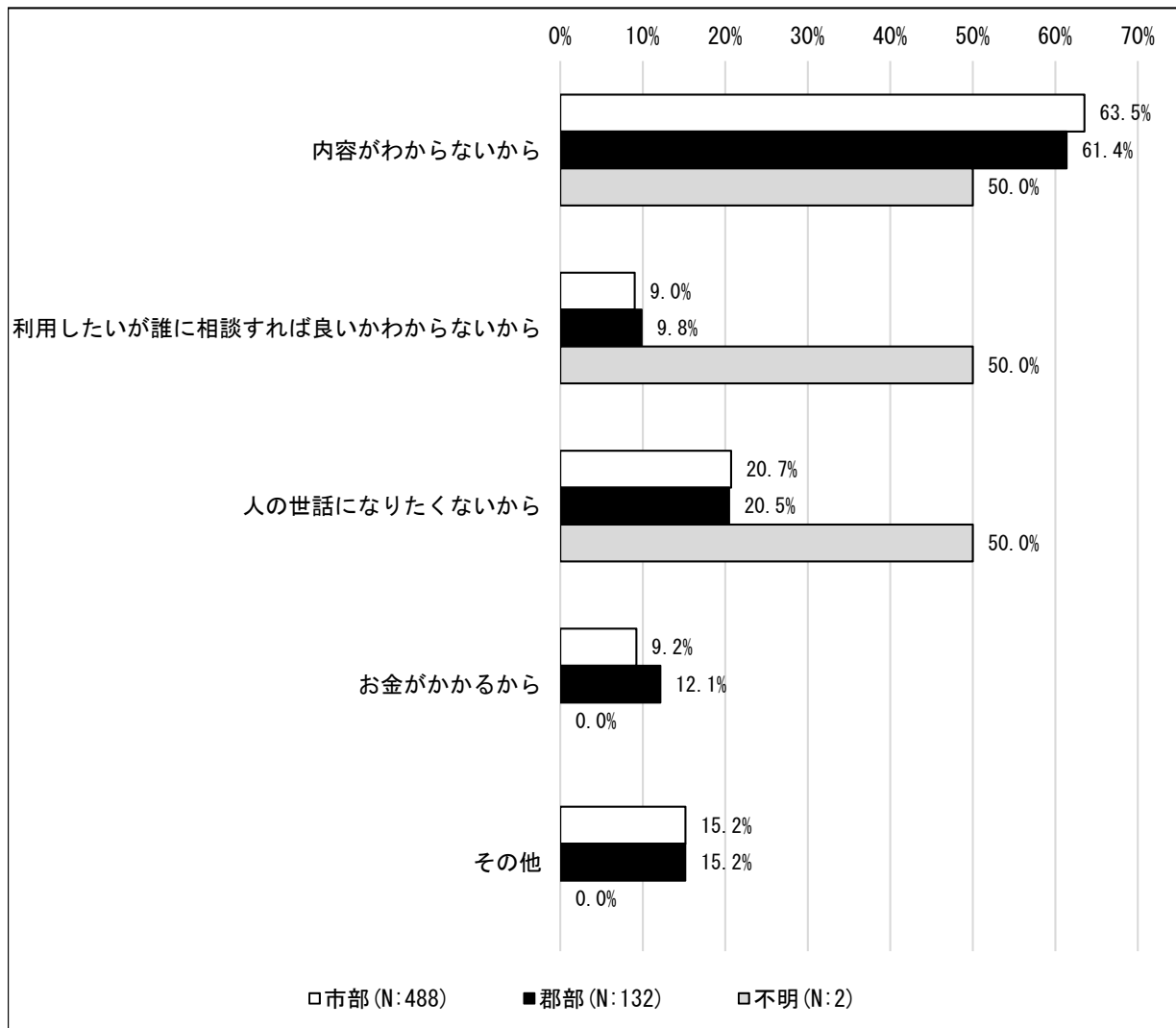
全ての年代で「内容がわからないから」が最も大きく、次いで「70歳以上」は「その他」、その他の年代は「人の世話になりたくないから」となっている。

【地域別】



すべての地域で「内容がわからないから」が最も大きく、次いで「上北地域」は「その他」、その他の地域は「人の世話になりたくないから」となっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」ともに「内容がわからないから」、「人の世話になりたくないから」、「その他」、「お金がかかるから」の順に大きくなっている。

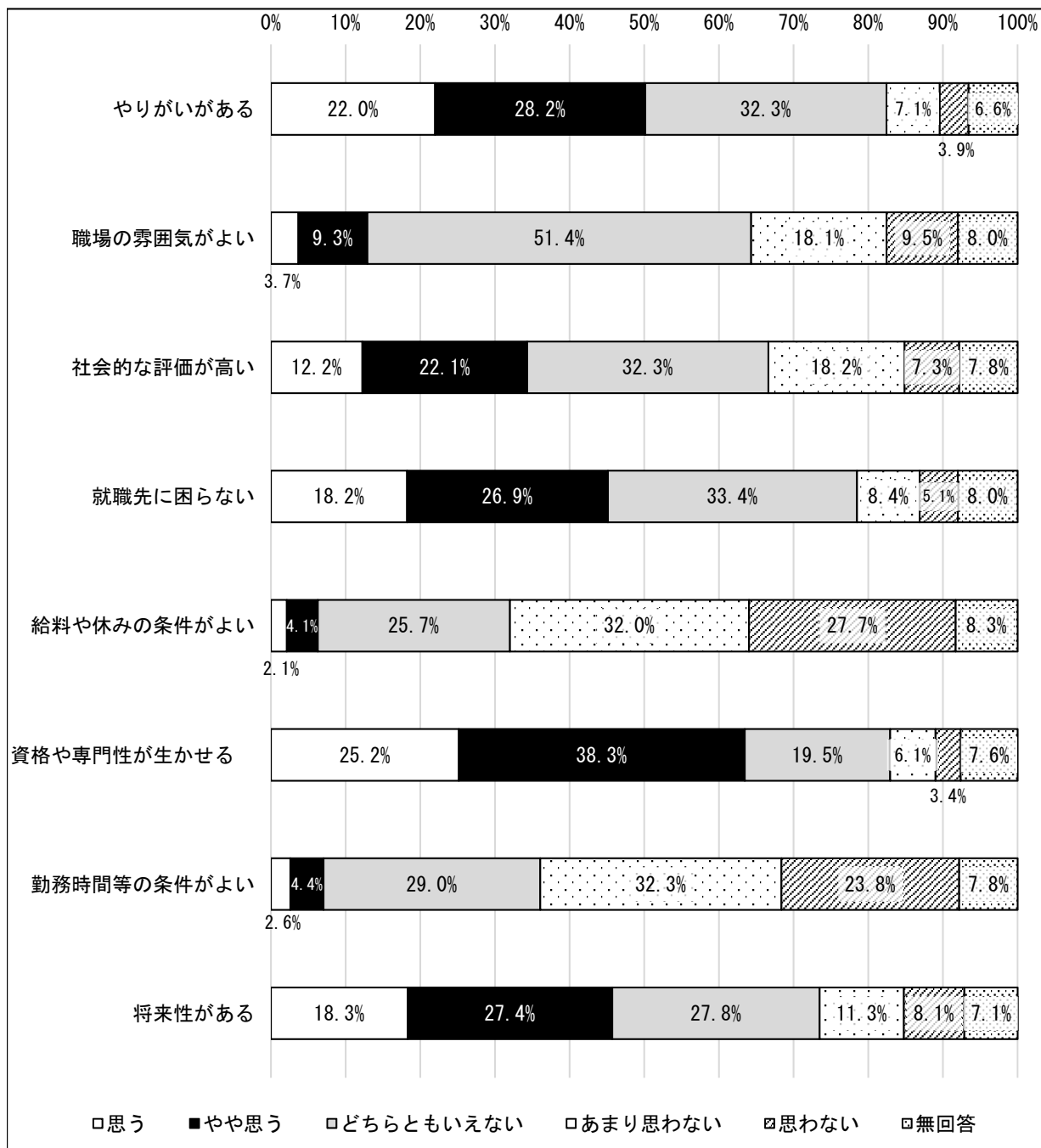
【自由回答より】

- ・家族がいるから。
- ・社会福祉協議会の日常生活支援事業を利用したい。
- ・信用できる人なのかわからない。
- ・手続きが面倒だ。

< 9 > 福祉・介護人材の確保育成について

問 34. 福祉や介護の仕事と聞いてどのように思いますか。（1から8についてそれぞれ1つずつ）

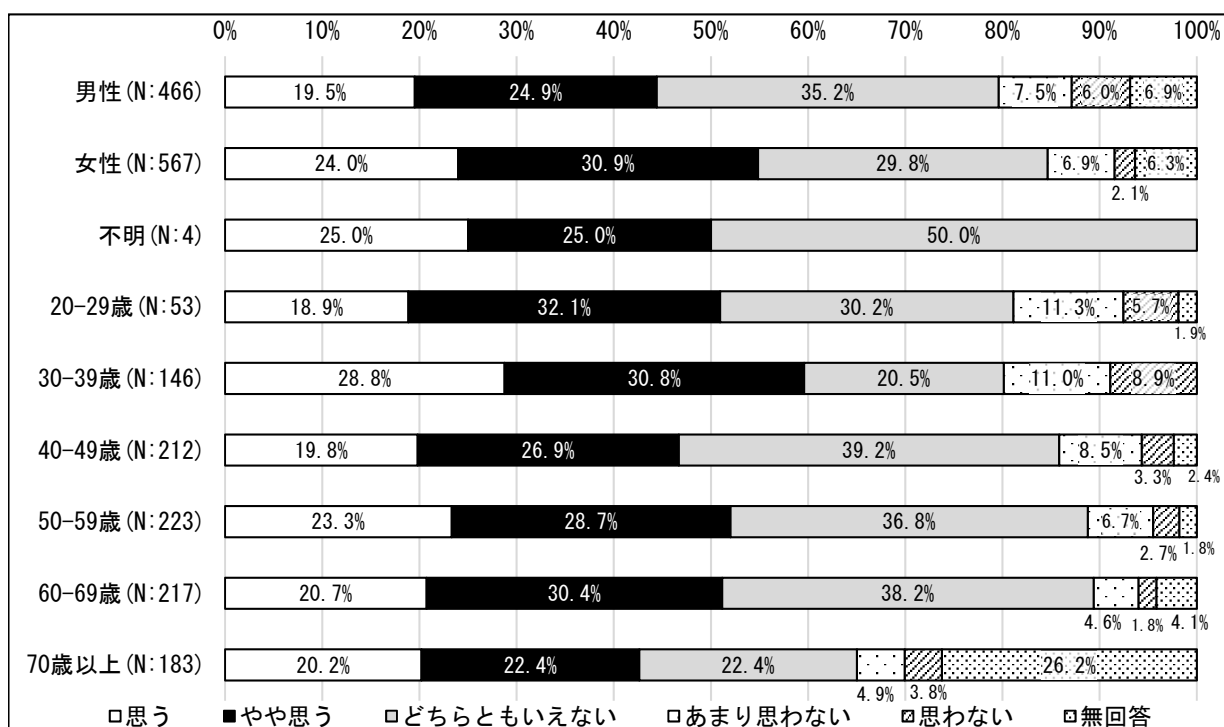
・福祉や介護の仕事



「思う」、「やや思う」の合計は、「資格や専門性が生かせる」が最も大きく、次いで「やりがいがある」、「将来性がある」となっている。一方、「あまり思わない」、「思わない」の合計は、「給料や休みの条件がよい」が最も大きく、次いで「勤務時間等の条件がよい」、「職場の雰囲気がよい」となっている。

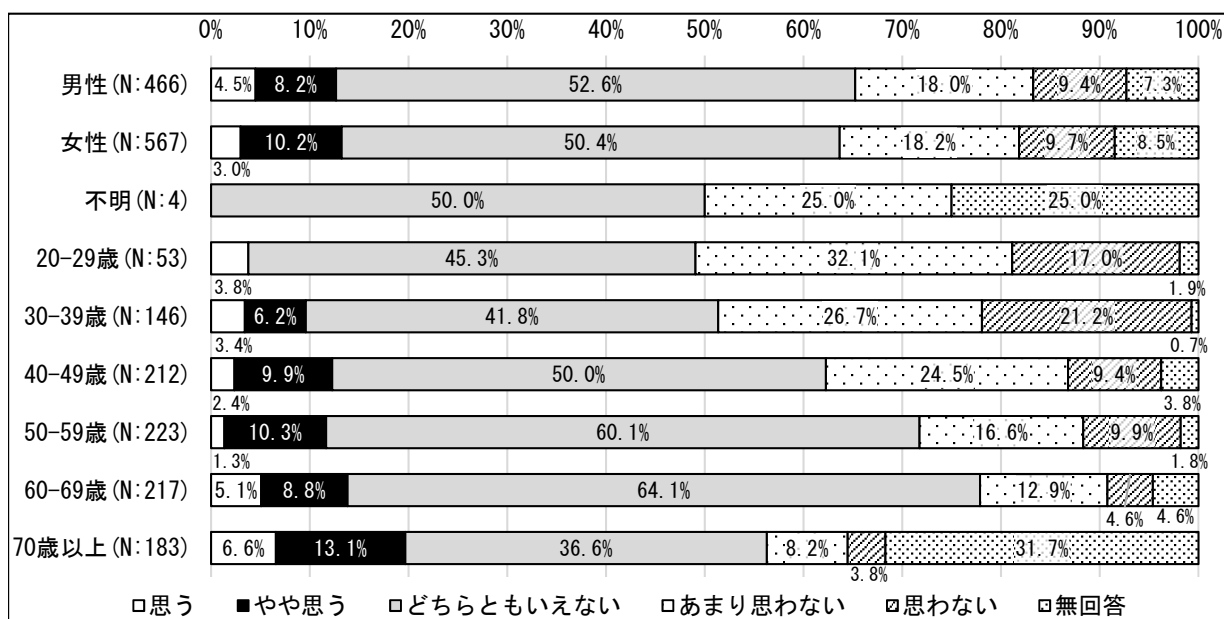
【男女別・年代別】

(やりがいがある)



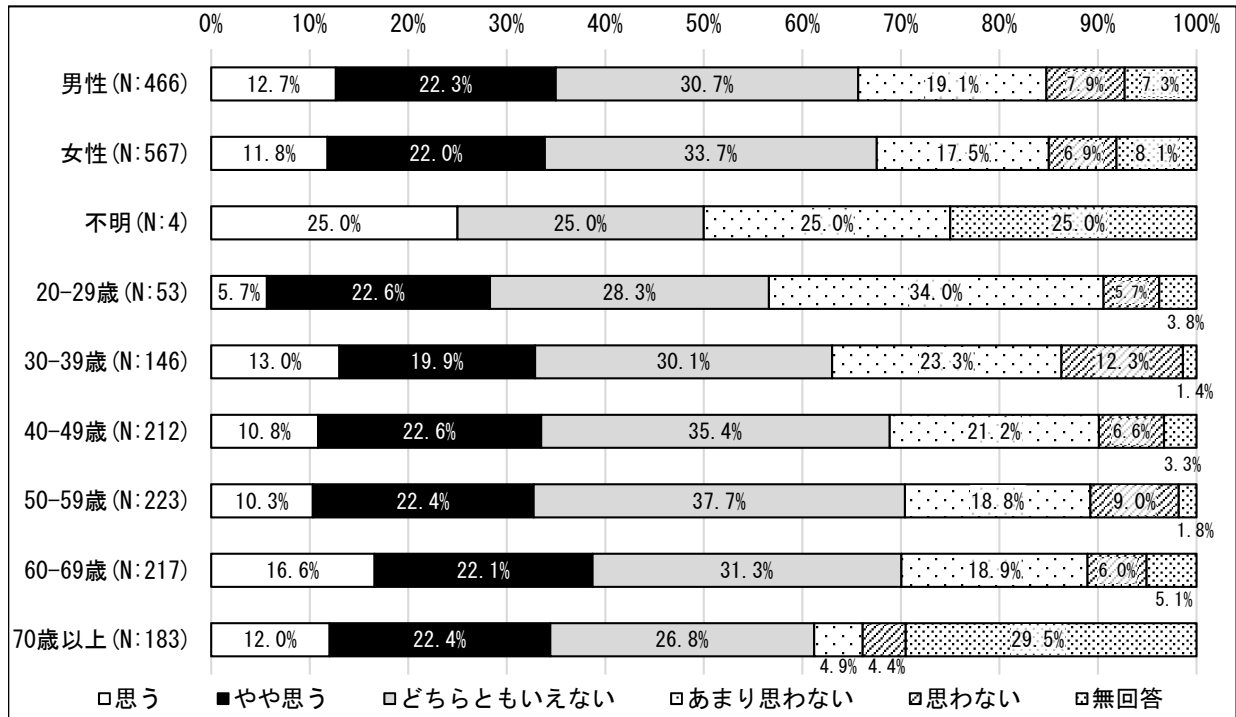
性別、年齢を問わず、「思う」、「やや思う」の合計が、「あまり思わない」、「思わない」の合計を大きく上回っている。

(職場の雰囲気がよい)



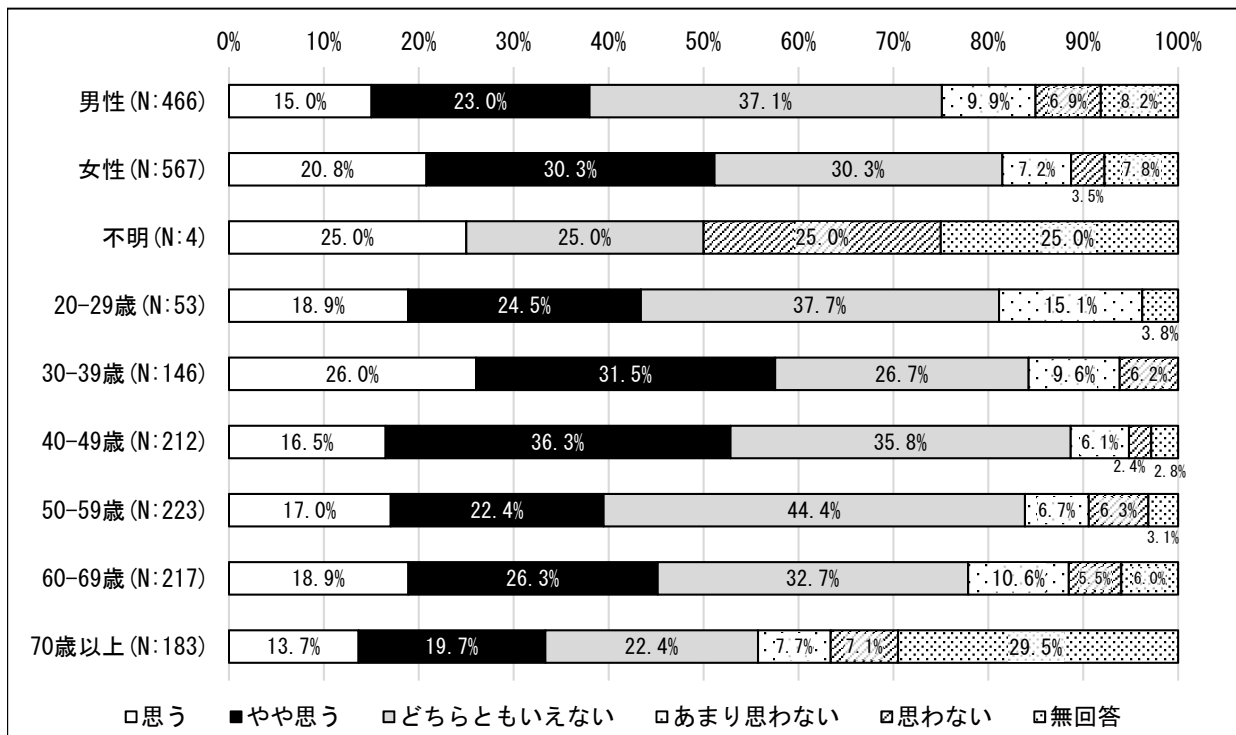
性別、年齢を問わず、「どちらともいえない」が最も大きく、かつ「70歳以上」を除き「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を上回っている。また、年代が下がるにつれて「あまり思わない」、「思わない」の合計が大きくなっている。

(社会的な評価が高い)



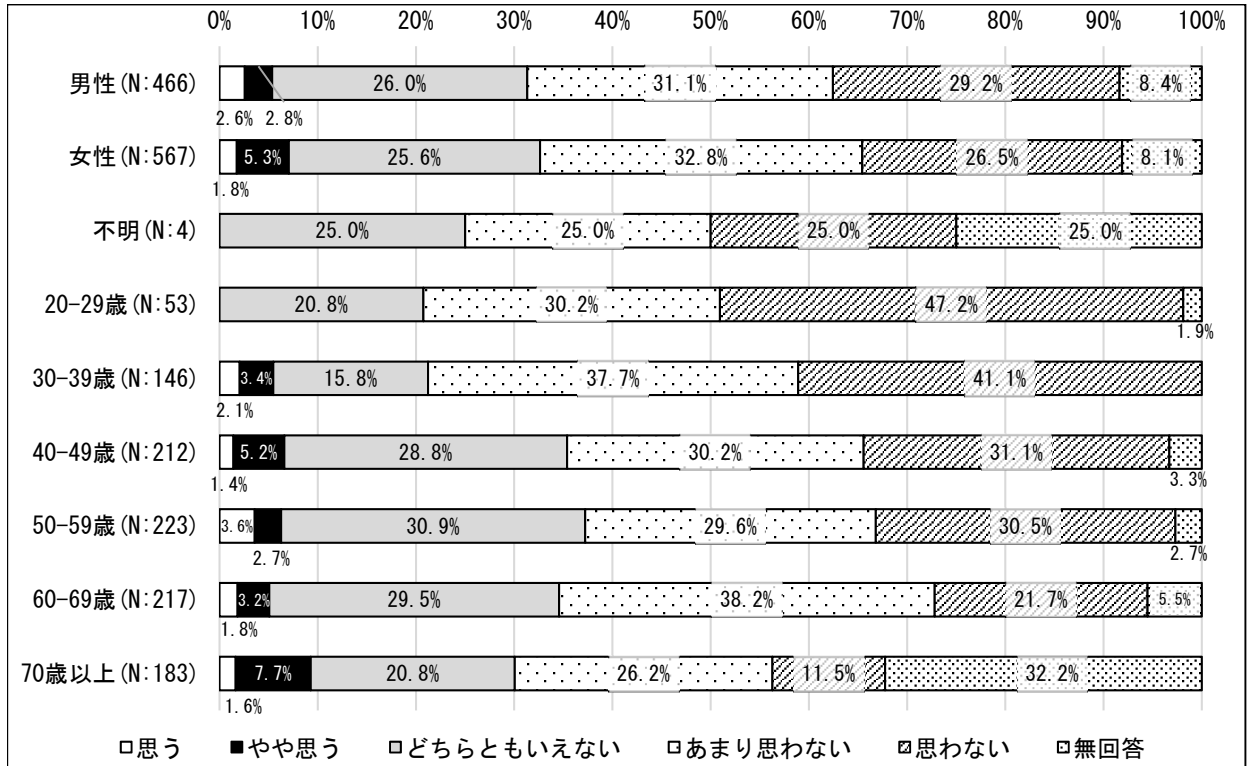
男女ともに、また「20代」、「30代」を除く年代で、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。「20代」、「30代」は、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を上回っている。

(就職先に困らない)



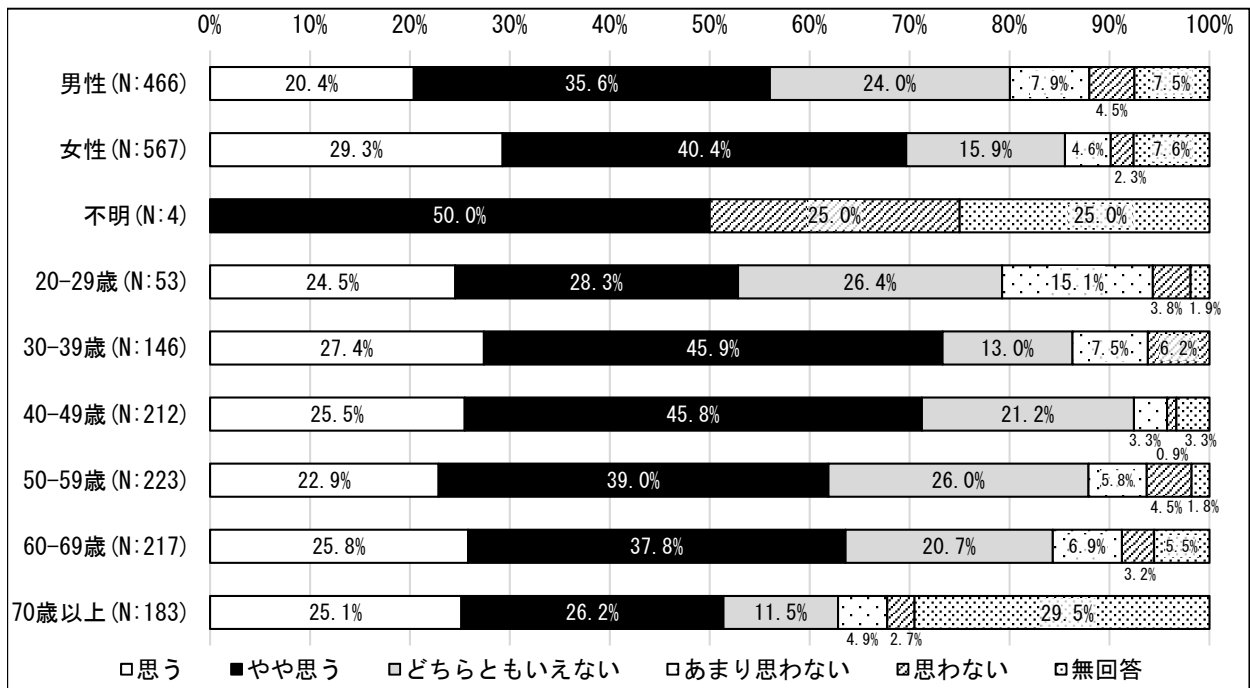
性別、年代を問わず、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っており、その差は男性より女性の方が大きくなっている。

(給料や休みの条件がよい)



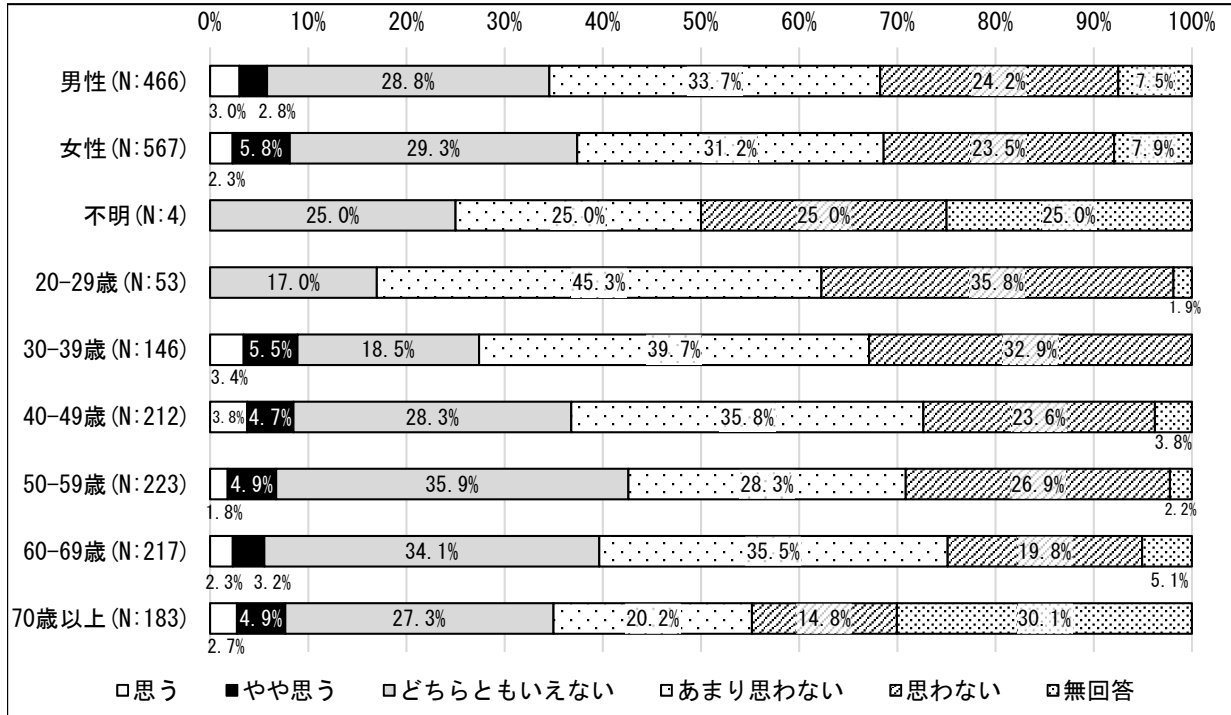
性別、年代を問わず、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を大きく上回っている。

(資格や専門性が生かせる)



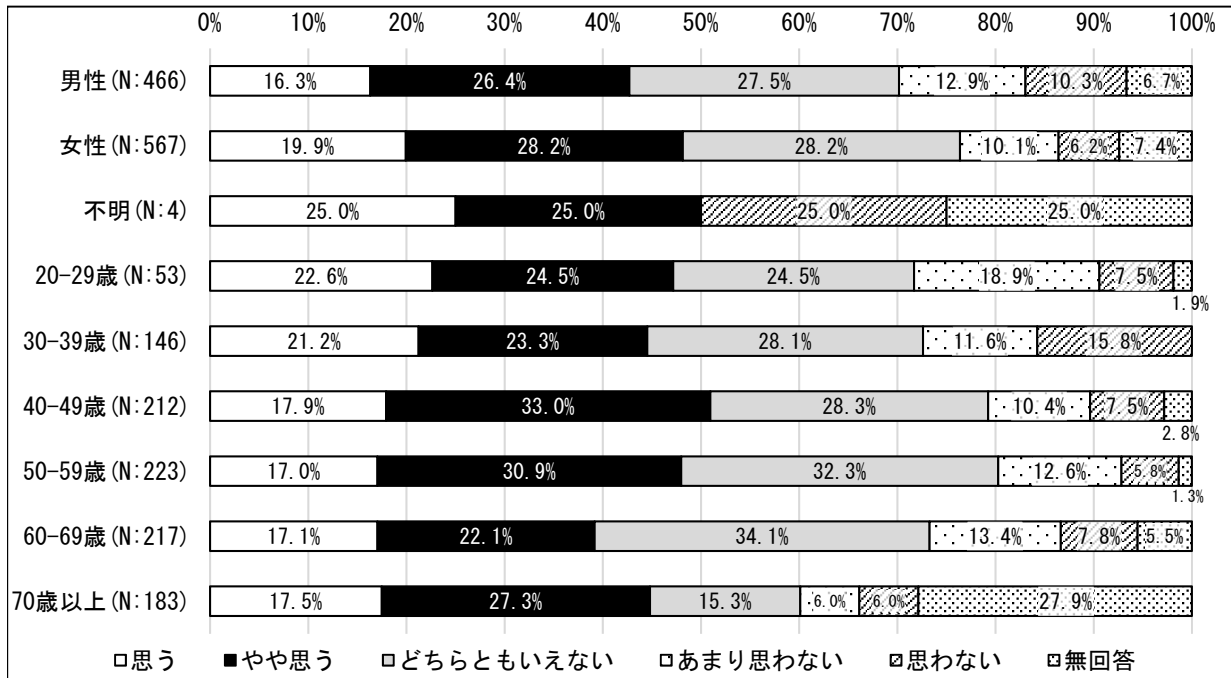
性別、年代を問わず、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っており、性別で見ると、男性より女性の方が顕著に大きくなっている。また、「思う」の割合は「30代」まで年代が下がるほど大きくなっている。

(勤務時間等の条件がよい)



性別、年代を問わず、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を大きく上回っている。また、「20代」は、「思わない」の割合が他年代より大きくなっている。

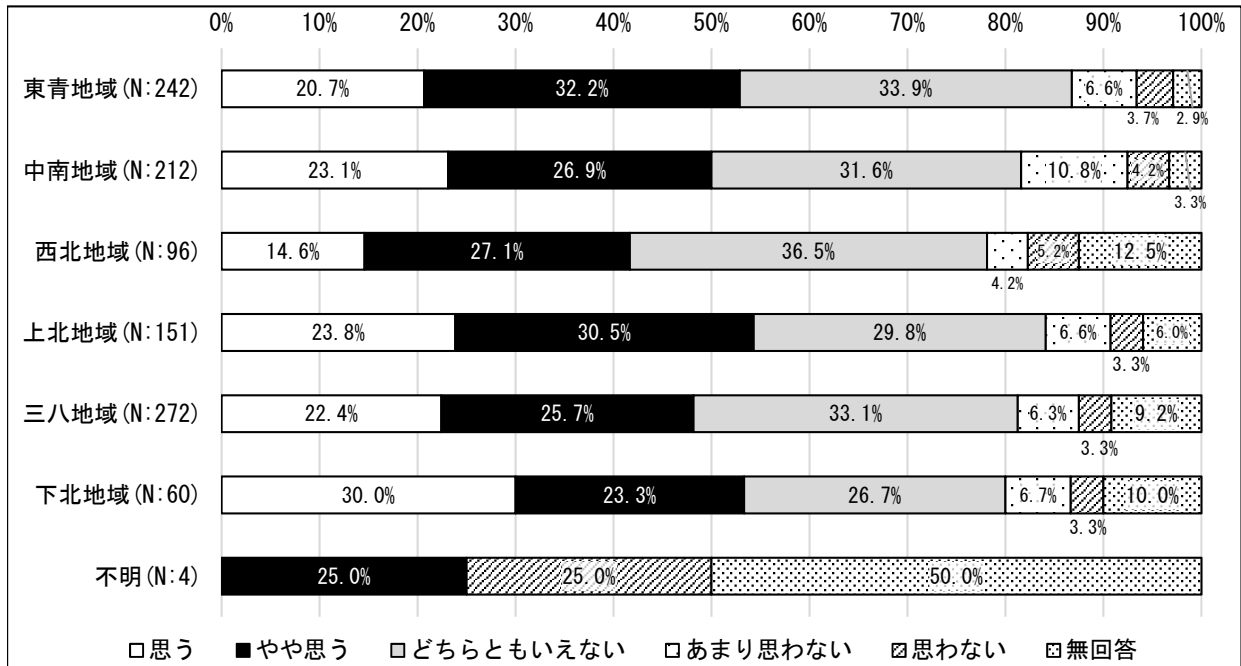
(将来性がある)



性別、年代を問わず、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。

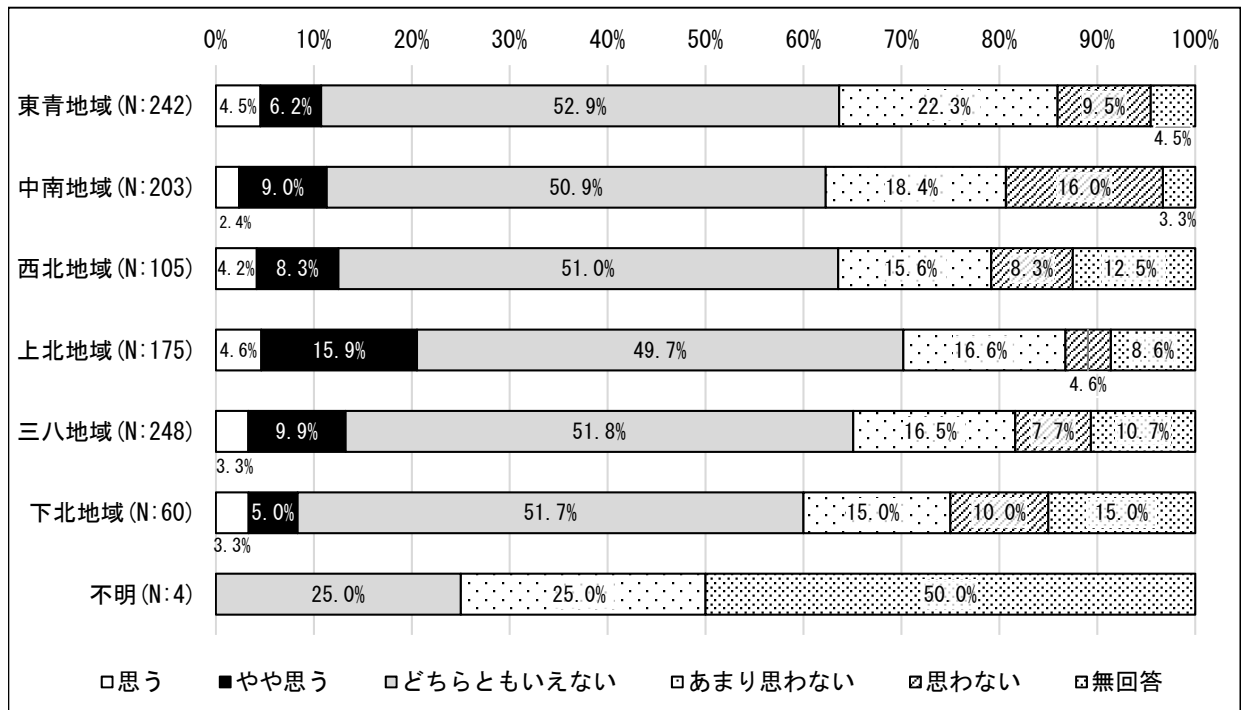
【地域別】

(やりがいがある)



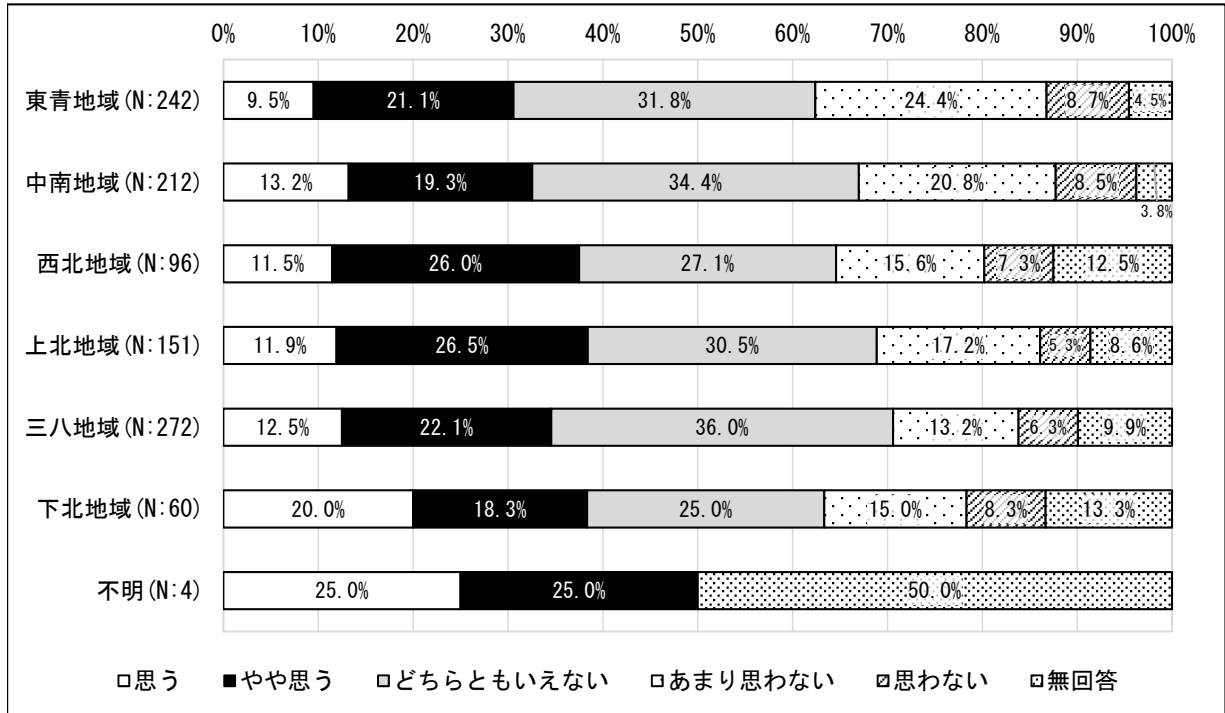
全ての地域で、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。特に「下北地域」は「思う」の割合が他地域より大きくなっている。

(職場の雰囲気がい)



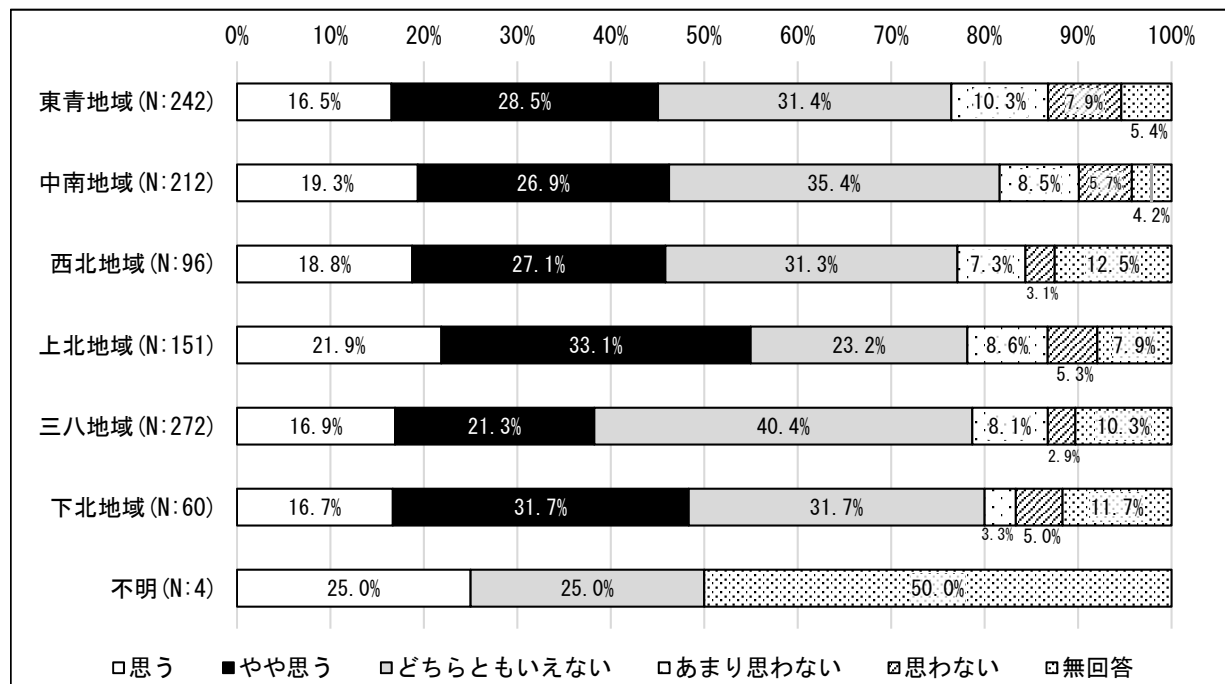
全ての地域で「どちらともいえない」が最も大きく、かつ、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を上回っている。

(社会的な評価が高い)



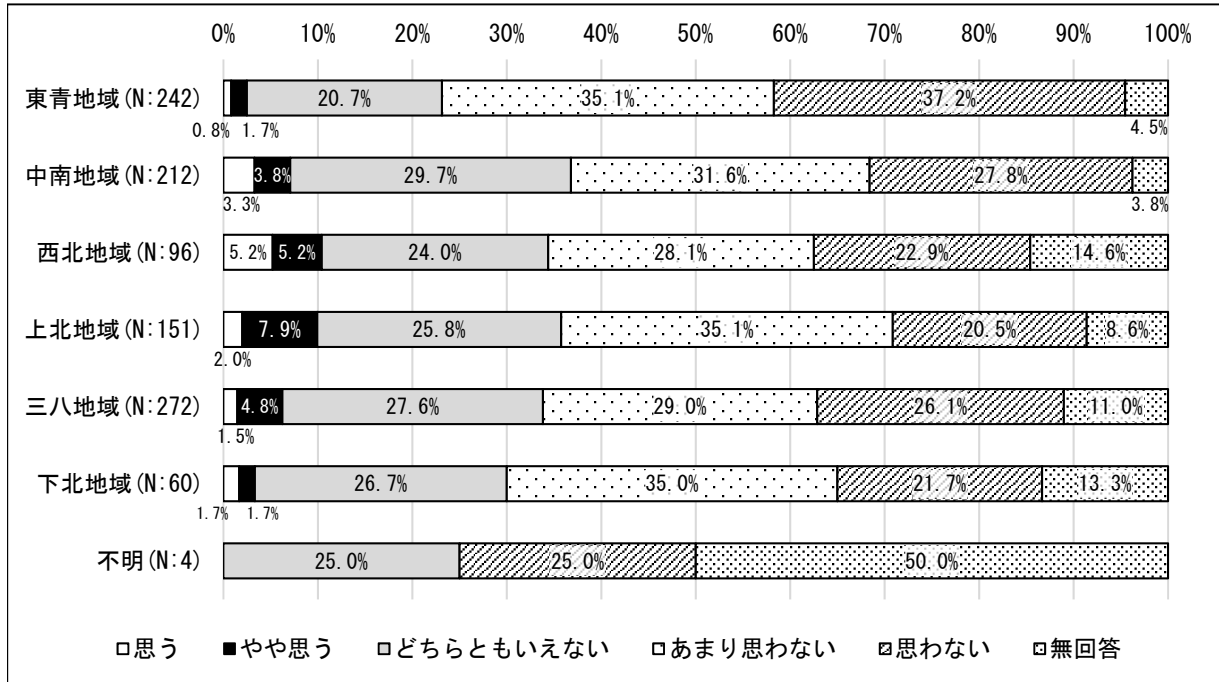
「東青地域」は「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を上回っている。その他の地域は、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。

(就職先に困らない)



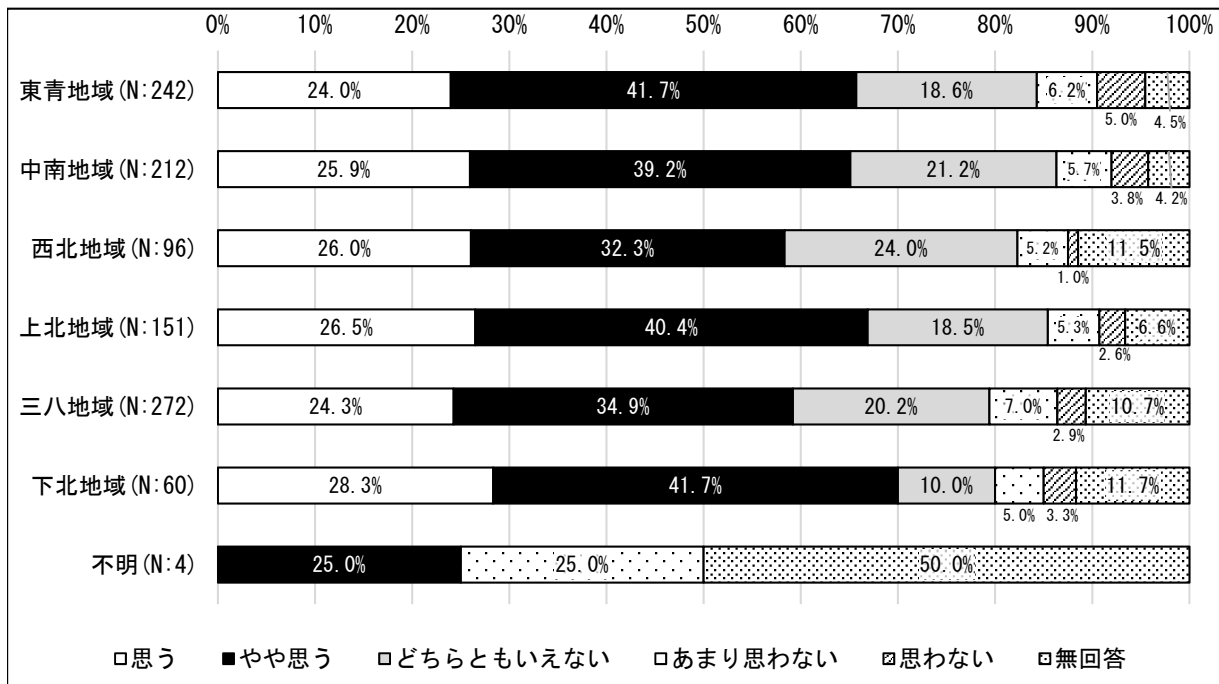
全ての地域で、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。

(給料や休みの条件がよい)



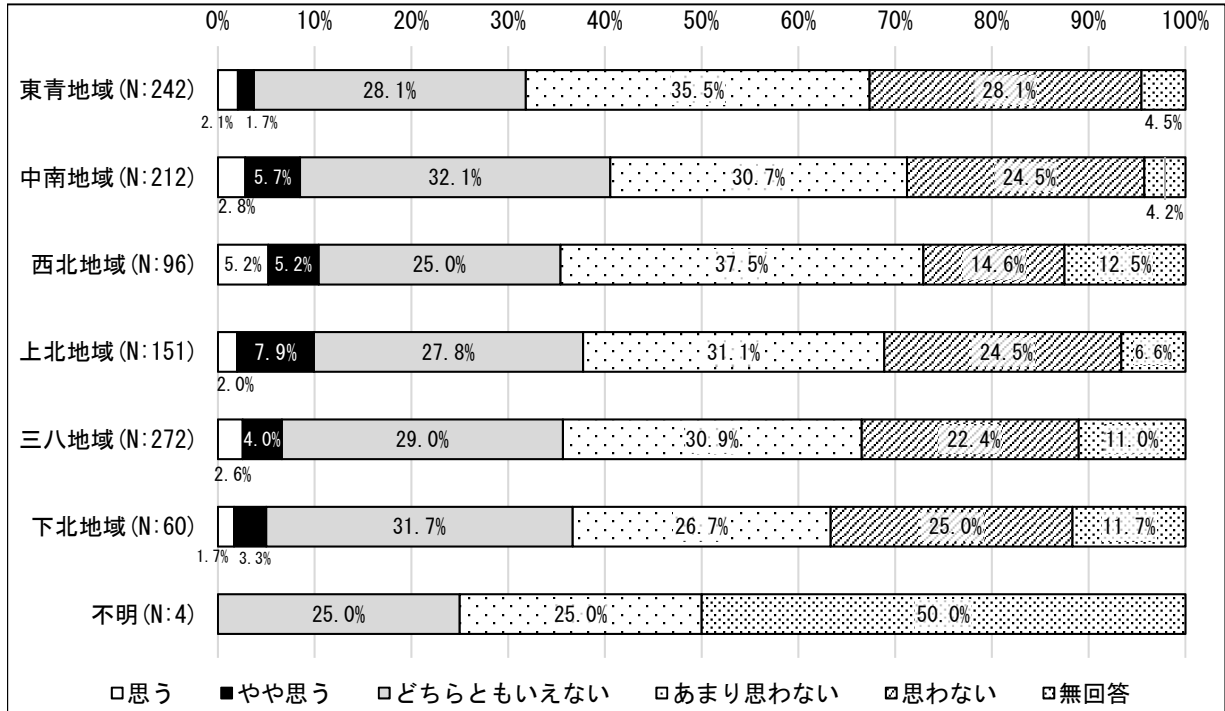
全ての地域で、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を大きく上回っている。

(資格や専門性が生かせる)



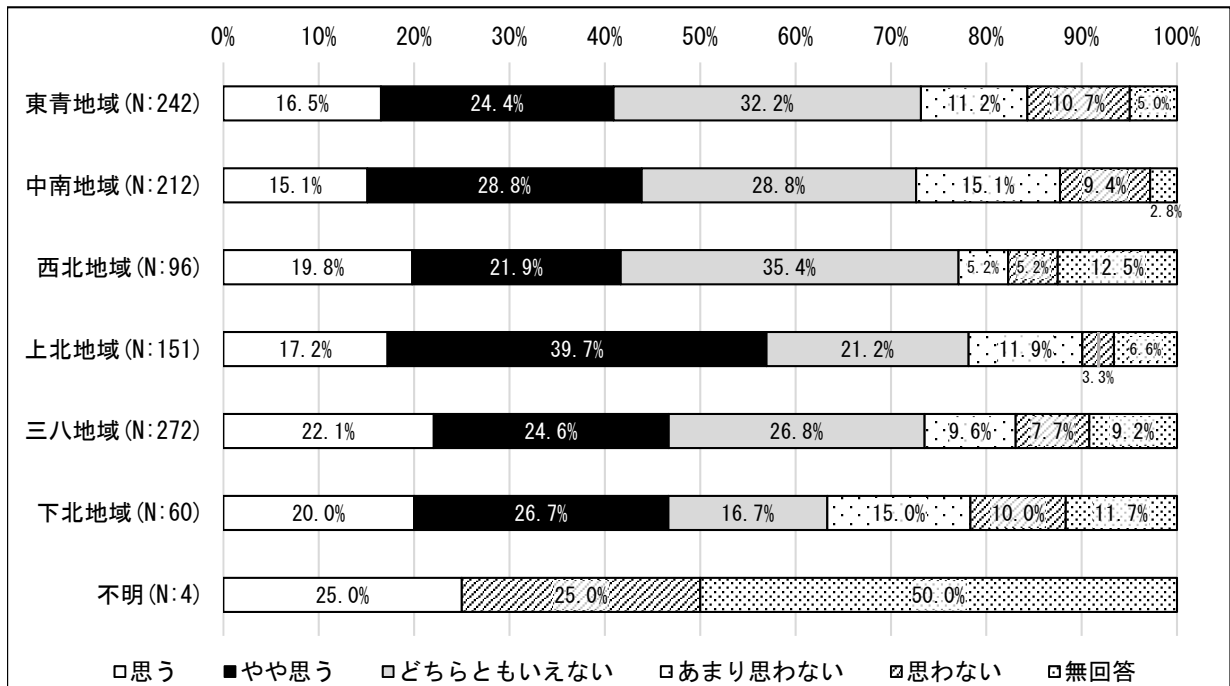
全ての地域で、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を大きく上回っている。

(勤務時間等の条件がよい)



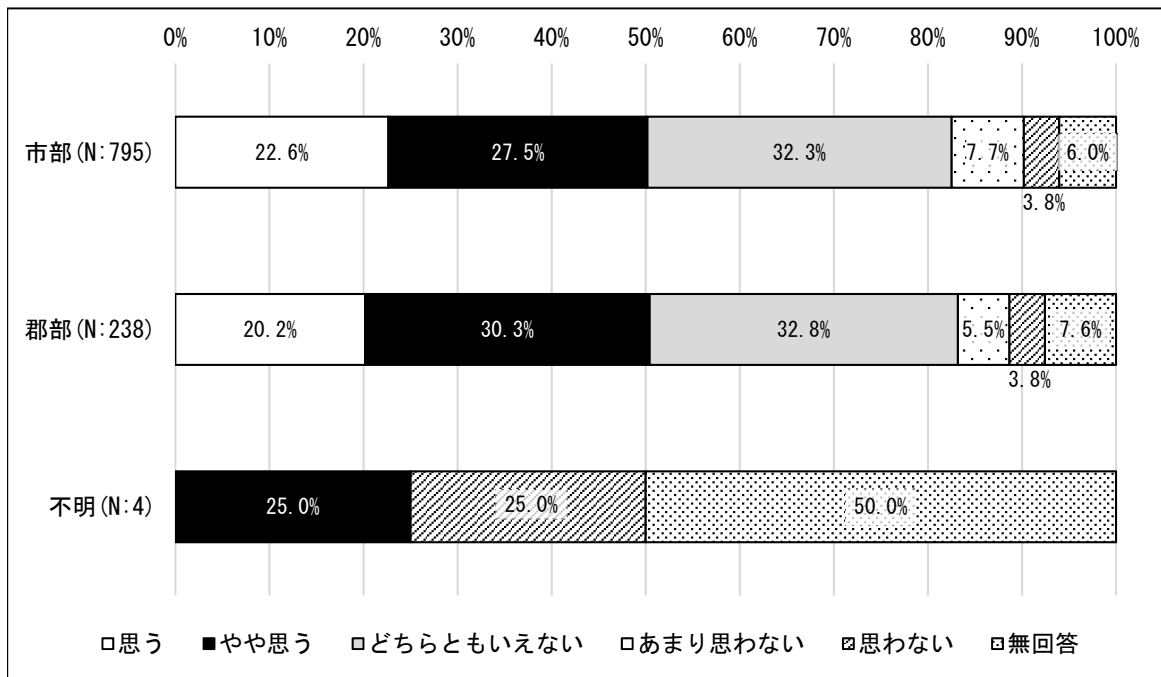
全ての地域で、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を大きく上回っている。

(将来性がある)



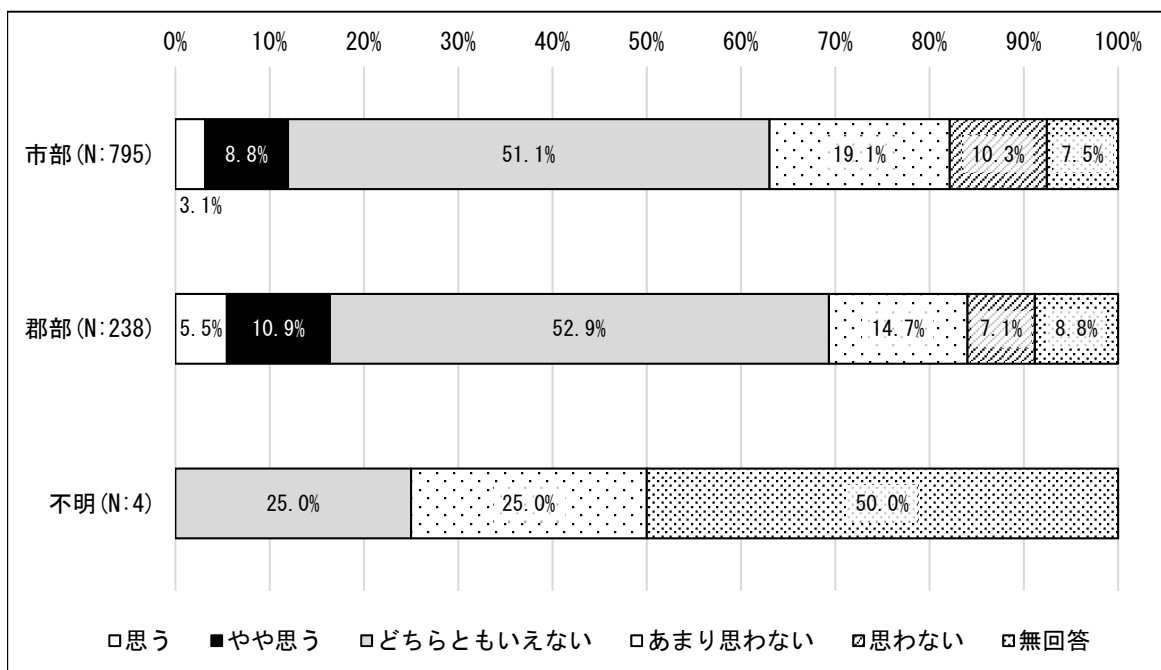
全ての地域で、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。

【市部・郡部別】
 (やりがいがある)



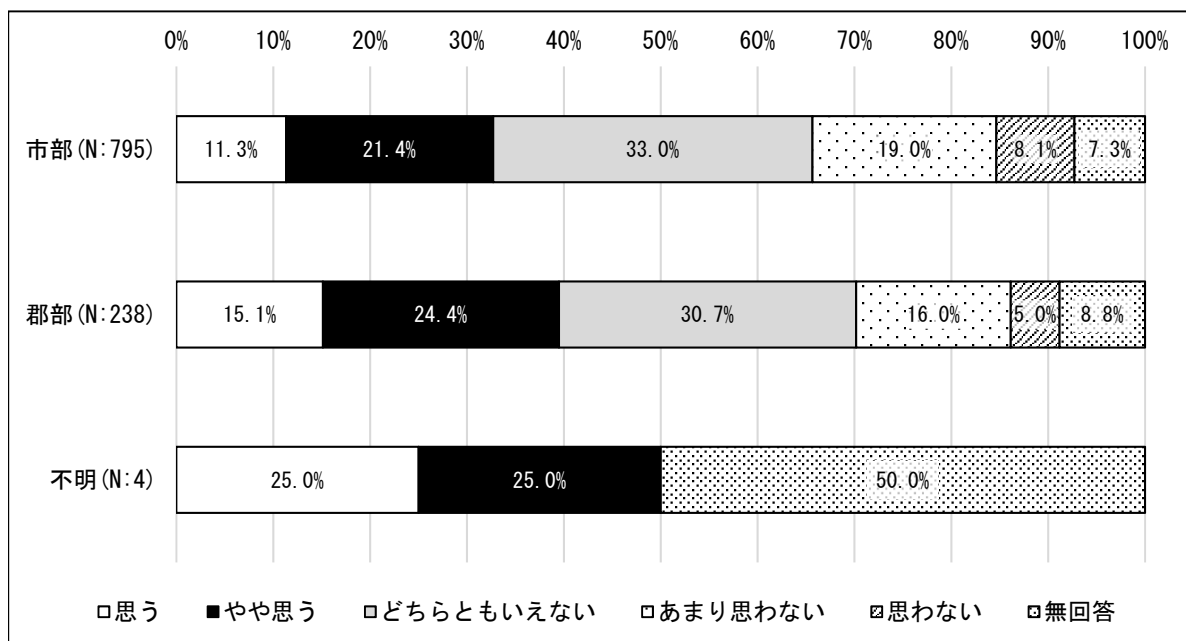
「市部」、「郡部」ともに、「思う」、「やや思う」の合計が、「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。

(職場の雰囲気がよい)



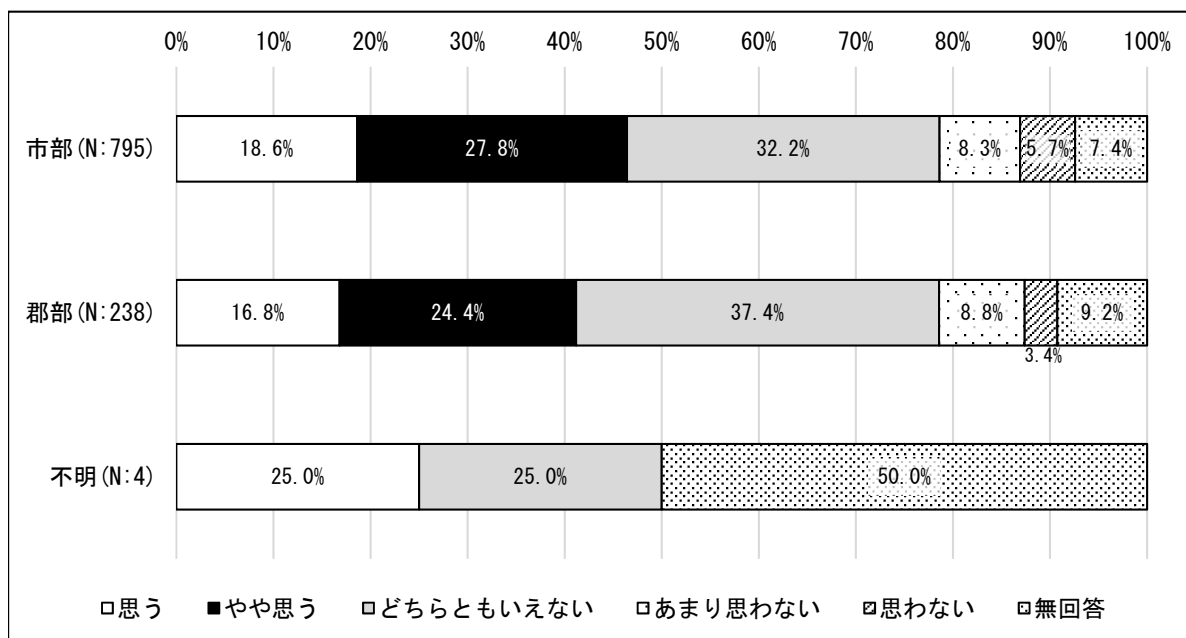
「市部」、「郡部」ともに、「どちらともいえない」が最も大きく、かつ「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を上回っている。

(社会的な評価が高い)



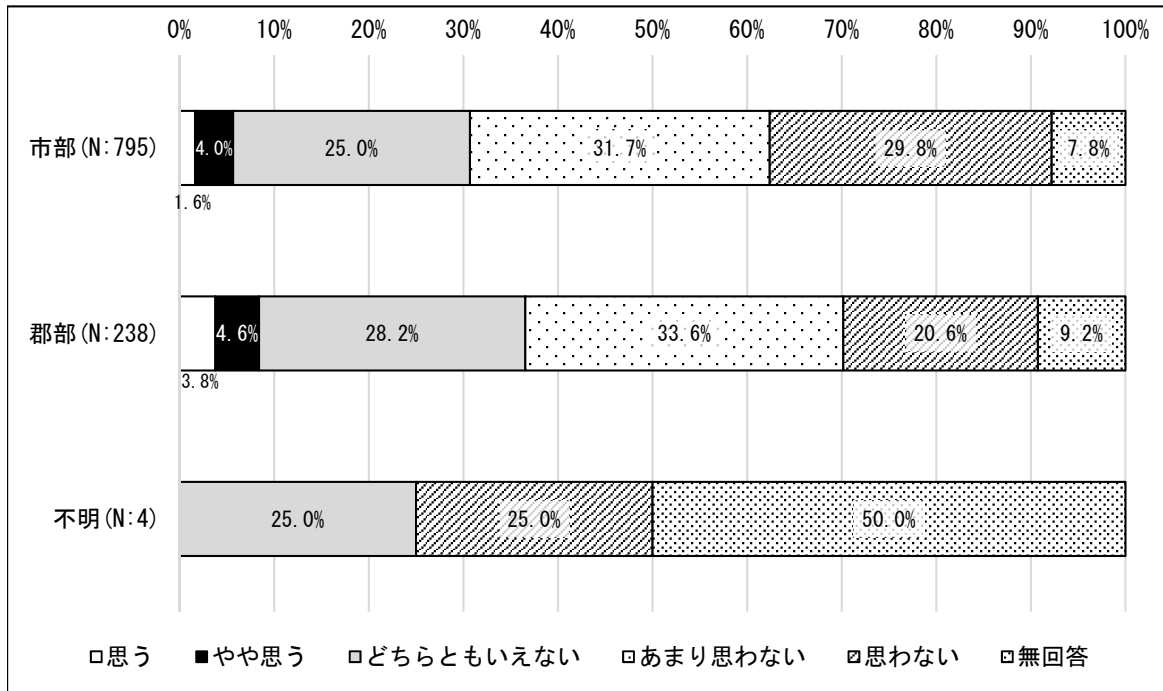
「市部」、「郡部」ともに、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。

(就職先に困らない)



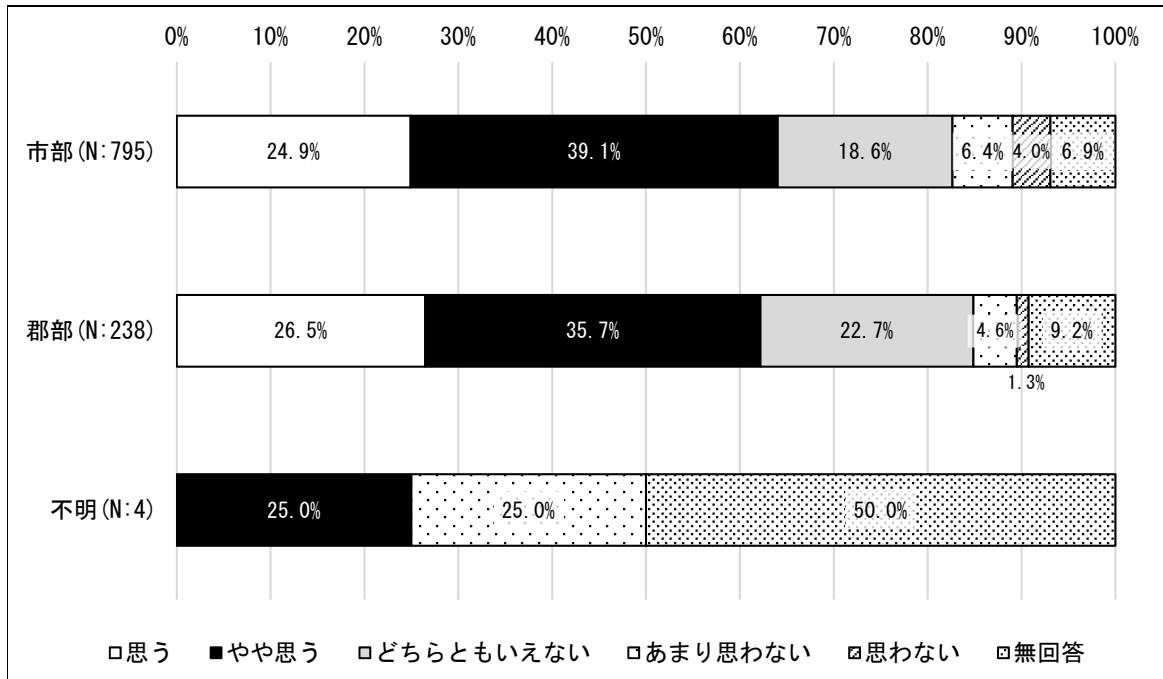
「市部」、「郡部」ともに、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を上回っている。

(給料や休みの条件がよい)



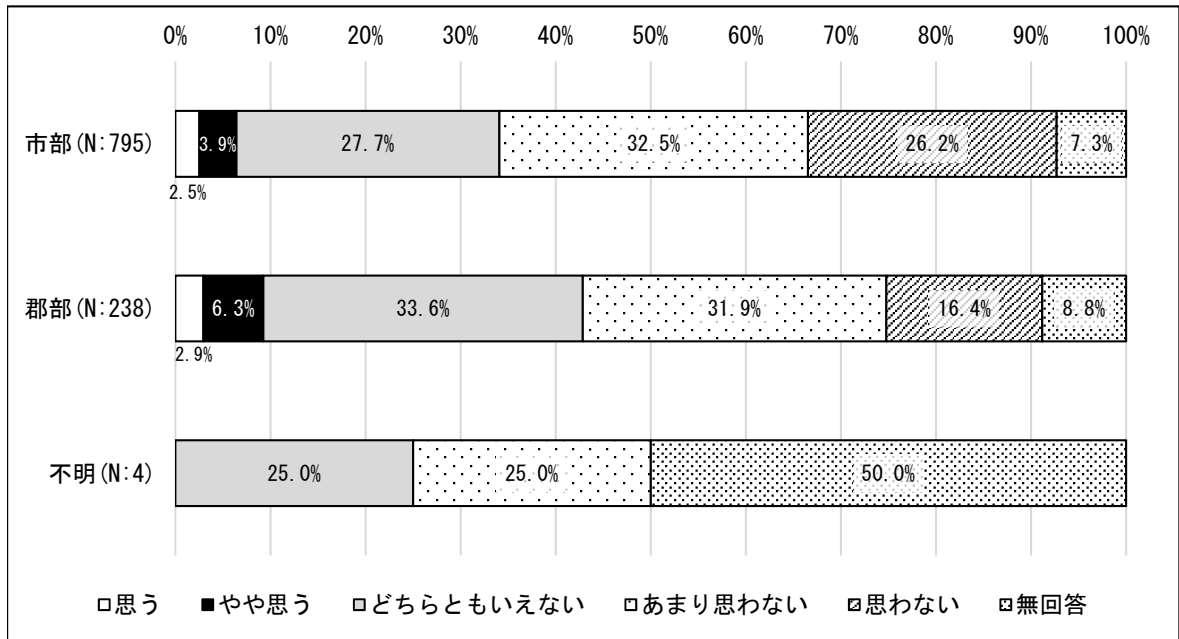
「市部」、「郡部」ともに、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を大きく上回っている。

(資格や専門性が生かせる)



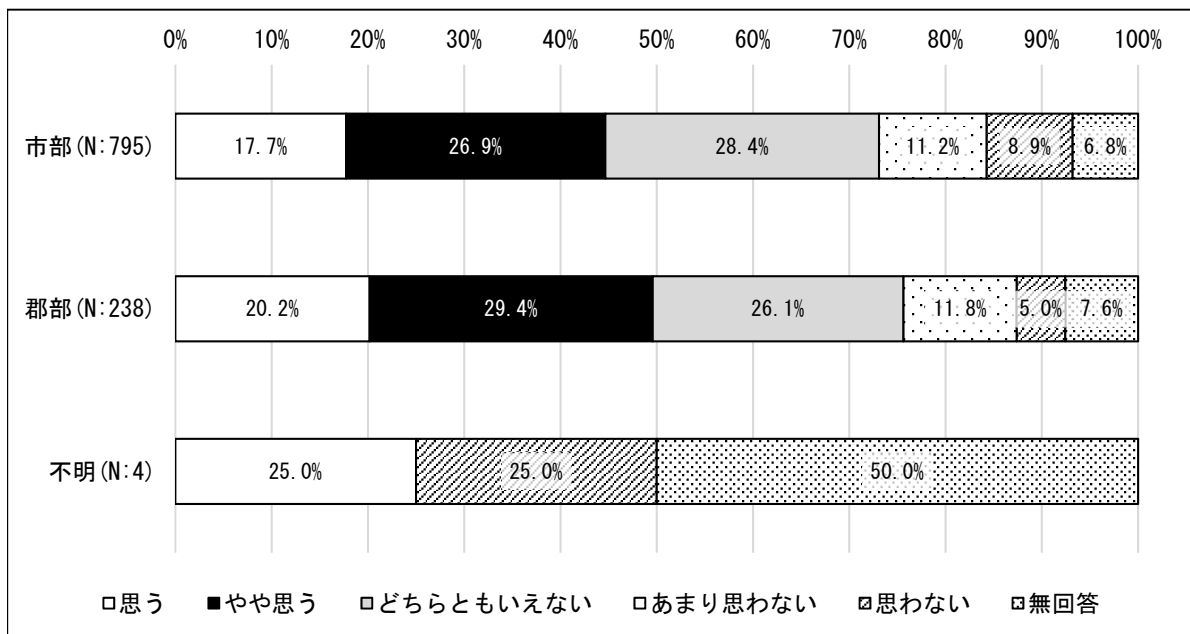
「市部」、「郡部」ともに、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を大きく上回っている。

(勤務時間等の条件がよい)



「市部」、「郡部」ともに、「あまり思わない」、「思わない」の合計が「思う」、「やや思う」の合計を大きく上回っている。

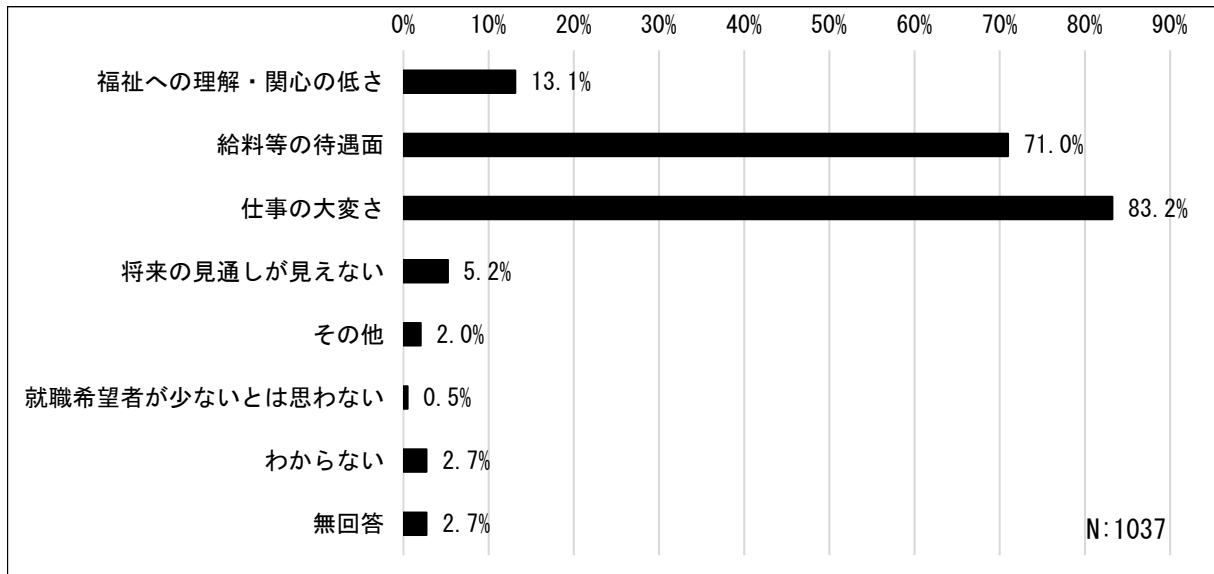
(将来性がある)



「市部」、「郡部」ともに、「思う」、「やや思う」の合計が「あまり思わない」、「思わない」の合計を大きく上回っている。

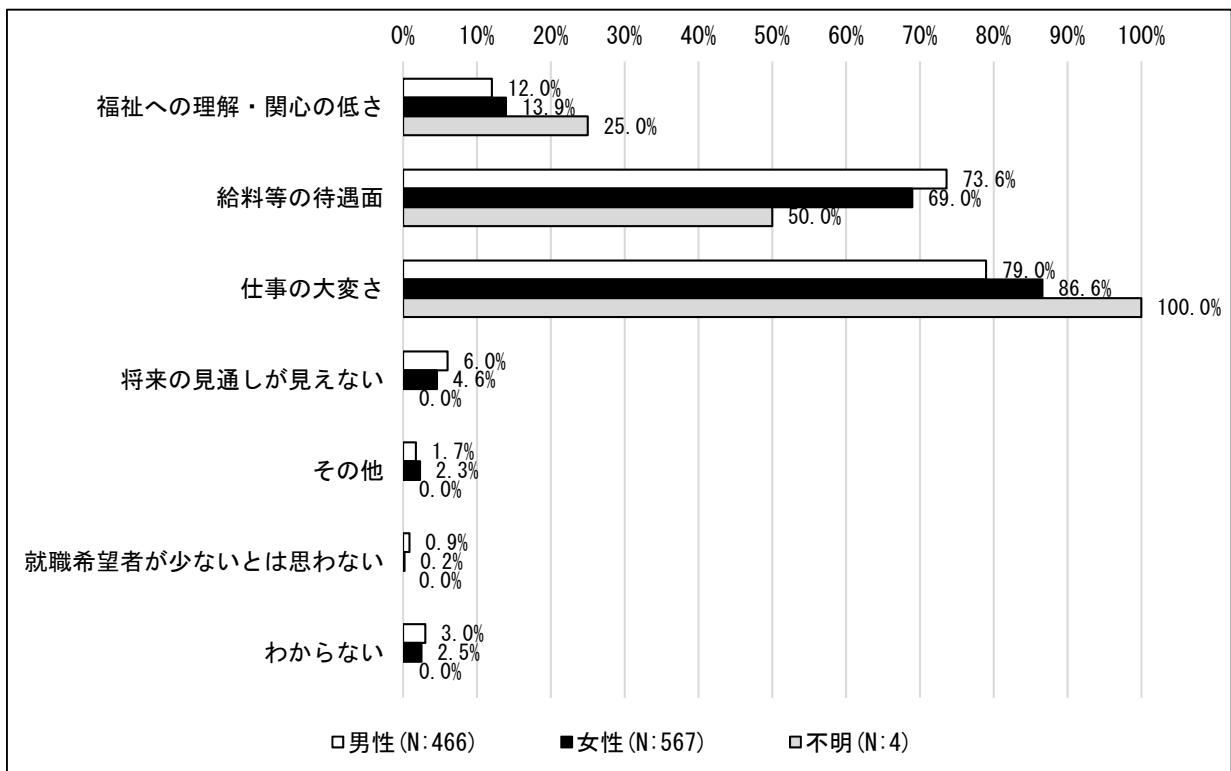
問 35. 福祉関係への就職希望者が少ない傾向にあります。その理由としてどのようなことが考えられますか。（2つまで）

・福祉関係への就職希望者が少ない理由



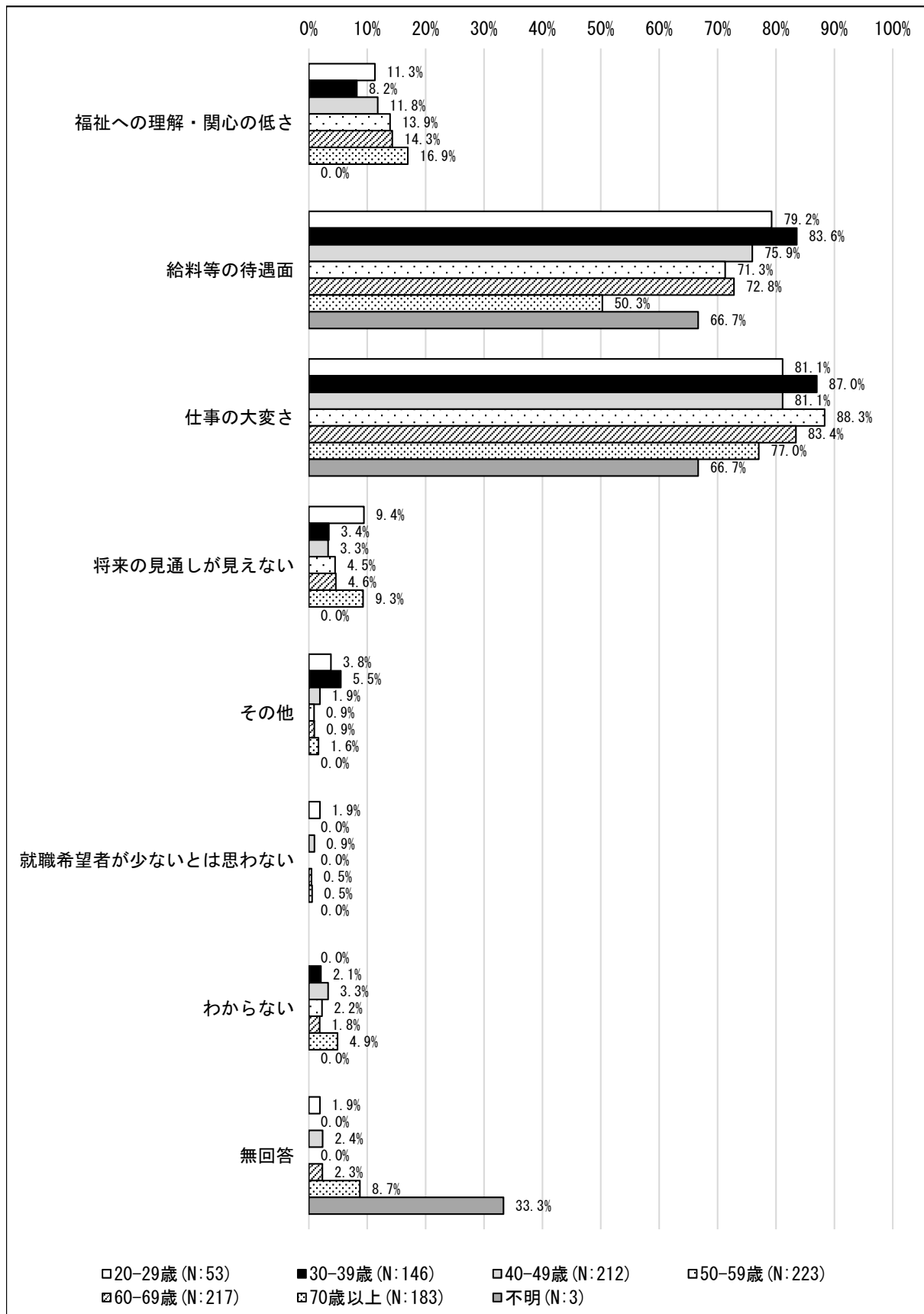
「仕事の大変さ」が83%、「給料などの待遇面」が71%、「福祉への理解・関心の低さ」が13%となっている。

【男女別】



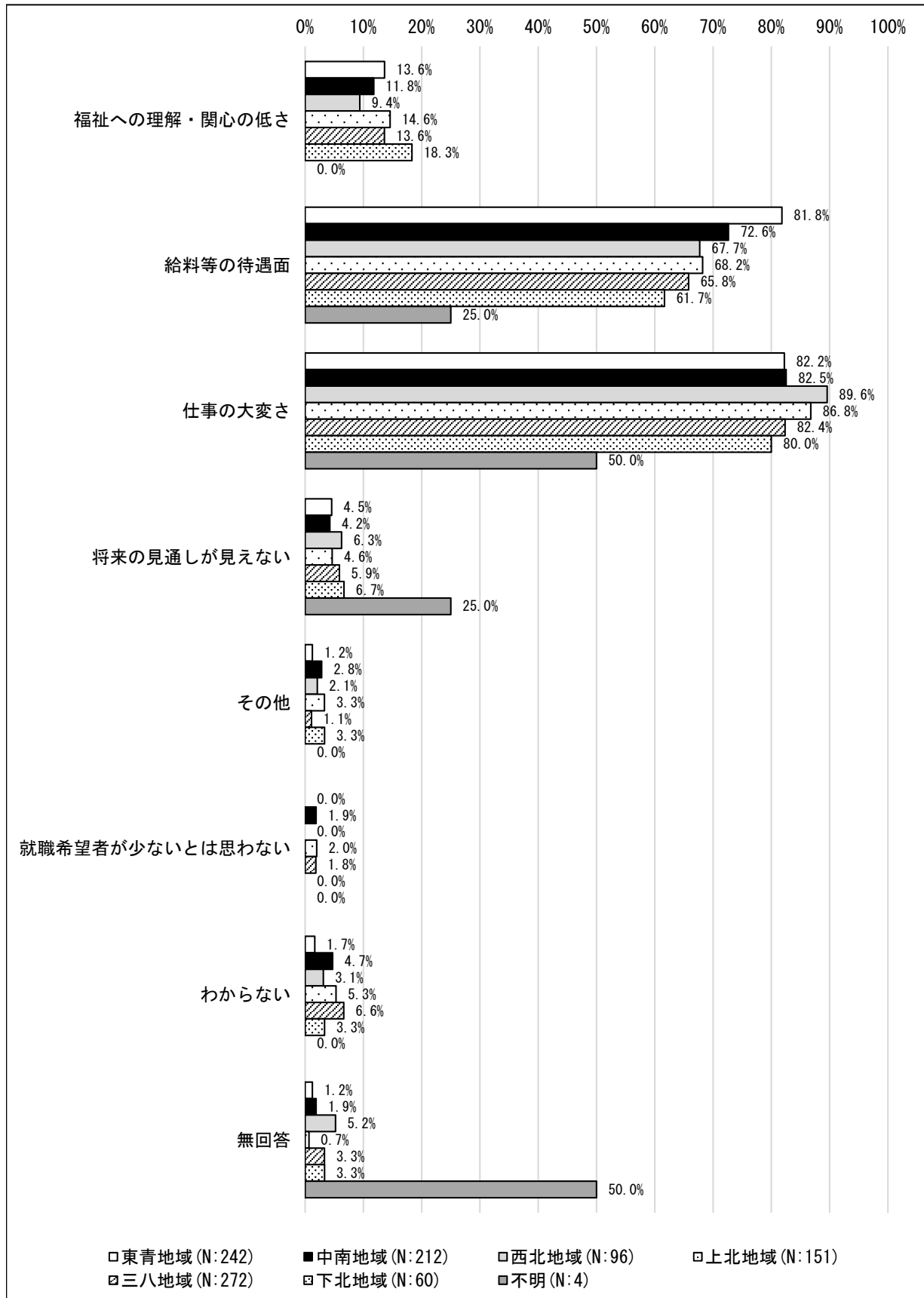
男女ともに「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料などの待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」の順となっている。

【年代別】



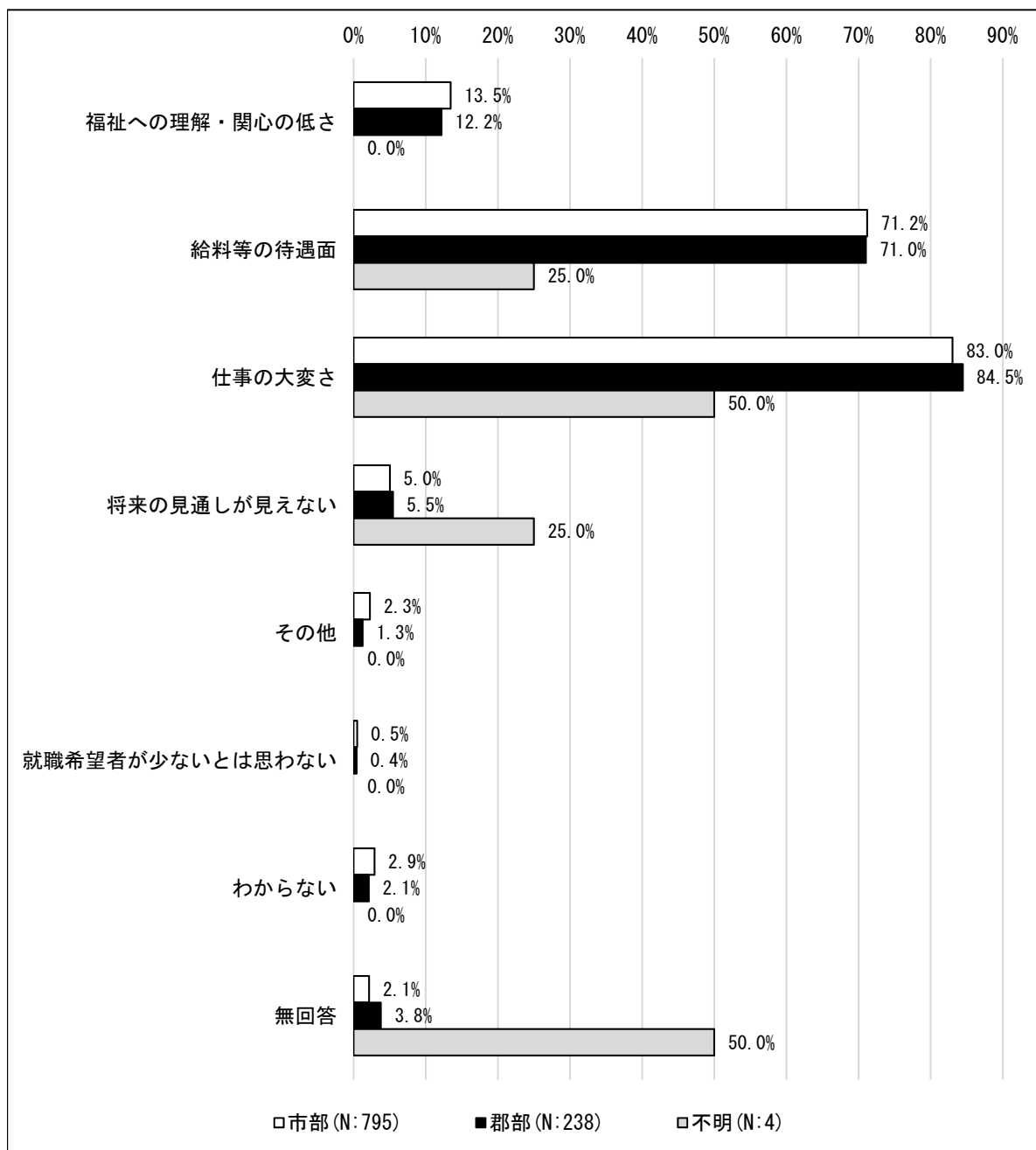
全ての年代で「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料などの待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」となっている。

【地域別】



全ての地域で「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料などの待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」の順となっている。

【市部・郡部別】



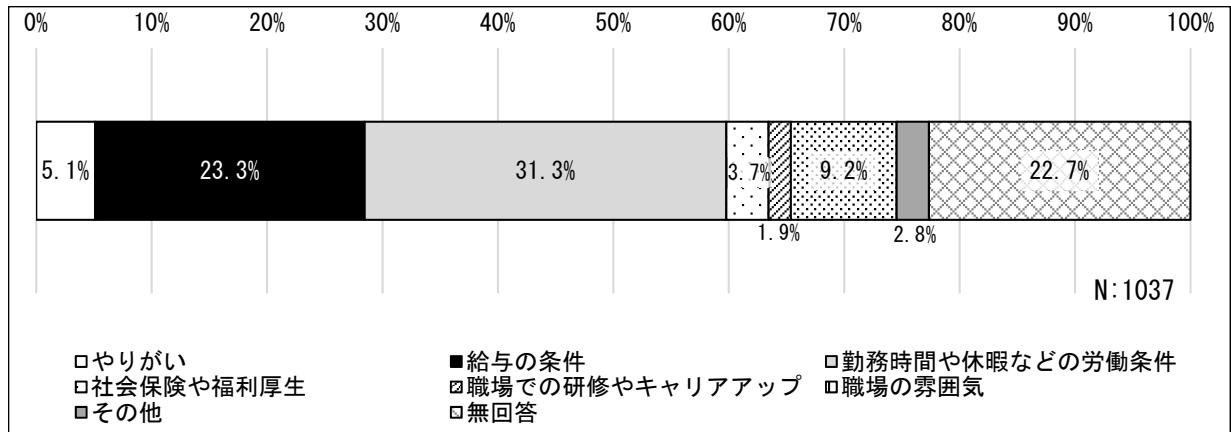
「市部」、「郡部」とともに「仕事の大変さ」が最も大きく、次いで「給料などの待遇面」、「福祉への理解・関心の低さ」の順となっている。

【自由回答より】

- ・シフト勤務や残業等、業務が過酷であるにも関わらず給与が低い。利用者のオムツ交換。
- ・職員は高給だが現場の人は違う。
- ・職場の人間関係、労働条件が悪い。
- ・入居者、ご家族、会社、職員間の関係の難しさ。

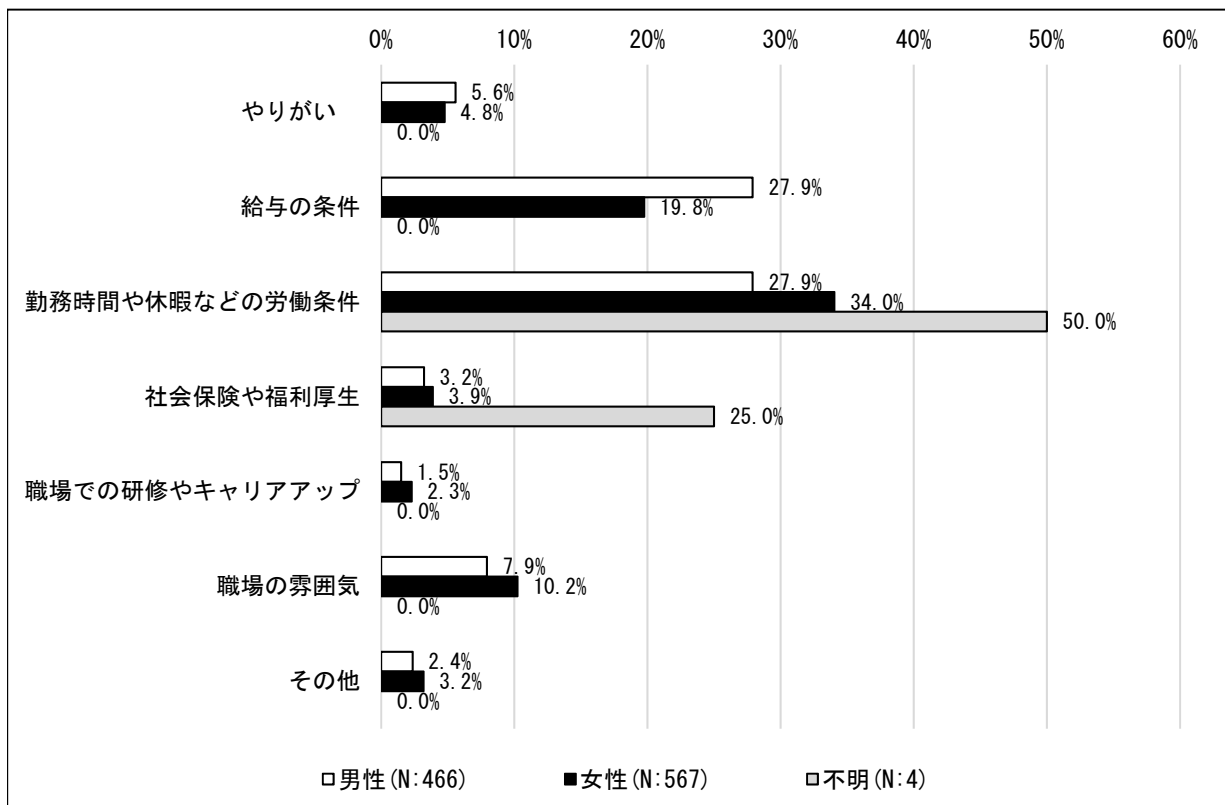
問 36. 福祉や介護の仕事を選ぶ時に、どのような情報が必要ですか。（1つ）

・福祉や介護の仕事を選ぶときに必要な情報



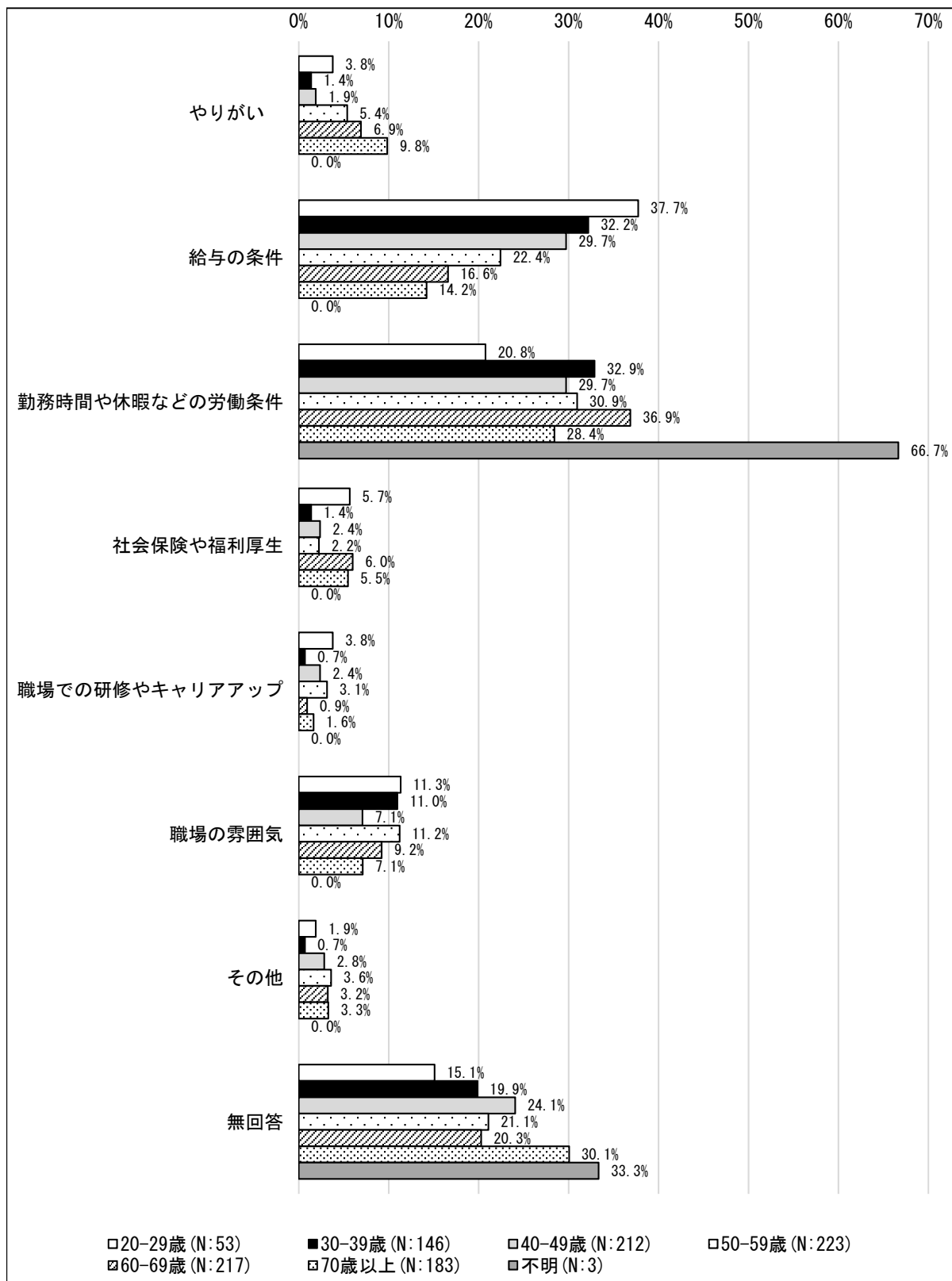
「勤務時間や休暇などの労働条件」が31%、「給与の条件」が23%、「職場の雰囲気」が9%となっている。

【男女別】



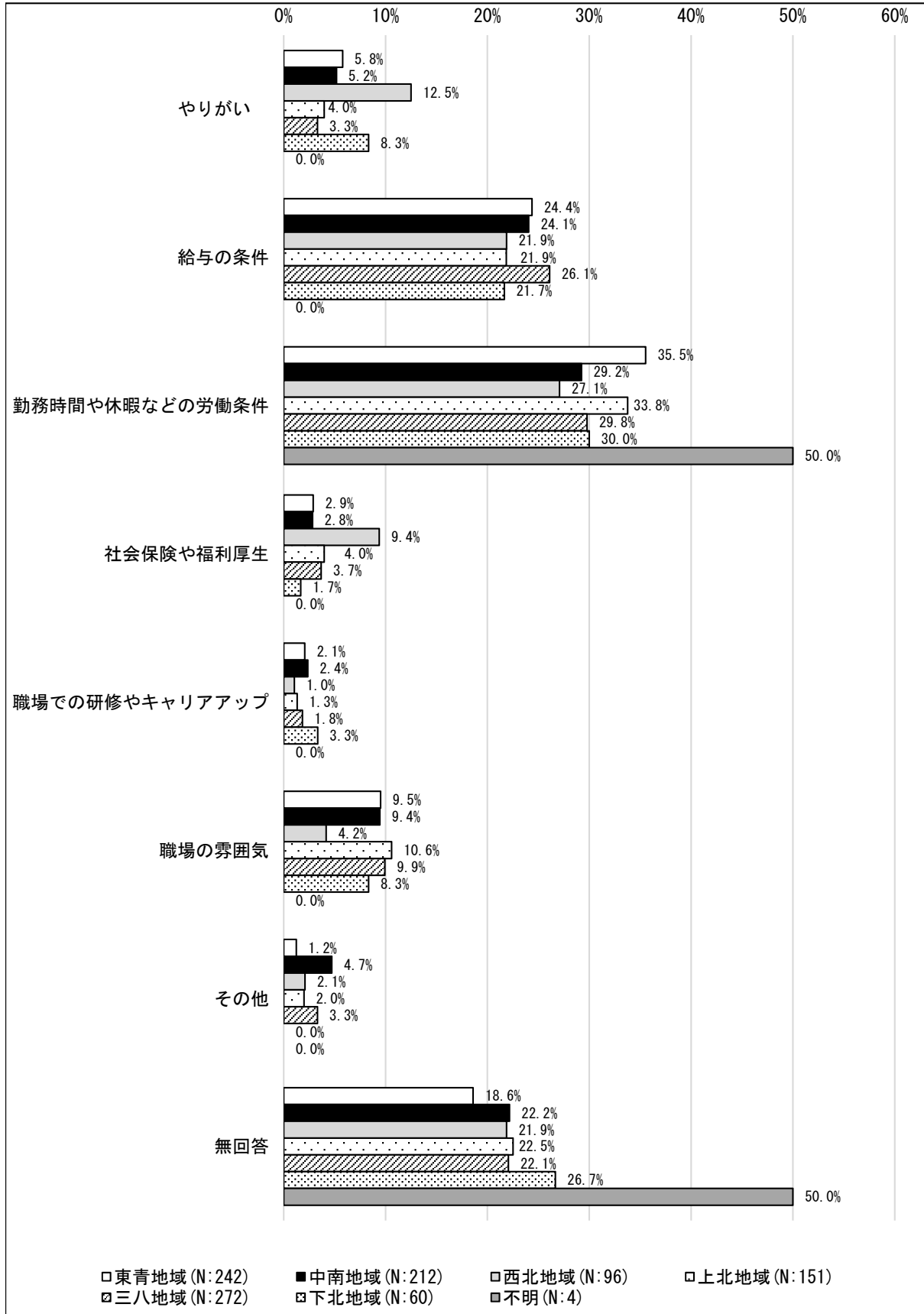
男性は、「給与の条件」、「勤務時間や休暇などの労働条件」が同率で最も大きく、次いで「職場の雰囲気」となっている。女性は、「勤務時間や休暇などの労働条件」が最も大きく、次いで「給与の条件」、「職場の雰囲気」となっている。

【年代別】



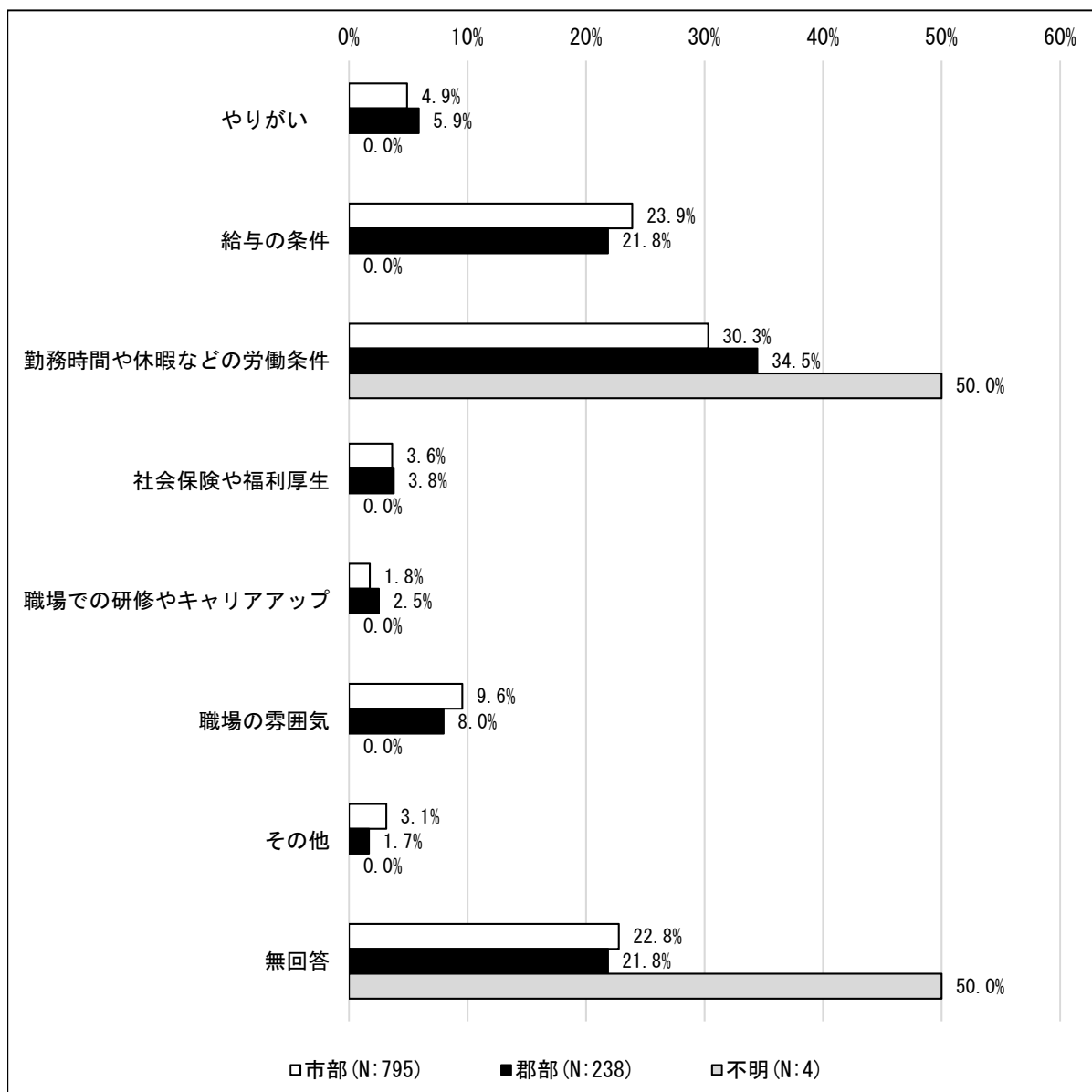
「20代」は「給与の条件」、「40代」は「給与の条件」、「勤務時間や休暇などの労働条件」が同率で、その他の年代は「勤務時間や休暇などの労働条件」が最も大きくなっている。特に「20代」は「給与の条件」が、「60代」は「勤務時間や休暇などの労働条件」がそれぞれ他年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「勤務時間や休暇などの労働条件」、「給与の条件」の順に大きくなっている。

【市部・郡部別】



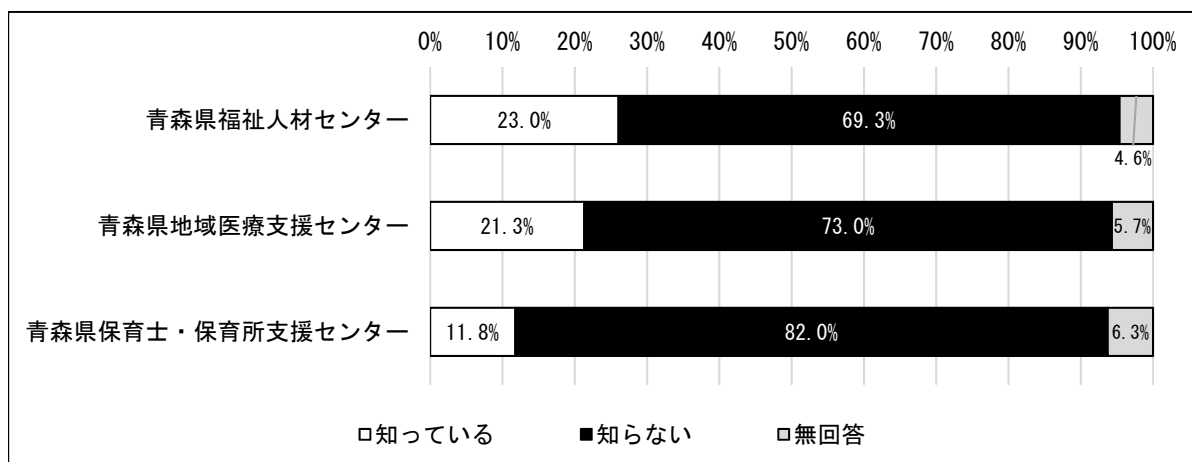
「市部」、「郡部」ともに「勤務時間や休暇などの労働条件」が最も大きく、次いで「給与の条件」、「職場の雰囲気」の順となっている。

【自由回答より】

- ・ 1つではなく全部だと思います!!
- ・ 上記全て+入所者の状況。
- ・ 職場の人数など。

問 37. 福祉・介護人材の就労支援や育成などに取り組む専門機関として、次のセンターのことを知っていますか。（1から3についてそれぞれ1つ）

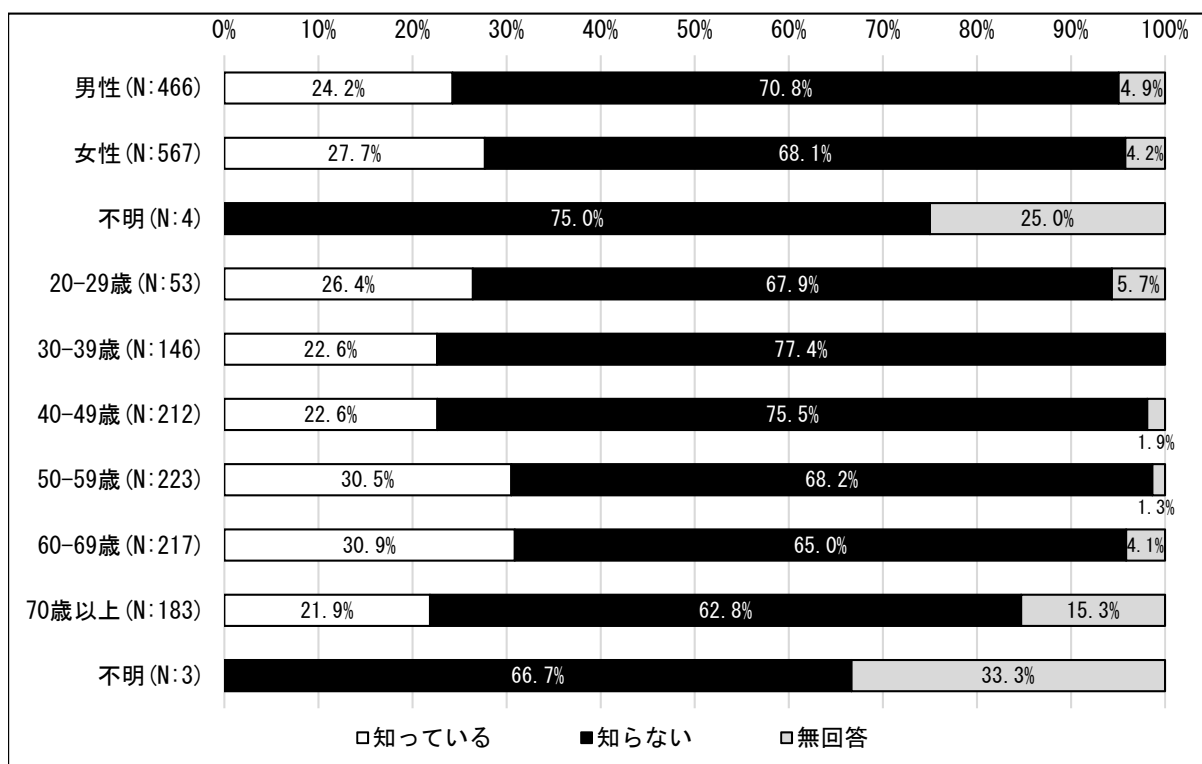
・福祉・介護人材の就労支援や育成などの専門機関



「知っている」の割合は、「青森県福祉人材センター」が23%、「青森県地域医療支援センター」が21%、「青森県保育士・保育所支援センター」が12%となっている。

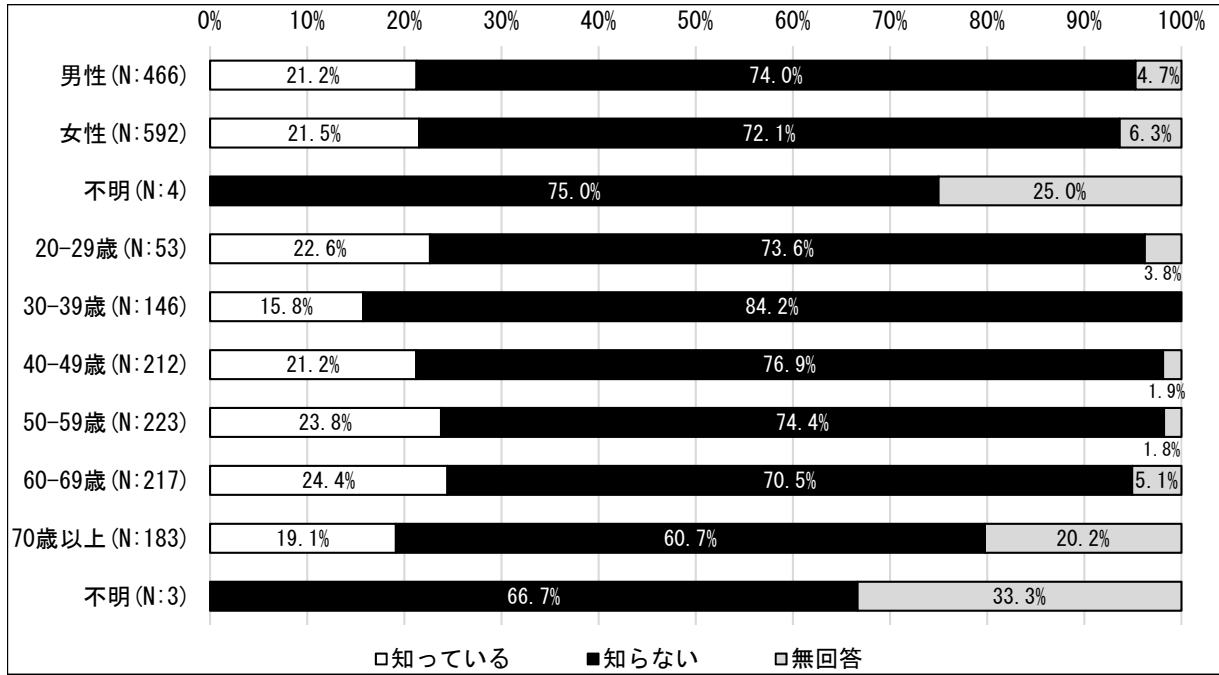
【男女別・年代別】

（青森県福祉人材センター）



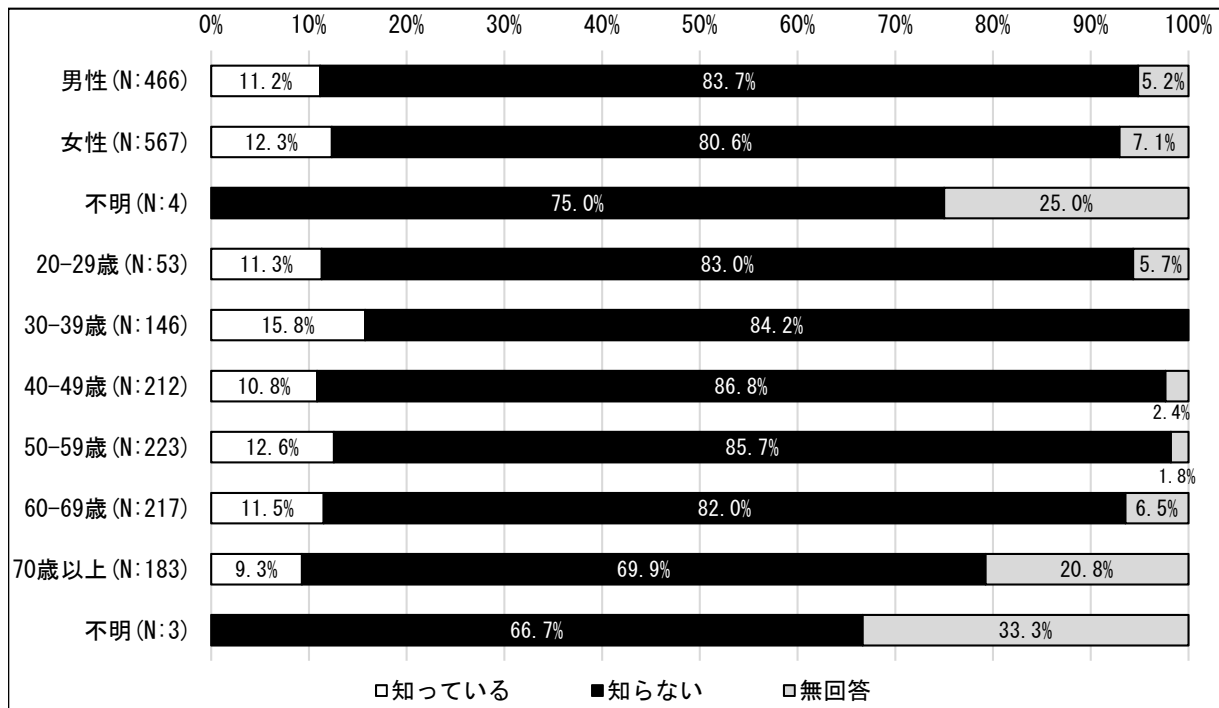
性別、年代を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っており、その割合は、女性より男性が、また「30代」までは年代が下がるほど大きくなっている。

(青森県地域医療支援センター)



性別、年代を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。年代別に見ると、「知っている」の割合は「60代」が他年代より大きくなっている。

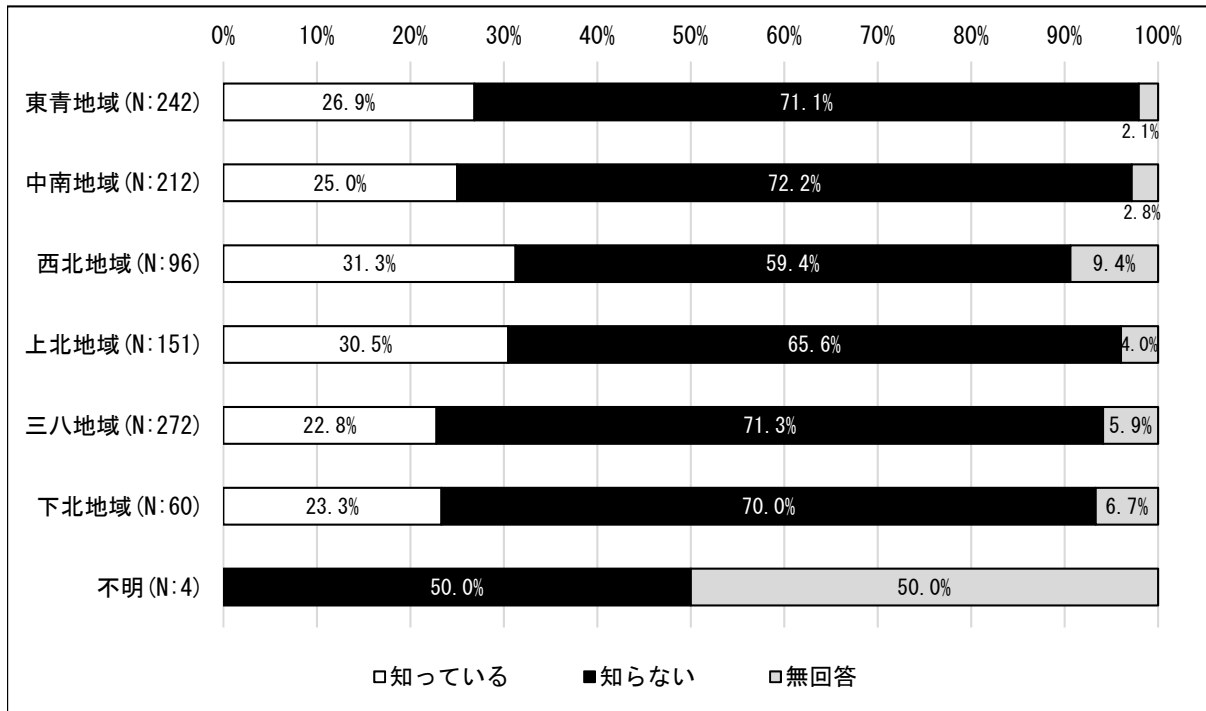
(青森県保育士・保育所支援センター)



性別、年代を問わず、「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。年代別に見ると、「知っている」の割合は「30代」が他年代より大きくなっている。

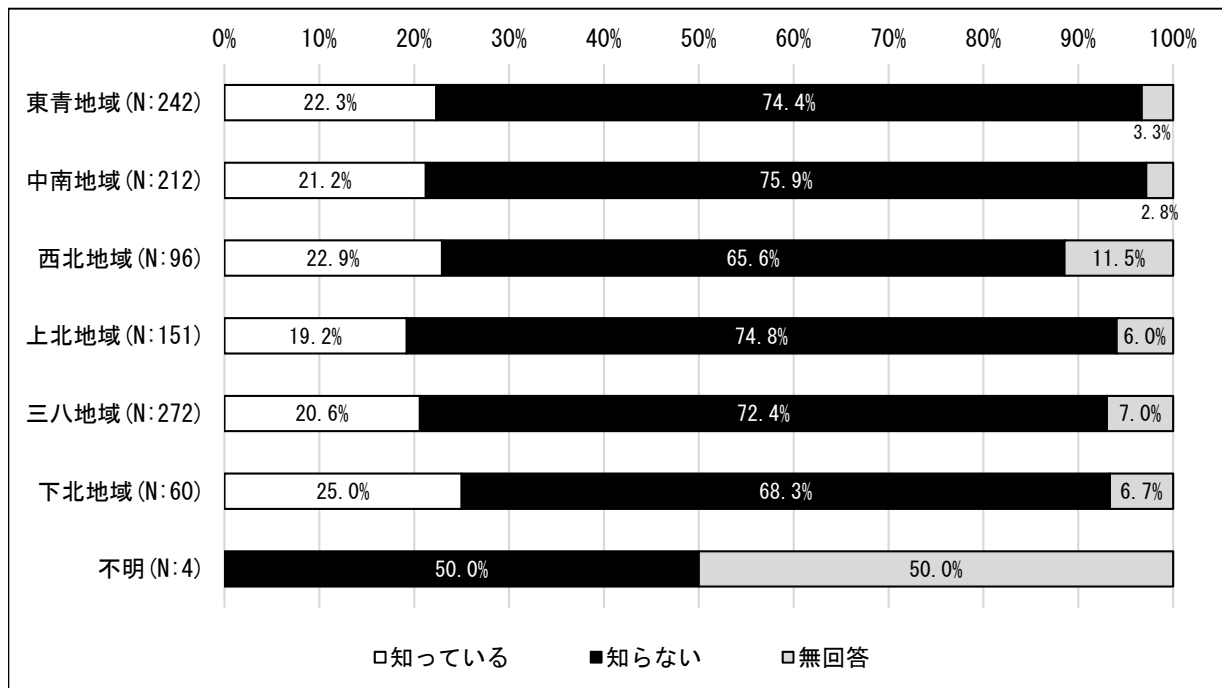
【地域別】

(青森県福祉人材センター)



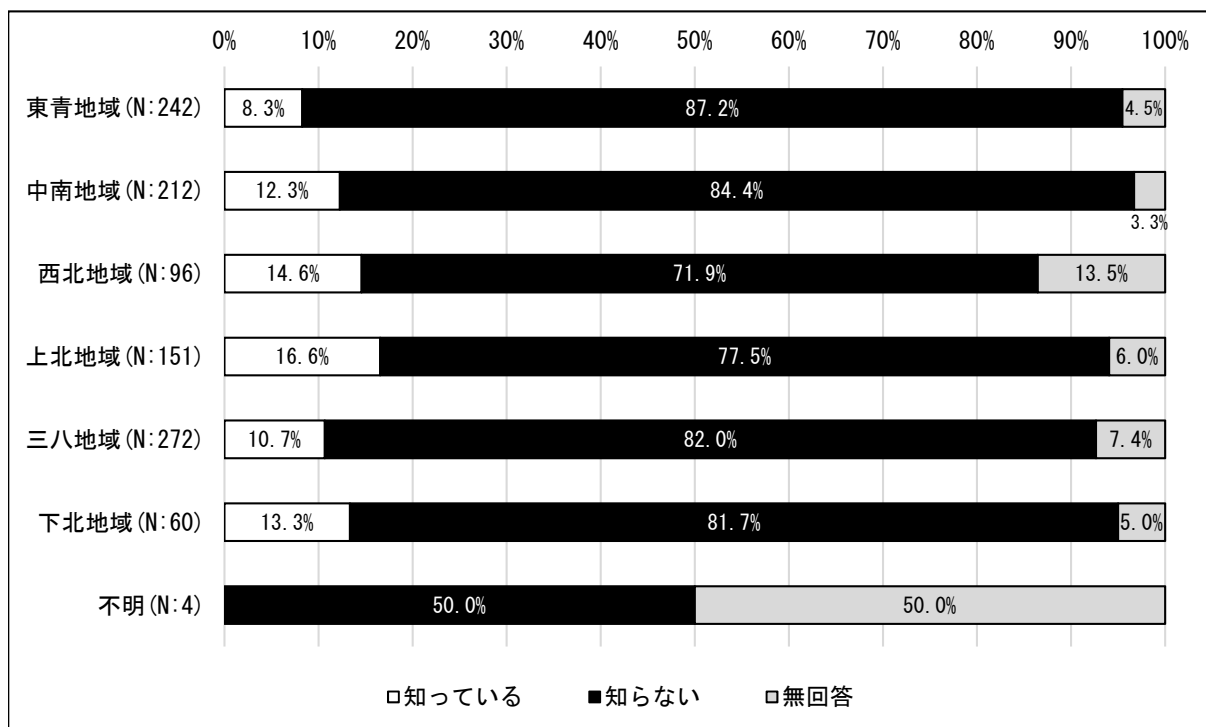
全ての地域で、「知らない」が「知っている」を上回っている。「西北地域」、「上北地域」は、「知っている」の割合が、他地域より大きくなっている。

(青森県地域医療支援センター)



全ての地域で、「知らない」が「知っている」を上回っている。「下北地域」は、「知っている」の割合が、他地域より大きくなっている。

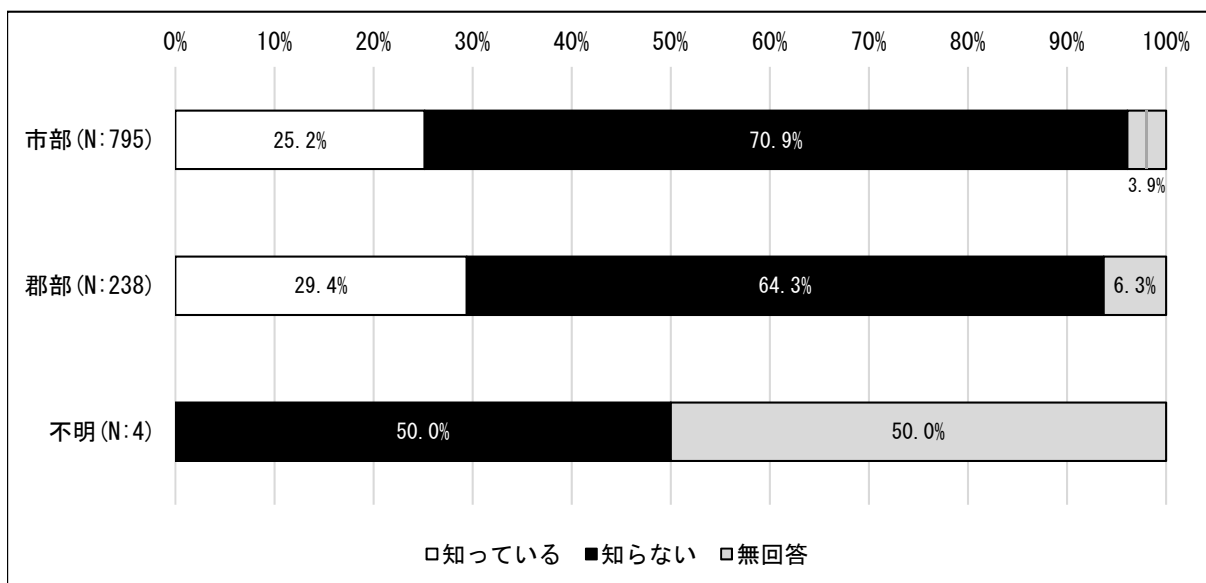
(青森県保育士・保育所支援センター)



全ての地域で、「知らない」が「知っている」を上回っている。「上北地域」は、「知っている」の割合が、他地域より大きくなっている。

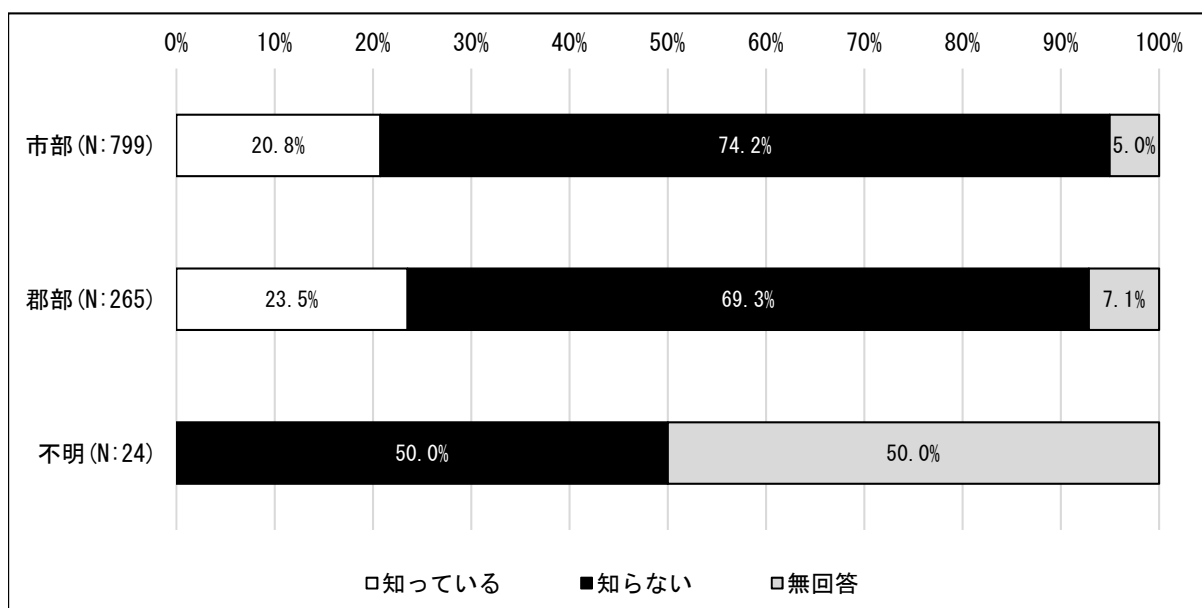
【市部・郡部別】

(青森県福祉人材センター)



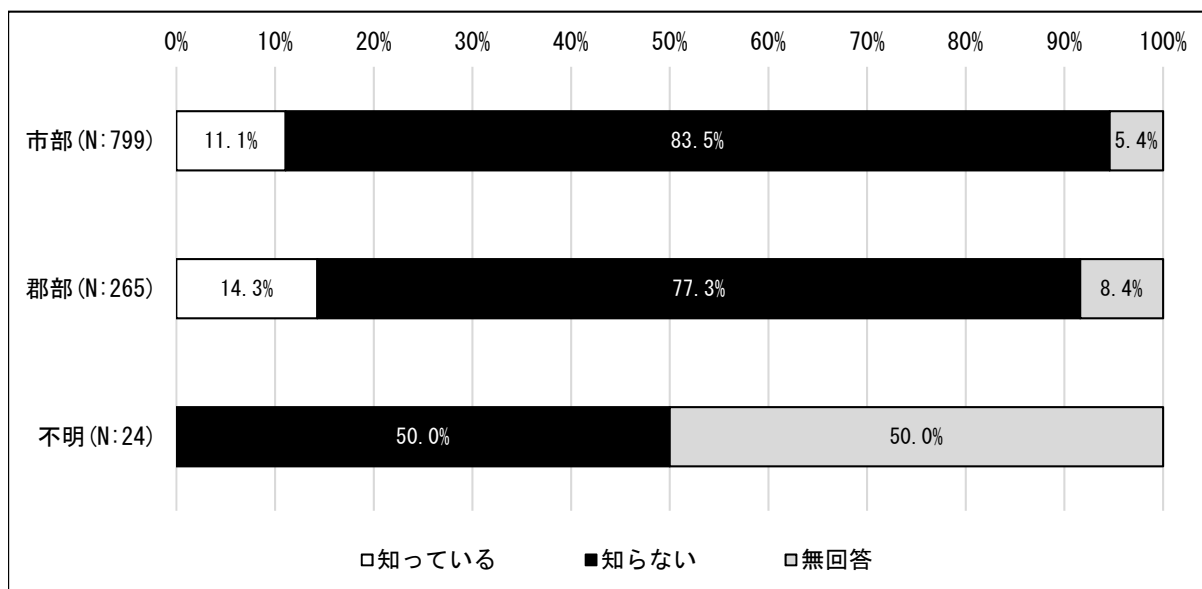
「市部」、「郡部」とともに、「知らない」が「知っている」を上回っている。

(青森県地域医療支援センター)



「市部」、「郡部」とともに、「知らない」が「知っている」を上回っている。

(青森県保育士・保育所支援センター)

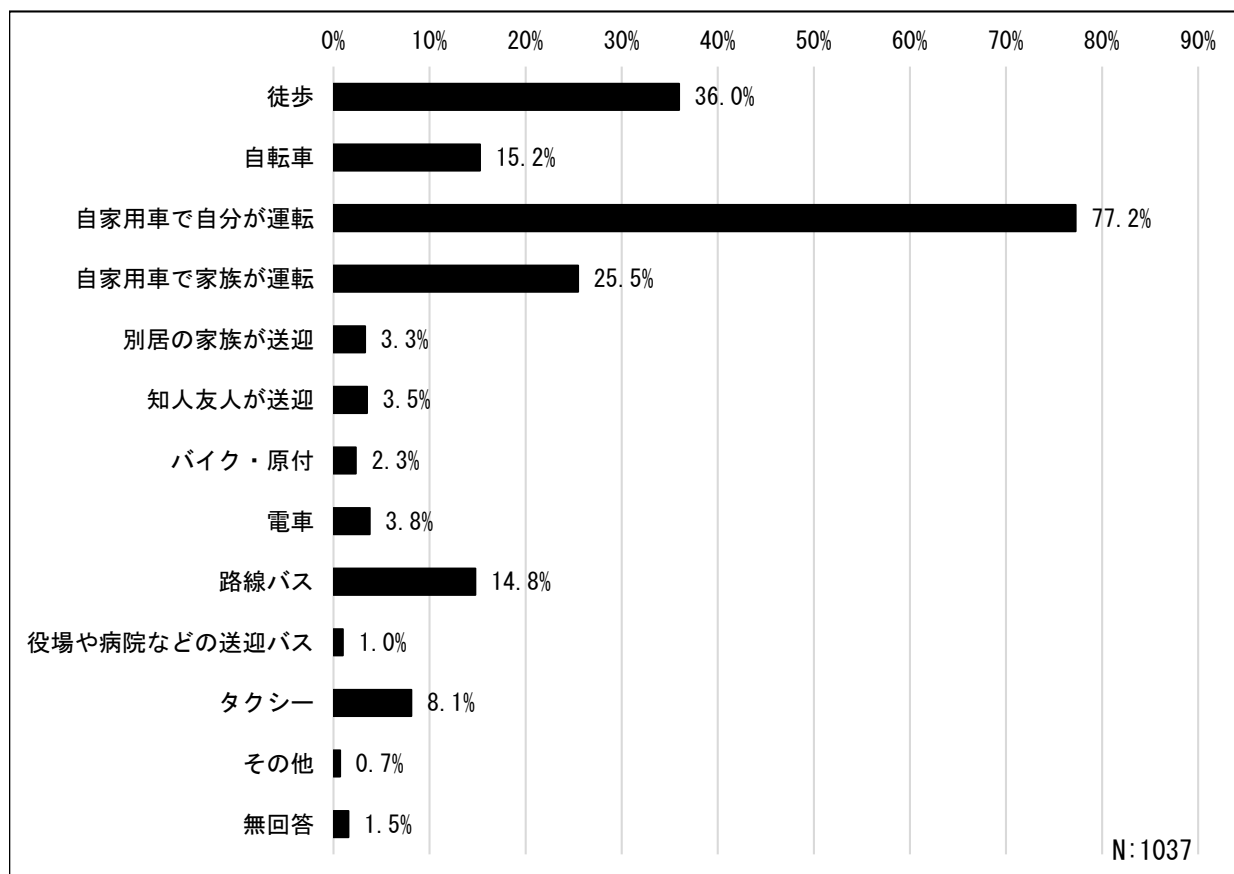


「市部」、「郡部」とともに、「知らない」が「知っている」を上回っている。

<10> 外出するときの手段について

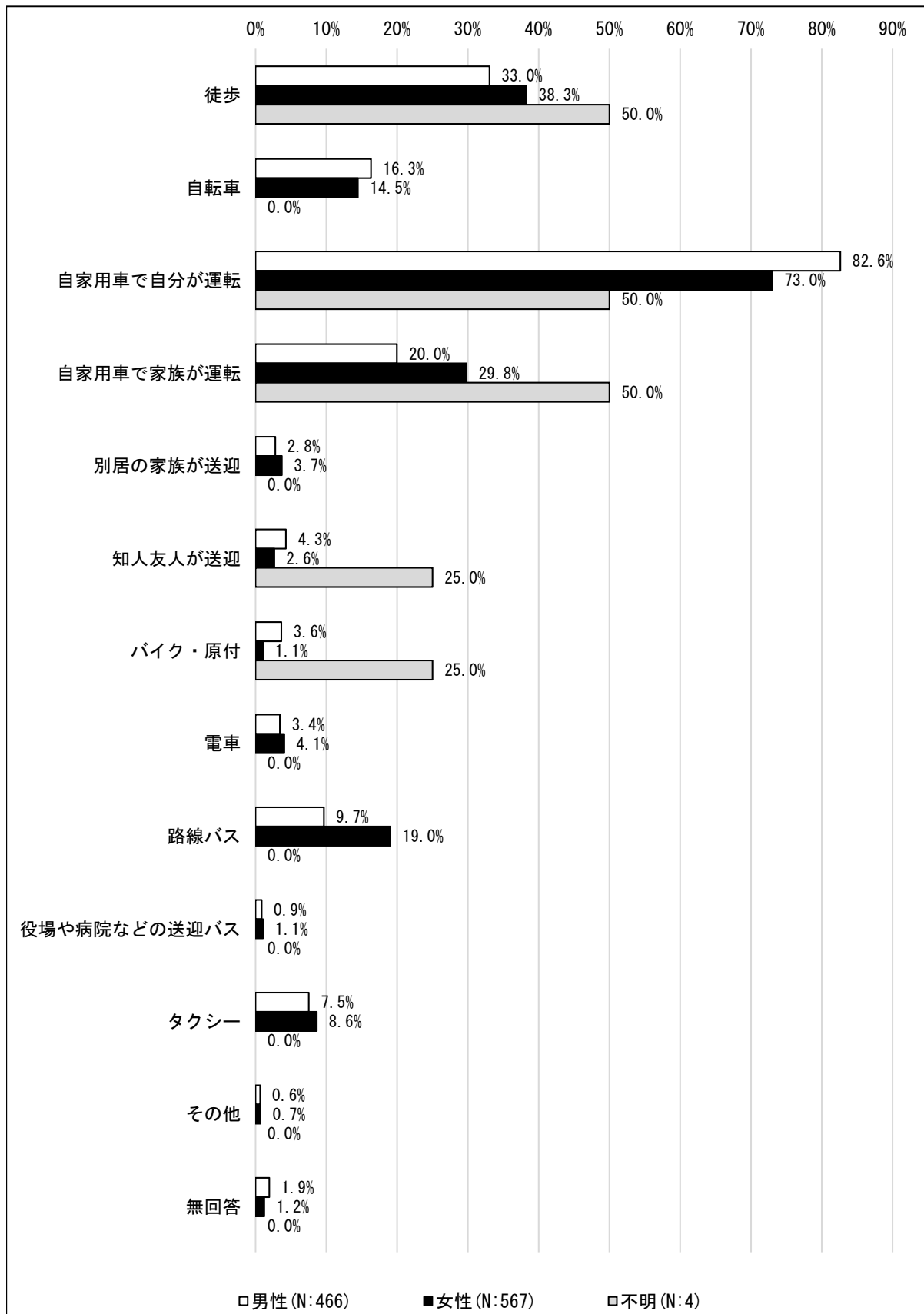
問 38. あなたは、通院、買物、役場や銀行への外出をどのように行っていますか。（あてはまるものすべて）

・通院、買物、役場や銀行への外出手段



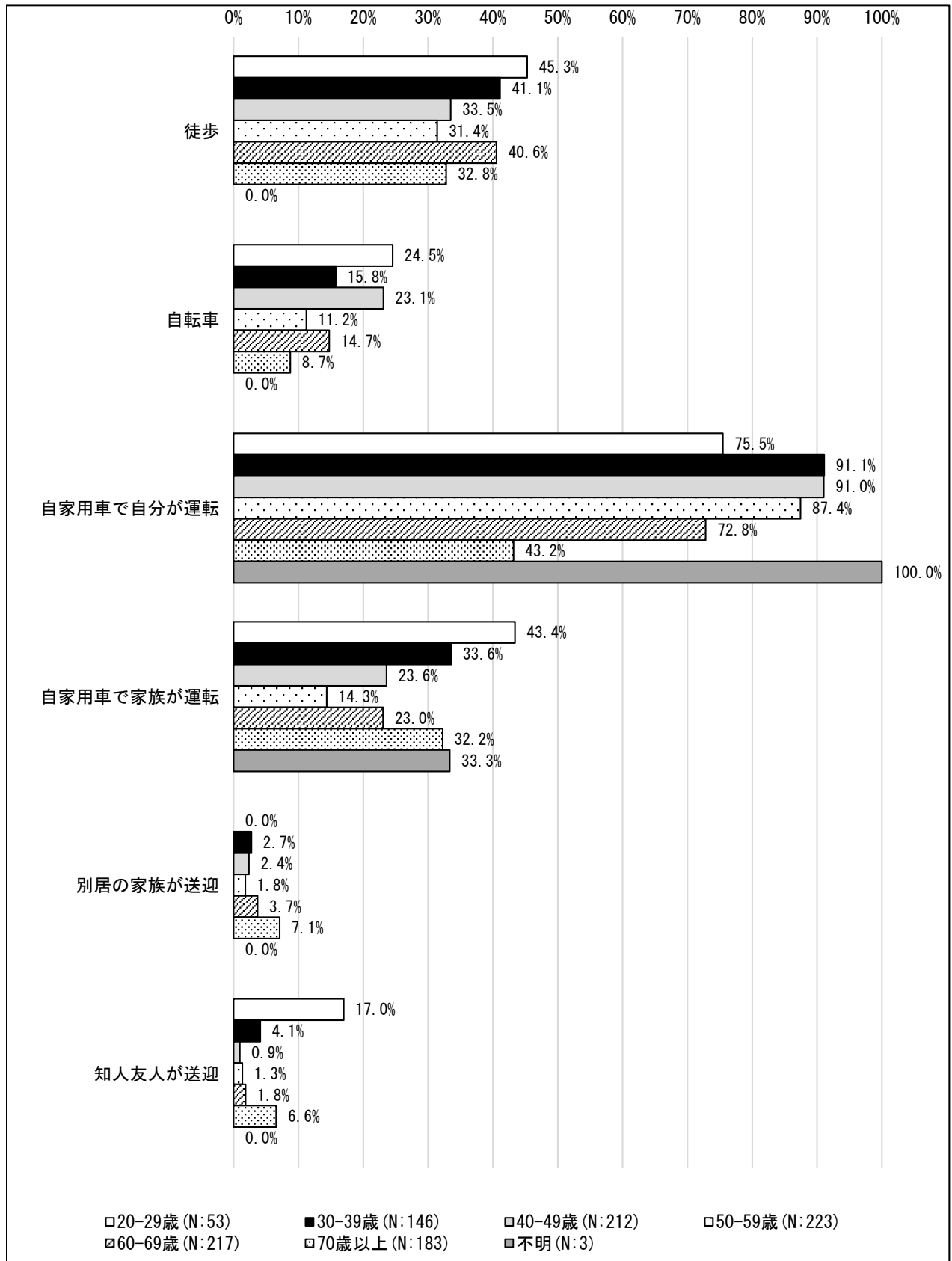
「自家用車で自分が運転」が77%、「徒歩」が36%「自家用車で家族が運転」が26%、となっている。

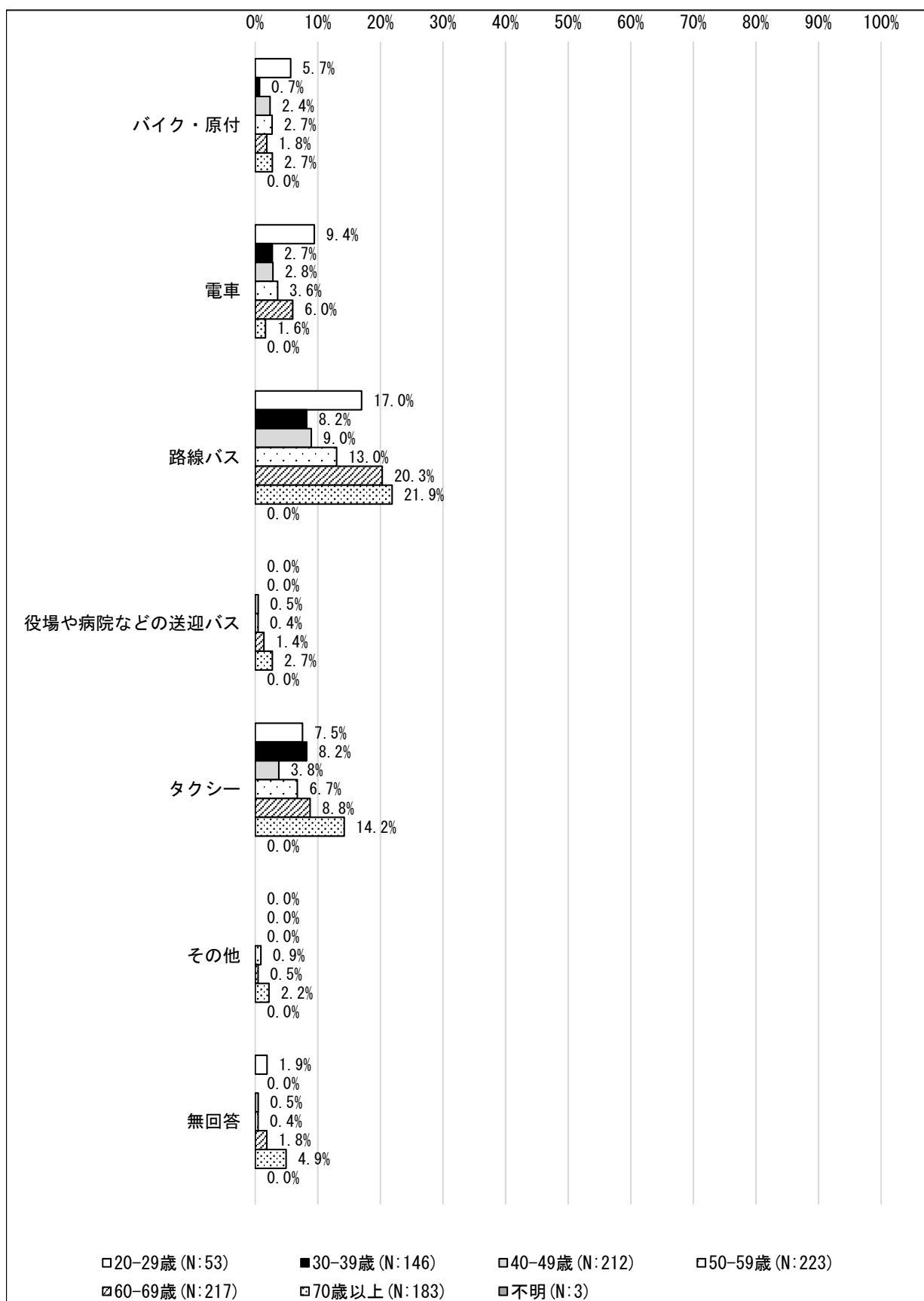
【男女別】



男女ともに「自家用車で自分が運転」、「徒歩」の順に大きく、次いで「自家用車で家族が運転」となっている。

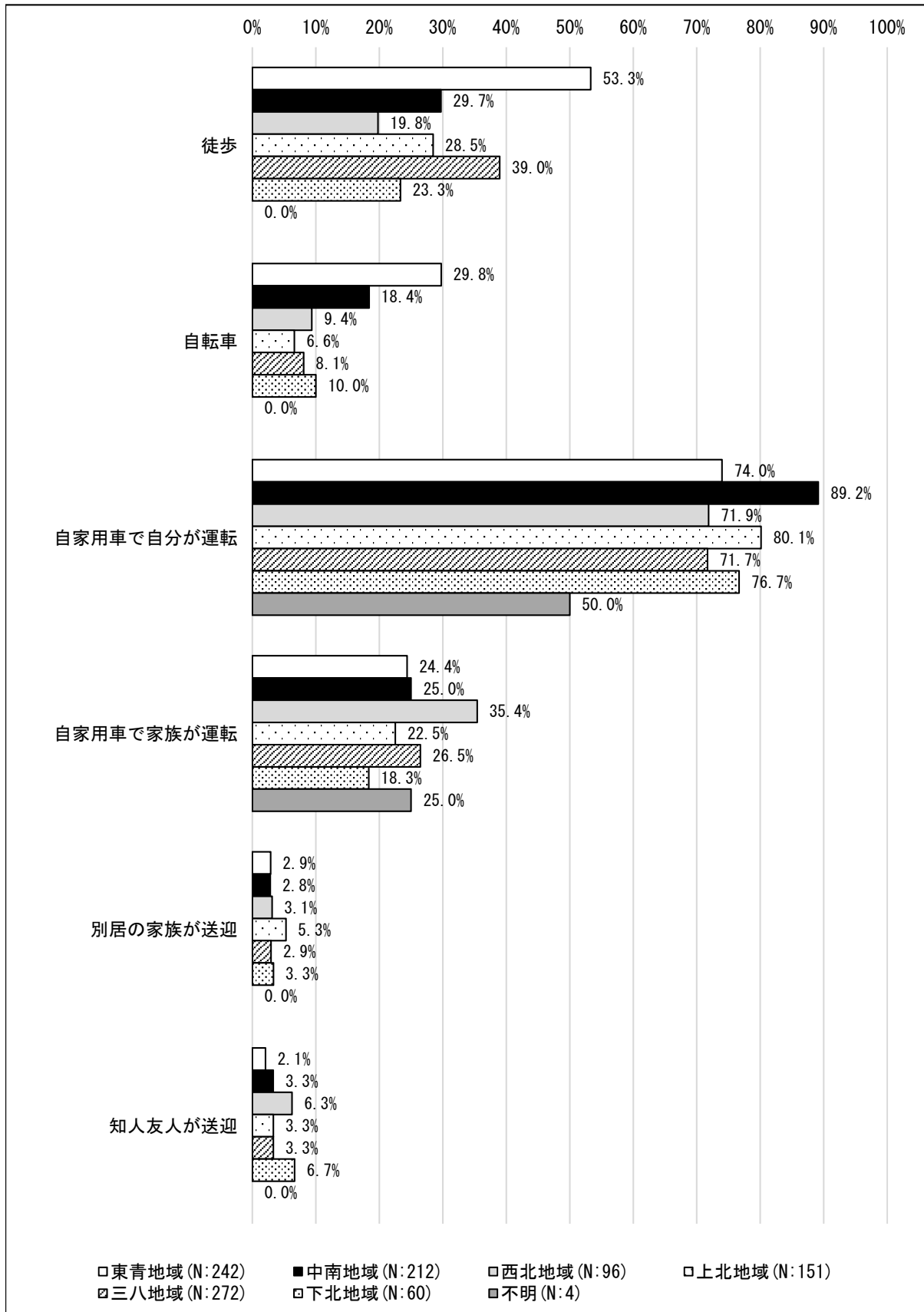
【年代別】

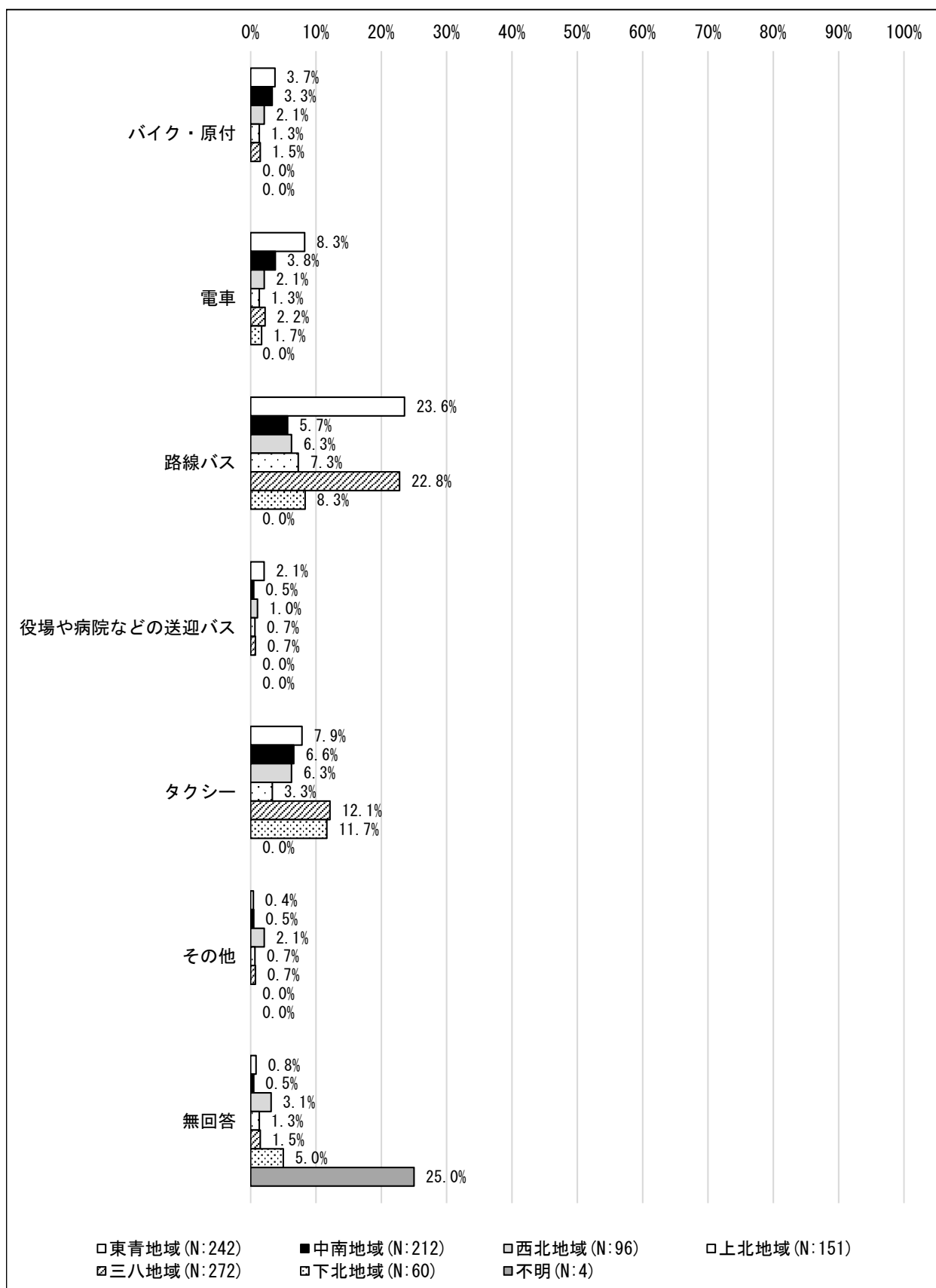




全ての年代で「自家用車で自分が運転」、「徒歩」の順に大きくなっている。また、「自転車」、「電車」は「20代」が、「路線バス」、「タクシー」は「60代」以上が、それぞれ他年代より大きくなっている。

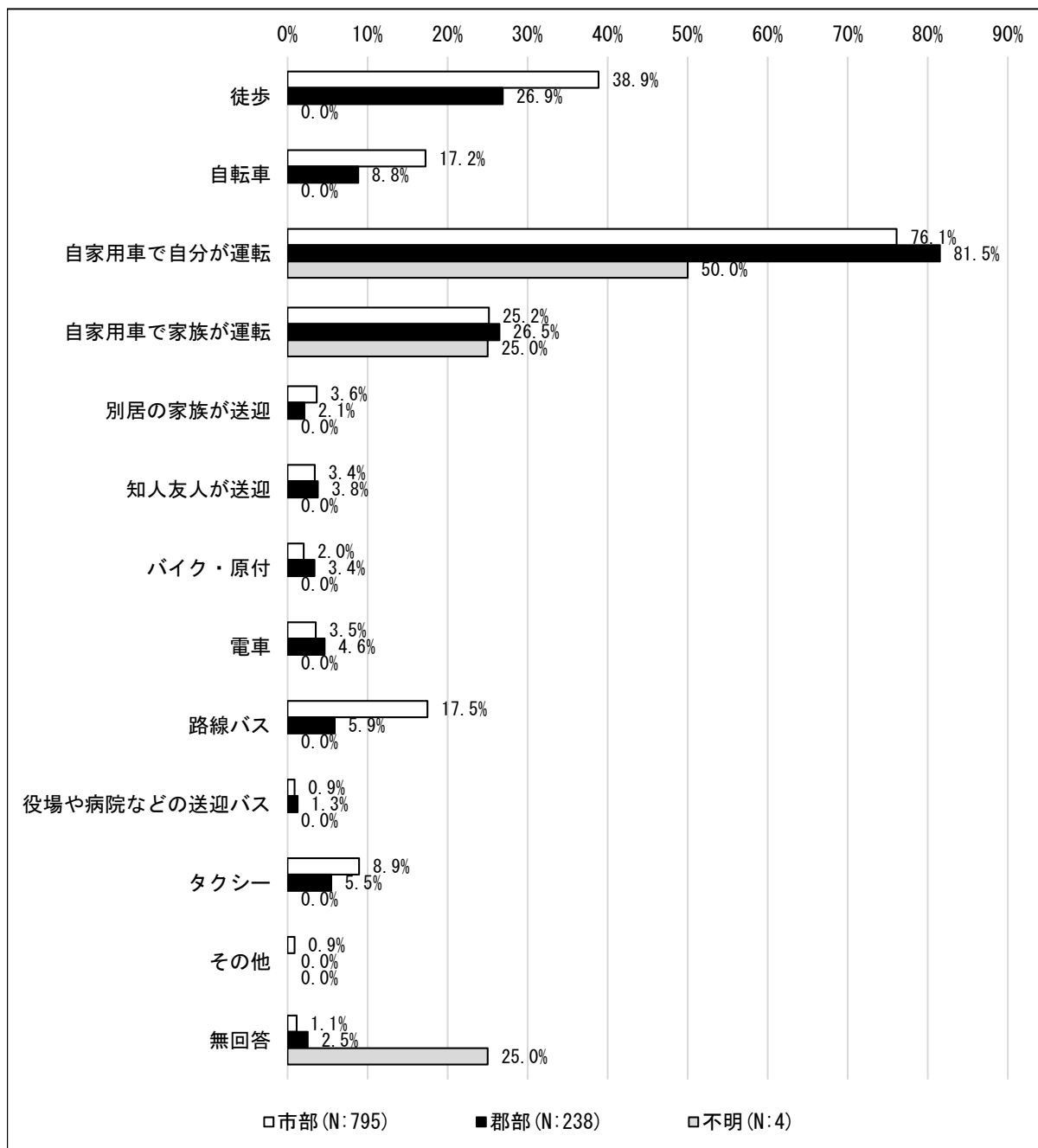
【地域別】





全ての地域で「自家用車で自分が運転」が最も大きくなっており、次いで「西北地域」は「自家用車で家族が運転」、他地域は「徒歩」の順となっている。

【市部・郡部別】



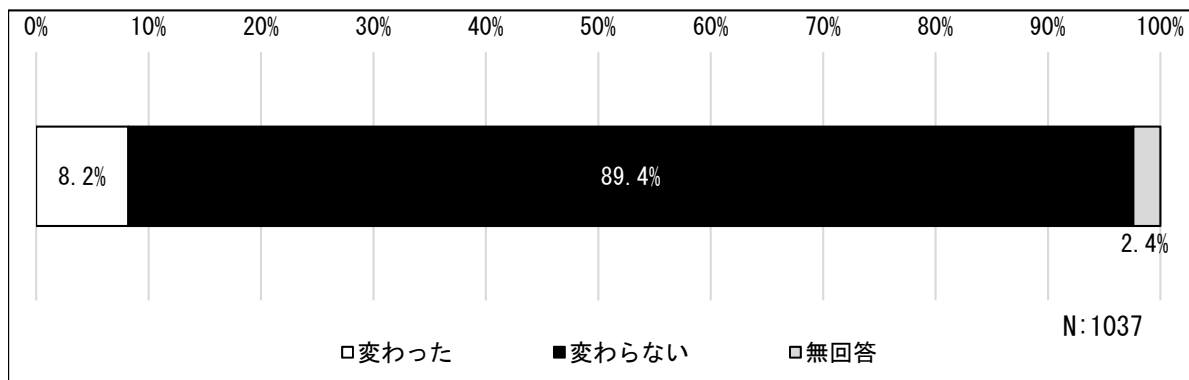
「市部」、「郡部」とともに「自家用車で自分が運転」が最も大きく、次いで「徒歩」、「自家用車で家族が運転」の順となっている。「自家用車で自分が運転」は「郡部」が「市部」より、「徒歩」、「自転車」、「路線バス」、「タクシー」は「市部」が「郡部」よりそれぞれ大きくなっている。

【自由回答より】

- ・介護ヘルパー事業所の車。
- ・介護タクシー。
- ・入所施設の車両。

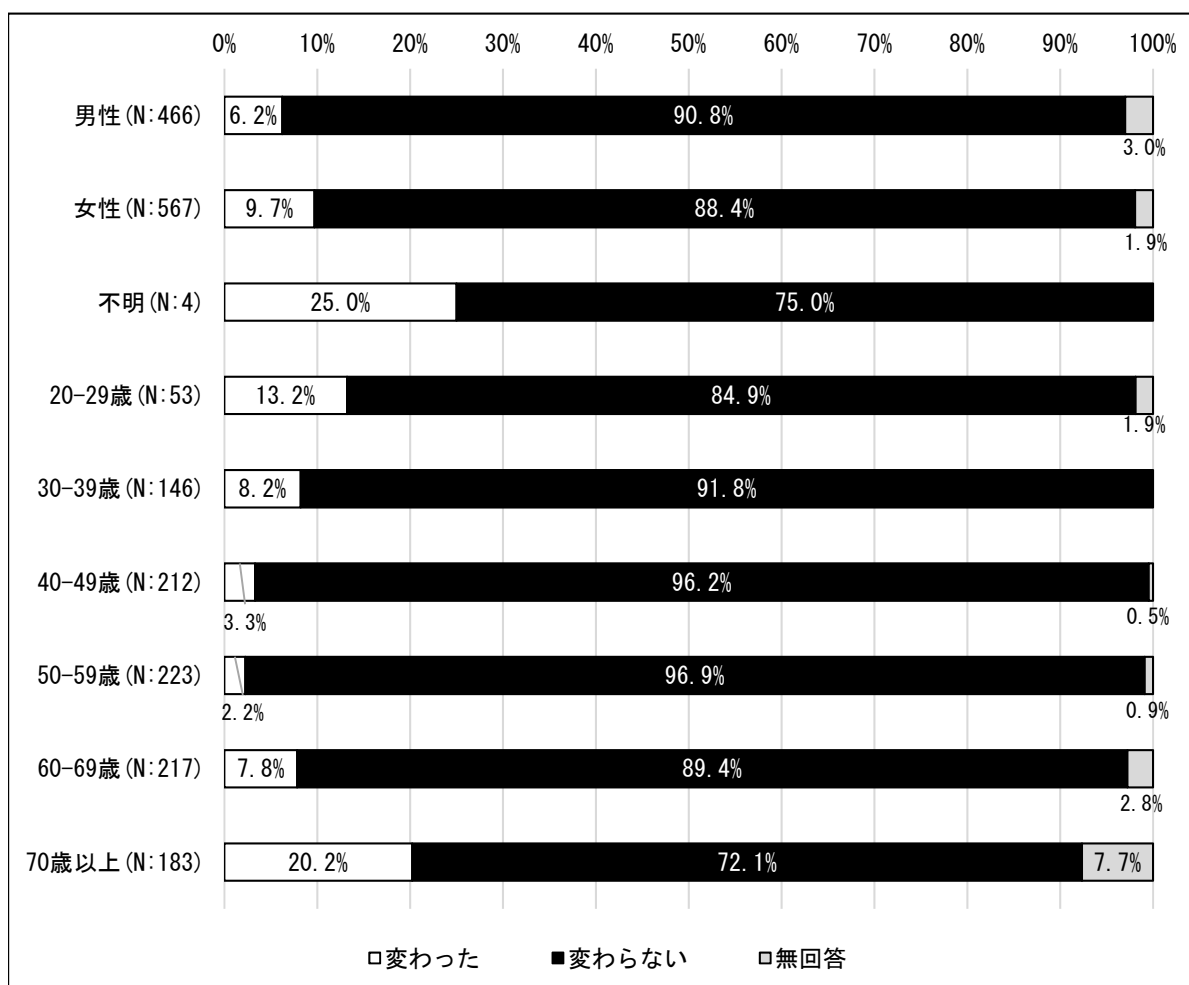
問 39. 以前と比べて、あなたが外出するときの手段が変わりましたか。(1つ)

・ 外出手段の変化



「変わった」が8%、「変わらない」が89%となっている。

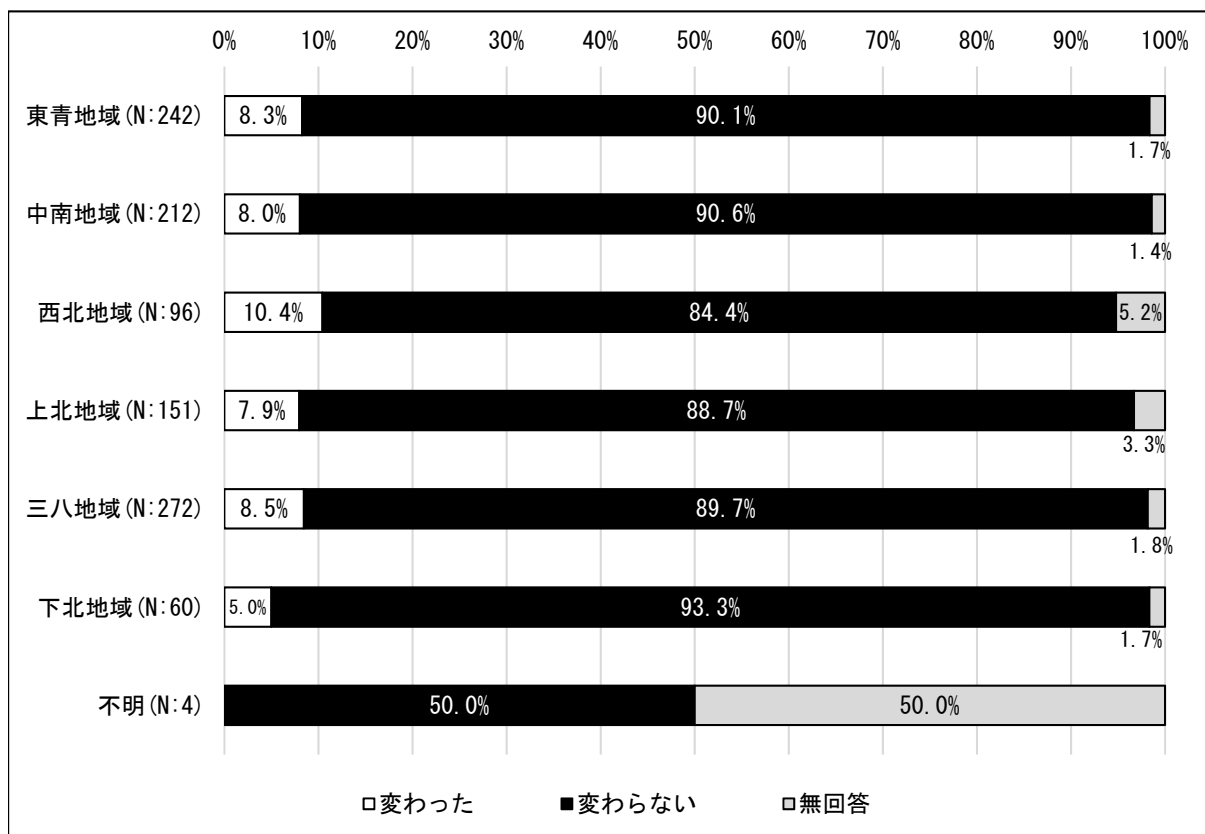
【男女別・年代別】



性別、年齢を問わず、「変わらない」が「変わった」を大きく上回っている。

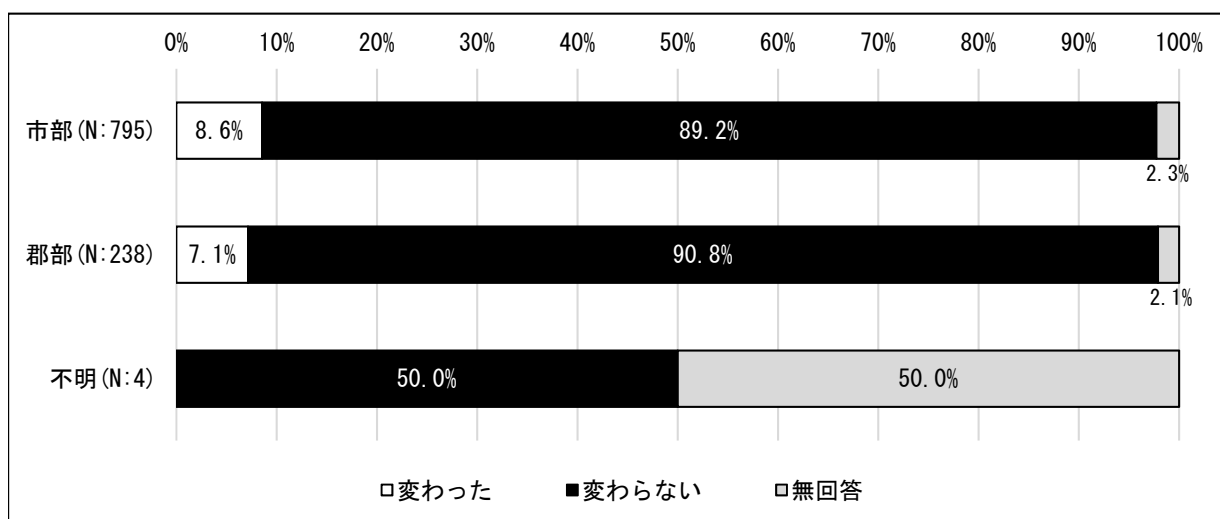
年代別に見ると、「20代」、「70歳以上」は「変わった」が他年代より大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で、「変わらない」が「変わった」を大きく上回っている。「変わった」は「西北地域」が最も大きく、逆に「下北地域」が最も小さくなっている。

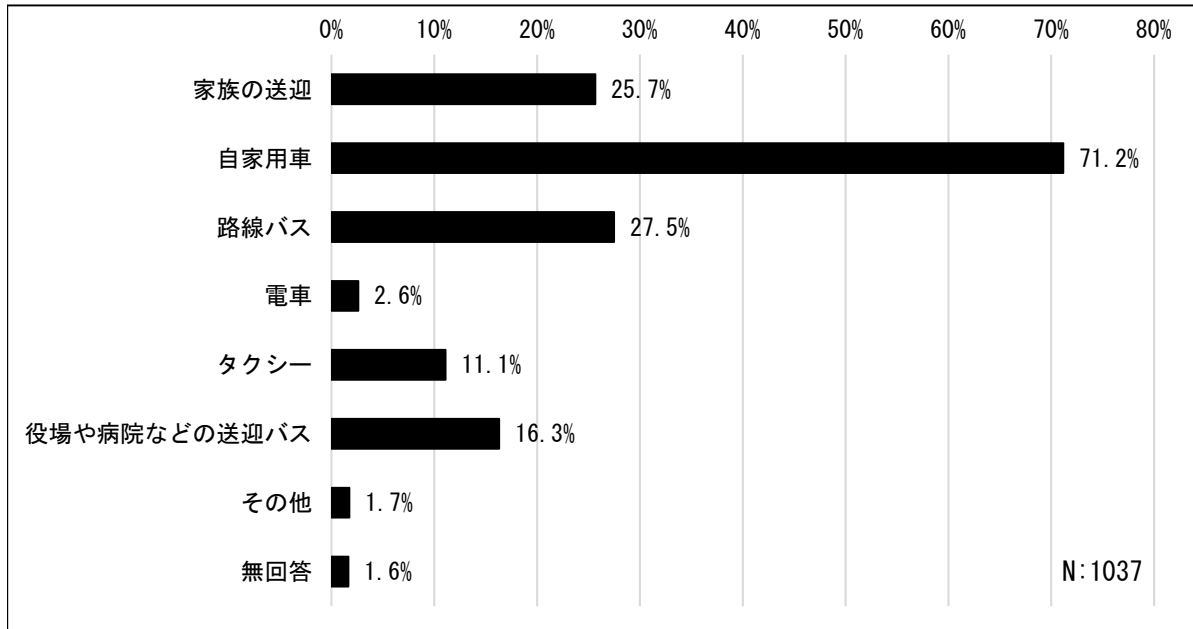
【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに、「変わらない」が「変わった」を大きく上回っている。「市部」は「変わった」が「郡部」より大きくなっている。

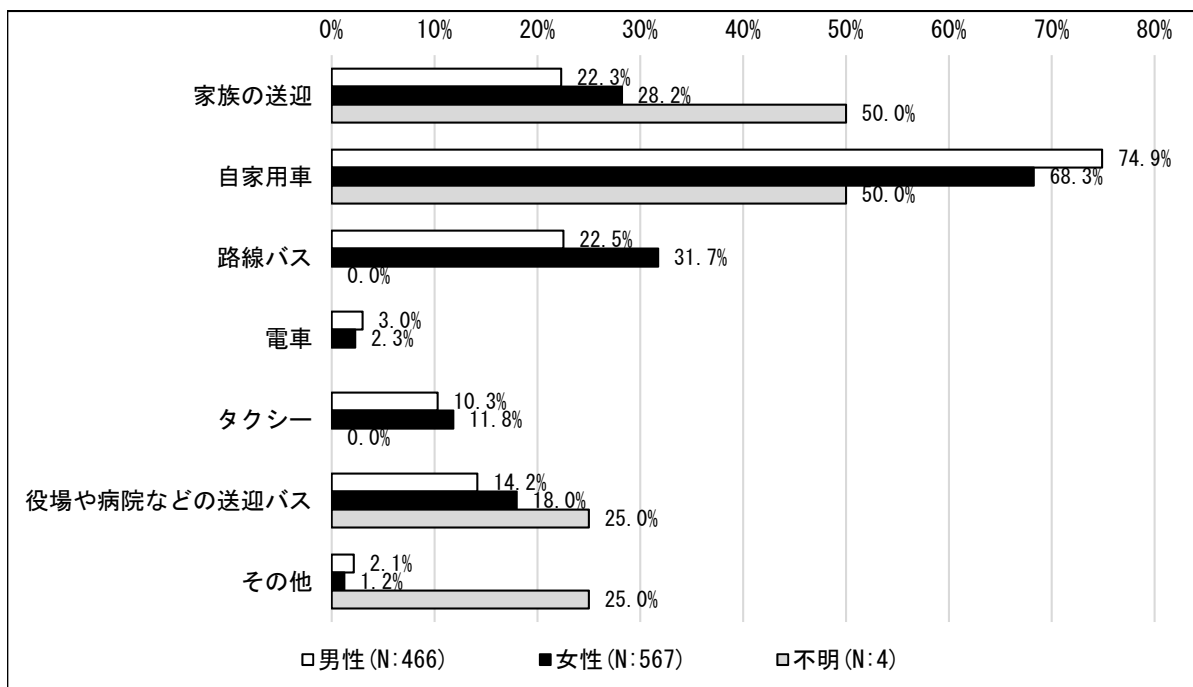
問 40. 通院、買物、役場や銀行へ外出する上で、あなたが必要と思う交通手段は何ですか。
(2つまで)

・ 外出する際の交通手段



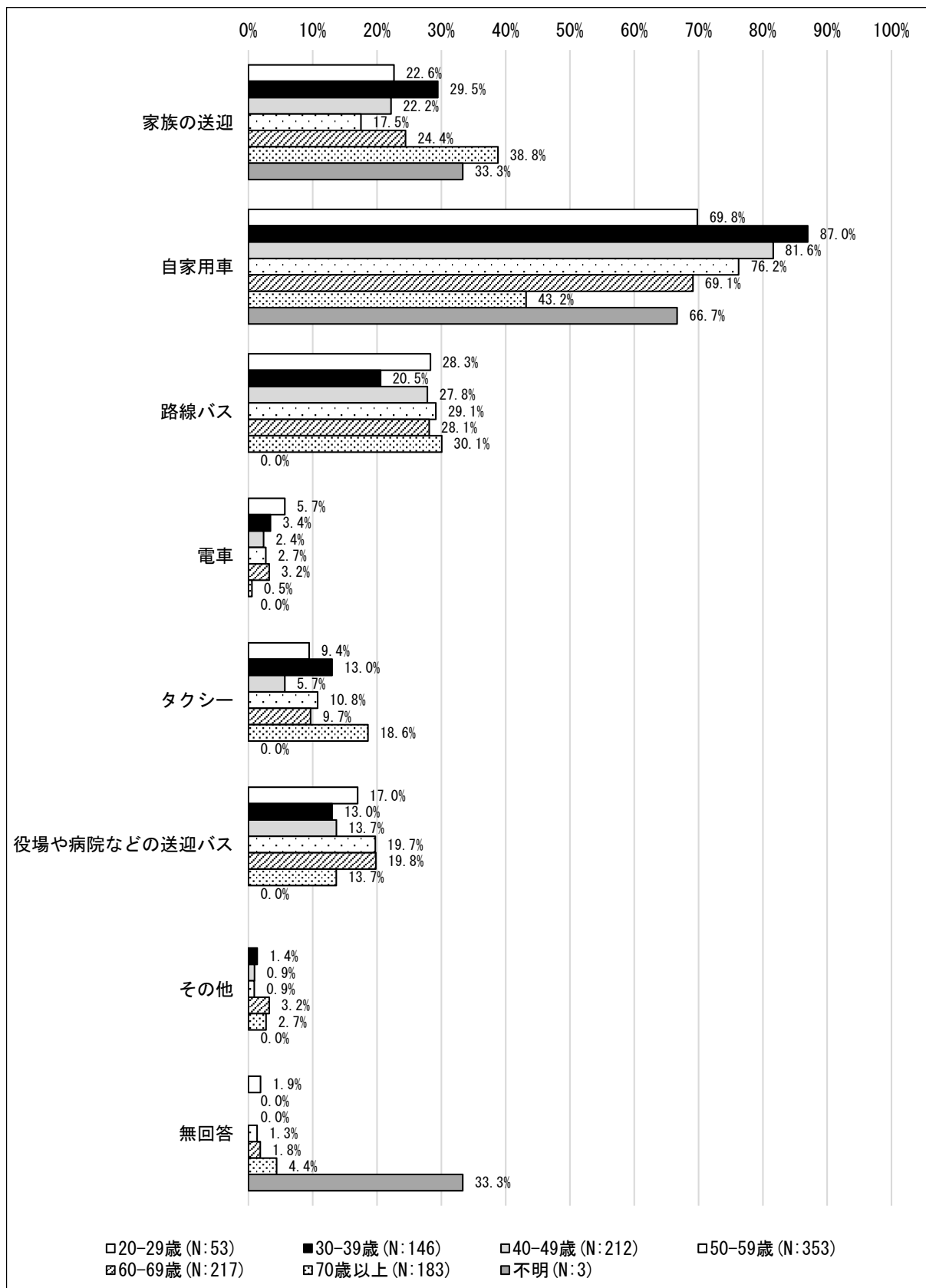
「自家用車」が71%、「路線バス」が28%、「家族の送迎」が26%となっている。

【男女別】



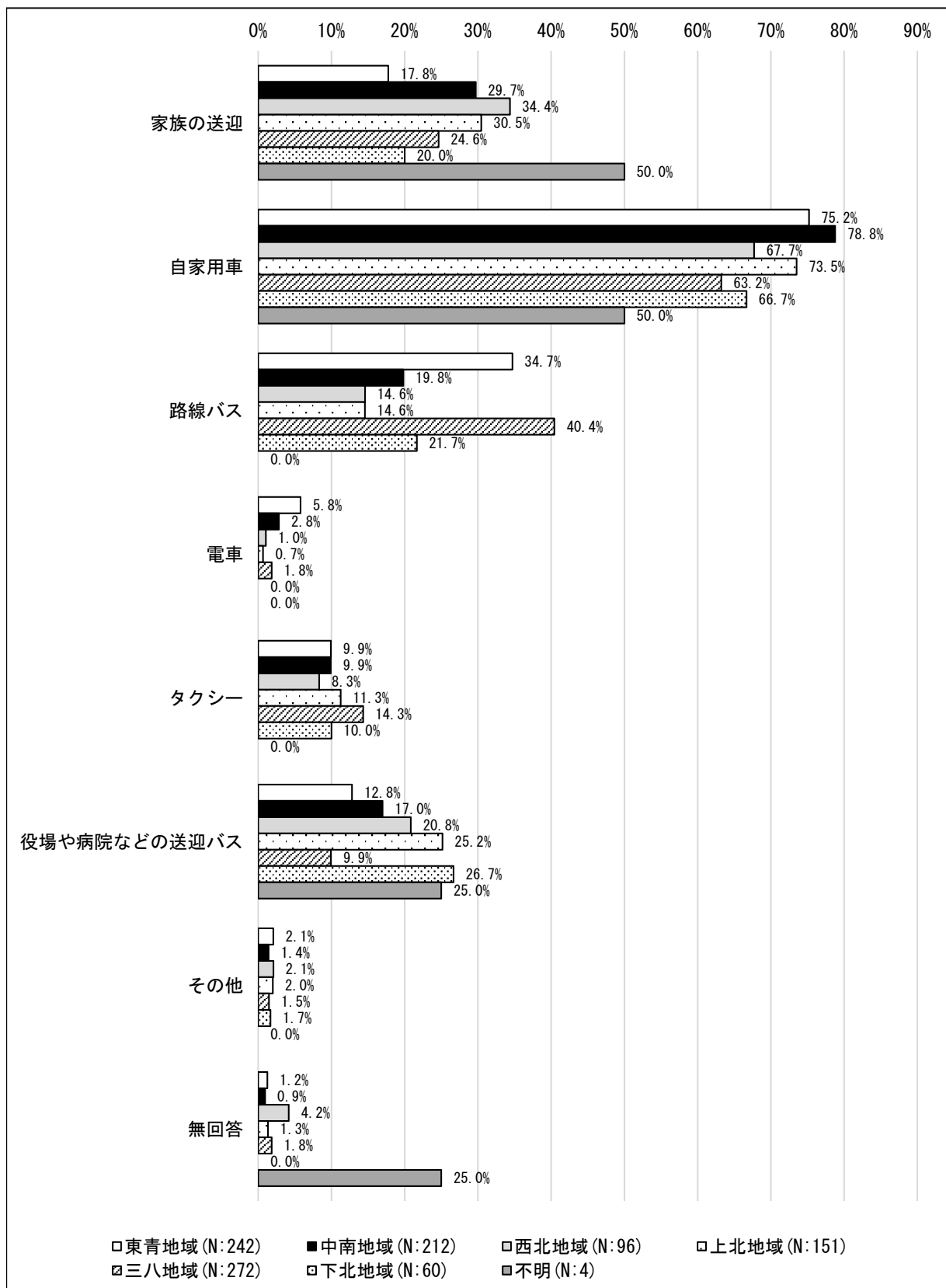
男女ともに「自家用車」が最も大きく、次いで「路線バス」、「家族の送迎」の順となっている。

【年代別】



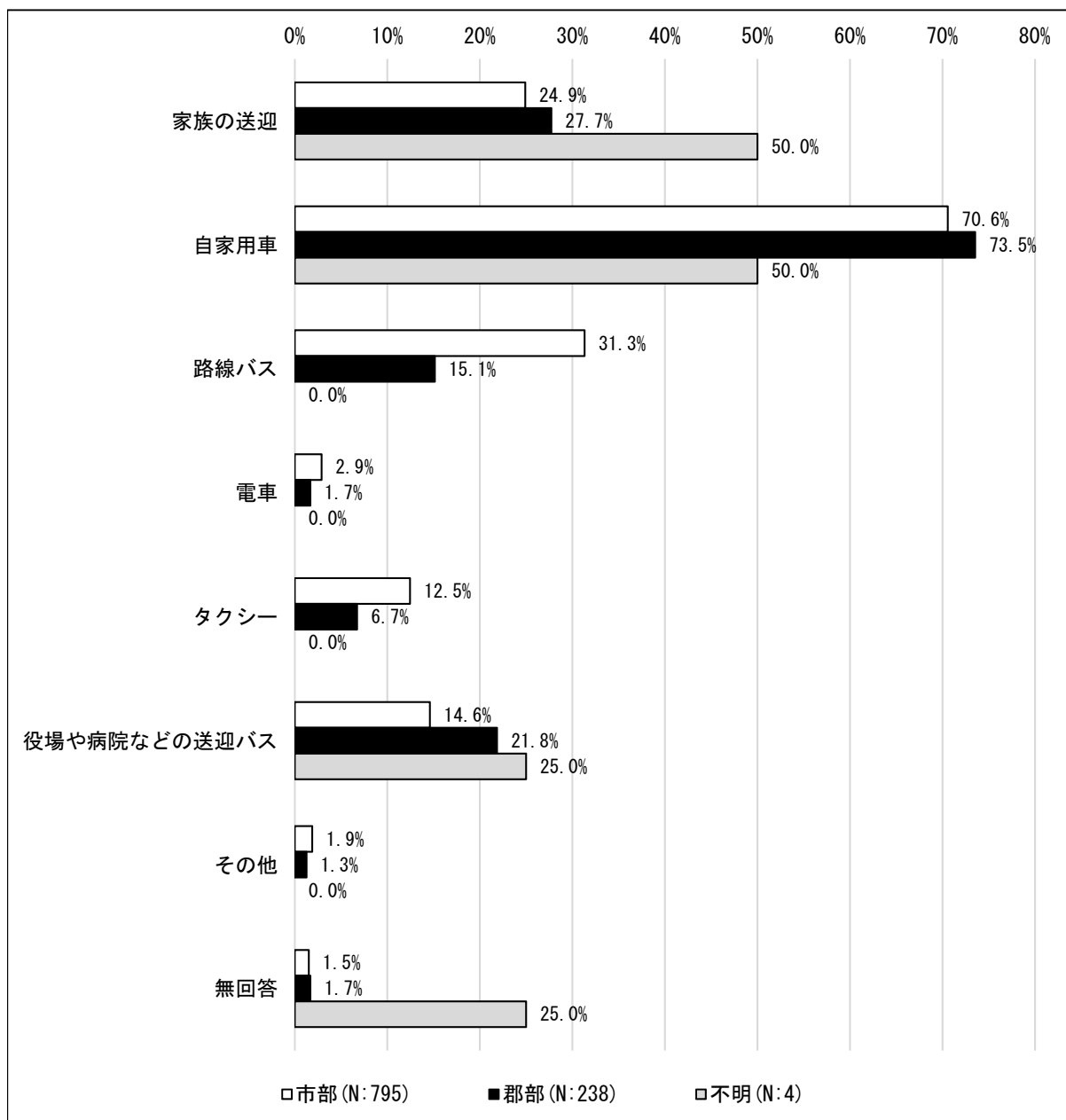
全ての年代で「自家用車」が最も大きく、次いで、「30代」、「70歳以上」は「家族の送迎」、「路線バス」の順に、その他の年代は、「路線バス」、「家族の送迎」の順に大きくなっている。

【地域別】



全ての地域で「自家用車」が最も大きく、次いで「東青地域」、「三八地域」、「下北地域」は「路線バス」、「中南地域」、「西北地域」、「上北地域」は「家族の送迎」となっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「自家用車」が最も大きく、次いで「市部」は「路線バス」、「家族の送迎」、「郡部」は「家族の送迎」、「役場や病院などの送迎バス」の順となっている。「路線バス」、「タクシー」、「電車」は、「市部」が「郡部」より大きくなっている。「自家用車」、「家族の送迎」、「役場や病院などの送迎バス」は、「郡部」が「市部」より大きくなっている。

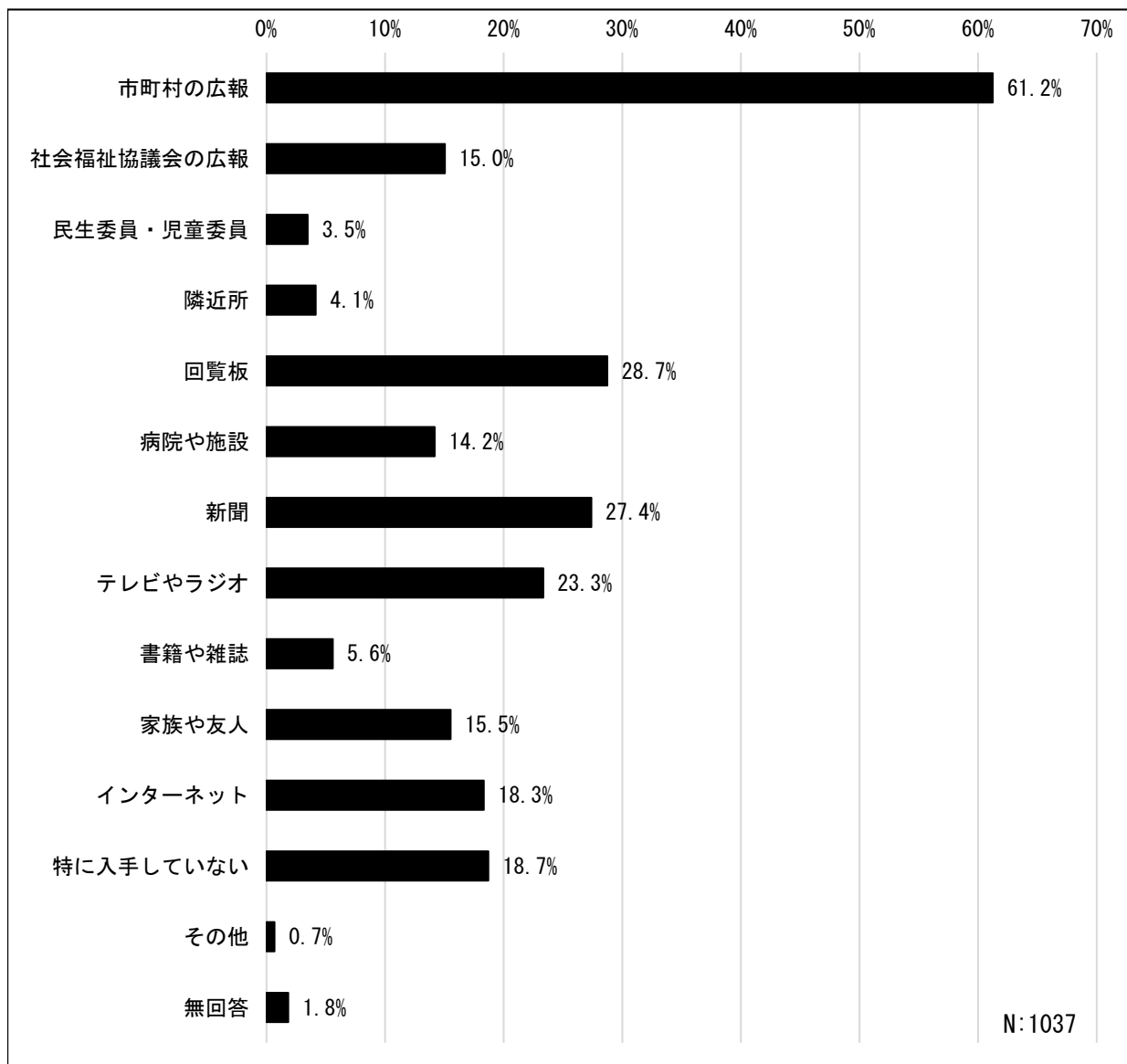
【自由回答より】

- ・ 自転車。
- ・ 乗り合いの定額タクシー等があると良い。運行状況がスマホ等でわかるように。
- ・ 運転できないので、乗せてもらえるタクシー以外の車。

< 1 1 > 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方について

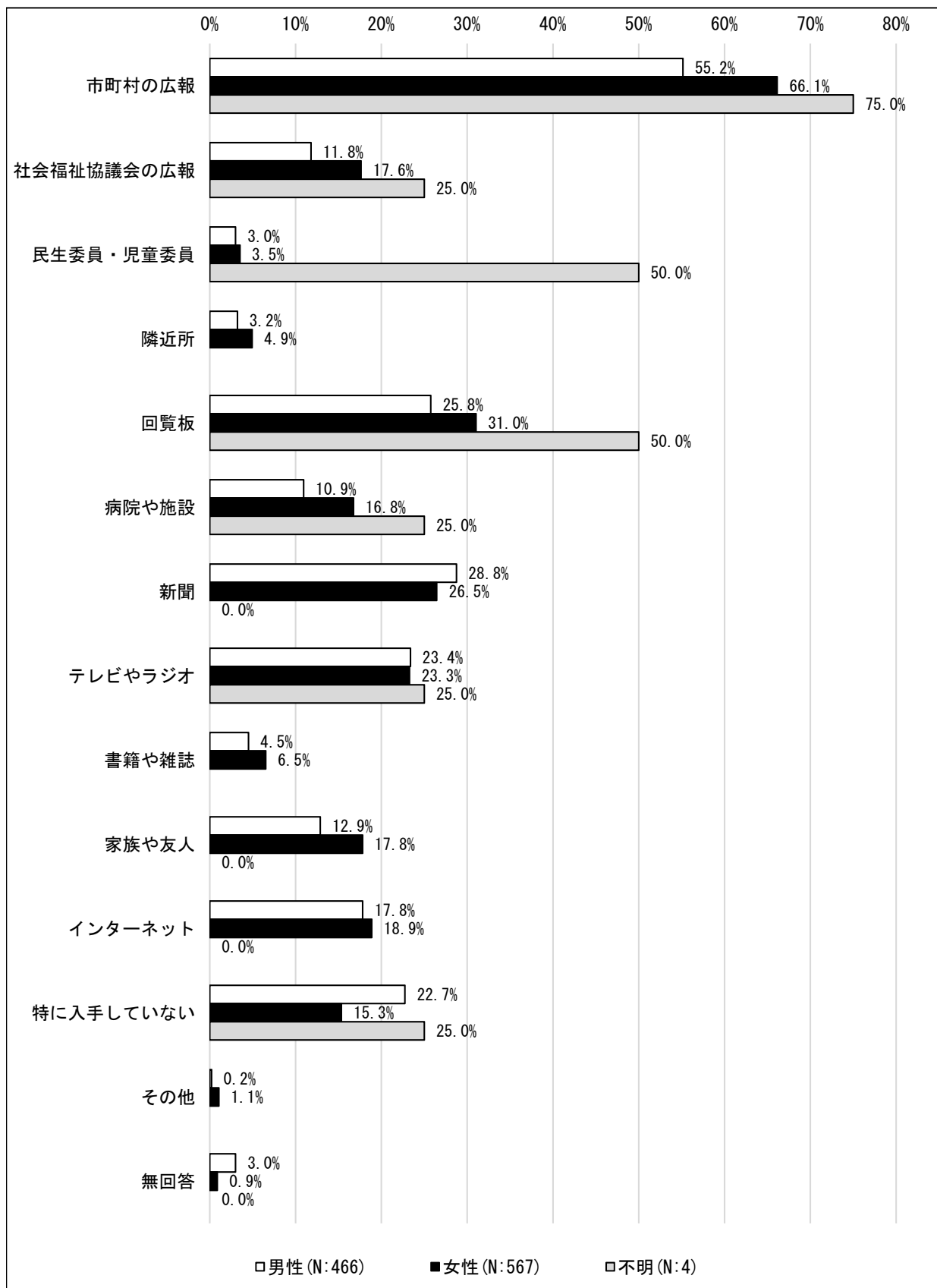
問 41. あなたは、福祉に関する情報を何から入手していますか。（あてはまるもの全て）

・福祉に関する情報の入手方法



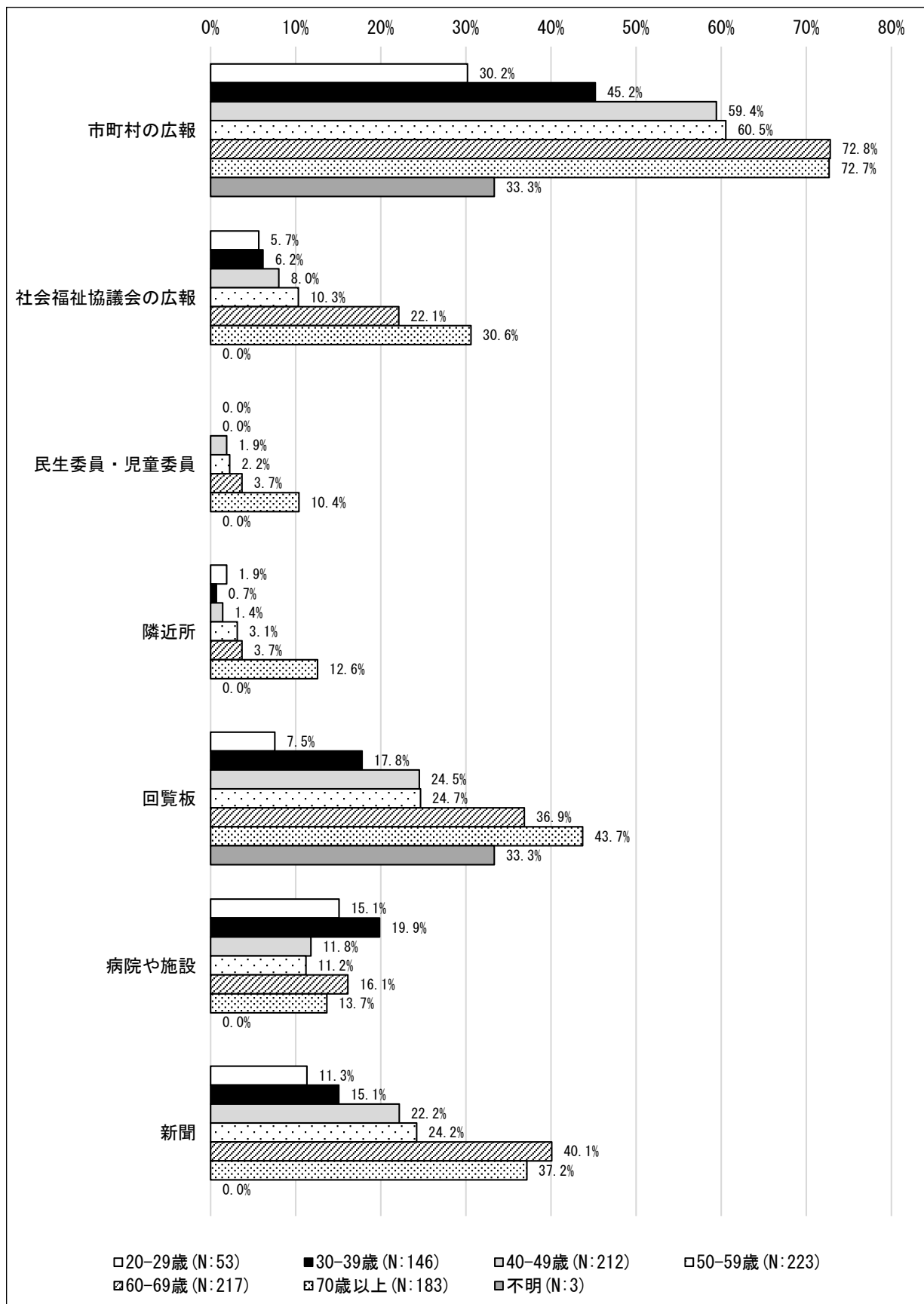
「市町村の広報」が61%、「回覧板」が29%、「新聞」が27%となっている。

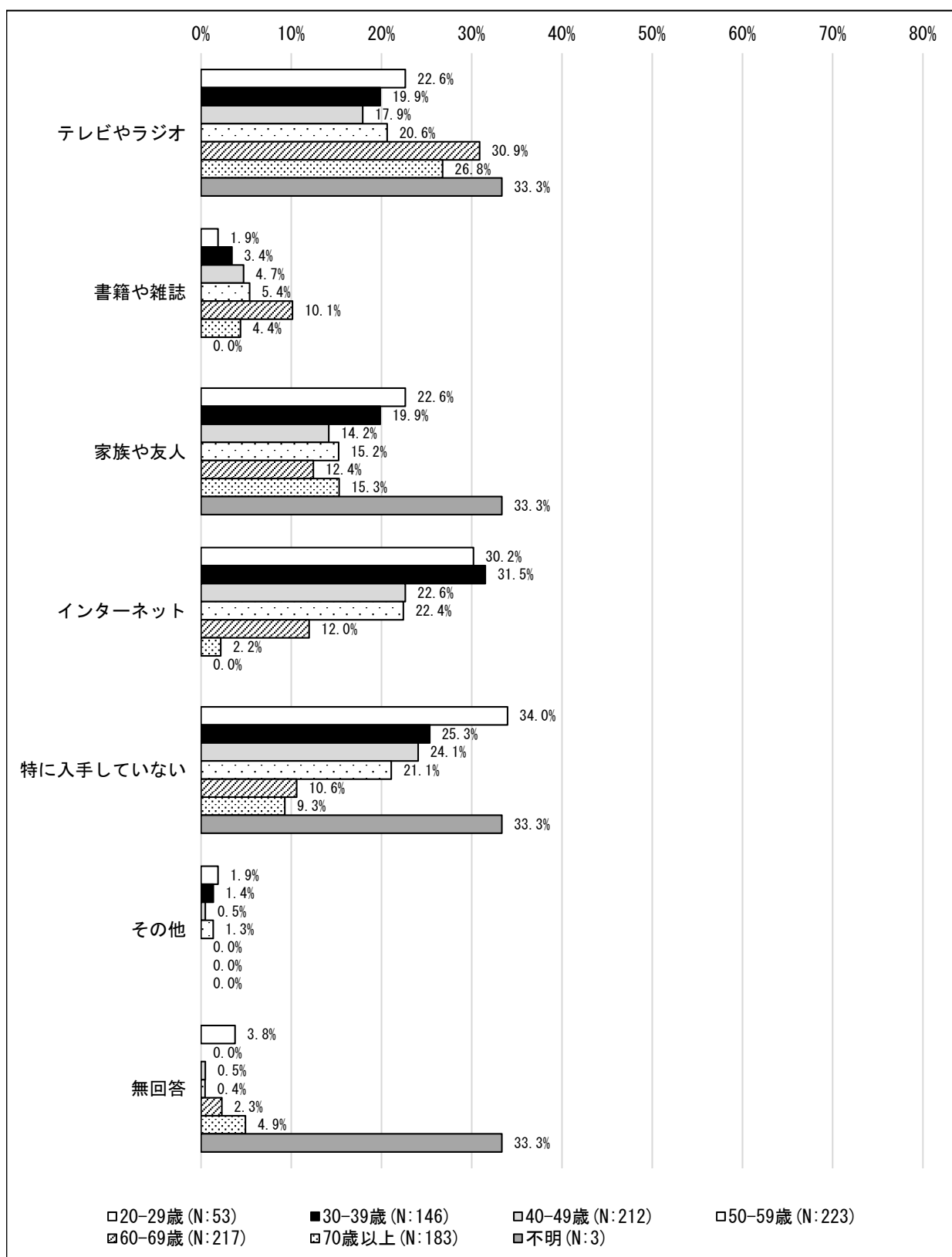
【男女別】



男女ともに「市町村の広報」が最も大きく、次いで「女性」は「回覧板」、「新聞」、「男性」は「新聞」、「回覧板」の順となっている。

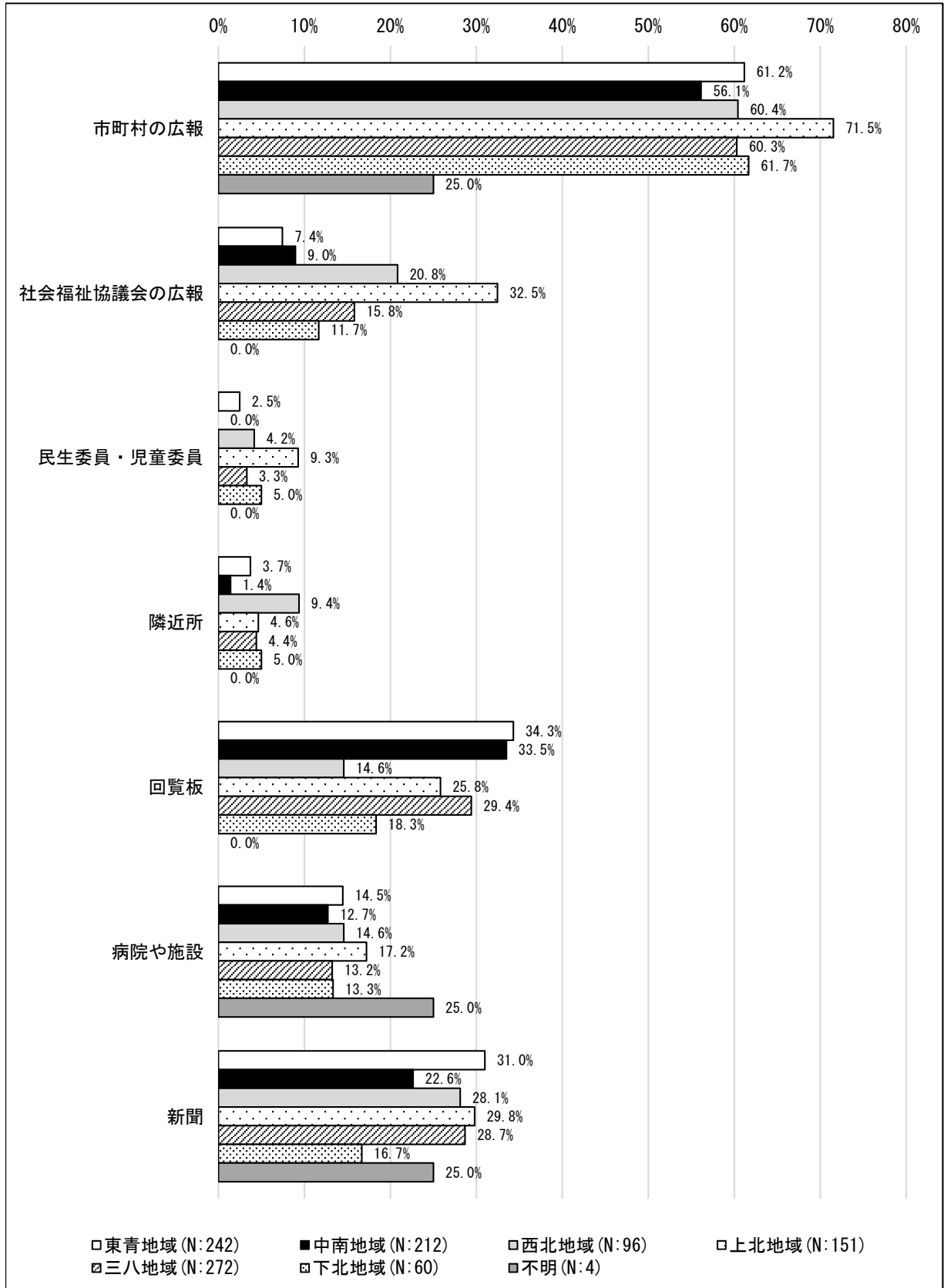
【年代別】

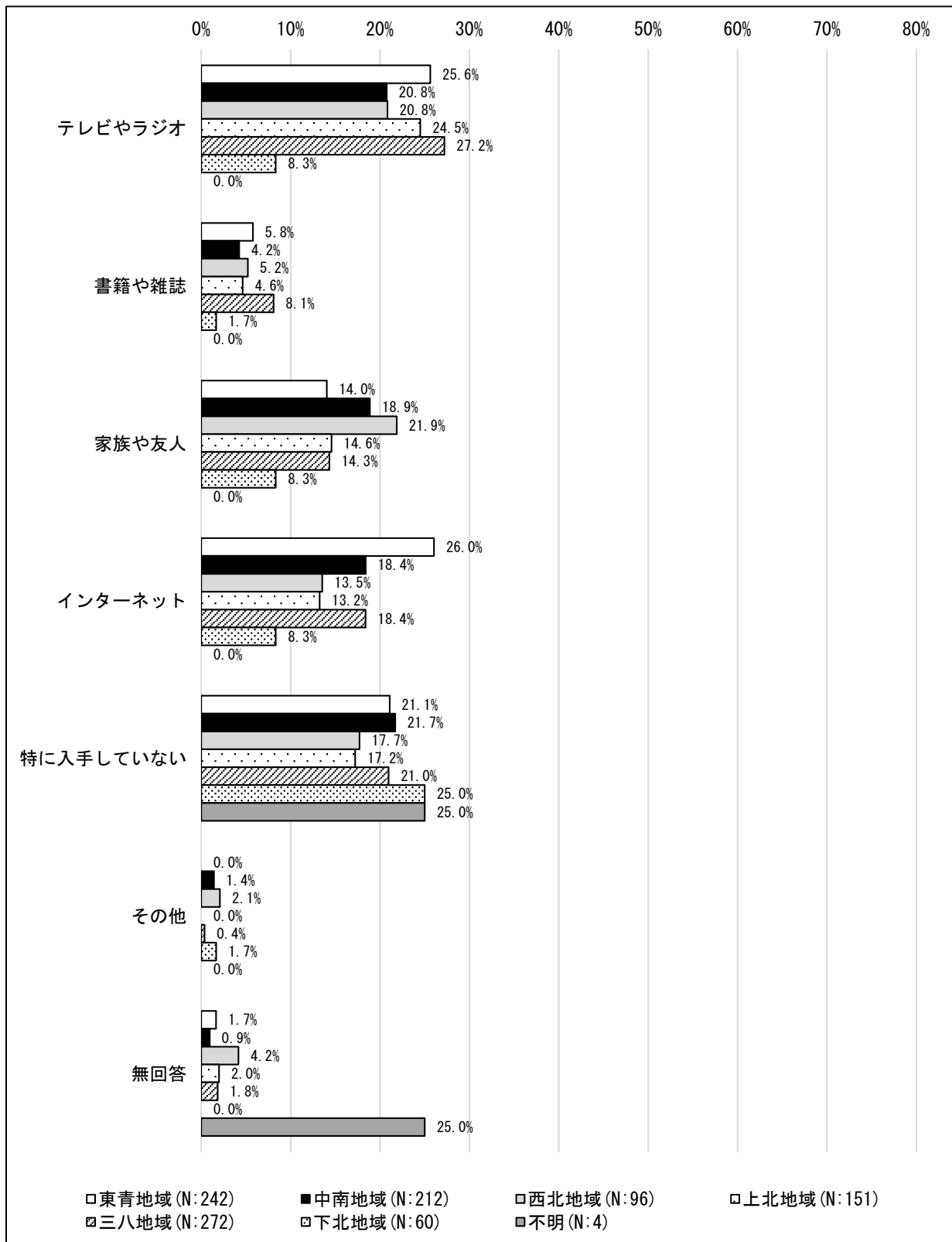




「20代」以外の全ての年代で「市町村の広報」が最も大きくなっている。「20代」は「特に入手していない」が最も大きく、次いで「市町村の広報」と「インターネット」が同率となっている。「回覧板」、「新聞」、「社会福祉協議会の広報」は、概ね年代が上がるにつれて大きくなっている。一方、「インターネット」、「特に入手していない」は、年代が下がるにつれて大きくなっている。

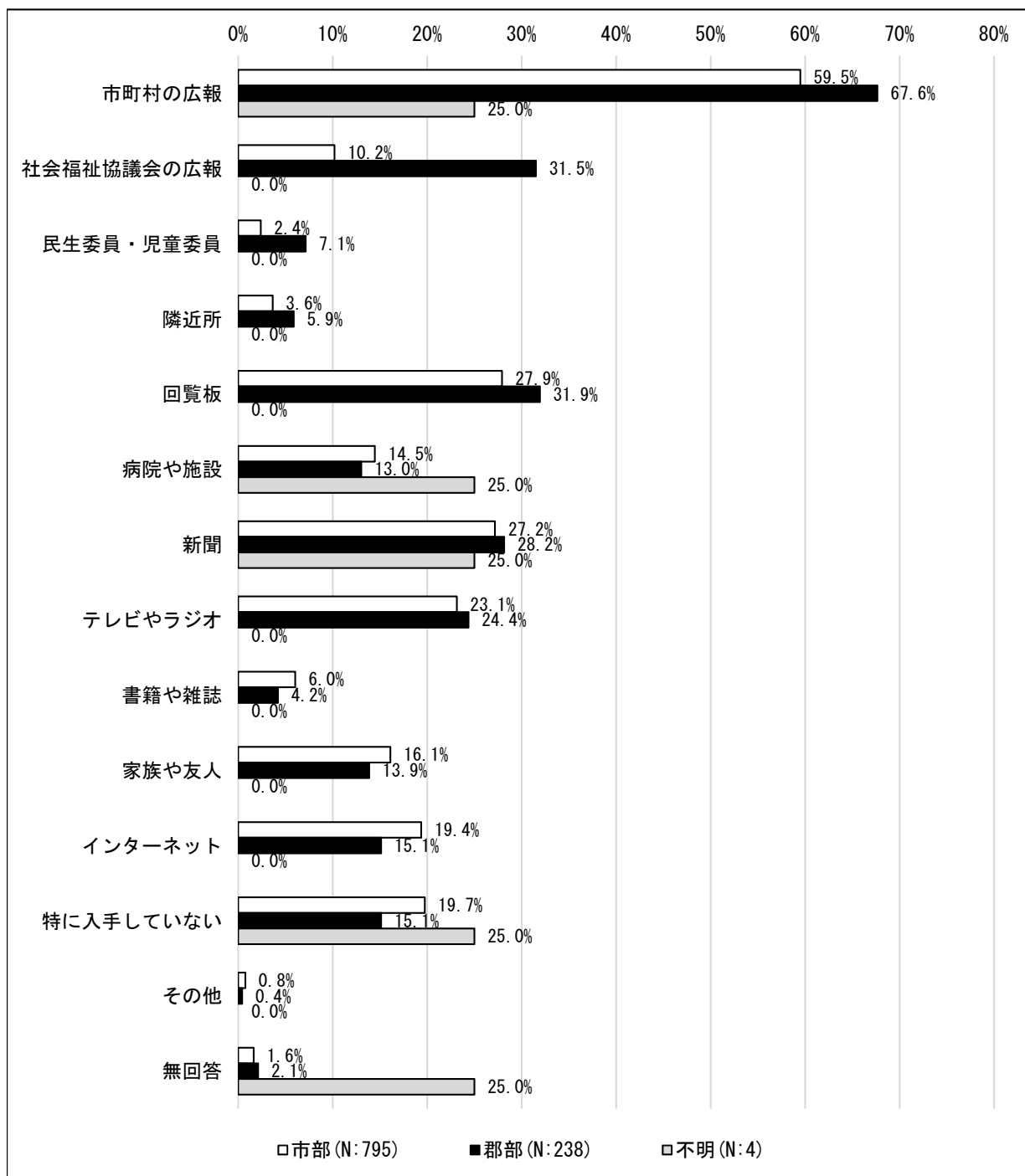
【地域別】





全ての地域で「市町村の広報」が最も大きくなっている。「上北地域」は「社会福祉協議会の広報」が、「東青地域」は「インターネット」が他地域より大きくなっている。

【市部・郡部別】



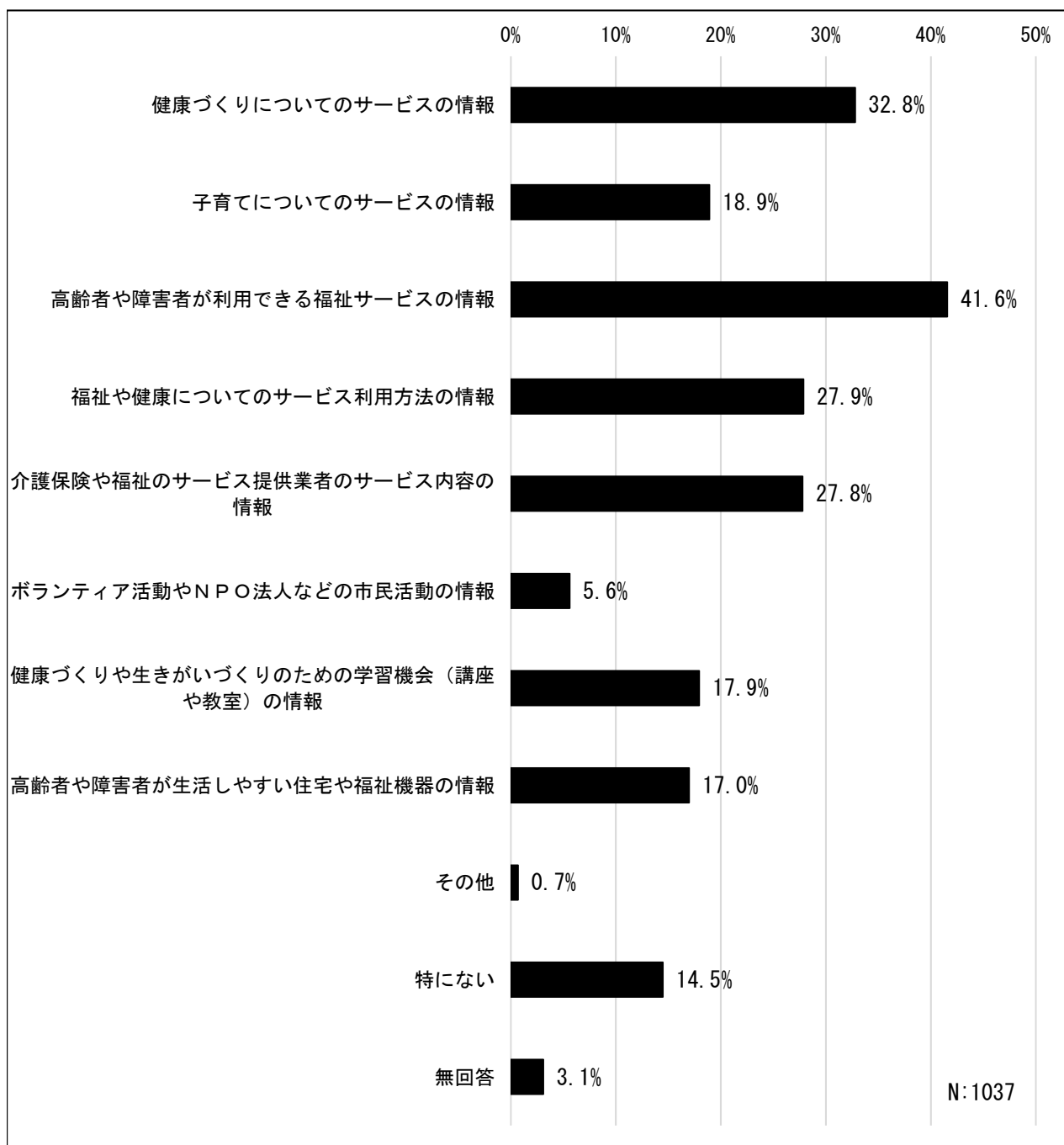
「市部」、「郡部」ともに「市町村の広報」、「回覧板」の順に大きく、次いで「市部」は「新聞」、「郡部」は「社会福祉協議会の広報」の順となっている。「社会福祉協議会の広報」は、「郡部」が「市部」よりかなり大きくなっている。

【自由回答より】

- ・ 職場。
- ・ フリーペーパーなど。
- ・ 手をつなぐ育成会。

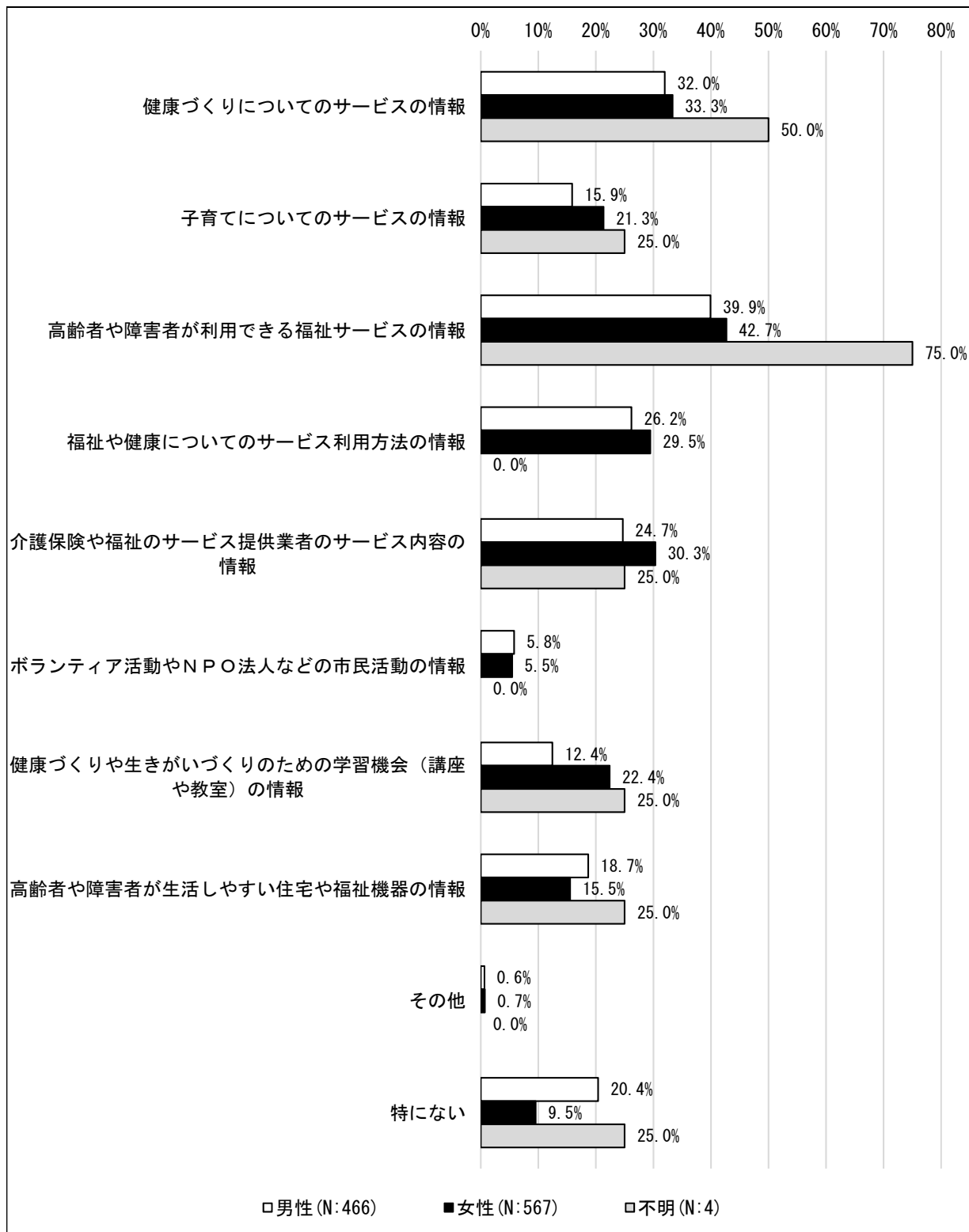
問 42. あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。（3つまで）

・福祉や健康についての情報



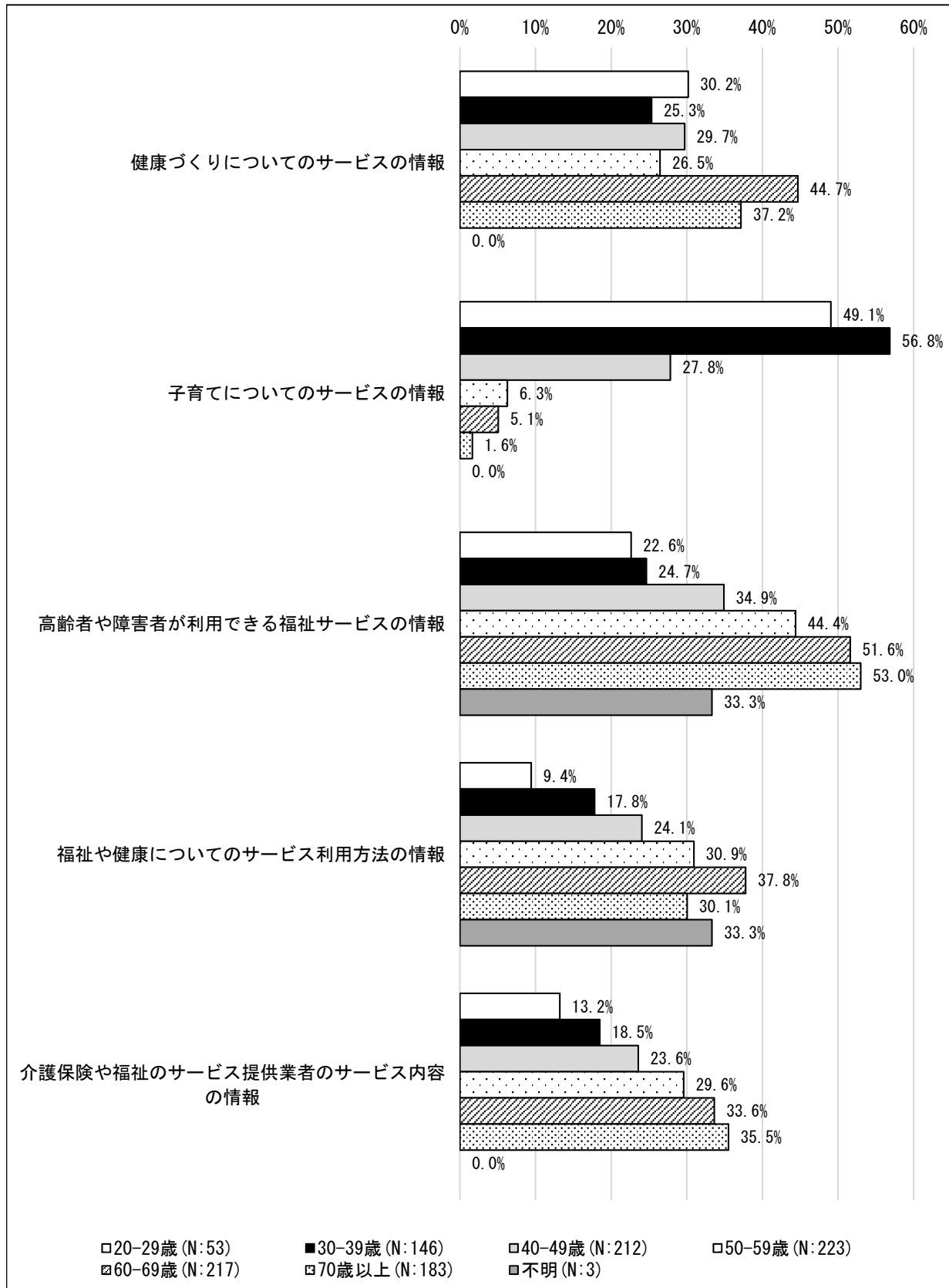
「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」が42%、「健康づくりについてのサービスの情報」が33%、「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」と「介護保険や福祉のサービス提供業者のサービス内容の情報」がともに28%となっている。

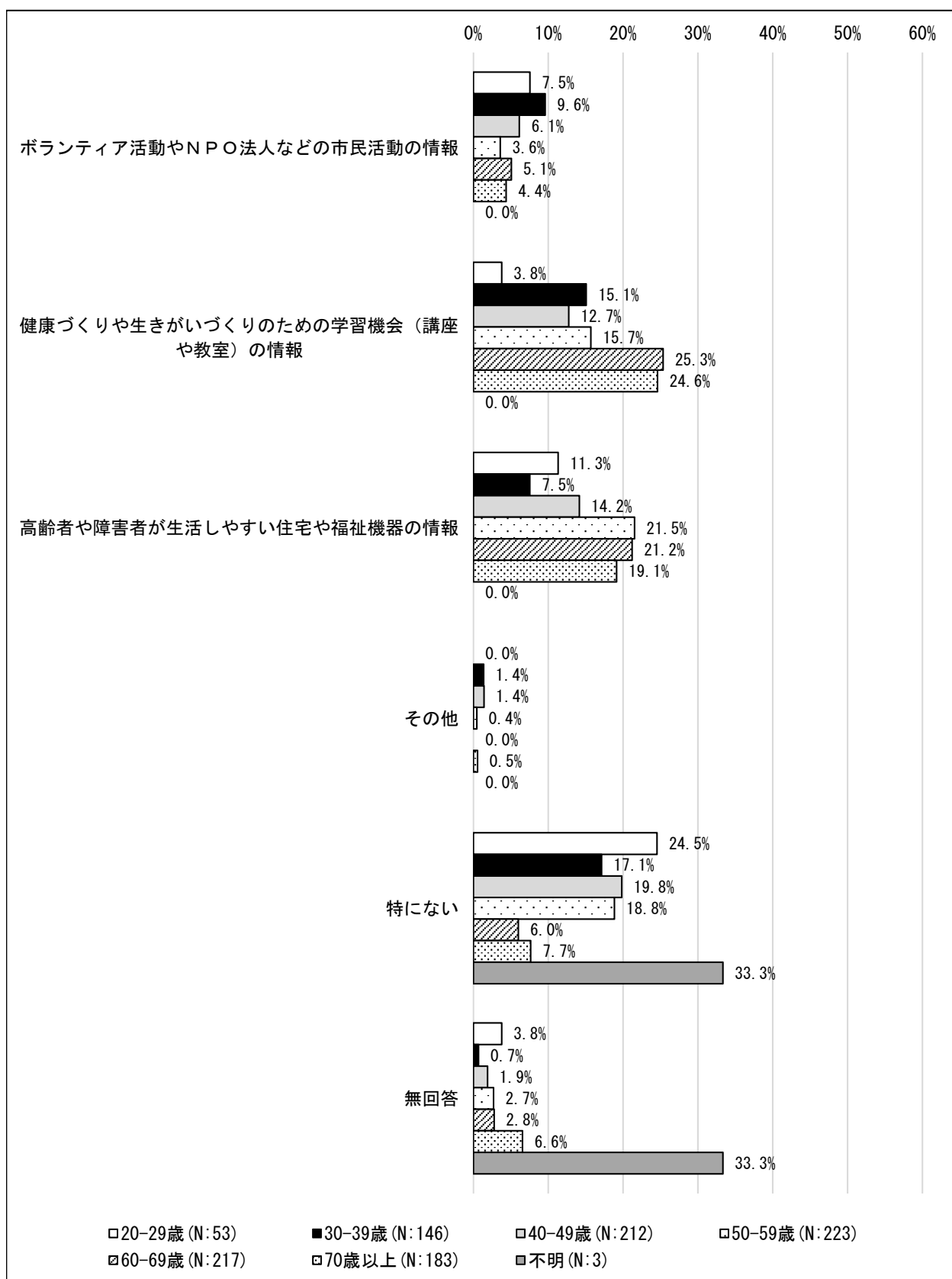
【男女別】



男女ともに「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」、「健康づくりについてのサービスの情報」の順に大きく、次いで「男性」は「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」、「女性」は「介護保険や福祉のサービス提供者のサービス内容の情報」となっている。

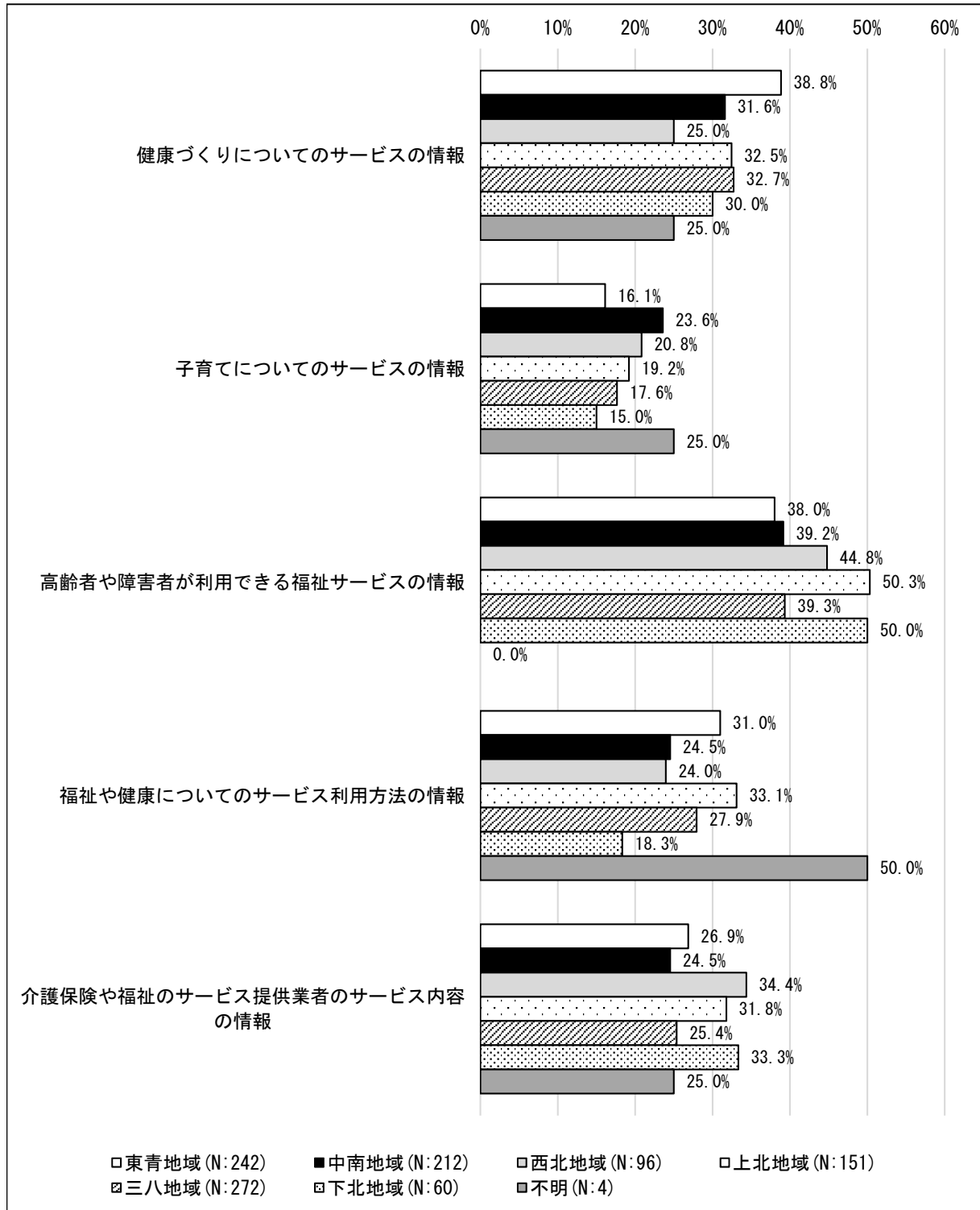
【年代別】

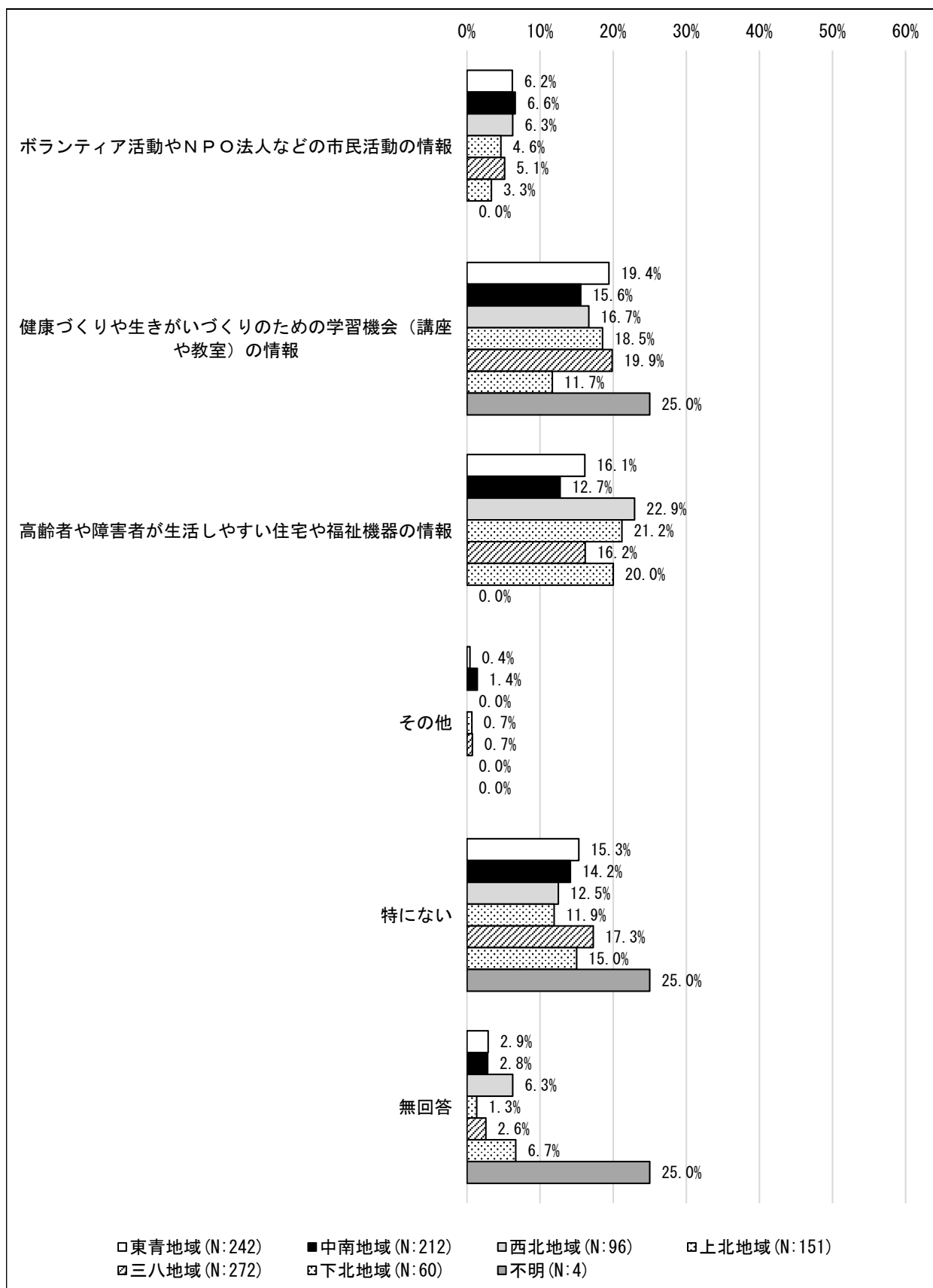




「20代」、「30代」は「子育てについてのサービスの情報」が、「40代」以上は「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」がそれぞれ最も大きくなっている。

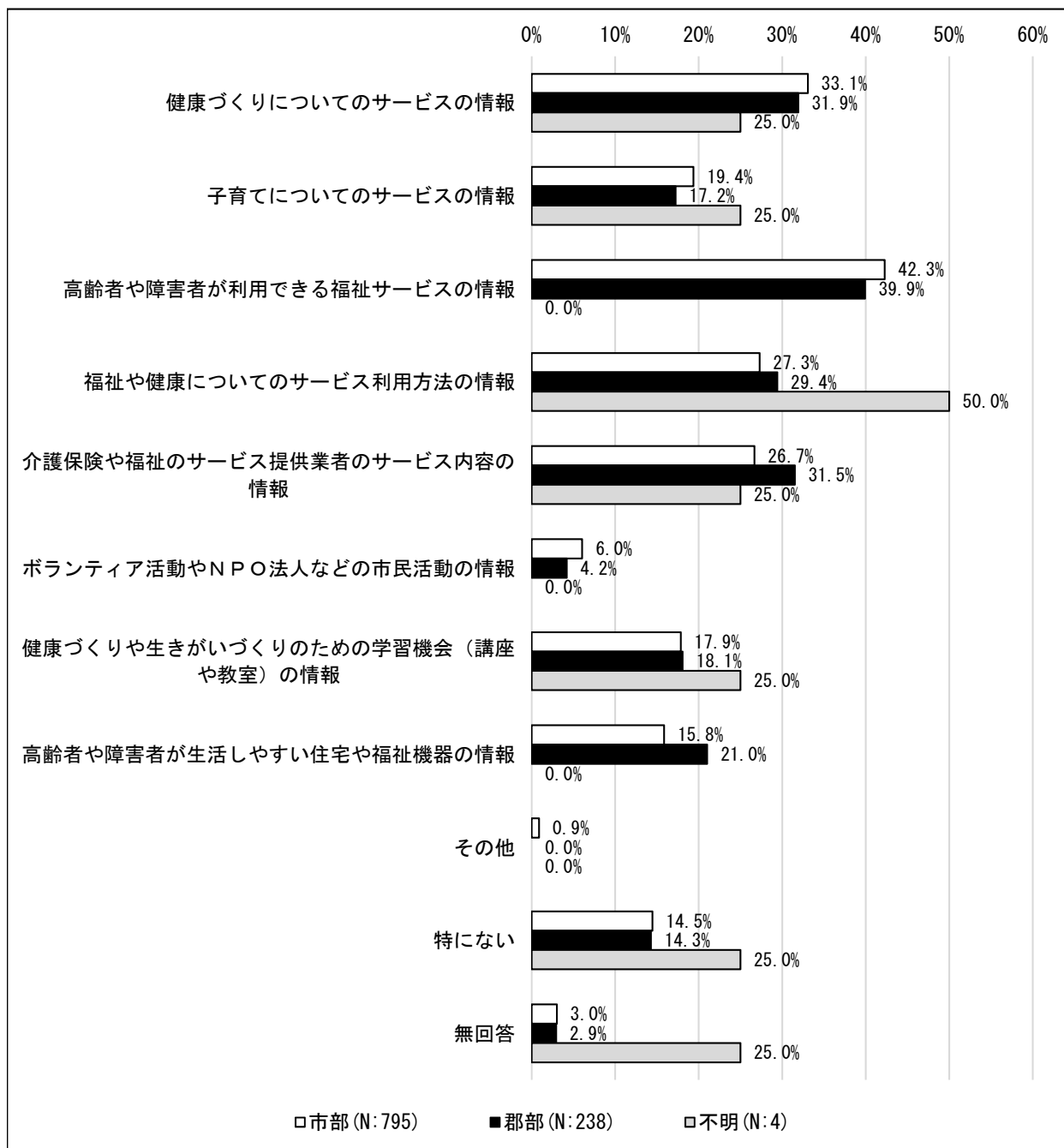
【地域別】





「東青地域」は「健康づくりについてのサービスの情報」、その他の地域は「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」が最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



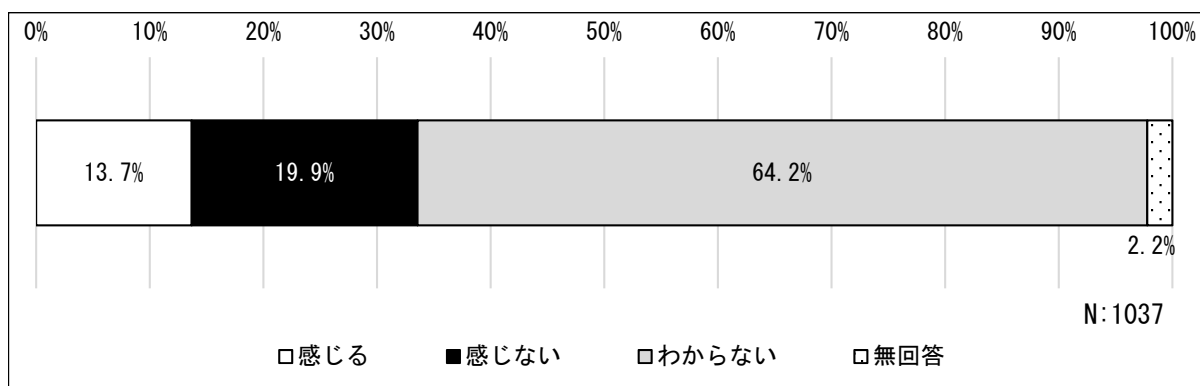
「市部」、「郡部」とともに「高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報」、「健康づくりについてのサービスの情報」の順に大きく、次いで「市部」は「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」、「郡部」は「介護保険や福祉のサービス提供者のサービス内容の情報」となっている。

【自由回答より】

- ・メンタル病棟情報。
- ・母子家庭についてのサービス情報。
- ・孤独死した時の対処。

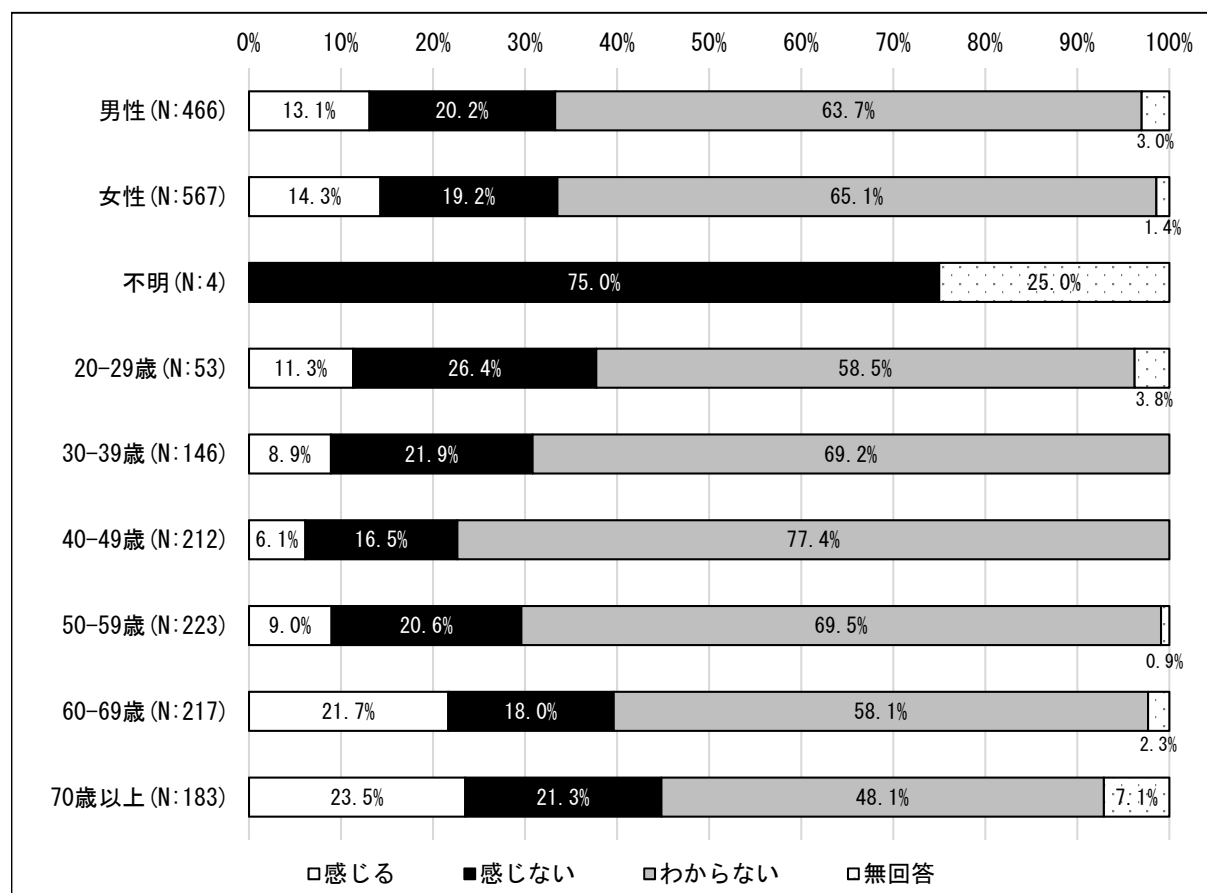
問 43. お住まいの地域では、必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制が整っていると感じますか。（1つ）

・必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制



「感じる」が14%、「感じない」が20%、「わからない」が64%となっている。

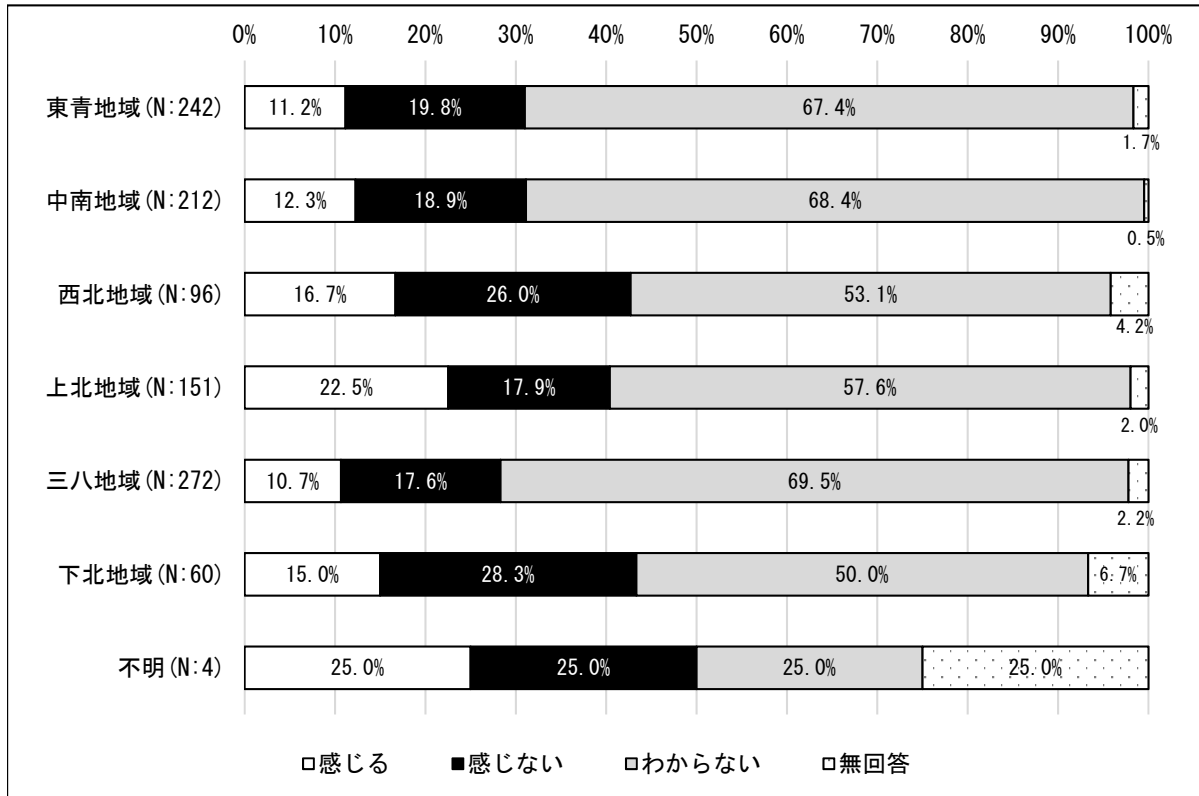
【男女別・年代別】



性別を問わず、「感じない」が「感じる」より大きくなっている。

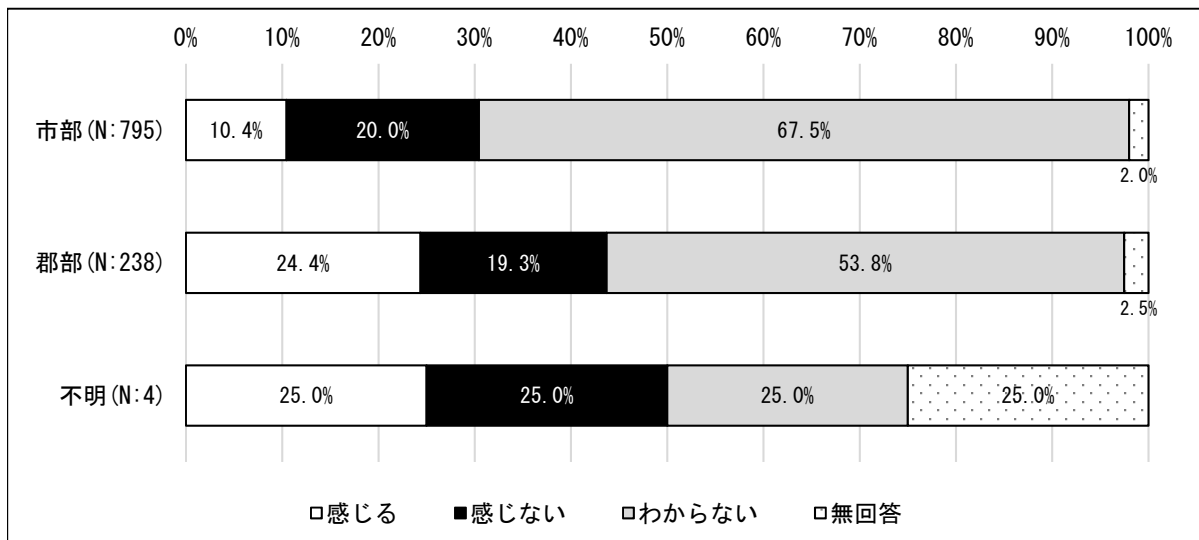
「60代」未満は「感じない」が「感じる」より、「60代」以上は「感じる」が「感じない」より大きくなっている。

【地域別】



「上北地域」は「感じる」が「感じない」より大きくなっている。他地域は、「感じない」が「感じる」より大きくなっている。

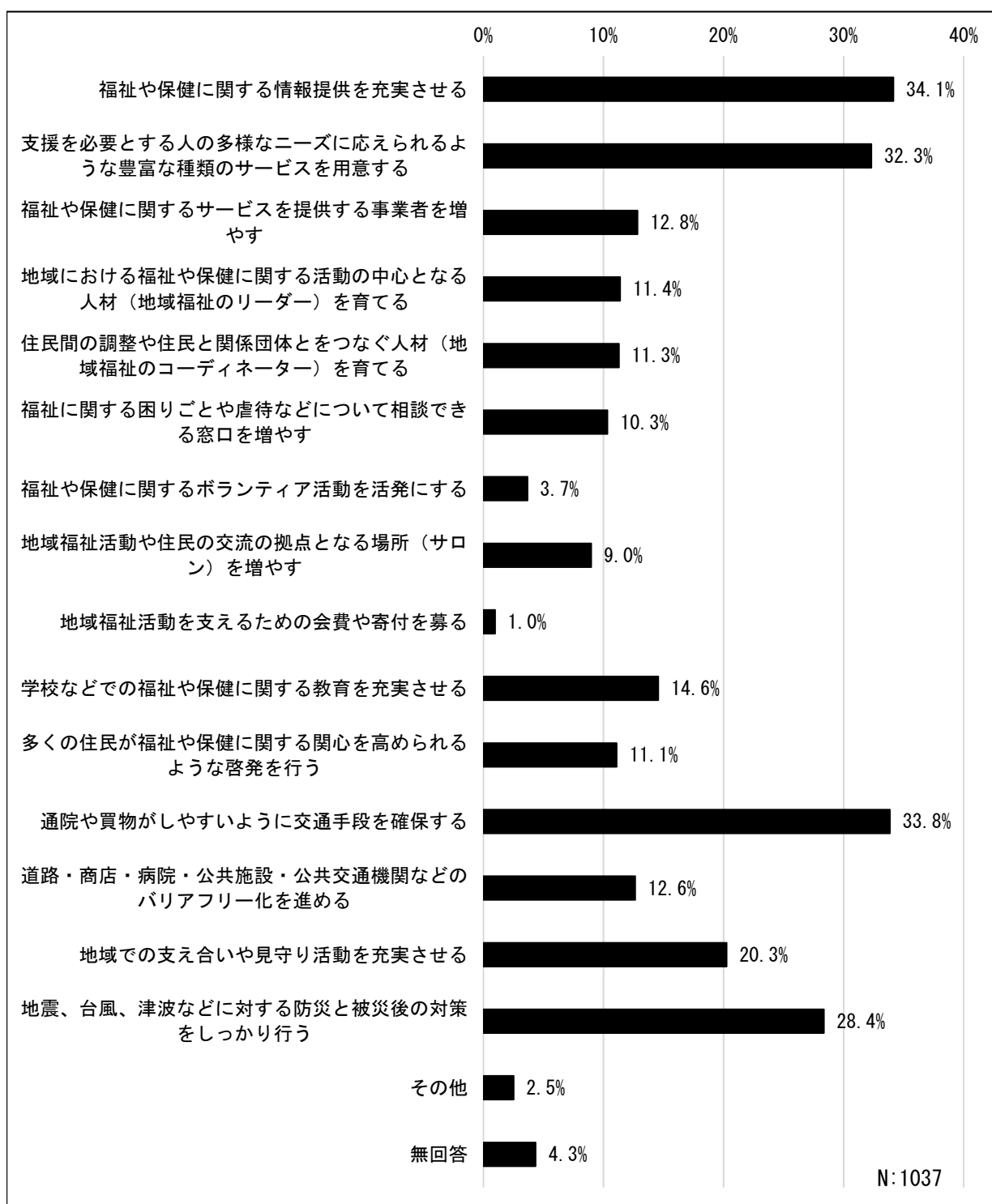
【市部・郡部別】



「市部」は「感じない」が「感じる」より大きくなっている。「郡部」は「感じる」が「感じない」より大きくなっている。

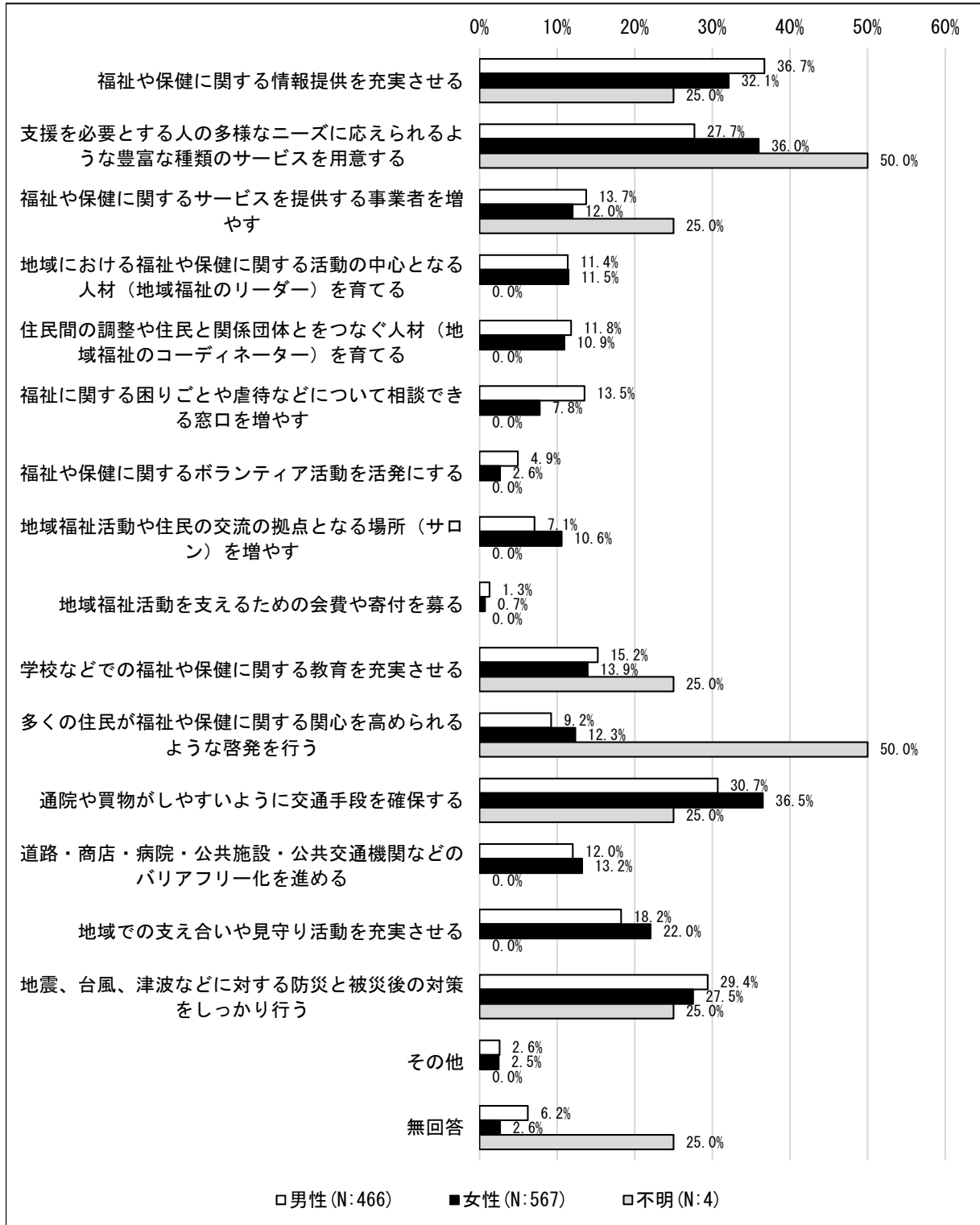
問 44. 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）

・安心な生活に必要なこと



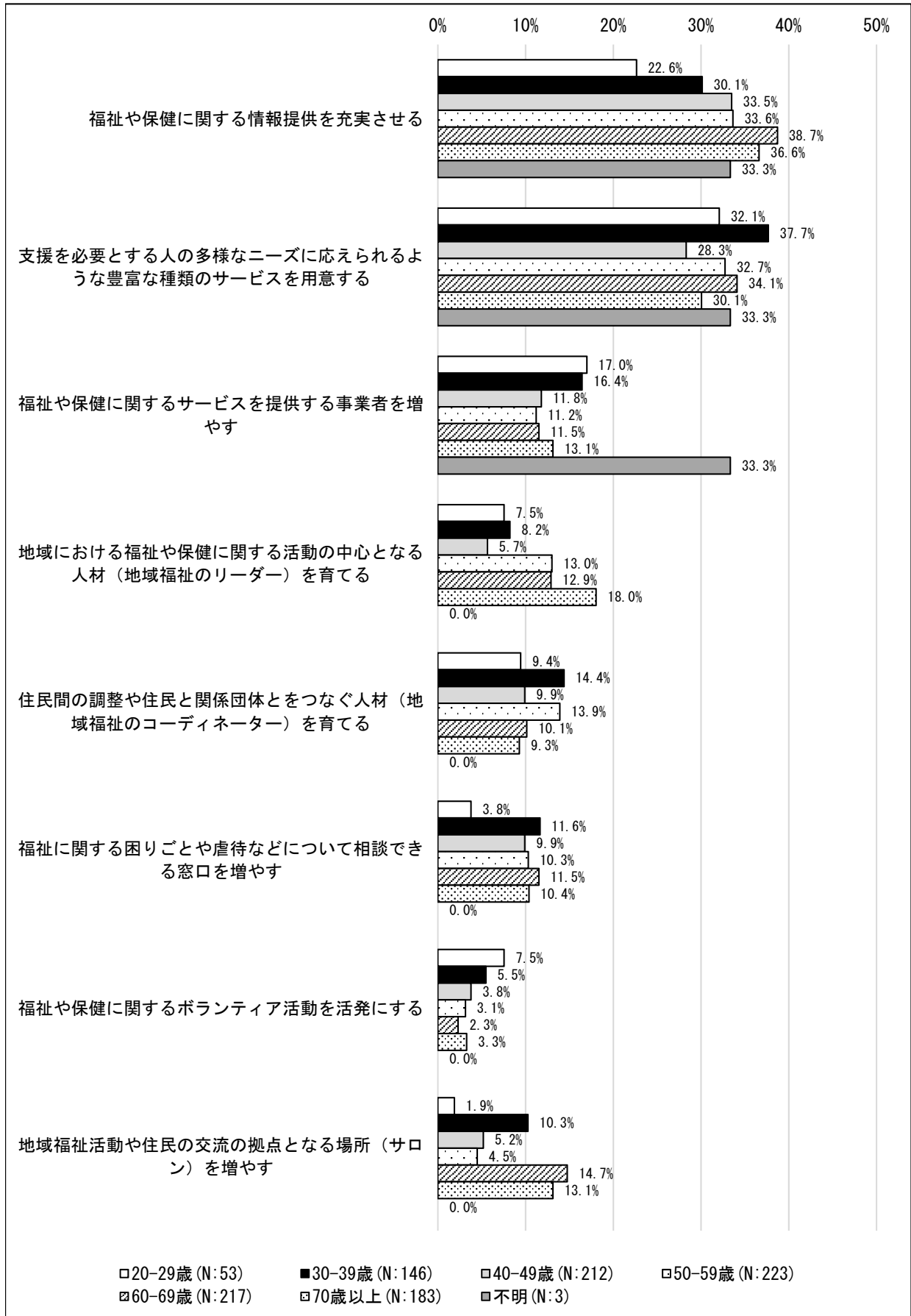
「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」、「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」がともに34%、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が32%となっている。

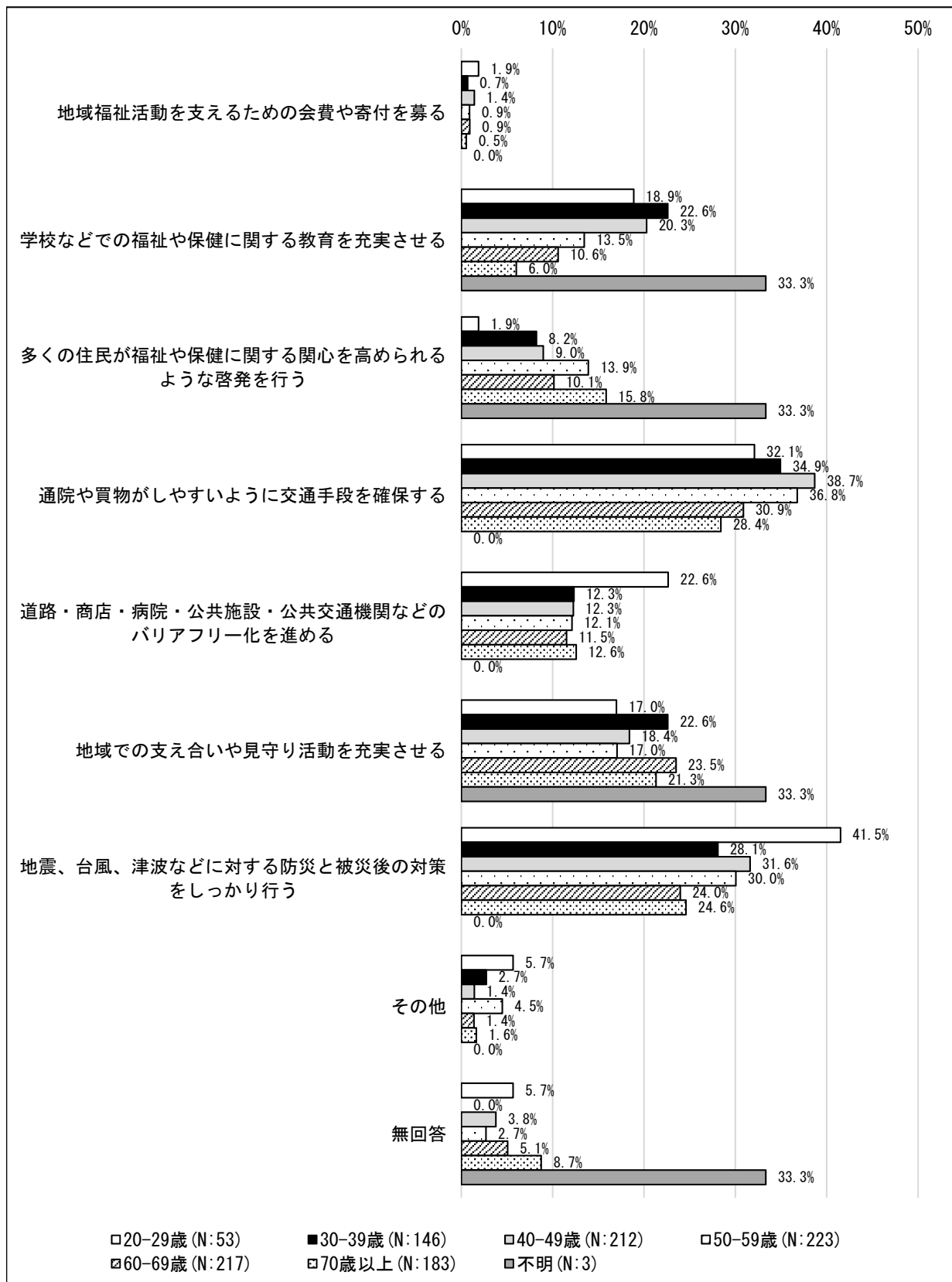
【男女別】



男性は、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も大きく、次いで「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」、「地震、台風、津波などに対する防災と被災後の対策をしっかりと行う」の順となっている。女性は、「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」が最も大きく、次いで「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」の順となっている。

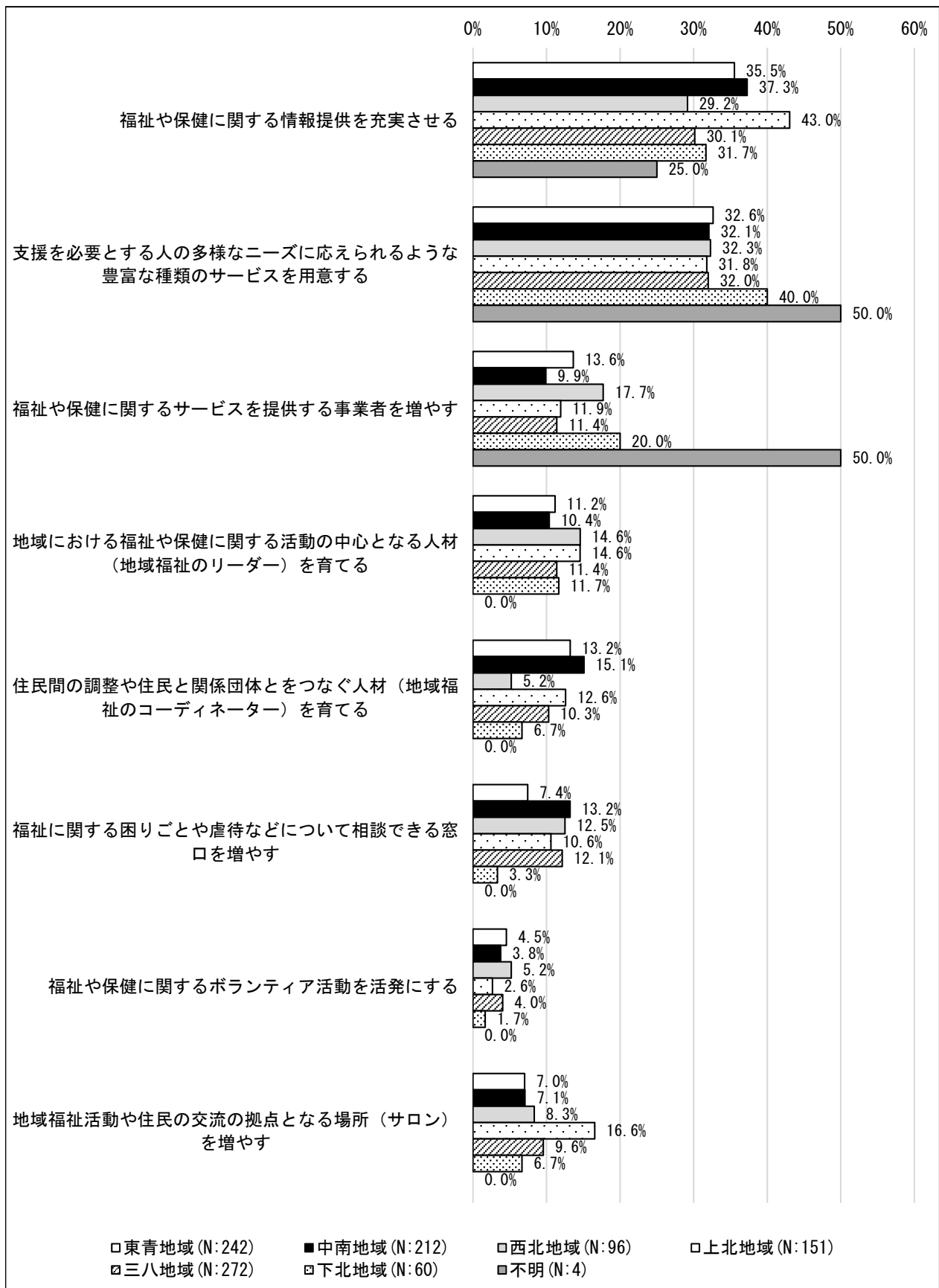
【年代別】

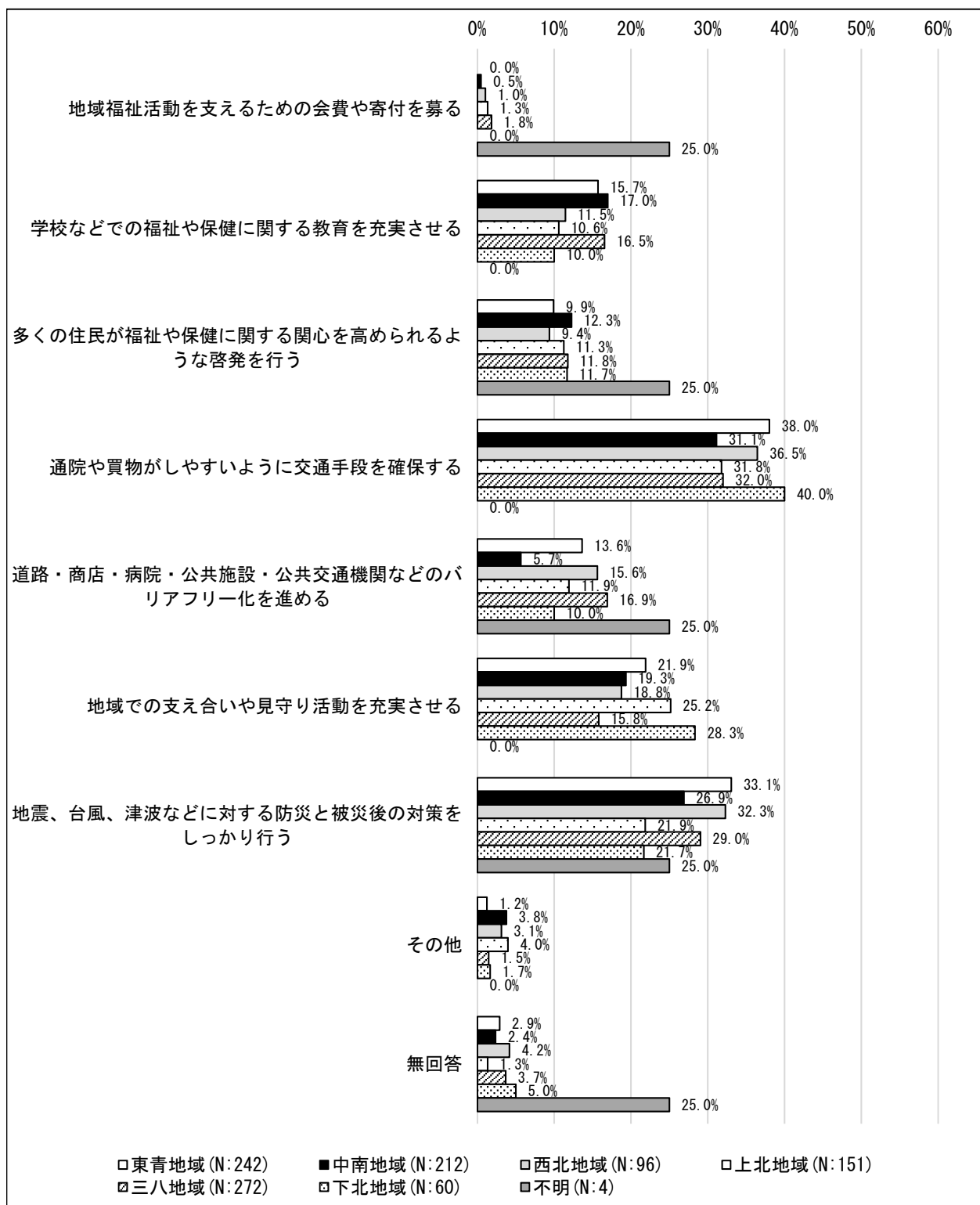




「20代」は「地震、台風、津波などに対する防災と被災後の対策をしっかりと行う」、「30代」は「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」、「40代」、「50代」は「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」、「60代」以上は「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」がそれぞれ最も大きくなっている。

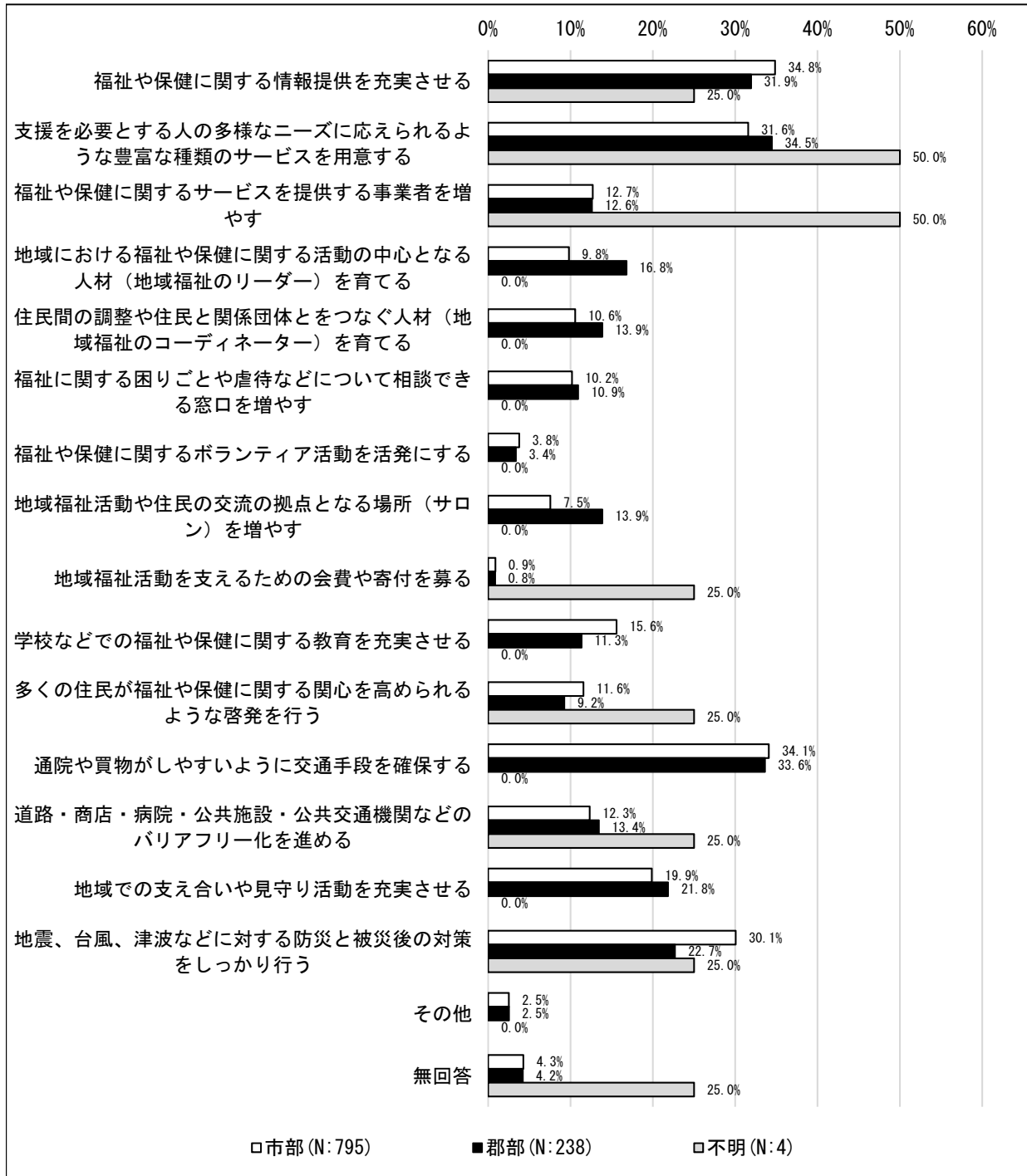
【地域別】





「東青地域」、「西北地域」は「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」が最も大きく、「中東地域」、「上北地域」は「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も大きくなっている。「三八地域」、「下北地域」は「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」とともに「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」が最も大きくなっている。

【市部・郡部別】



「市部」は、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も大きく、次いで「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」の順となっている。「郡部」は、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が最も大きく、次いで「通院や買い物がしやすいように交通手段を確保する」、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」の順となっている。

【自由回答より】

- ・お金と健康。
- ・地域福祉を行う公務員を増やす。
- ・生活保護制度の抜本的な見直し。
- ・子どもやお年寄りが地元に残っていただける環境でなければこの必要もない。

問 16 相談窓口に期待すること
自由回答のまとめ

主な回答内容	分類項目
その相談者の話を良く聞いてほしいと思います。あまり物事を決めつけず、その相談者に合った解決方法を見出してほしいと思います。	適切な対応
たらい回しにせず、聞いてくれる事。	適切な対応
どのような場合でも、まずは親身になって話を聞いていただきたい。人によって対応の良し悪しがあるのはいかなものか。	適切な対応
どんなに些細なことでも真剣に相談を聞いてくれる事。	適切な対応
マニュアルどおりにならず、相談者に合わせた助言、行動が出来る人材確保・育成。	適切な対応
機械的な対応ではなく、相談者に対して上から目線ではなく、まず寄り添う気持ちを持って、相手の気持ちをくんだ言動をしてほしい。相談者が何を求めているのかを知り、的確なアドバイスができるようになってほしい。(役所はとにかく思いやりがなく、機械的である。)	適切な対応
気軽に相談できる雰囲気づくり、関係機関との密な連携。	適切な対応
具体的な対策を教えてほしい。	適切な対応
困って相談すると思うので、優しい言葉で対応してほしいと思う。親身に聞いてくれたり、適切な対応をしてくれると安心できると思う。	適切な対応
児童虐待等色々な相談があるが、福祉士等の人員不足から各地の若い命が失われているような気がします。私個人の考えでは、相談し、解決出来る仕組みづくりが不透明な気がします。相談し解決して初めて相談窓口だと思います。以前にある市役所で、相談窓口相談したら「そんなの知らねじゃ」と言われてから、意味をなさない所という認識が強いです。そのようなことが無いことを期待します。	適切な対応
手軽に気軽に相談できる環境（場所や方法）。	適切な対応
親身になって相談を聞いてくれる。専門的な相談員。役場のようにたらい回しにしない、しっかりとした窓口。	適切な対応
親身になって話を聞いてくれて、解決方法を一緒に考えてくれる姿勢。	適切な対応
積極的に相談者に対して親身になって聞いてほしい。	適切な対応
相談→アドバイスして終わりではなく、その結果どうなったかまでフォローしてほしい。(内容にもよると思うが)	適切な対応
相談したことが解決するようになるのか。相談して終わりになってほしくない。	適切な対応
相談した事柄が途中でうやむやにならぬよう、最後まで解決策を考えて努力してほしいと思う。	適切な対応
相談しやすい雰囲気や、解決するまでのていねいな対応やアフターケアのような、その後も気にかけてくれるような関わり。	適切な対応
相談しやすさ（手段、場所など）。	適切な対応
相談を受けた時に親身になって話をきいてくれること。内容によって関係機関に連絡を取り、動いてくれること。	適切な対応
相談員の人数、時間、プライバシーなどどの程度か？24時間体制の窓口であればより良いと思います。	適切な対応
相談内容に応じた他機関との連携。	適切な対応

主な回答内容	分類項目
相談窓口担当者の対応に差がありすぎる。「相談窓口」なのに事務的な感情のないような話し方をされると相談したくなくなる。	適切な対応
相談者に対して、話を聞いてあげること。話の中で何に困っているか？何を相談の中でしたいのか？を聞き取りしながら探ること。それをどういう風に相談役の人が自分なりに昇華できるのか？考えながら行う事。上辺だけの言葉にならないよう気をつけるべき。	適切な対応
相談者に優しく接してくれる相談窓口の人や、フォローしてくれる人にいてもらえること。	適切な対応
窓口に行ってもよくわかっていない職員がいる。もっと勉強してほしい。	適切な対応
他人事で終わるような、事務的な対応をしないこと。 例) 仕事が決まらず、生活していけるか不安で、県営住宅等の入居相談に行った際、「お金大変なのに、車を所有しているの？」と言われてたり。バスがないのに…。	適切な対応
多様な相談窓口が有りますが、どの窓口にも必要な精神ケア（心のケア）専門窓口があるべき。専門分野の弁護士、精神科、心療内科と連携できて安心して相談できる特別窓口に期待します。現項目の1から8の他に、強烈に傷つき、うつ病にまでなる詐欺や事件の被害者に寄り添うことが結果的に自殺防止、虐待防止、生活困窮をいくらかでも軽減できると信じている。	適切な対応
態度が悪い、私達をバカにしている、知識なさすぎ、型にはまりすぎてお役所人間だなと感じます。相談に行きにくいです。	適切な対応
地域の人がどんな小さな困り事でも相談しやすい、広く開かれた窓口であってほしい。（気軽に相談できる状況）	適切な対応
電話での相談だけでなく、直接会って現状や事実をしっかりと認識する事。	適切な対応
日祭日や遅い時間でも対応してくれる事。	適切な対応
悩んでいても、窓口に行ったら何から話していけば良いのか分からないでいる人に対して、もっと聞く姿勢を持ってほしい。「こんなことも知らないのか」という態度はやめてほしい。	適切な対応
悩んでいる人が相談する事によって元気になれること。	適切な対応
不安を少しでも解決できるようなアドバイスを受ける事ができ、書類など文章で理解しにくい言葉を分かりやすく説明してもらえること。	適切な対応
お役所仕事をしないで、相談者に真摯に向き合ってほしい。	適切な対応
様々な方法を提案してほしい。その際、必要な事、大事な事など細かい所まで説明した上で選択できるような情報提供をしてほしい。	適切な対応
相談の解決する・しないにかかわらず、親身になって相談相手になってほしいと思う。	適切な対応
多方面から情報を得たい為、選択肢のある提案をしてもらいたい。	適切な対応
精神的な支え、あたたかさ。窓口の方自身や他のケースもオープンにして情報共有すること。	適切な対応
相談した後の追跡調査。本人に「その後、どうですか？」等の聞き取り確認。	適切な対応

主な回答内容	分類項目
1人でも多くの困っている人を減らすこと。相談窓口があるということを多くの人に知ってもらい、気軽に利用できる工夫をしてほしい。	PR 活動
いざ自分の身にふりかからないとなかなか興味を持って調べよう、知ろうと思わない人が多いと思う。そういう人達にどう知ってもらうかというのが課題だと思う。	PR 活動
どういう事が相談できるか、どこへ相談すべきか、ラジオやテレビなどで商業的な事してほしいと思います。	PR 活動
どこで何をやっているのかの一覧表が一家に一枚配られると良い。	PR 活動
どこに相談すればいいかわからない内容について、相談窓口を教えてください。調べてもよくわからないので。	PR 活動
まずは相談窓口があるということを知らない人がいるので、どういうふうになれば相談できるかを知らせる必要がある。相談窓口の認知の拡大。	PR 活動
各地区の地図を作り各項目ごとに役名・委員名を書き入れられる空間を作って役員が替わるたびに各人が鉛筆で書き替えられるようにする。空間が汚れたら前の寸法に合わせ白紙を貼って行けばよいと思います。2、3年前迄の役員の名簿を保管する場所を地図の裏側に作るのも一考した方がよい。	PR 活動
学校に関わりがある時期は、児童虐待やいじめ相談に関する窓口のお知らせはくるが、関わりがなくなったりするとお知らせが来なくなるので、それ以外の窓口の内容も広報などで継続して一覧表を掲載するのが良いと思う	PR 活動
近くに窓口を案内する場、地域のことならなんでも教えてくれる場、があるといいです。場所や相談のしかたがわかりません。	PR 活動
行政の方達が一生懸命やってくださっているのに、開かれた窓口になっていると思います。広報にもっと記載があると良いのですが、市政よりも月2回が1回になってしまいました。	PR 活動
上記の各相談窓口は、事件等があればニュースで見えるが、直接的には何もわからない。各相談窓口を書いた本のようなものが各家庭にあれば、何かの時に見る事が出来る。	PR 活動
上記の様な相談窓口がある事をもっと広く知らせるべき。また、市役所の方は窓口に行くとも面倒臭そうにイスから立ち上がって出てくるので、もっと住民に親身になって受け入れてくれれば、相談に行こうかなという気持ちになるのではと考えます。	PR 活動
相談窓口があることを広める。窓口での相談、電話、メールなど相談しやすい方法を選べること。否定せず受け止めてくれること。必要があれば関係機関につなげたり、支援をしてくれること。	PR 活動
相談窓口があるのなら、もっとわかりやすい方法で周知してくれると助かります。何となく聞いていてもどうやって相談するのか、番号、場所等知りません。	PR 活動
相談窓口が存在する事自体を知らなかった。自分に必要性が無いと思っているから。告知をもっとしてほしい。協力したい。	PR 活動
電話応対が良いのか、それとも相談窓口まで出向かなければいけないのか、など情報提供の機会を増やした方が知名度が高まるように思う。	PR 活動

主な回答内容	分類項目
すぐに相談できるような所。	迅速な行動
スピード感ある対応。	迅速な行動
どの相談でもスピードをもってやる事。	迅速な行動
迅速かつ的確な行動・対応。	迅速な行動
生命に関わる事案などは迅速な対応をしてほしい。特に身体的暴力を受けた被害者の身の安全の確保を最優先にし、加害者（と思われる者も含む）との接触をしないように万全の体制を整えてほしい。	迅速な行動
相談窓口に行くまでの悩んでいる時間が長く、本人にとっては八方ふさがりの状態なので、何かひとつでも前にすすめる手助けがほしい。たらい回しや、その場限り、後ではなく、その時に糸口がほしい。	迅速な行動
窓口で得た情報を迅速に関係機関へ申し送ること。	迅速な行動
その状況にないので、考えた事はありませんが市の窓口それぞれの方々が行きやすいように、配慮することが大事ではないかと思います。	プライバシー保護
個人情報がもれないようにしてほしい。	プライバシー保護
守秘義務。本当に守られているか不安。	プライバシー保護
親身になること。口外しないこと。	プライバシー保護
相談を受ける人の度量、力量、そして口が堅いことです。（結構地元の民生委員、人権委員には欠けている人がいる。）教員 OB とかでなっている人は、ガッカリする人が多い。	プライバシー保護
直面しないとわからないが、プライバシー保護・専門員への相談ができればよいと思う。	プライバシー保護
役所だと、知人が勤めている場合があるので、顔が見えないようになっているとか、匿名でなど、相談できる場所があれば良いなと思うことがあります。	プライバシー保護
一人暮らしの高齢者が話相手をほしがっている場合があるので、受け皿となってくれる可能性。（周りに言えないが誰かに言いたい時とか）	高齢者
高年齢で一人暮らし故に困った時、気軽に相談できる幅広い知識がおありの御方がほしいです。	高齢者
私の住んでいる村も高齢者が多く 85 才以上になるとほとんど家にひきこもりです。いつも死にたい死にたいと言っています。本心ではないのです。その家族が悩んでいます。どうしたらいいのでしょうか？村にも相談窓口はありますが、小さな村のため、なかなか相談できません。	高齢者
低所得者の入れる老人ホームが少ないし、汚い施設に入れたとしても 2 年位で出される。次を探すのが大変。	高齢者

テレビ等で見ると中途半端な介入はしないでほしい。勝手に不要として判断した結果、虐待で亡くなる子供のニュースなど見ると腹立たしい。	児童
児童虐待などは、よくニュースで見ると。それだけ数が多いということ。青森ではまだ聞かないが、もし、そういうことがあるなら早急な対応で事件を防いでほしい。	児童
特に子供、若者の自殺対策が必要。	児童
特に児童虐待の場合、虐待している保護者の言うことを聞いて手遅れにならないようにすること。それなりの権限が必要。	児童
実際の支援。直接子供の面倒をみる。家計設定のアドバイス（フィナンシャルプランナーによる）。	児童
子供のことで相談窓口で電話相談したことがありました。でも、本当に切羽詰って相談していたのですが、この窓口では…と何回も相談した後に言われ、たらい回しにされ、精神的に疲れてしまい諦めました。今となってはどうにもなりません、相談窓口とうたっているならば、責任を持って相談にのるべきだと思うし、その窓口でないなら、ちゃんとした窓口を紹介する等、適切な仕事をしてほしいと思いました。話を聞くだけなら誰でもできます。話を聞いて解決に向かうように手助けするのが窓口の仕事では？と思いました。それで人生が変わる人もいるのだから…	児童
金銭的援助。私自身が病気で働けなくなり非常に苦しい思いをしたから。	自立支援
周りとのつながりができること。	自立支援
生活していくための具体的なアドバイス（金銭面の手続きなど）。	自立支援
生活保護の審査。タバコを吸ったり、お酒を飲んだり、普通の人より贅沢な生活をしている人がいる。	自立支援
当事者本人が相談するケースはいいけれども、家族のいない独居で悩んでいて相談できない人の場合、どう救済、手助けすればいいのか。	自立支援
ひきこもり主婦に対する相談窓口がほしい。	ひきこもり
別生計ですがひきこもりの弟がいます。家族が相談に行くことができて、本人は家から動こうとしないのが現状なので、訪問してカウンセリングしてくれたり、もう少し踏み込んで解決の糸口を見つけてくれるものがあれば助かると思っています。解決のきっかけを家族からというのは、本人が反発したり抵抗したりするので、第三者の方の力が必要と思うことが多々あります。	ひきこもり
差別や偏見にさらされている障害者へ、思いやりを持って対応してほしい。	障害者

「地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関するアンケート調査」について

日頃から、青森県の地域福祉推進にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

青森県では、各市町村地域福祉計画の推進を支援するため、青森県地域福祉支援計画を策定しています。

この計画を着実に進めるため、県民の皆さんが地域福祉についてどのように感じておられるのかをお聞かせいただき、計画推進の基礎資料とさせていただきたく、「地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関するアンケート調査」を実施することとしました。

今回、市町村から計2,000名を無作為にお選びしました結果、あなた様にご協力をお願いすることになりました。お忙しい中大変恐縮ですが、別紙アンケート項目にご回答いただきますようお願いいたします。

なお、アンケートは無記名です。ご記入いただいた内容につきましては、全て統計的に処理するもので、回答者が特定されることはありません。また、集計結果につきましては、後日、青森県のホームページ等で公表いたしますので、あらかじめご了承ください。

令和元年11月

青森県健康福祉部健康福祉政策課

【質問事項】

- I あなた自身のことについて
(問1～問4)
- II あなたと地域との関わりについて
(問5～問7)
- III 地域の支え合いに関するあなたのお考えについて(問8～問13)
- IV 様々な相談窓口について
(問14～問18-2)
- V 福祉教育に関するあなたのお考えについて
(問19～問21)
- VI 社会福祉法人や社会福祉協議会とのかかわりについて(問22～問25)
- VII ボランティア活動について
(問26～問29)
- VIII 福祉サービスにおける権利擁護について
(問30～問33-1)
- IX 福祉・介護人材の確保育成について
(問34～問37)
- X 外出するときの手段について
(問38～問40)
- XI 福祉に関する情報と今後の福祉のありかたについて(問41～問44)

【回答に当たってのお願い】

◆ 調査票

- 同封の「地域福祉推進に向けた青森県民意識に関するアンケート調査票」をご使用ください。

◆ 調査票の記入方法

- この調査は、個人の方を対象に実施しています。あなた自身のお考えでお答えください。
- 回答は、該当する数字を○で囲んでください。なお、○の数は質問によって異なります。また、「その他」を選んだ場合は()内に記入してください。

◆ 回収方法

- 同封の返信用封筒にご記入いただいた調査票を入れ、切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。**投函は11月30日(土)までをお願いします。**
- 返信用封筒に記載しているバーコードは県が郵便料金を支払うためのもので、あなた様個人を特定するものではありません。

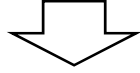
ご回答いただく上で不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いします。

青森県健康福祉部健康福祉政策課 地域福祉推進グループ

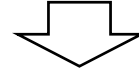
電話 017-734-9281

問6 あなたは地域活動に参加していますか。(1つ)

① 参加している



② 参加していない



問6-1 参加している地域活動
(あてはまるものすべて
選んでください。)

- ① 一斉清掃
- ② 祭り
- ③ 地区運動会・スポーツ大会
- ④ 資源回収
- ⑤ 小中学校行事
- ⑥ 子ども会行事
- ⑦ 青年会活動
- ⑧ 老人クラブ活動
- ⑨ 女性団体活動
- ⑩ 防災活動
- ⑪ 育児支援活動
- ⑫ その他()

問6-2 参加していない理由
(3つまで)

- ① 仕事を持っているので時間がない
- ② どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない
- ③ 興味の持てる活動が見つからない
- ④ 健康や体力に自信がない
- ⑤ 家事・育児に忙しくて時間がない
- ⑥ 家族等の介護などで時間がない
- ⑦ 地域活動をする上での経済的な負担が大きい
- ⑧ 家族の理解がない
- ⑨ 地域にあまり関わりたくない
- ⑩ 地域活動の必要性を感じない
- ⑪ その他()

問7 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたはどうしますか。(1つ)

- ① 積極的に参加したい
- ② 内容によっては参加したい
- ③ 当番制なら参加する
- ④ おそらく断る
- ⑤ その他()
- ⑥ わからない

《Ⅲ 地域の支え合いに関するあなたのお考えについておうかがいします》

問 8 困っていることや不安なことがあるとき、あなたは誰に相談しますか。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① 家族 | ② 親戚 |
| ③ 知人・友人 | ④ 近所の人 |
| ⑤ 市役所や役場 | ⑥ 民生委員・児童委員 |
| ⑦ かかりつけの医者や看護師 | ⑧ 福祉サービス事業者 |
| ⑨ 社会福祉協議会 | ⑩ ボランティア団体 |
| ⑪ その他(わからないを含む) | ⑫ 相談できる人はいない |
| ⑬ 相談しない | |

問 8-1 問 8 で「⑬ 相談しない」を選んだ方におうかがいします。その理由は何ですか。(1つ)

- ① 自分でぎりぎりまでがんばりたいから
- ② 自分や家族で何とかやっているから
- ③ 誰に相談すればいいかわからないから
- ④ 気軽に相談できる人がいないから
- ⑤ 自分や家族のことを他人に知られたくないから
- ⑥ その他 ()

問10-1 問10で「⑤ 特に何もしない」を選んだ方におうかがいします。何もしない理由は何ですか。(1つ)

- ① 恥ずかしいから
- ② お節介になるような気がするから
- ③ どのようにしてよいかわからない
- ④ 忙しくて面倒だから
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 特に理由はない

問11 日常生活で困ったことが起きた場合、手助けは誰が行うべきだと思いますか。(3つまで)

- ① その人の家族
- ② 地域の住民
- ③ 行政機関(市役所や役場)
- ④ 社会福祉協議会
- ⑤ 福祉のサービスを提供する施設・事業者
- ⑥ ボランティア団体
- ⑦ 民生委員・児童委員
- ⑧ 町内会・自治会
- ⑨ その他 ()
- ⑩ わからない

問12 お住まいの地域に、次のような交流の場がありますか。(当てはまるものすべて)

- ① 高齢者
- ② 認知症の方や家族向け
- ③ 子育て中の親子
- ④ 障害者
- ⑤ 誰でも集まれる場
- ⑥ 交流の場はない・わからない

問13 災害時に住民が支え合う地域づくりには何が必要だと思いますか。(3つまで)

- ① 自主防災組織づくり(地域住民で結成する防災隊)
- ② 地域の一人暮らし高齢者などがどこに住んでいるかがわかる地図の作成
- ③ 地域での定期的な避難訓練
- ④ 災害、防災や避難についての勉強会
- ⑤ 福祉サービスを提供する施設や事業者との連携
- ⑥ その他 ()
- ⑦ わからない

《Ⅳ 様々な相談窓口についておうかがいします》

問 1 4 民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員、地域包括支援センターの活動内容を知っていますか。（1から4についてそれぞれ1つ）

項目	知っている	知らない
1. 民生委員・児童委員	①	②
2. 身体障害者相談員	①	②
3. 知的障害者相談員	①	②
4. 地域包括支援センター	①	②

問 1 5 県内に、次の相談窓口があることを知っていますか。（1から8についてそれぞれ1つ）

項目	知っている	知らない
1. 自殺対策のため相談窓口	①	②
2. 児童虐待の相談窓口	①	②
3. 障害者虐待の相談窓口	①	②
4. 高齢者虐待の相談窓口	①	②
5. ドメスティックバイオレンスの相談窓口	①	②
6. 女性相談の窓口	①	②
7. 生活の困りごとや悩みごとの相談窓口 (生活困窮者自立相談窓口)	①	②
8. ひきこもりの相談窓口	①	②

問 1 6 あなたが、様々な相談窓口に期待することは何ですか。（自由に記入してください。）

問 17 お住まいの地域に民生委員・児童委員がいることを知っていますか。(1つ)

- ① 知っている ② 知らない

問 18 民生委員・児童委員をやってみたいと思いますか。(1つ)

- ① 思う ② 思わない ③ わからない

問 18-1 問 18で「① 思う」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。(1つ)

- ① 人の役に立ちたいから ② やりがいを感じるから
③ 困っている人のために必要だから ④ 何となく
⑤ その他 ()

問 18-2 問 18で「② 思わない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。(2つまで)

- ① やりがいがないさうだから ② 大変さうだから
③ 何をやっているかわからないから ④ 怖い思いをしさうだから
⑤ 報酬がもらえないから ⑥ 特に理由はない
⑦ その他 ()

《V 福祉教育に関するあなたのお考えについておうかがいします》

問 19 子どもたちに対する福祉教育(福祉への理解と参加の心を育てる教育)についてどのように行うべきだと考えますか。(2つまで)

- ① 学校で学ぶ ② 家庭で親から学ぶ
③ 地域の活動などを通じて学ぶ ④ 生活していく中で自然に身につく
⑤ テレビやラジオなどから学ぶ ⑥ 必要ない
⑦ その他 ()
⑧ わからない

問20 高齢者、障害者、子ども等の福祉について学びたいと思いますか。(1つ)

- ① 思う ② 思わない

問21 あなたのお住まいの地域に、福祉について学ぶ場はありますか。(1つ)

- ① ある ② ない ③ わからない

《VI 社会福祉法人や社会福祉協議会との関わりについておうかがいします》

問22 あなたは、社会福祉法人のことを知っていますか。(1つ)

- ① 知っている ② 知らない

(※) 社会福祉法人とは、高齢者や障害者向けの福祉サービスや保育所の経営などの社会福祉事業を行うことを目的として設立される民間の法人のことです。

問22-1 問22で「① 知っている」を選んだ方におうかがいします。普段、あなたが地域の社会福祉法人とかかわりがあるのは、次のどれですか。

(当てはまるもの全て)

- ① あなた自身が、社会福祉法人が行う福祉サービス（ホームヘルプサービスなど）を利用している
- ② あなたの家族が、社会福祉法人が行う福祉サービスを利用している
- ③ あなたが、社会福祉法人の運営する社会福祉施設に勤めている
- ④ あなたの家族が、社会福祉法人が運営する社会福祉施設等に勤めている
- ⑤ 社会福祉施設が行う夏祭りなどの行事に参加している
- ⑥ 社会福祉施設でボランティア活動をしている
- ⑦ その他 ()
- ⑧ かかわりがない

問 2 3 あなたが、地域の社会福祉法人に期待することは何ですか。（3つまで）

- ① ホームヘルプサービスなど質の良い福祉サービスの提供
- ② 地域への社会福祉施設の開放
- ③ 地域住民の交流の場の提供
- ④ ボランティアの受け入れ
- ⑤ 雇用の場
- ⑥ 福祉の困りごとについての相談窓口
- ⑦ 災害時の高齢者・障害者の受け入れ
- ⑧ 福祉・介護人材の育成
- ⑨ その他（ ）
- ⑩ 期待することはない

問 2 4 あなたは、社会福祉協議会のことを知っていますか。（1つ）

- ① 知っている
- ② 知らない

(※) 社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動の推進を目的として市町村及び県に設置されており、各種福祉サービスや相談活動、ボランティアの支援、共同募金運動への協力などを行っています。

問 2 4 - 1 問 2 4 で「① 知っている」を選んだ方におうかがいします。あなたが知っている社会福祉協議会の活動は何ですか。（当てはまるものすべて）

- ① 福祉意識の啓発活動
- ② 地域福祉活動計画の策定
- ③ 福祉に関する相談事業
- ④ 福祉サービス事業（ホームヘルパー等）
- ⑤ 社会福祉大会・ふれあい広場
- ⑥ 共同募金運動
- ⑦ 福祉教育活動
- ⑧ 生活福祉資金貸付事業
- ⑨ 日常生活自立支援事業
- ⑩ サロン活動
- ⑪ 子育て支援活動
- ⑫ 福祉・介護の人材養成・研修事業
- ⑬ 広報誌の発行
- ⑭ ボランティア活動の振興
- ⑮ 民生委員・児童委員の活動支援
- ⑯ 福祉サービスに関する苦情相談窓口
- ⑰ 社会福祉事業者の経営支援
- ⑱ 福祉の無料職業紹介
- ⑲ 福祉安心電話
- ⑳ その他（ ）

問25 あなたは、今後、社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。(3つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ① 福祉に関する相談の充実 | ② 福祉・介護人材の養成・研修 |
| ③ 福祉に関する情報の発信 | ④ 高齢者や障害者等の権利擁護 |
| ⑤ ボランティアの育成支援 | ⑥ 住民の交流の場(サロン)づくり |
| ⑦ 福祉教育 | ⑧ 苦情解決窓口 |
| ⑨ 一人暮らし高齢者や障害者の見守り | |
| ⑩ 福祉サービス(ホームヘルパー等) | |
| ⑪ 地域住民と行政や専門機関とのつなぎ | |
| ⑫ その他() | |
| ⑬ わからない | ⑭ 期待することはない |

《Ⅶ ボランティア活動についておうかがいします》

問26 ボランティアへ参加していますか。(1つ)

- ① 参加している
- ② 参加していないが、今後参加したい
- ③ 参加していないし、今後も参加しない

問26-1 問26で「① 参加している」を選んだ方にお聞きします。参加したきっかけは何ですか。(3つまで)

- ① 困っている人や団体に頼まれたから
- ② 友人や家族などに誘われたから
- ③ 人の役に立ちたいから
- ④ 自分たちのために必要な活動だから
- ⑤ 楽しそうだから
- ⑥ 余暇を有効に活用したいから
- ⑦ 趣味や特技を生かしたいから
- ⑧ 学校の授業などで機会があったから
- ⑨ 付き合い上やむをえず
- ⑩ 何となく
- ⑪ その他()

問26-2 問26で「① 参加している」「② 参加していないが、今後参加したい」を選んだ方にお聞きします。どのような分野のボランティアに参加していますか。あるいは今後参加したいですか。（2つまで）

- ① 高齢者関係 ② 障害者関係 ③ 子育て関係
- ④ 保健医療関係 ⑤ 青少年関係 ⑥ 環境関係
- ⑦ 災害関係 ⑧ その他（ ）
- ⑨ まだ決めていない

問26-3 問26で「③ 参加していないし、今後も参加しない」を選んだ方にお聞きします。それはなぜですか。（3つまで。）

- ① 育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから
- ② 仕事や家事などが忙しくて時間がとれないから
- ③ 自分の健康に自信がないから
- ④ 人と接するのが好きではないから
- ⑤ 活動に費用がかかるから
- ⑥ 一度始めるとやめられなくなりそうだから
- ⑦ 活動したいと思っているが、きっかけがないから
- ⑧ 身近に活動できる場所やグループがない（知らない）から
- ⑨ ボランティア活動にあまり興味がないから
- ⑩ その他（ ）

問27 ボランティアに取り組むために必要なことを選んでください。（3つまで）

- ① 交通費などの活動費用の補助 ② ボランティア休暇等の配慮
- ③ 学校教育での活動 ④ 相談や拠点づくり
- ⑤ 地域で子どものボランティア活動の活発化
- ⑥ 研修による人材養成 ⑦ 情報提供
- ⑧ その他（ ）
- ⑨ わからない

問28 各市町村にあるボランティアセンターのことを知っていますか。（1つ）

- ① 知っている ② 知らない

問29 65歳未満の方におうかがいします。あなたが高齢になってもやりたいことは何ですか。（当てはまるものすべて）

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| ① 仕事 | ② 町内会 | ③ 老人クラブ |
| ④ スポーツ | ⑤ 趣味・サークル | ⑥ ボランティア |
| ⑦ その他（ | ） | ⑧ 何もしていない |

《Ⅷ 福祉サービスにおける権利擁護についておうかがいします》

問30 あなたが子育てや高齢者・障害者の介護などに関する福祉サービスを利用したときに、あらかじめ説明された内容と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたりしたことがありますか。（1つ）

- ① ある
- ② ない
- ③ 福祉サービスを利用したことがない

問30-1 問30で「① ある」を選んだ方におうかがいします。その後どのようにしましたか。（当てはまるものすべて）

- ① サービス事業者に直接申し出た
- ② 市町村や県などの行政機関に相談した
- ③ 民生委員・児童委員など地域の相談者に相談した
- ④ 国保連合会の苦情相談窓口で相談した
- ⑤ 福祉サービス運営適正化委員会に相談した
- ⑥ 弁護士に相談した
- ⑦ サービスを利用する側なので相談せずあきらめた
- ⑧ その他（

問31 福祉サービス事業者は、苦情を解決するための組織として第三者委員会を設置していることを知っていますか。（1つ）

- ① 知っている
- ② 知らない

問32 成年後見制度を知っていますか。(1つ)

- ① 知っている ② 知らない

問33 成年後見制度を利用していますか。あるいは将来利用したいと思いますか。(1つ)

- ① 利用している
② 利用していないが、将来利用したい
③ 利用していないし、将来も利用したくない

問33-1 問33で「③ 利用していないし、将来も利用したくない」を選んだ方にお聞きします。それはなぜですか。(2つまで)

- ① 内容がわからないから
② 利用したいが誰に相談すれば良いかわからないから
③ 人の世話になりたくないから
④ お金がかかるから
⑤ その他 ()

《Ⅸ 福祉・介護人材の確保育成についておうかがいします》

問34 福祉や介護の仕事と聞いてどのように思いますか。(1から8についてそれぞれ1つずつ)

	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない
1. やりがいがある	①	②	③	④	⑤
2. 職場の雰囲気がよい	①	②	③	④	⑤
3. 社会的な評価が高い	①	②	③	④	⑤
4. 就職先に困らない	①	②	③	④	⑤
5. 給料や休みの条件がよい	①	②	③	④	⑤
6. 資格や専門性が生かせる	①	②	③	④	⑤
7. 勤務時間等の条件がよい	①	②	③	④	⑤
8. 将来性がある	①	②	③	④	⑤

問 3 5 福祉関係への就職希望者が少ない傾向にあります。その理由としてどのようなことが考えられますか。(2つまで)

- ① 福祉への理解・関心の低さ
- ② 給料等の待遇面
- ③ 仕事の大変さ
- ④ 将来の見通しが見えない
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 就職希望者が少ないとは思わない
- ⑦ わからない

問 3 6 福祉や介護の仕事を選ぶ時に、どのような情報が必要ですか。(1つ)

- ① やりがい
- ② 給与の条件
- ③ 勤務時間や休暇などの労働条件
- ④ 社会保険や福利厚生
- ⑤ 職場での研修やキャリアアップ
- ⑥ 職場の雰囲気
- ⑦ その他 ()

問 3 7 福祉・介護人材の就労支援や育成などに取り組む専門機関として、次のセンターのことを知っていますか。(1から3についてそれぞれ1つ)

項目	知っている	知らない
1. 青森県福祉人材センター	①	②
2. 青森県地域医療支援センター	①	②
3. 青森県保育士・保育所支援センター	①	②

《X 外出するときの手段についておうかがいします》

問 3 8 あなたは、通院、買物、役場や銀行への外出をどのように行っていますか。(あてはまるものすべて)

- ① 徒歩
- ② 自転車
- ③ 自家用車で自分が運転
- ④ 自家用車で家族が運転
- ⑤ 別居の家族が送迎
- ⑥ 知人友人が送迎
- ⑦ バイク・原付
- ⑧ 電車
- ⑨ 路線バス
- ⑩ 役場や病院などの送迎バス
- ⑪ タクシー
- ⑫ その他 ()

問 39 以前と比べて、あなたが外出するときの手段が変わりましたか。（1つ）

- ① 変わった ② 変わらない

問 40 通院、買物、役場や銀行へ外出する上で、あなたが必要と思う交通手段は何ですか。（2つまで）

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| ① 家族の送迎 | ② 自家用車 |
| ③ 路線バス | ④ 電車 |
| ⑤ タクシー | ⑥ 役場や病院などの送迎バス |
| ⑦ その他（ ） | |

《XI 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方についておうかがいします》

問 41 あなたは、福祉に関する情報を何から入手していますか。（あてはまるもの全て）

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| ① 市町村の広報 | ② 社会福祉協議会の広報 |
| ③ 民生委員・児童委員 | ④ 隣近所 |
| ⑤ 回覧板 | ⑥ 病院や施設 |
| ⑦ 新聞 | ⑧ テレビやラジオ |
| ⑨ 書籍や雑誌 | ⑩ 家族や友人 |
| ⑪ インターネット | ⑫ 特に入手していない |
| ⑬ その他（ ） | |

問 42 あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。（3つまで）

- ① 健康づくりについてのサービスの情報
- ② 子育てについてのサービスの情報
- ③ 高齢者や障害者が利用できる福祉サービスの情報
- ④ 福祉や健康についてのサービス利用方法の情報
- ⑤ 介護保険や福祉のサービス提供業者のサービス内容の情報
- ⑥ ボランティア活動やNPO法人などの市民活動の情報
- ⑦ 健康づくりや生きがいをづくりのための学習機会（講座や教室）の情報
- ⑧ 高齢者や障害者が生活しやすい住宅や福祉機器の情報
- ⑨ その他（ ）
- ⑩ 特にない

問43 お住まいの地域では、必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制が整っていると感じますか。(1つ)

- ① 感じる ② 感じない ③ わからない

問44 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

- ① 福祉や保健に関する情報提供を充実させる
- ② 支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する
- ③ 福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やす
- ④ 地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材(地域福祉のリーダー)を育てる
- ⑤ 住民間の調整や住民と関係団体とをつなぐ人材(地域福祉のコーディネーター)を育てる
- ⑥ 福祉に関する困りごとや虐待などについて相談できる窓口を増やす
- ⑦ 福祉や保健に関するボランティア活動を活発にする
- ⑧ 地域福祉活動や住民の交流の拠点となる場所(サロン)を増やす
- ⑨ 地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る
- ⑩ 学校などでの福祉や保健に関する教育を充実させる
- ⑪ 多くの住民が福祉や保健に関する関心を高められるような啓発を行う
- ⑫ 通院や買物がしやすいように交通手段を確保する
- ⑬ 道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める
- ⑭ 地域での支え合いや見守り活動を充実させる
- ⑮ 地震、台風、津波などに対する防災と被災後の対策をしっかりと行う
- ⑯ その他()

ご協力ありがとうございました。